
船橋市子ども・子育て支援に関する
アンケート調査結果報告書

令和6年（2024年）3月

船橋市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 集計・分析にあたって	2
4. 「生活困難度」指標に基づく分類について	2
5. 家庭類型の定義	4
II 調査結果	5
1. 保護者アンケート結果	5
1-1. 世帯の人数や年齢等について	5
1-2. 子どもの生活について（子どもとのかかわり方など）	11
1-3. 学校生活や教育について	41
1-4. 家庭での生活について（子育てや教育の情報源、相談相手など）	47
1-5. 世帯の状況について	77
1-6. あて名のお子さんの保護者（父母）の就労状況について	84
1-7. 家計の状況について	102
1-8. 平日の日常的な施設等の利用について	120
1-9. 病気やケガの際の対応について	128
1-10. 一時預かりなどの利用について	138
1-11. 地域の子育て支援事業の利用について	144
1-12. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上）	146
1-13. 育児休業など、職場の支援制度について	164
1-14. 子育て環境や支援について	175
1-15. ひとり親家庭について（就労、資格、養育費、親子交流など）	193
1-16. 子育てに関するご意見	228
2. 子どもアンケート結果	229
2-1. あなたのことについて	229
2-2. ふだんの生活について	230
2-3. 学校や勉強について	245
2-4. 友だちや家族、あなたの考えについて	263
2-5. 中高生のための設問（喫煙や飲酒、アルバイト経験の有無について）	291
2-6. 船橋市への意見	293

I 調査概要

1. 調査の目的

子ども・子育て支援事業計画、ひとり親家庭等自立促進計画、子どもの貧困対策計画を統合した計画を策定するにあたり、市民へアンケート調査を行い、意識やニーズの分析を行うことにより、基礎資料とするために実施した。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象： 船橋市全域・市内在住の10歳～18歳の子ども、及びその保護者。
調査対象（調査票種類）は以下の10種（総計21,155件）。

調査票種類	調査対象
①母子健康手帳交付者	母子健康手帳交付者（第1子）
②就学前児童保護者	一般世帯の就学前子どもの保護者
③小学生保護者	一般世帯の小学校1年生～6年生の保護者
④中高生保護者	一般世帯の中学校1年生～高校3年生相当年齢の保護者
⑤ひとり親家庭保護者	ひとり親手当（児童扶養手当・ひとり親家庭等医療費・遺児手当）の認定を受けている保護者
⑥ひとり親家庭保護者（就学前児童）	①と④で、重複して対象となった保護者
⑦ひとり親家庭保護者（小学生）	②と④で、重複して対象となった保護者
⑧ひとり親家庭保護者（中高生）	③と④で、重複して対象となった保護者
⑨子ども（小学生）	小学校5年生～6年生の子ども （一般世帯・ひとり親世帯共通）
⑩子ども（中高生）	中学校1年生～高校3年生相当年齢の子ども （一般世帯・ひとり親世帯共通）

- (2) 調査方法： 郵送配布・用紙及びWEBアンケート方式で回収。

- (3) 調査期間： 令和5年12月13日～12月31日

- (4) 回収率： 総計8,234件の有効回答（有効回収率38.9%）。

調査対象（調査票種類）	配布数	有効回答数	有効回収率	前回（H30） 回収率
①母子健康手帳交付者	219	81	37.0%	38.0%
②就学前児童保護者	5,853	2,693	46.0%	53.9%
③小学生保護者	2,855	1,350	47.3%	51.3%
④中高生保護者	2,756	1,074	39.0%	-
⑤ひとり親家庭保護者	2,904	960	33.1%	38.0%
⑥ひとり親家庭保護者（就学前児童）	132	50	37.9%	
⑦ひとり親家庭保護者（小学生）	143	52	36.4%	
⑧ひとり親家庭保護者（中高生）	242	77	31.8%	
⑨子ども（小学生）	1,390	506	36.4%	-
⑩子ども（中高生）	4,661	1,391	29.8%	-

3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。
- (3) 図表中の数値（%）の合計と分析文中の数値（%）の合計は、数値（%）を単位未満四捨五入している影響により一致しないことがある。
- (4) 複数回答の場合、回答者総数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えることがある。
- (5) 本文及びグラフ等の図や表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。
- (6) 本文中、各調査票を以下の略称で表記する。

【各調査票の略称】

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ①母子健康手帳交付者→母 | ⑥ひとり親家庭保護者（小学生）→ひ小 |
| ①就学前児童保護者→就 | ⑦ひとり親家庭保護者（中学生）→ひ中高 |
| ②小学生保護者→小 | ⑧子ども（小学生）→子小 |
| ③中学生保護者→中高 | ⑨子ども（中学生）→子中高 |
| ④ひとり親家庭保護者→ひ | |
| ⑤ひとり親家庭保護者（就学前児童）→ひ就 | |
- (7) ひとり親家庭保護者は、子どもの年齢により就学前、小学生、中学生に分けて集計している。
 - (8) ⑤～⑦の回答は、一部の設問では①～③の回答に含めて集計している。
 - (9) 図表中の「前回調査」とは、平成30年度に行った「船橋子ども・子育て支援に関するアンケート調査」、「船橋市の子供のいる世帯の生活状況等に関する調査」のことであり、★をつけて表記する。
 - (10) 子どもの年齢が不明なデータが存在することから、ひとり親家庭保護者の全体の合計と就学前、小学生、中学生別の合計人数に差異が生じている。

4. 「生活困難度」指標に基づく分類について

下記①～③の3つの要素について、該当する要素の数に応じて、

『困窮層』＝2つ以上の要素に該当、

『周辺層』＝いずれか1つの要素に該当、

『一般層』＝いずれの要素にも該当しない、

の3層に分類後、結果の分析に資した。

※『一般層』には各要素を判別するための設問で不明・無回答により判別不能であった対象を含む

①低所得要素

：保護者票中の世帯の手取り収入と世帯人数の設問から算出した簡易的な等価可処分所得が「令和4年国民生活基礎調査」から算出される基準未満（127万円未満）の世帯。

等価可処分所得＝世帯の可処分所得※÷ $\sqrt{\text{世帯人数}}$

※収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする

（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～75万円未満」であれば62.5万円とする。なお、「900万円以上」は950万円とする。）

<対象設問>

問 あなたの世帯の昨年1年間の手取り収入の額を教えてください。

問 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

②家計のひっ迫要素 : 保護者票中の家計のひっ迫度をはかる設問8項目中、1つ以上が該当する場合。

<対象設問>

問 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、以下の費用・サービス・料金について、支払えないことがありましたか。

①必要とする食料（お酒やコーヒーなどの嗜好品を除く）
②必要とする衣服（高価な衣服やアクセサリなどを除く）
③電話料金 ④電気料金 ⑤ガス料金 ⑥水道料金 ⑦家賃 ⑧住宅ローン

③子どもの体験の欠如要素 : 保護者票中の子どもの体験に関する設問10項目中、費用面での不能理由（①費用がかかるため）が2つ以上ある場合。

<対象設問>

問 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

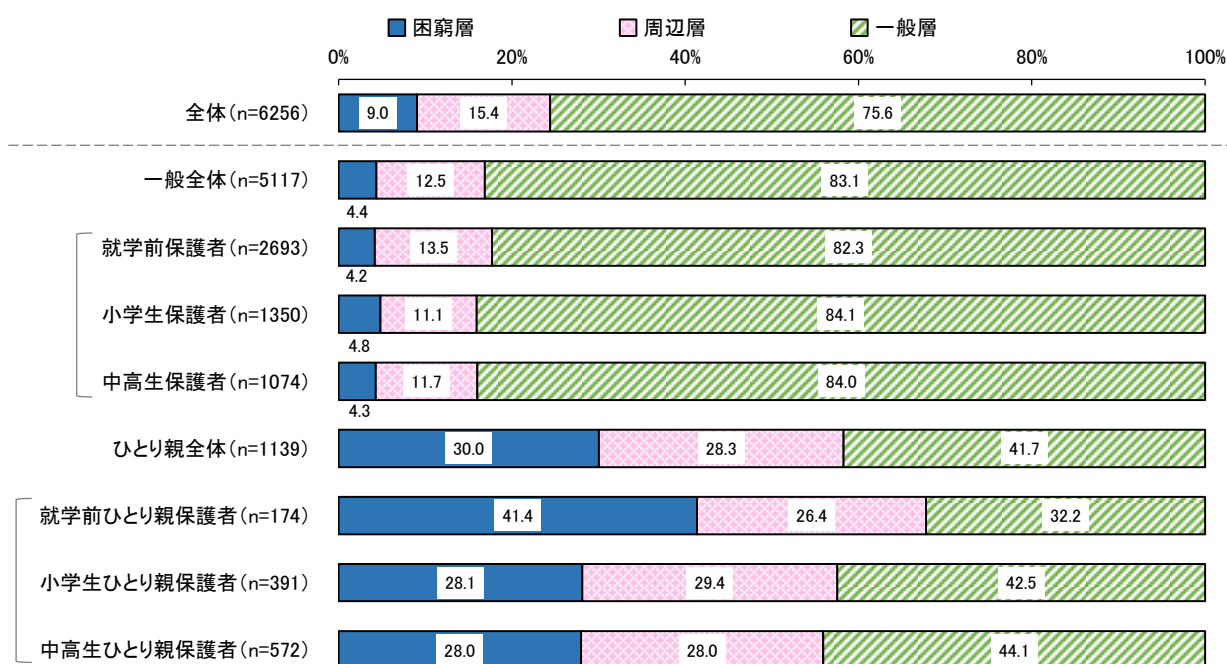
「したいができなかった」場合はその理由を下の理由欄の番号を記入してください。

- ・スポーツに関する習い事やクラブに通う
- ・音楽、習字、絵画等の習い事やクラブに通う
- ・学習教室に通う（または家庭教師に来てもらう）
- ・キャンプやバーベキューなどの野外活動をする
- ・旅行に行く
- ・美術館、博物館、科学館に行く
- ・スポーツ観戦や劇場に行く
- ・遊園地やテーマパークに行く
- ・公共施設などで行われる、無料の教室やイベントに参加する
- ・誕生日祝いやクリスマス・お正月などの季節の行事を行っている

<理由欄>

①費用がかかるため	⑤一緒に活動する友達がいないため
②時間がないため	⑥情報がいないため
③開催時間が合わないため	⑦子どもが対象年齢に達していないため
④開催場所が遠いため	⑧その他

【 生活困難度指標に基づく分類の割合 】



※ひとり親保護者とは、ひとり親手当（児童扶養手当・ひとり親家庭等医療費・遺児手当）の認定を受けている保護者を指す。

5. 家庭類型の定義

この報告書における家庭類型とは、アンケート調査における母親及び父親の現在の就労状況を基に、下表のとおり分類したものであり、就労時間や今後の就労意向等により分類される「量の見込み」の算出に用いる家庭類型とは異なる。

表記	母親の就労状況	父親の就労状況
フル×フル	フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である	フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である
フル×パート	フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である	パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である
	パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である	フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である
フル×無業	フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である	就労していない
	就労していない	フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である

なお、「パート×パート」「パート×無業」「無業×無業」は対象者が少ないため、図表及びコメントを省略している。

II 調査結果

1. 保護者アンケート結果

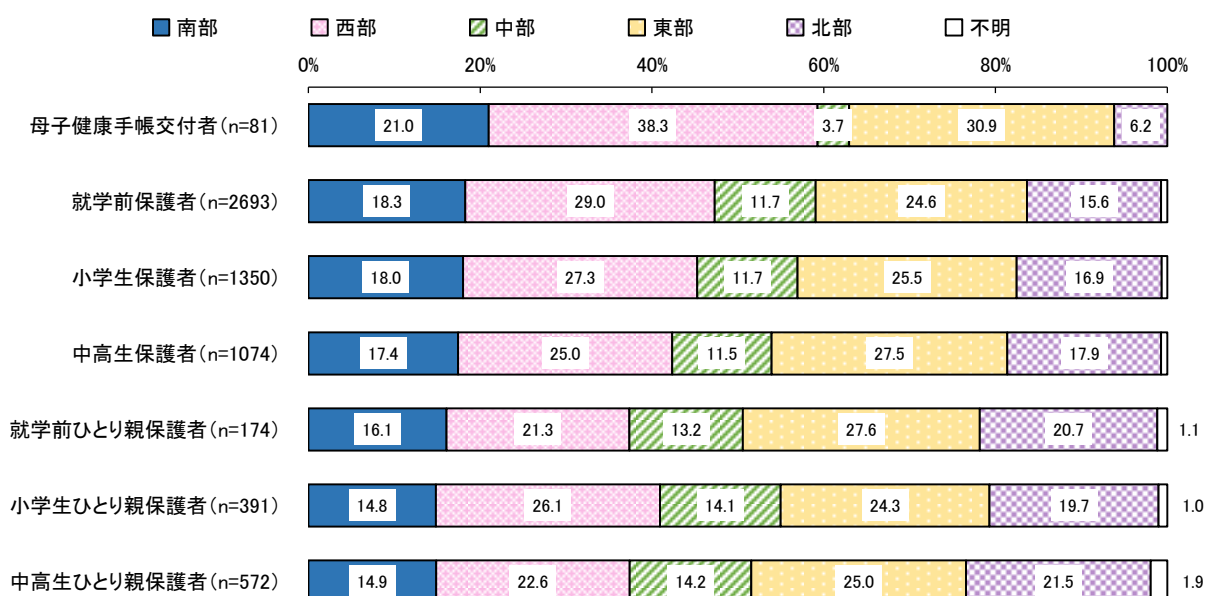
1-1. 世帯の人数や年齢等について

(1) 居住地域

問 お住まいの地区（町丁目）をお答えください。

母問1、就問1、小問1、中高問1、ひ問23、ひ就問1、ひ小問1、ひ中高問1

- ・ 回答内容より5地区（南部、西部、中部、東部、北部）に分類した。
- ・ 各調査対象の居住地域は以下のとおりとなっている。



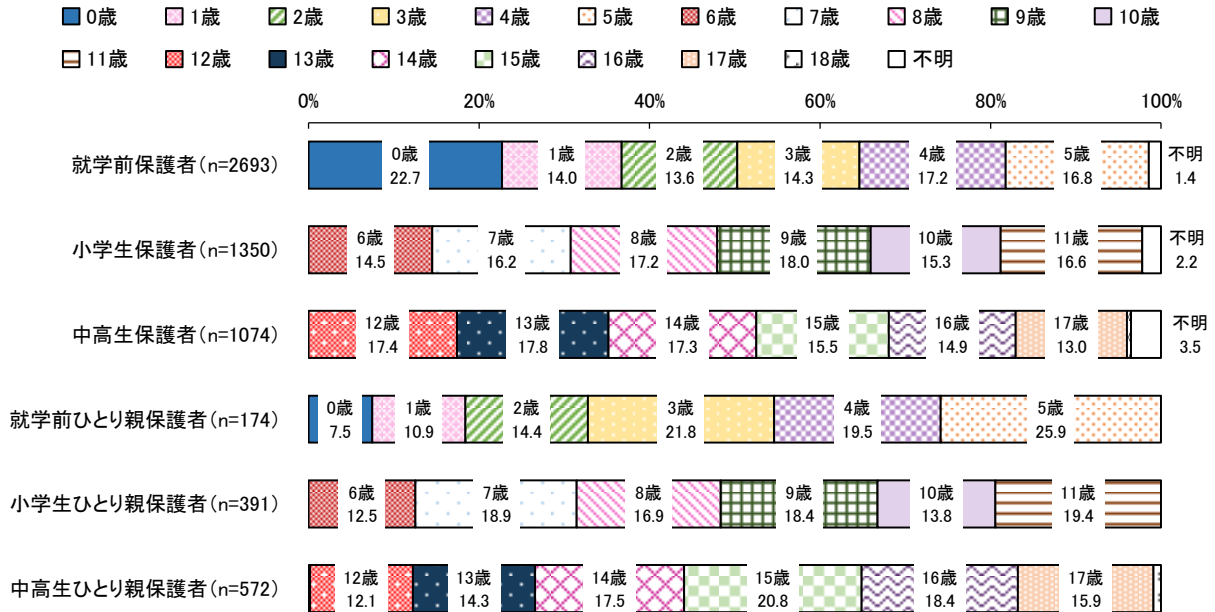
※帯グラフにおいては、1.0%未満はラベル非表示（特記ないものに関しては、以降同様）

(2) 子どもの年齢 (令和5年4月1日時点)

問 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

就問2、小問2、中高問2、ひ問1、ひ就問3、ひ小問3、ひ中高問3

・各調査対象の子どもの年齢は以下のとおりとなっている。



(3) 就学等の状況

問 あて名のお子さんの現在の就学等の状況を教えてください。(1つに○)

小問3、中高問3、ひ問2、ひ就問4、ひ小問4、ひ中高問4

・各調査対象の就学等の状況は以下のとおりとなっている。



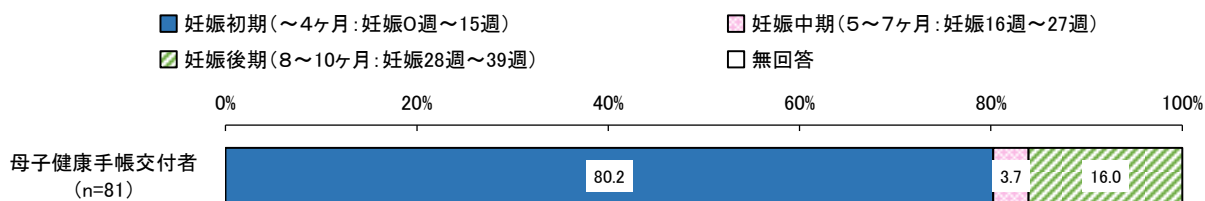
※2.0%未満はラベル非表示

(4) 妊娠経過

問 妊娠経過についてお答えください。(1つに○)

母問3

・「妊娠初期(～4ヶ月:妊娠0週～15週)」が最も多い。

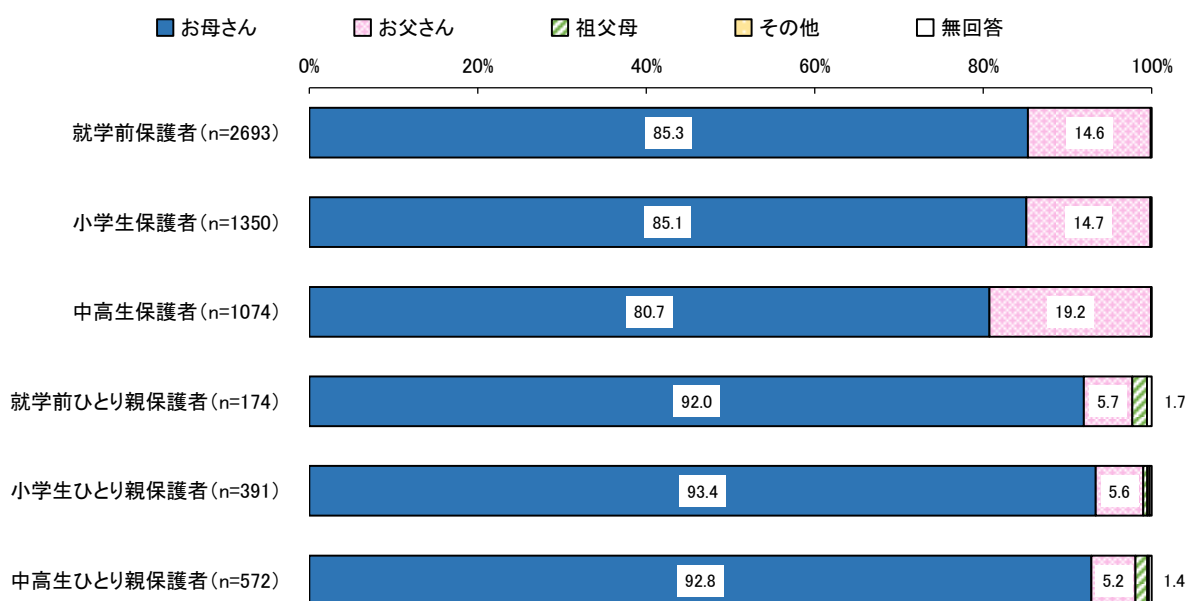


(5) 回答者

問 このアンケートにご回答いただく方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(1つに○)

就問3、小問4、中高問4、ひ問19、ひ就問5、ひ小問5、ひ中高問5

・回答者は、一般世帯で8割以上、ひとり親世帯で9割以上が「お母さん」となっている。

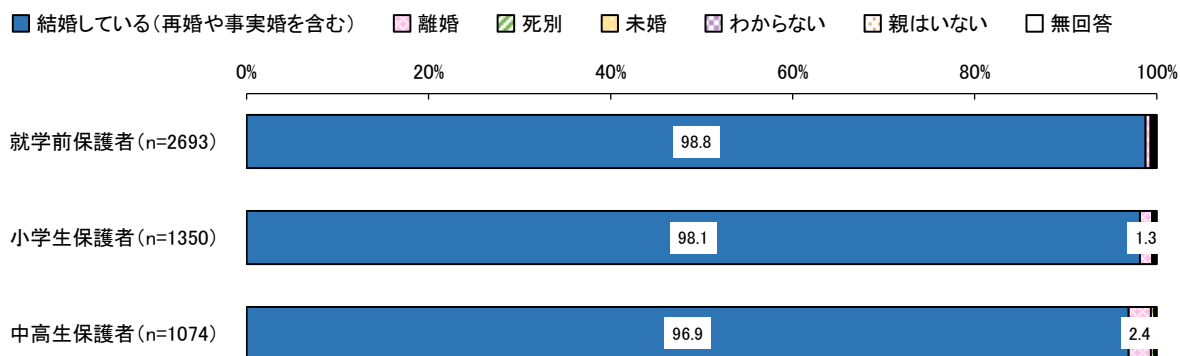


(6) 親の婚姻状況

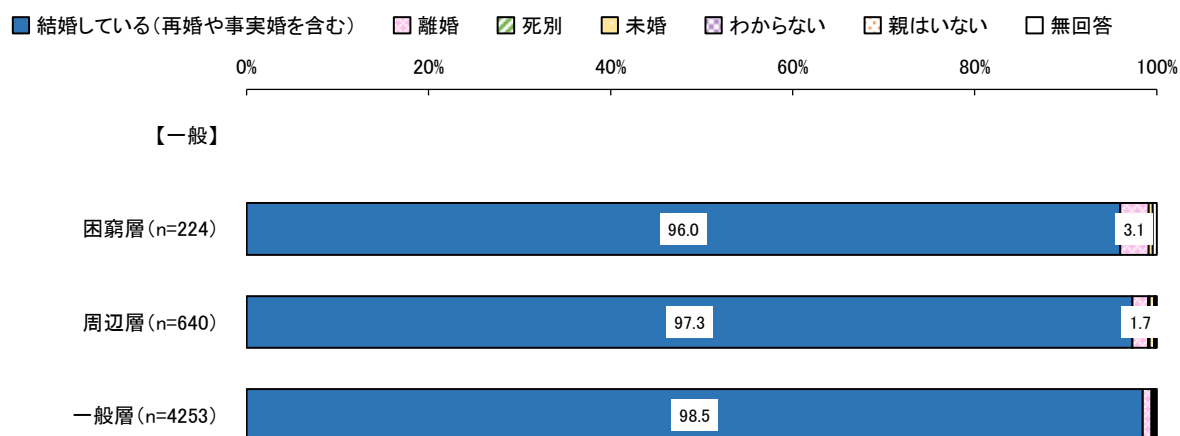
問 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(1つに○)

就問4、小問5、中高問5

- ・生計を同一にしている親の婚姻状況は、9割以上が「結婚している(再婚や事実婚を含む)」となっている。



<生活困難度別>

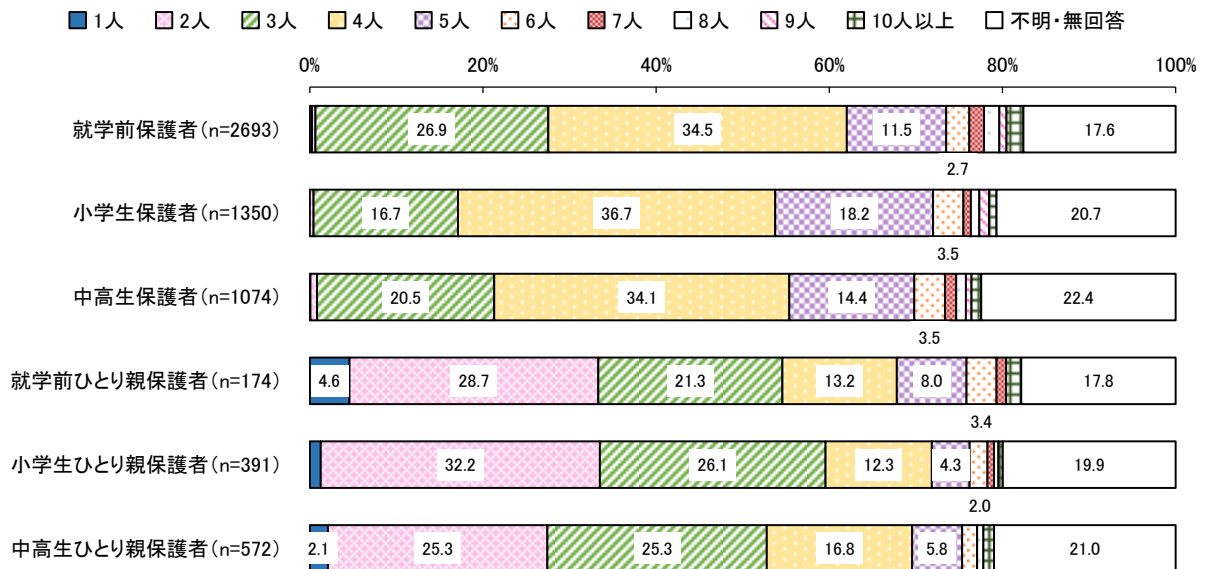


(7) 家族の人数

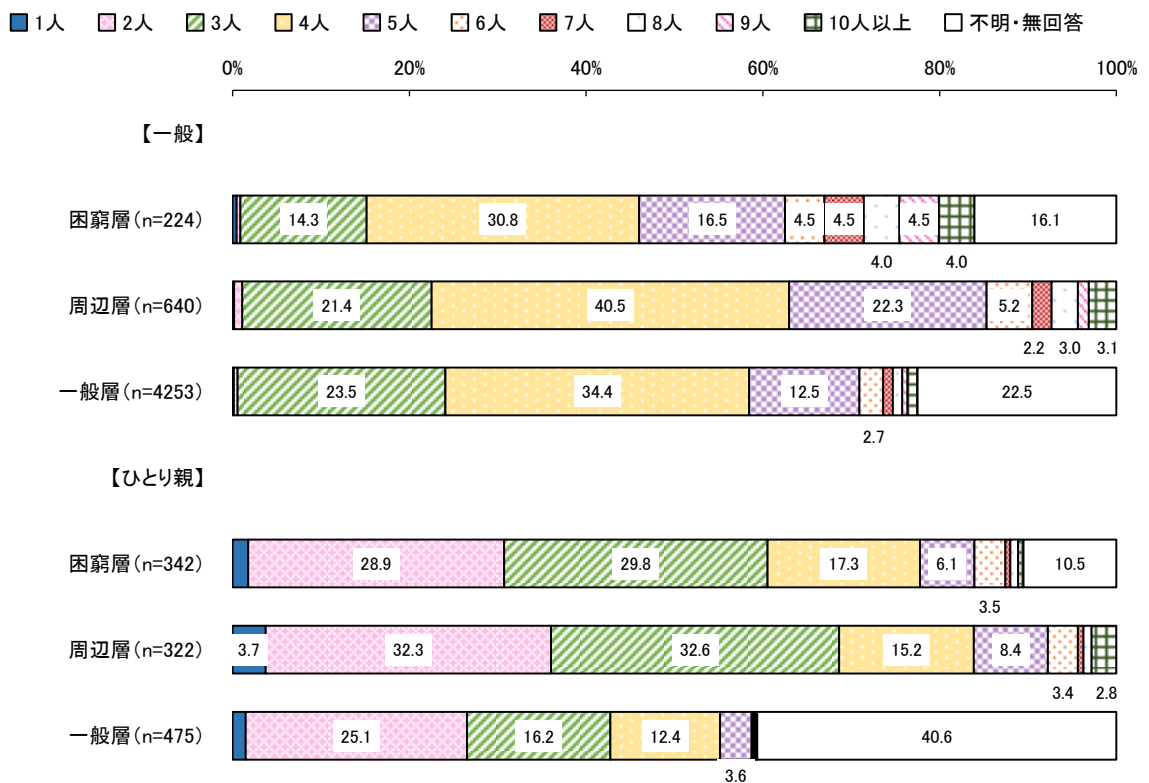
問 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(それぞれ1つに○)

就問5、小問6、中高問6、ひ問24、ひ就問2、ひ小問2、ひ中高問2

・家族の人数は、一般世帯では3~4人、ひとり親世帯では2~3人が半数以上となっている。



<生活困難度別>



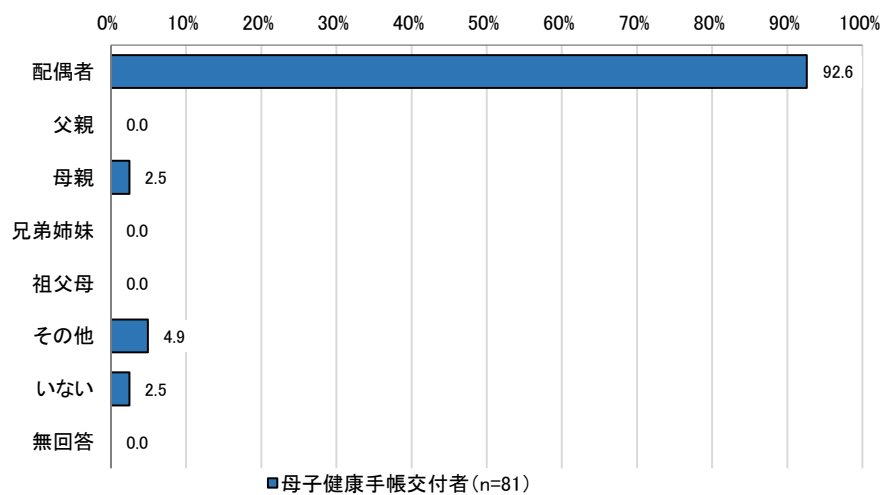
※2.0%未満はラベル非表示

(8) 同居家族

問 現在、あなたといっしょに暮らしているご家族は、どなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

母問2

- ・同居家族は以下のとおりとなっている。



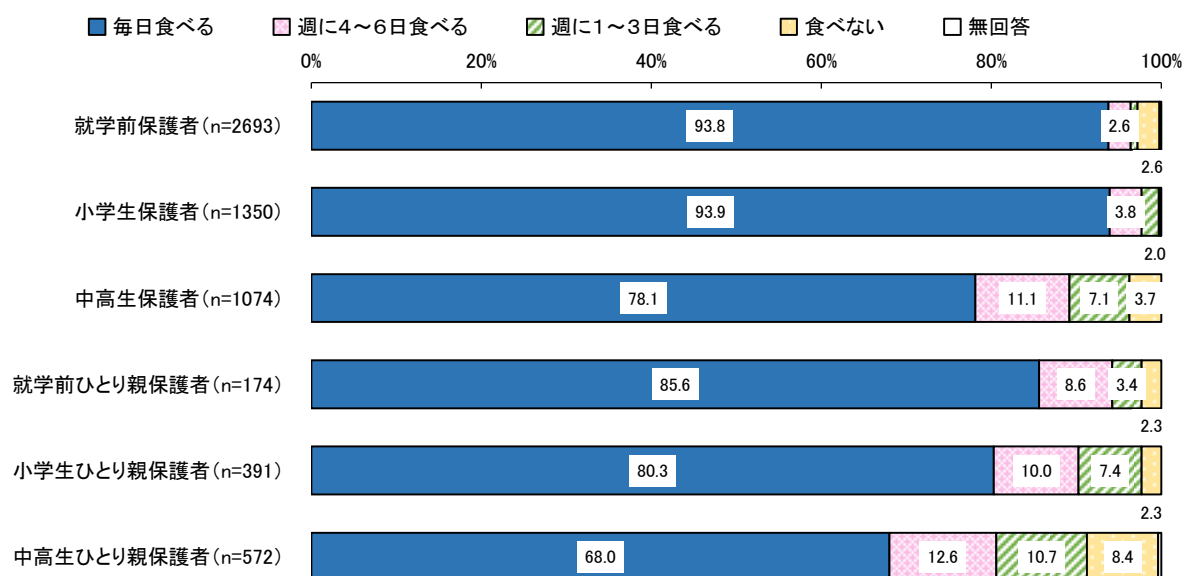
1-2. 子どもの生活について（子どもとのかかわり方など）

（1）朝食について

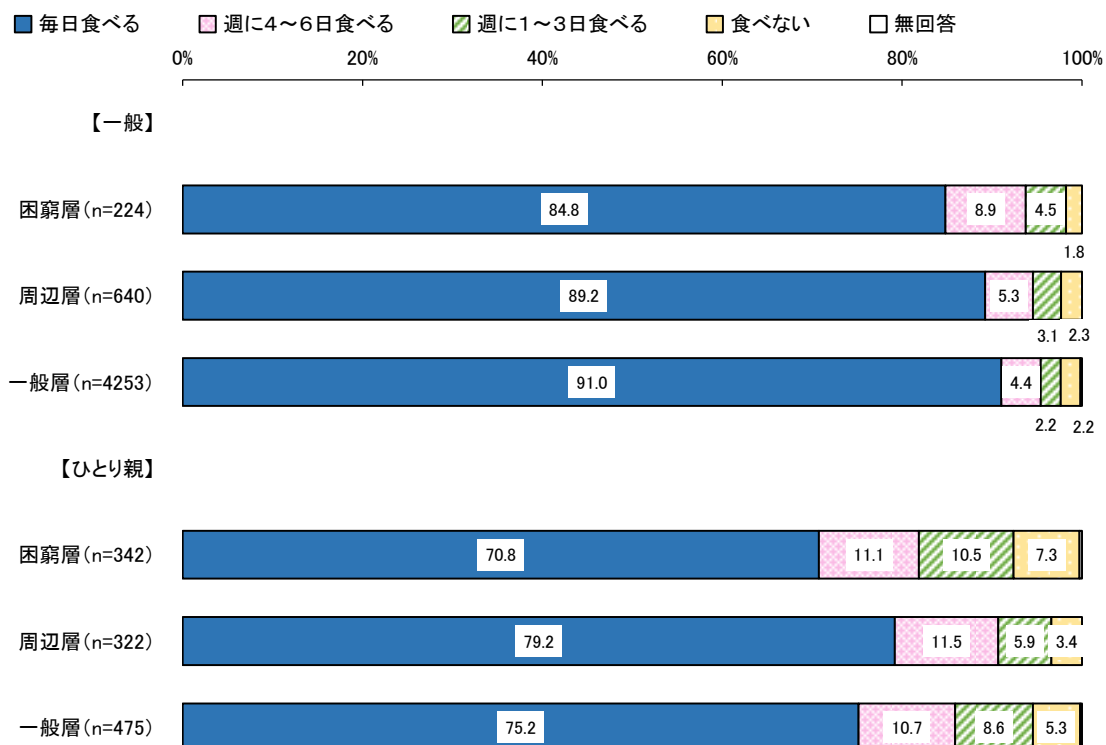
問 お子さんは、1週間に朝食をどれくらい食べていますか。（1つに○）

就問6、小問7、中高問7、ひ問3、ひ就問8、ひ小問8、ひ中高問8

- ・「毎日食べる」割合は、ひとり親世帯で低い傾向にある。
- ・生活困難度別にみると、「毎日食べる」割合はひとり親世帯の困窮層で最も低い。



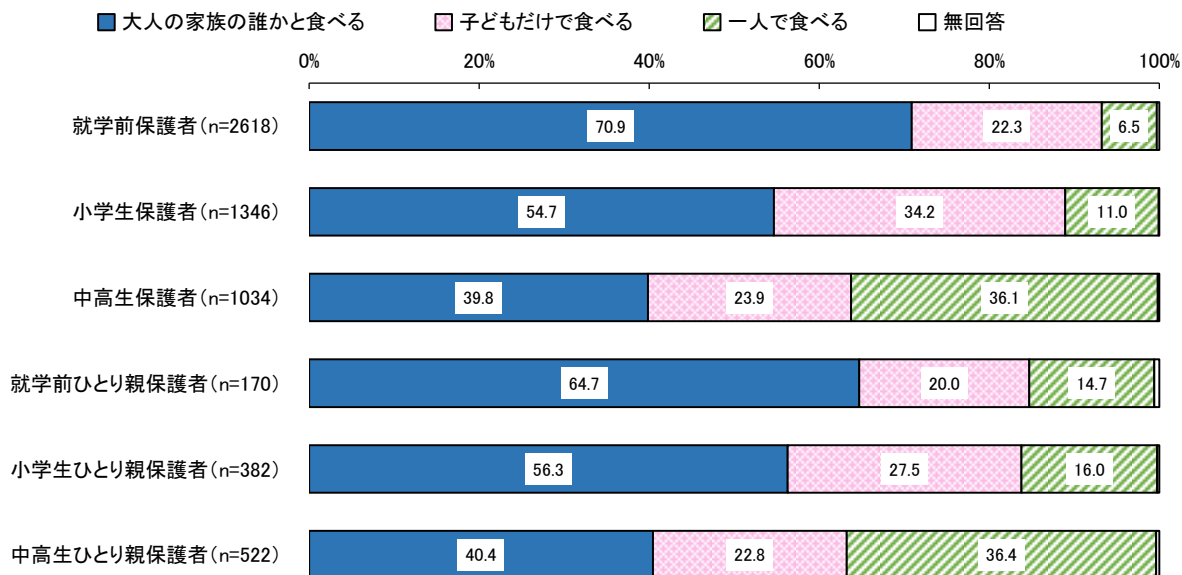
<生活困難度別>



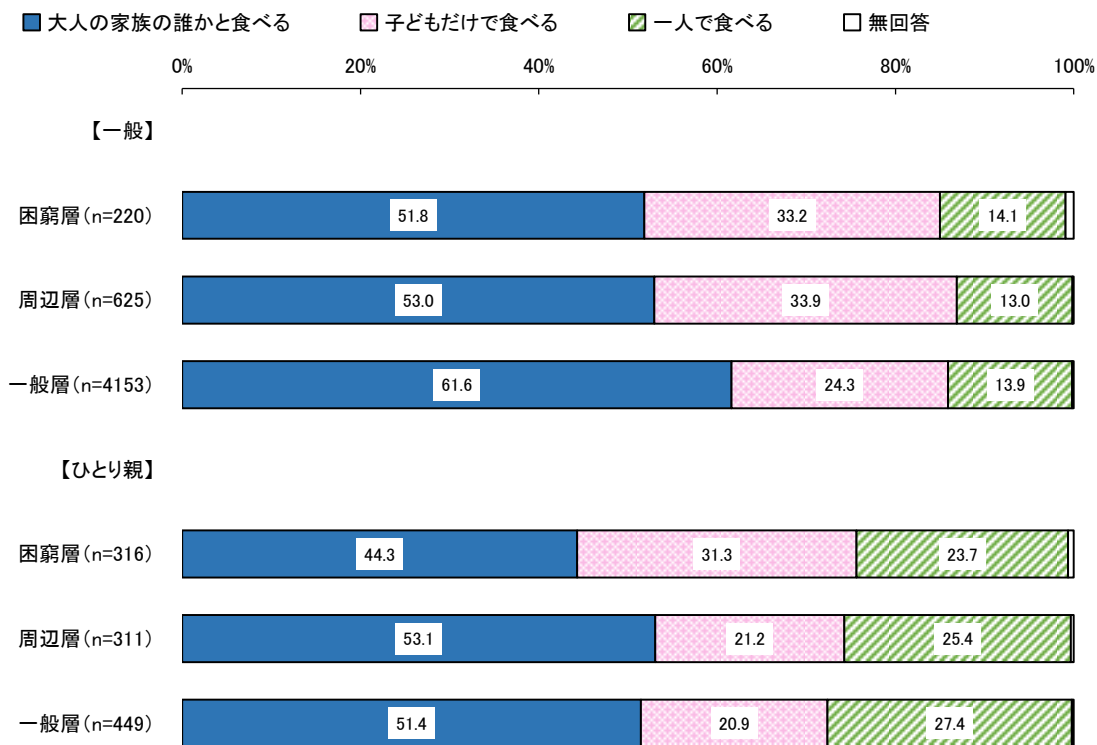
問 朝食を「毎日食べる」「週に4～6回食べる」「週に1～3回食べる」方にうかがいます。お子さんは、朝食を誰と食べることが多いですか。(1つに○)

就問6-1、小問7-1、中高問7-1、ひ問3-1、ひ就問8-1、ひ小問8-1、ひ中高問8-1

- ・朝食を「一人で食べる」割合は、一般世帯、ひとり親世帯に関わらず中高生で最も高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「大人の家族の誰かと食べる」割合が最も低い。



<生活困難度別>



(2) 子どもにしていること

問 あなたの家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

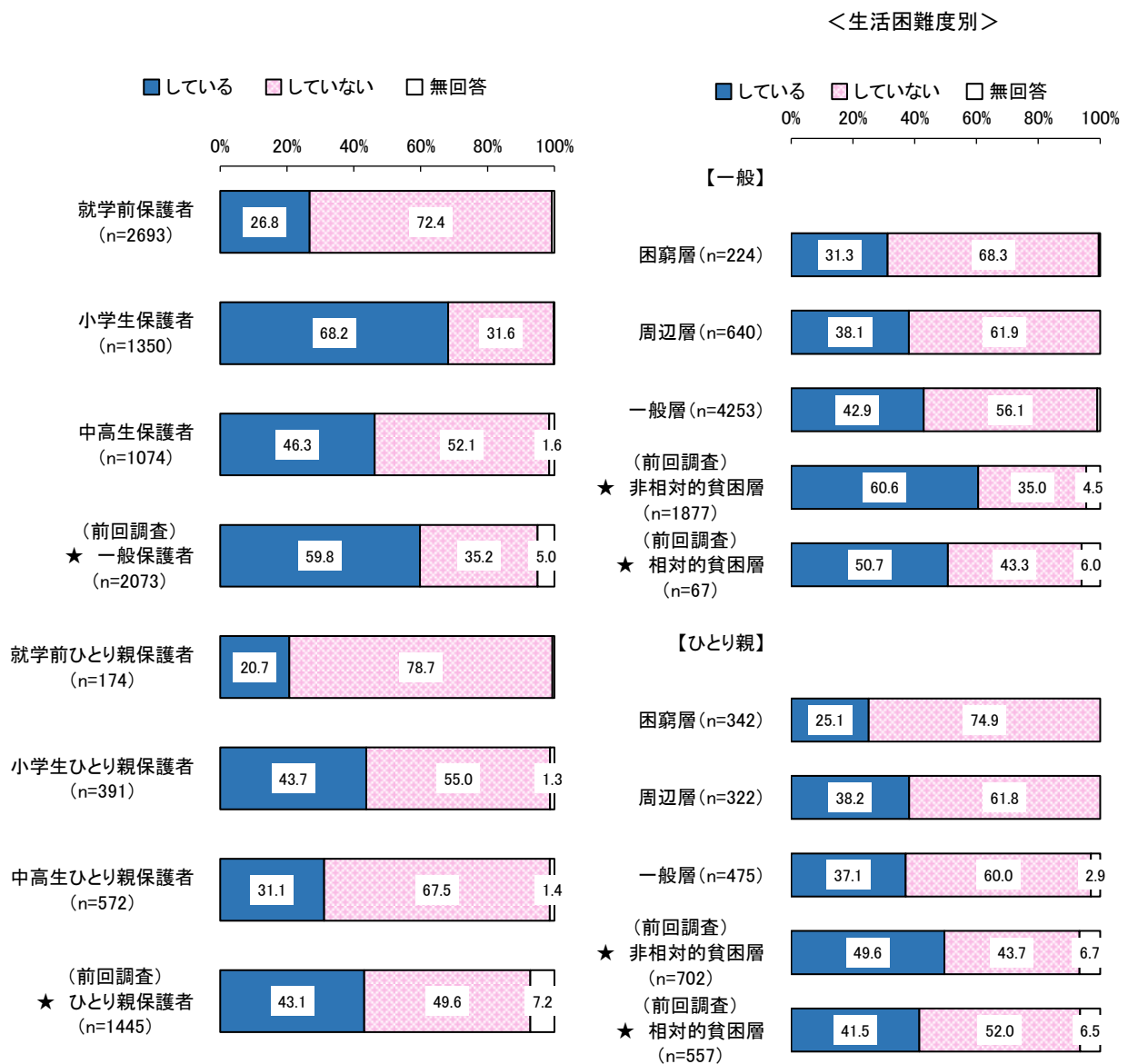
「したいができなかった」場合はその理由を下の理由欄の番号を記入してください。(それぞれ1つに○)

就問7、小問8、中高問8、ひ問6、ひ就問9、ひ小問9、ひ中高問9

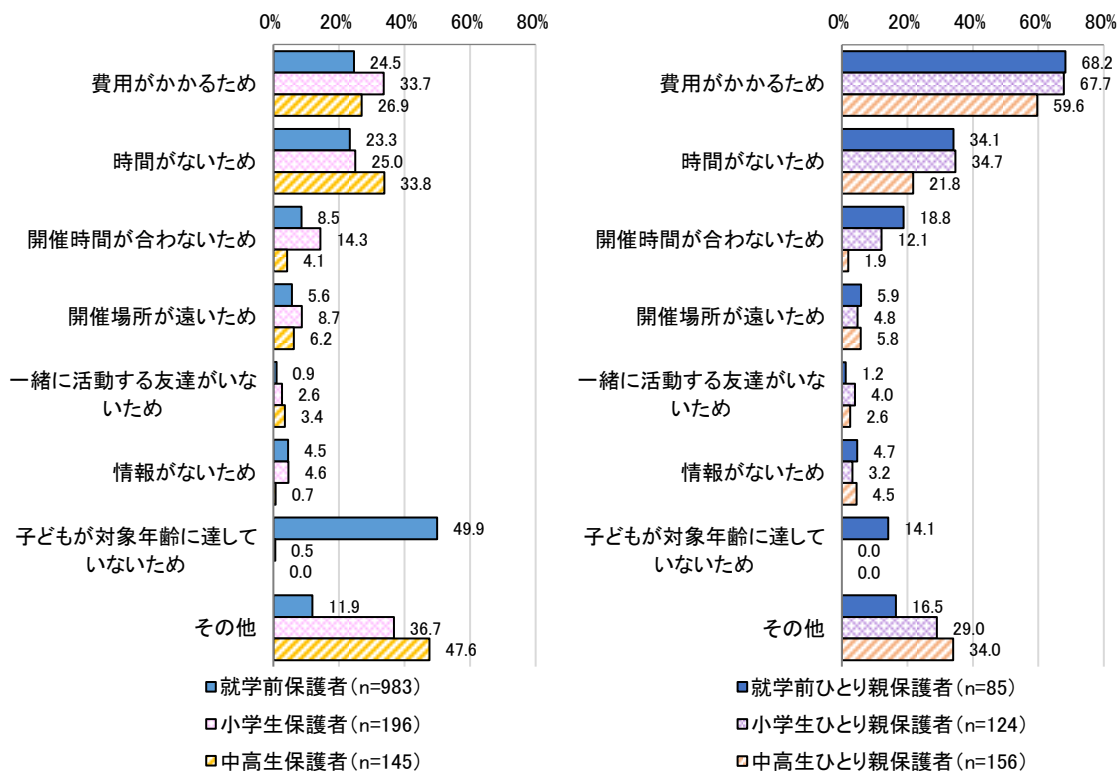
●スポーツに関する習い事やクラブに通う

(※前回調査では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」)

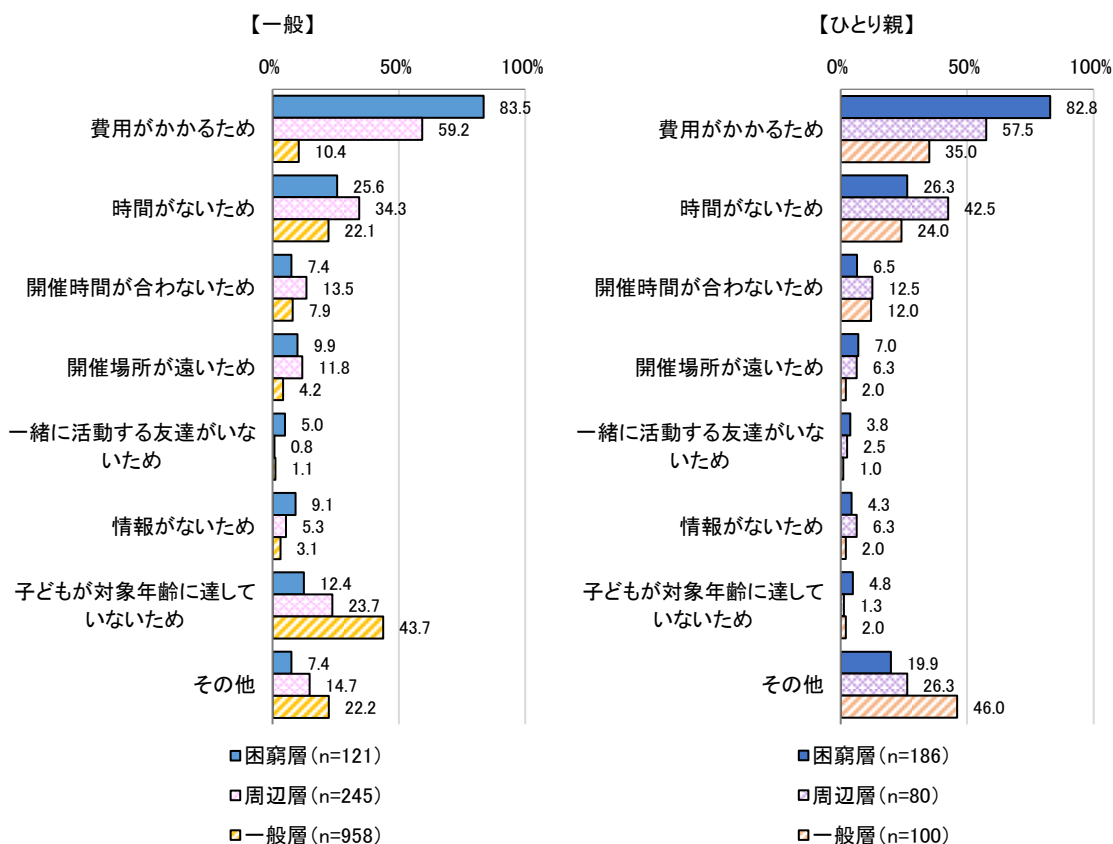
- ・「している」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層、周辺層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（スポーツに関する習い事やクラブに通う）



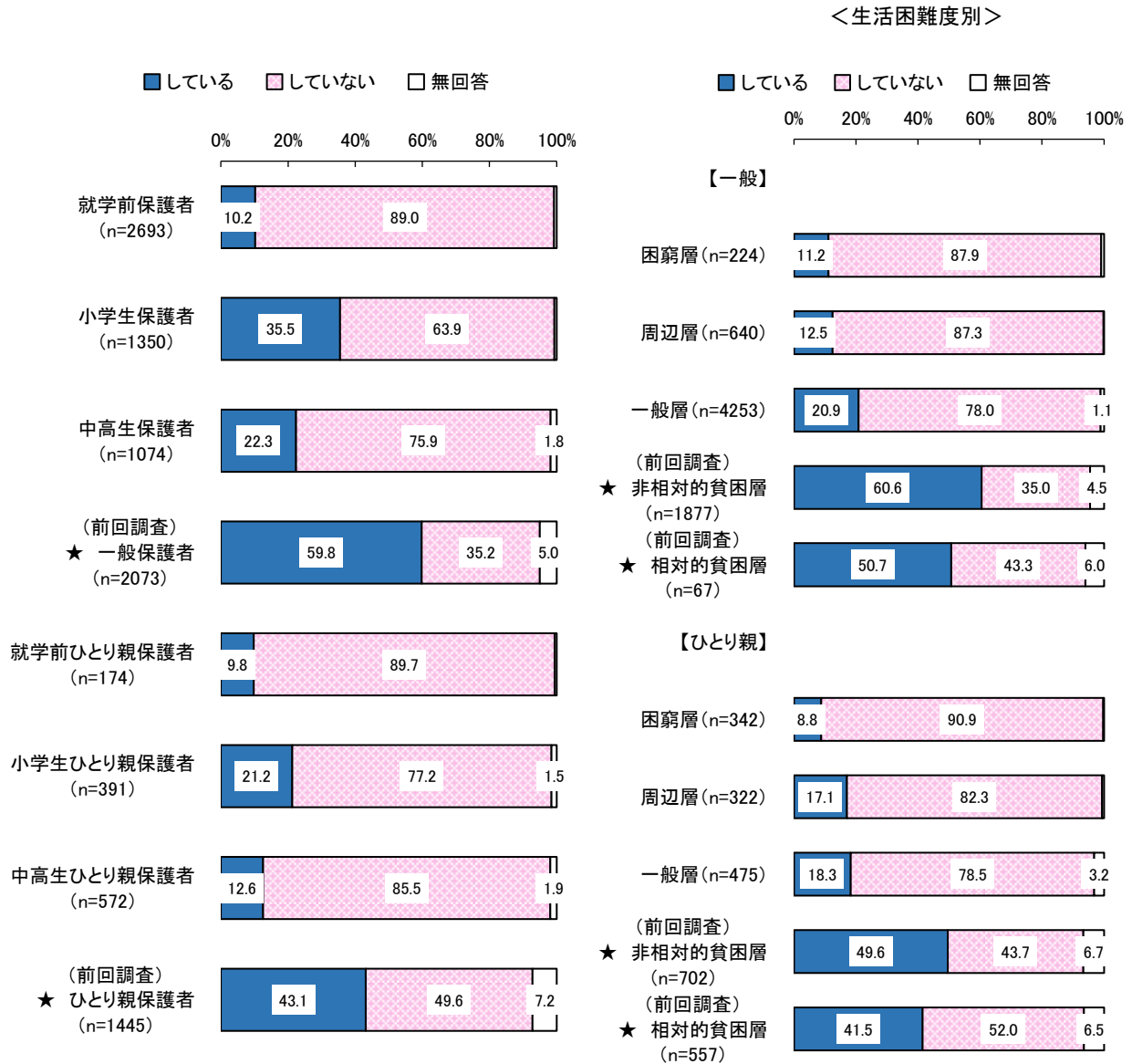
<生活困難度別>



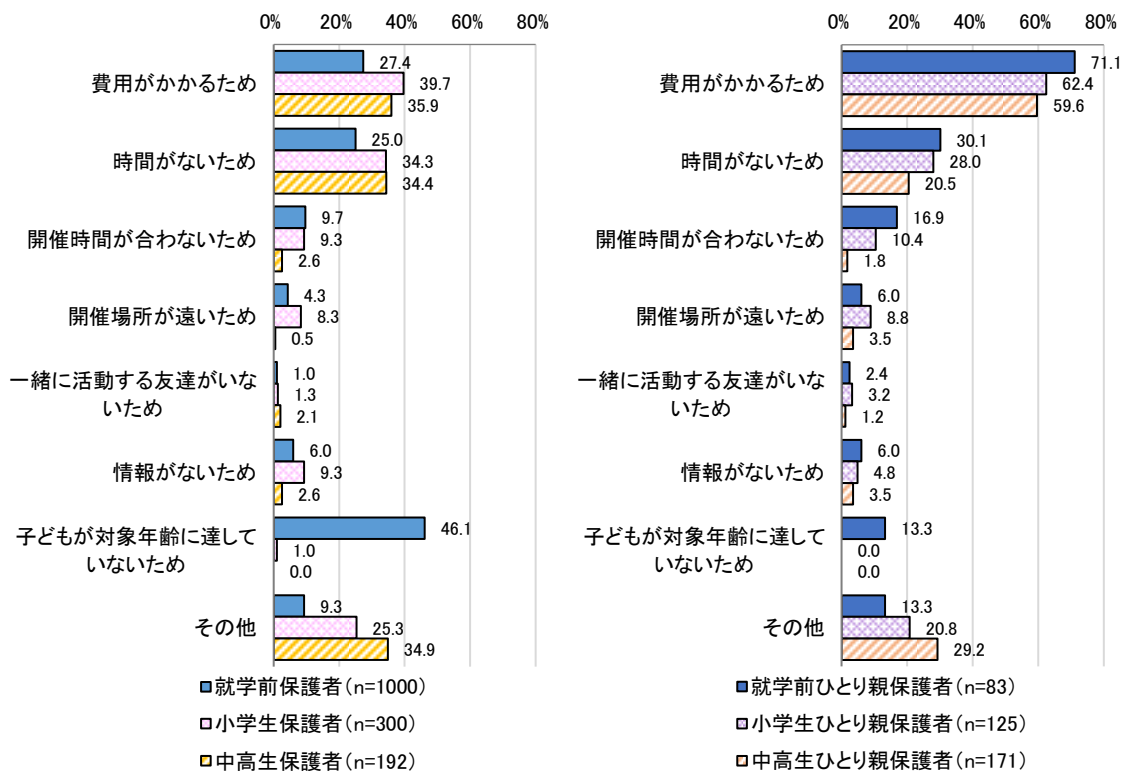
●音楽、習字、絵画等の習い事やクラブに通う

(※前回調査では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」)

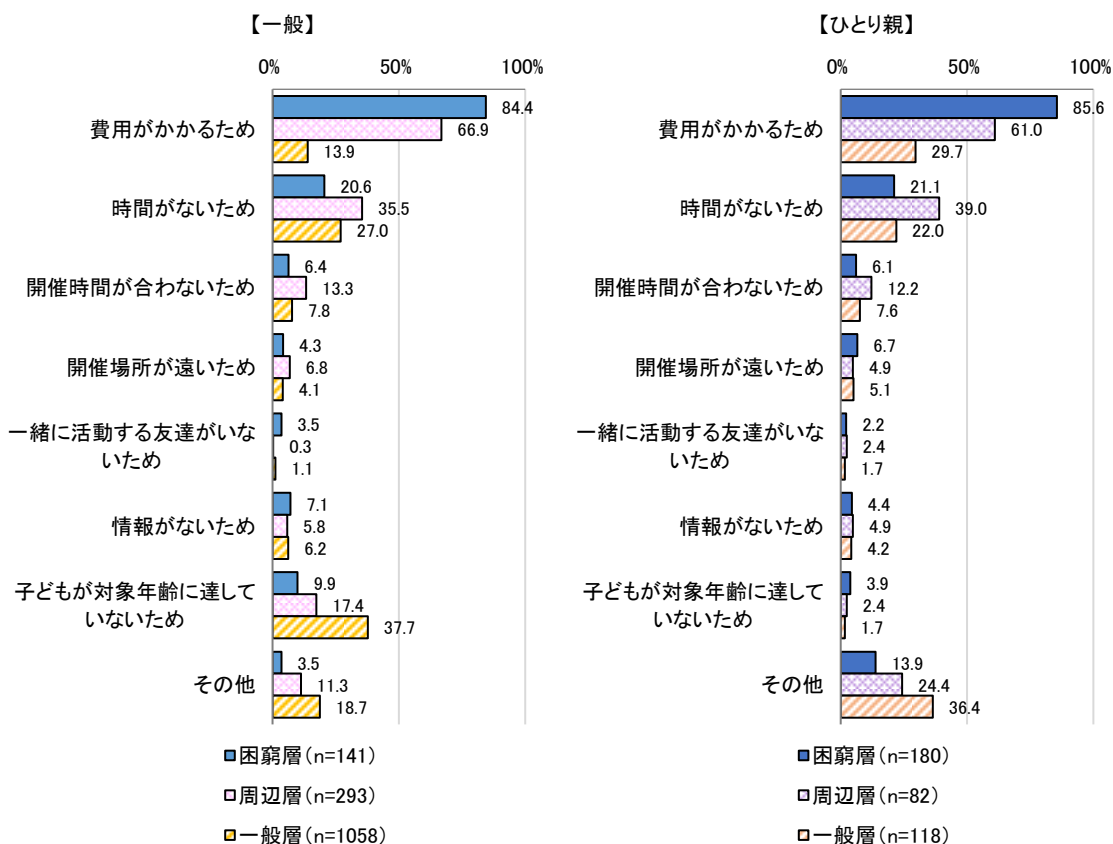
- ・「している」の割合は、小学生保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層、周辺層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（音楽、習字、絵画等の習い事やクラブに通う）

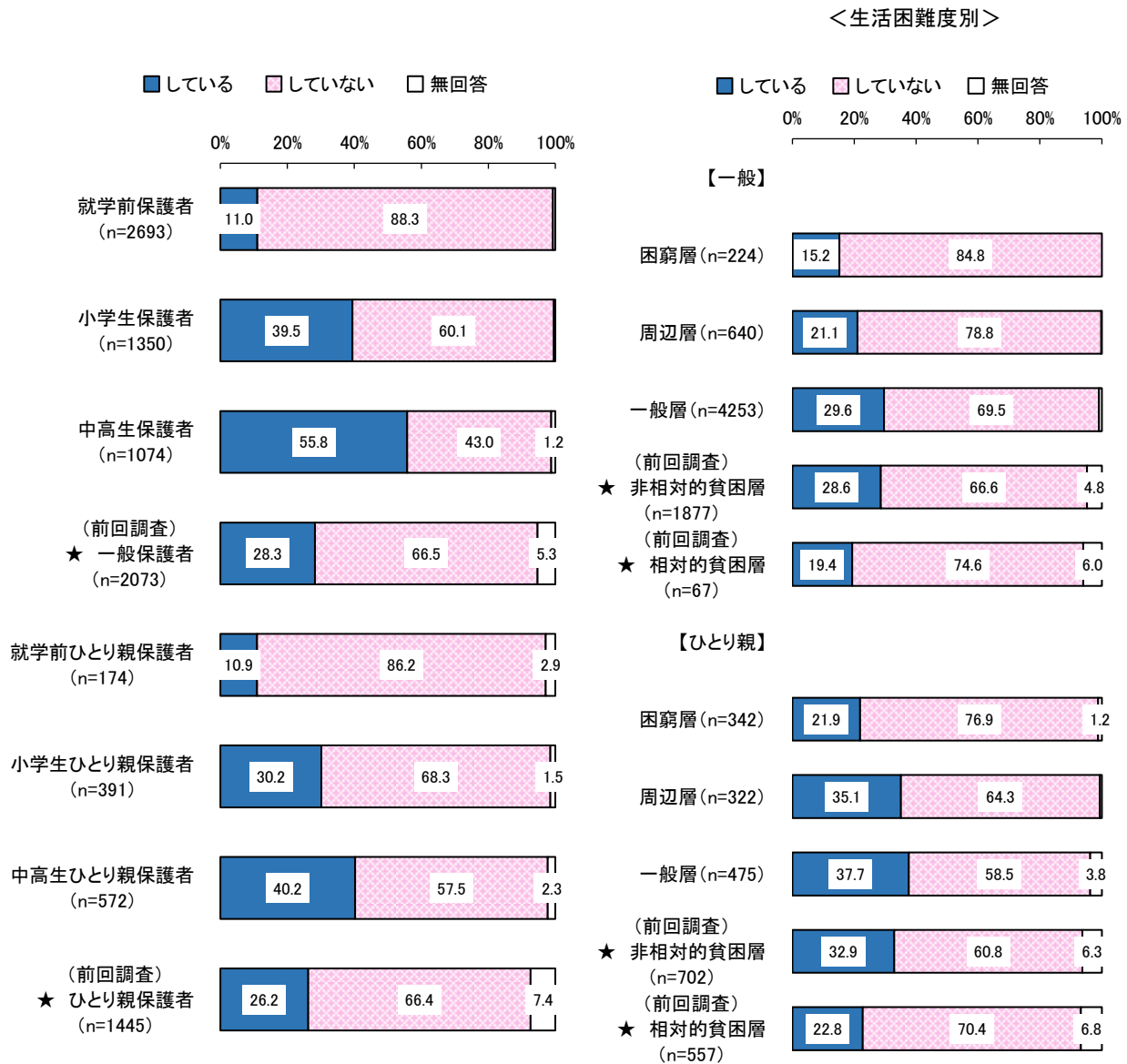


<生活困難度別>

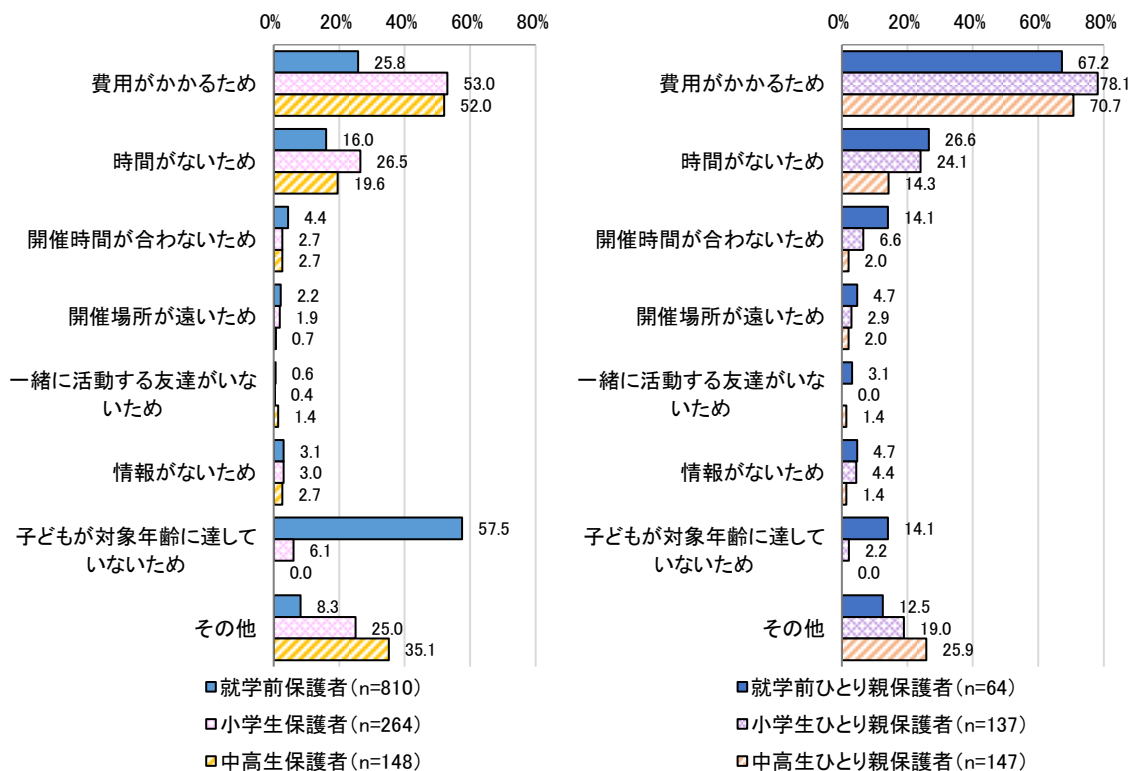


●学習教室に通う（または家庭教師に来てもらう）

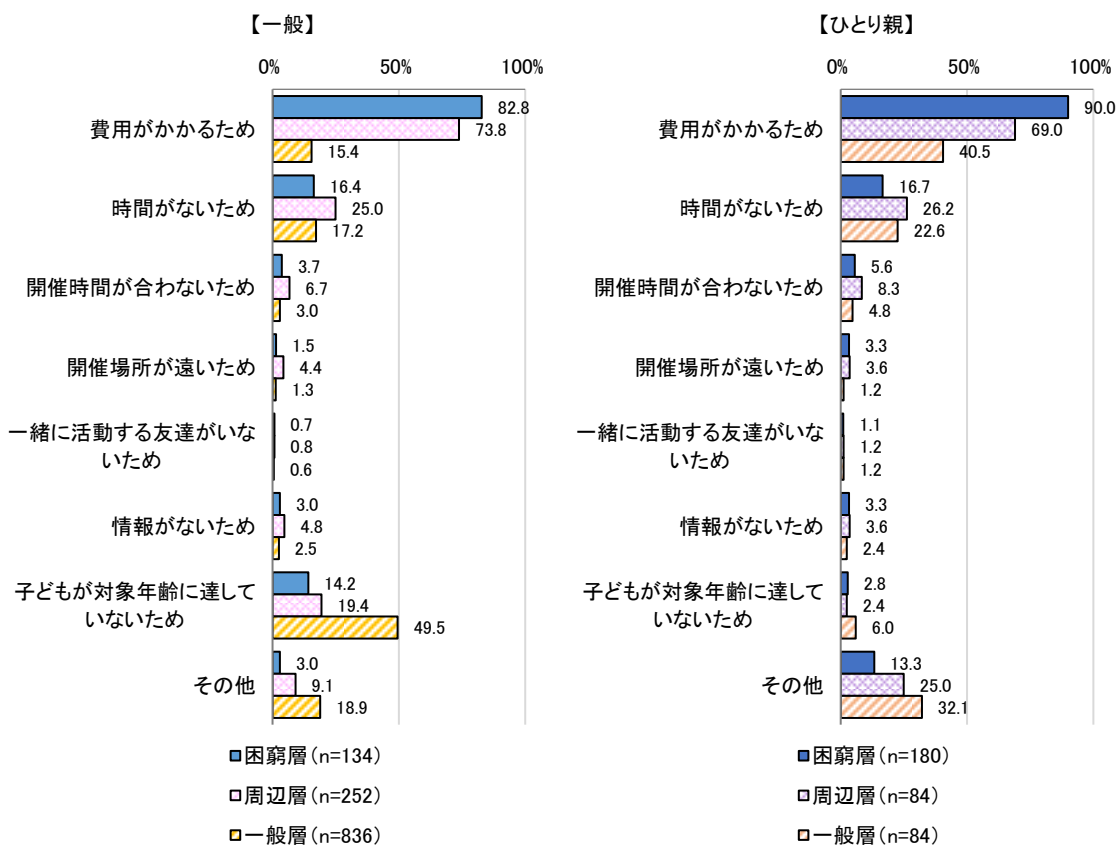
- ・「している」の割合は、中高生保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層、周辺層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（学習教室に通う（または家庭教師に来てもらう））

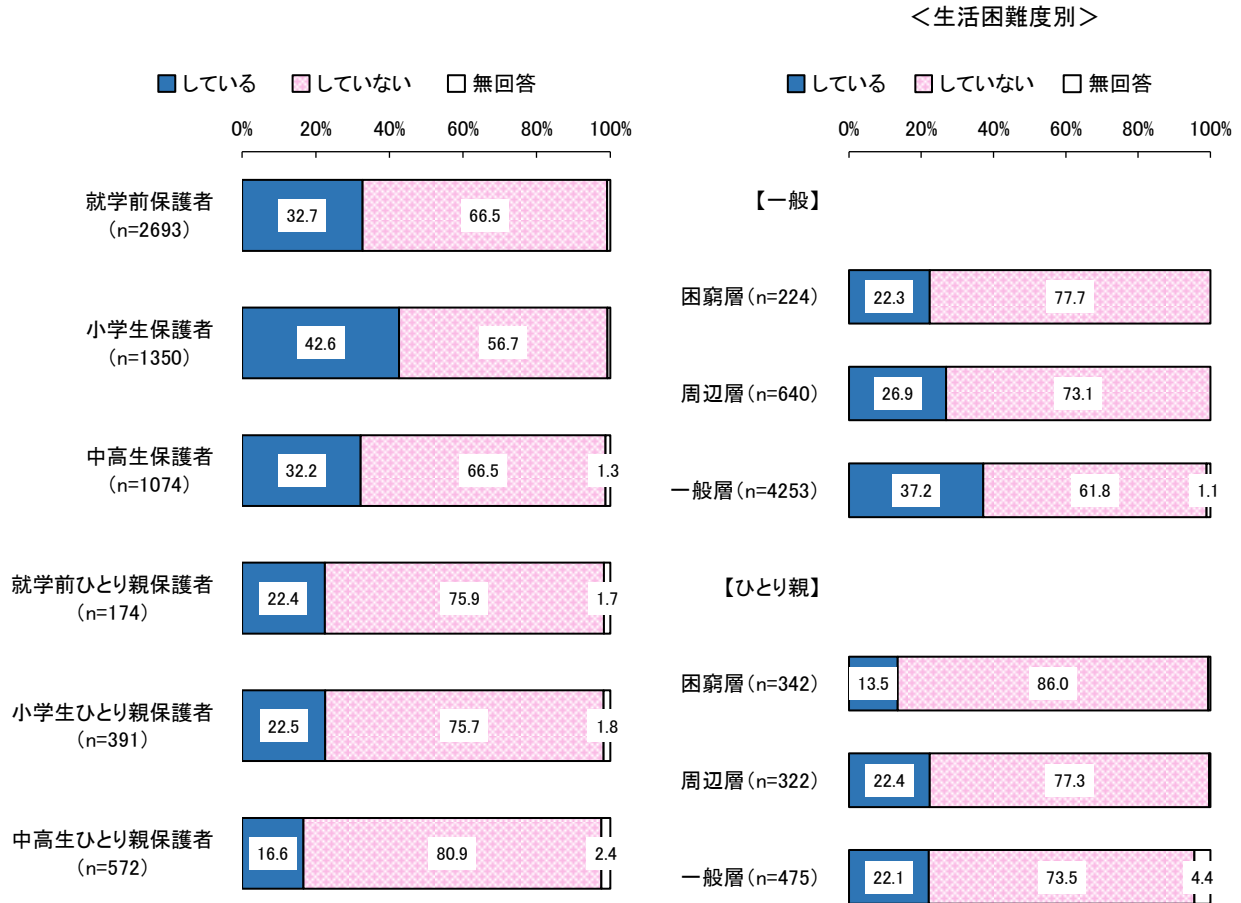


<生活困難度別>

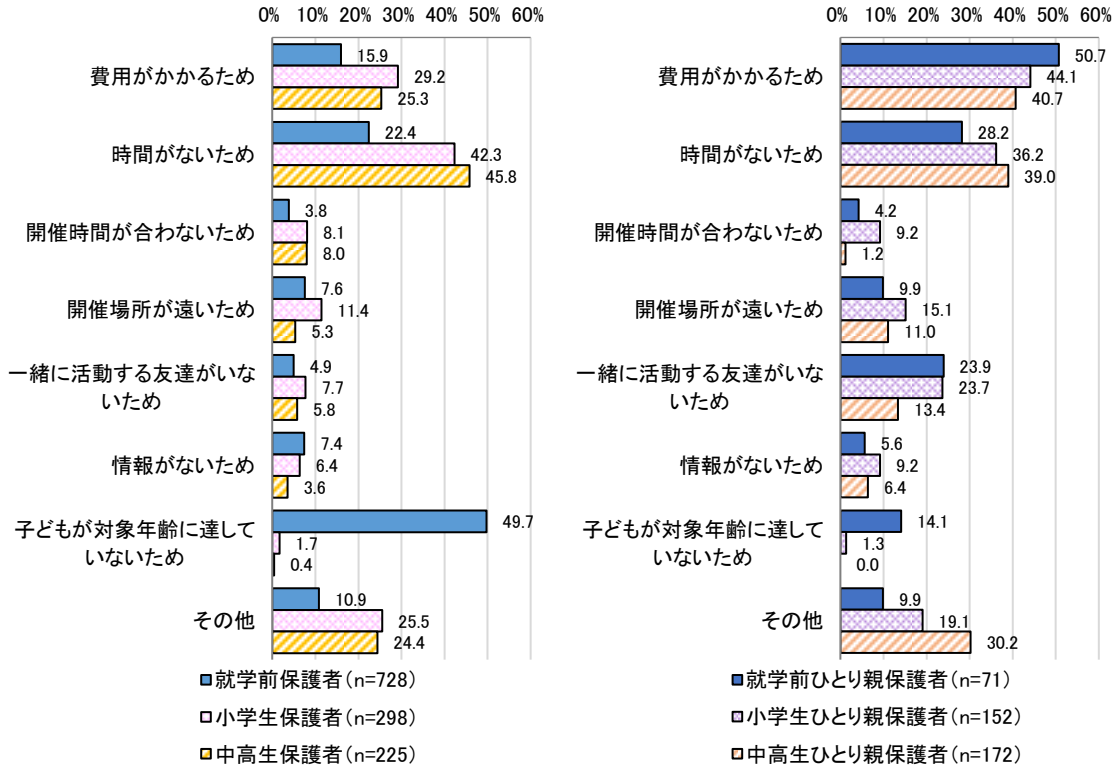


●キャンプやバーベキューなどの野外活動をする

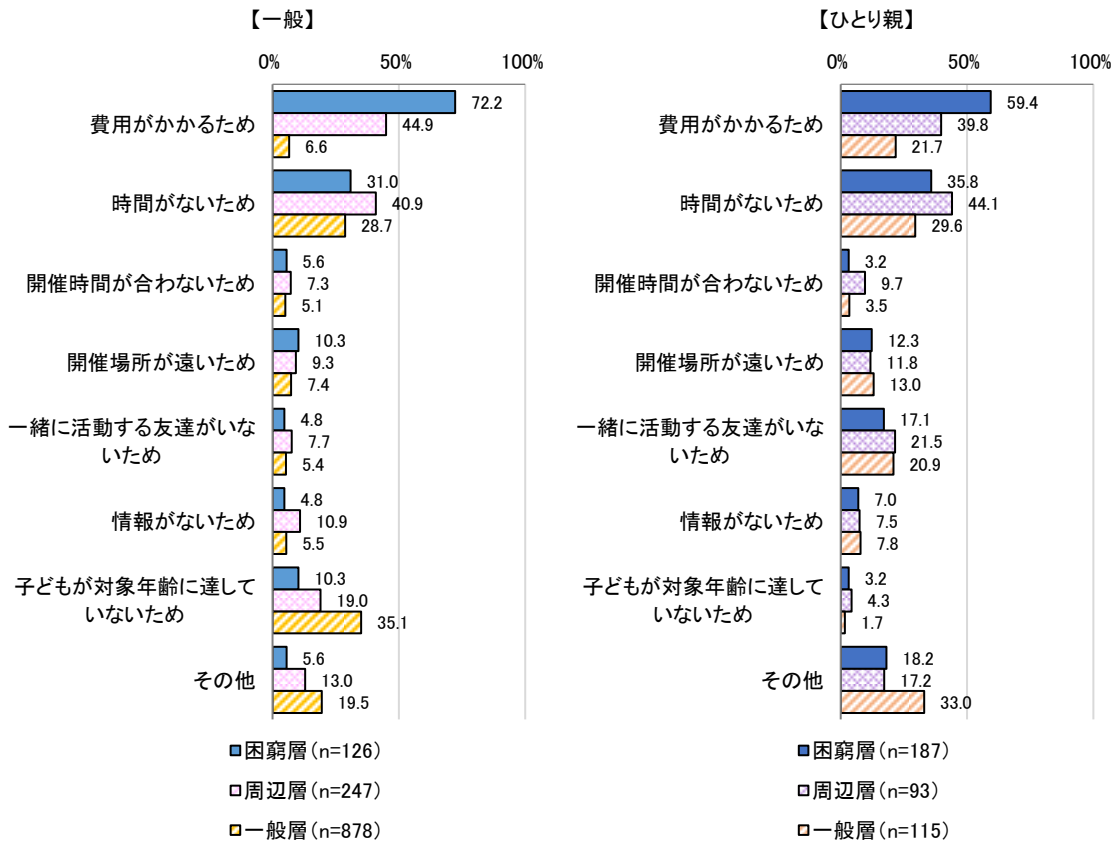
- ・「している」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・一般世帯、ひとり親世帯ともに小中高生の保護者で「時間がないため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（キャンプやバーベキューなどの野外活動をする）



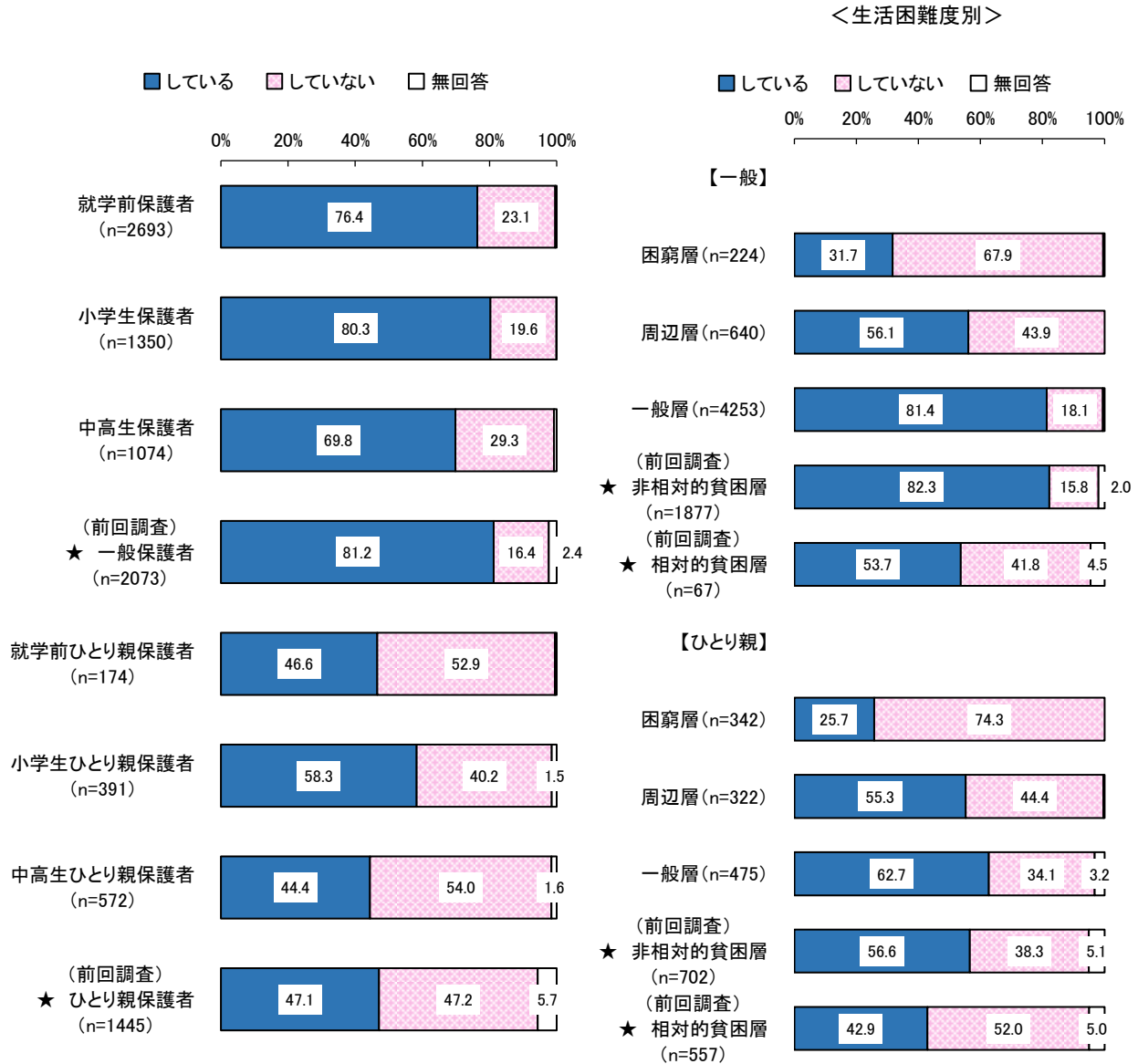
<生活困難度別>



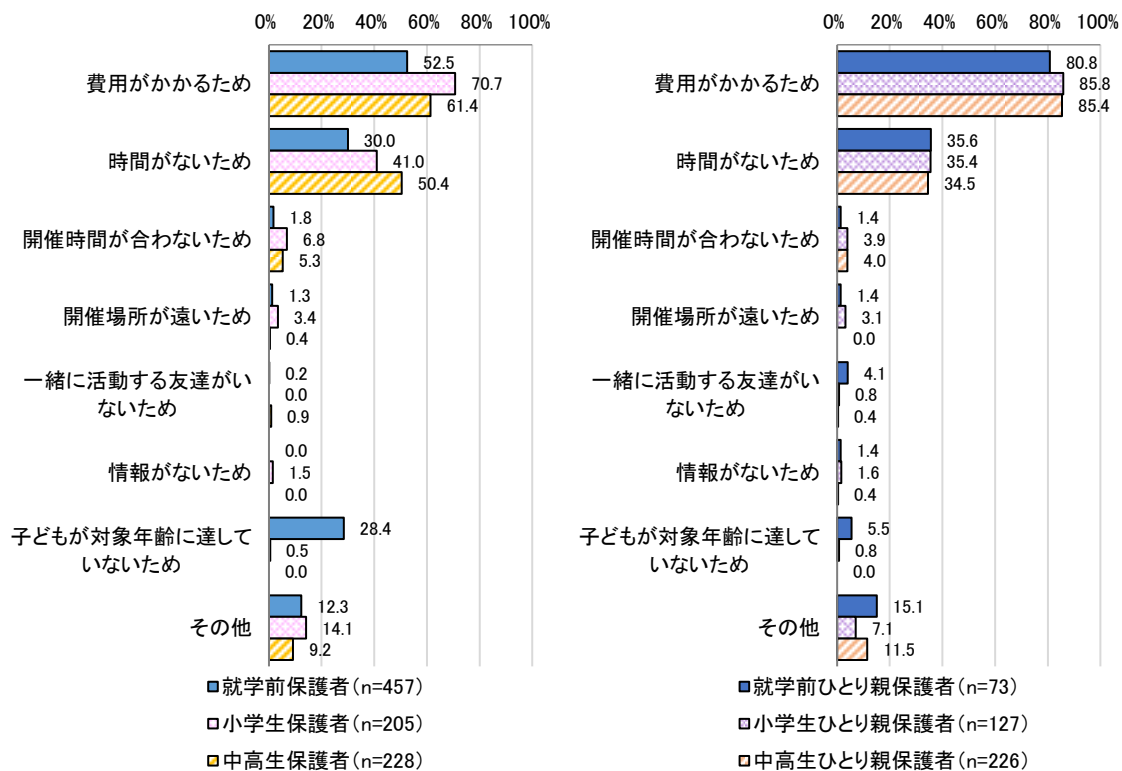
●旅行に行く

(※前回調査では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」)

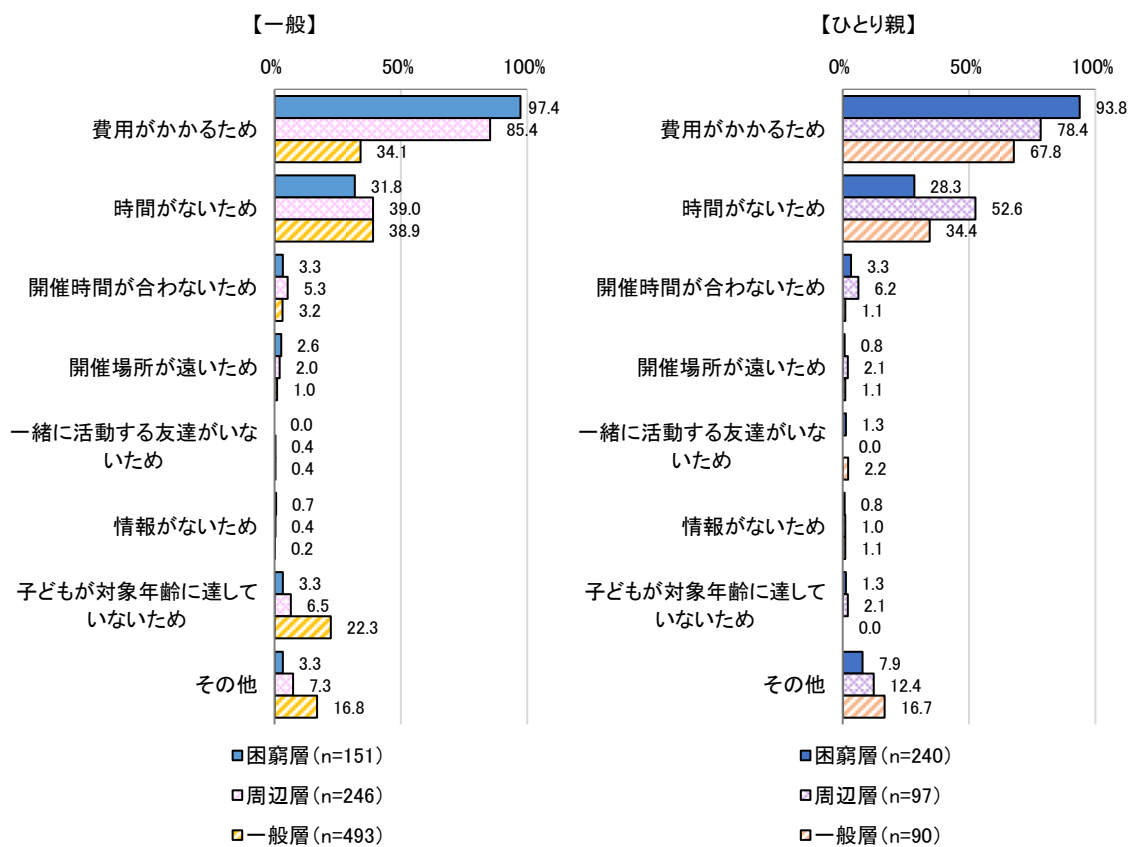
- ・「している」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層、周辺層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（旅行に行く）

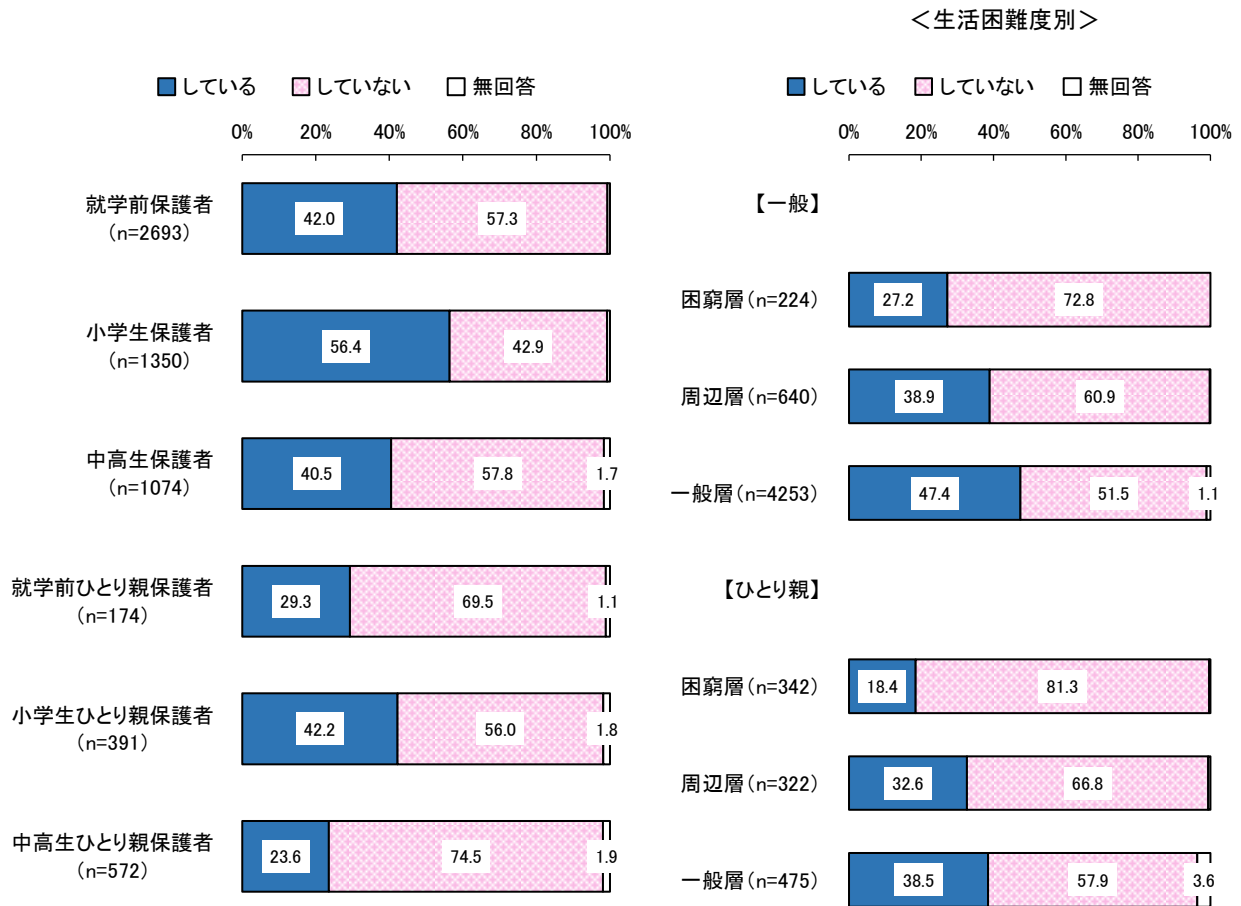


<生活困難度別>

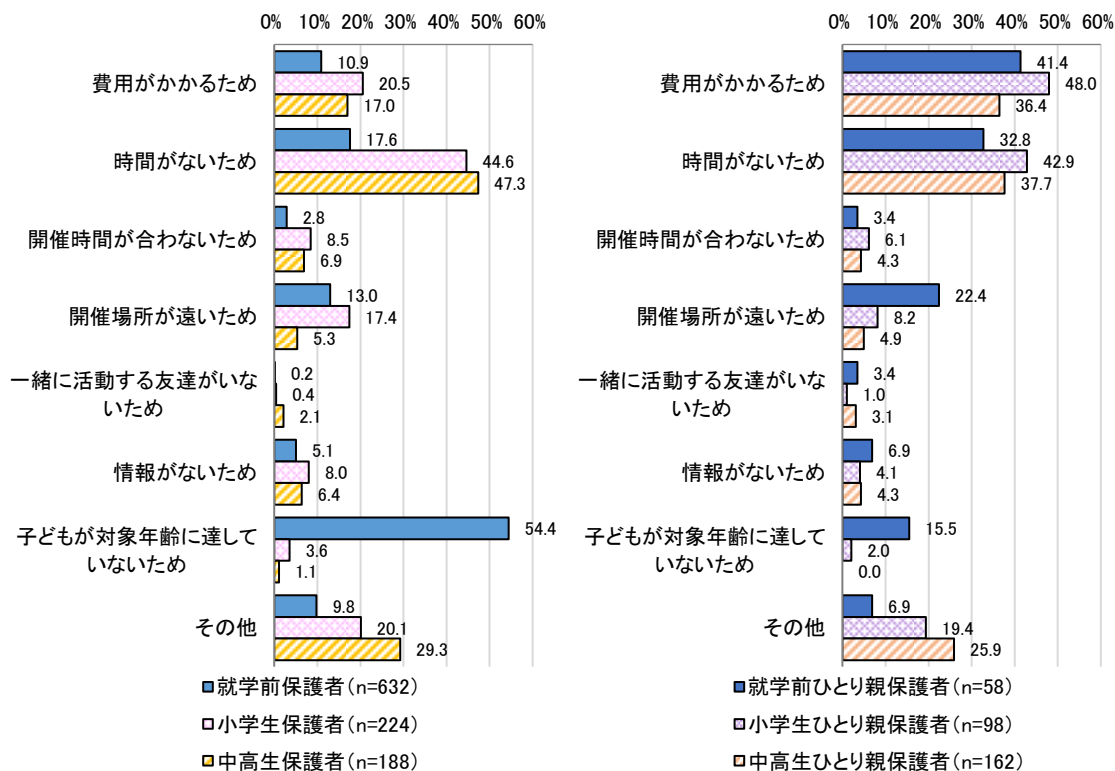


●美術館、博物館、科学館に行く

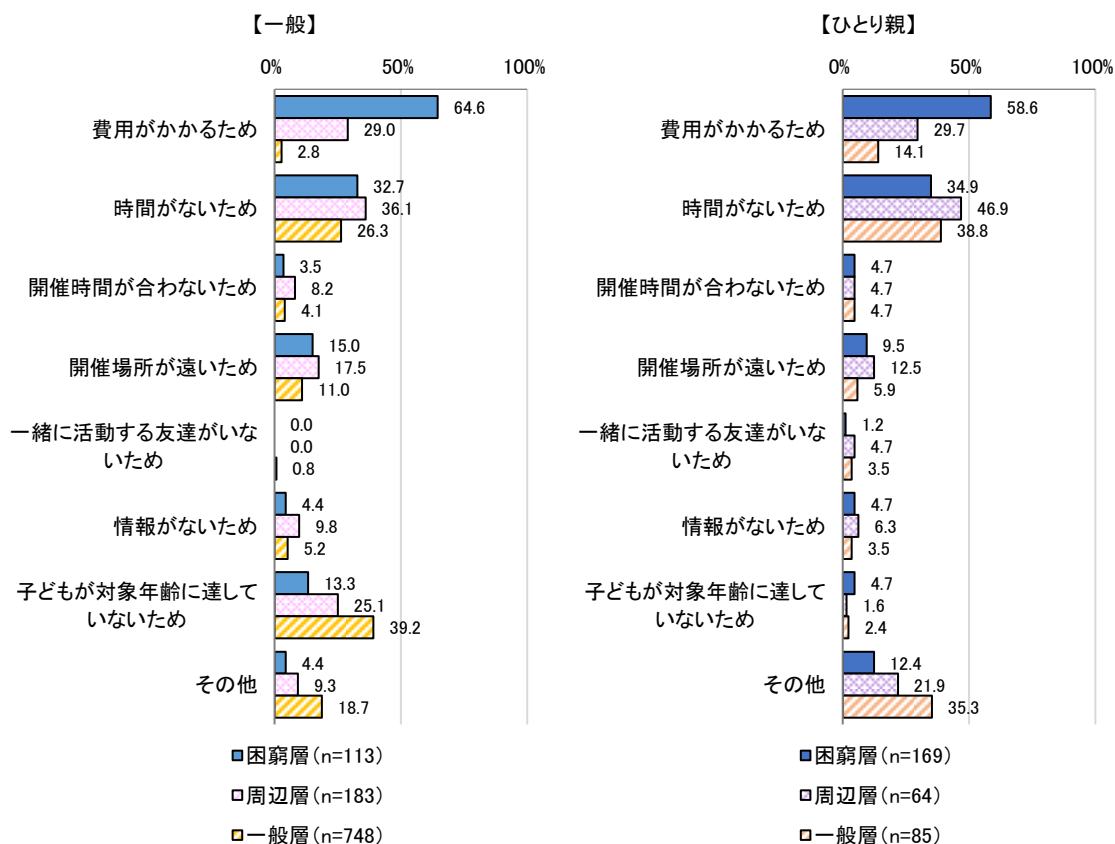
- ・「している」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・一般世帯、ひとり親世帯ともに小中高生の保護者で「時間がないため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（美術館、博物館、科学館に行く）

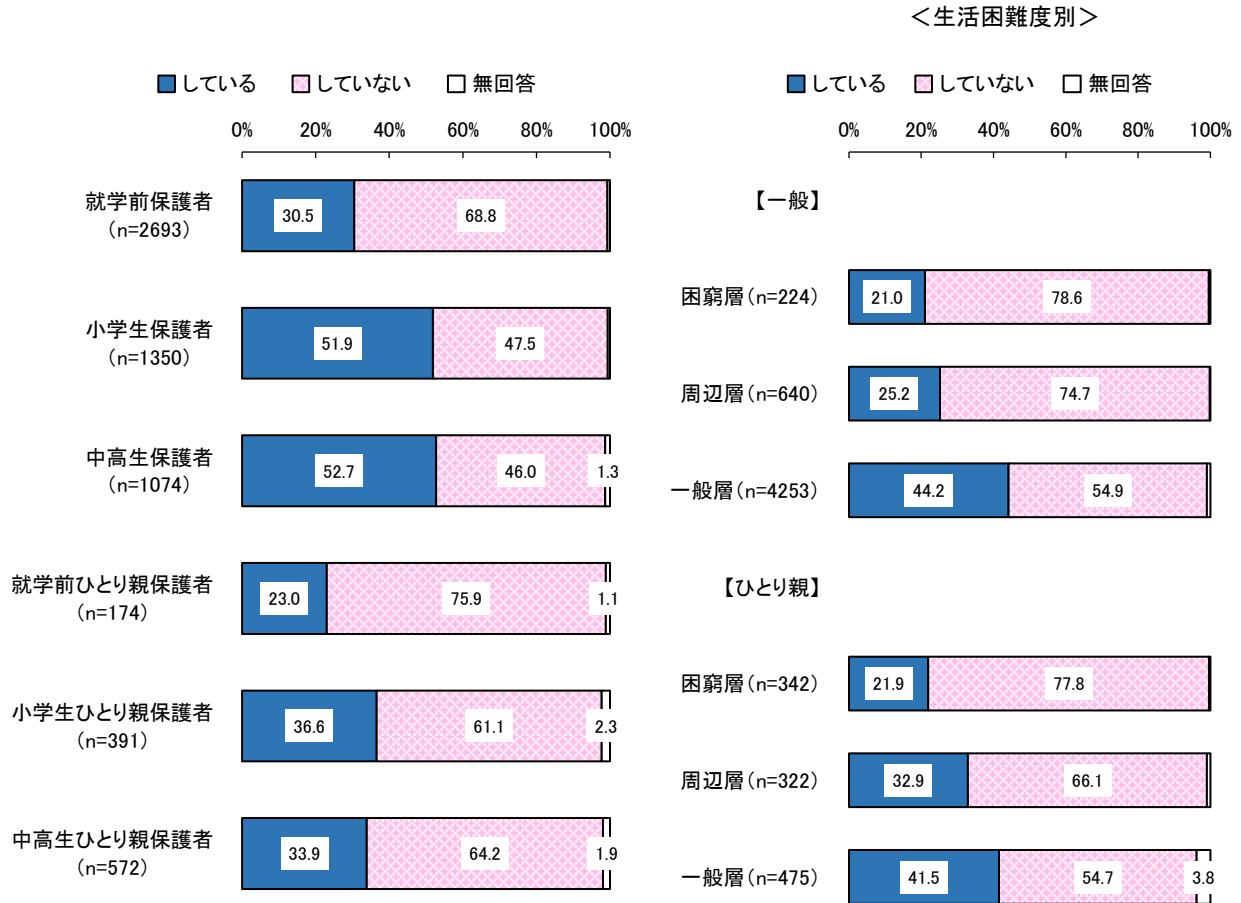


<生活困難度別>

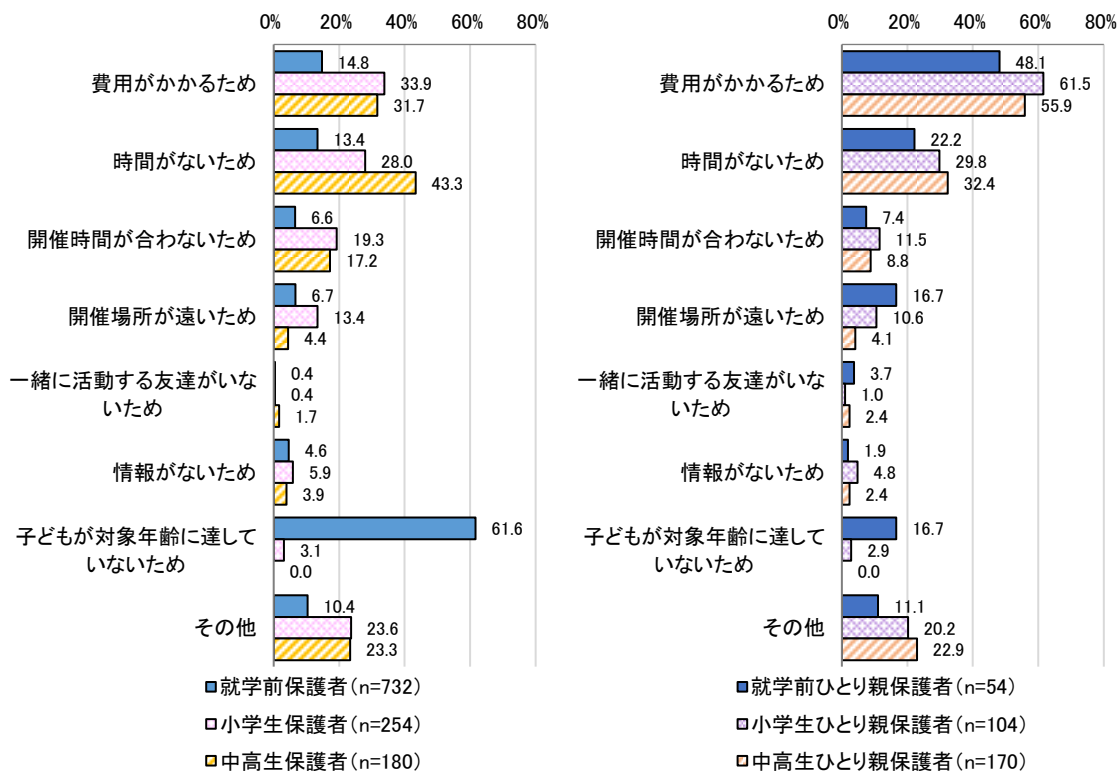


●スポーツ観戦や劇場に行く

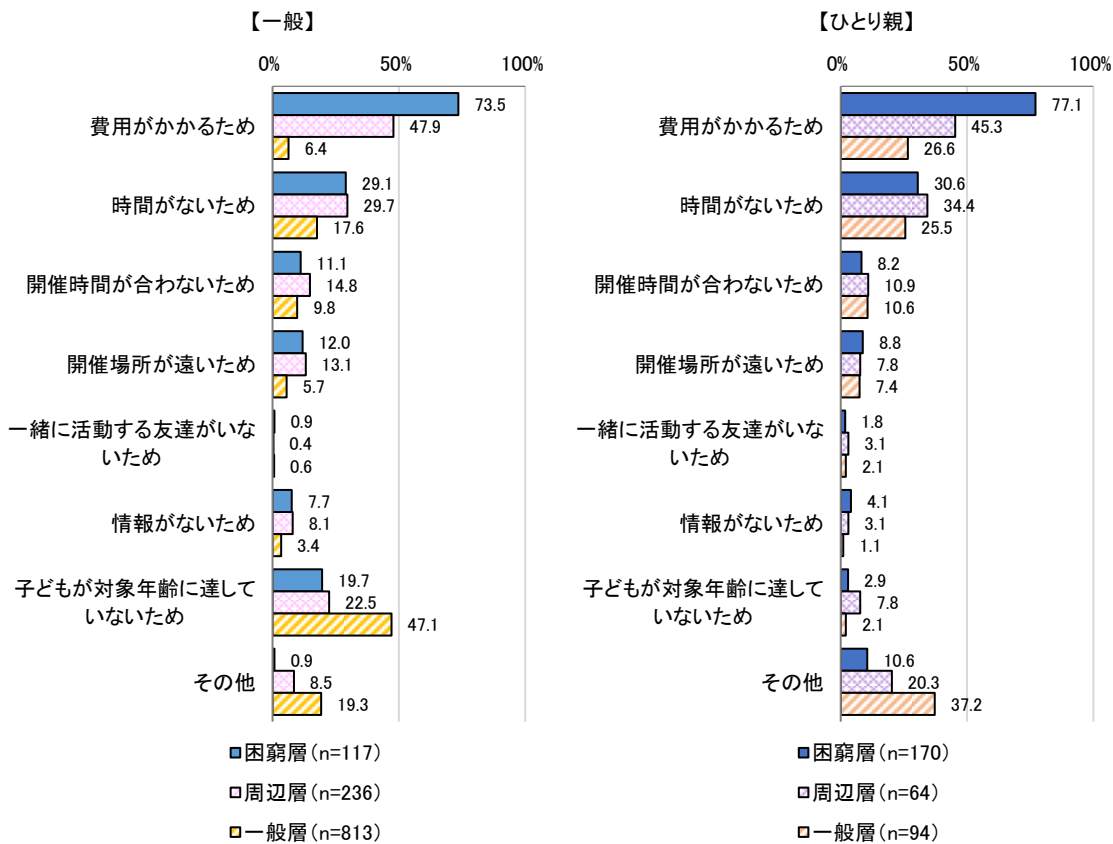
- ・「している」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（スポーツ観戦や劇場に行く）

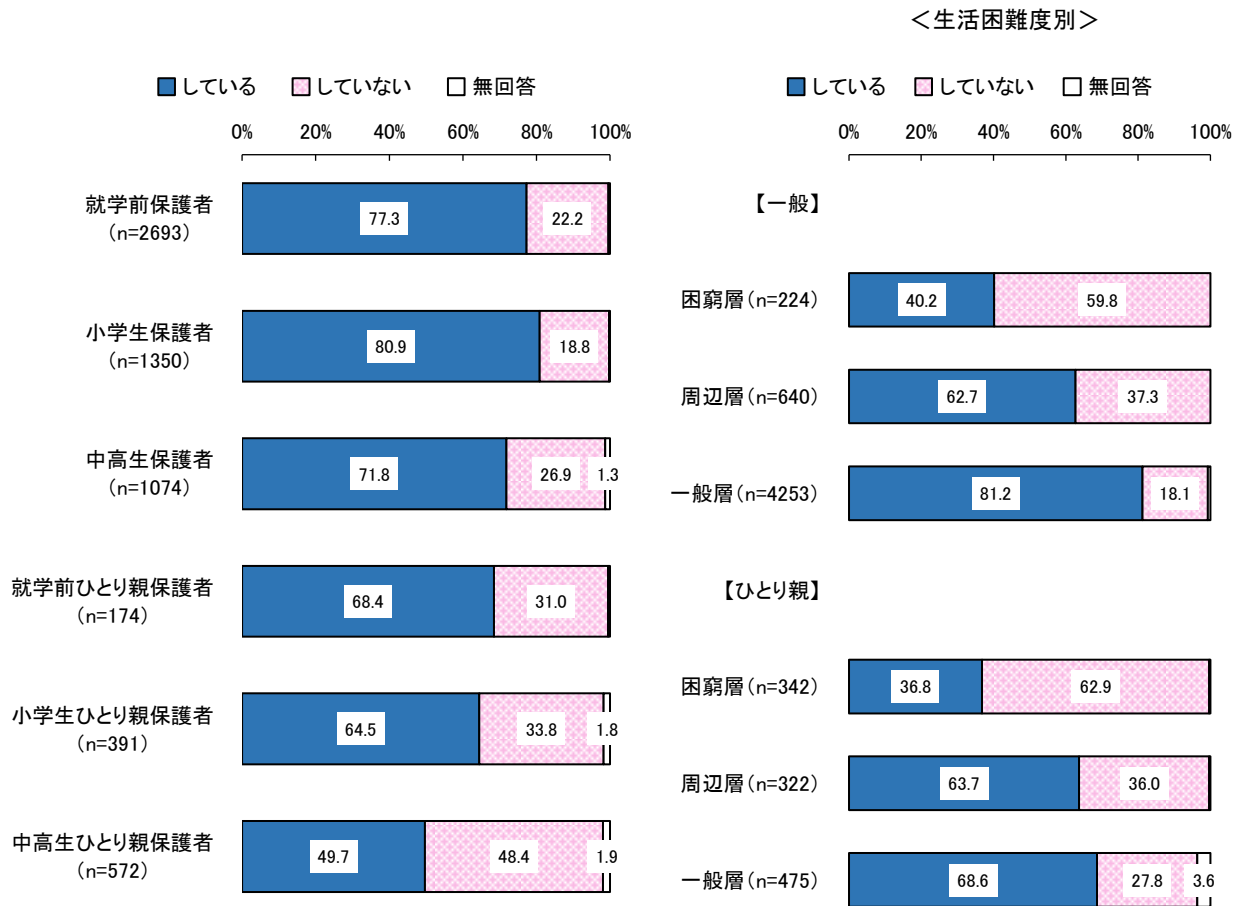


<生活困難度別>

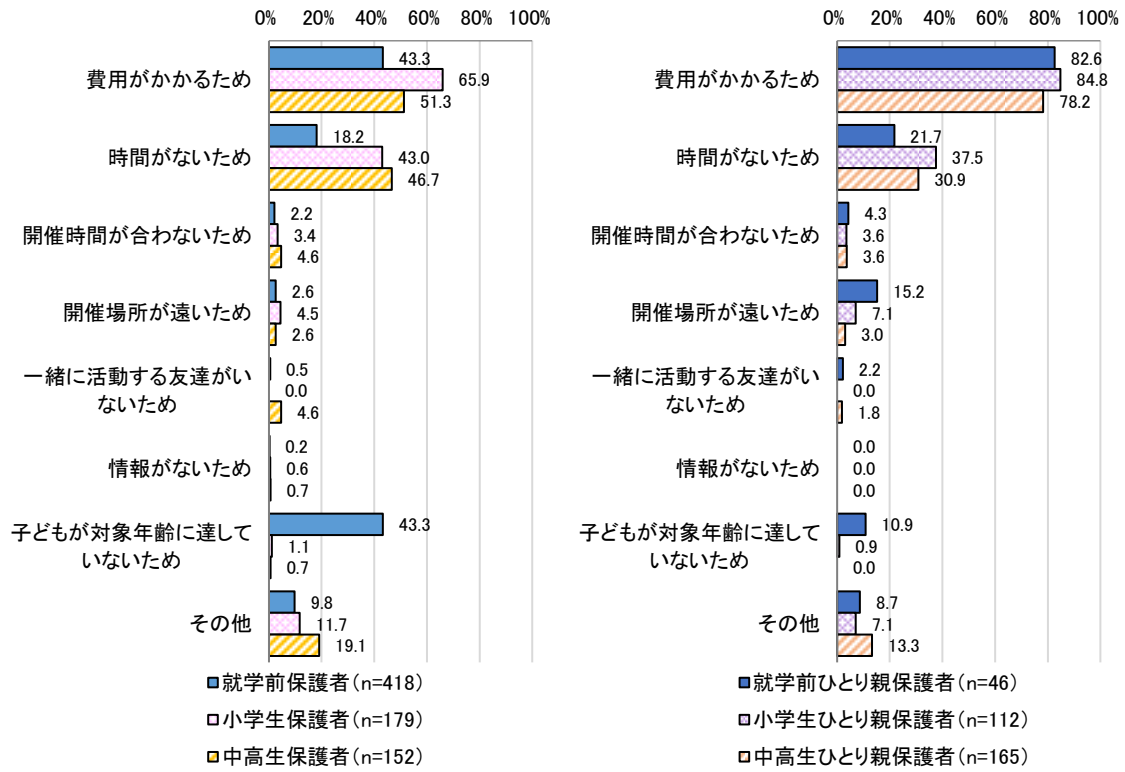


●遊園地やテーマパークに行く

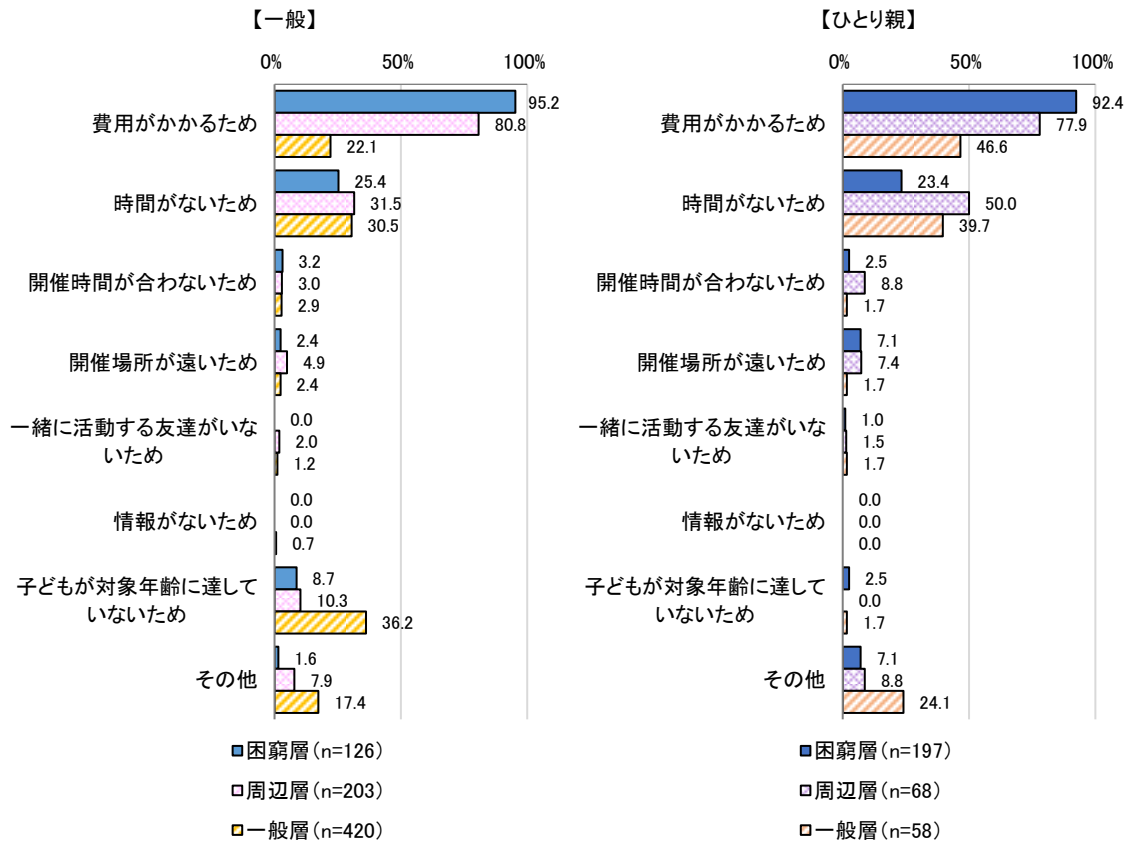
- ・「している」の割合は、中高生ひとり親保護者で低い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層、周辺層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（遊園地やテーマパークに行く）

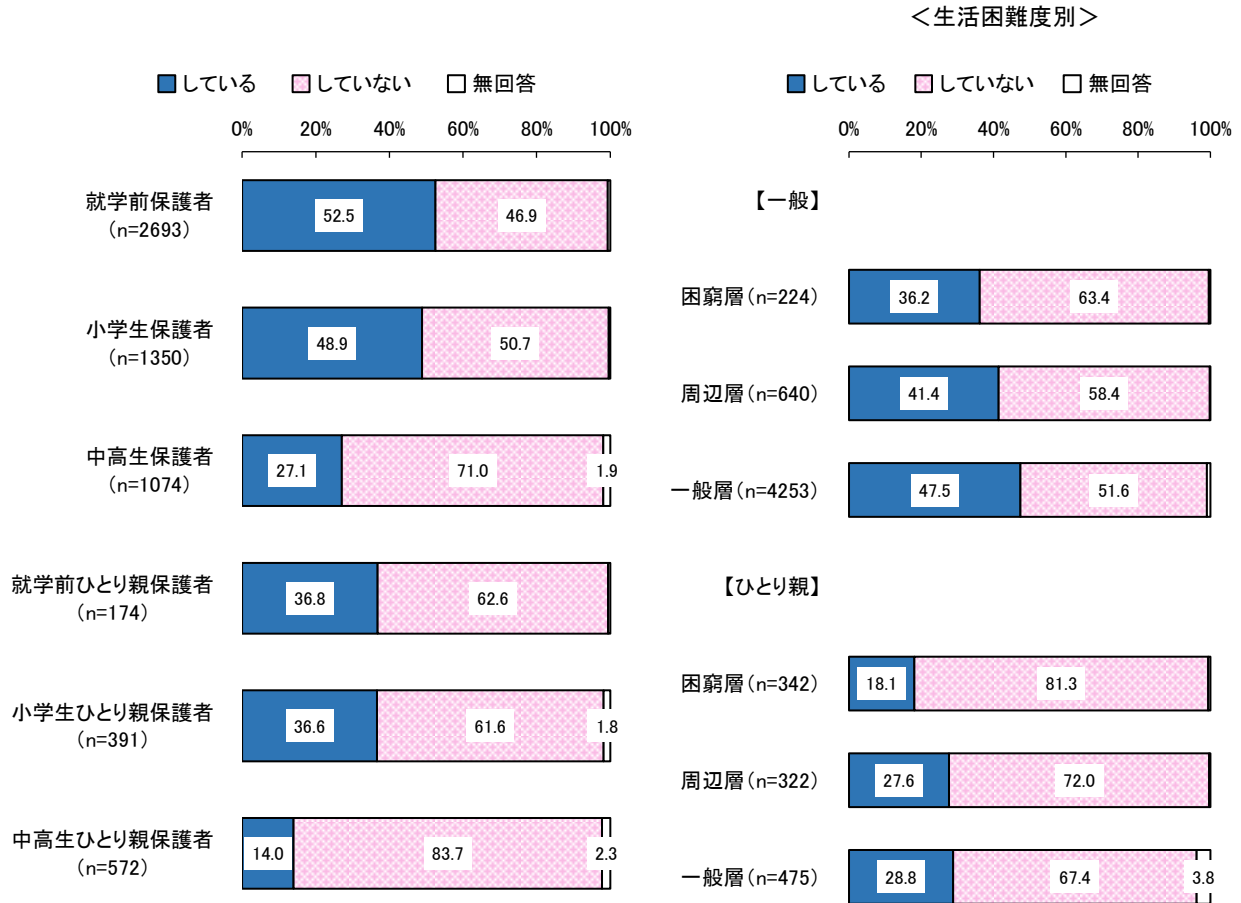


<生活困難度別>

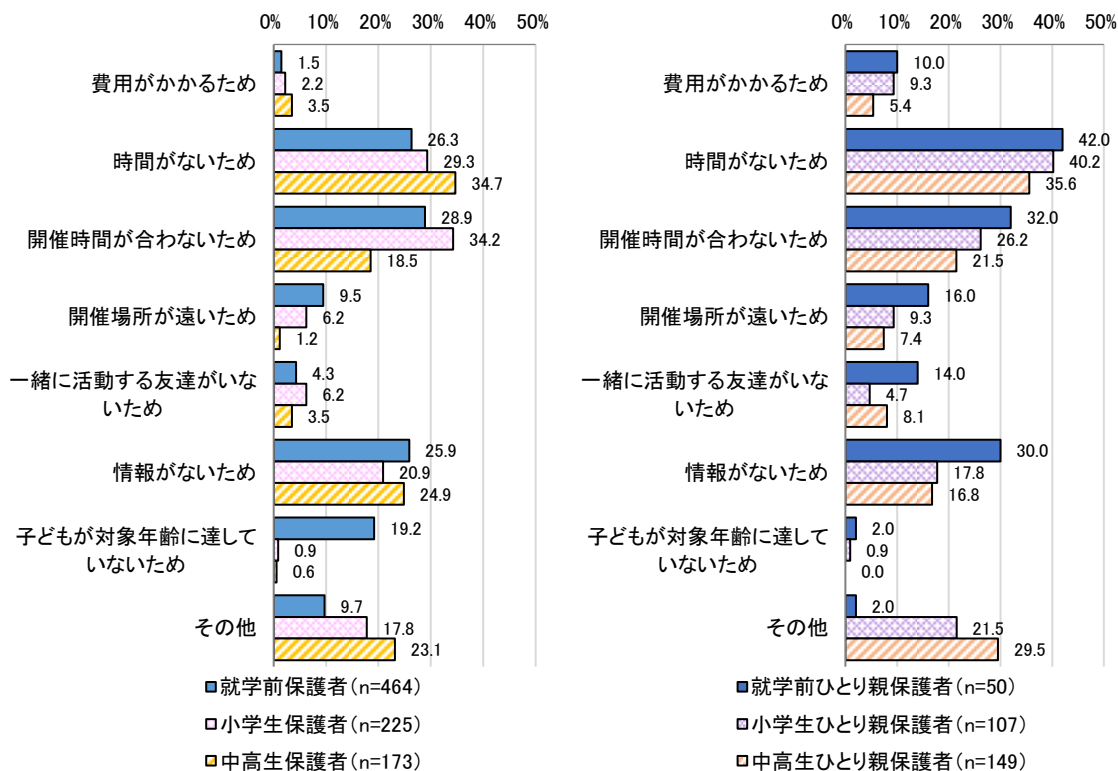


●公共施設などで行われる、無料の教室やイベントに参加する

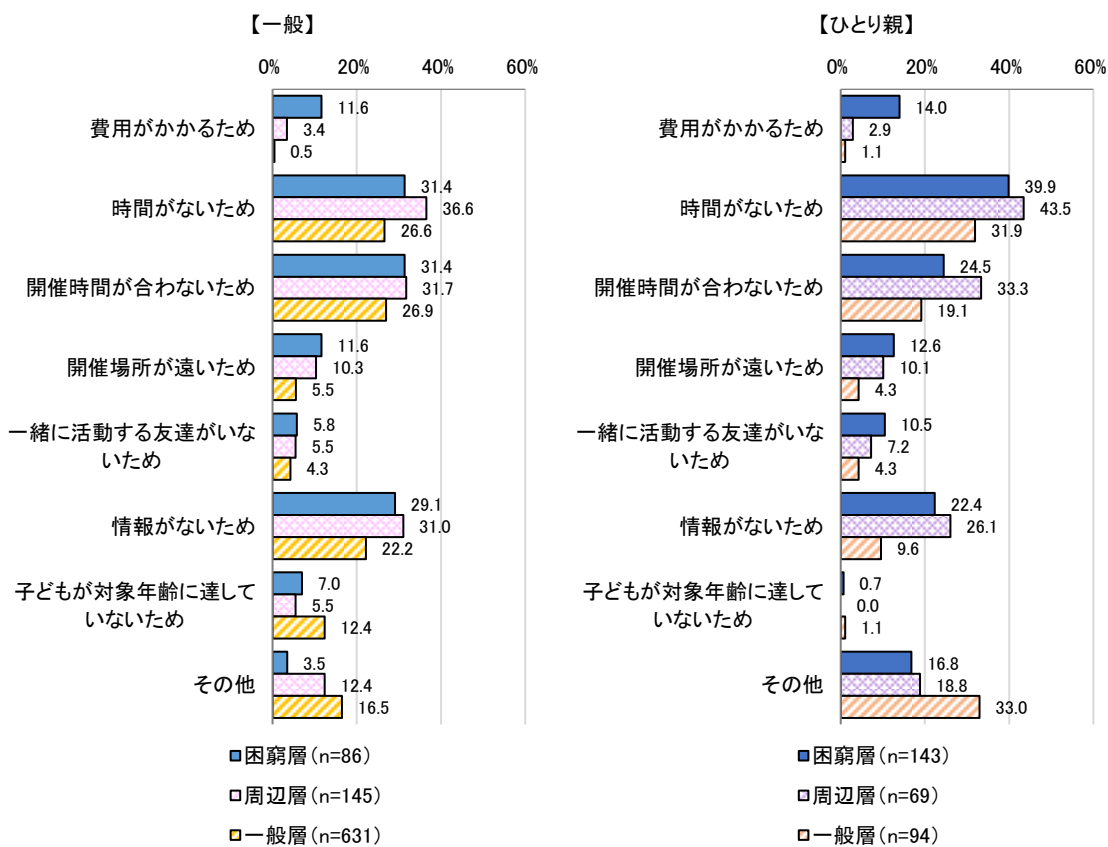
- ・「している」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・「している」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに中高生の保護者で低い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「時間がないため」の割合が高い。
- ・いずれの世帯でも「時間がないため」、「開催時間が合わないため」、「情報がなかったため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（公共施設などで行われる、無料の教室やイベントに参加する）



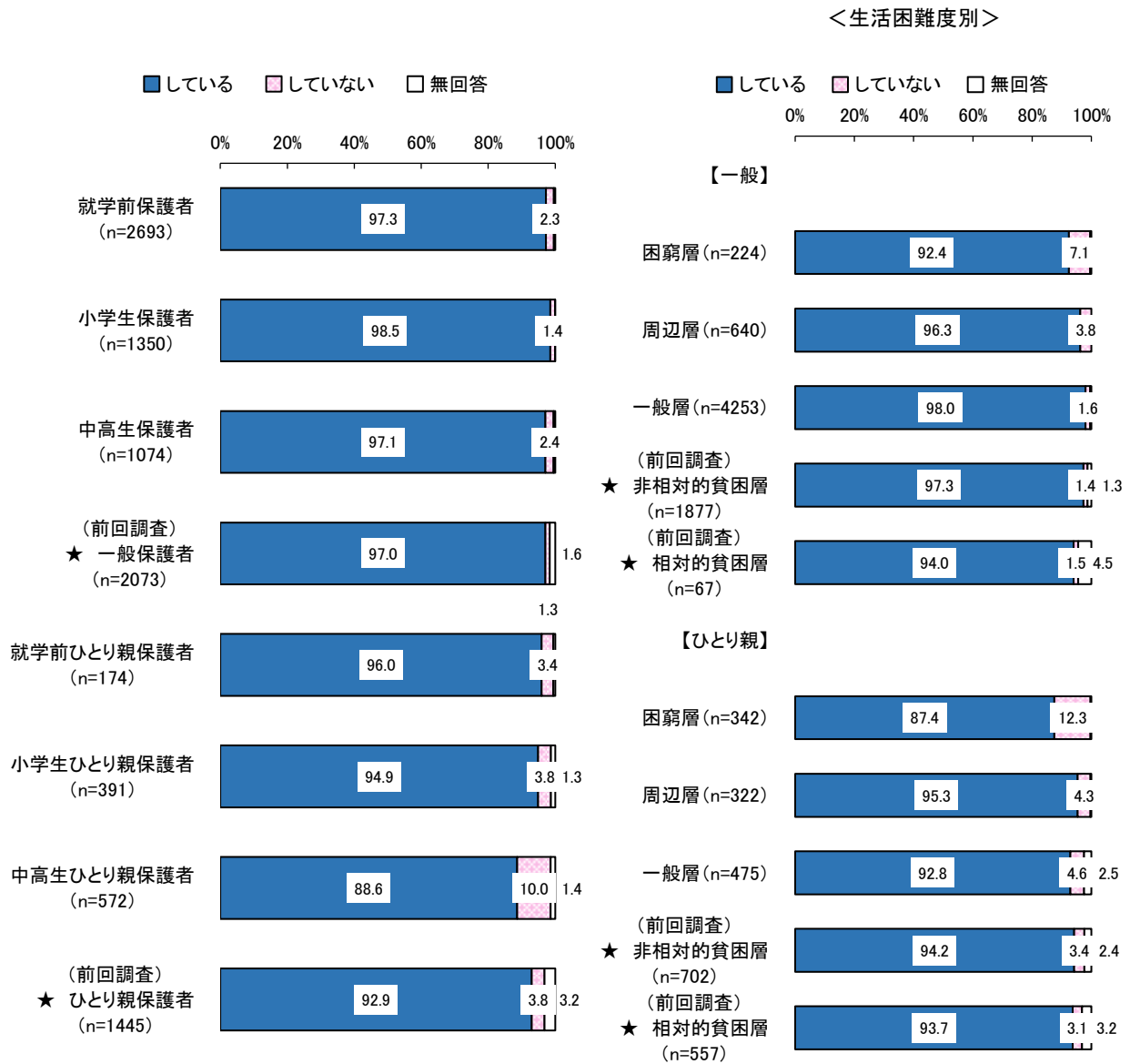
<生活困難度別>



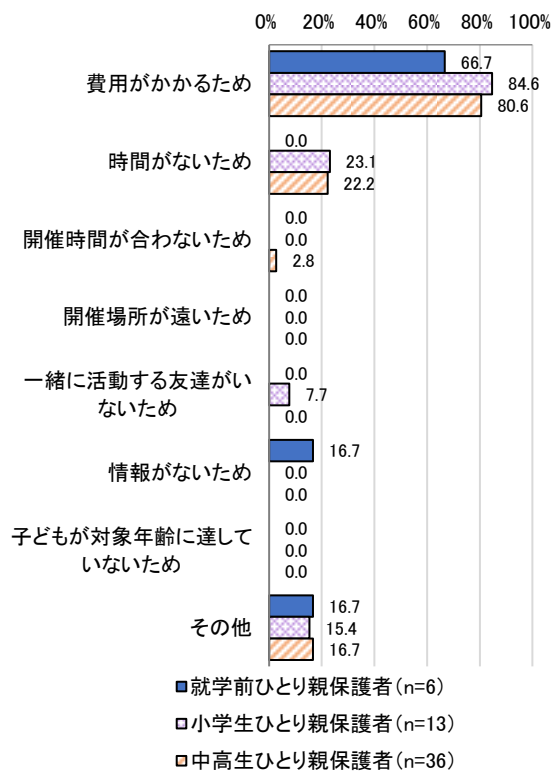
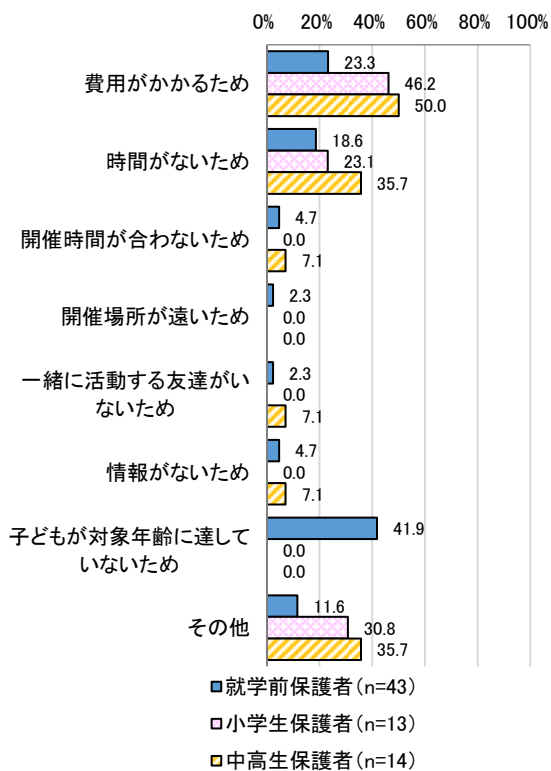
●誕生日祝いやクリスマス・お正月などの季節の行事を行っている

(※前回調査では、「お誕生日のお祝いをする」)

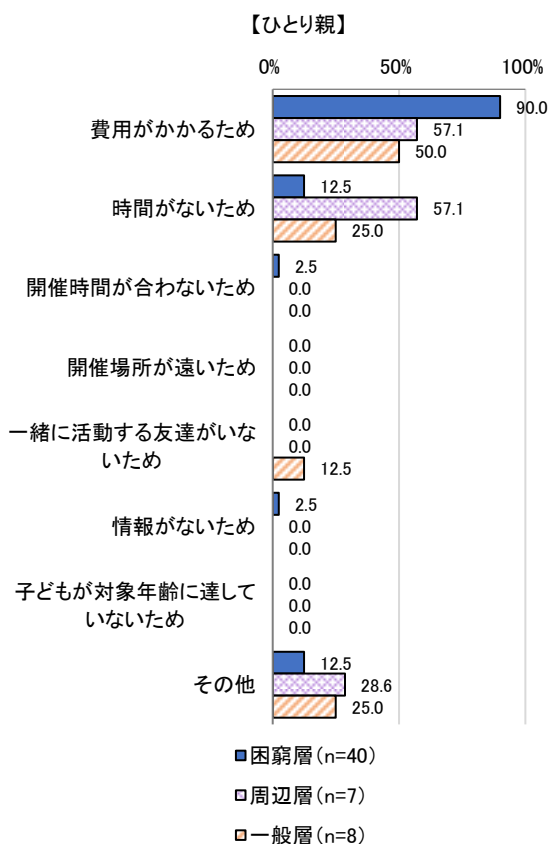
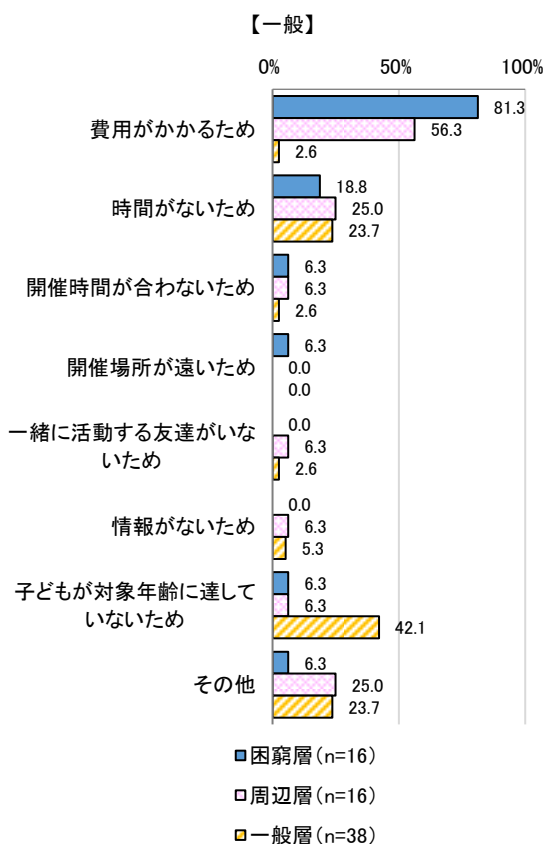
- ・いずれの世帯でも約9割が「している」と回答している。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「している」の割合が最も低い。
- ・「したいができなかった」理由について、ひとり親世帯で「費用がかかるため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯ともに困窮層で「費用がかかるため」の割合が高い。



「したいができなかった」理由（誕生日祝いやクリスマス・お正月などの季節の行事を行っている）



<生活困難度別>



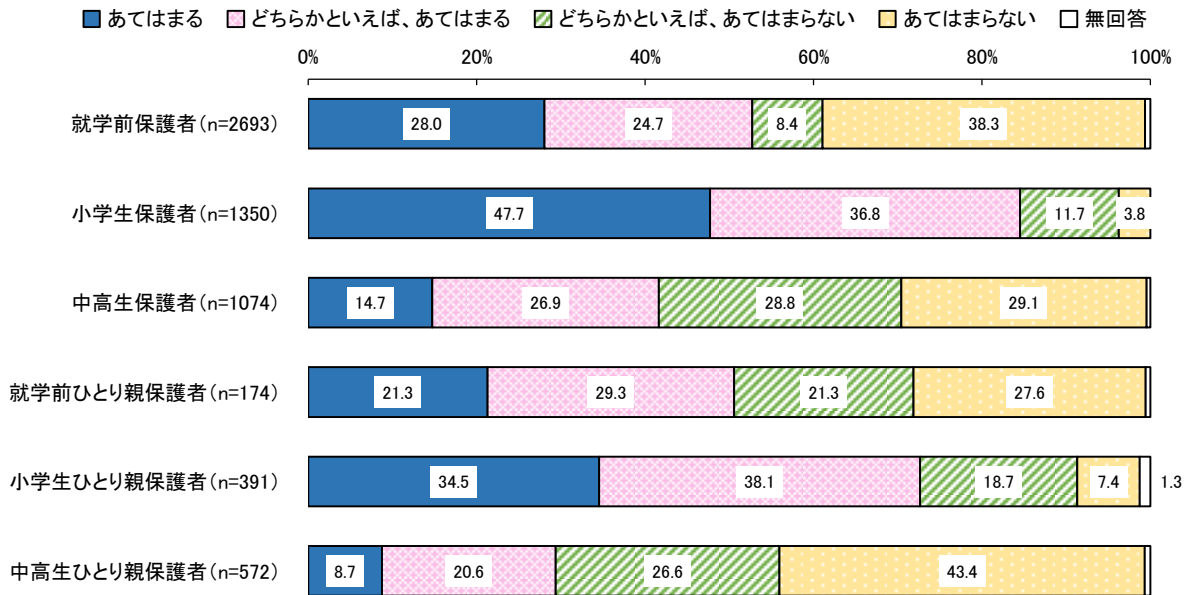
(3) 子どもとのかかわり方

問 あなたとお子さんのかかわり方について、あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

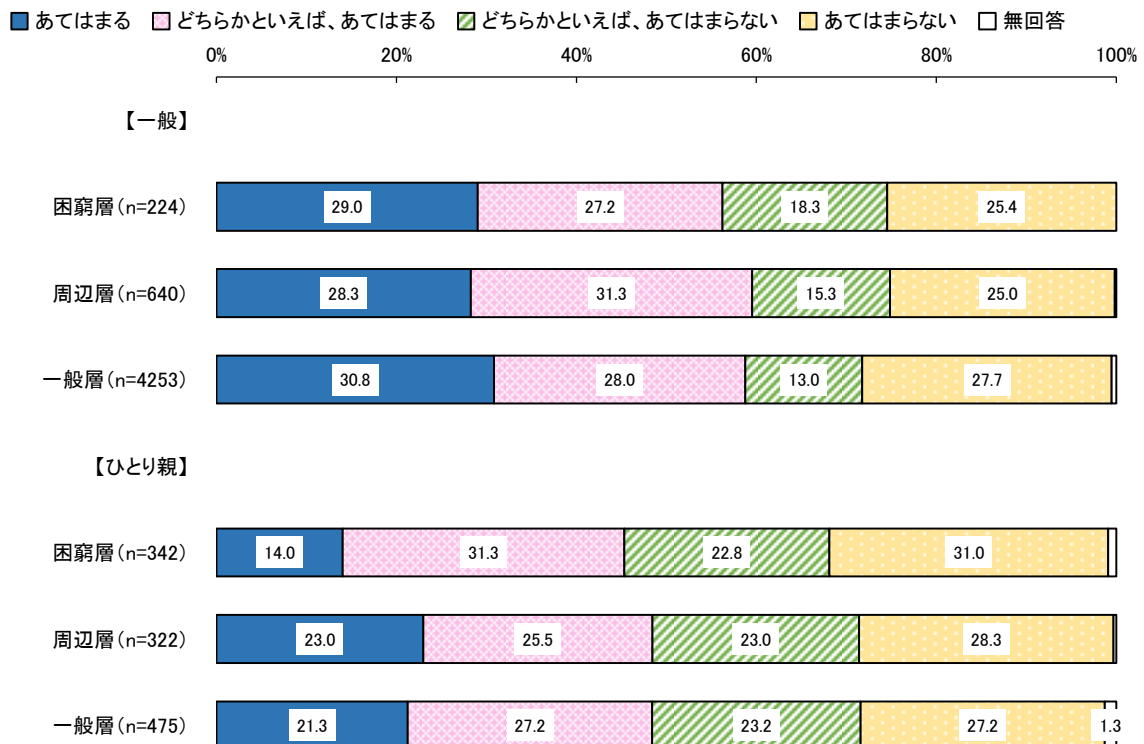
就問8、小問9、中高問9、ひ問7、ひ就問10、ひ小問10、ひ中高問10

① お子さんの勉強をみる

- ・「あてはまる」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに小学生保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「あてはまる」の割合が最も低い。

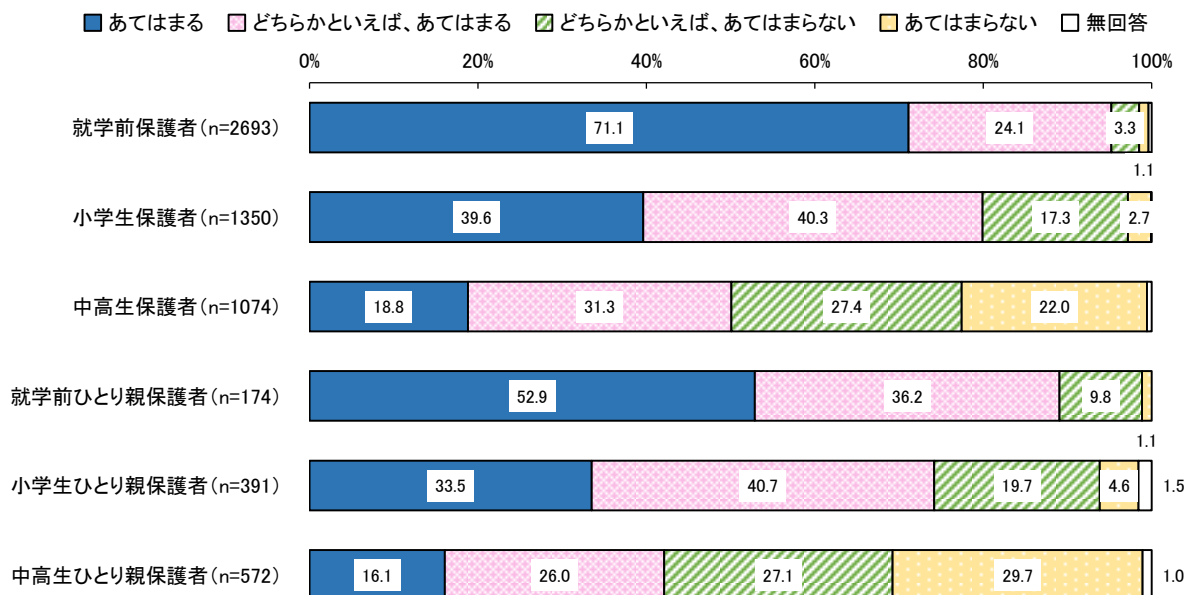


<生活困難度別>

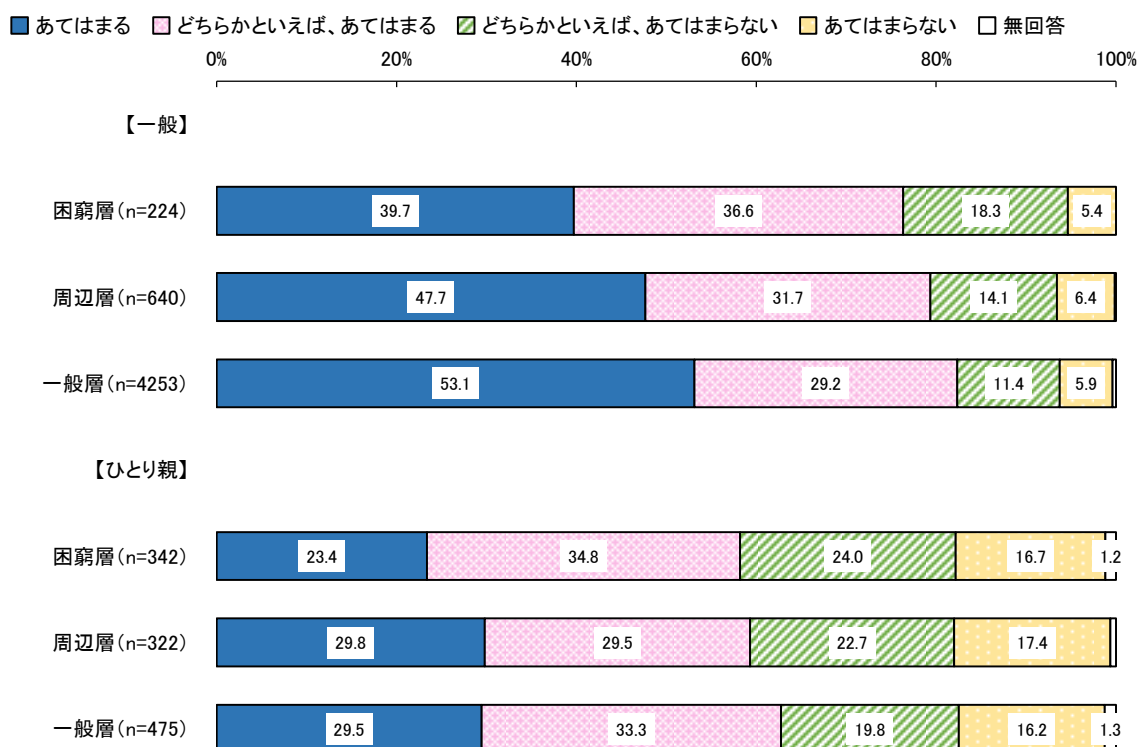


② お子さんと一緒に遊ぶ（室内遊び・屋外・ゲーム含む）

- ・「あてはまる」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに就学前保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「あてはまる」の割合が最も低い。

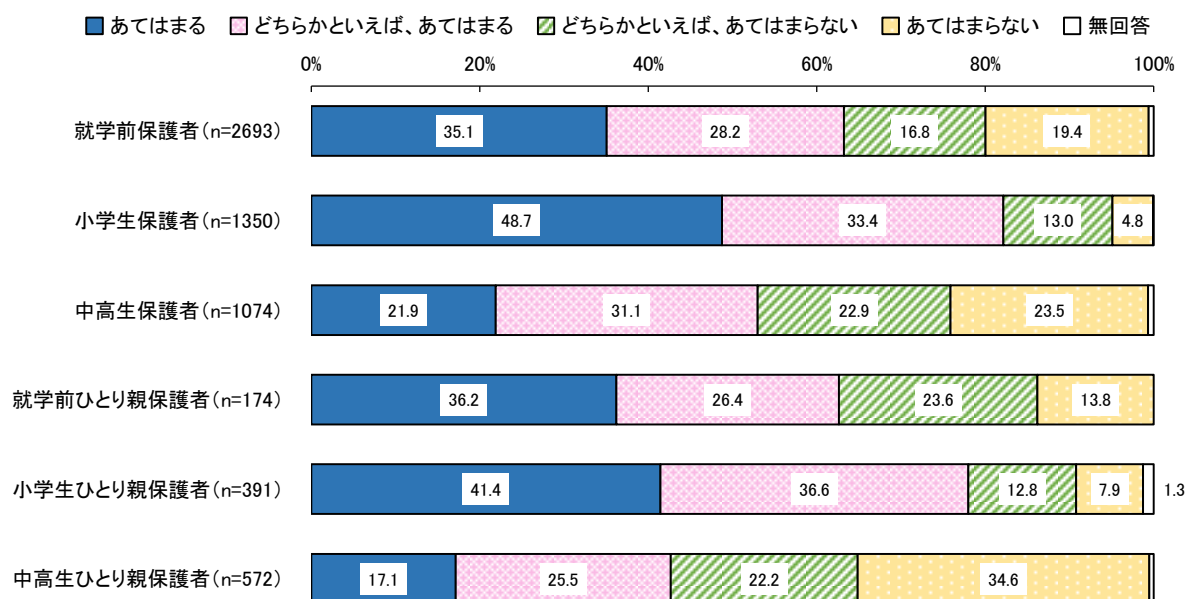


<生活困難度別>

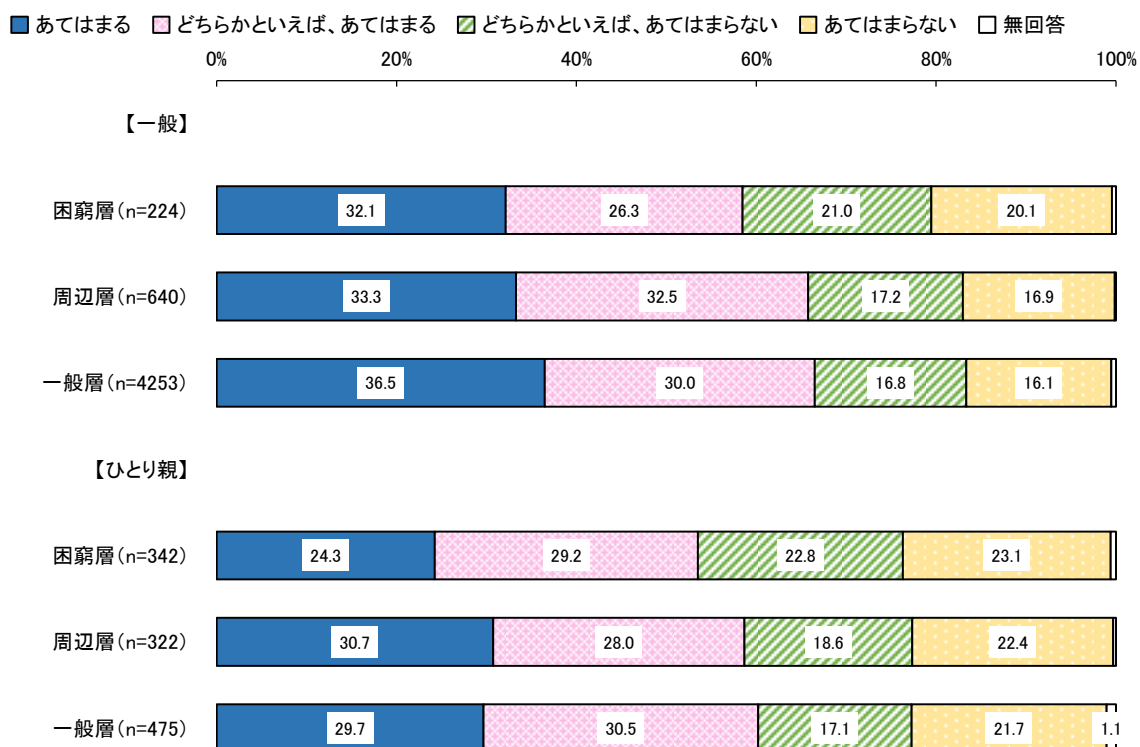


③ テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに小学生保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「あてはまる」の割合が最も低い。



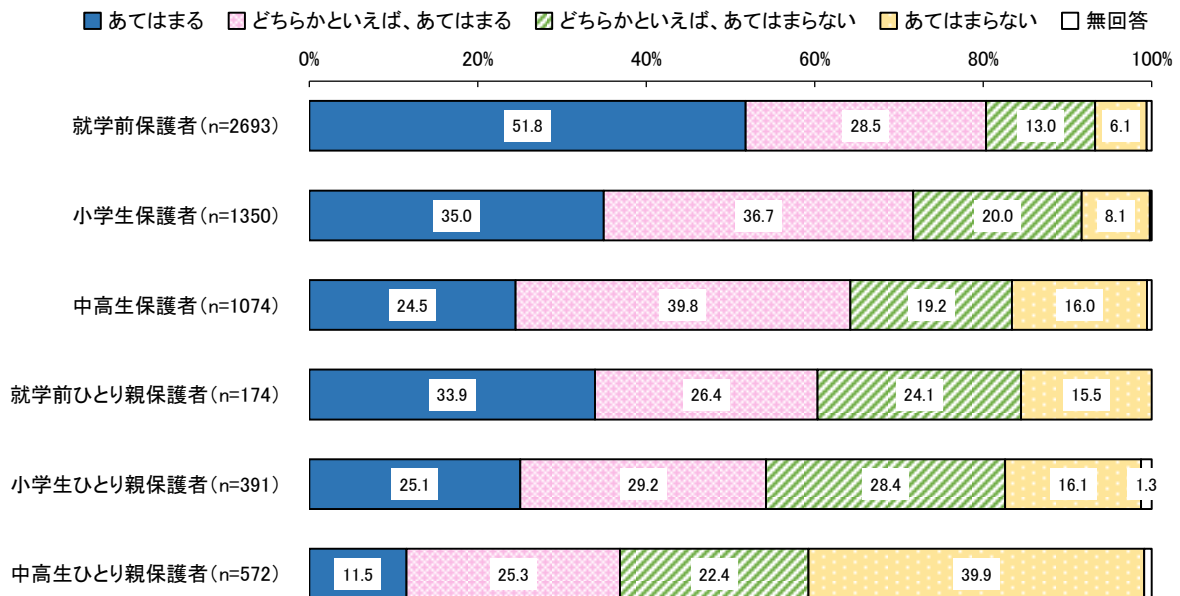
<生活困難度別>



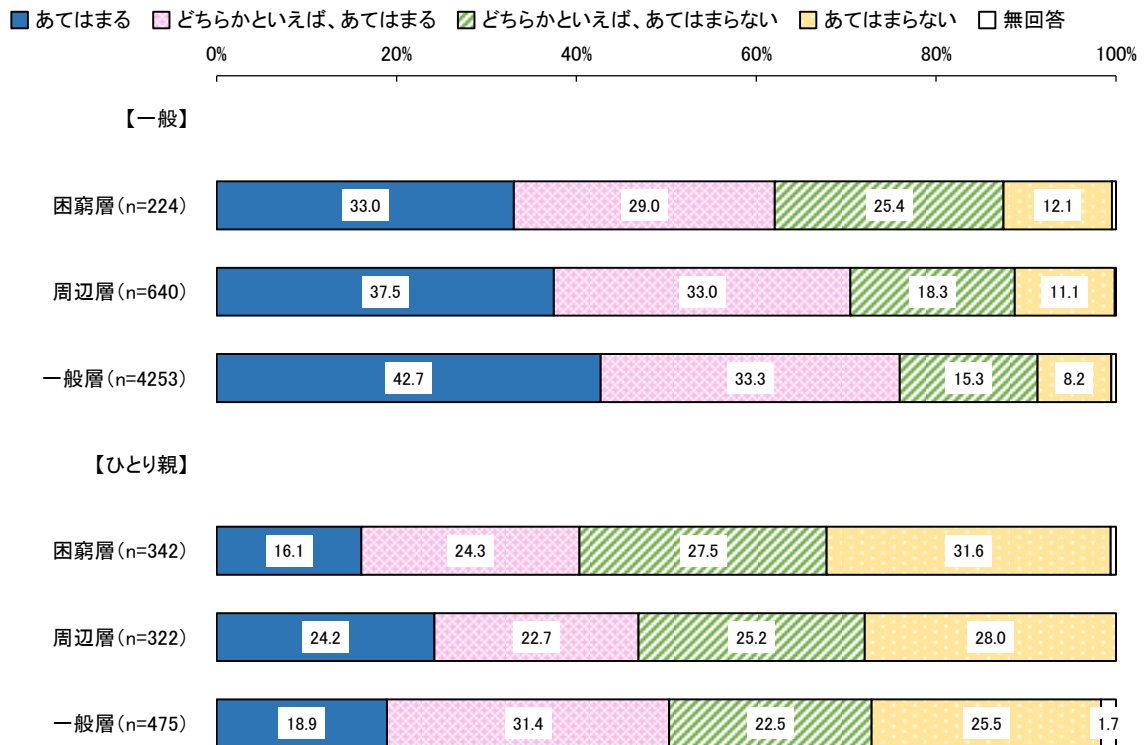
④ お子さんに読み聞かせをしている

(小・中高・ひ小・ひ中高：お子さんに本や新聞を読むように勧めている)

- ・「あてはまる」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに就学前保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「あてはまる」の割合が最も低い。

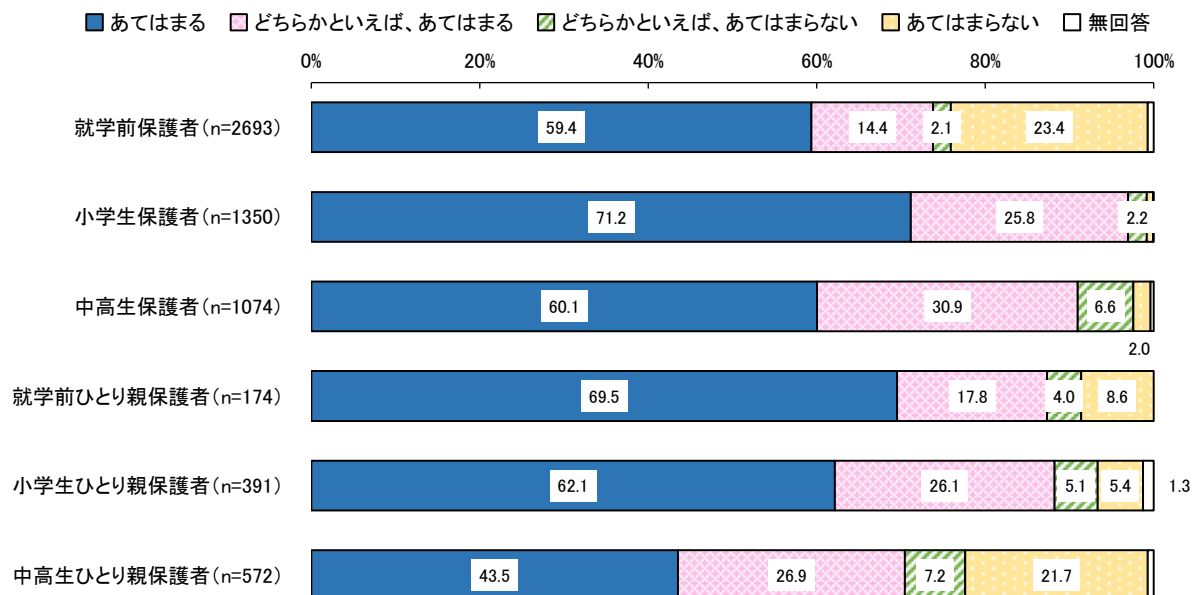


<生活困難度別>

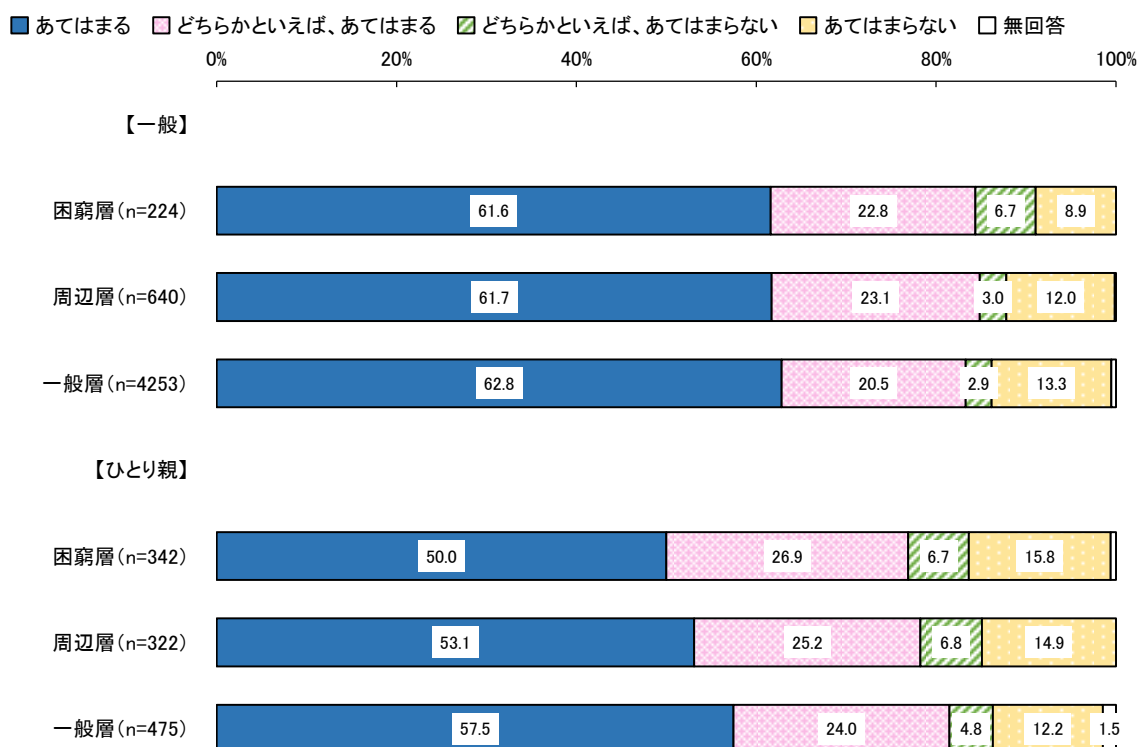


⑤ お子さんと園での生活（幼稚園や保育園、こども園等）の話をする
 （小・中高・ひ小・ひ中高：お子さんと学校生活の話をする）

- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯の小学生保護者で最も高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「あてはまる」の割合が最も低い。

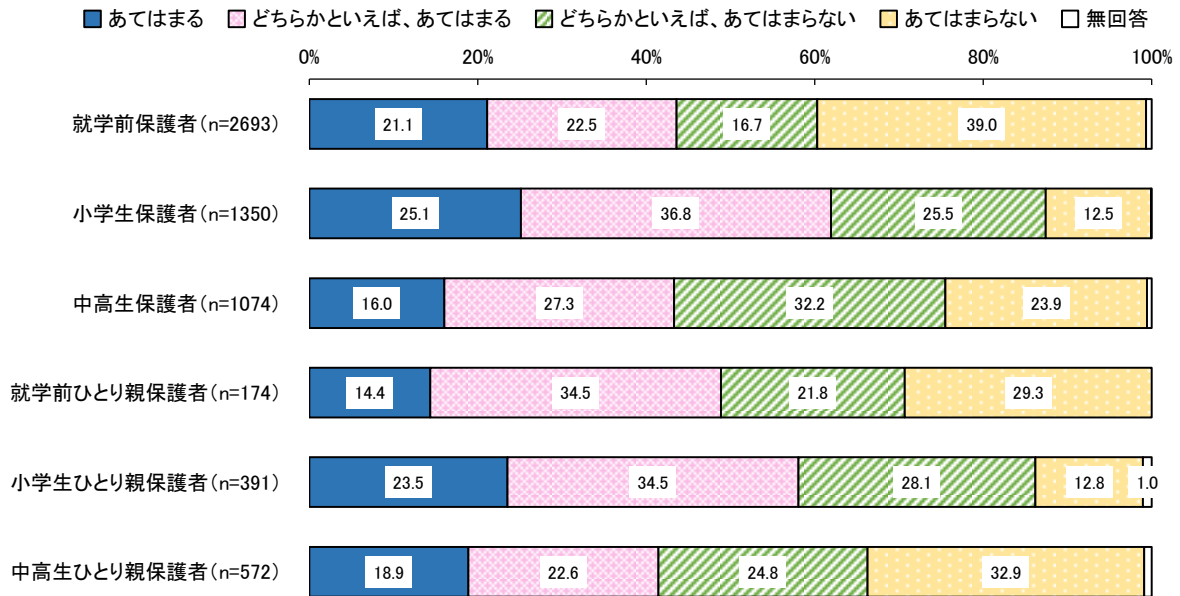


<生活困難度別>

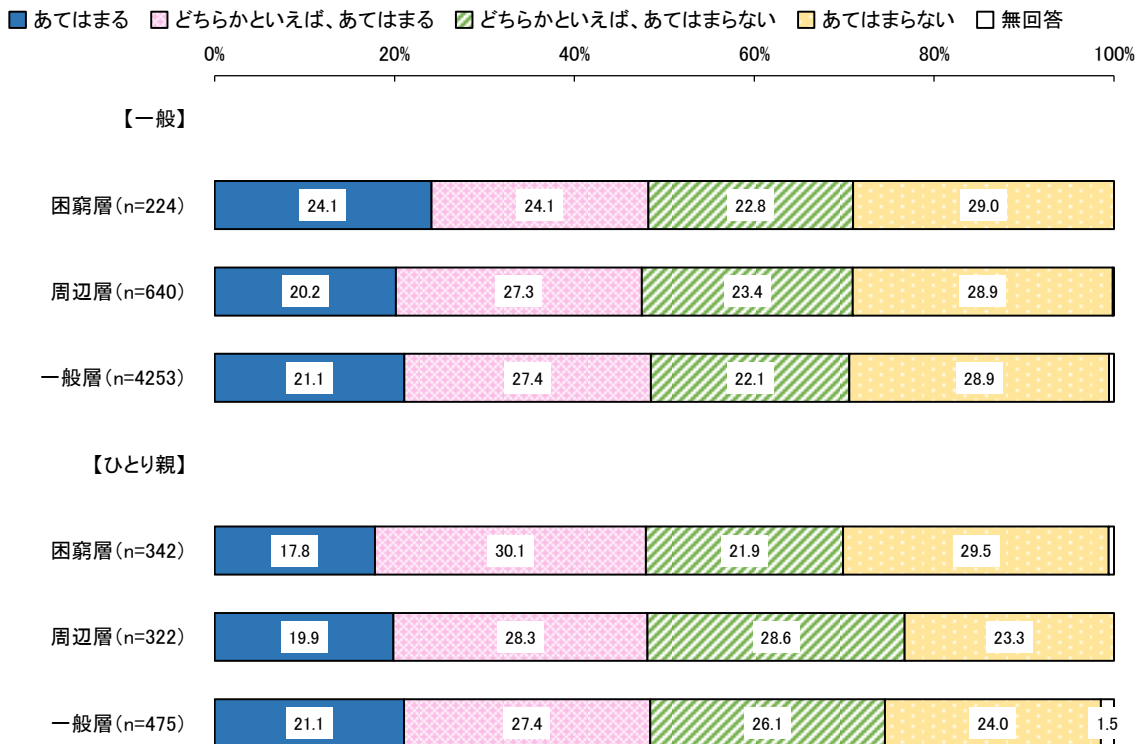


⑥ お子さんと一緒に料理をする

- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに小学生保護者で高い。
- ・生活困難度別による大きな差はみられない。

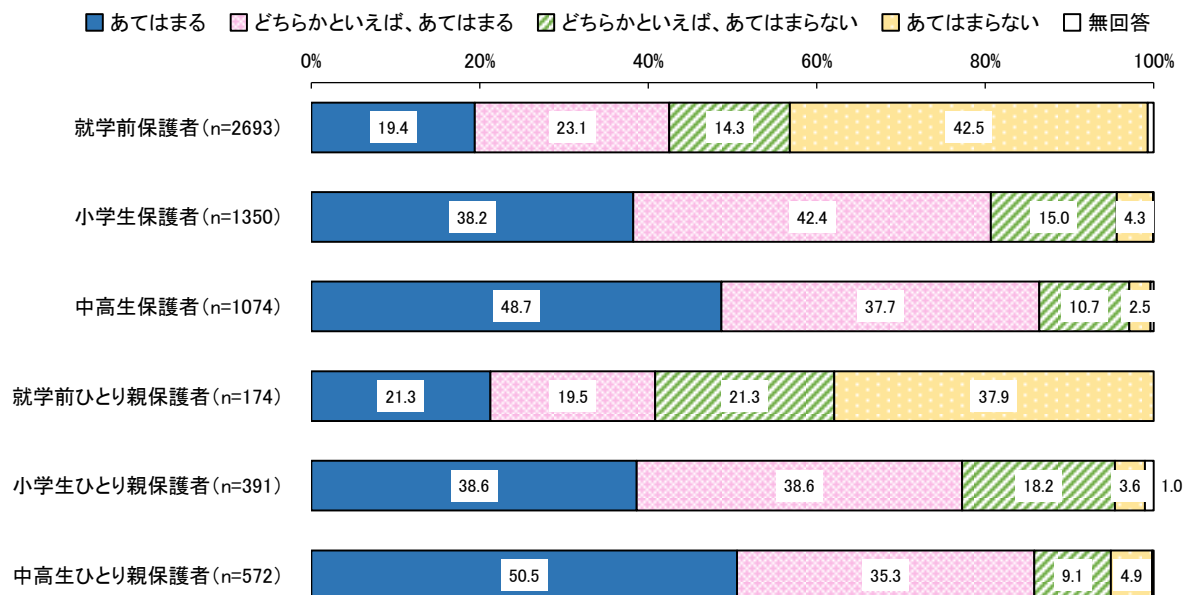


<生活困難度別>

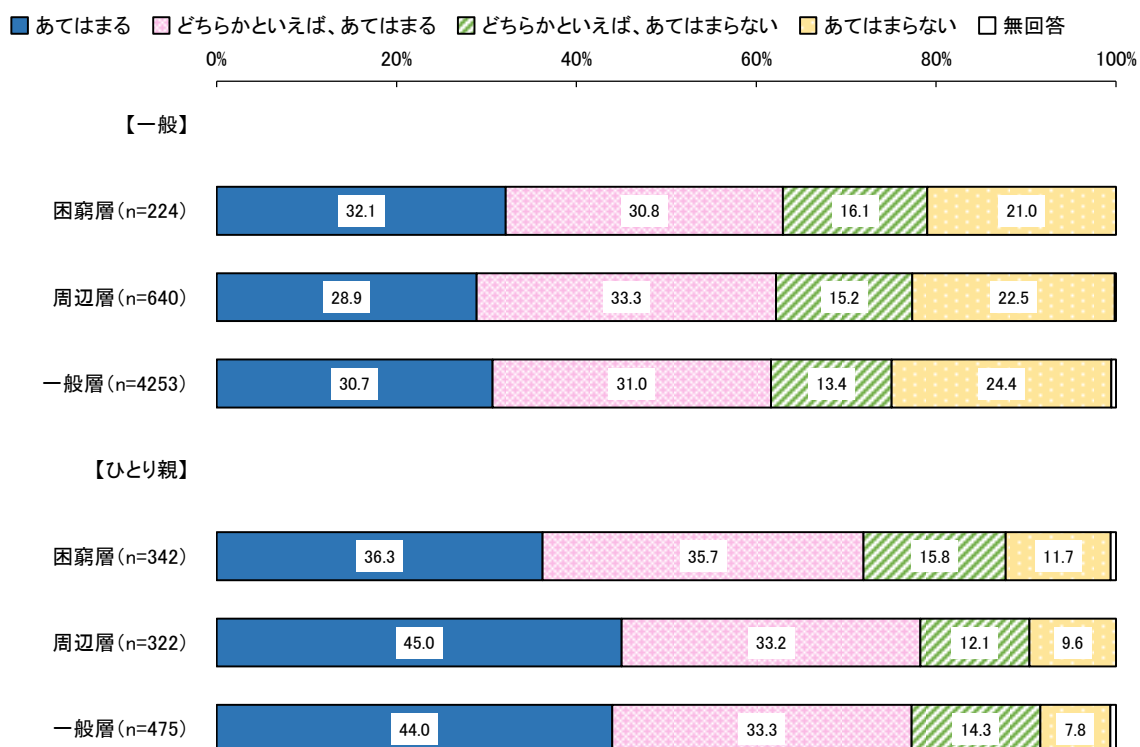


⑦ お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、一緒に考えたり、話したりする

- ・「あてはまる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに中高生保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯では大きな差はみられないが、ひとり親世帯では困窮層で「あてはまる」の割合が低い。

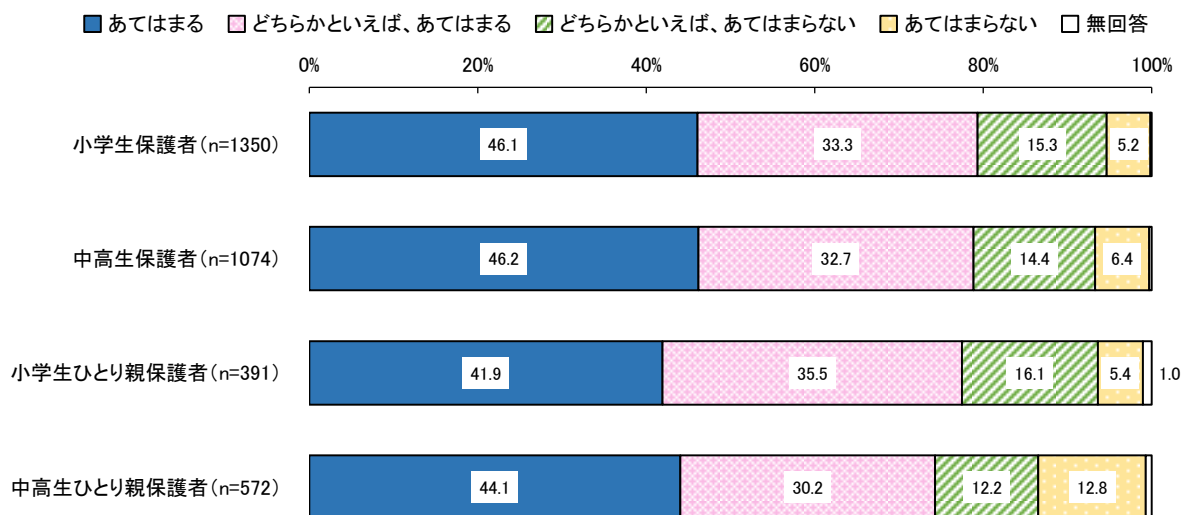


<生活困難度別>

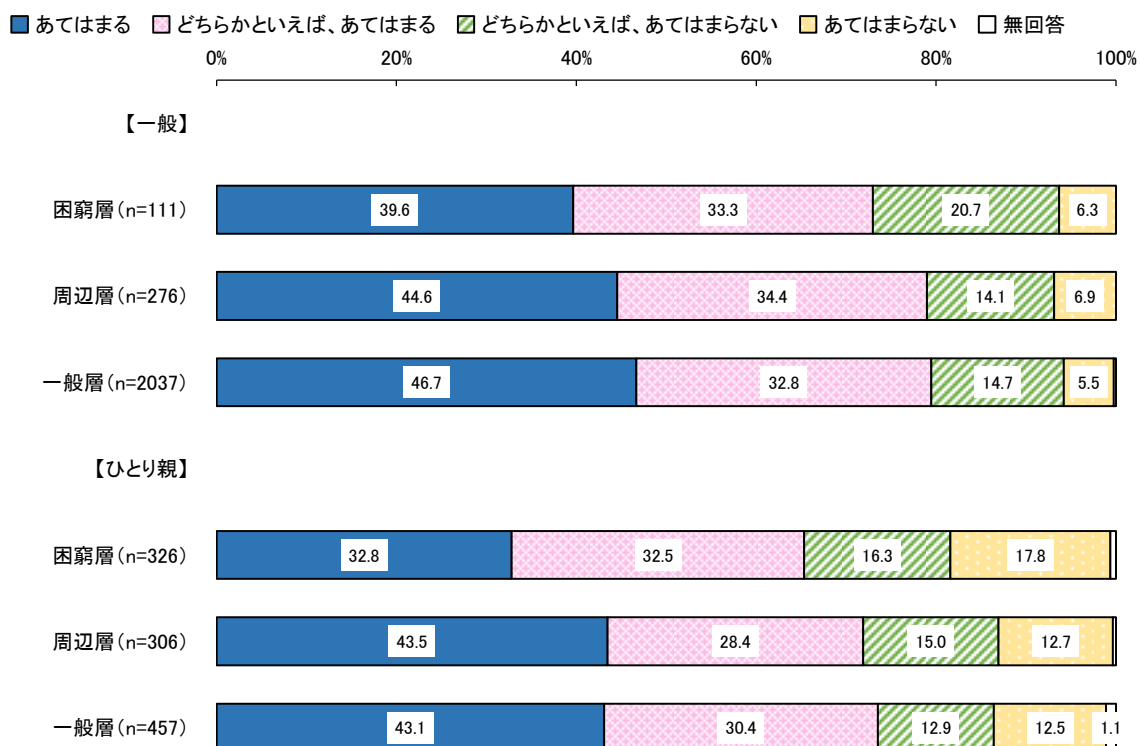


⑧ お子さんから勉強や成績のことについて話してくれる
(小・中高・ひ小・ひ中高のみ)

- ・「あてはまらない」の割合は、中高生ひとり親保護者で最も高い。
- ・生活困難度別にみると、ひとり親世帯の困窮層で「あてはまらない」の割合が最も高い。



<生活困難度別>



1-3. 学校生活や教育について

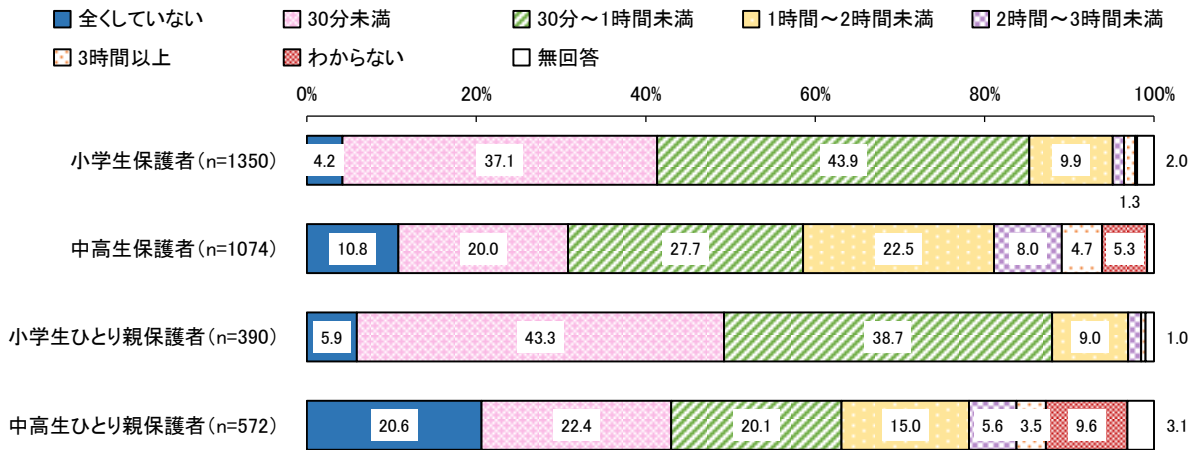
(1) 学習の状況

問 お子さんは、平日に学校以外の場でどれくらい勉強をしていますか。(それぞれ1つに○)

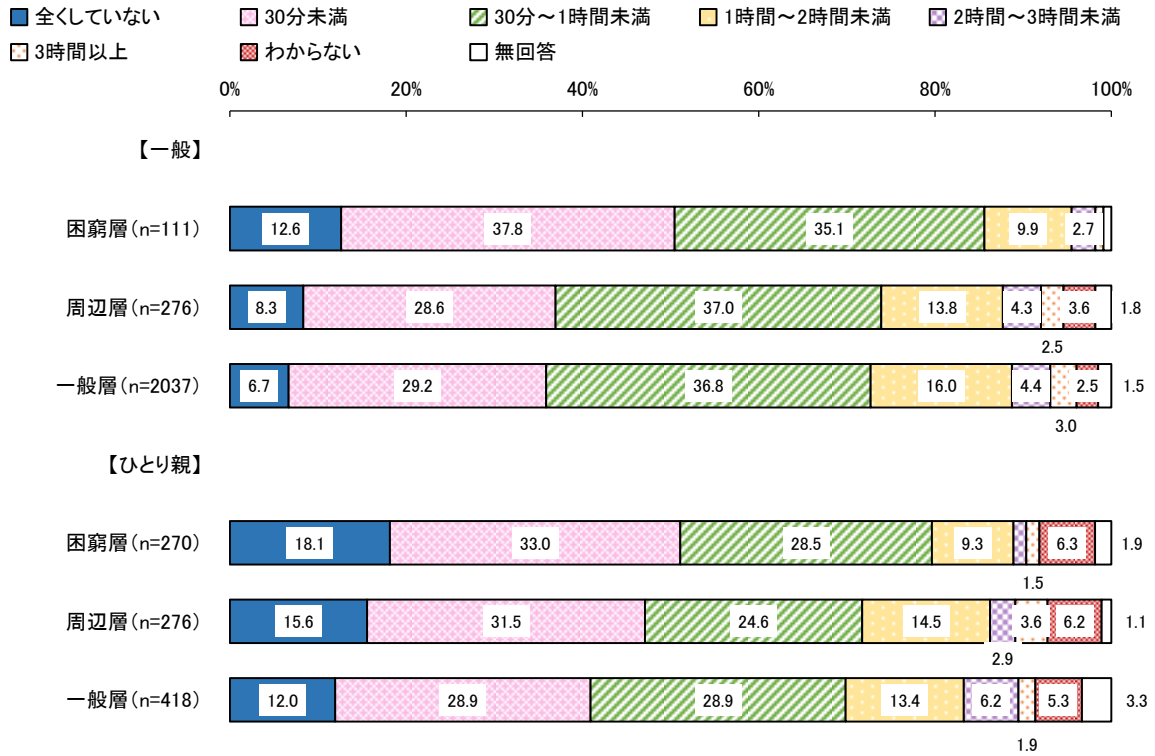
小問10、中高問10、ひ問10、ひ小問11、ひ中高問11

① 自宅での勉強

- ・「全くしていない」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「全くしていない」の割合は困窮層で高い。

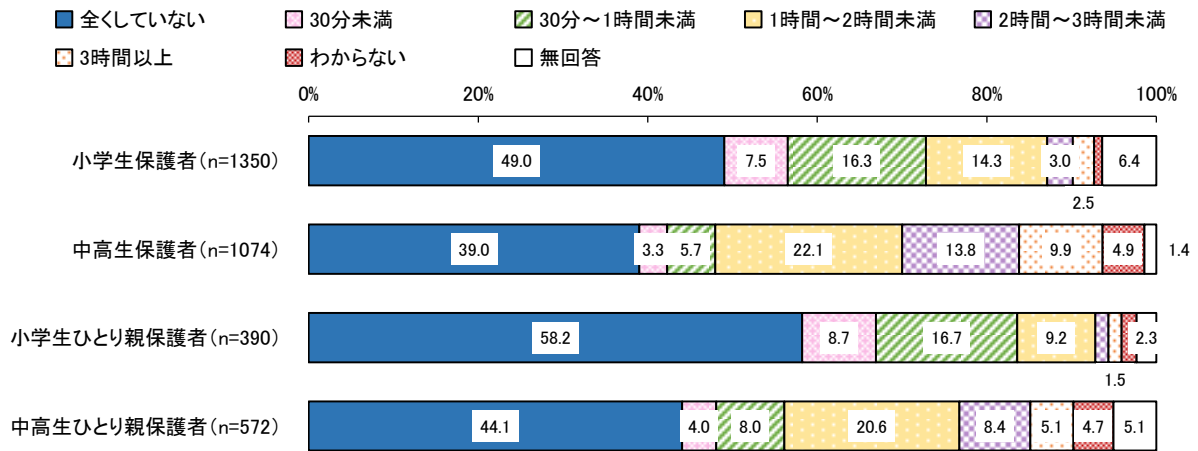


<生活困難度別>

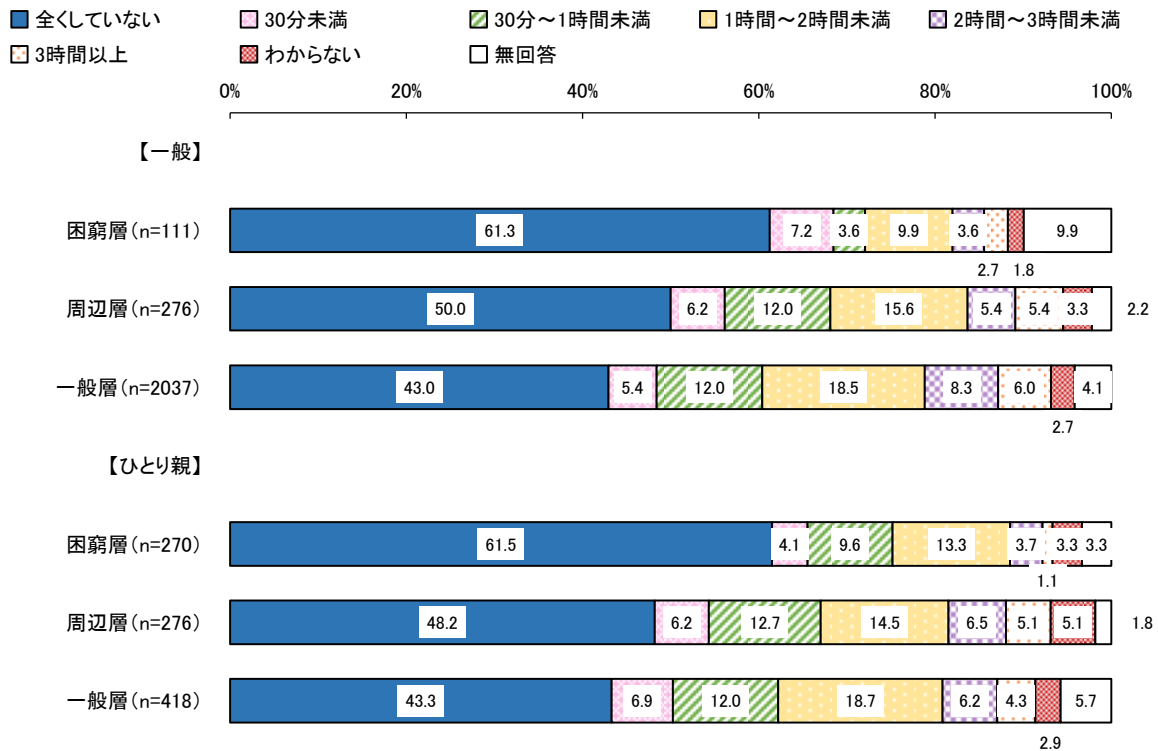


② 塾など自宅以外での勉強

- ・「全くしていない」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「全くしていない」の割合は困窮層で高い。



<生活困難度別>



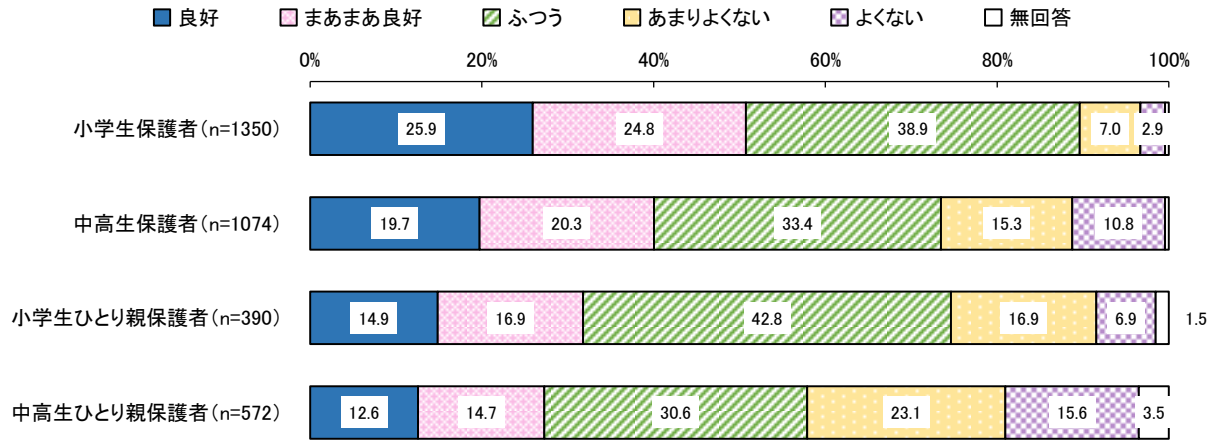
- ・自宅、自宅以外ともに、困窮層で「全くしていない」割合が高く、学習時間が短い傾向があることから、家庭の経済状況が勉強時間に影響を与えている可能性がある。
- ・特に困窮層では、塾など自宅以外での勉強を「全くしていない」が6割を超えている。

(2) 学校での成績

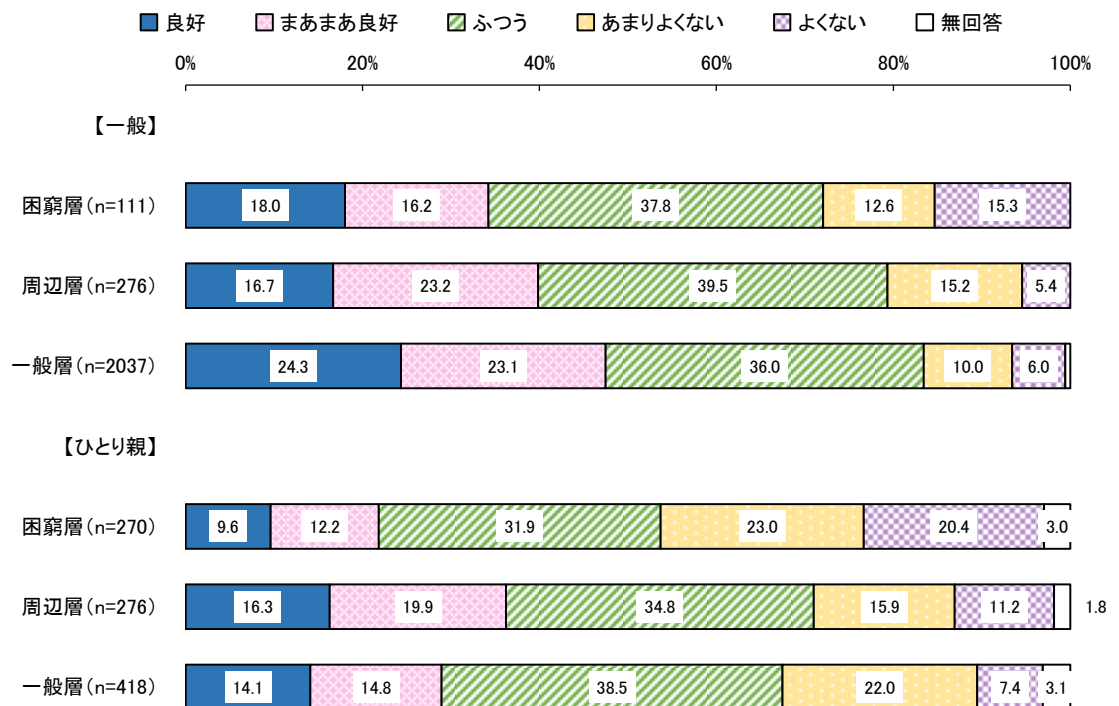
問 お子さんの、学校での成績はいかがですか。(1つに○)

小問11、中高問11、ひ問11、ひ小問12、ひ中高問12

・ひとり親世帯の困窮層で「あまりよくない」「よくない」の割合が高い。



<生活困難度別>



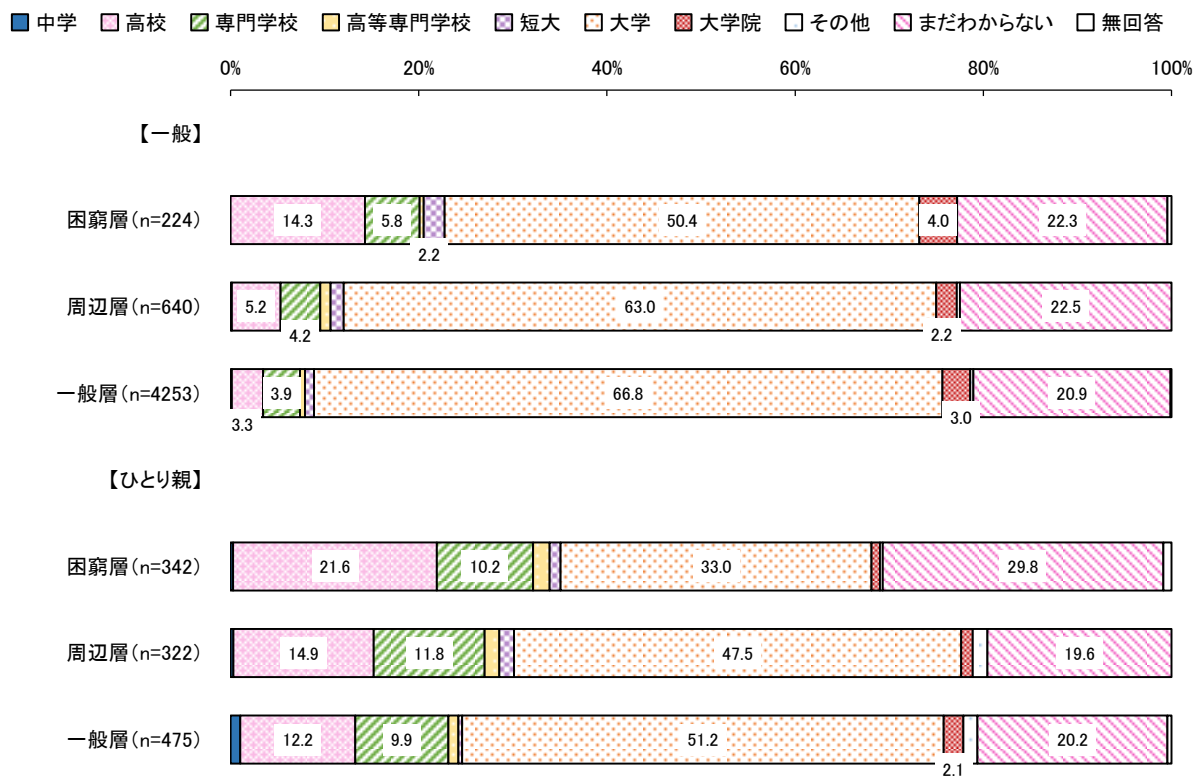
(3) 子どもの進学段階に関する希望・展望

問 お子さんは将来、どの段階まで進学すると思いますか。(1つに○)

就問9、小問12、中高問12、ひ問8、ひ就問11、ひ小問14、ひ中高問13

・「大学」の割合はひとり親世帯の困窮層で最も低い。

<生活困難度別>



※2.0%未満はラベル非表示

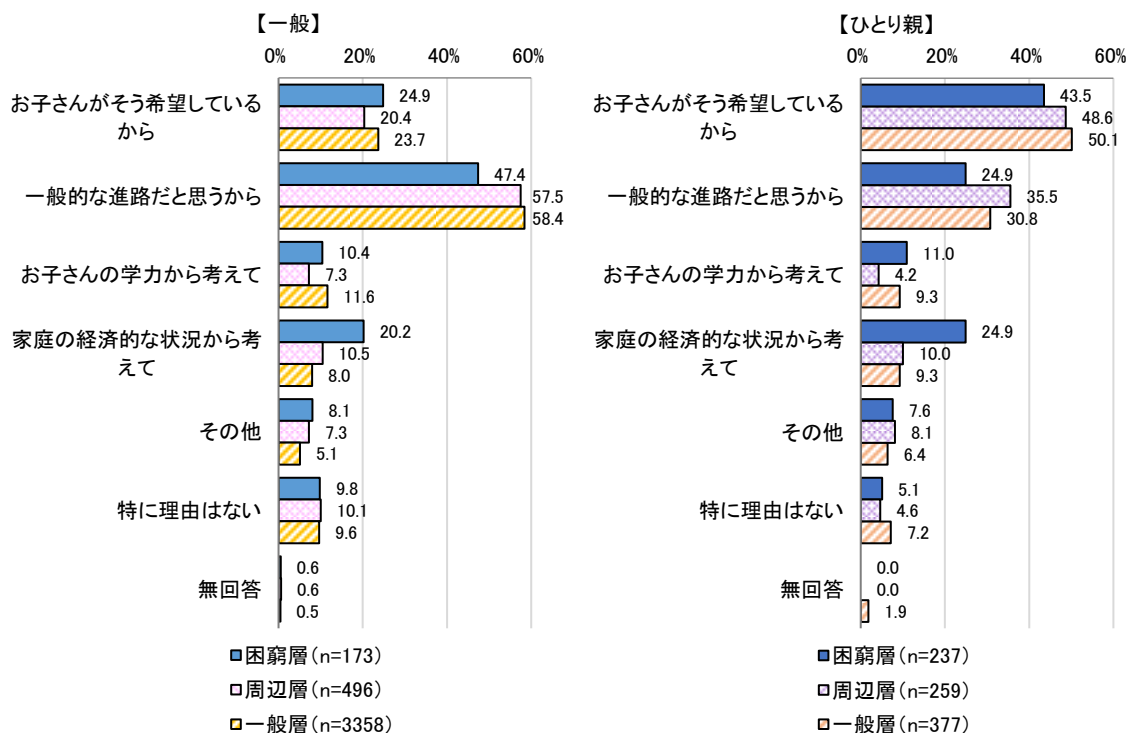
- ・「大学」の割合は、困窮層になるにつれて低くなり、「高校」までや「専門学校」までの割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い傾向がみられる。
- ・また、ひとり親世帯の困窮層において、「まだわからない」の割合が高いという特徴がみられた。

問 前問で「まだわからない」以外を選んだ方へうかがいます。その段階まで進学すると思う理由は何ですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

就問 9-1、小問 1 2-1、中高問 1 2-1、ひ問 8-1、ひ就問 1 1-1、ひ小問 1 4-1、ひ中高問 1 3-1

- ・「お子さんがそう希望しているから」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・「一般的な進路だと思うから」の割合は、ひとり親世帯よりも一般世帯で高い。
- ・「家庭の経済的な状況から考えて」の割合はひとり親世帯の困窮層で最も高い。

<生活困難度別>



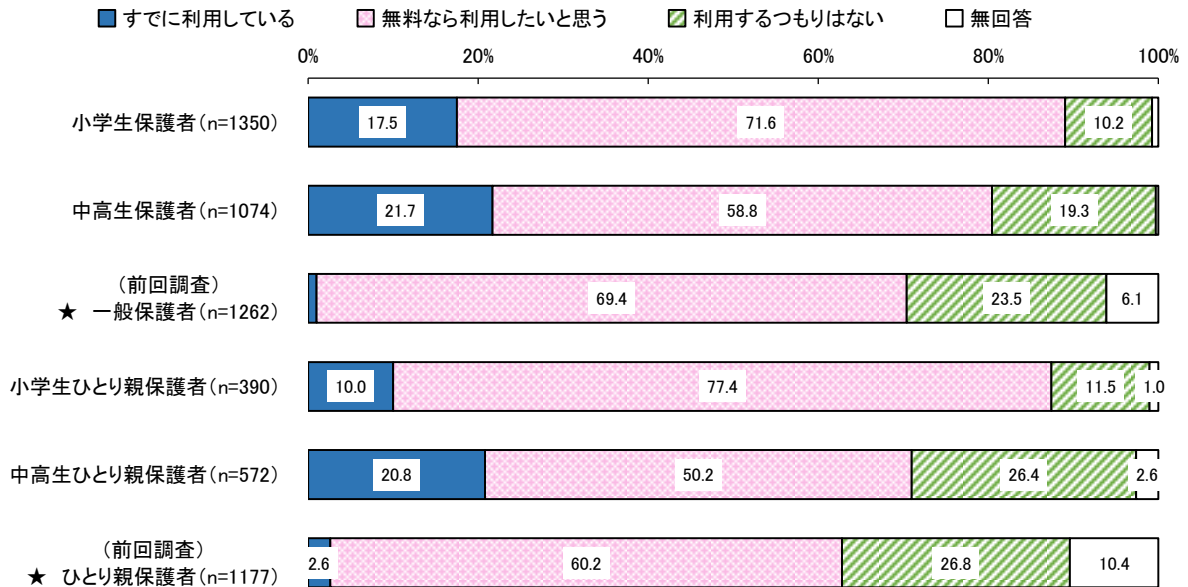
- ・困窮層では、家庭の経済的な状況が進学選択に影響を与えているとみられる。
- ・一般世帯とひとり親世帯の間で、進路選択の理由に差異がみられることも特徴の一つである。

(4) 学習の手助けなどの場の利用

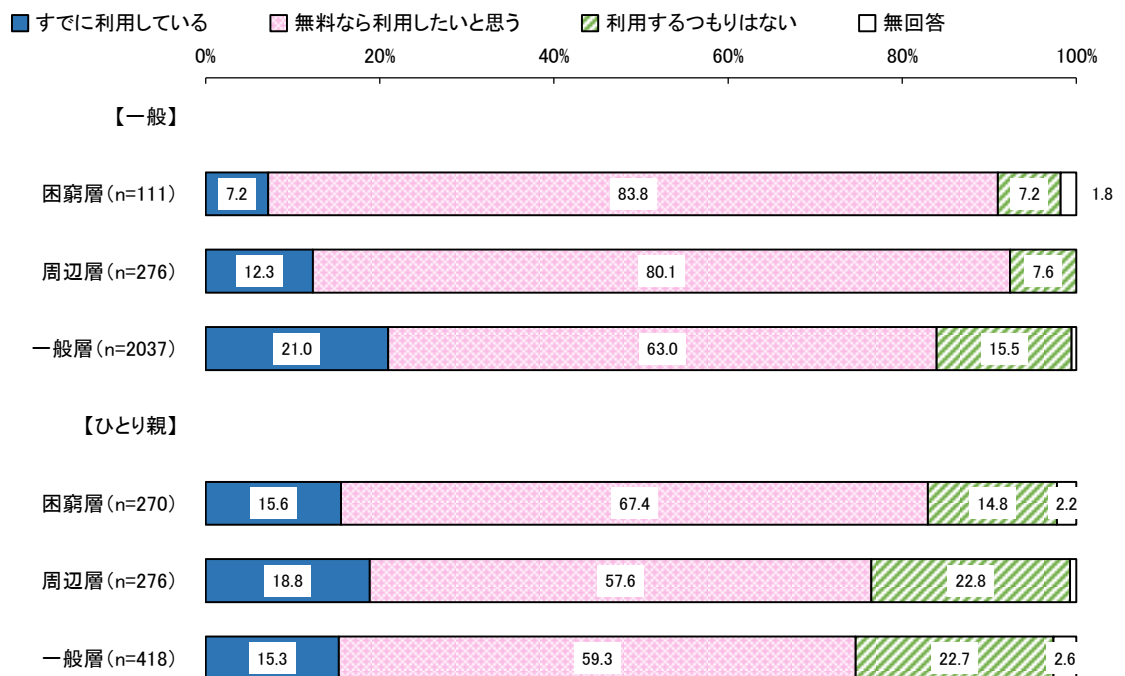
問 お子さんについて、基礎学力の向上や学習習慣の定着を目的とした、学習の手助けなどの場があったら、利用したいと思いますか。(1つに○)

小問13、中高問13、ひ問12、ひ小問13、ひ中高問14

- ・「すでに利用している」「無料なら利用したいと思う」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯にかかわらず小学生保護者で高い。



<生活困難度別>



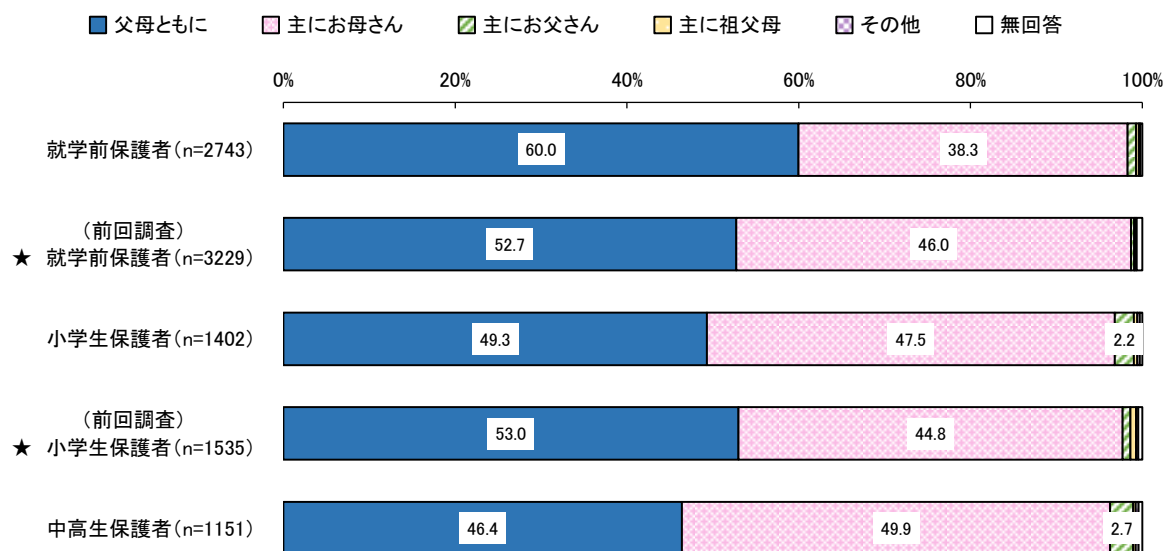
1-4. 家庭での生活について（子育てや教育の情報源、相談相手など）

（1）子育てや教育を主に行っている人

問 子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。（1つに○）

就問10、小問14、中高問14、ひ就問12、ひ小問15、ひ中高問15

・就学前保護者では、子育てや教育は、「父母ともに」行っている割合が高い。



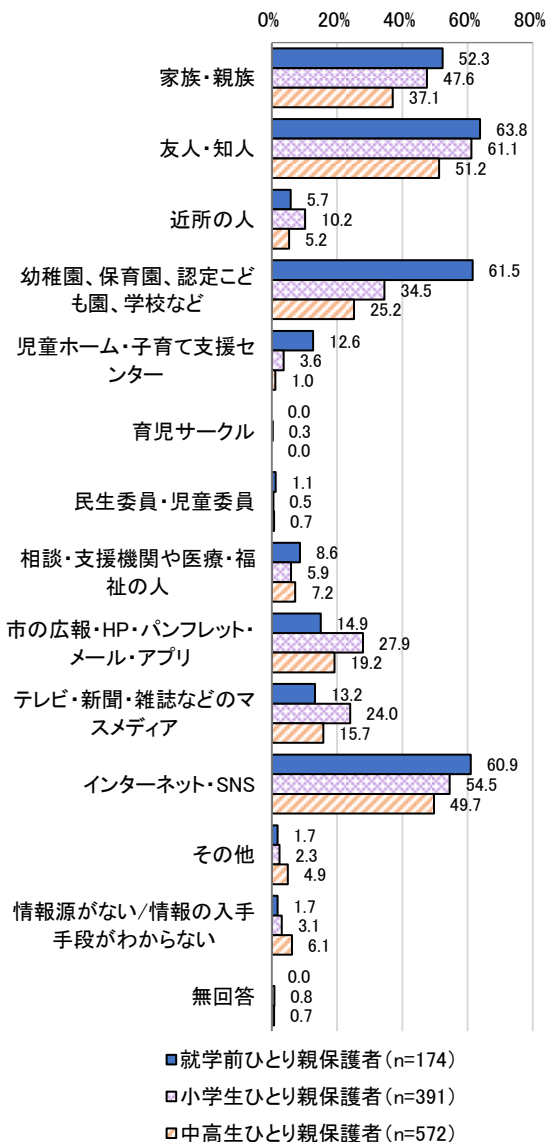
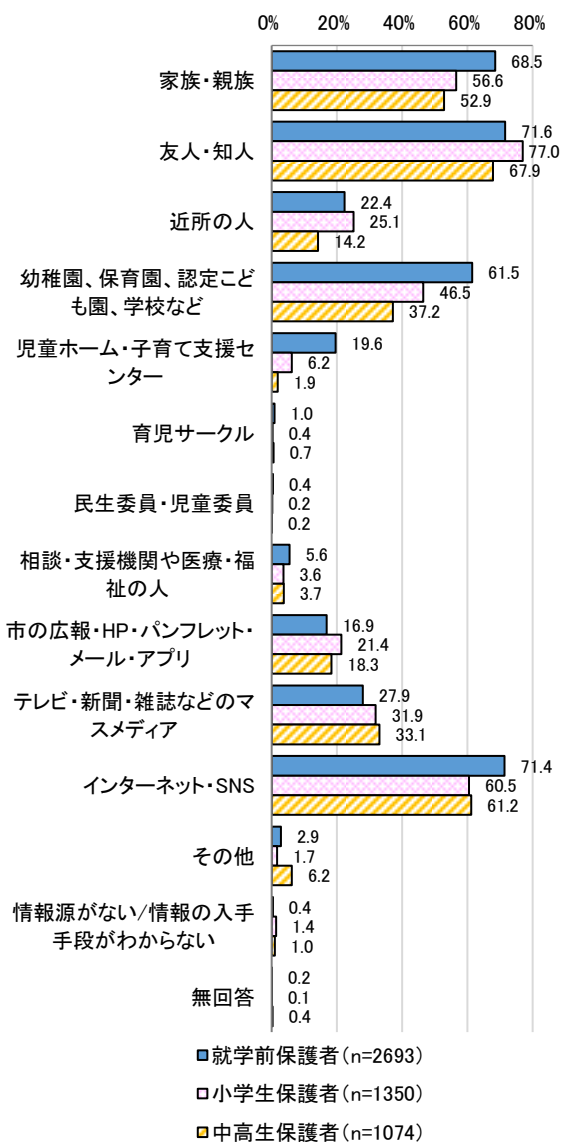
・子どもの年齢が上がるにつれて、子育て・教育は「主にお母さん」に移行する傾向がみられる。

(2) 子育てや教育の情報源

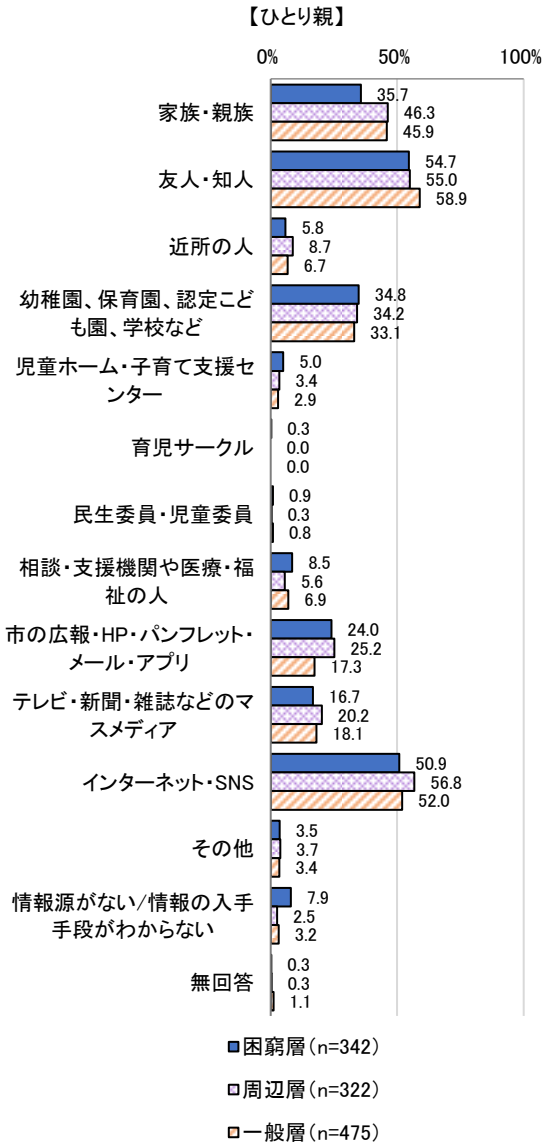
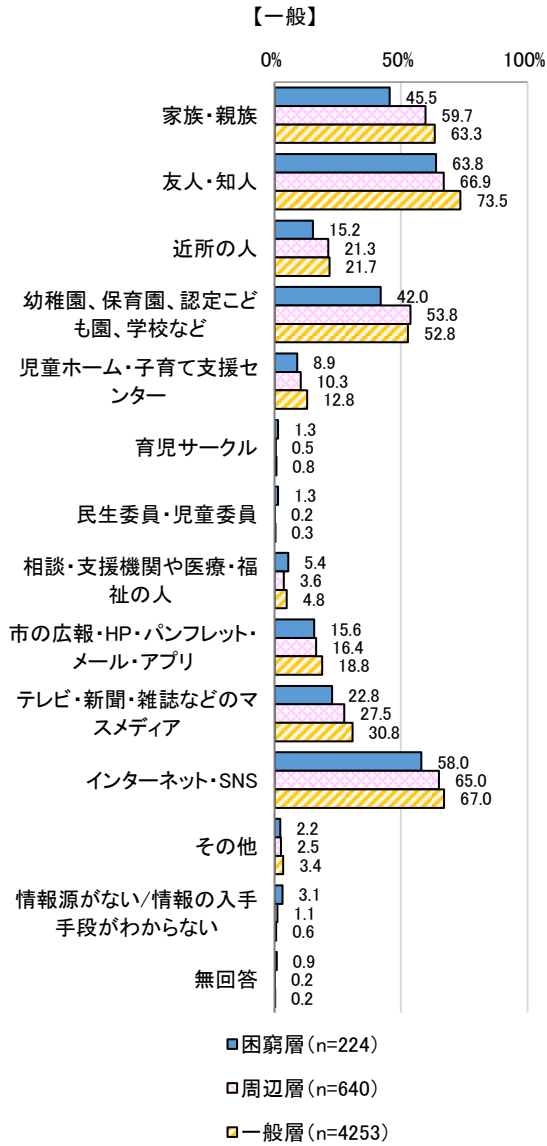
問 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、情報は何かから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

就問11、小問15、中高問15、ひ問18、ひ就問13、ひ小問16、ひ中高問16

- ・子育てや教育の情報は、「家族・親族」「友人・知人」「インターネット・SNS」から得ている割合が高い。
- ・「幼稚園、保育園、認定こども園、学校など」の割合は、就学前で高い。ただし、一般世帯の困窮層では低くなっている。



<生活困難度別>



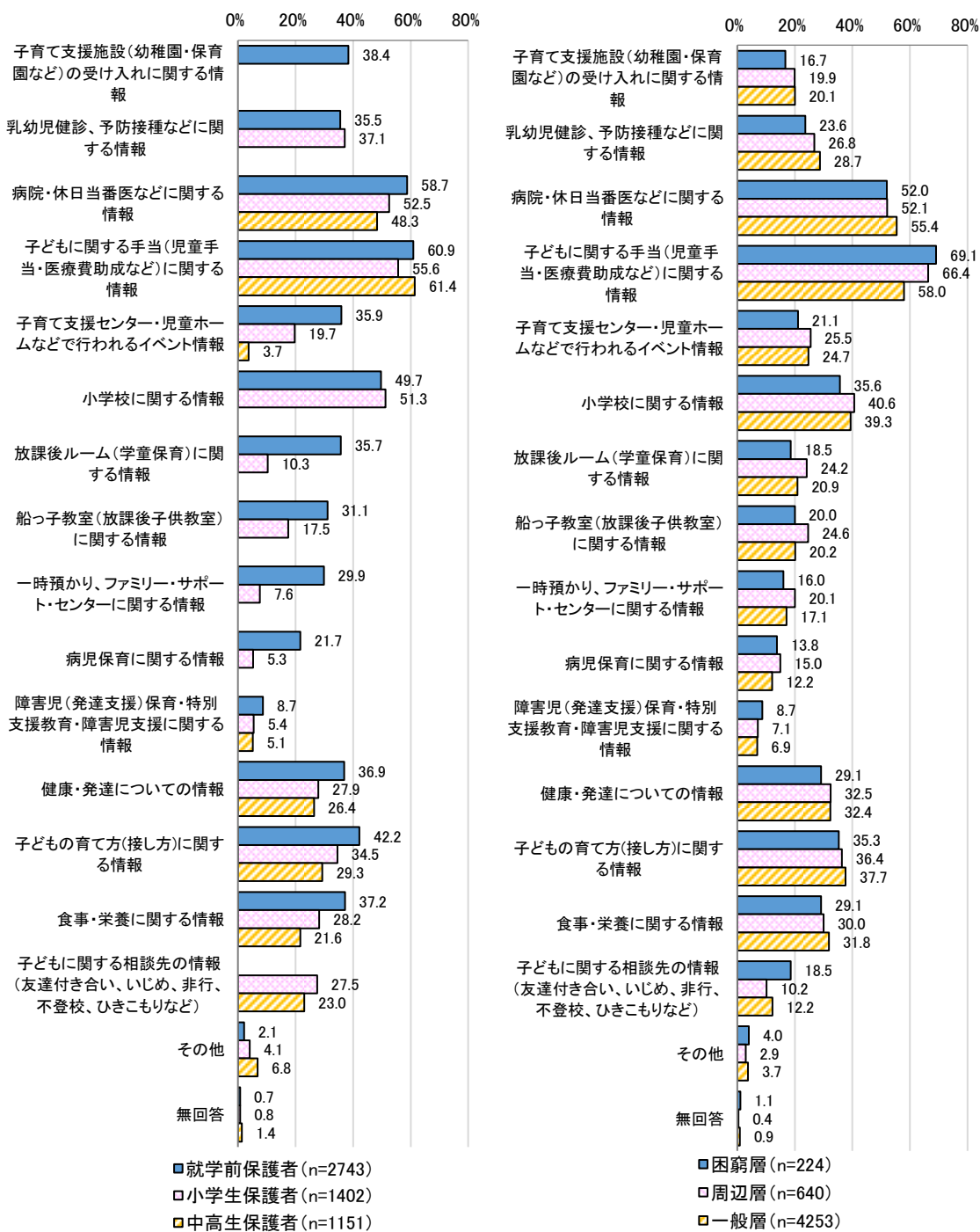
(3) 知りたい子育ての情報

問 あなたは、どのような子育て情報を知りたいと考えていますか。(あてはまる番号すべてに○)

就問12、小問16、中高問16、ひ就問14、ひ小問17、ひ中高問17

- ・「病院・休日当番医などに関する情報」「子どもに関する手当（児童手当・医療費助成など）に関する情報」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層ほど「子どもに関する手当（児童手当・医療費助成など）に関する情報」の割合が高い。

<生活困難度別>



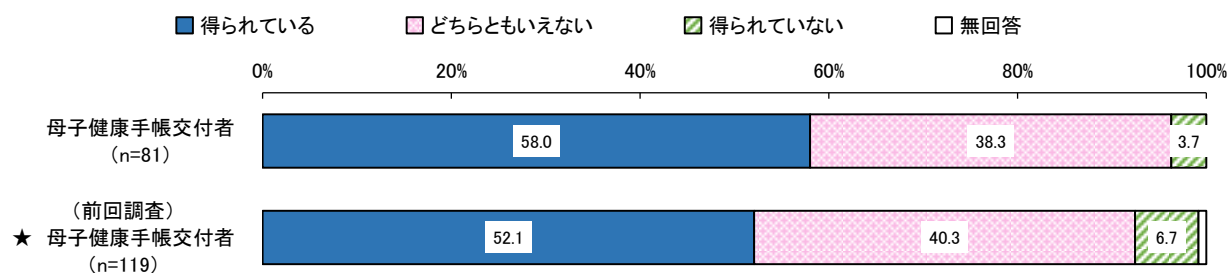
(4) 必要な情報の入手

問 妊娠・出産に関する必要な情報は入手できていますか。(それぞれ1つに○)

母問4

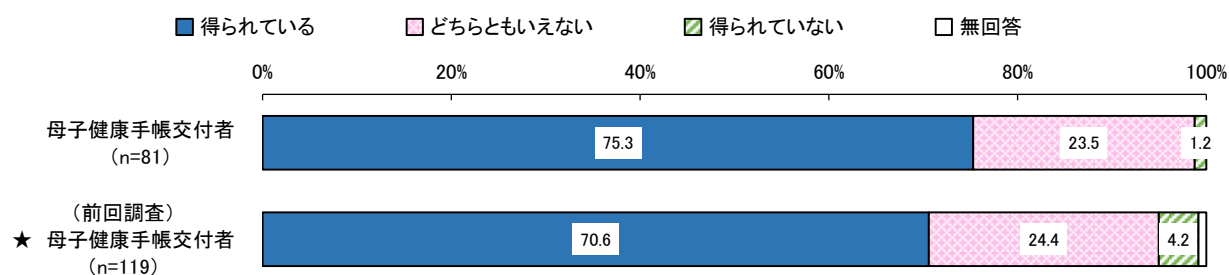
① 妊娠・出産に関する制度について

・「得られている」の割合は、約6割となっており、前回調査と比べると増加した。



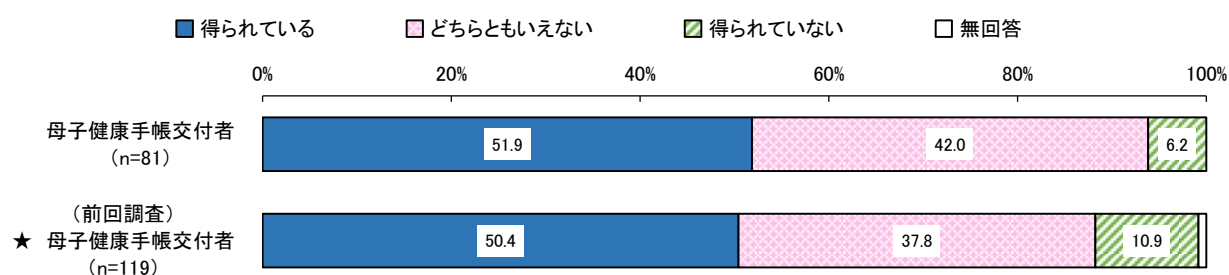
② 妊娠中の過ごし方について

・「得られている」の割合は、7割強となっており、前回調査と比べると増加した。



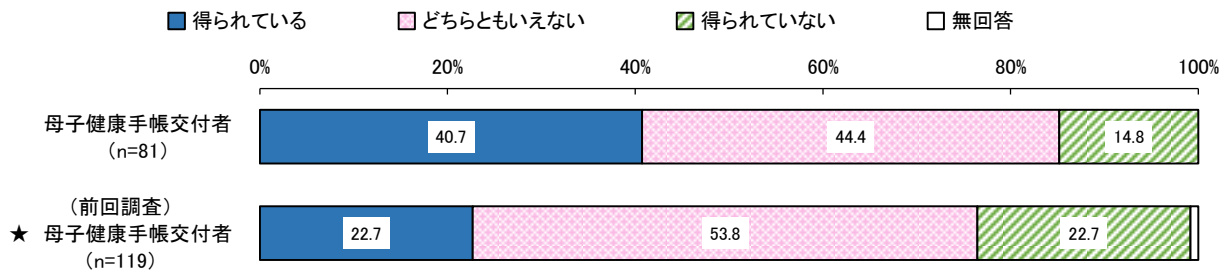
③ 出産・分娩に関することについて

・「得られている」の割合は、約5割となっており、前回調査と比べると増加した。



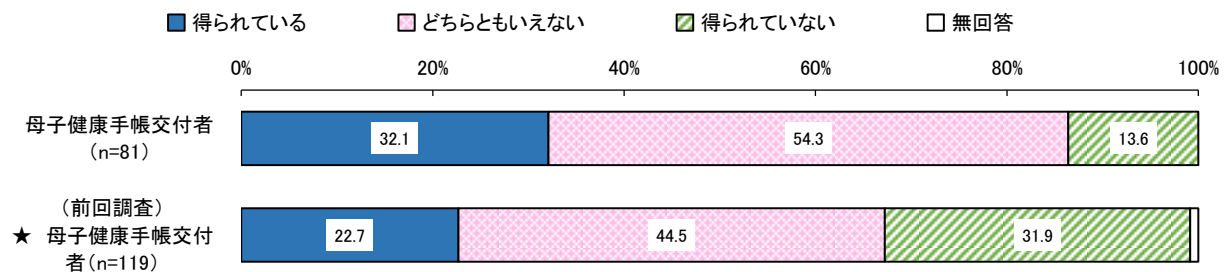
④ 出産後のことについて

・「得られている」の割合は、約4割となっており、前回調査と比べると増加した。



⑤ 子育てを応援してくれる制度について

・「得られている」の割合は、約3割となっており、前回調査と比べると増加した。

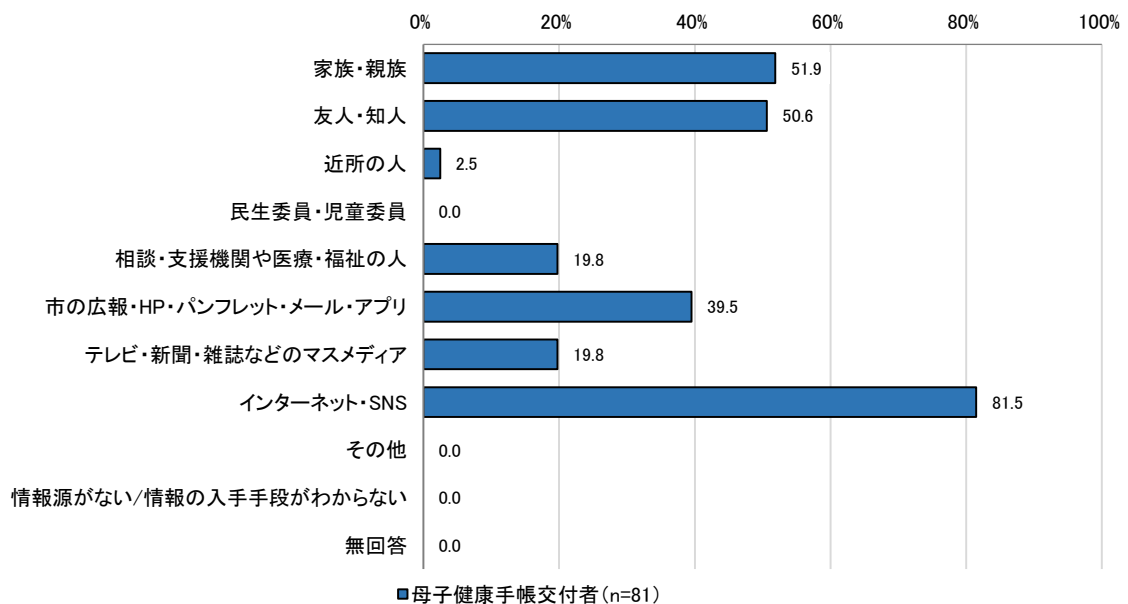


(5) 妊娠・出産・子育てについての情報源

問 妊娠・出産・子育てについて、情報は何かから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

母問5

・「インターネット・SNS」の割合が最も高い。

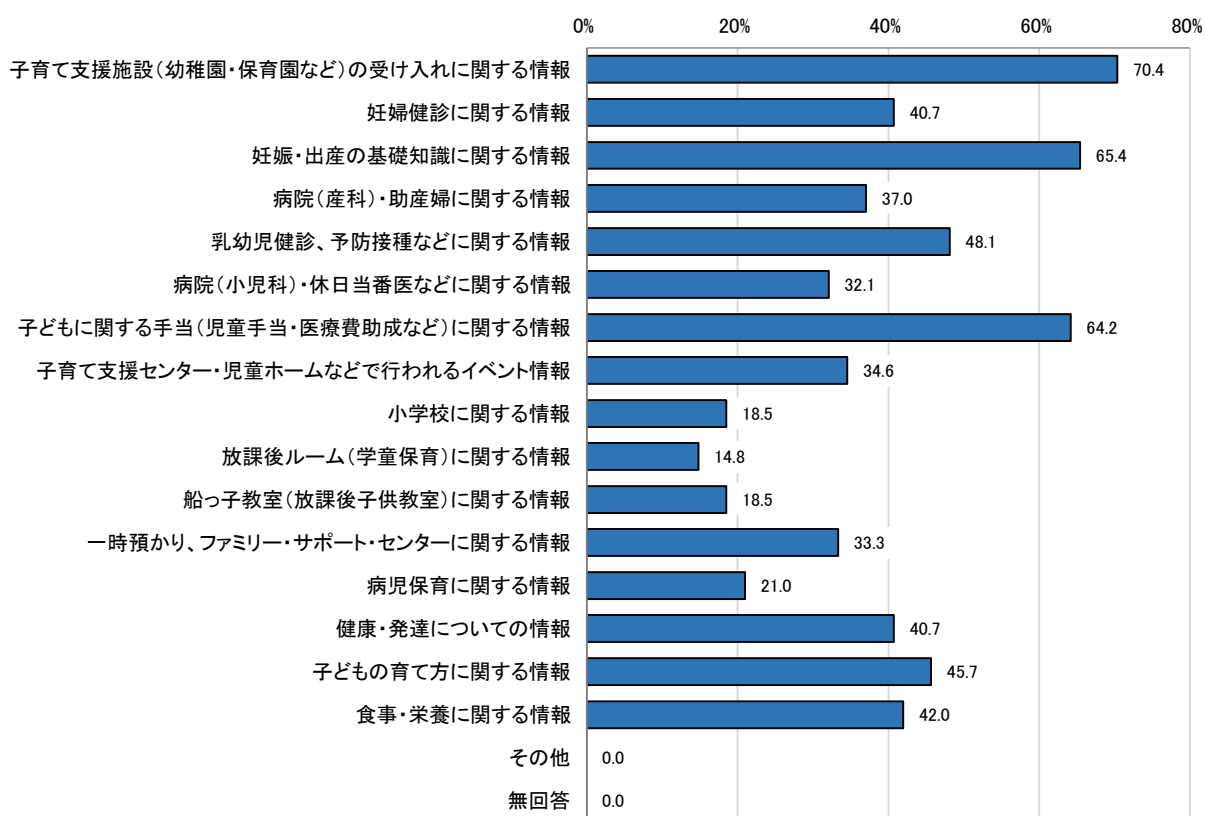


(6) 知りたい情報

問 あなたは、どのような妊娠・出産・子育てに関する情報を知りたいと考えていますか。(あてはまる番号すべてに○)

母問 6

- ・「子育て支援施設（幼稚園・保育園など）の受け入れに関する情報」「妊娠・出産の基礎知識に関する情報」「子どもに関する手当（児童手当・医療費助成など）に関する情報」の割合が高い。



■ 母子健康手帳交付者(n=81)

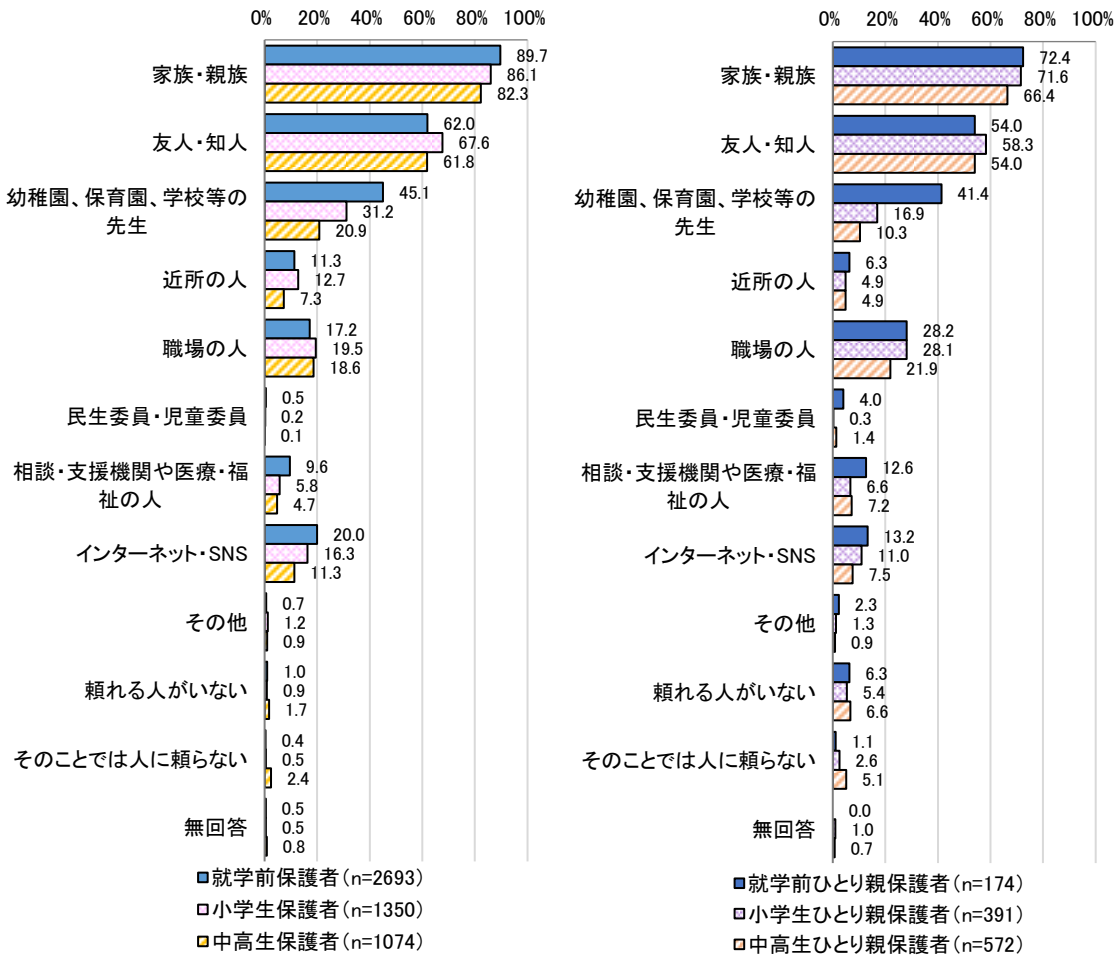
(7) 頼れる人

問 あなたが次に挙げる事柄で頼れる人はだれですか。(それぞれ選択肢からあてはまる番号をすべて記入)

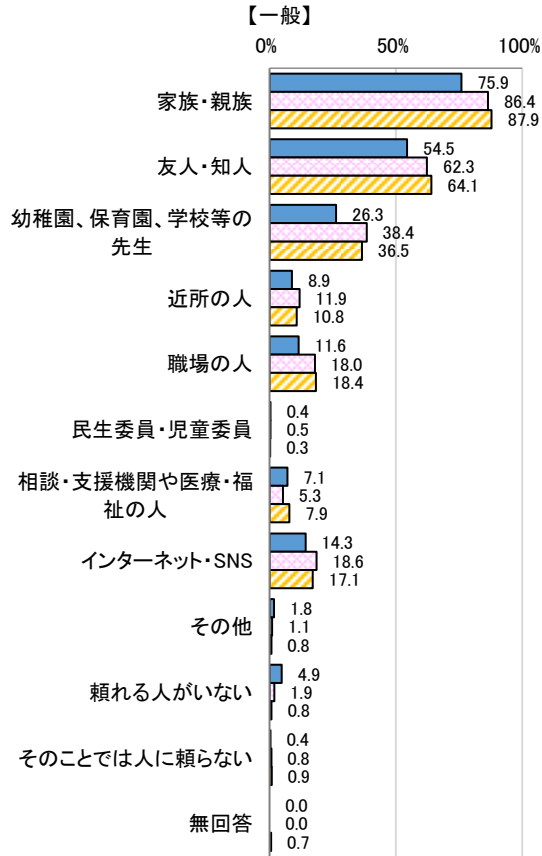
就問13、小問17、中高問17、ひ問13、ひ就問15、ひ小問18、ひ中高問18

① 子育てに関する相談

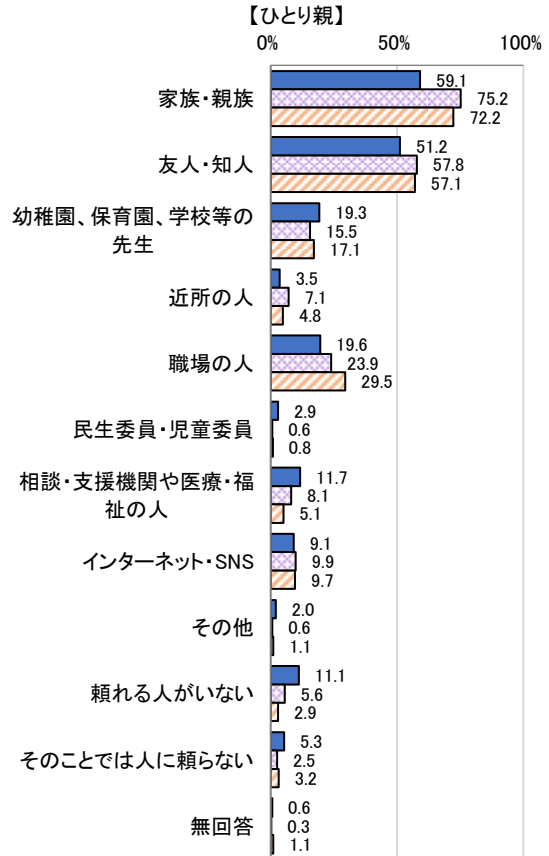
- ・「家族・親族」の割合が最も高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯に関わらず困窮層では「家族・親族」の割合が他世帯と比べて低い。



<生活困難度別>



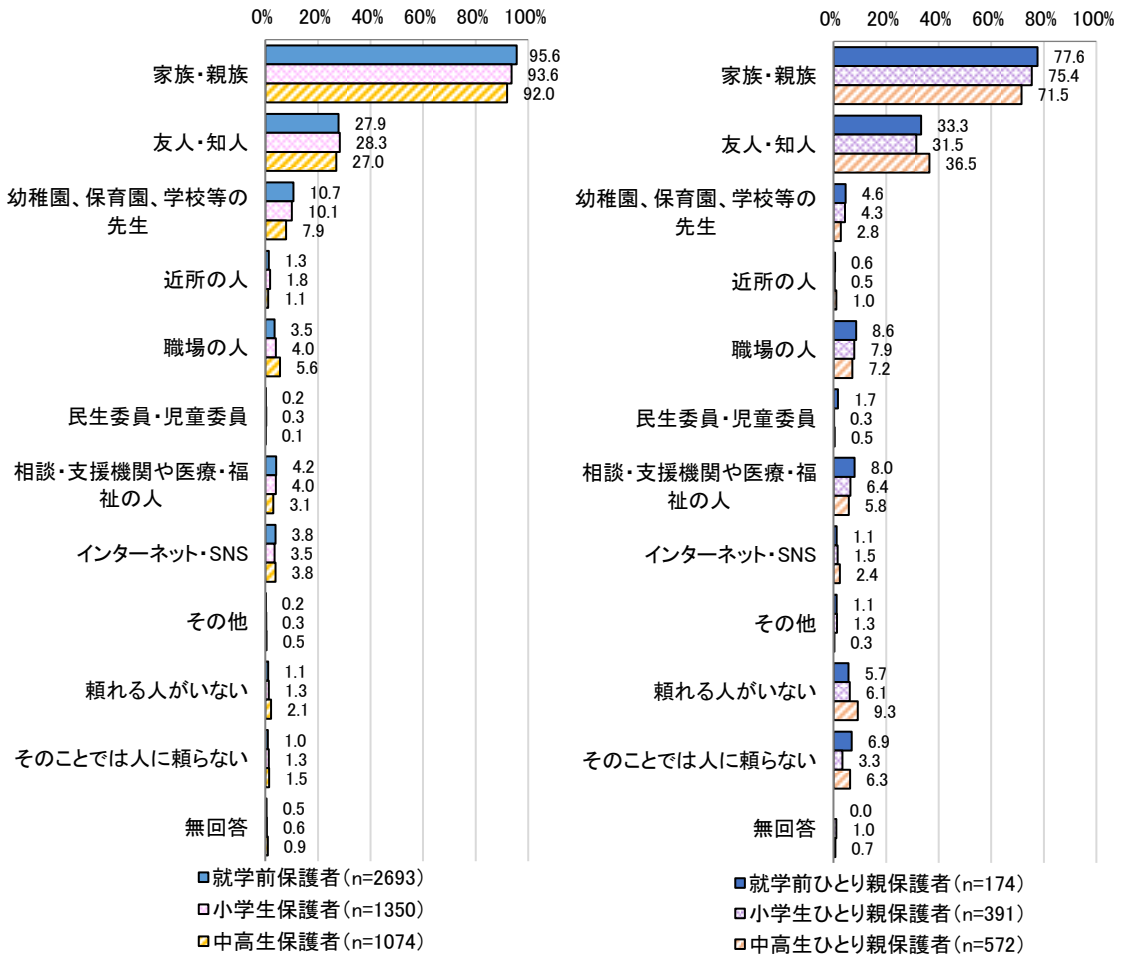
■ 困窮層 (n=224)
 □ 周辺層 (n=640)
 ■ 一般層 (n=4253)



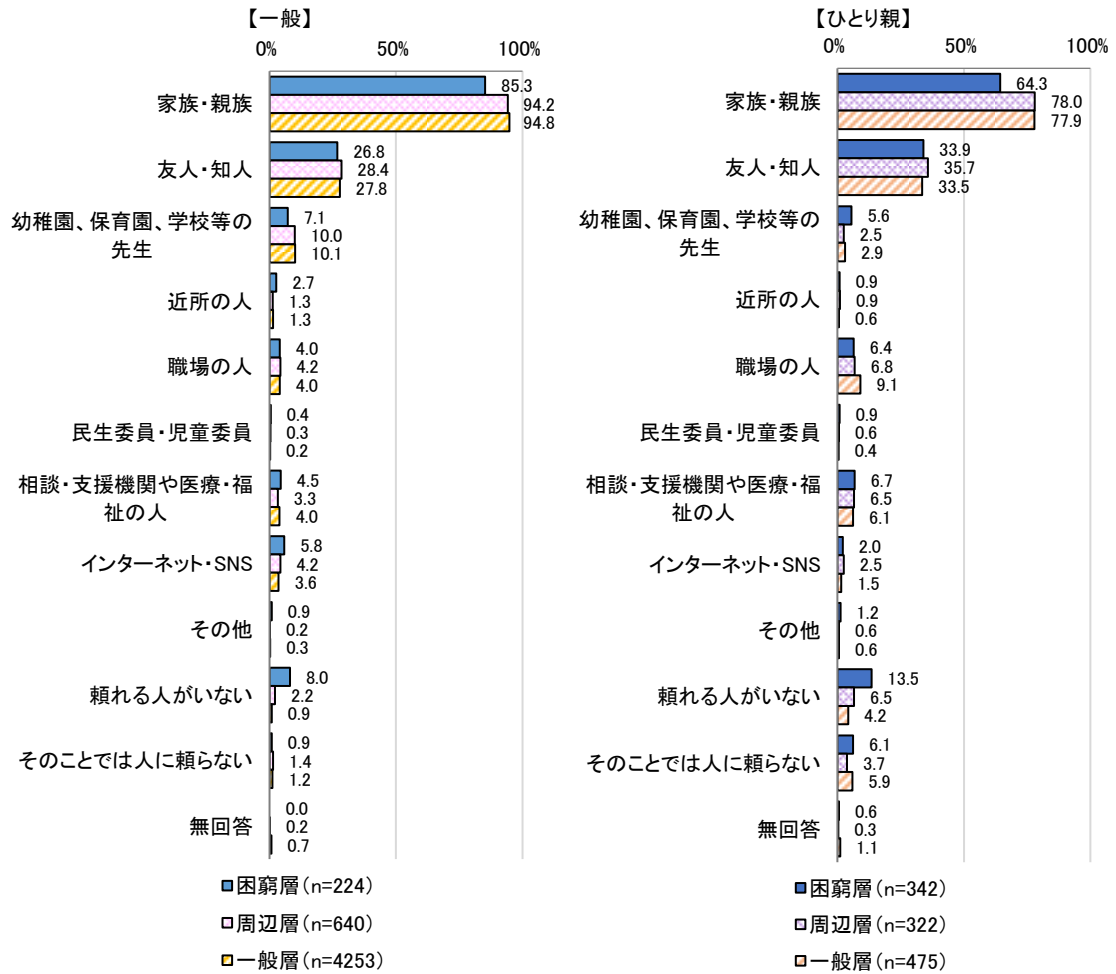
■ 困窮層 (n=342)
 □ 周辺層 (n=322)
 ■ 一般層 (n=475)

② 重要な事柄の相談

- ・「家族・親族」の割合が最も高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯に関わらず困窮層では「家族・親族」の割合が他世帯と比べて低い。

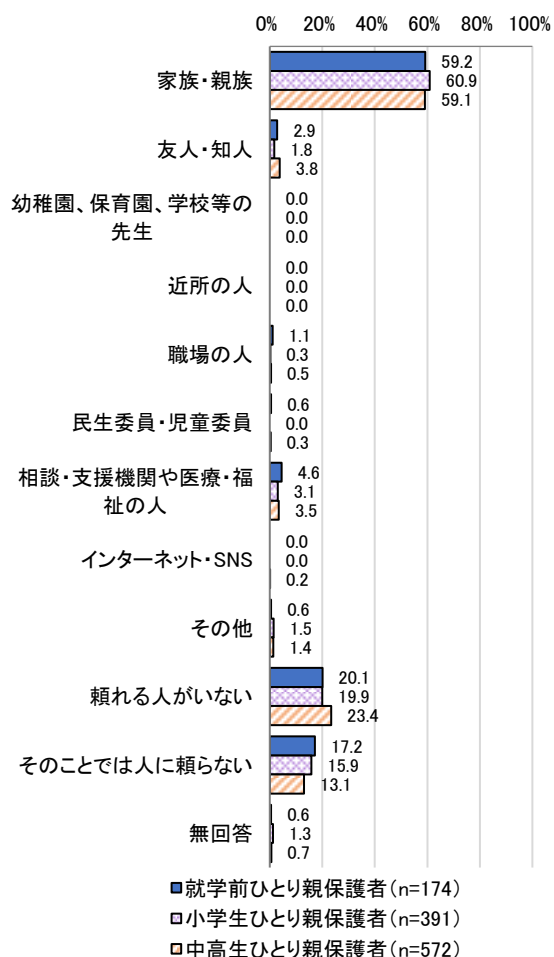
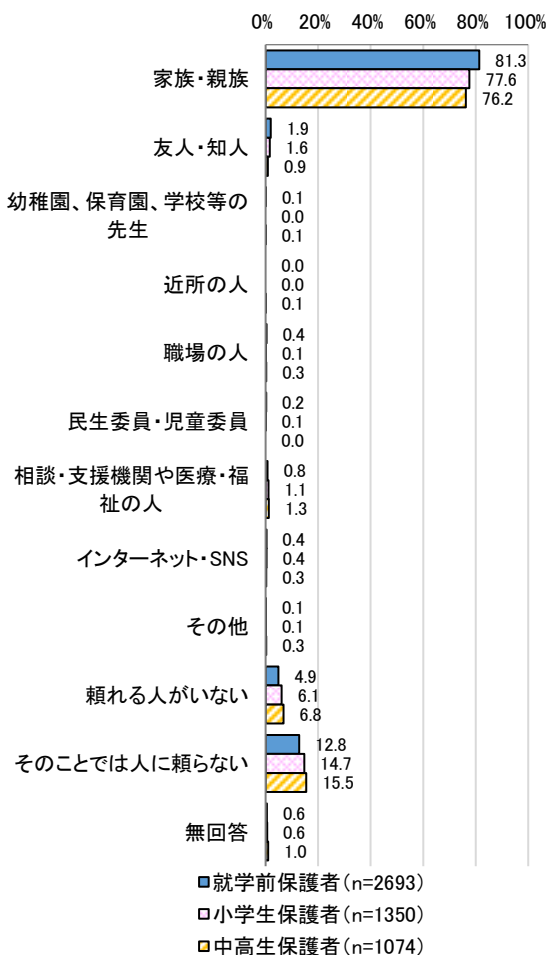


<生活困難度別>

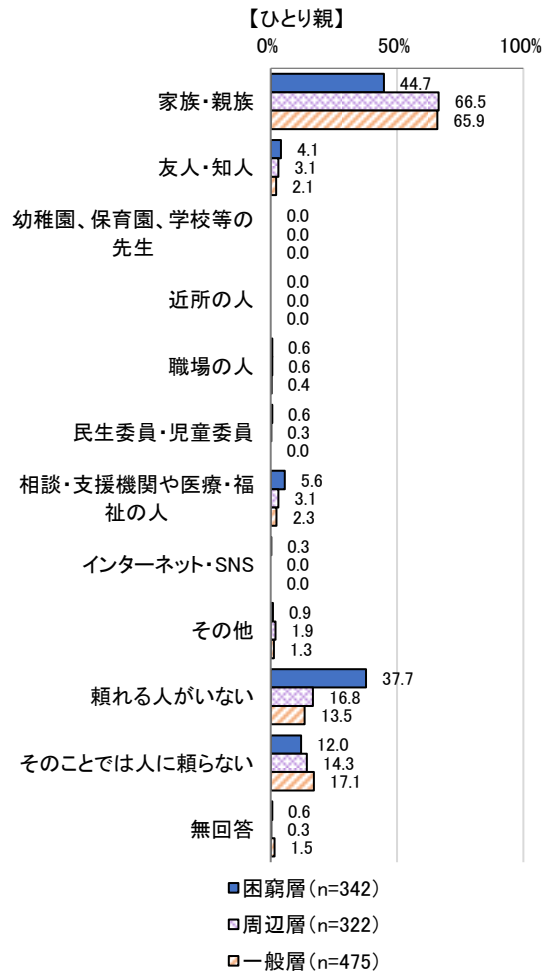
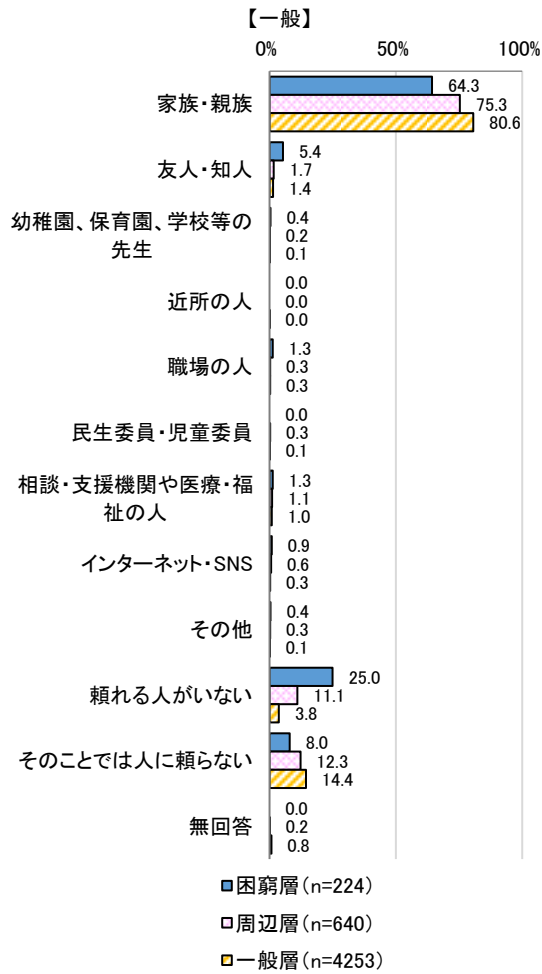


③ いざという時のお金の援助

- ・「家族・親族」の割合が最も高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯に関わらず困窮層では「頼れる人がいない」の割合が他世帯と比べて高い。

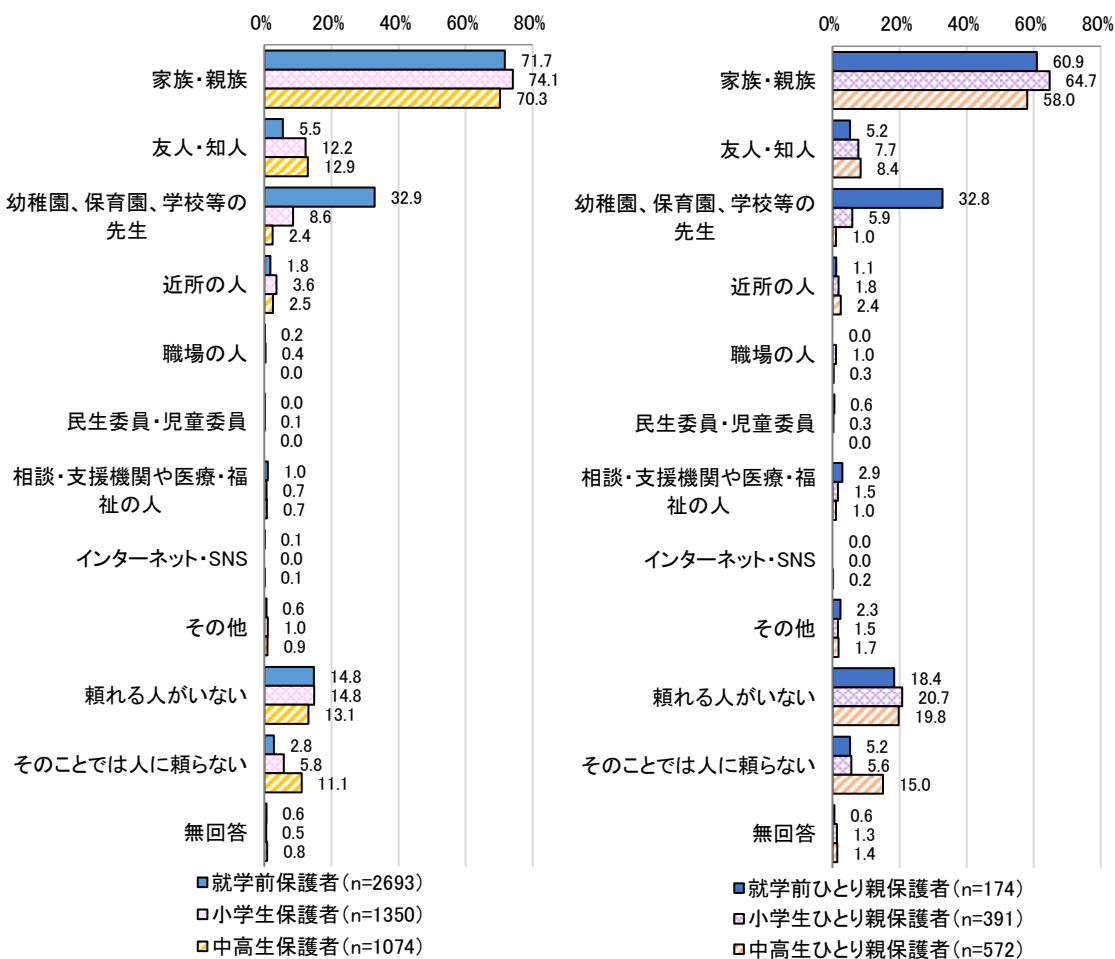


<生活困難度別>

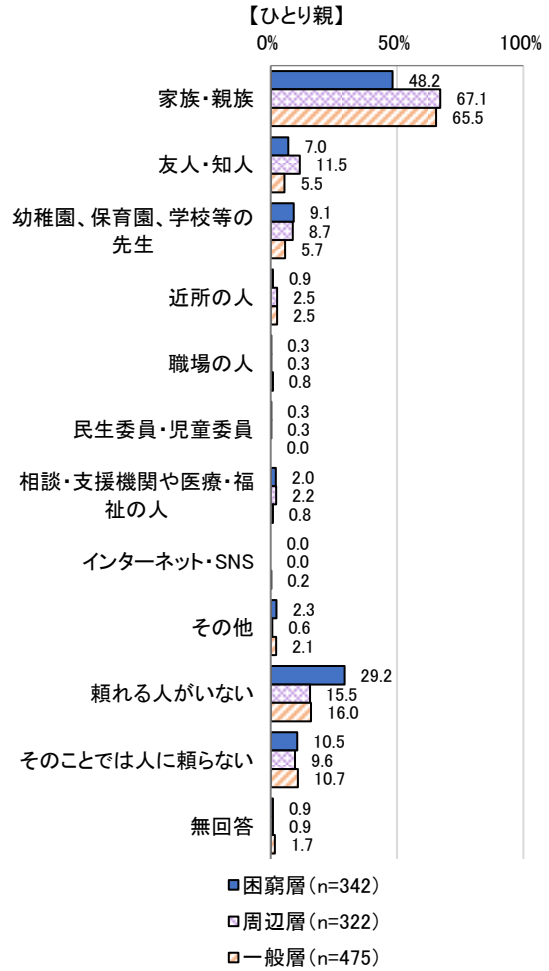
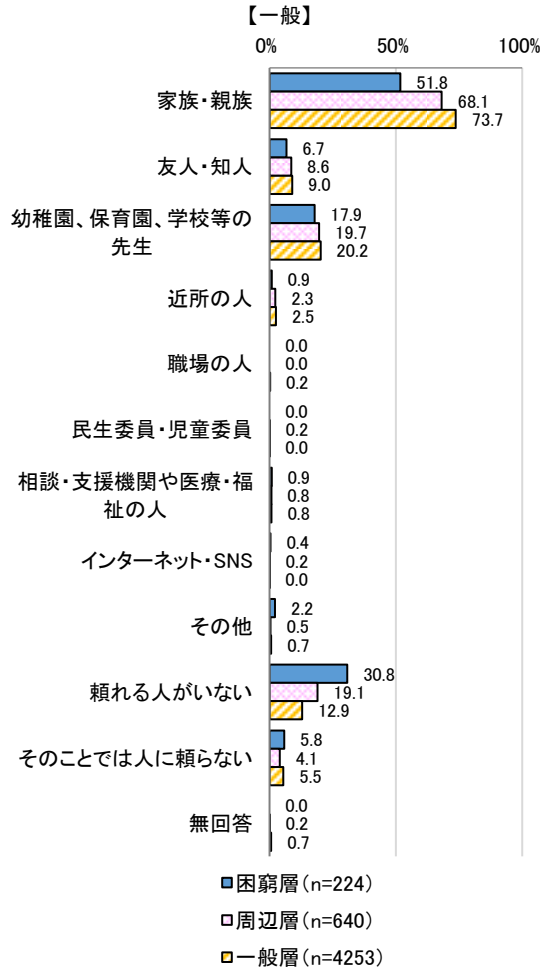


④ 日常的に子どもをみてもらえる人

- ・「家族・親族」の割合が最も高い。
- ・一般世帯、ひとり親世帯に関わらず就学前保護者で「幼稚園、保育園、学校等の先生」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯に関わらず困窮層では「頼れる人がいない」の割合が他世帯と比べて高い。

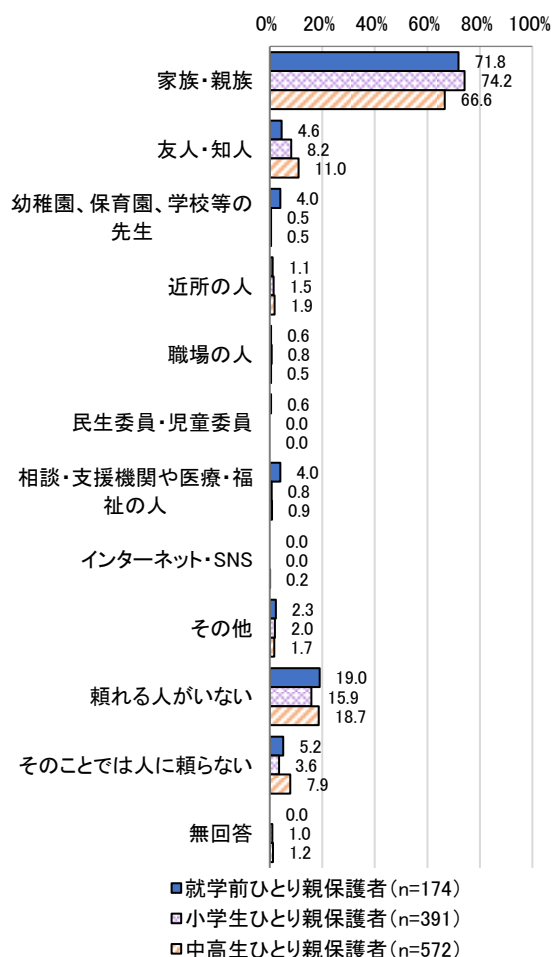
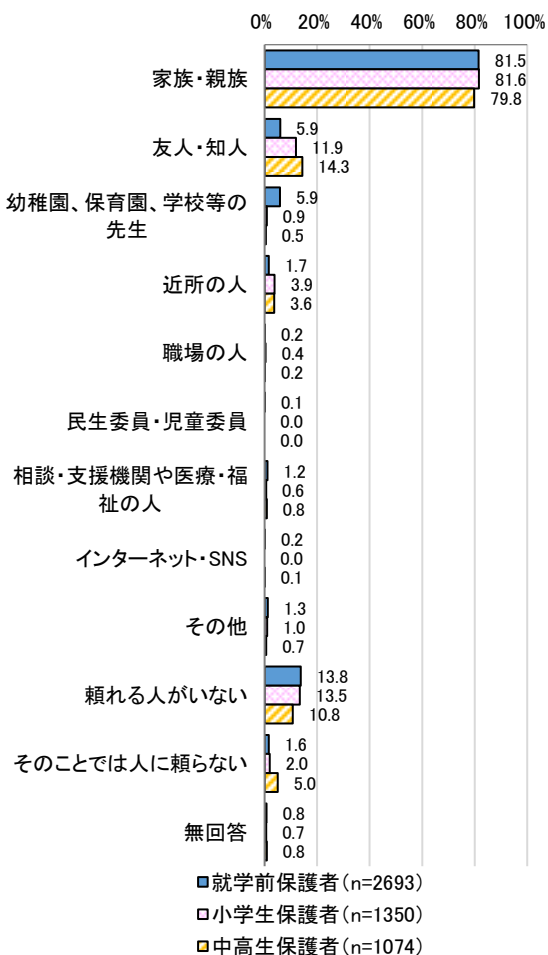


<生活困難度別>

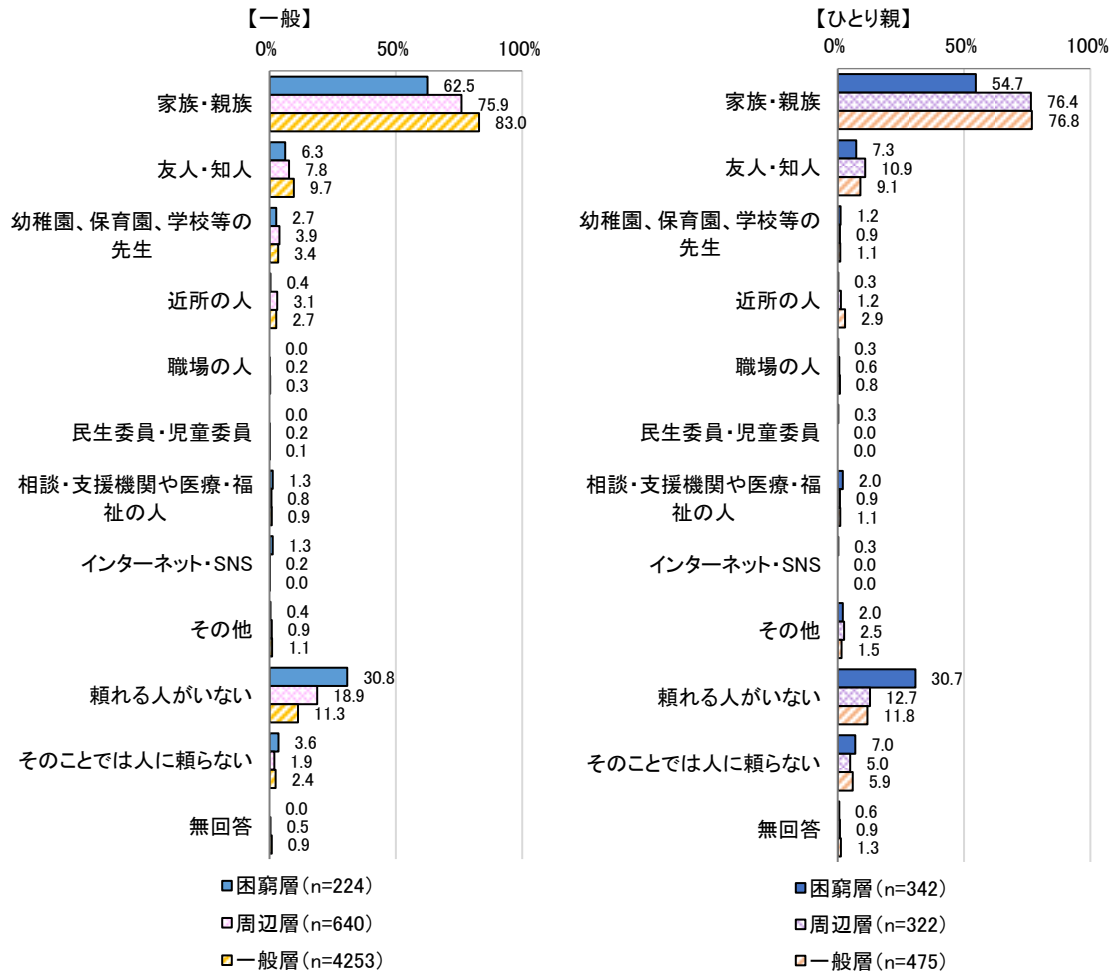


⑤ 子どもの病気やご自身の用事するときなどの緊急時に子どもをみてもらえる人

- ・「家族・親族」の割合が最も高い。
- ・生活困難度別にみると、一般世帯、ひとり親世帯に関わらず困窮層では「頼れる人がいない」の割合が他世帯と比べて高い。



<生活困難度別>



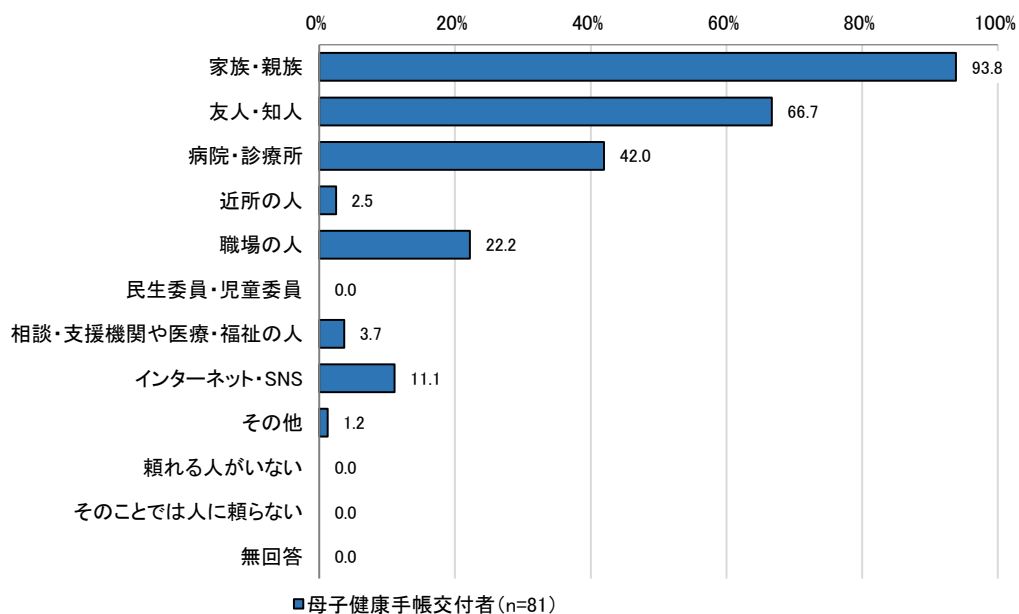
・世帯を問わず、どの事柄においても頼れる人がいないと感じる割合が一定程度あり、困窮層ではその割合はさらに高くなる傾向がみられる。

(8) 出産や子育てに関する相談相手

問 あなたが出産や子育てに関して相談できる人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○)

母問7

・「家族・親族」の割合が最も高い。



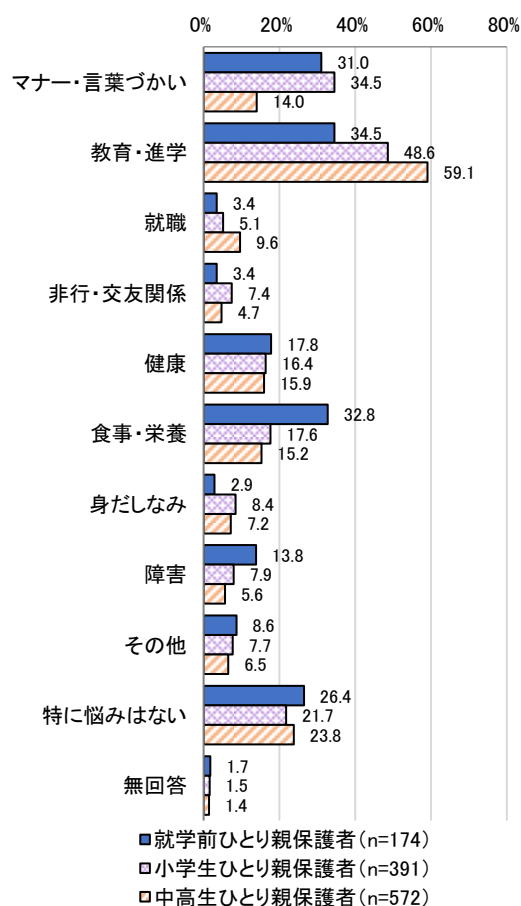
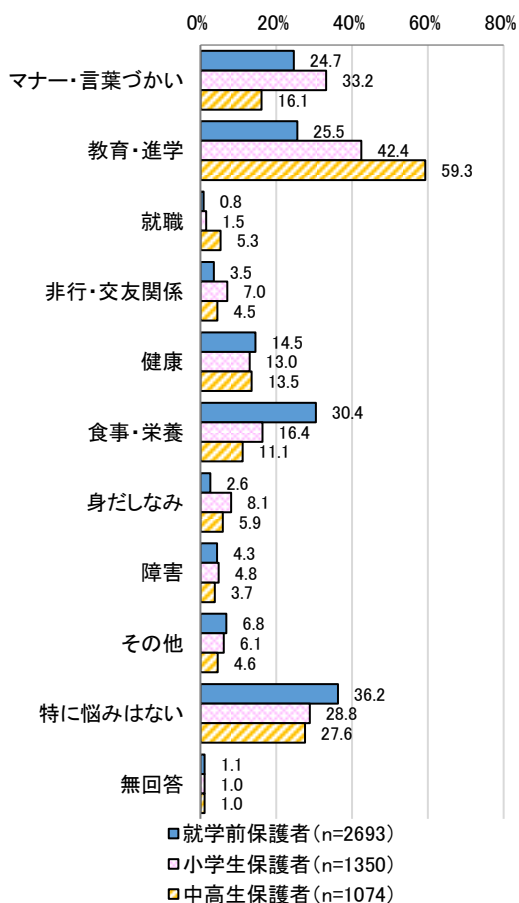
(9) 悩み、困りごと

問 現在悩んでいる・困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

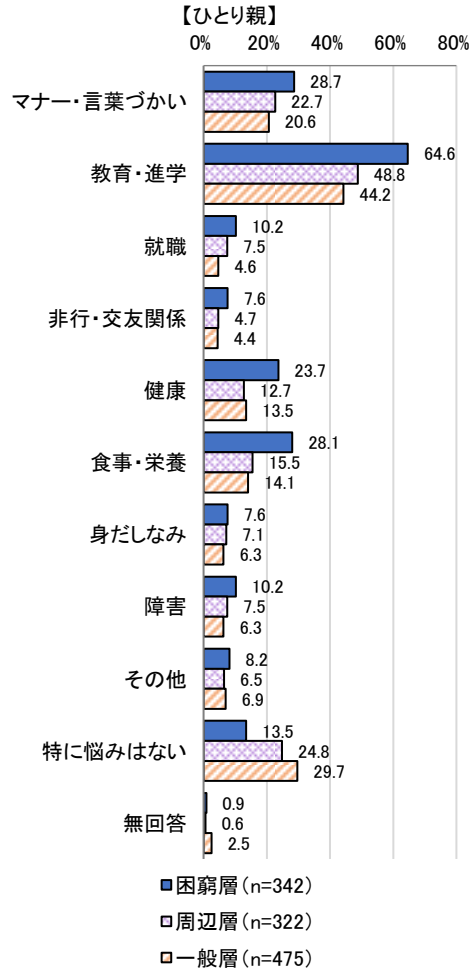
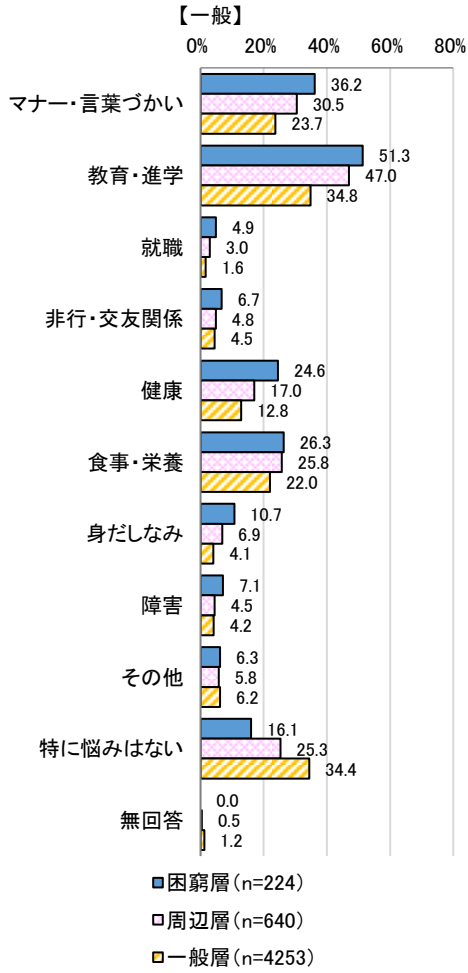
就問14、小問18、中高問18、ひ問14、ひ就問16、ひ小問19、ひ中高問19

●お子さんに関すること

- ・学年が上がるほど「教育・進学」の割合が高い。
- ・一般世帯、ひとり親世帯に関わらず就学前保護者で「食事・栄養」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層ほど悩みや困りごとが多い。

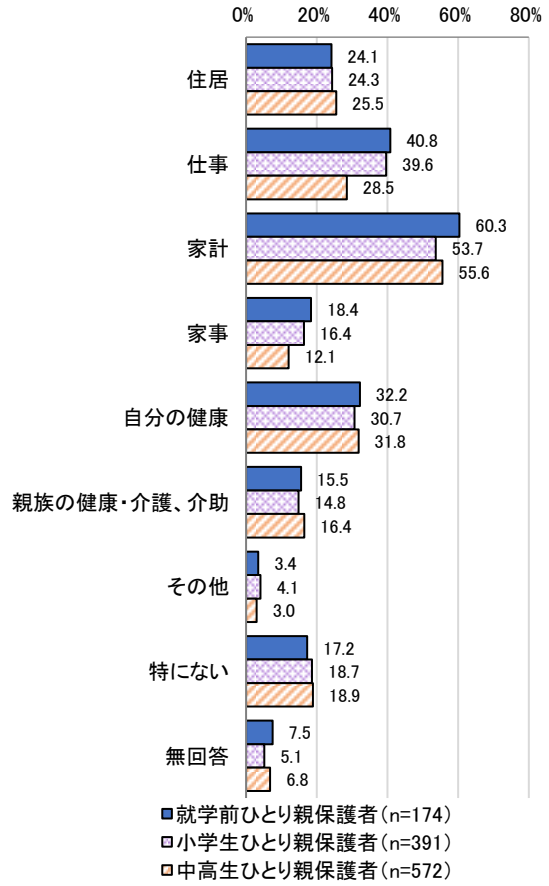
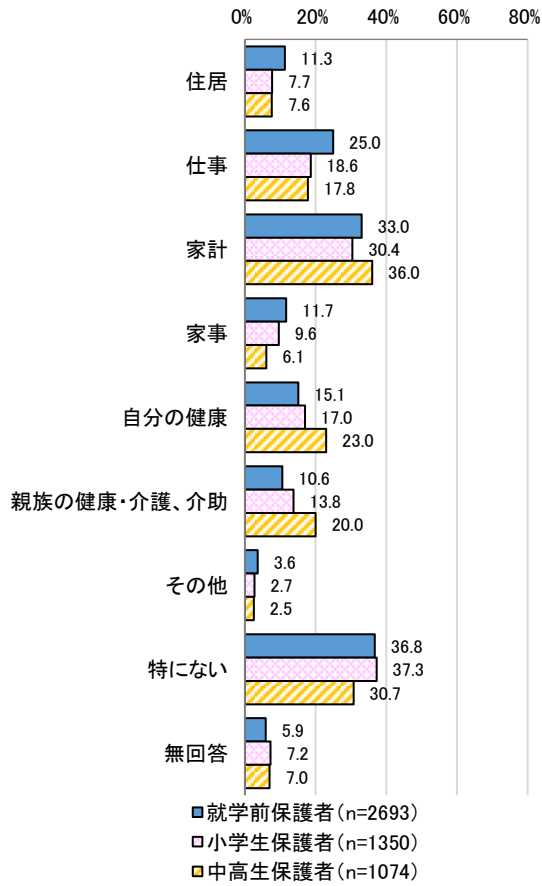


<生活困難度別>

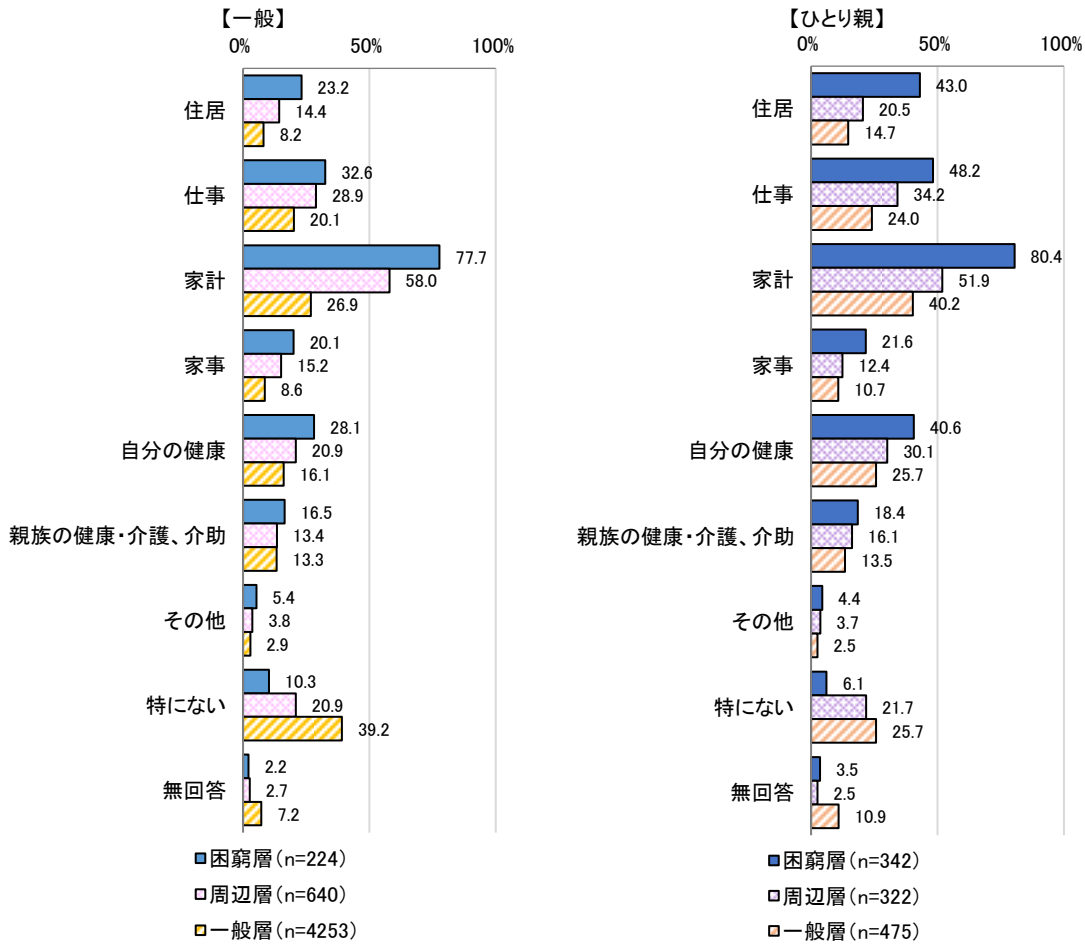


●その他の悩みなど

- ・一般世帯よりもひとり親世帯で悩みや困りごとが多い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層ほど悩みや困りごとが多い。



<生活困難度別>



- ・子どもに関する悩みでは、困窮層を除く他の層では「特に悩みはない」という回答が多く、困窮層では「教育・進学」に関する悩みが顕著になっている。家庭の経済状況がこうした悩みの要因の一つと考えられる。
- ・困窮層では、その他に関する悩みも多く、経済的な問題が悩みの多さに影響していると考えられる。

(10) 心理的状态

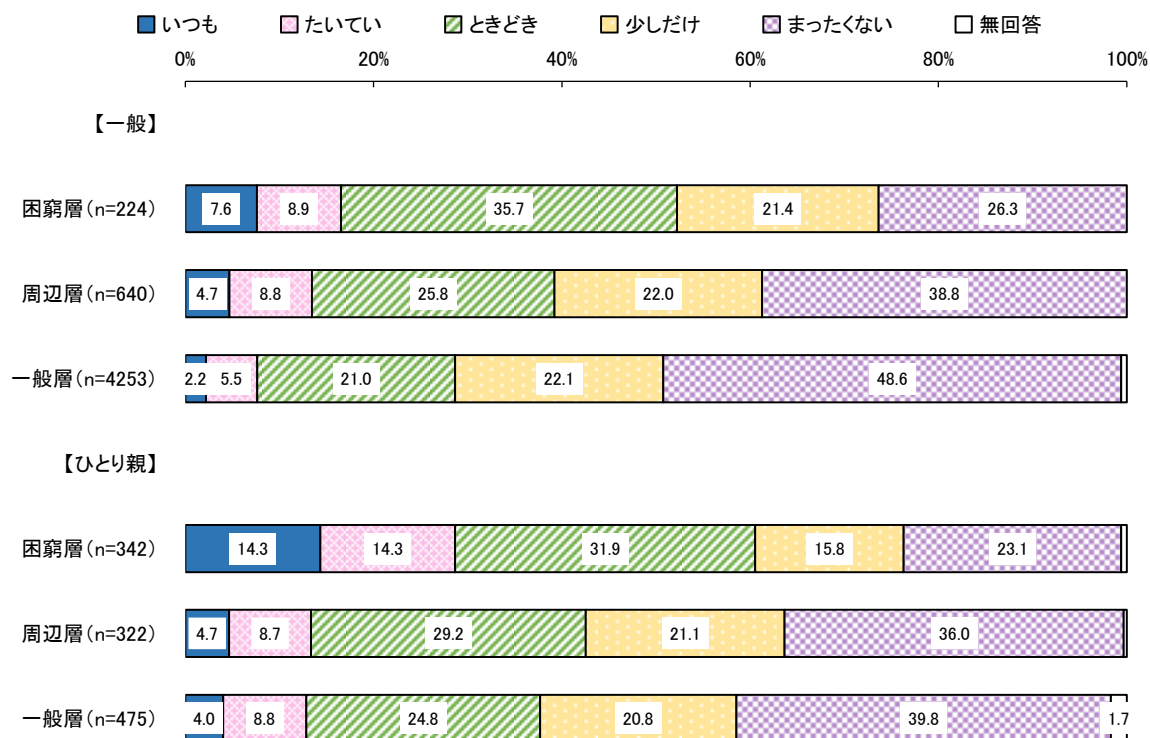
問 この1か月間を振り返って、次のような気持ちになったことはありますか。(それぞれ1つに○)

就問15、小問19、中高問19、ひ問15、ひ就問17、ひ小問20、ひ中高問20

- ・一般世帯よりもひとり親世帯で心理的な困難を感じている割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層ほど心理的な困難を感じている割合が高い。

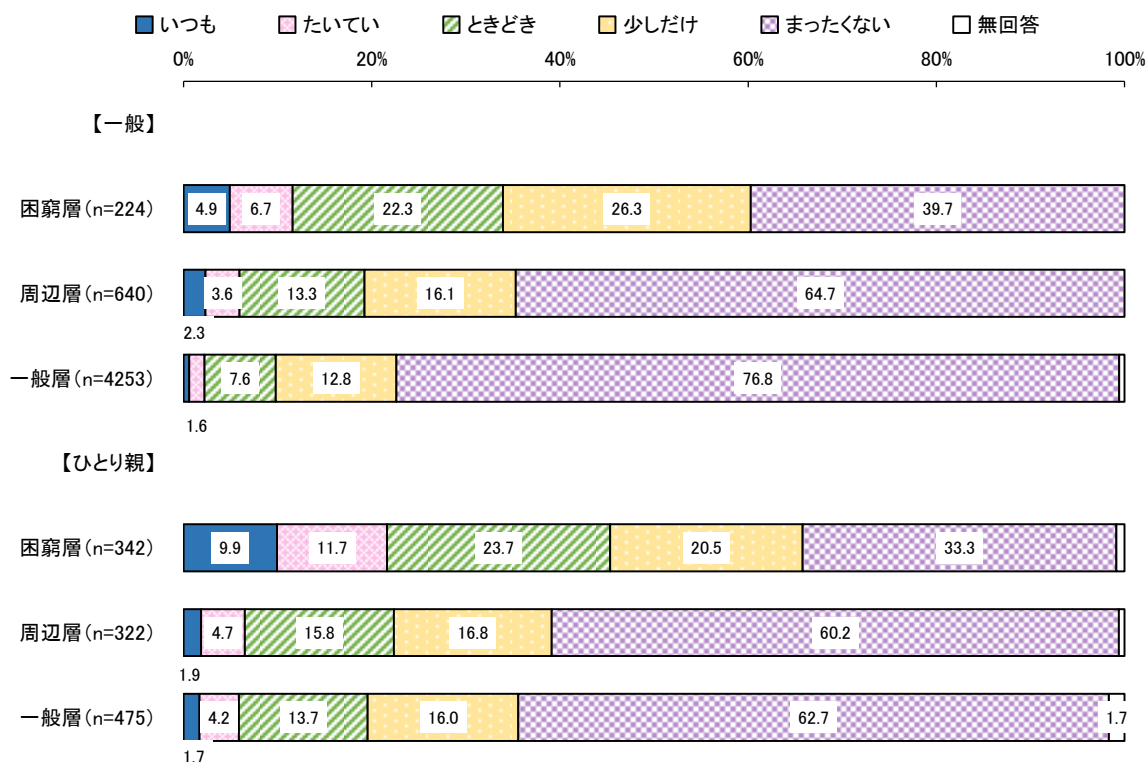
① 神経過敏に感じた

<生活困難度別>



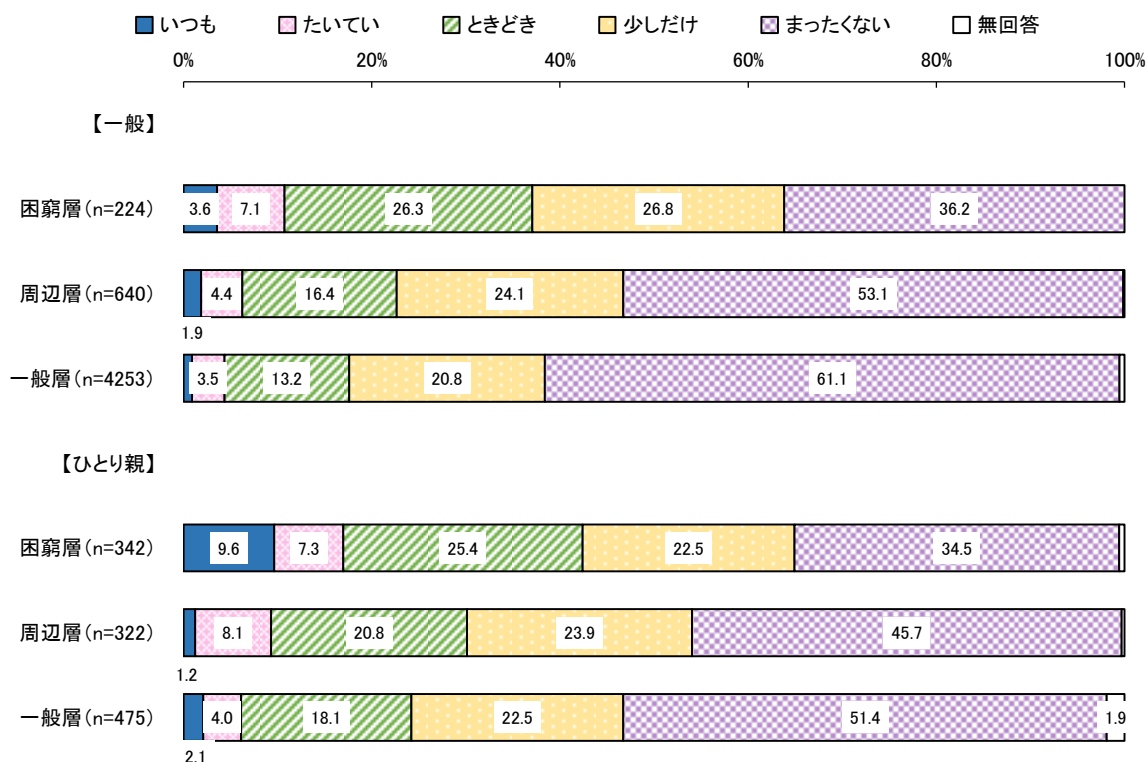
② 絶望的だと感じた

<生活困難度別>



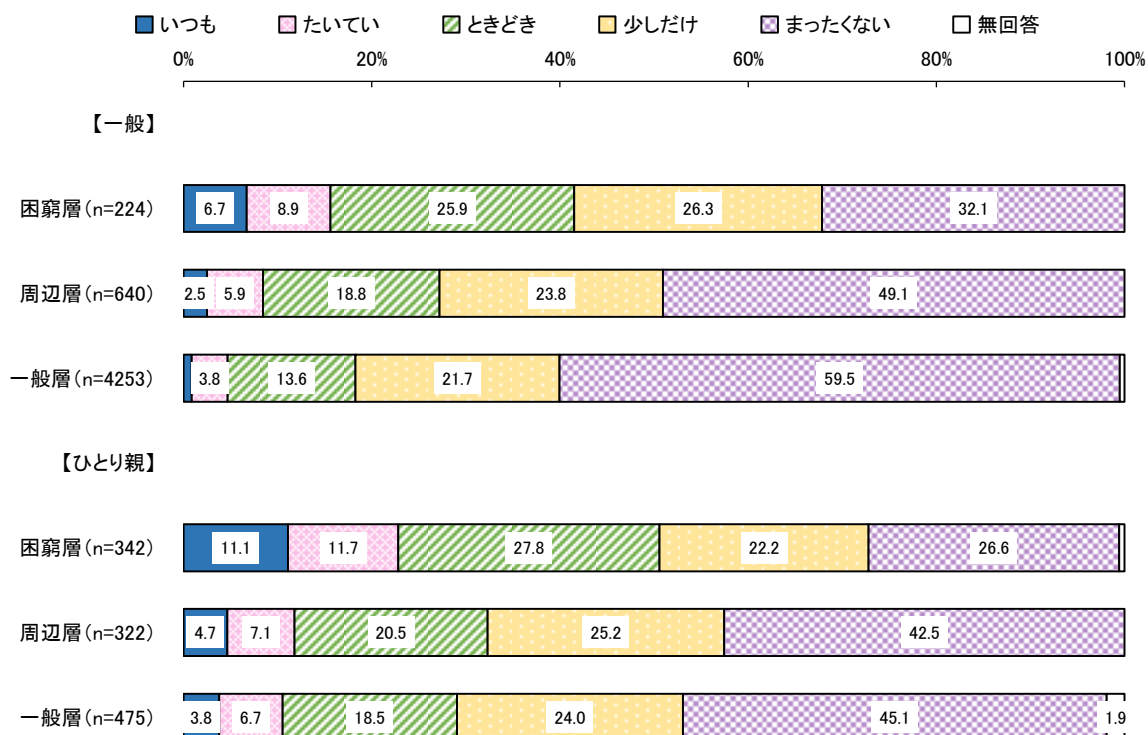
③ そわそわ、落ち着かなく感じた

<生活困難度別>



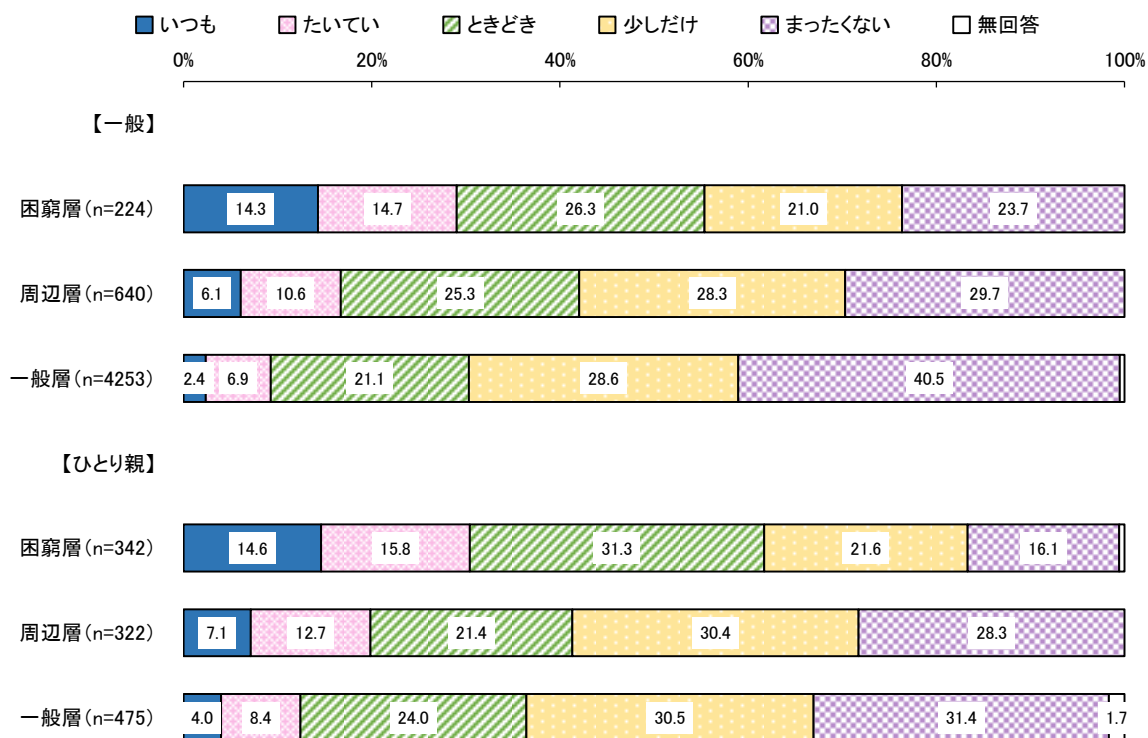
④ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

<生活困難度別>



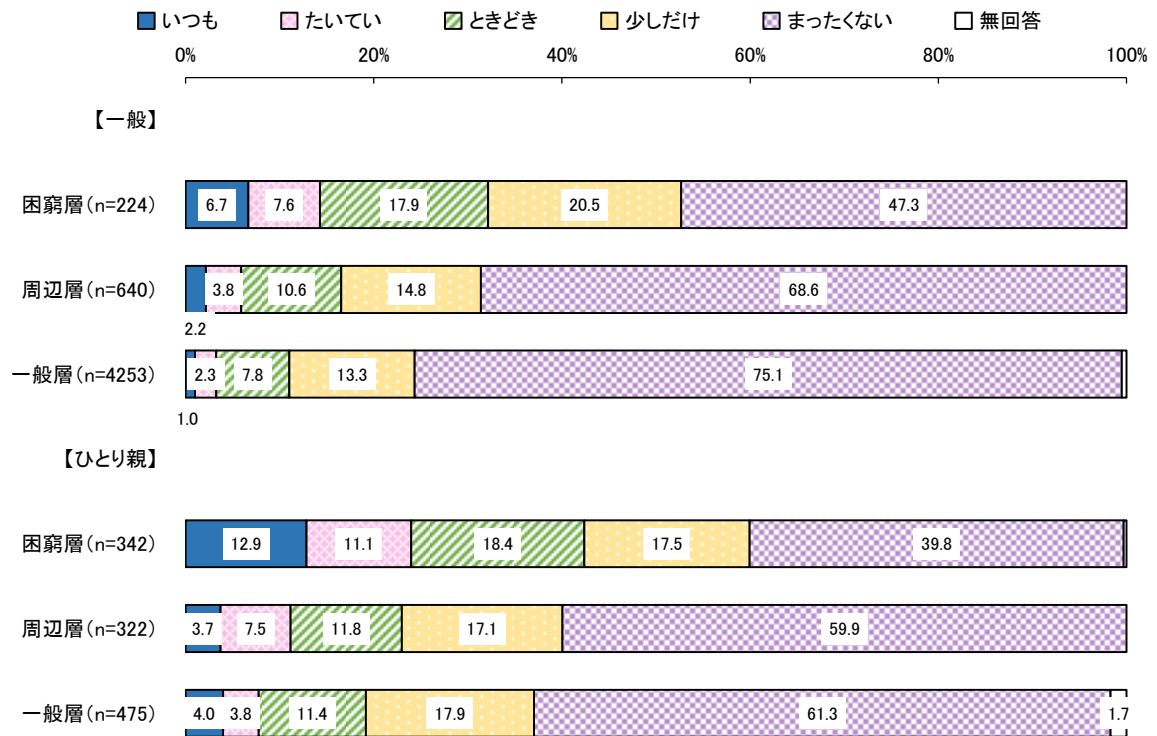
⑤ 何をするのも面倒だと感じた

<生活困難度別>



⑥ 自分は価値のない人間だと感じた

<生活困難度別>

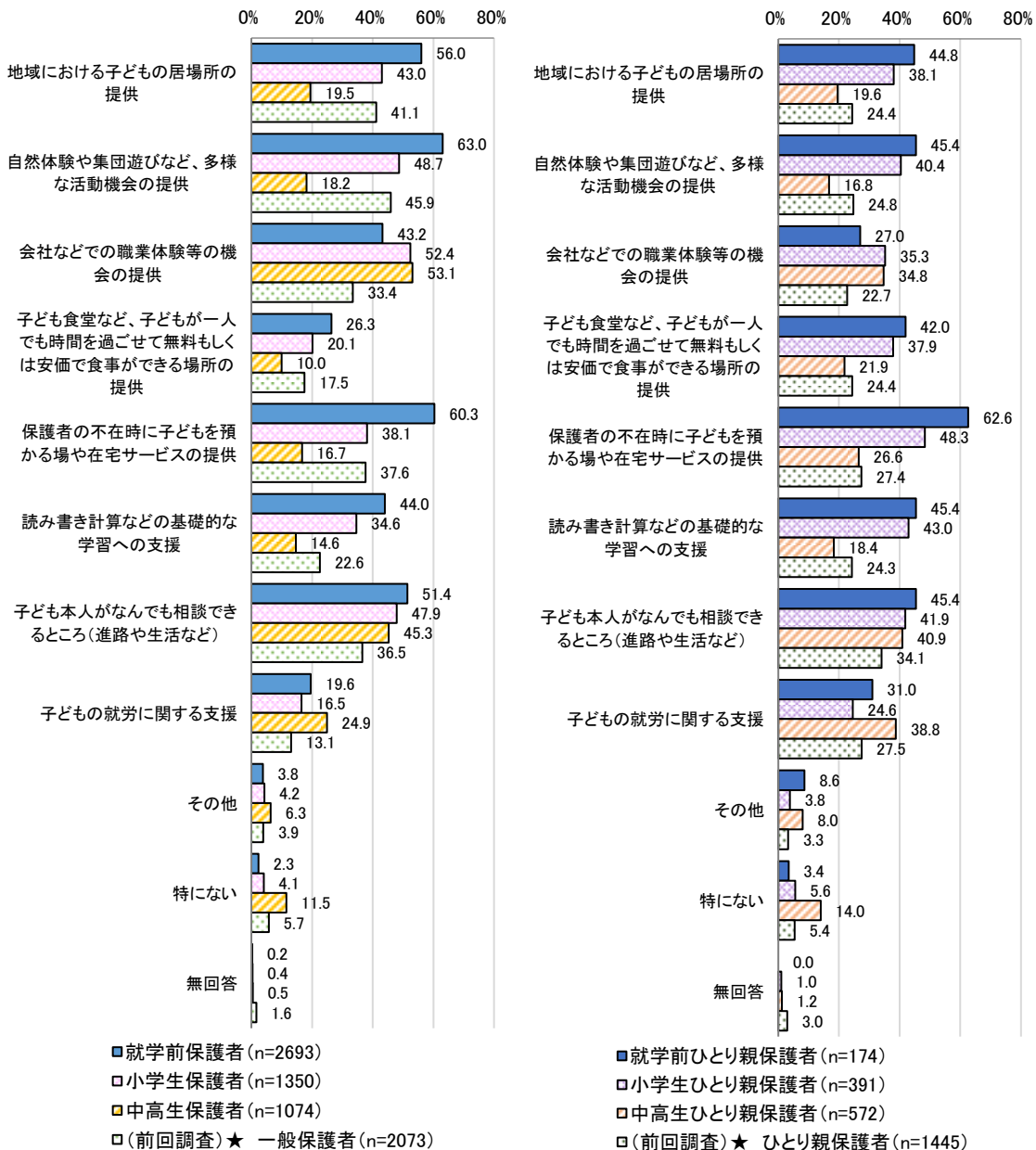


(11) 支援ニーズ

問 お子さんにとって、現在、または将来的に、どのような支援があるとよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

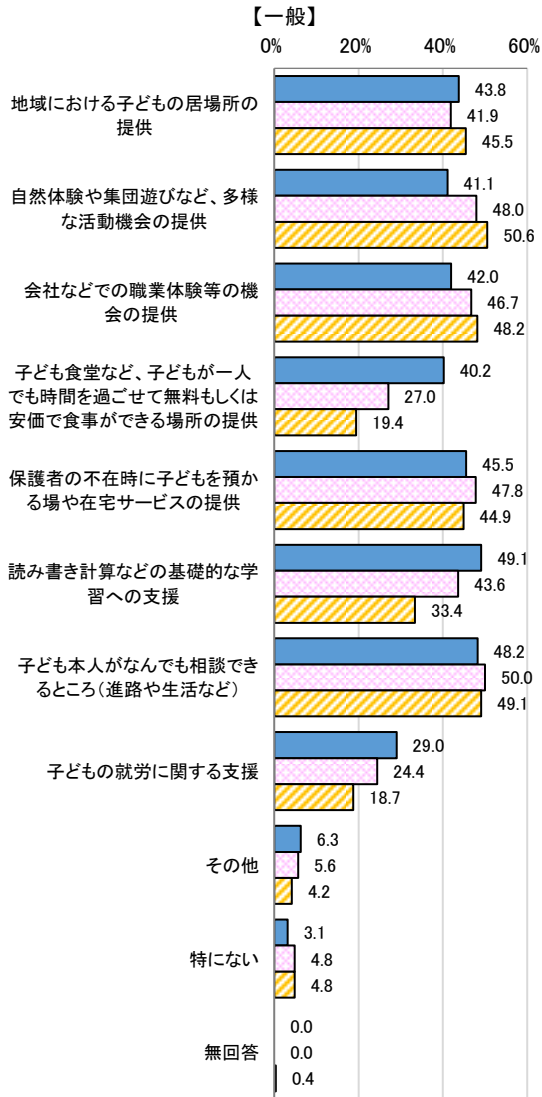
就問16、小問20、中高問20、ひ問16、ひ就問18、ひ小問21、ひ中高問21

- ・一般世帯、ひとり親世帯に関わらず就学前保護者で「保護者の不在時に子どもを預かる場や在宅サービスの提供」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層ほど「子ども食堂など、子どもが一人でも時間を過ごせて無料もしくは安価で食事ができる場所の提供」の割合が高い。

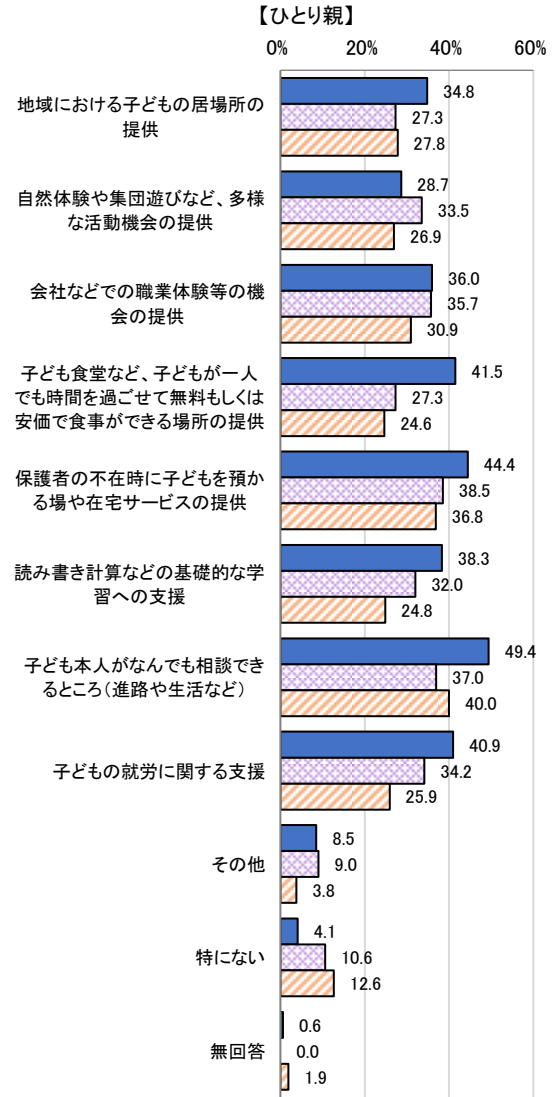


- ・就学前保護者は、預かりサービスや遊びや活動の機会を重視しているのに対し、小学生と中高生保護者は職業体験や相談窓口の提供を重視している傾向がみられる。
- ・「支援ニーズ」については、年齢層ごとに異なる焦点があることがうかがえる。

<生活困難度別>



■ 困窮層 (n=224)
 □ 周辺層 (n=640)
 □ 一般層 (n=4253)



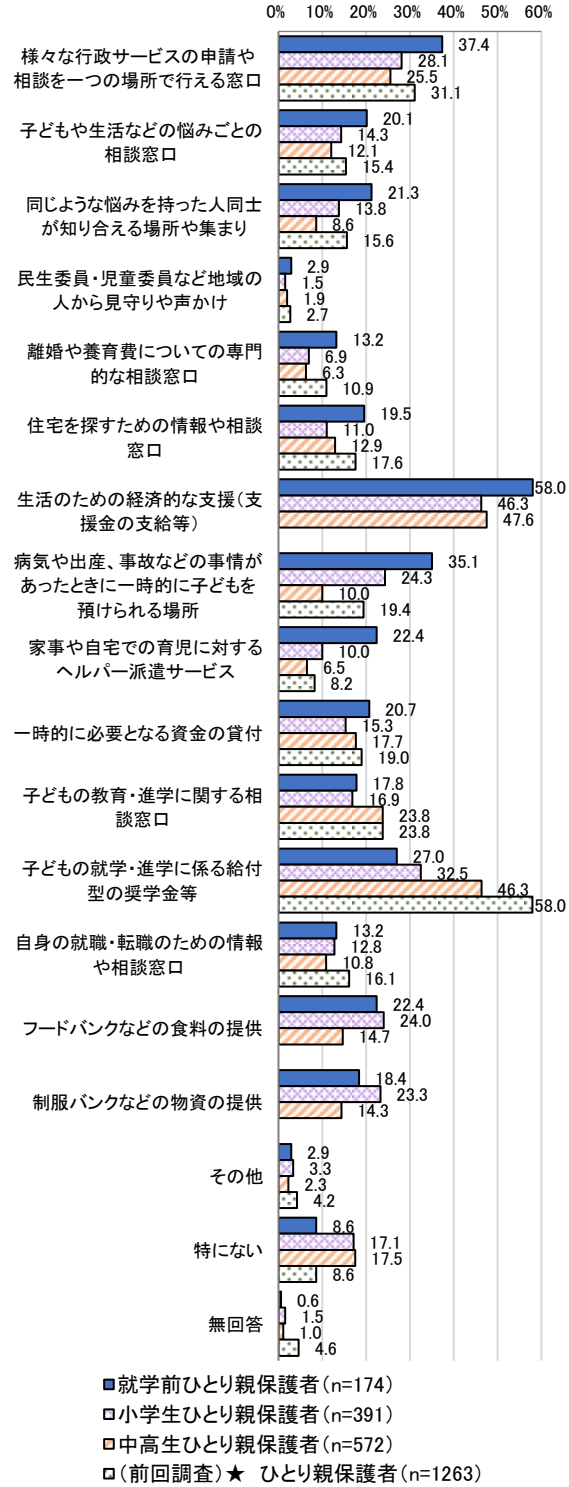
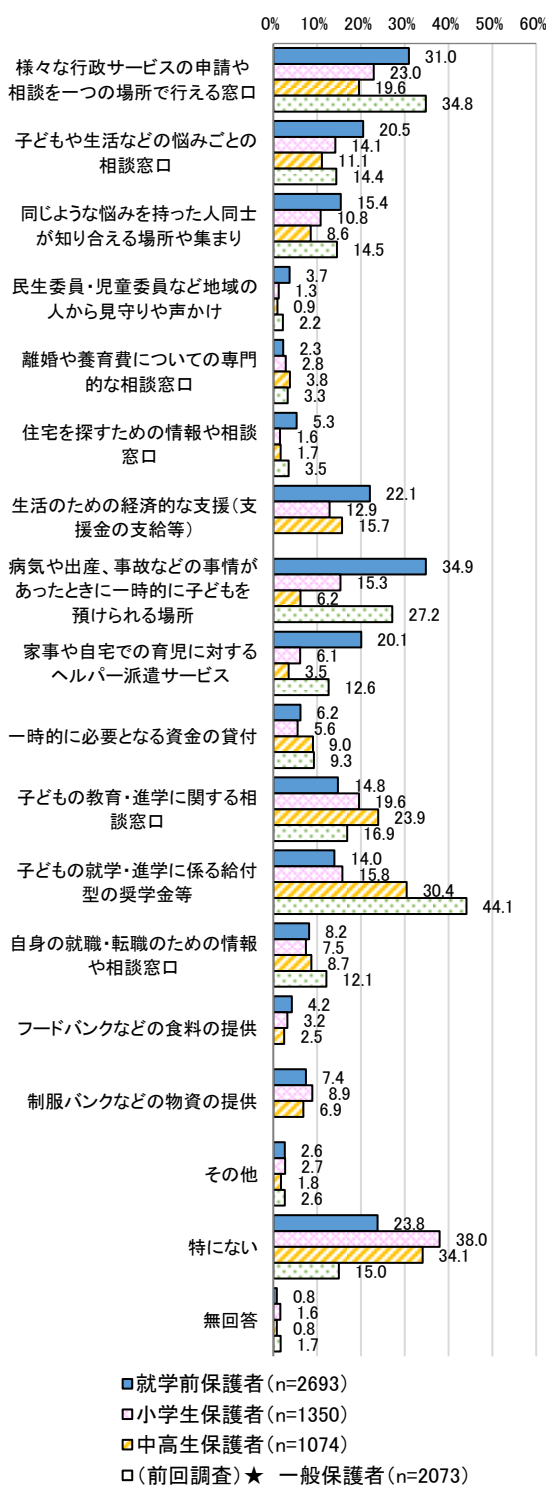
■ 困窮層 (n=342)
 □ 周辺層 (n=322)
 □ 一般層 (n=475)

(12) 現在必要としている支援

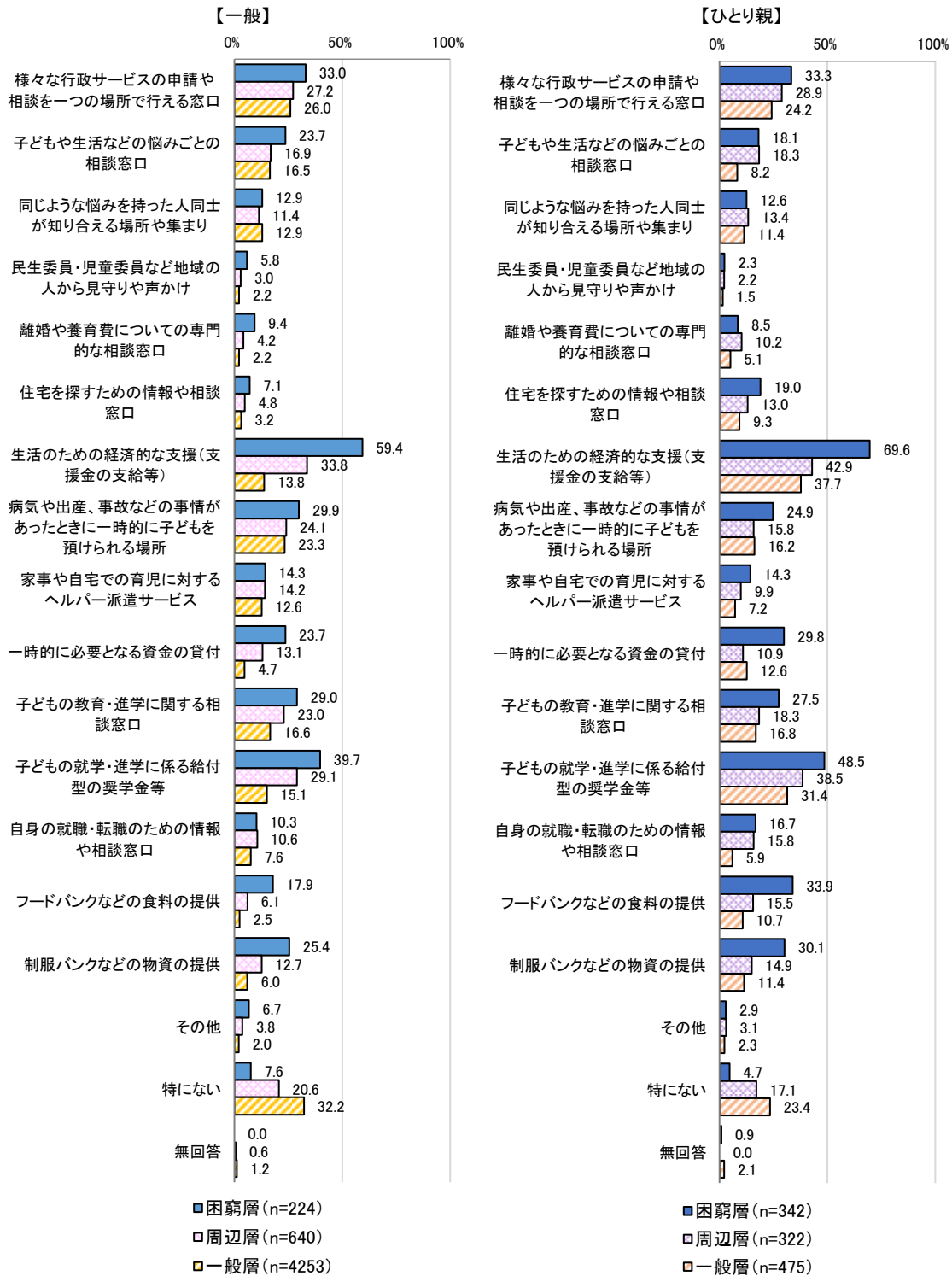
問 以下の選択肢のうち、あなたが現在必要としている支援等がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

就問17、小問21、中高問21、ひ問17、ひ就問19、ひ小問22、ひ中高問22

- ・ひとり親世帯では「生活のための経済的な支援（支援金の支給等）」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層ほど現在必要としている支援が多い。



<生活困難度別>



- ・ひとり親世帯では、経済的支援のほか、食料や物資の提供など必要としている支援が多岐にわたっている。
- ・特にひとり親世帯の困窮層においては、経済的支援のニーズが高いことがわかる。

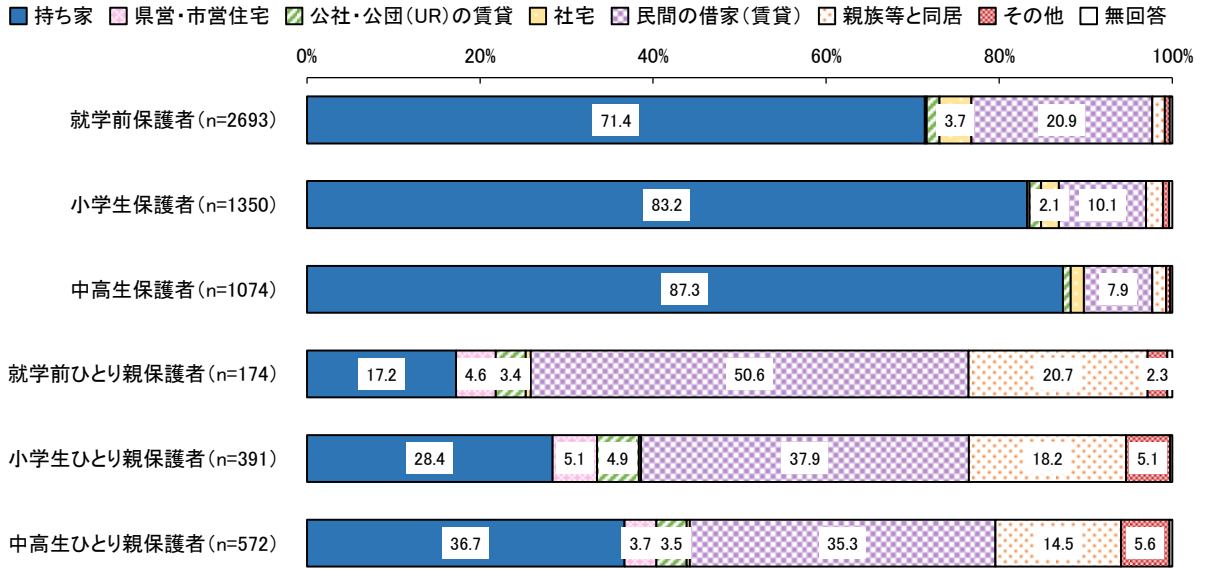
1-5. 世帯の状況について

(1) 住居の状況

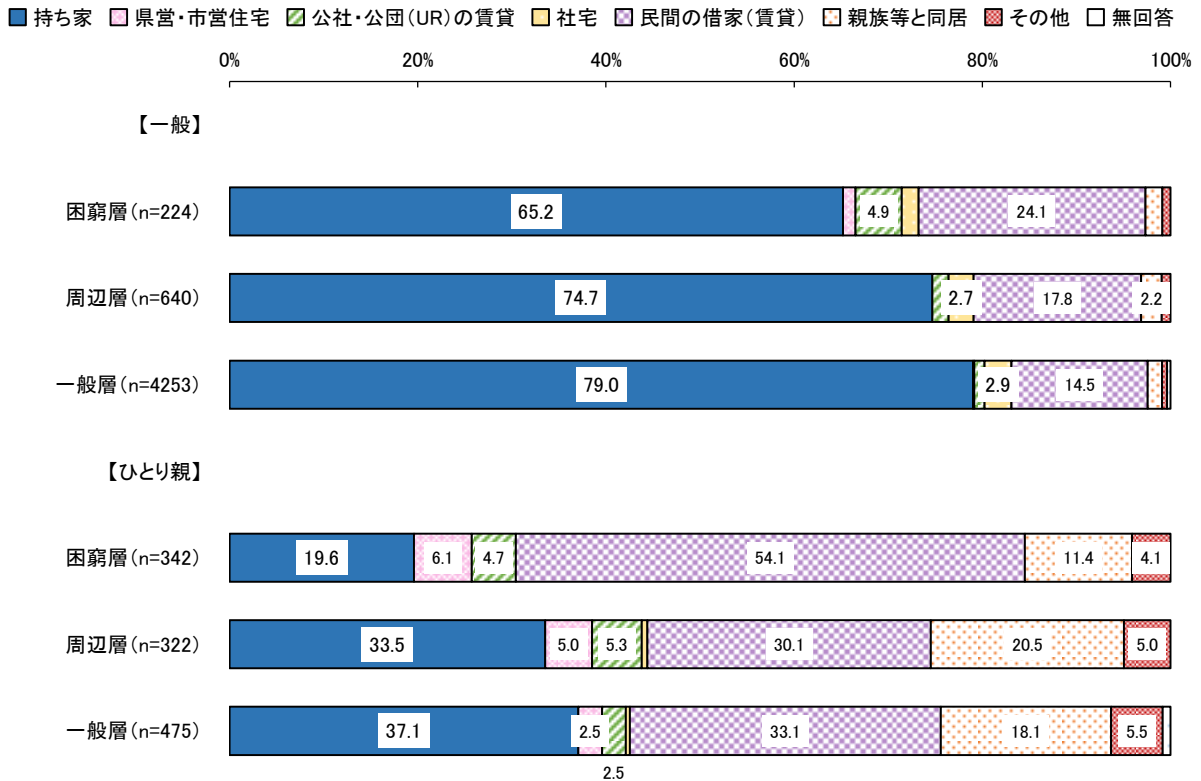
問 あなたの住居の状況について、教えてください。(1つに○)

就問18、小問22、中高問22、ひ問22、ひ就問20、ひ小問23、ひ中高問23

- ・「持ち家」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で低い。
- ・生活困難度別にみると、「持ち家」の割合は困窮層で低い。



<生活困難度別>



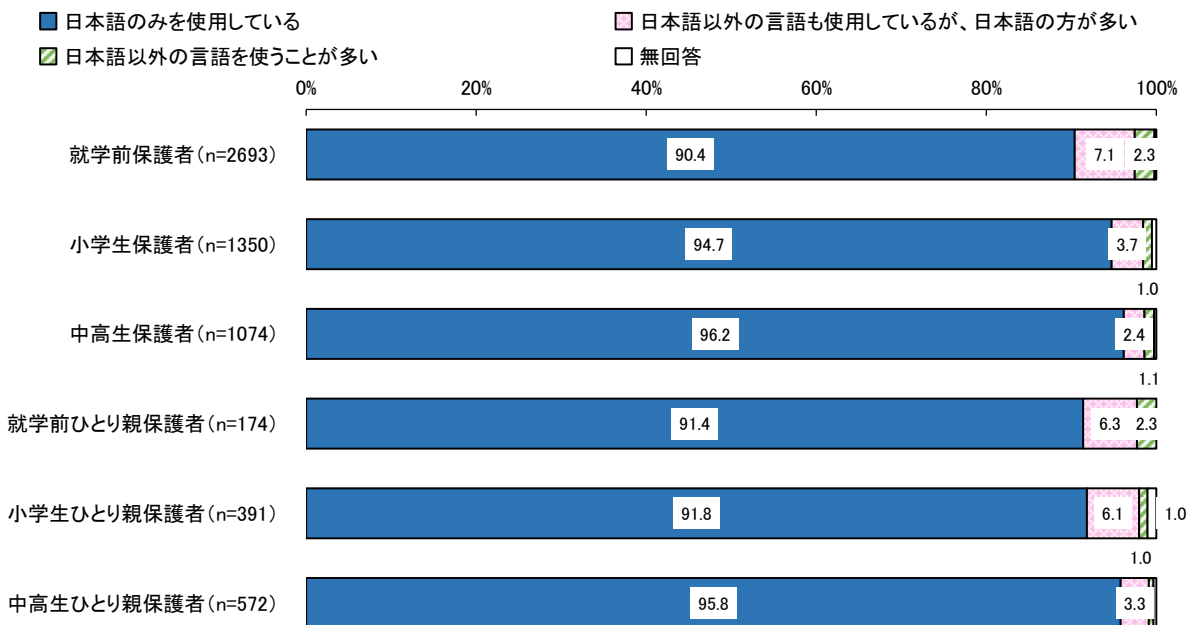
※2.0%未満はラベル非表示

(2) 日本語以外の言語の使用

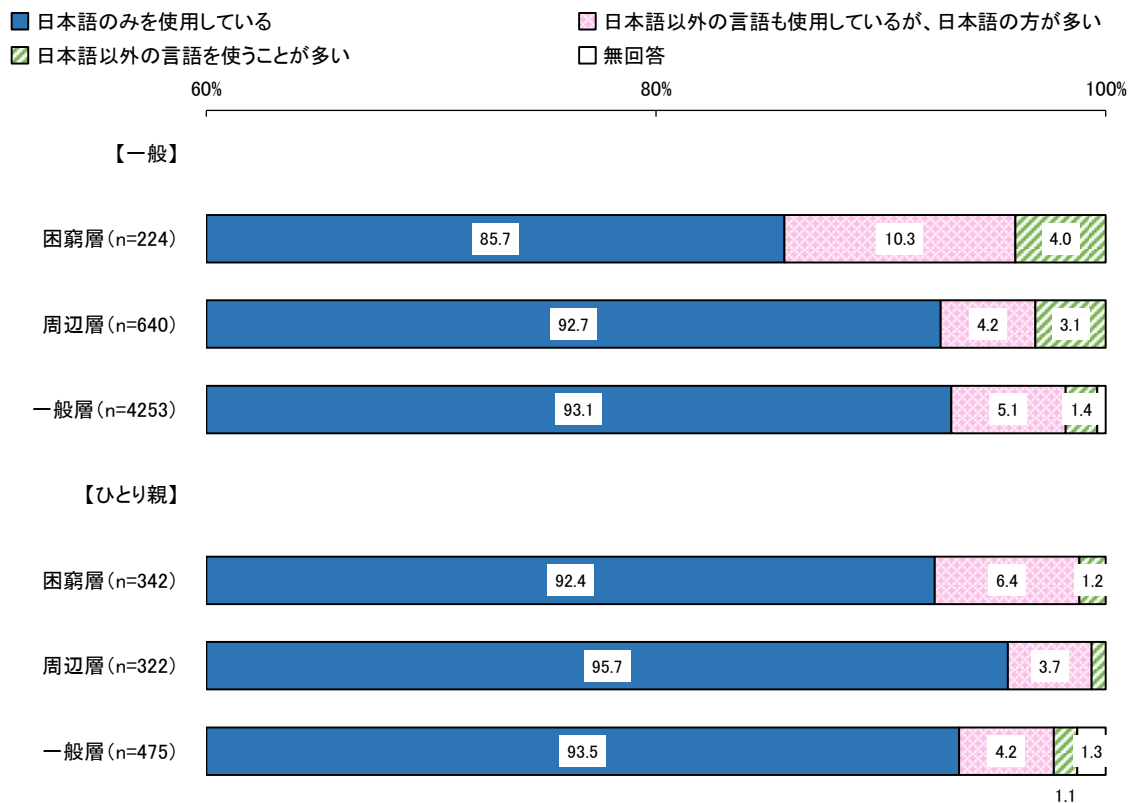
問 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(1つに○)

就問19、小問23、中高問23、ひ問25、ひ就問21、ひ小問24、ひ中高問24

- ・一般世帯の困窮層で、日本語以外の言語を使用する割合が高い。



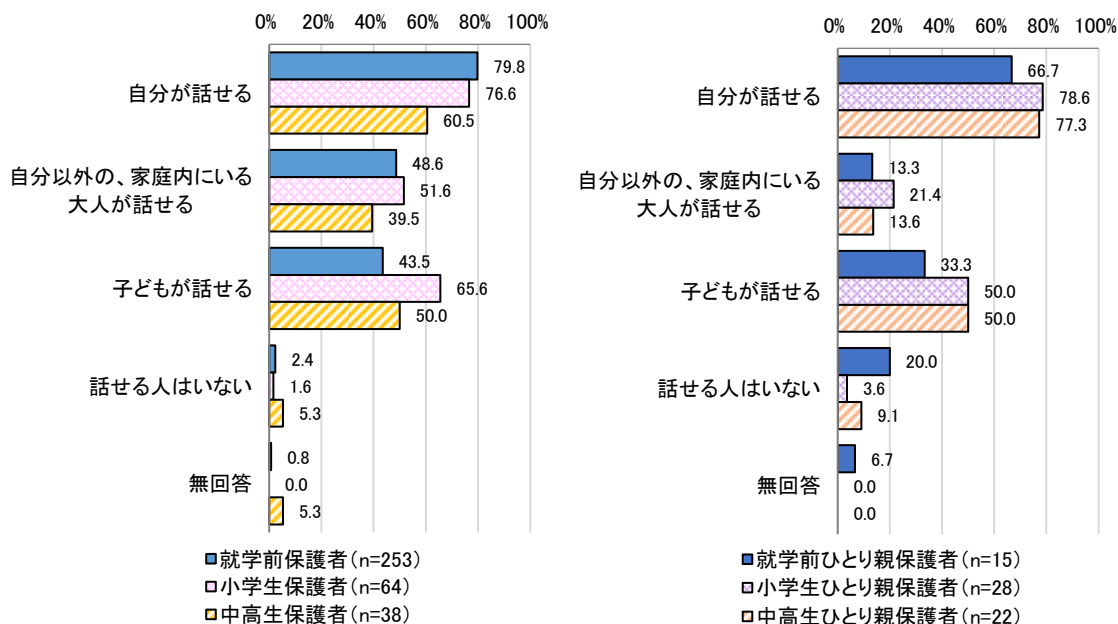
<生活困難度別>



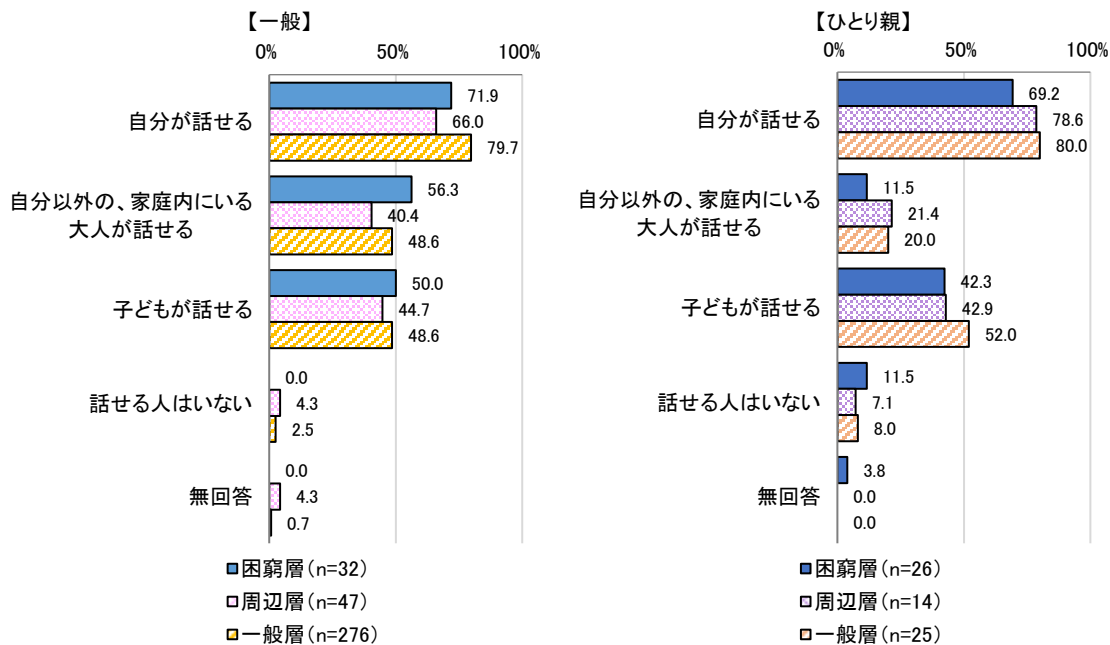
問 「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」「日本語以外の言語を使うことが多い」方にかがいます。ご家庭に、日本語を日常会話程度に話せる人はいますか。また、それはだれですか。(あてはまる番号すべてに○)

就問 1 9-1、小問 2 3-1、中高問 2 3-1、ひ問 2 5-1、ひ就問 2 1-1、ひ小問 2 4-1、ひ中高問 2 4-1

・「話せる人はいない」の割合は、就学前ひとり親保護者で高い。



<生活困難度別>

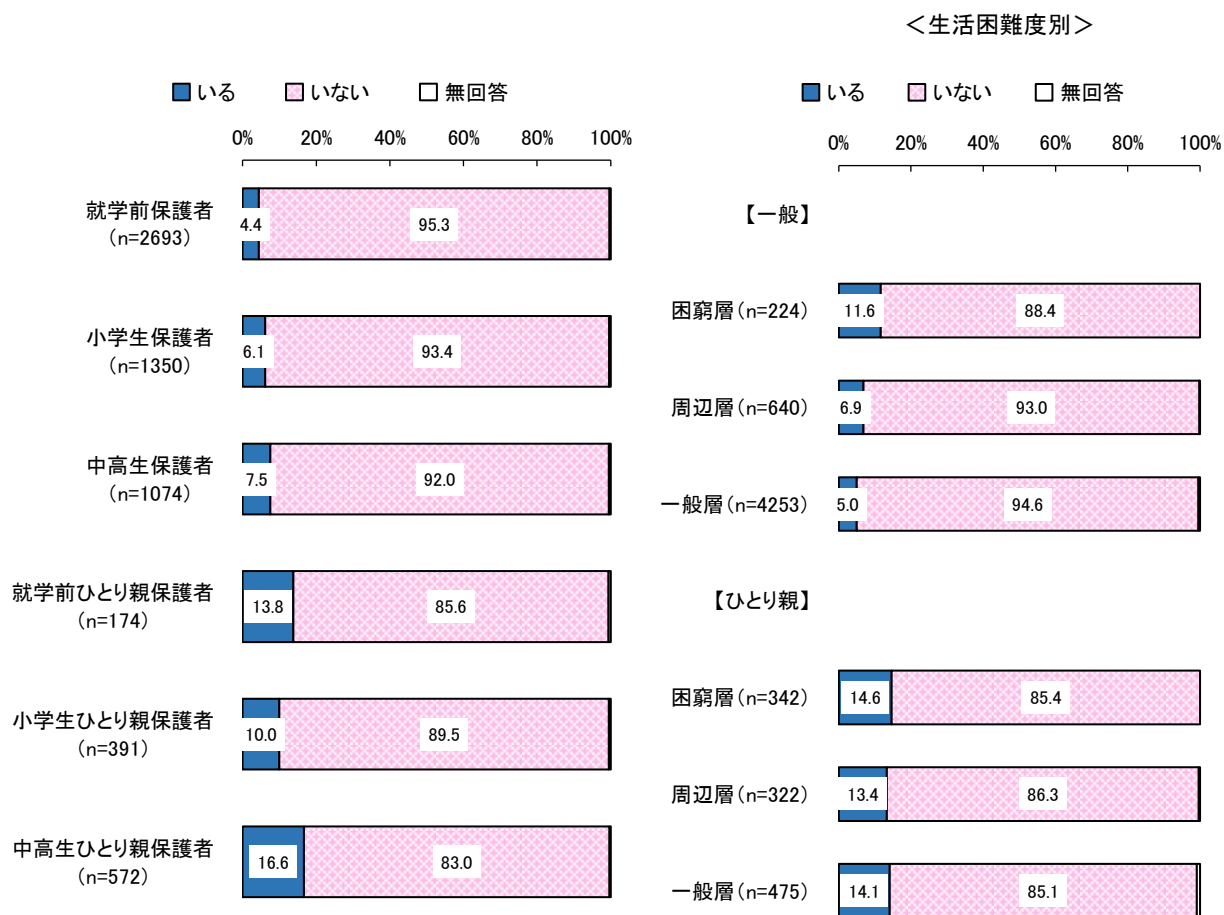


(3) 介護や介助が必要な方の有無

問 あなたの世帯には、高齢であったり障害があったりするなど、介護や介助が必要な方はいますか。(1つに○)

就問20、小問24、中高問24、ひ問26、ひ就問22、ひ小問25、ひ中高問25

- ・ 介護や介助が必要な方が「いる」割合は、ひとり親世帯で高い。
- ・ 生活困難度別にみると、介護や介助が必要な方が「いる」割合は、一般世帯では困窮層でやや高い。



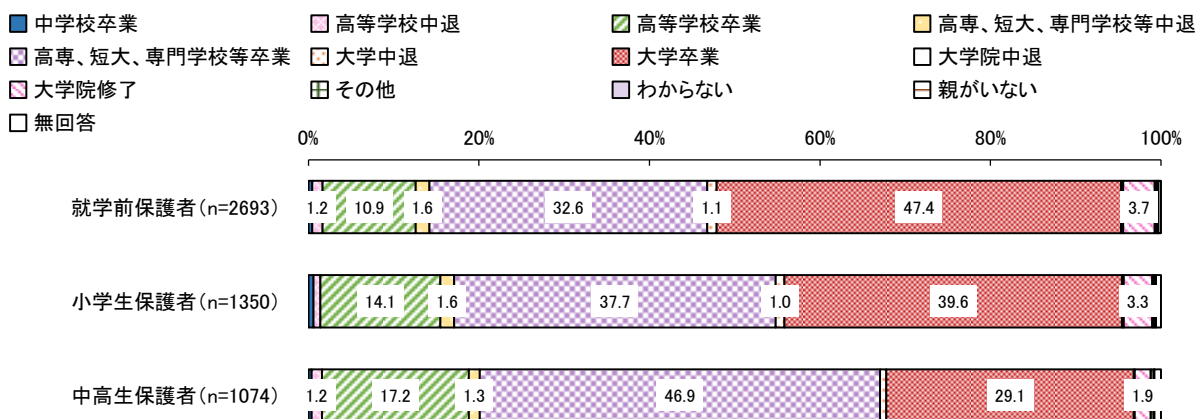
(4) 親の最終学歴

問 お子さんの親が最後に通った学校について教えてください。(それぞれ選択肢からあてはまる番号を記入)
(ひとり親：あなたが最後に通った学校について教えてください。)

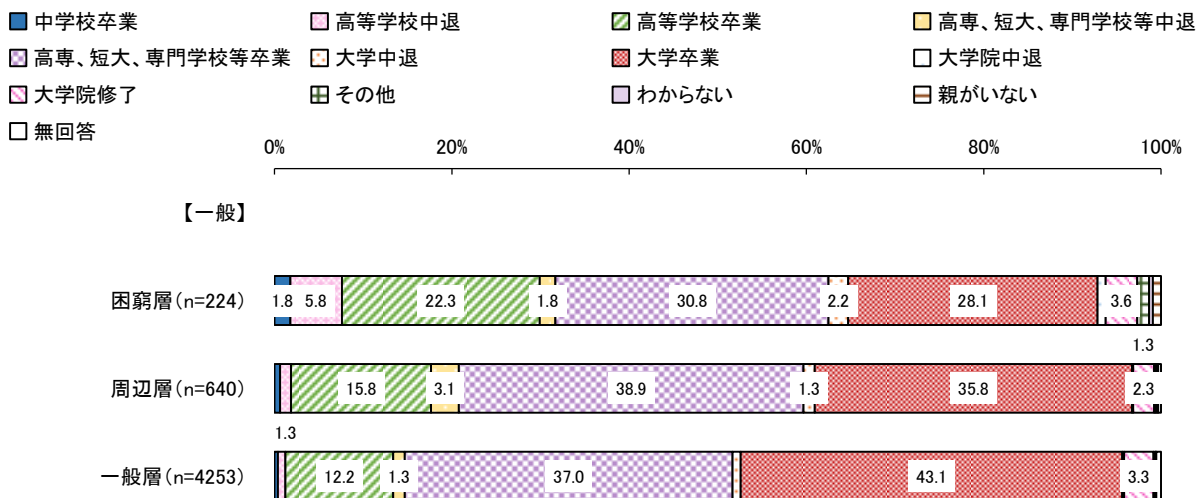
就問 2 1、小問 2 5、中高問 2 5、ひ問 2 7、ひ就問 2 3、ひ小問 2 6、ひ中高問 2 6

・ 父母、ひとり親いずれも困窮層ほど「高等学校卒業」の割合が高く、「大学卒業」の割合が低い。

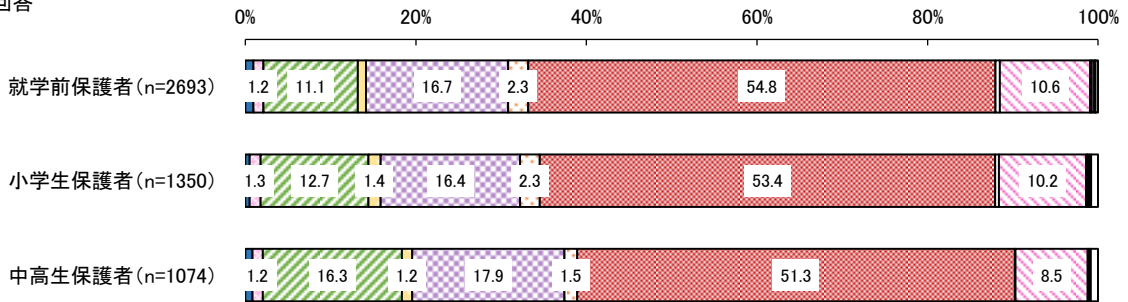
① お母さん



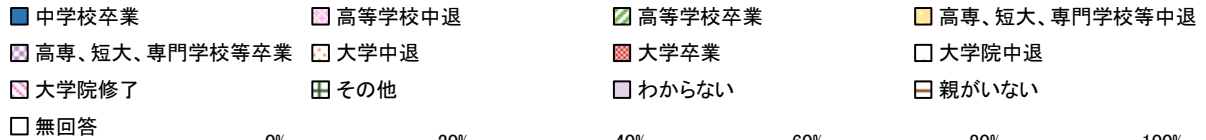
<生活困難度別>



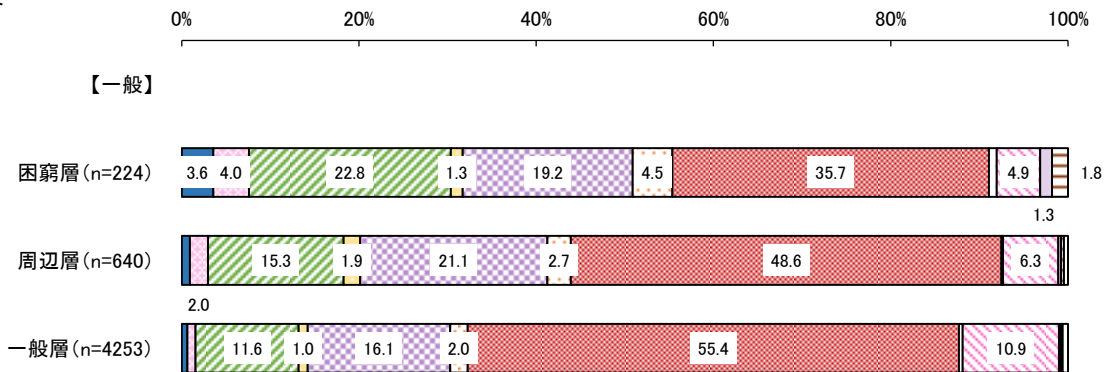
② お父さん



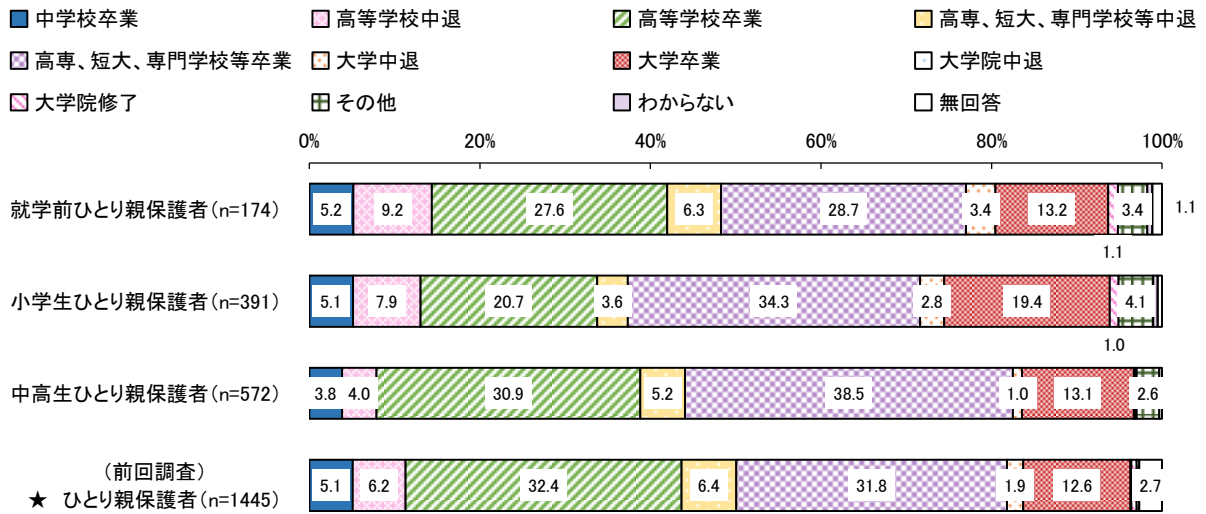
<生活困難度別>



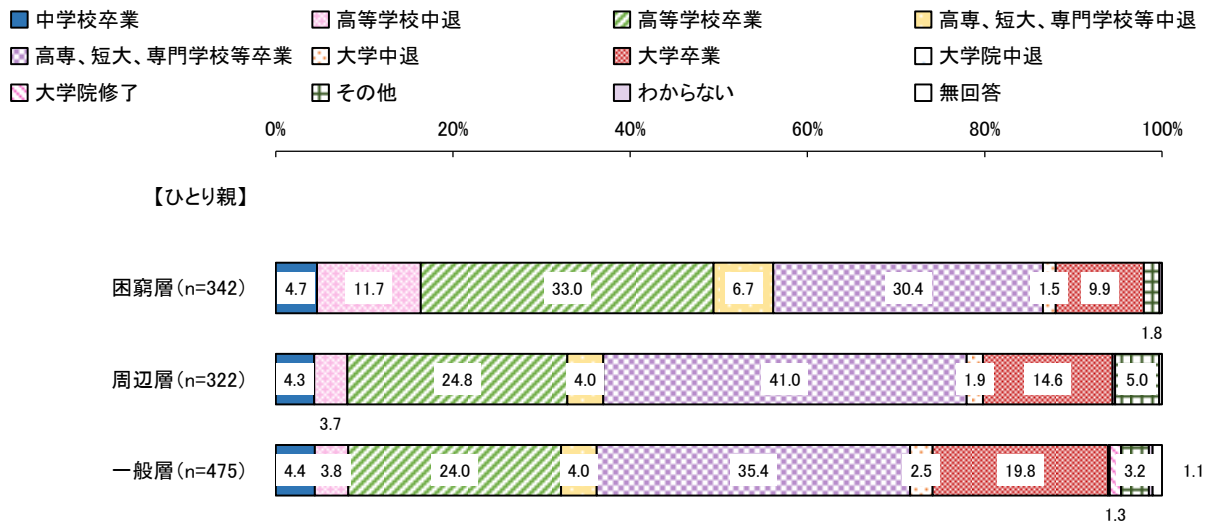
【一般】



③ひとり親



<生活困難度別>



※以降、ひとり親家庭（就労、資格、養育費、親子交流など）の集計は、193 ページの「1-15. ひとり親」の章に記載があります。

1-6. あて名のお子さんの保護者（父母）の就労状況について

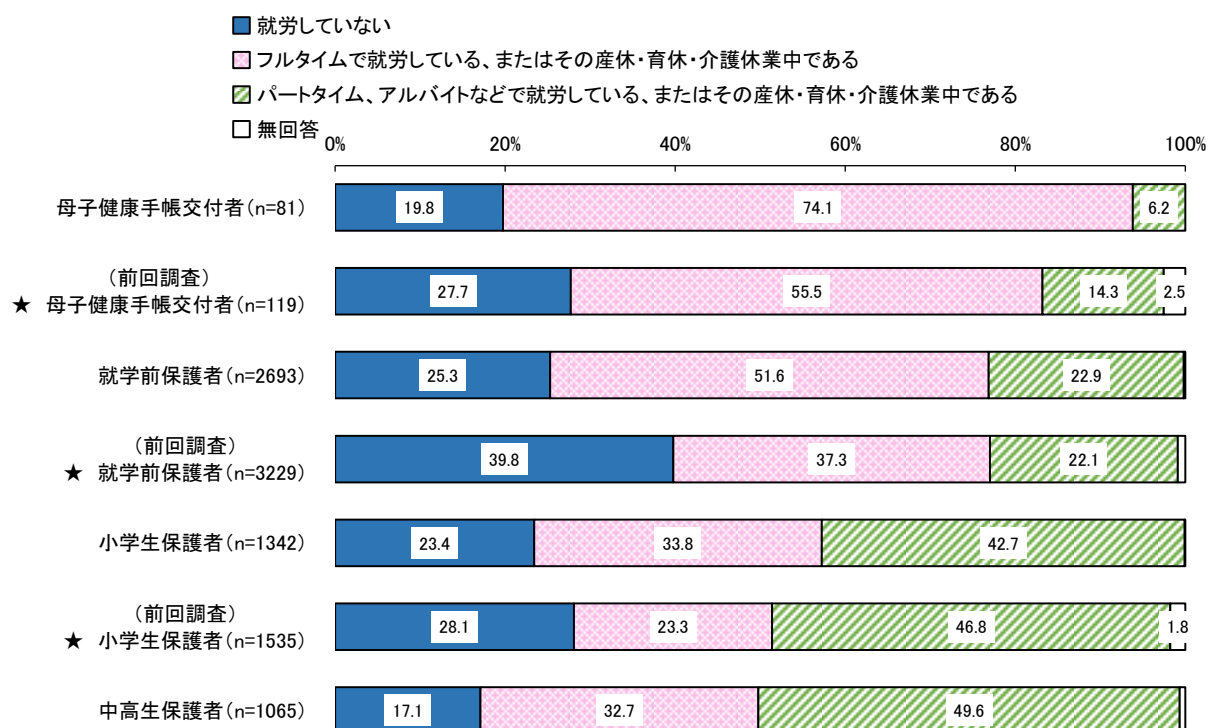
(1) 就労状況

問 あて名のお子さんの保護者（父母）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（それぞれ選択肢からあてはまる番号を記入）

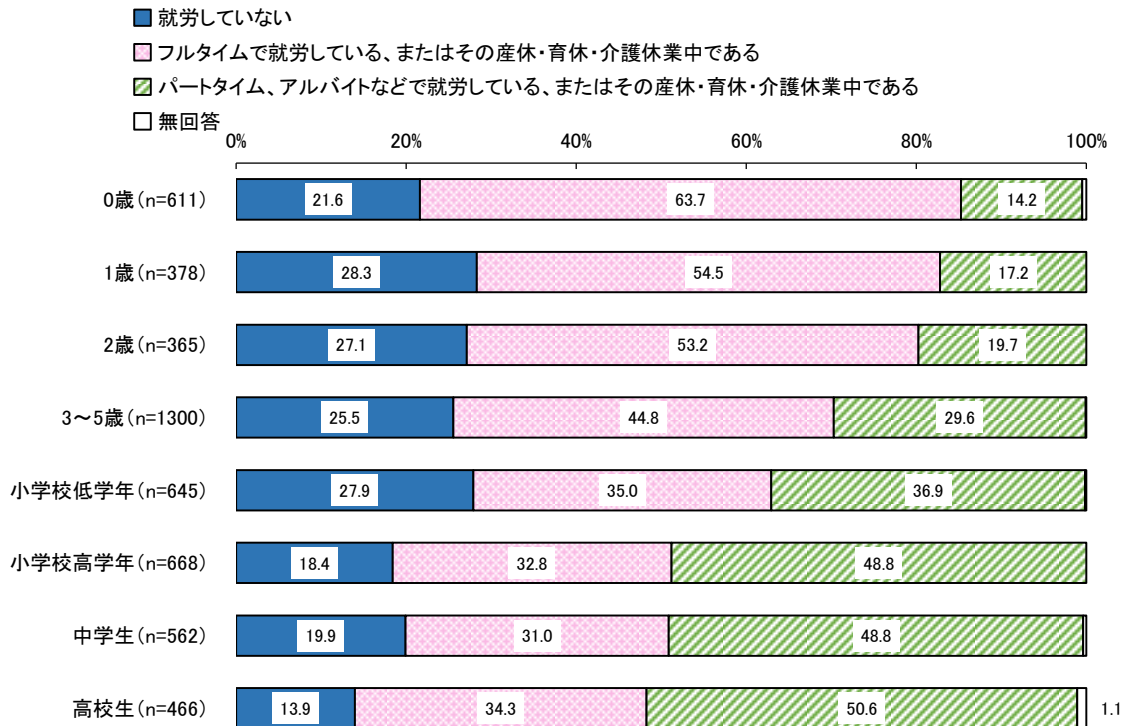
母問8、就問22、小問26、中高問26

- ・お母さんの就労状況は、すべての年齢層で「フルタイムで就労している」の割合が前回調査と比べると増加している。
- ・生活困難度別にみると、一般層で「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」の割合が高い。

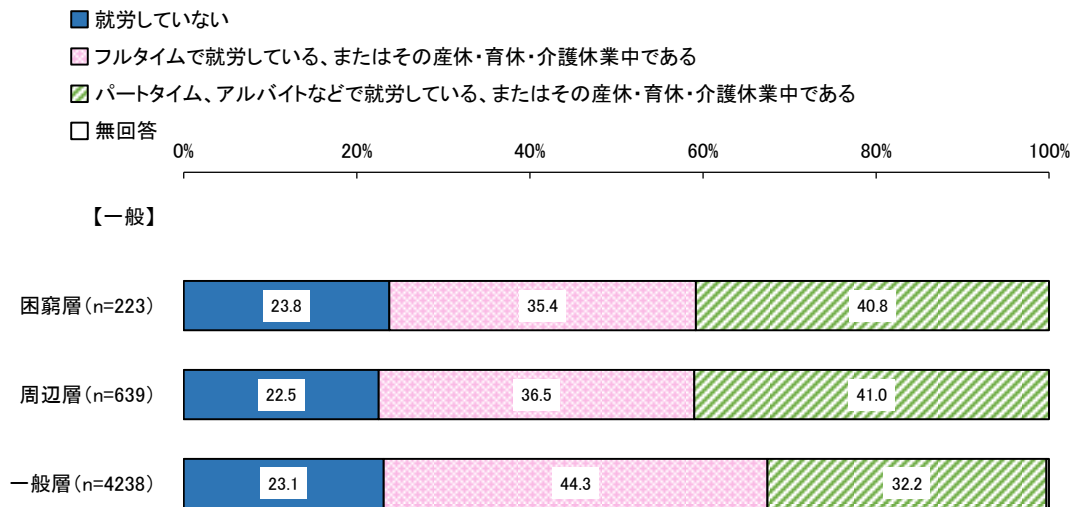
① お母さん



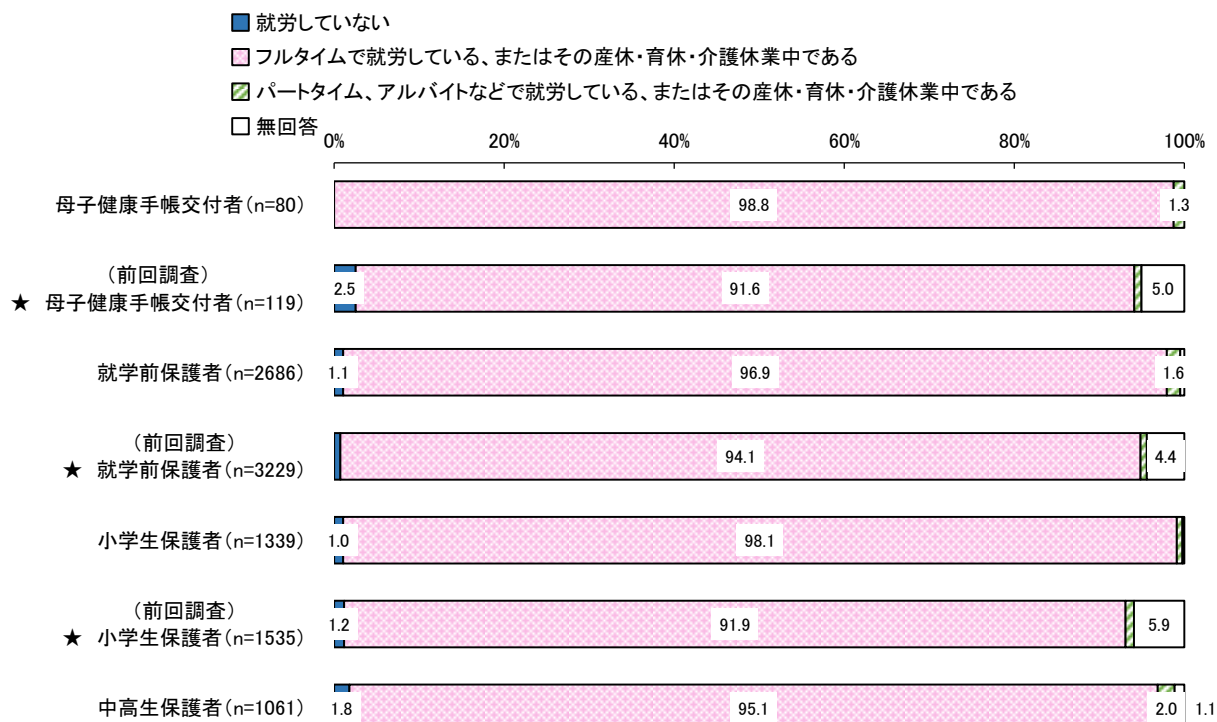
<子どもの年齢区分別>



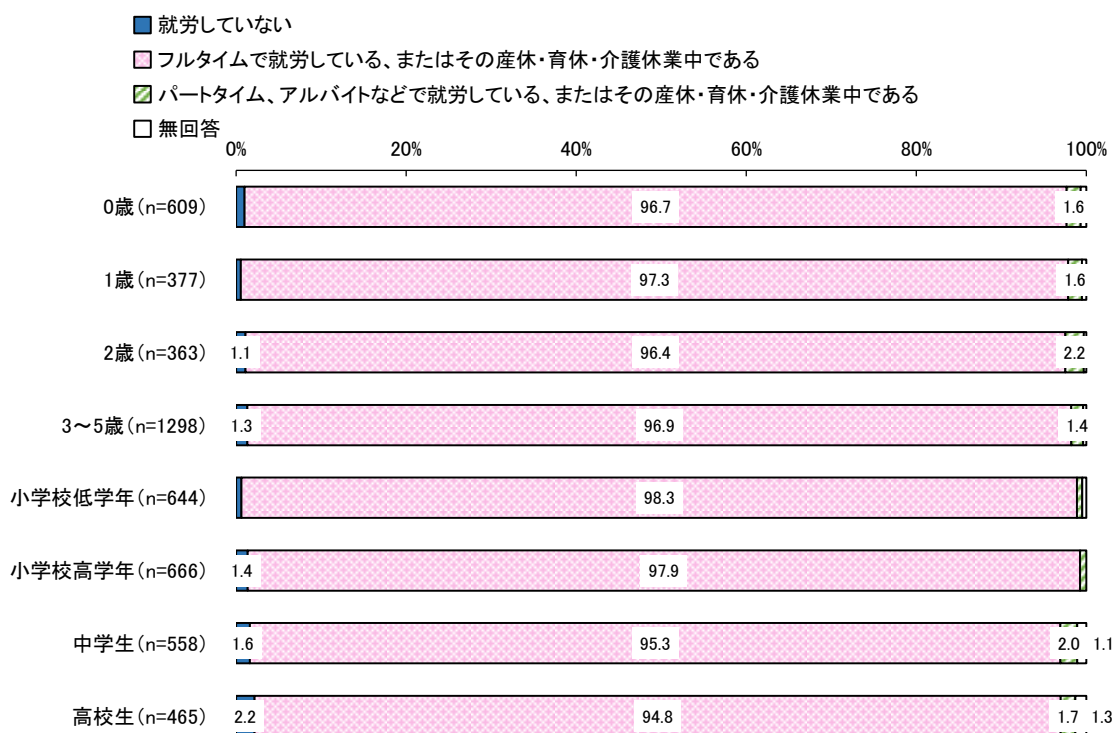
<生活困難度別>



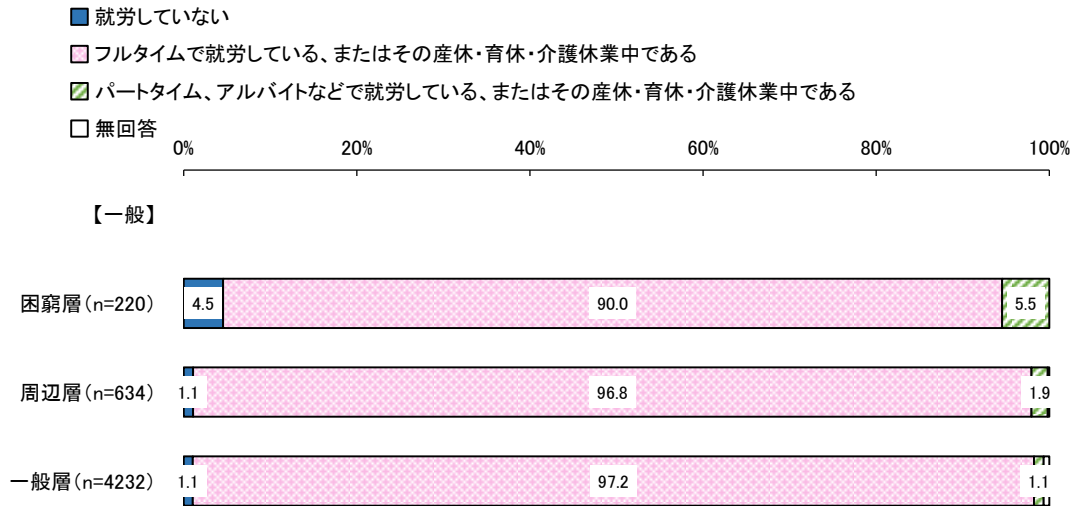
② お父さん



<子どもの年齢区分別>



<生活困難度別>



- ・ 前回調査よりも、就労している母親の割合は増加していることから、女性の社会参加が一層、促進されていることがうかがえる。
- ・ 保育園等の利用希望が増加したのは、こうした就労状況の変化も要因の一つと考えられる。
- ・ 困窮層、周辺層では、フルタイム就労者の割合が低く、非正規雇用（パートタイム、アルバイト等）が最も高い割合を占めている。

問 「就労していない」方にうかがいます。働いていない主な理由を教えてください。(それぞれ選択肢からあてはまる番号を記入)

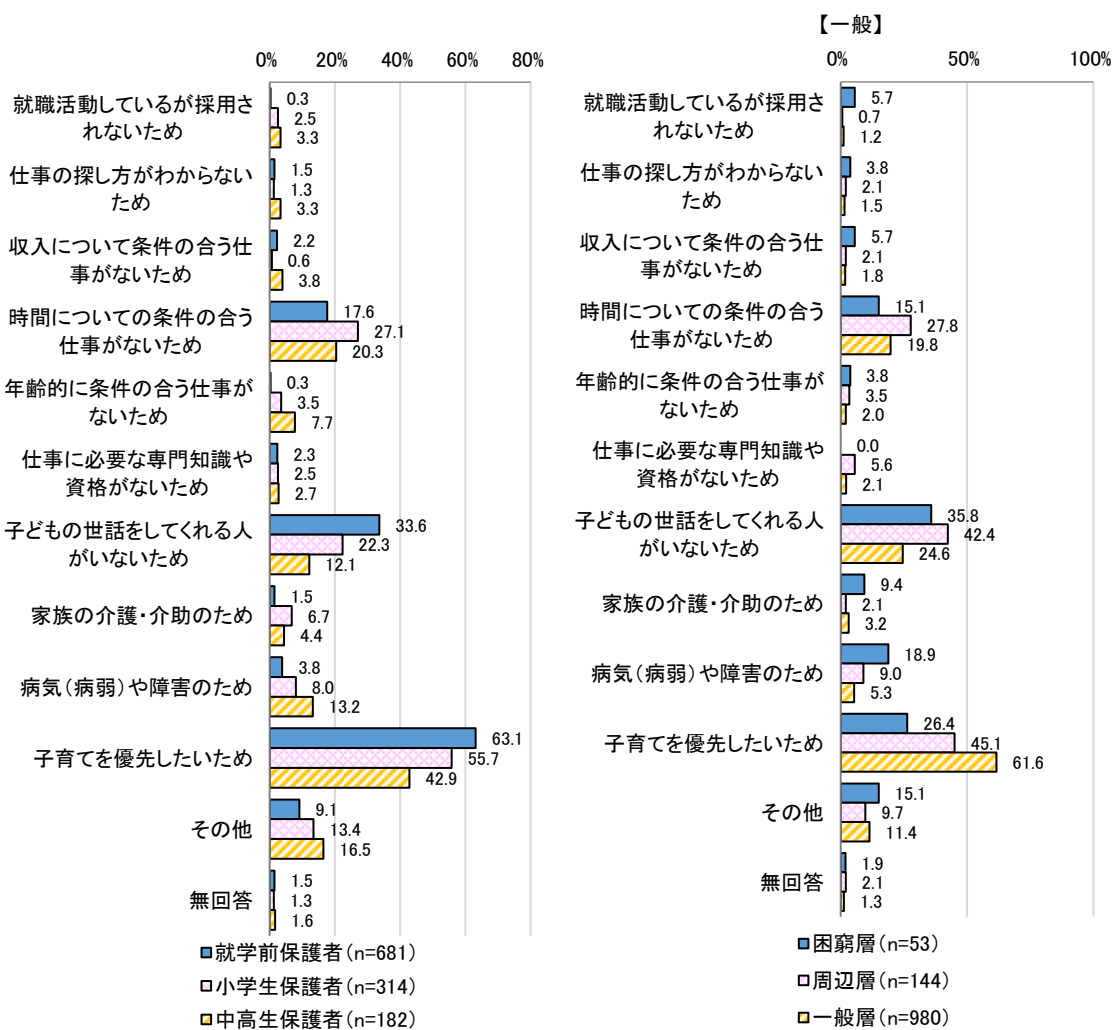
就問 2 2-1、小問 2 6-1、中高問 2 6-1

- ・お母さんの働いていない主な理由は、「子育てを優先したいため」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、困窮層では「病気（病弱）や障害のため」、一般層では「子育てを優先したいため」の割合が他世帯と比べて高い。

※お父さんについては該当者が少ないためグラフのみの掲載とする。

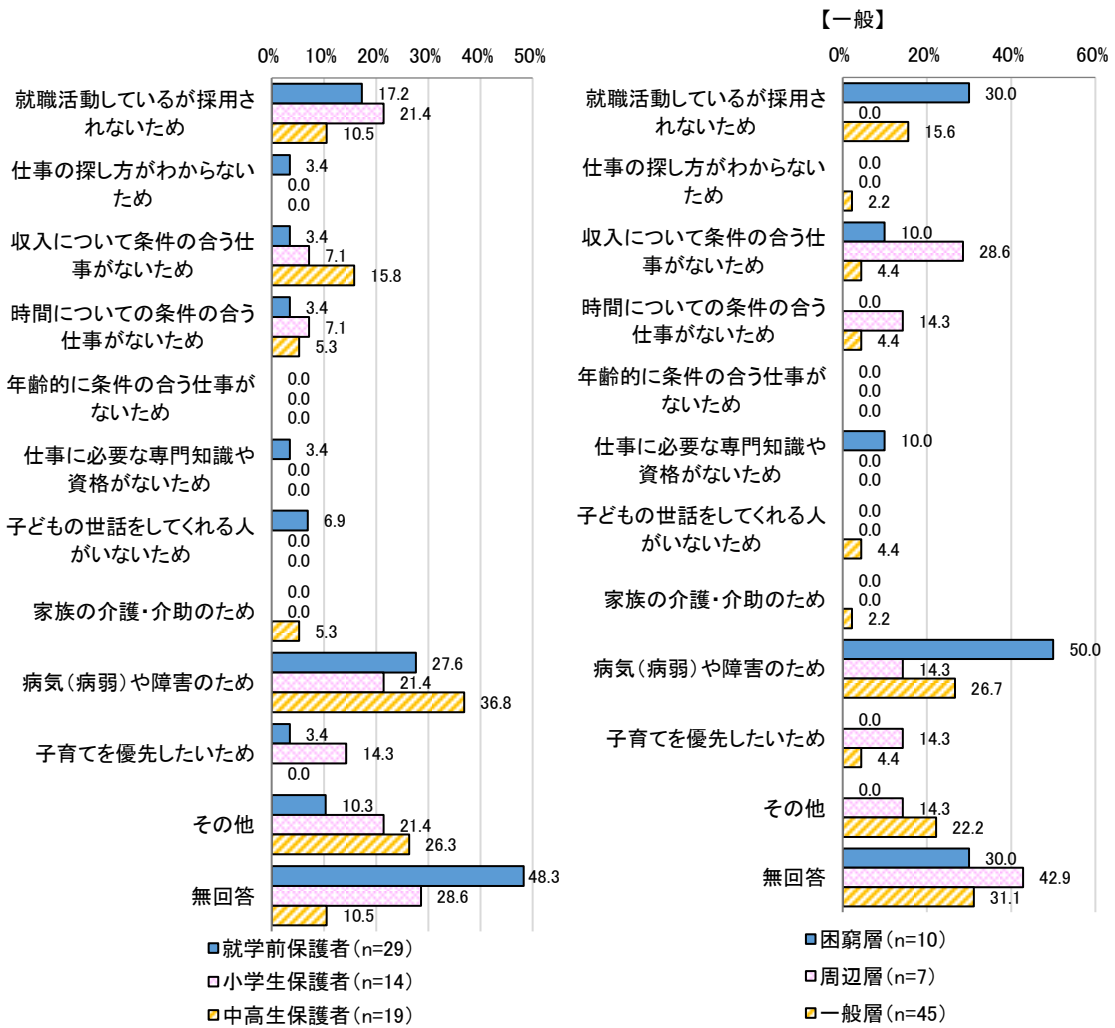
① お母さん

<生活困難度別>



② お父さん

<生活困難度別>



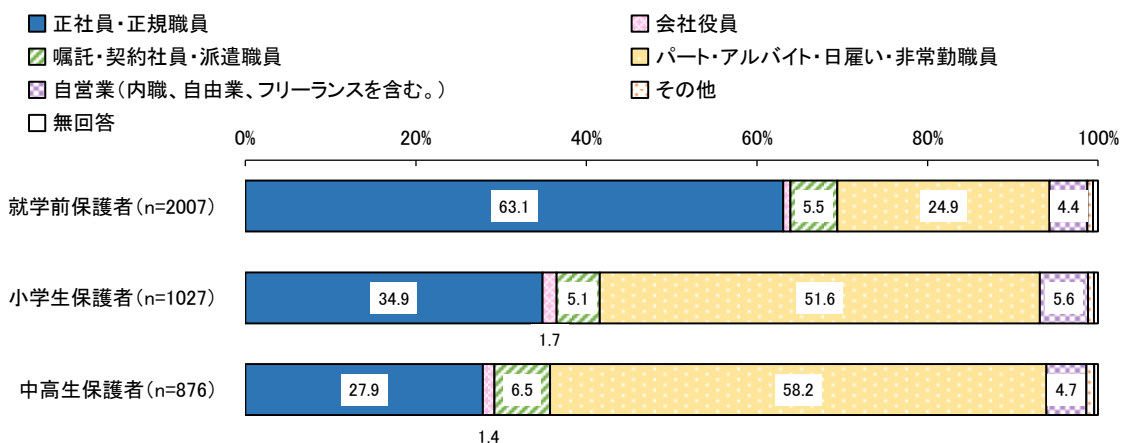
問 「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」方にかがいます。お子さんの親の雇用形態・職種について、あてはまるものを回答してください。(それぞれ選択肢からあてはまる番号を記入)

就問 2 2-2、小問 2 6-2、中高問 2 6-2

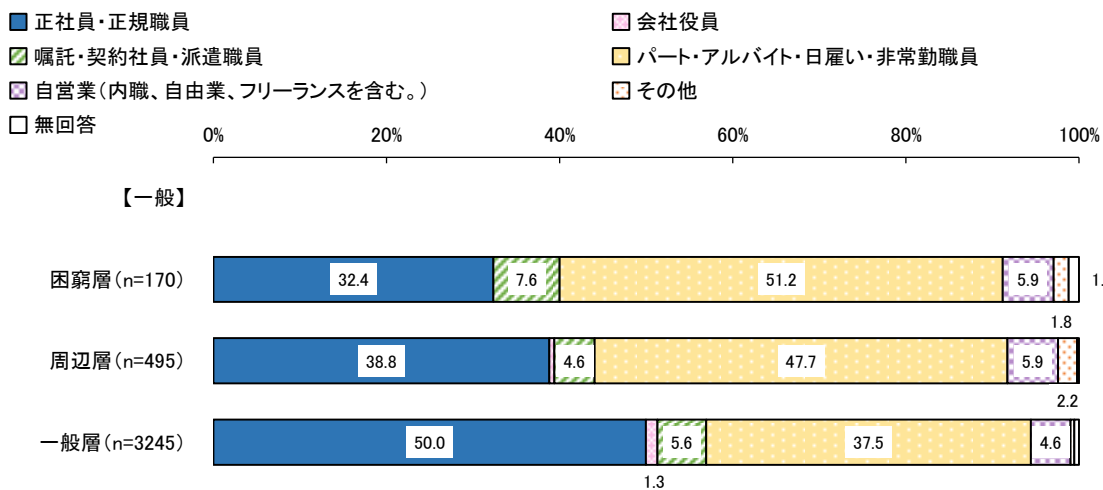
【雇用形態】

- ・ 父母ともに、就学前保護者で「正社員・正規職員」の割合が高い。
- ・ 生活困難度別にみると、父母ともに、困窮層で「正社員・正規職員」の割合が低い。

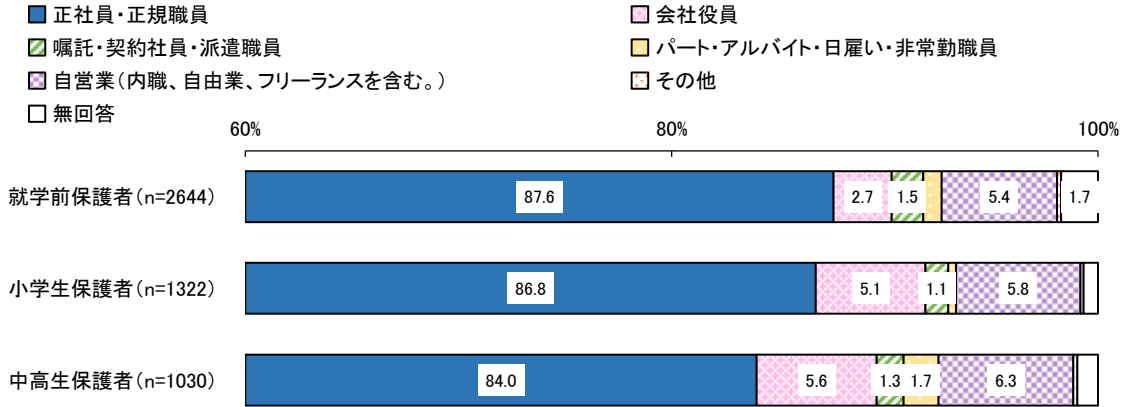
① お母さん



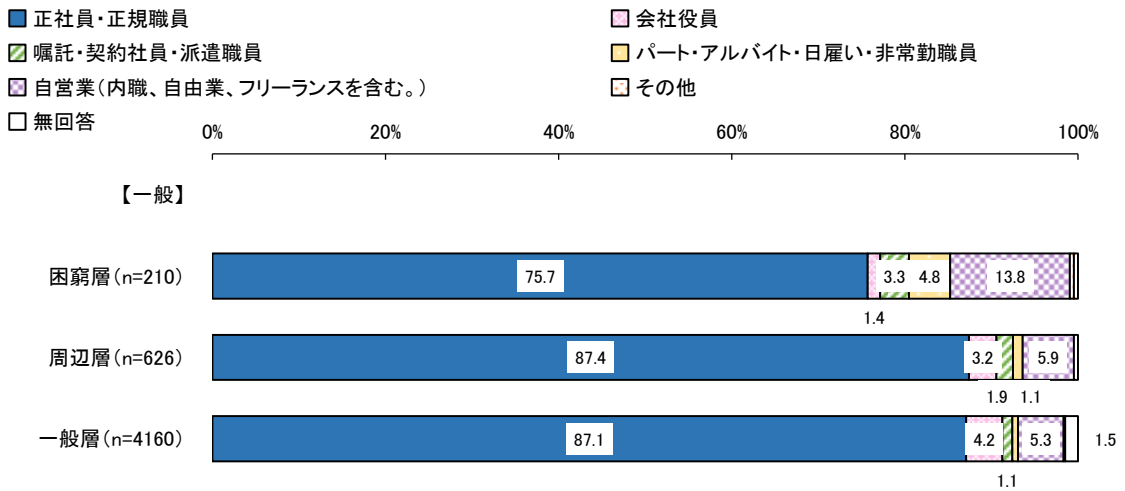
<生活困難度別>



② お父さん



<生活困難度別>

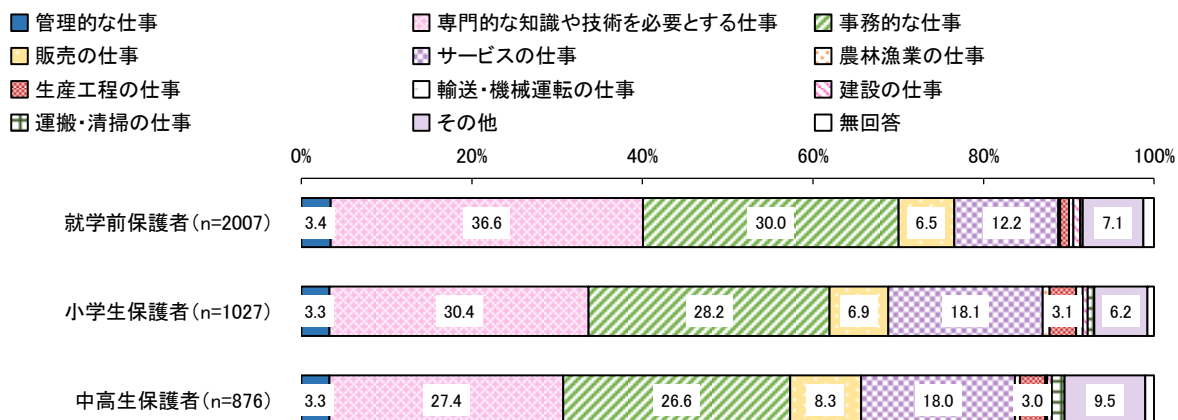


- ・ 母の雇用形態について、困窮層では安定した雇用形態（「正社員・正規職員」）よりも不安定な雇用形態（「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」）が多い傾向がみられる。
- ・ 雇用形態が生活困難度に影響を与えている可能性も考えられる。

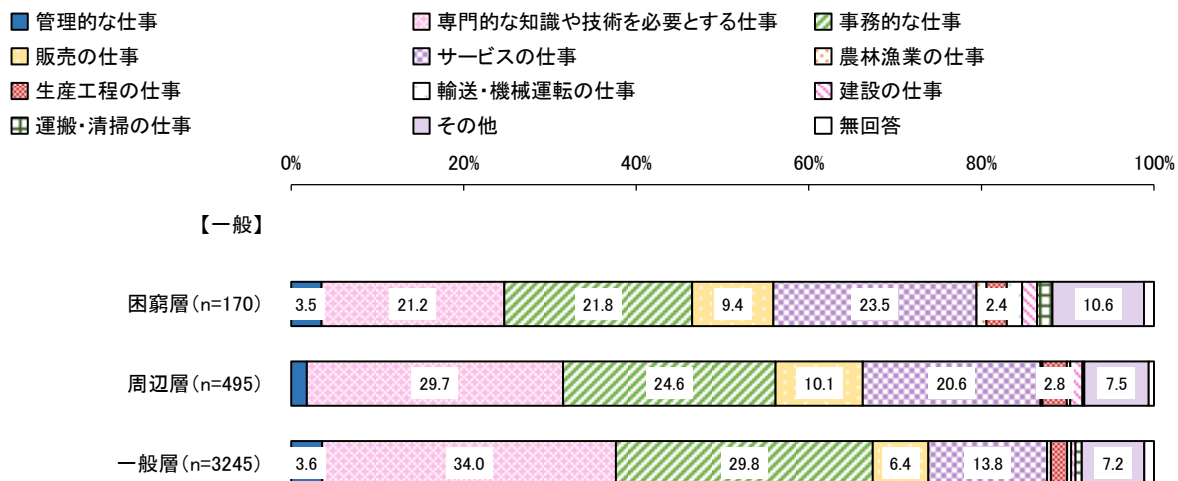
【職種】

- ・ 父母ともに、就学前保護者で「専門的な知識や技術を必要とする仕事」の割合が高い。
- ・ 生活困難度別にみると、父母ともに、困窮層で「専門的な知識や技術を必要とする仕事」の割合が低い。

① お母さん



<生活困難度別>



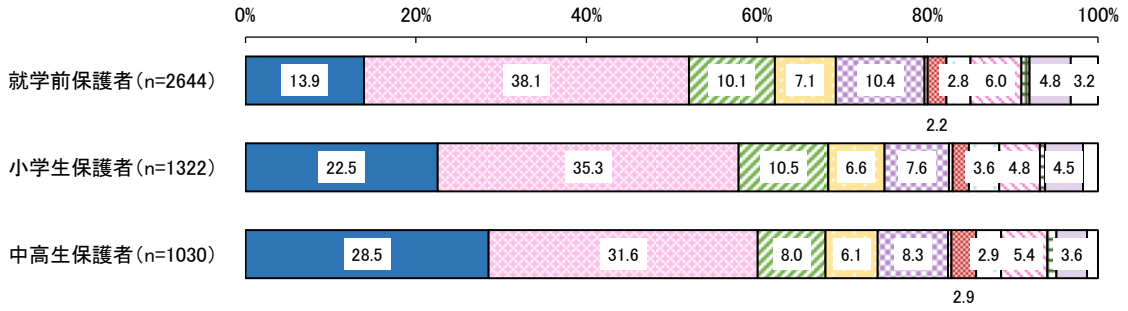
【一般】

② お父さん

- 管理的な仕事
- 販売の仕事
- 生産工程の仕事
- 運搬・清掃の仕事

- 専門的な知識や技術を必要とする仕事
- サービスの仕事
- 輸送・機械運転の仕事
- その他

- 事務的な仕事
- 農林漁業の仕事
- 建設の仕事
- 無回答

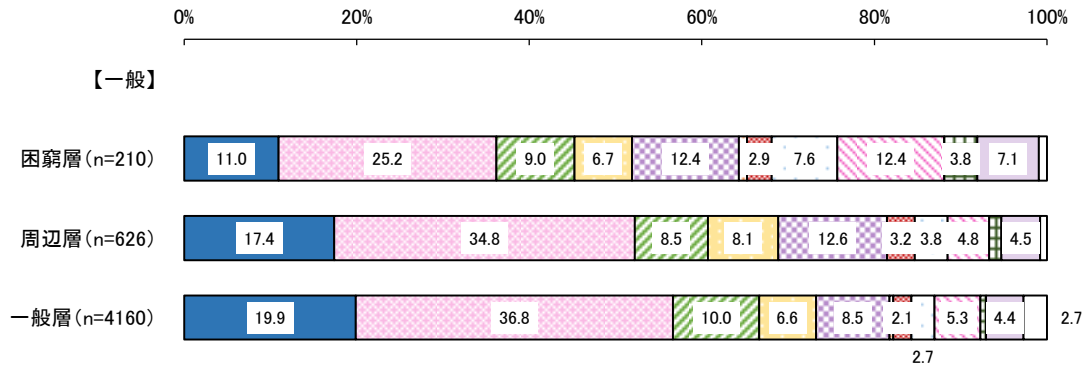


<生活困難度別>

- 管理的な仕事
- 販売の仕事
- 生産工程の仕事
- 運搬・清掃の仕事

- 専門的な知識や技術を必要とする仕事
- サービスの仕事
- 輸送・機械運転の仕事
- その他

- 事務的な仕事
- 農林漁業の仕事
- 建設の仕事
- 無回答



- ・ 困窮層では、専門的な職種や事務的な職種の割合が低い傾向がある。
- ・ 職種の種類が生活困難度に影響を与えている可能性も考えられる。

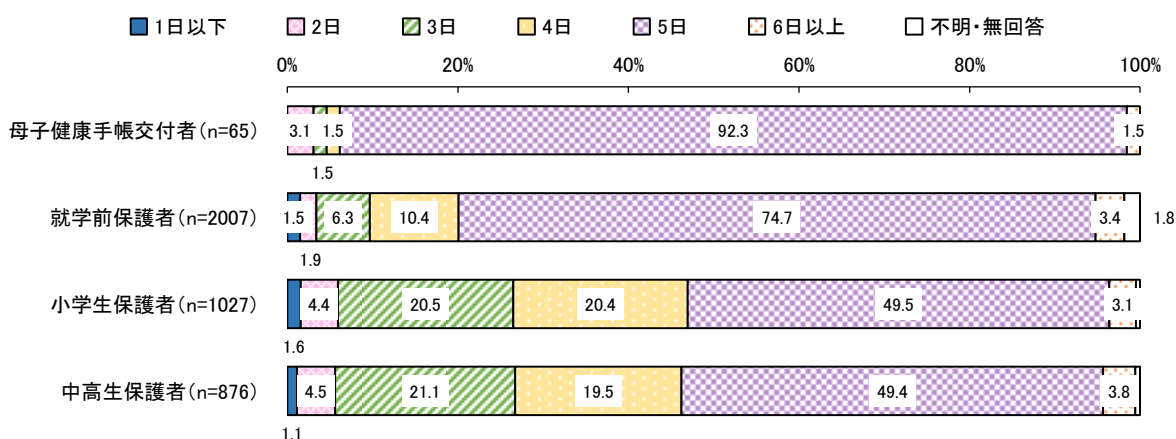
問 「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」方にうかがいます。就労日数や就労時間、また家を出る時刻、家に帰る時刻をお答えください。(それぞれ選択肢からあてはまる番号を記入)

母問 8-1、就問 2 2-3、小問 2 6-3、中高問 2 6-3

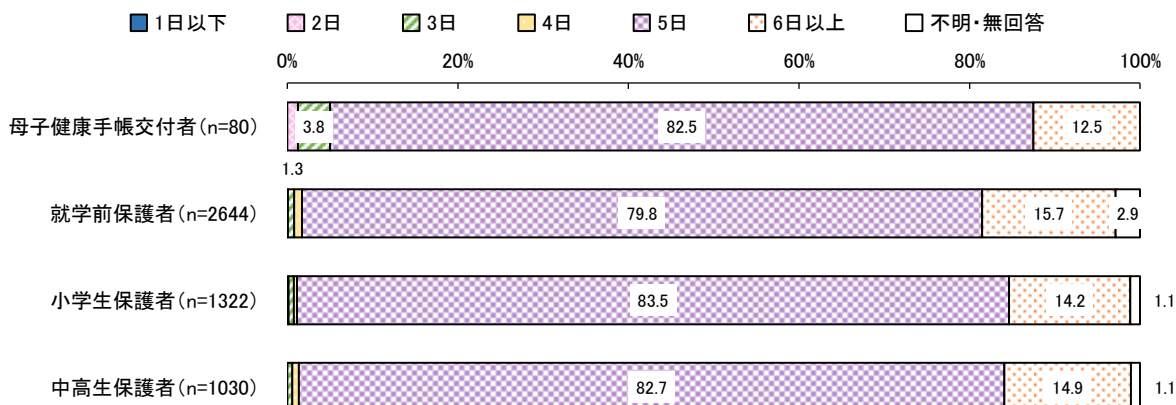
① 1週あたりの就労日数

- ・ 父母ともに「5日」の割合が高い。
- ・ お母さんの1週あたりの就労日数は、就学前より就学後で「5日」の割合が低い。

(1) お母さん



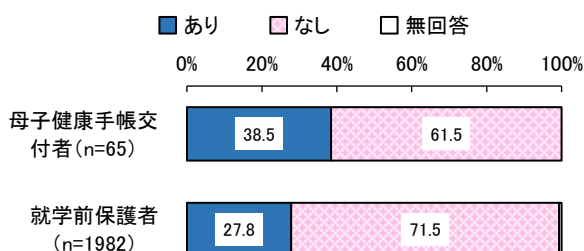
(2) お父さん



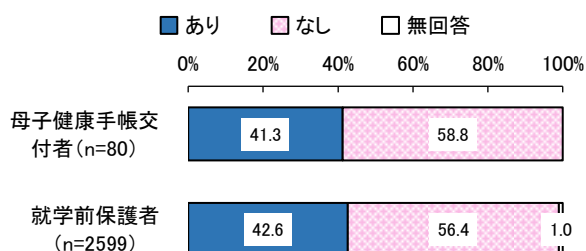
② 日曜・祝日の勤務の有無

- ・ お父さんの日曜・祝日の勤務「あり」の割合は、4割を超える。

(1) お母さん



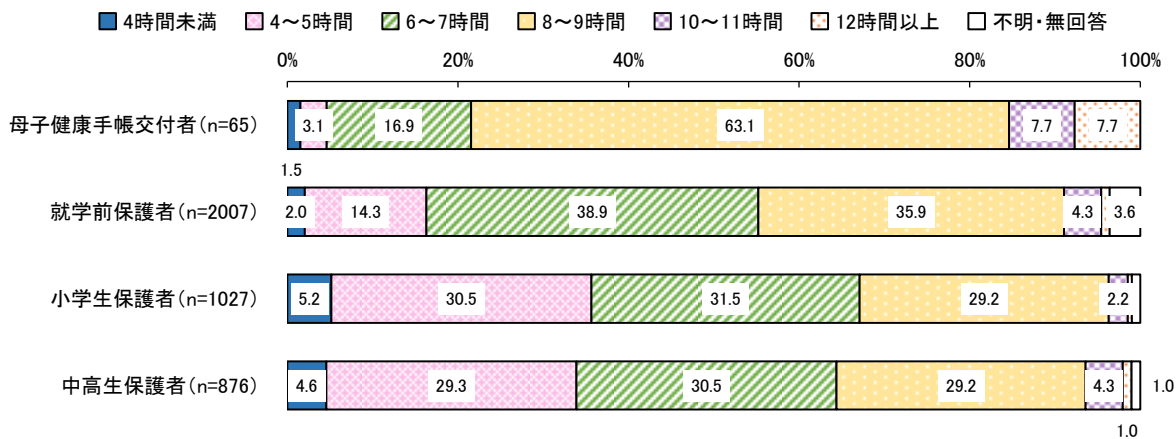
(2) お父さん



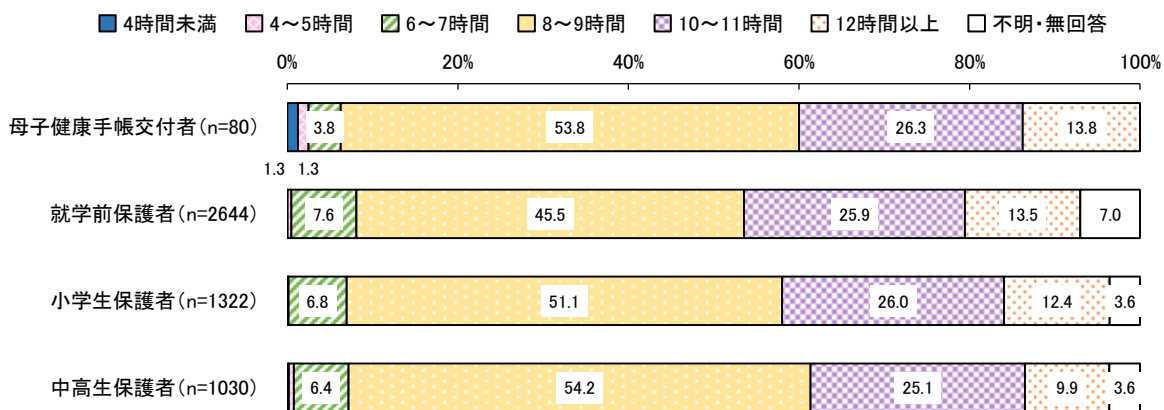
③ 1日あたりの就労時間（残業時間含む）

・お母さんの1日あたりの就労時間は、就学前より就学後で短い。

(1) お母さん



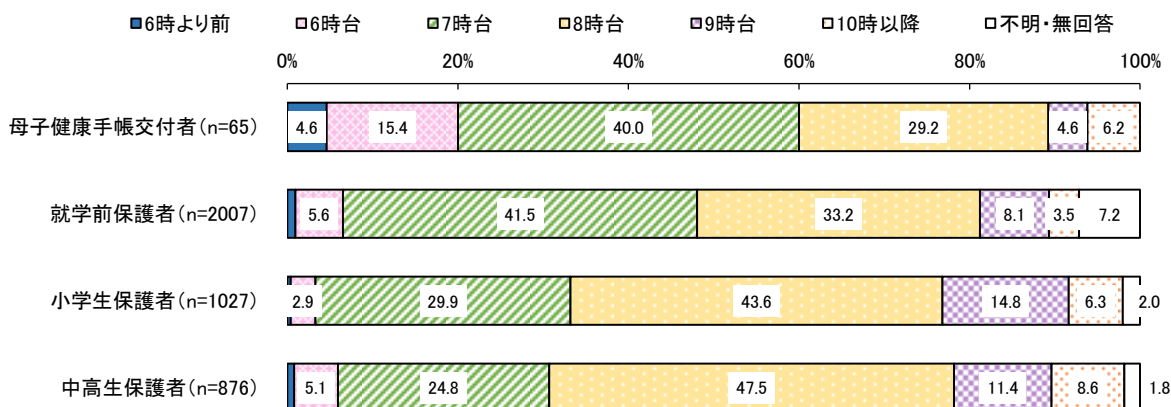
(2) お父さん



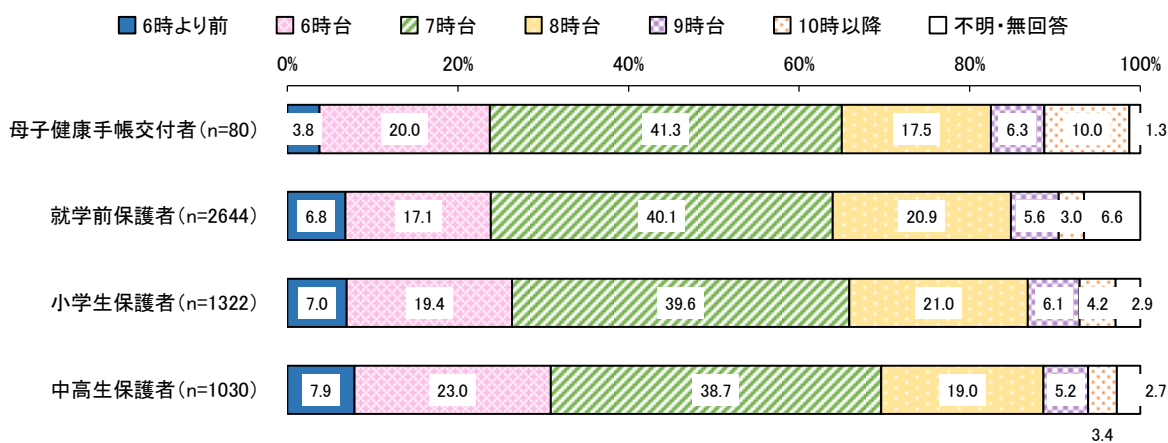
④ 家を出る時刻

・お母さんの家を出る時刻は、就学前と比較して就学後で遅くなっている傾向がある。

(1) お母さん



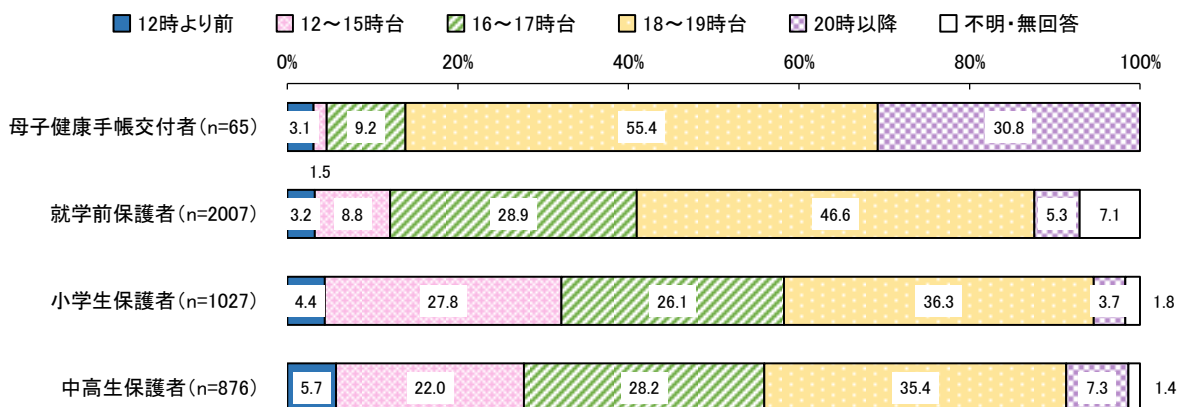
(2) お父さん



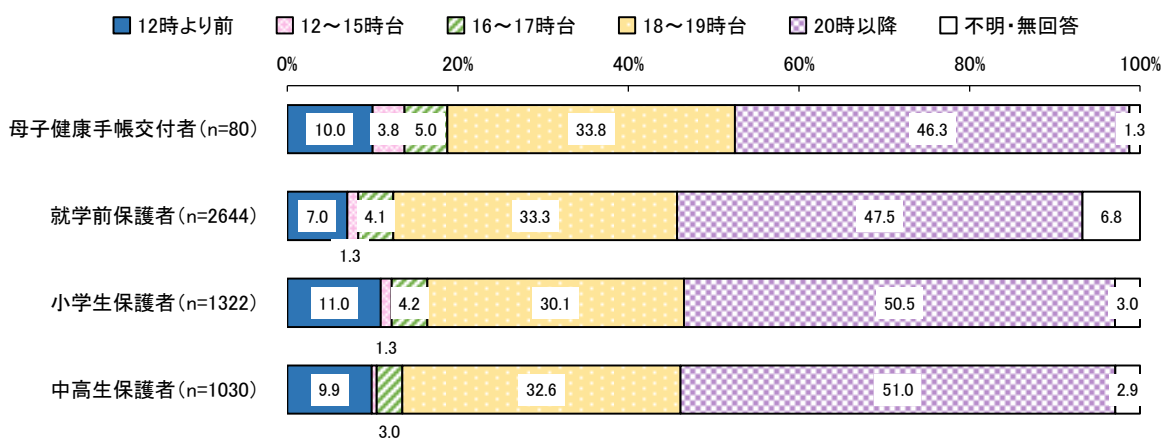
⑤ 家に帰る時刻

・お母さんの家に帰る時刻は、就学前と比較して就学後で早くなっている傾向がある。

(1) お母さん



(2) お父さん

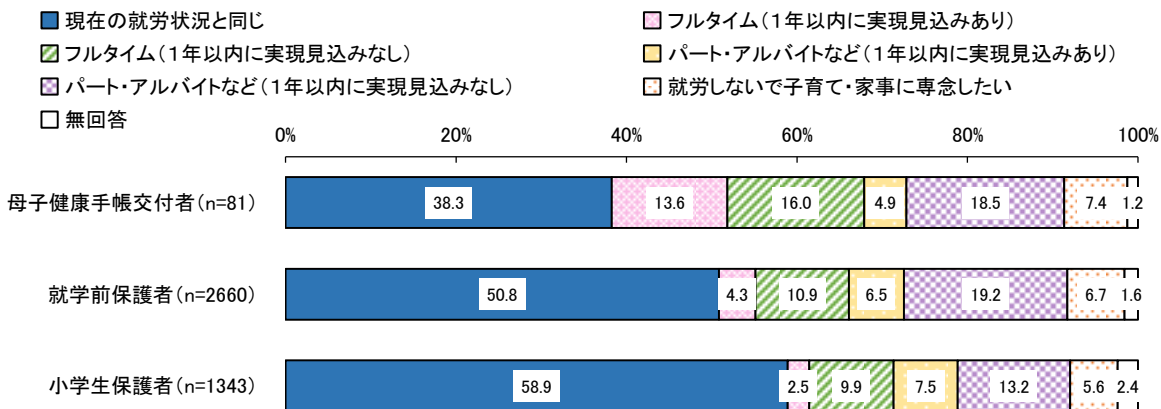


問 今後、希望する働き方（就労形態）についてうかがいます。（それぞれ1つに○）

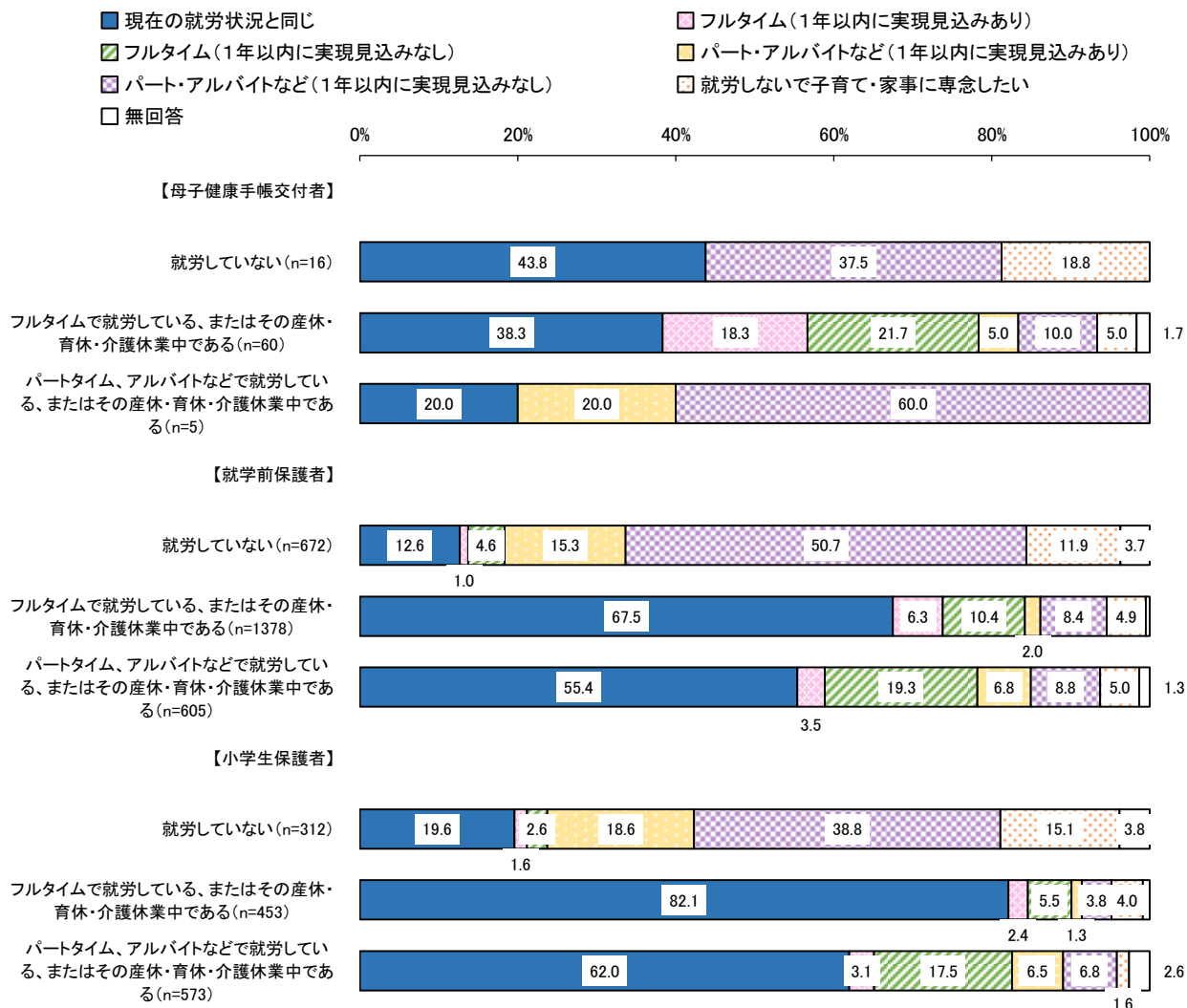
母問8-2、就問22-4、小問26-4

・お母さんの希望する働き方は、母子健康手帳交付者で「現在の就労状況と同じ」の割合が低い。

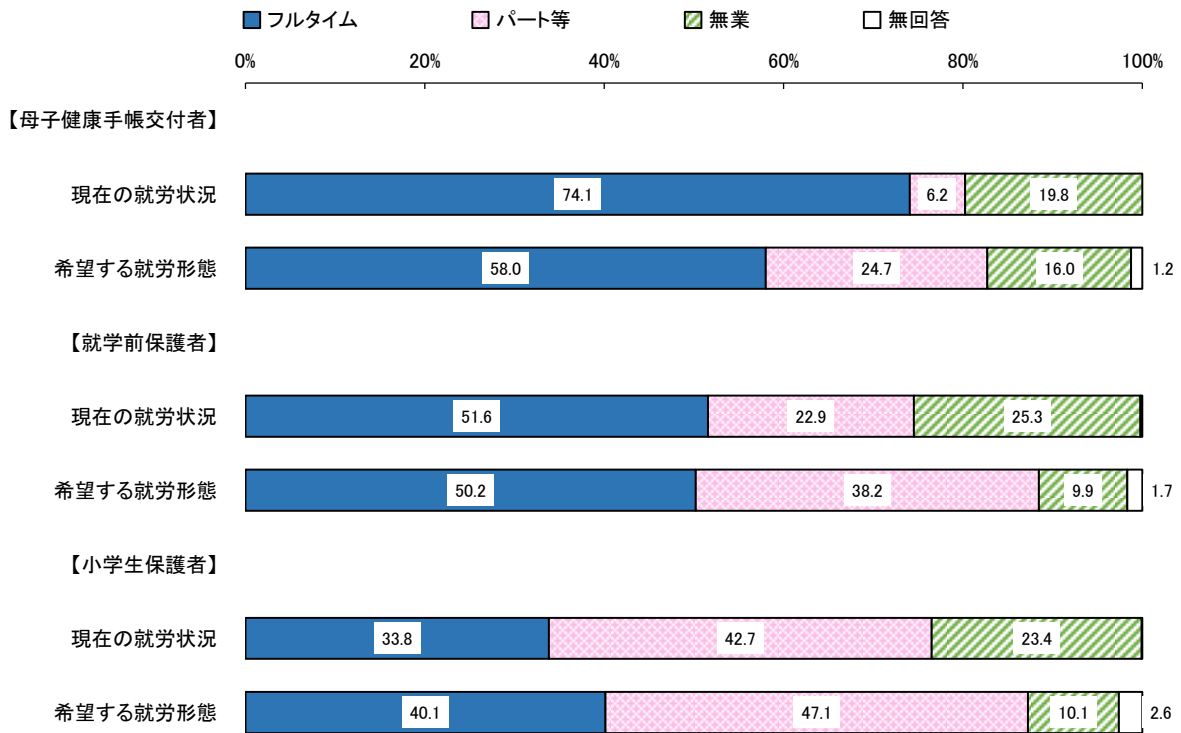
(1) お母さん



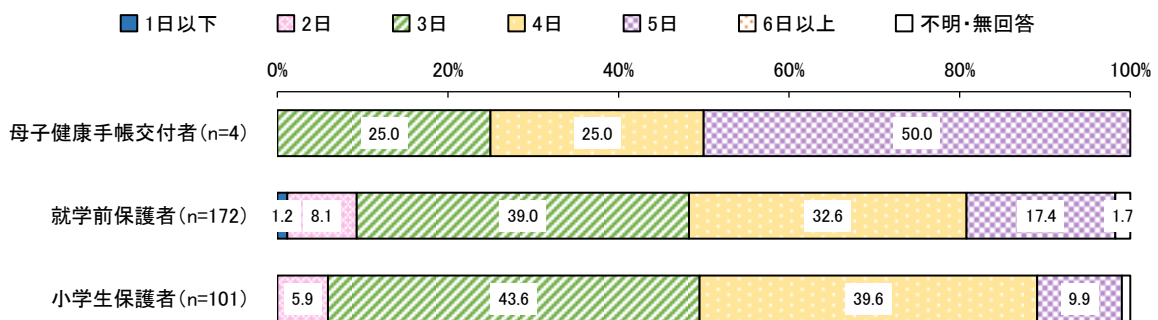
<現在の就労状況からの転換希望>



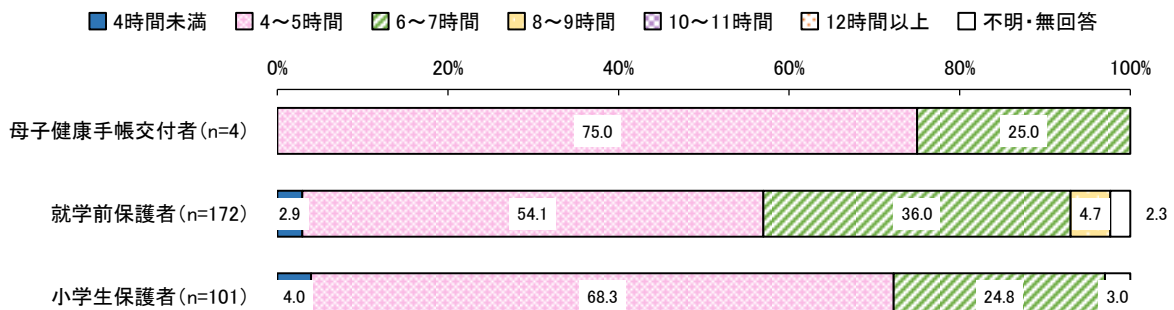
<現在の就労状況と希望する就労形態>



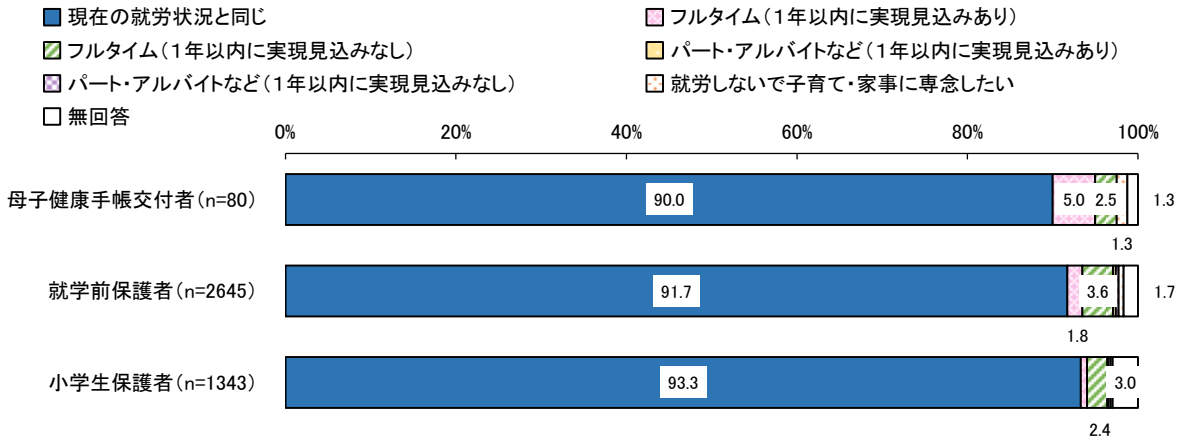
<「パート・アルバイトなど（1年以内に実現見込みあり）」の場合の1週あたりの就労日数>



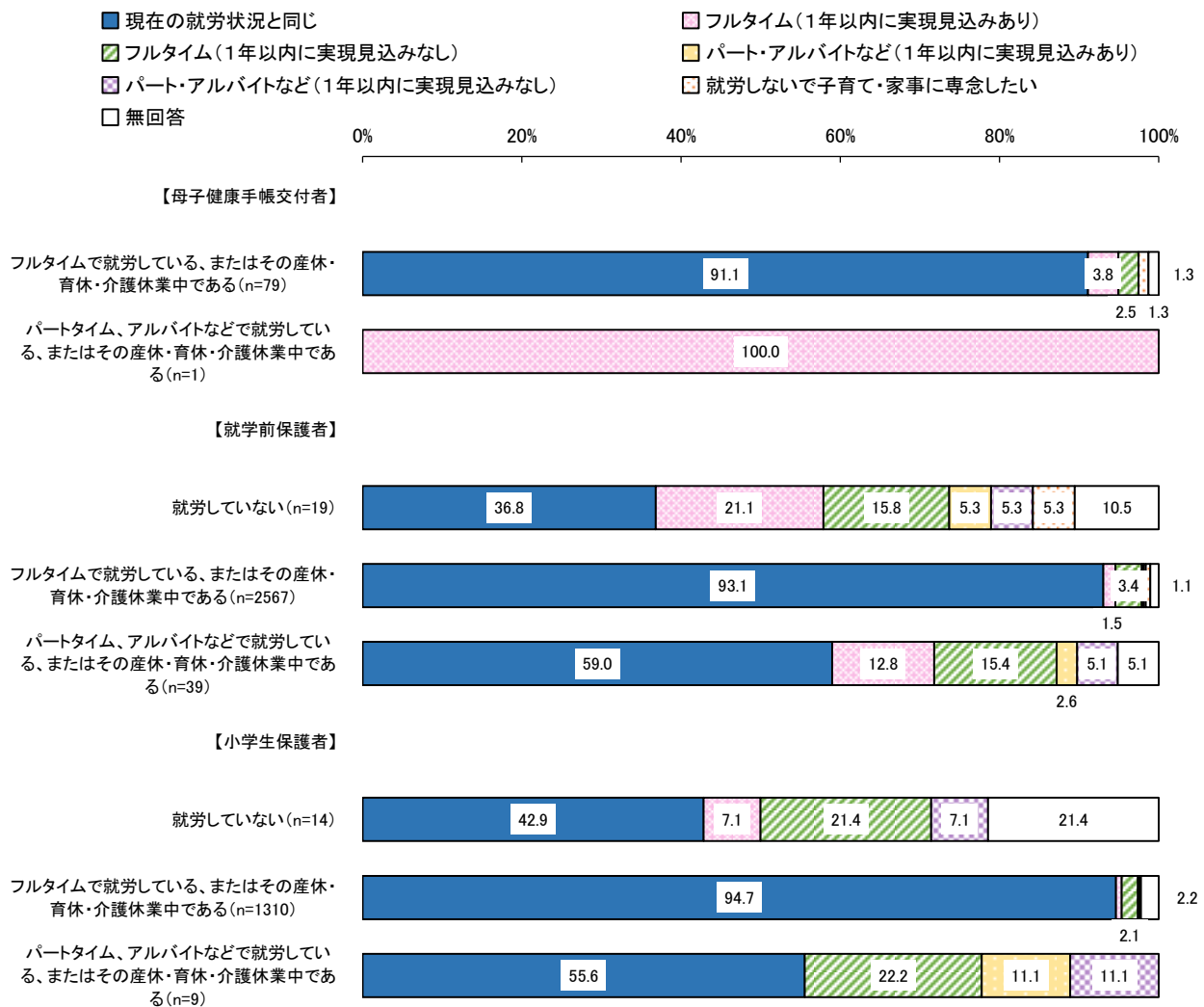
<「パート・アルバイトなど（1年以内に実現見込みあり）」の場合の1日あたりの就労時間>



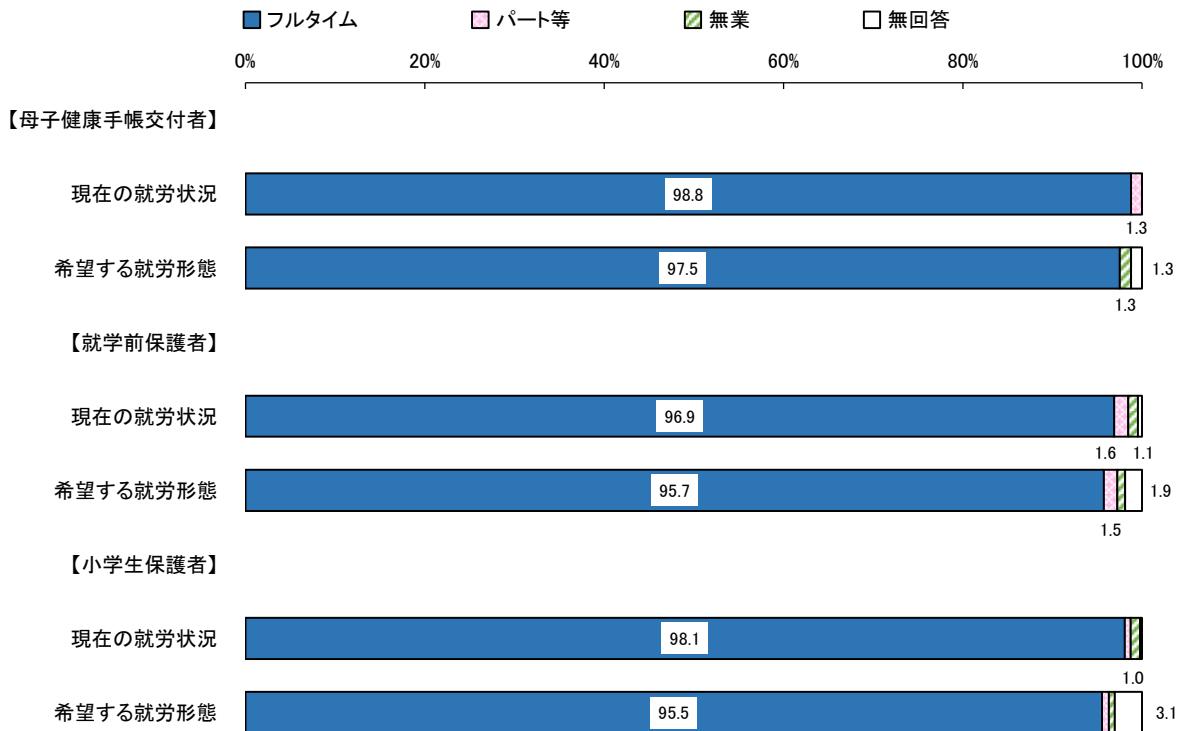
(2) お父さん



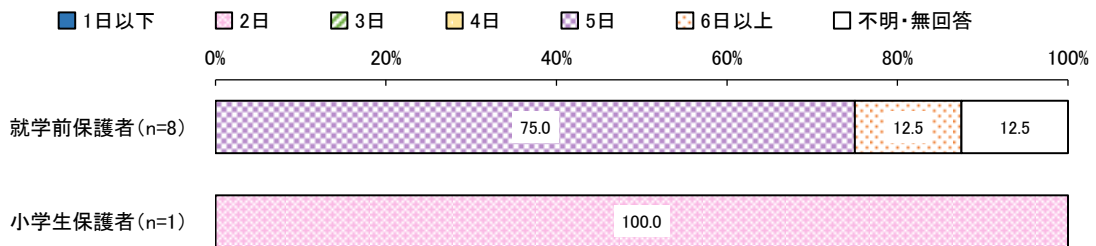
<現在の就労状況からの転換希望>



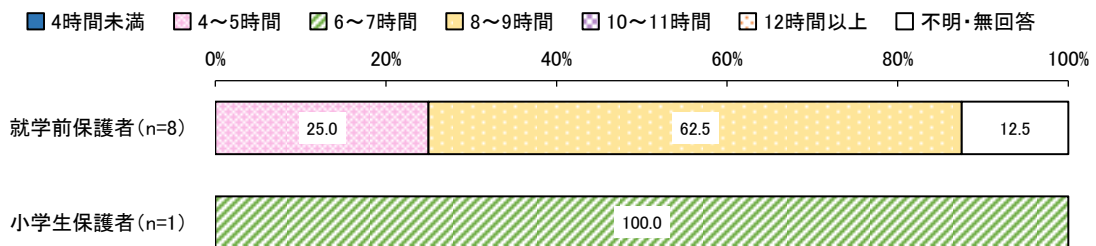
<現在の就労状況と希望する就労形態>



<「パート・アルバイトなど（1年以内に実現見込みあり）」の場合の1週あたりの就労日数>



<「パート・アルバイトなど（1年以内に実現見込みあり）」の場合の1日あたりの就労時間>



- ・フルタイムで働いている母親の多くが、その働き方を継続したいと考えている一方で、パートタイムやアルバイトで働いている母親も同様に現在の働き方を継続したいと考えている。母親たちがそれぞれのライフステージや家庭の状況に応じて、最適な働き方を選択、希望していることがうかがえる。
- ・しかし、就学前の保護者の中には、フルタイムで働きたいと考えているものの、実現見込みがないと回答している人も一定数おり、希望と現実のギャップがあることがわかる。
- ・就労していない保護者の中には、将来的にパートタイムやアルバイトで働きたいと考えている人が多いことがわかった。子育てと仕事の両立を図りたいというニーズが高いことを示していると考えられる。

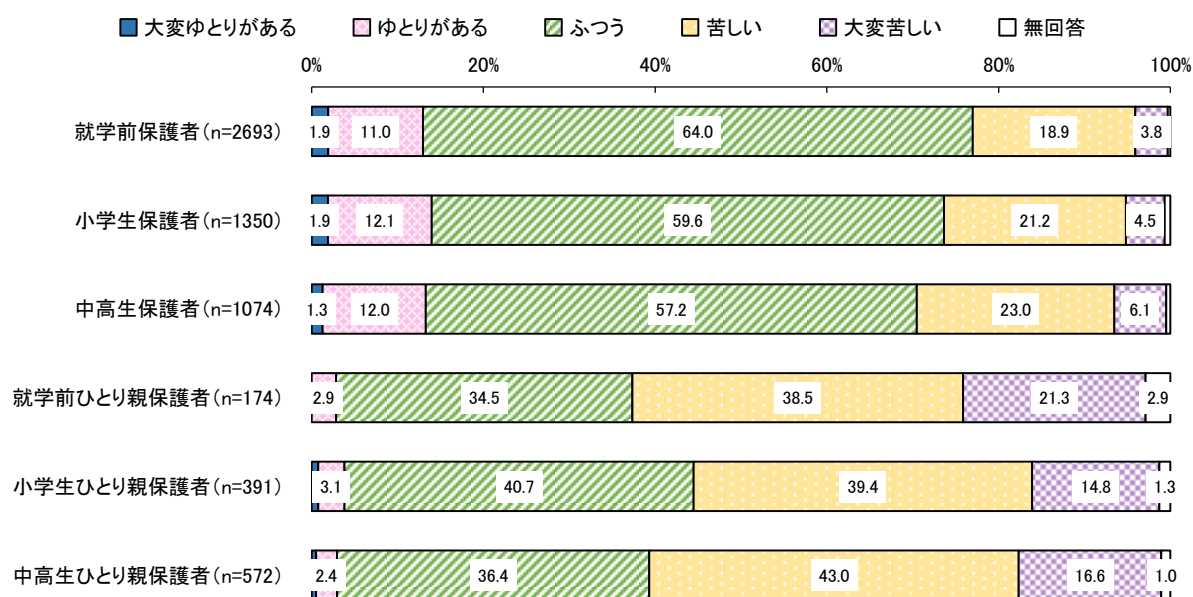
1-7. 家計の状況について

(1) 現在の暮らしの状況

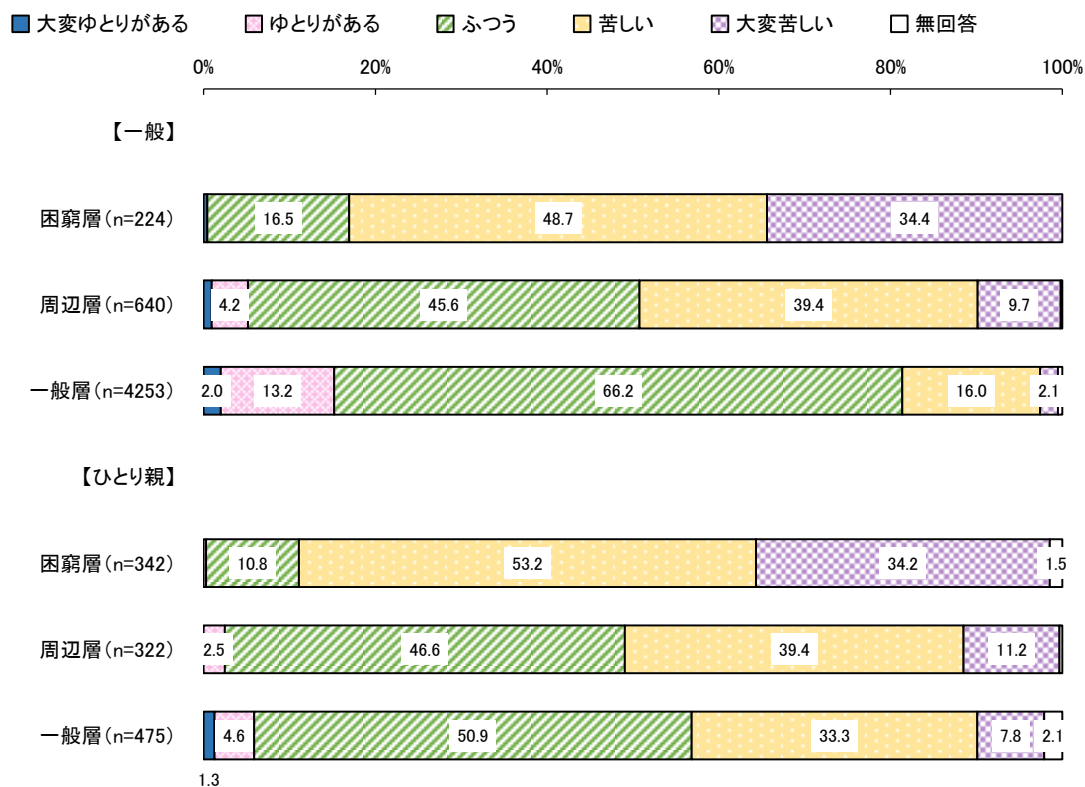
問 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(1つに○)

就問 2 3、小問 2 7、中高問 2 7、ひ問 3 3、ひ就問 2 9、ひ小問 3 2、ひ中高問 3 2

- ・「苦しい」「大変苦しい」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「苦しい」「大変苦しい」の割合は困窮層で高い。



<生活困難度別>



1.3

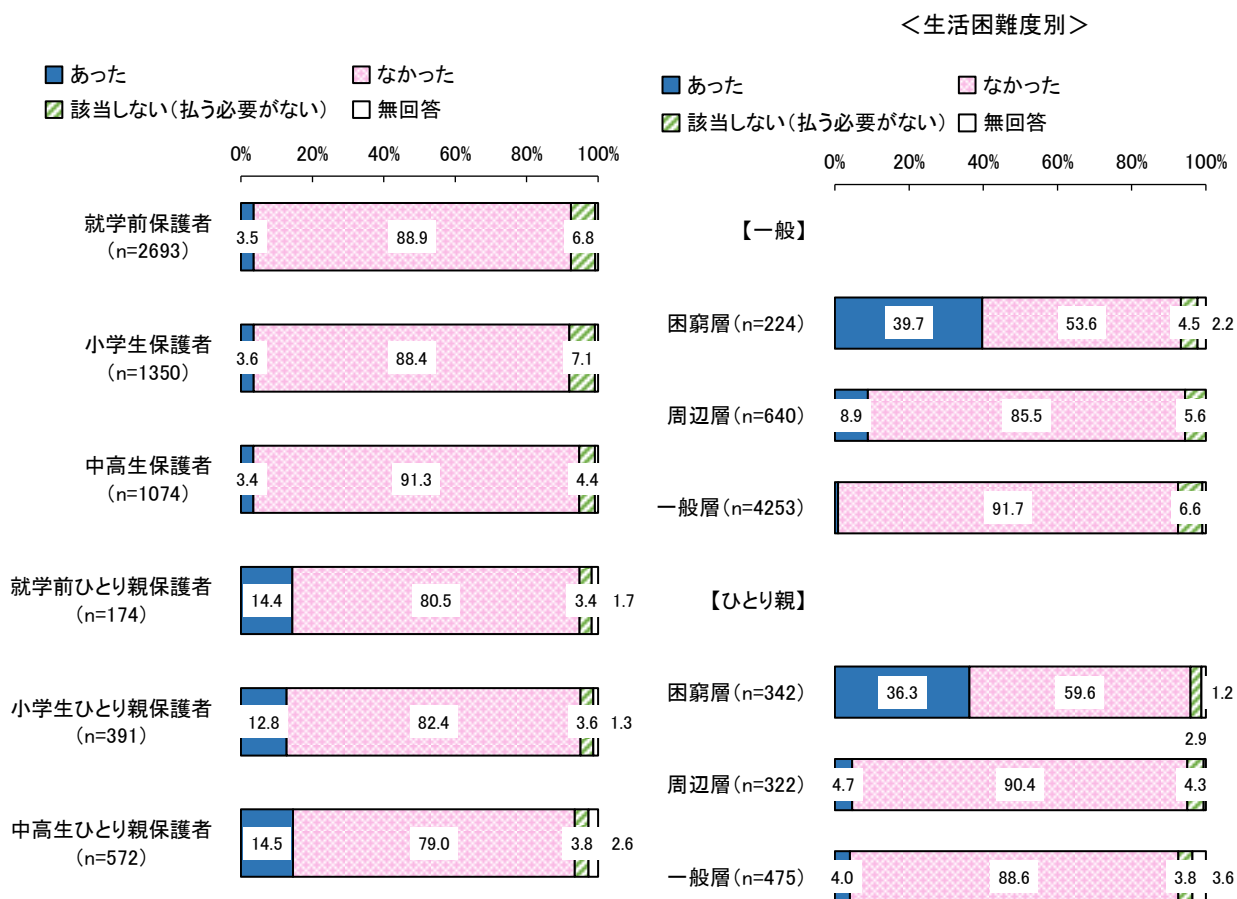
(2) 家計のひっ迫度

問 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、以下の費用・サービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ1つに○)

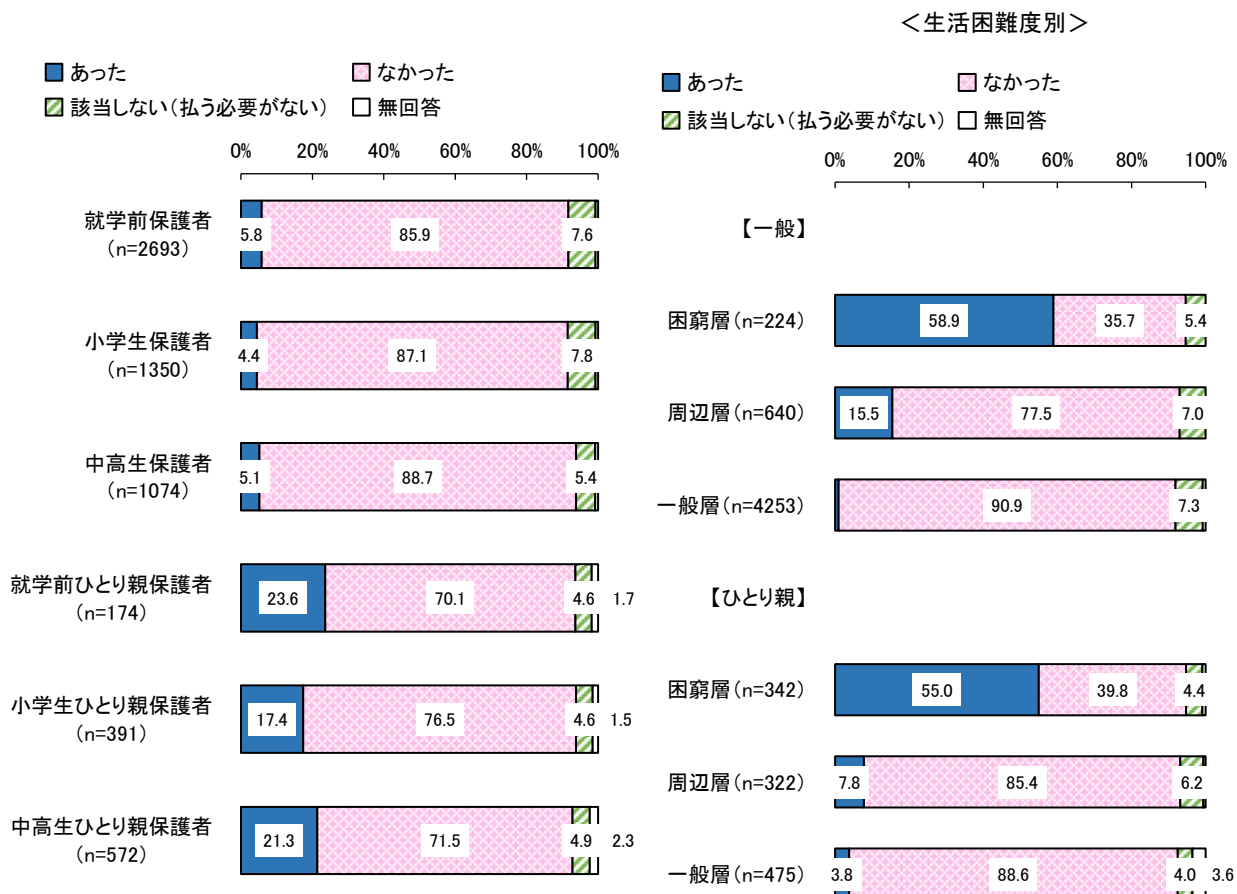
就問24、小問28、中高問28、ひ問34、ひ就問30、ひ小問33、ひ中高問33

- ・「あった」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で概ね高い傾向がみられる。
- ・生活困難度別にみると、「あった」の割合は困窮層で高い。

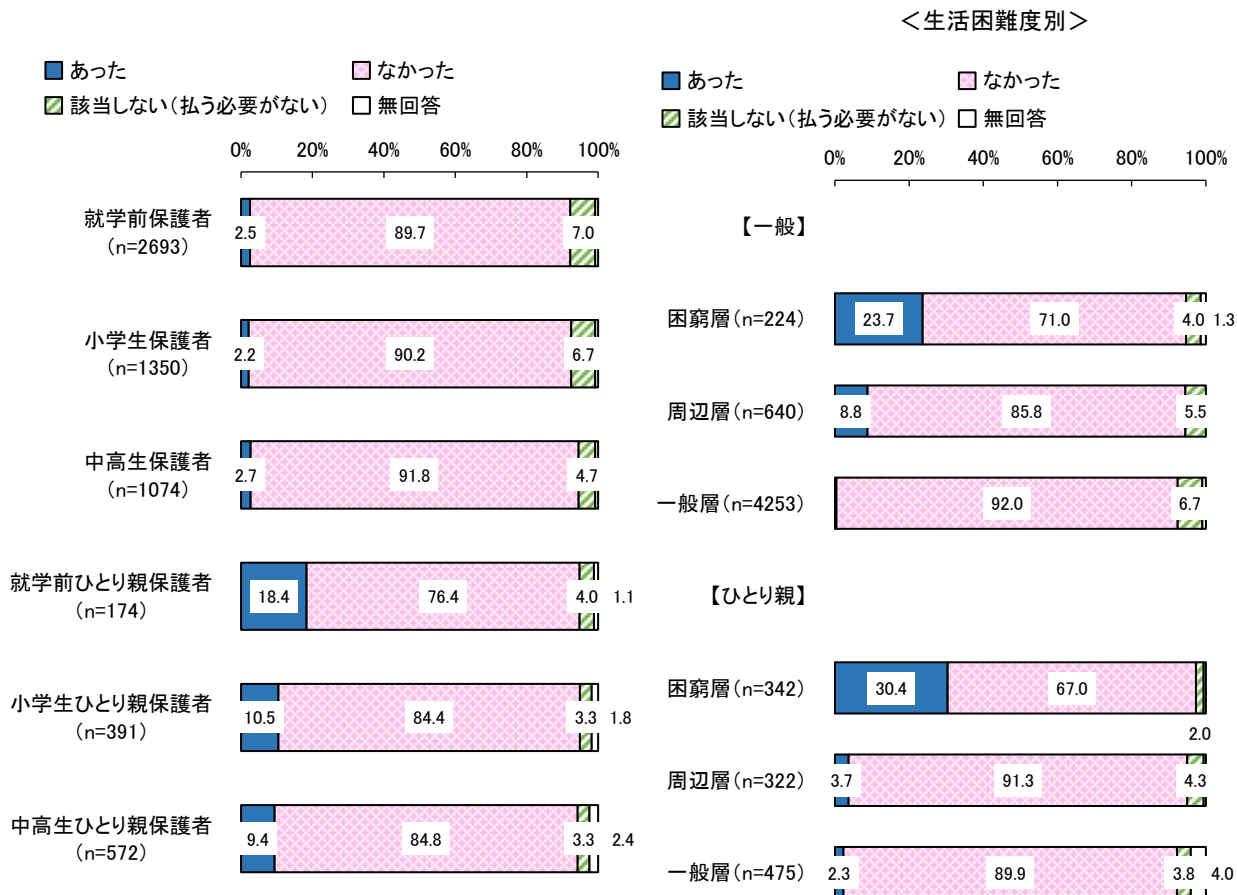
① 必要とする食料（お酒やコーヒーなどの嗜好品を除く）



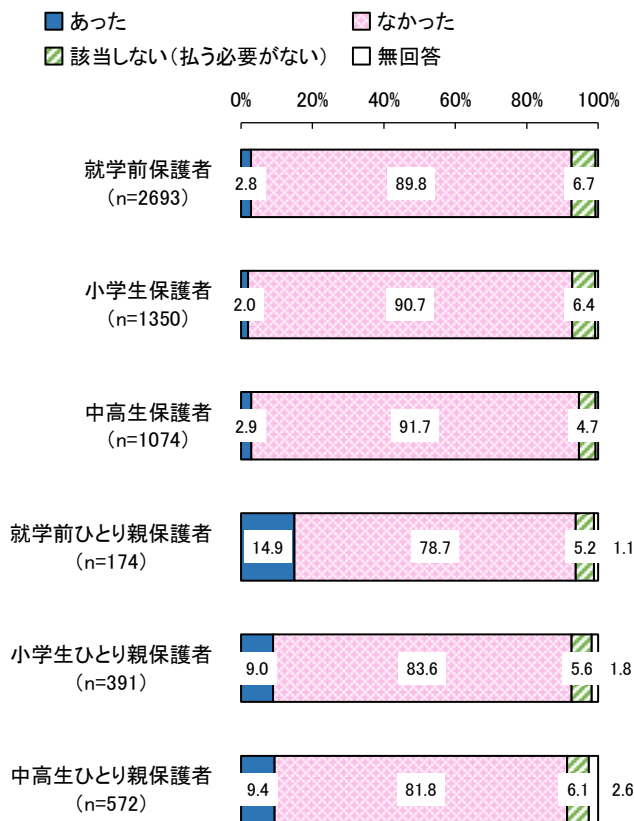
② 必要とする衣服（高価な衣服やアクセサリーなどを除く）



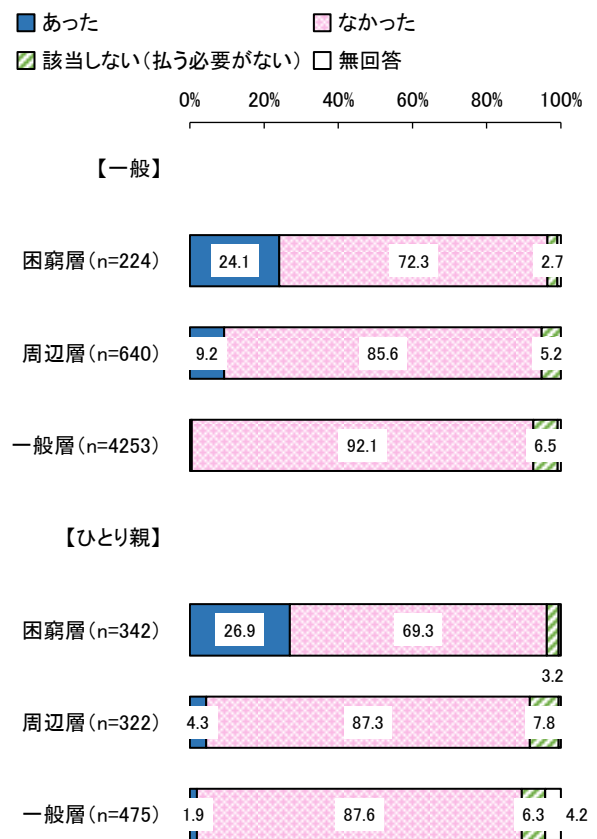
③ 電話料金



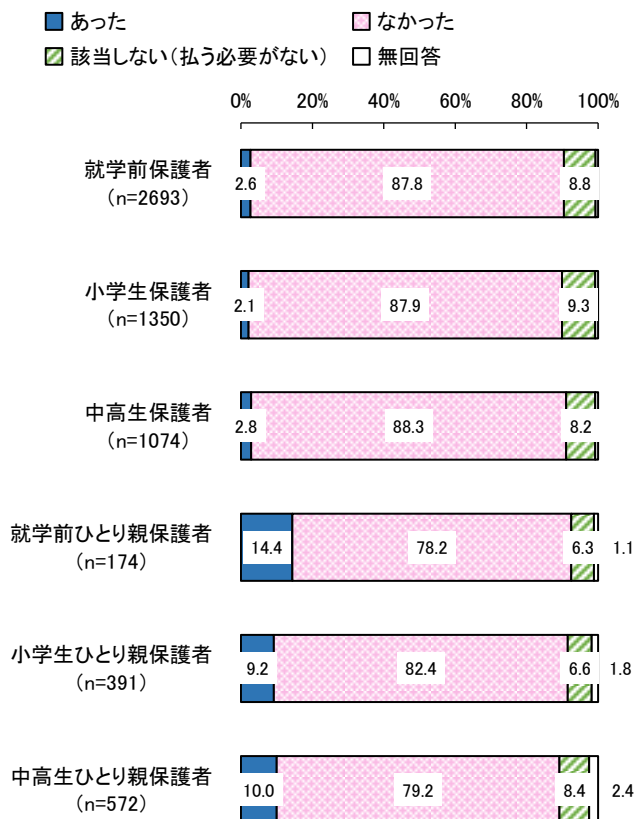
④ 電気料金



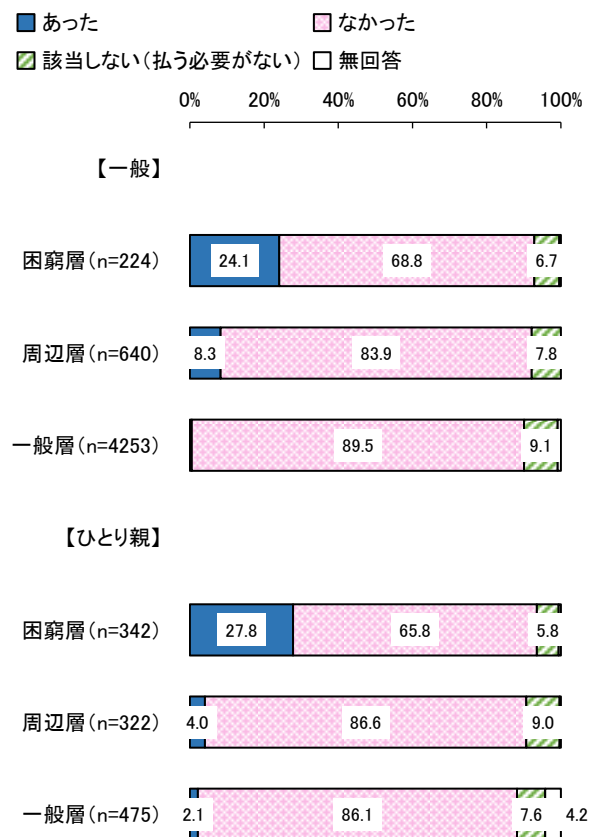
<生活困難度別>



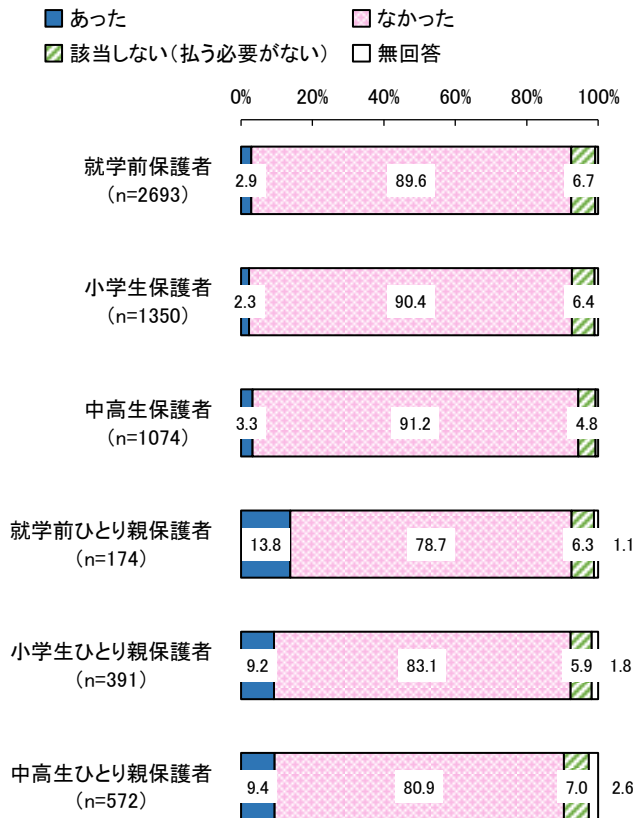
⑤ ガス料金



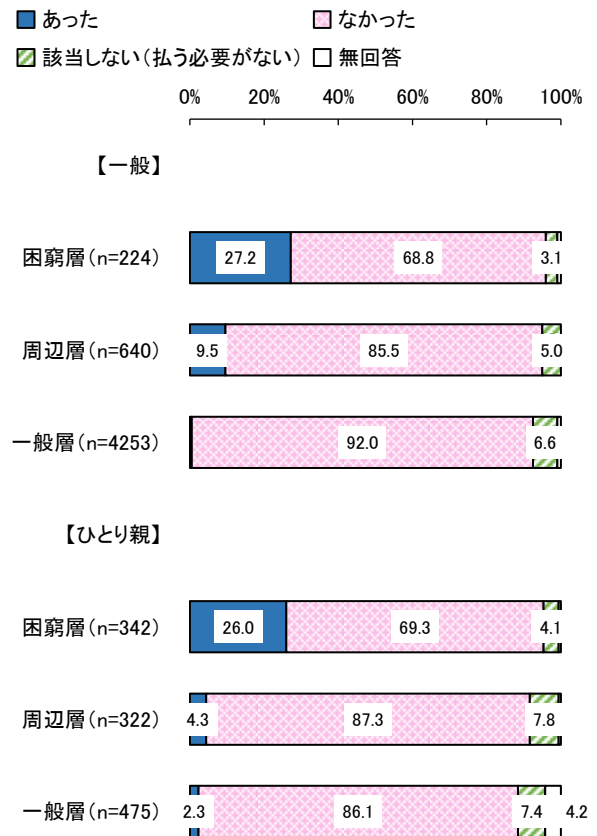
<生活困難度別>



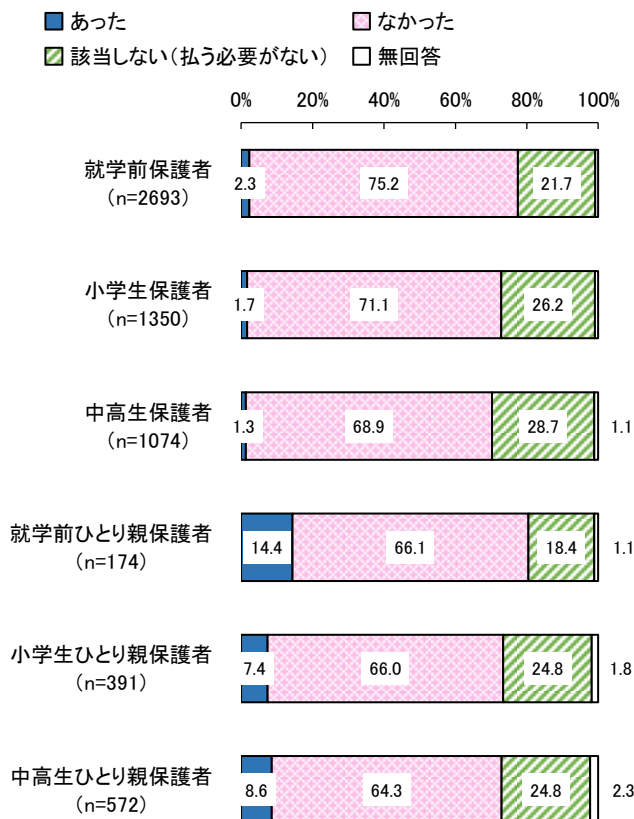
⑥ 水道料金



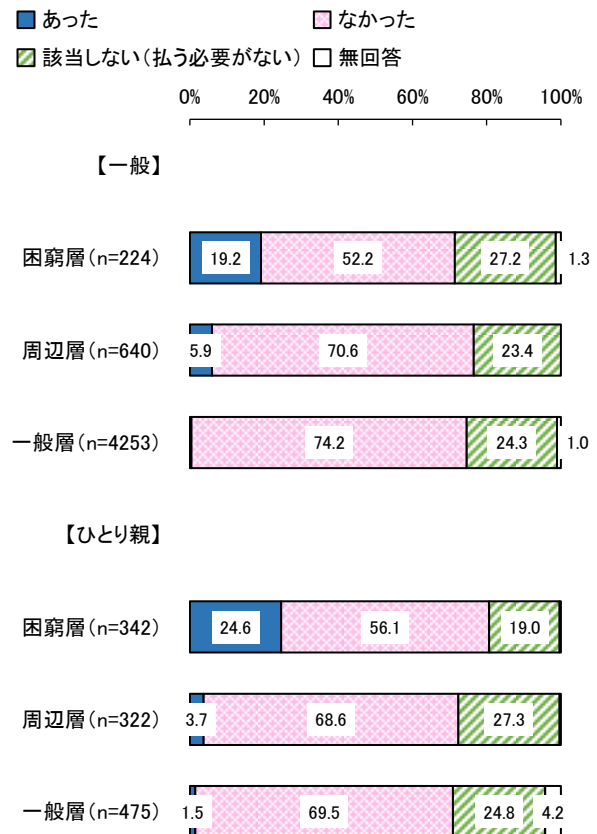
<生活困難度別>



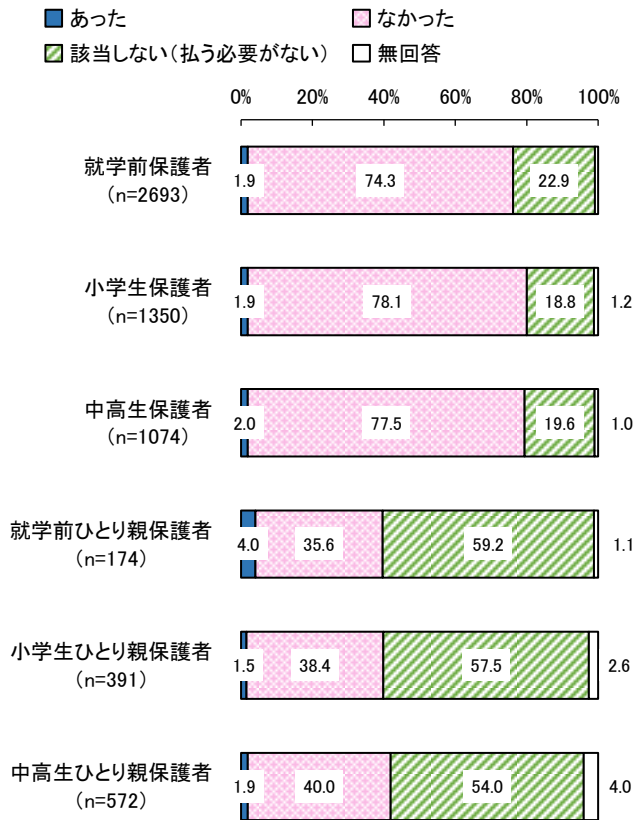
⑦ 家賃



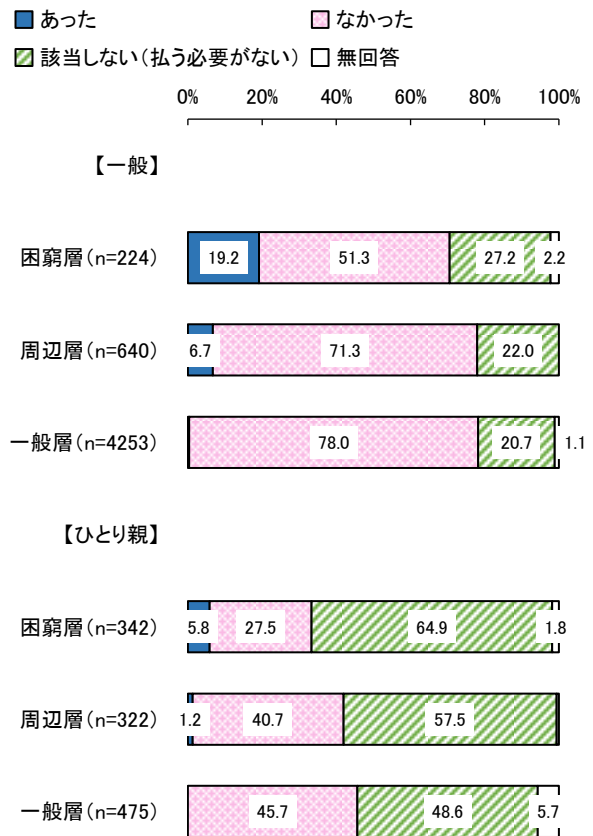
<生活困難度別>



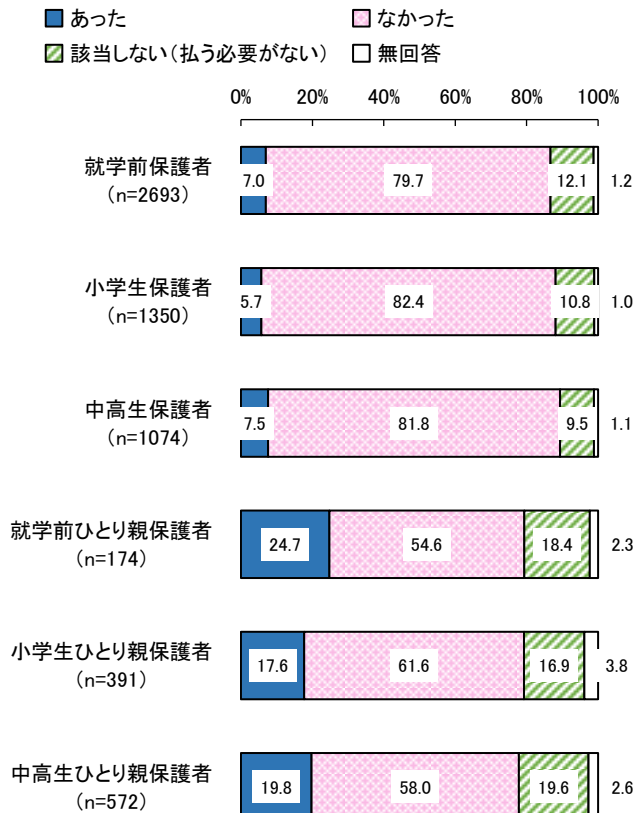
⑧ 住宅ローン



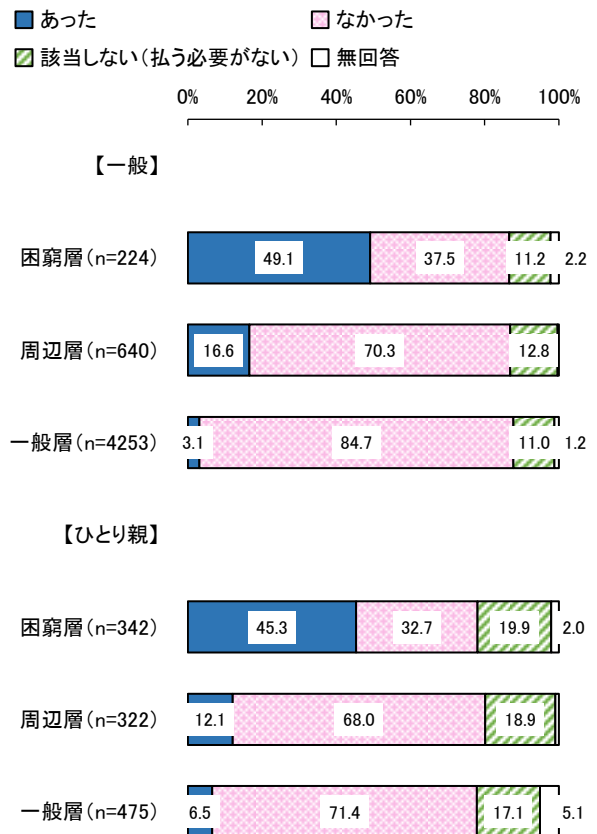
<生活困難度別>



⑨ その他の支払い



<生活困難度別>



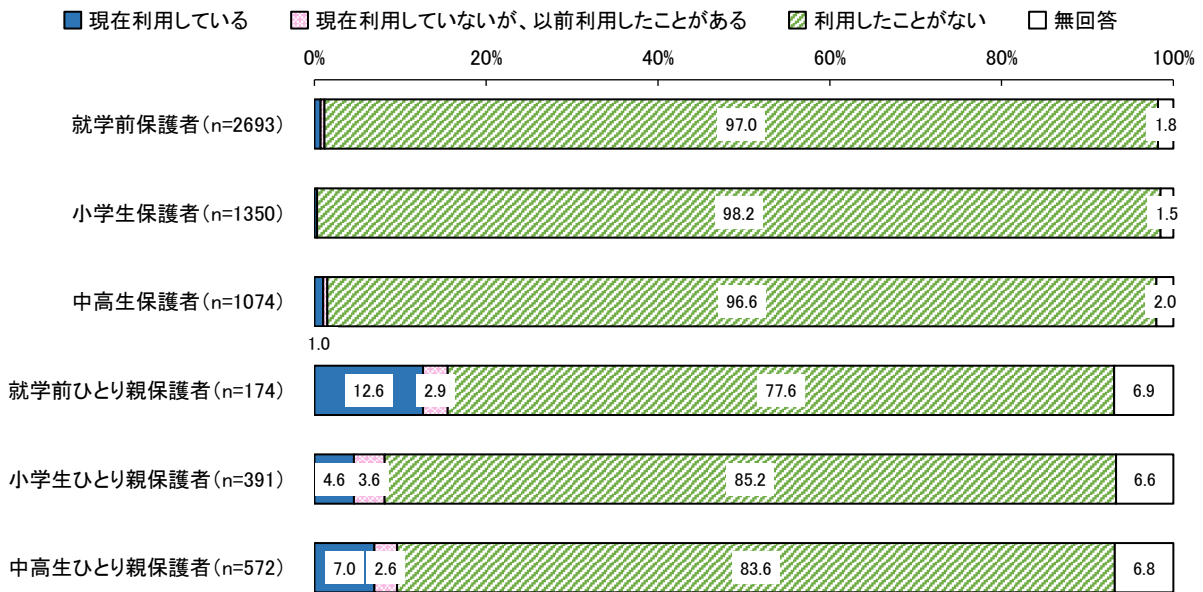
(3) 支援制度の利用状況

問 あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(それぞれ1つに○)

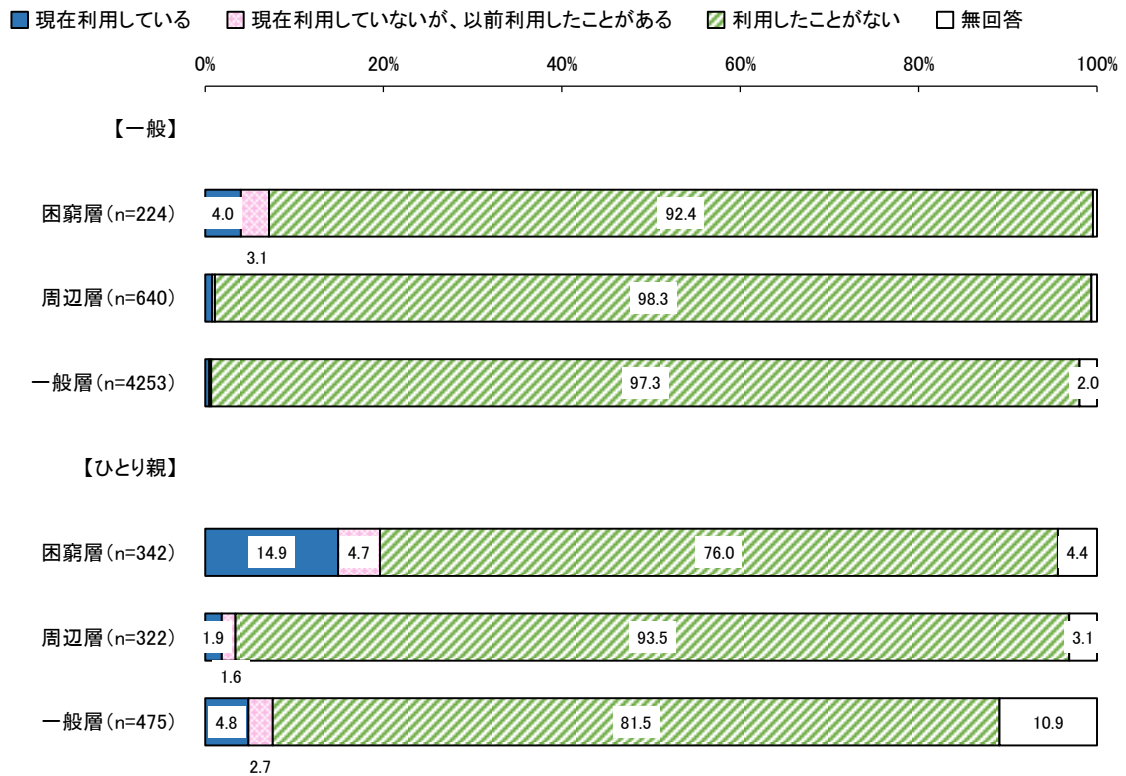
就問25、小問29、中高問29、ひ問41、ひ就問31、ひ小問34、ひ中高問34

① 生活保護

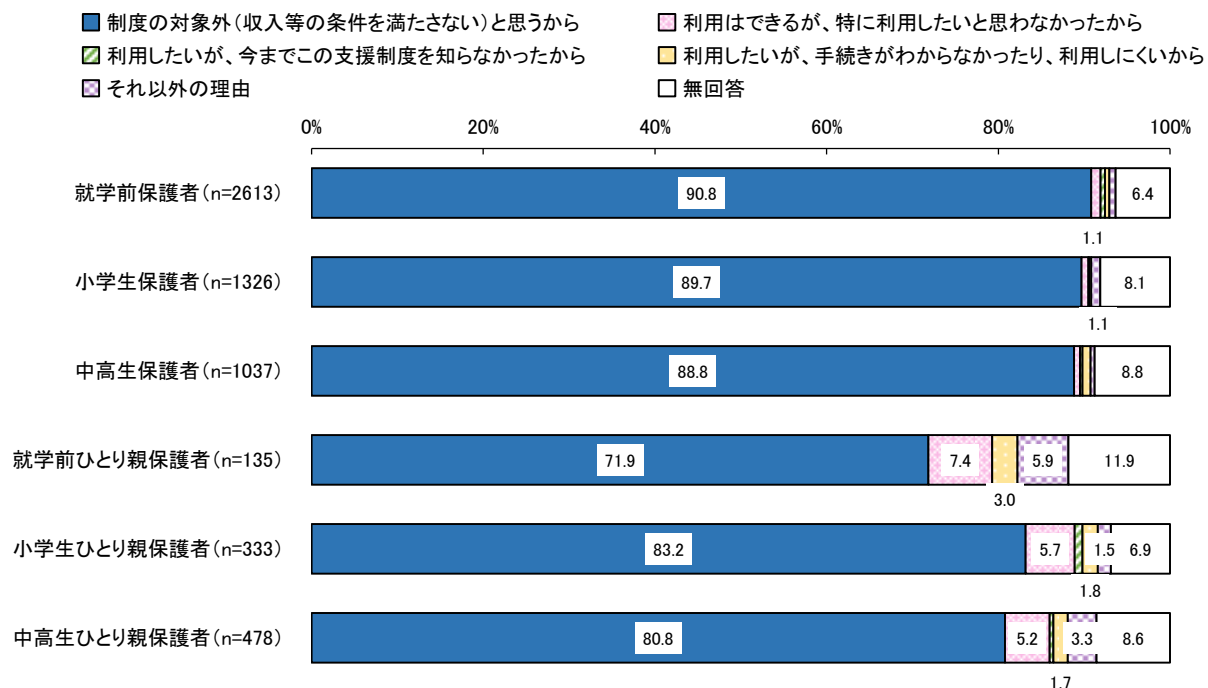
- ・「現在利用している」の割合は、就学前ひとり親保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、「現在利用している」の割合は、ひとり親世帯の困窮層で高い。



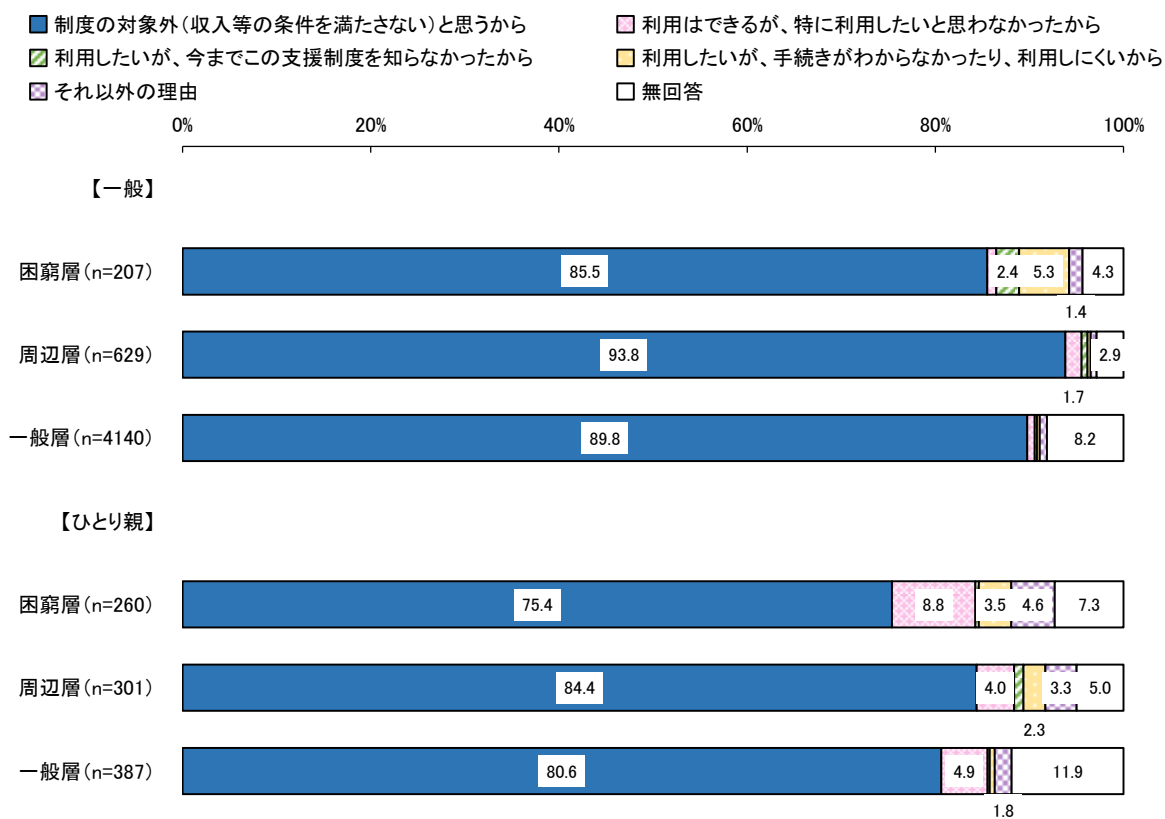
<生活困難度別>



「利用したことがない」理由

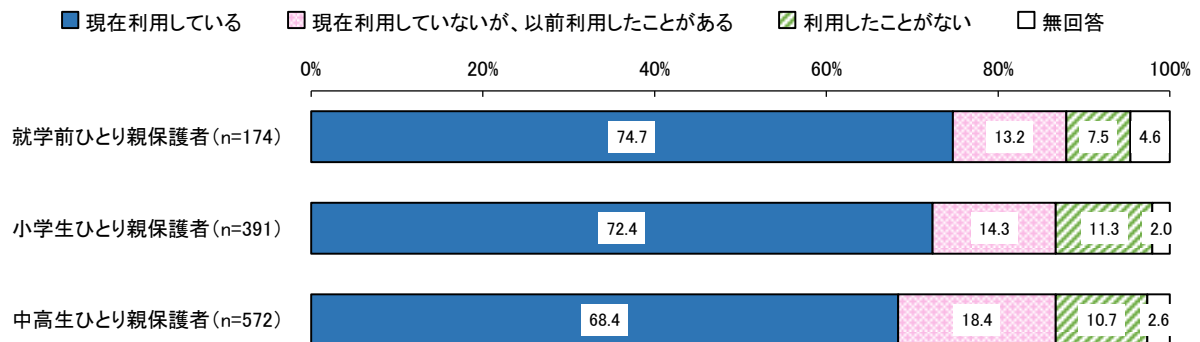


<生活困難度別>

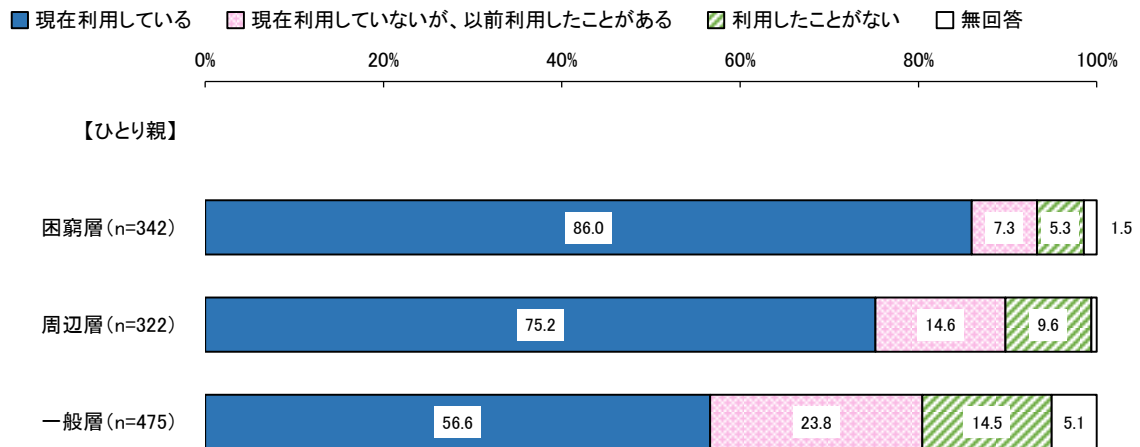


② 児童扶養手当 (ひとり親のみ)

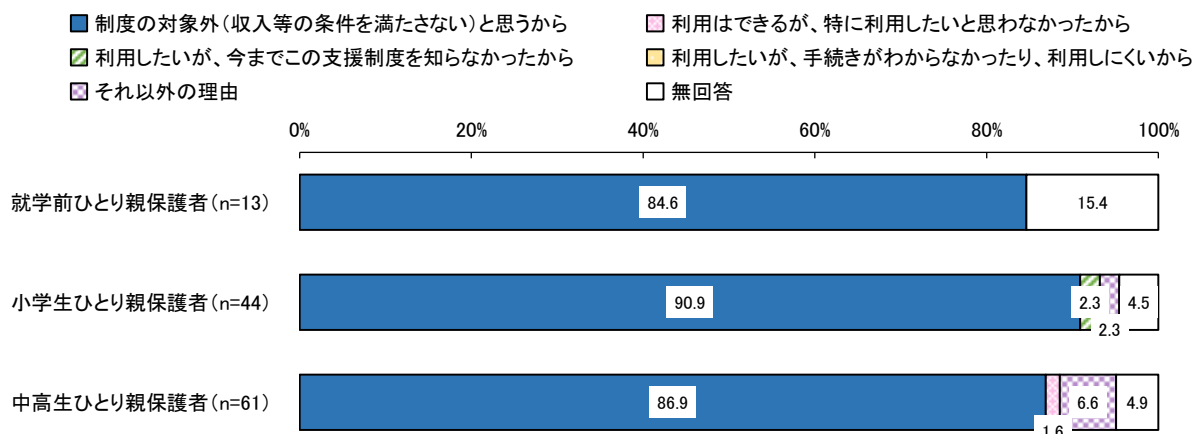
・生活困難度別にみると、「現在利用している」の割合は、ひとり親世帯の困窮層で高い。



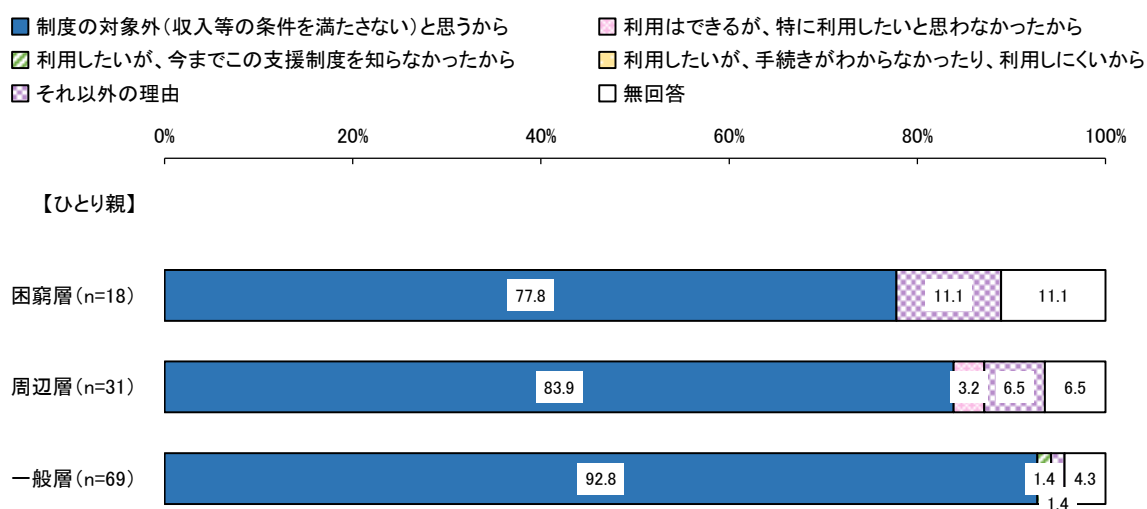
<生活困難度別>



「利用したことがない」理由

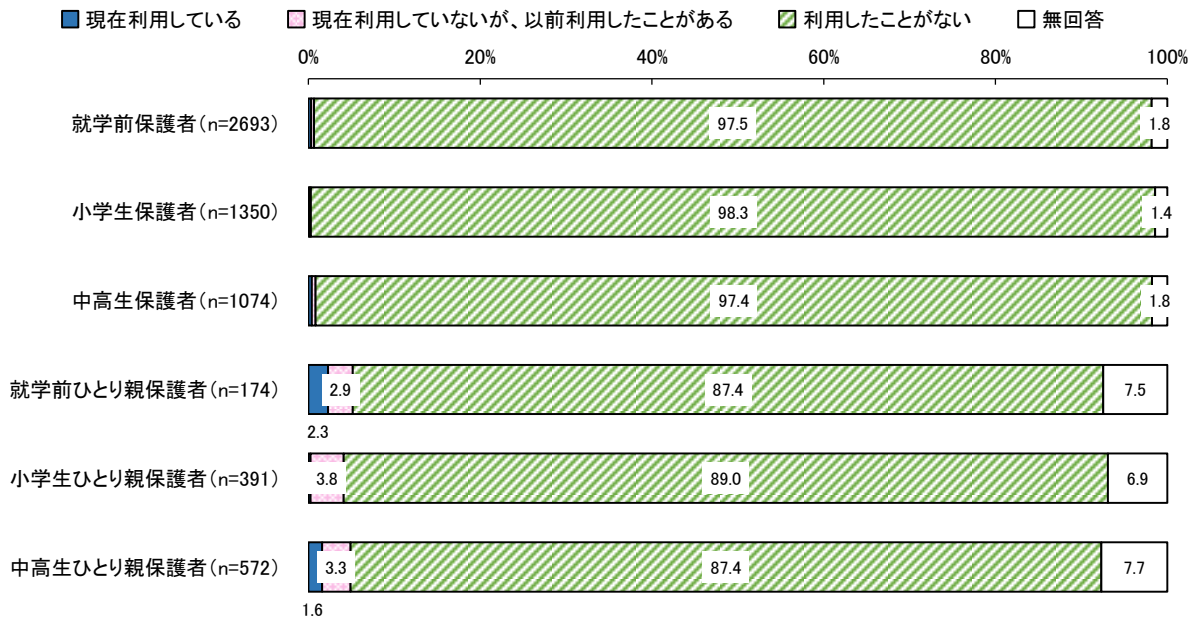


<生活困難度別>

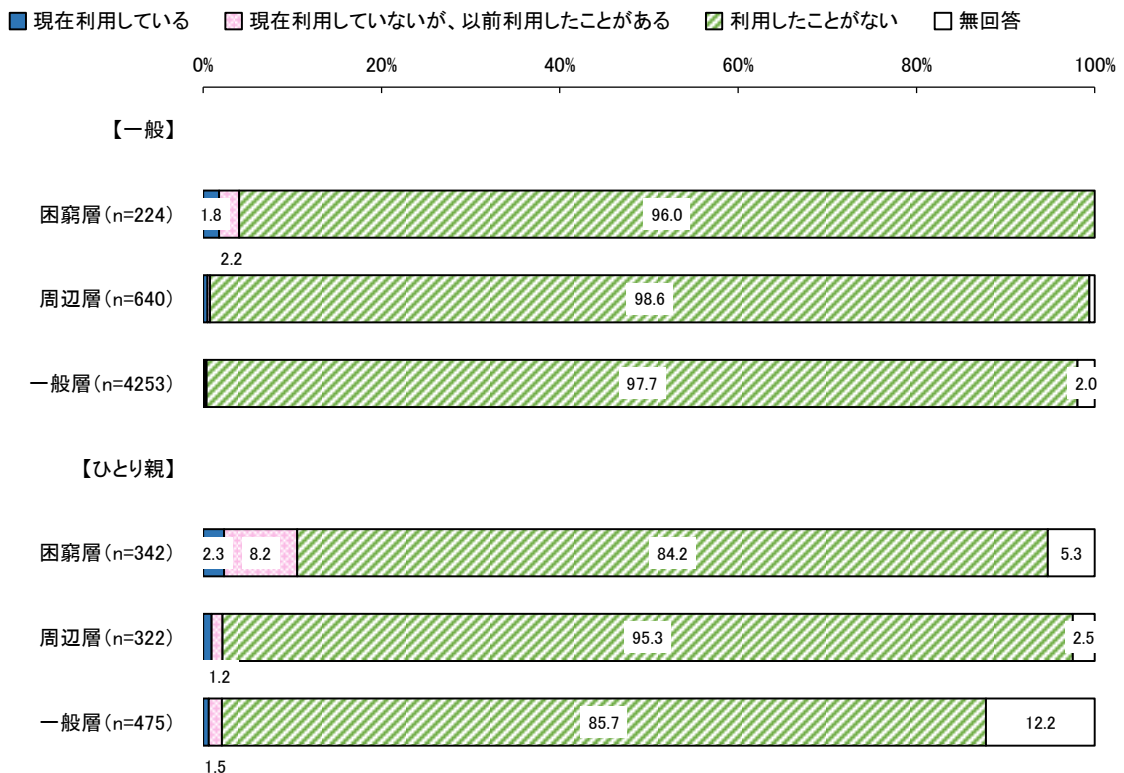


③ 生活困窮者の自立支援相談窓口

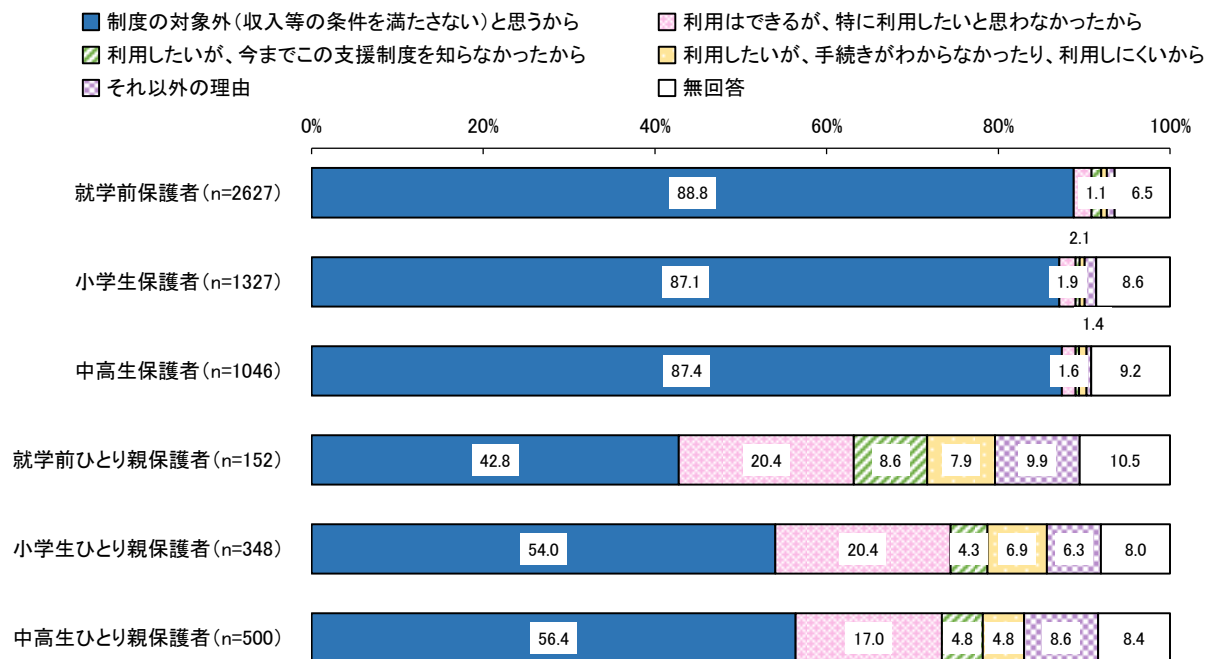
・「利用したことがない」理由として、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が困窮層で高い。



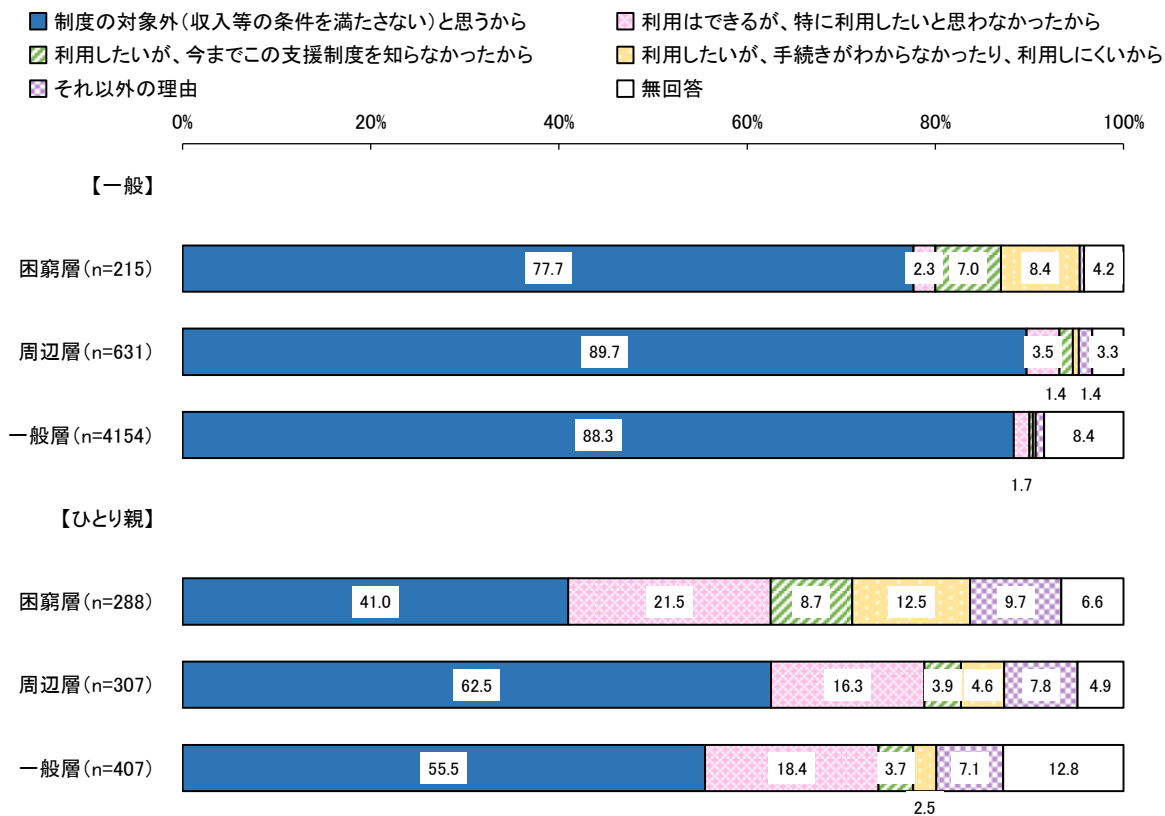
<生活困難度別>



「利用したことがない」理由

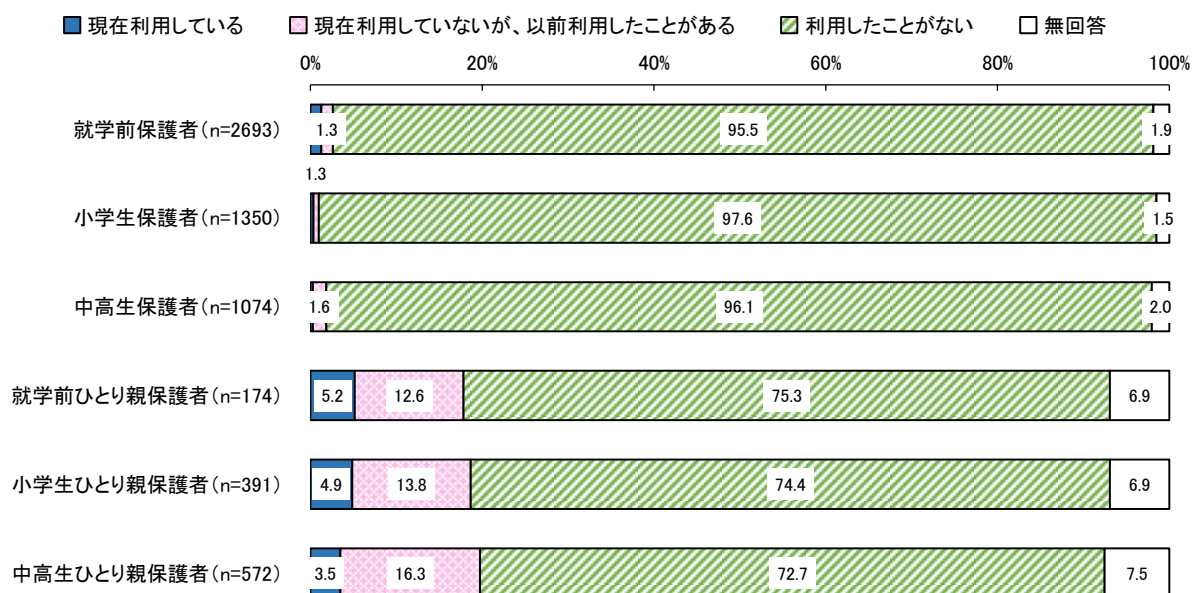


<生活困難度別>

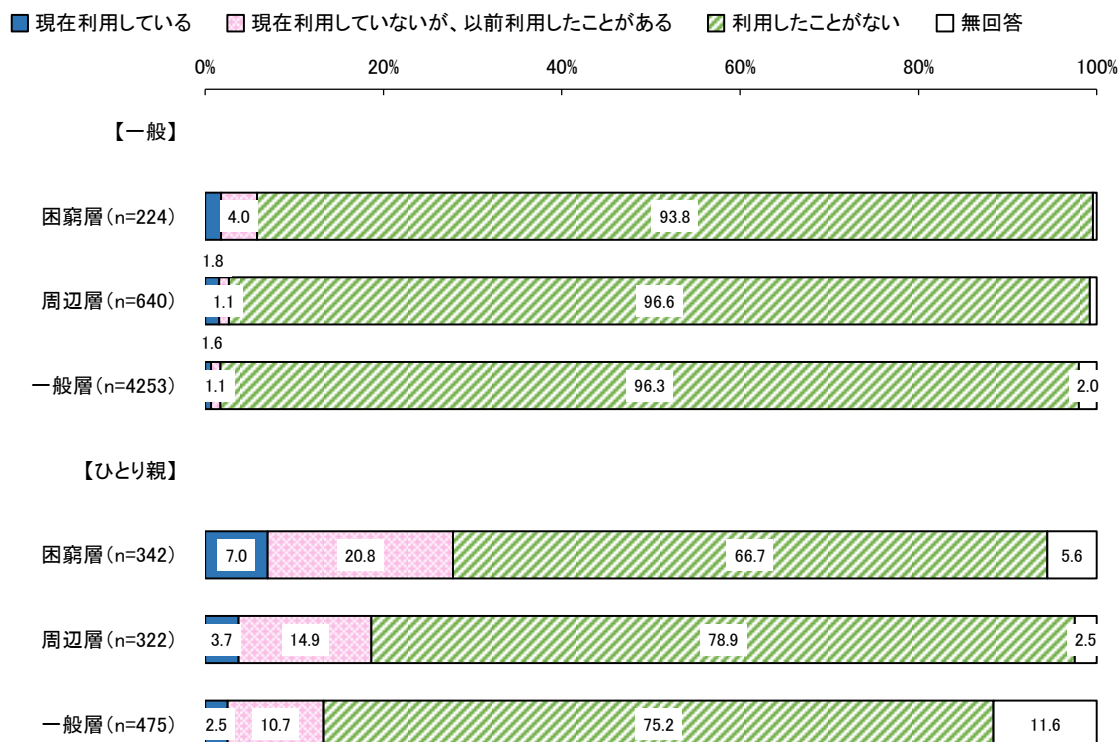


④ 子ども家庭支援課母子父子相談員への相談

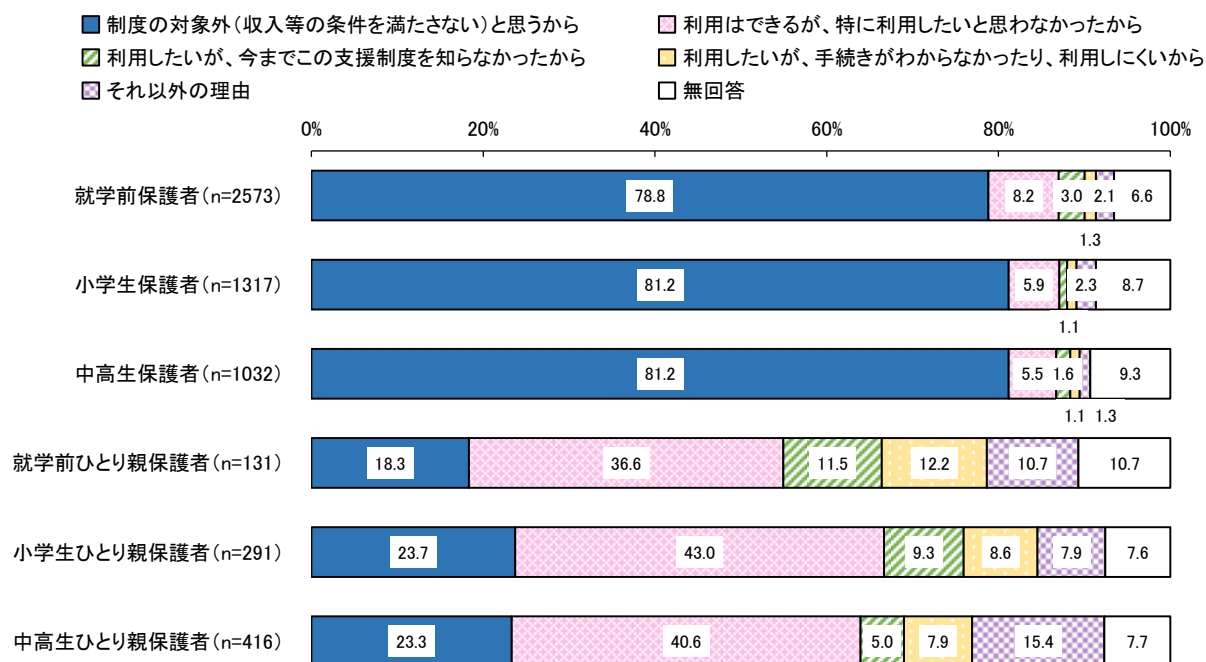
- ・「現在利用している」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「現在利用している」の割合は、ひとり親世帯の困窮層で高い。
- ・「利用したことがない」理由として、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が困窮層で高い。



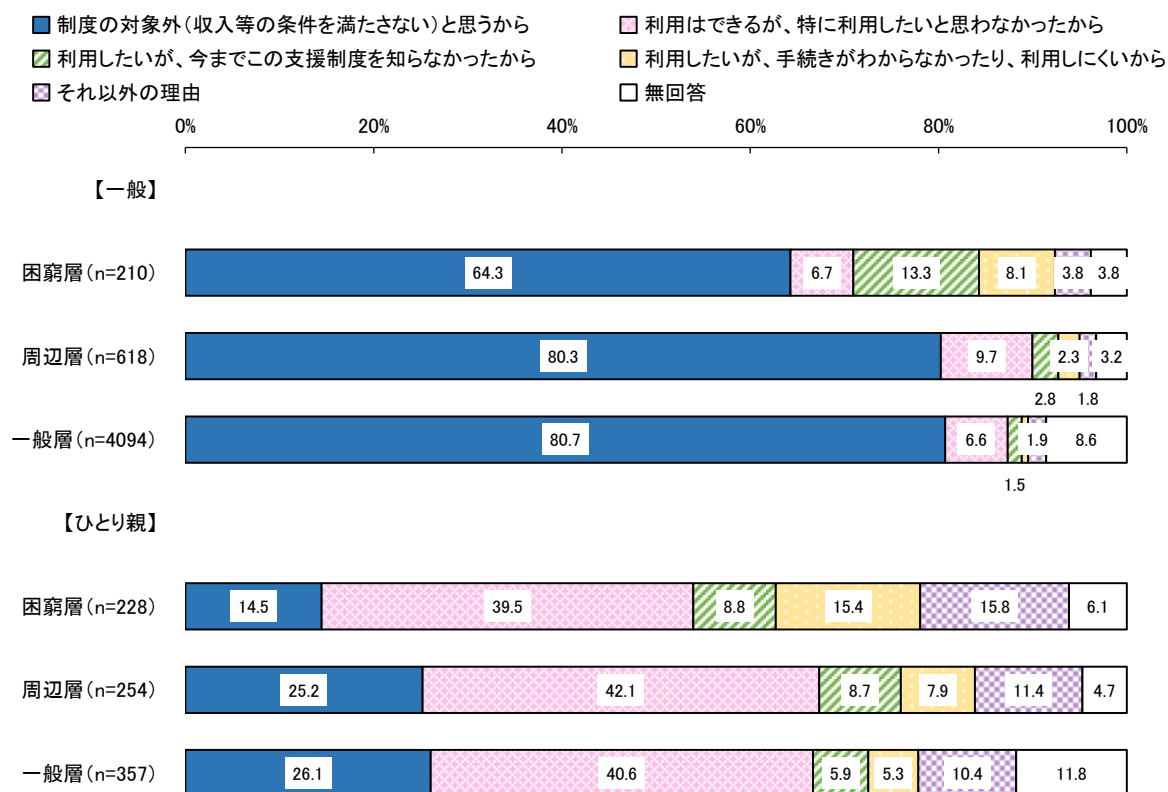
<生活困難度別>



「利用したことがない」理由

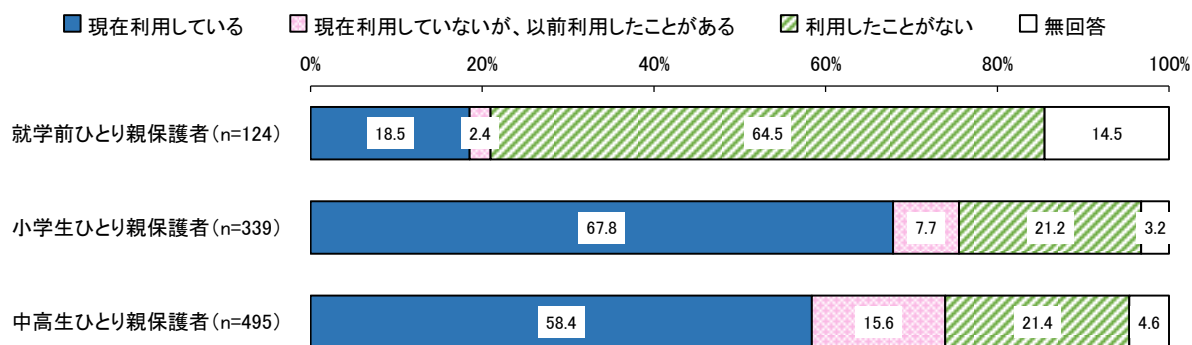


<生活困難度別>

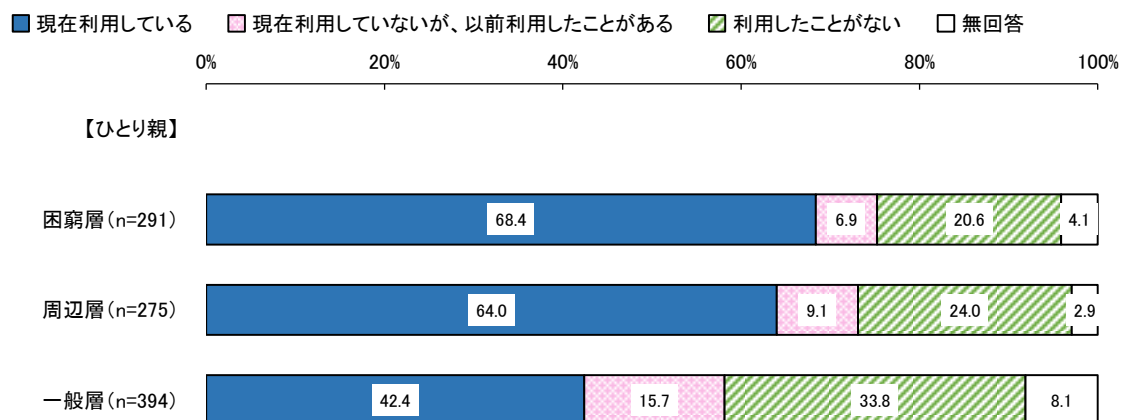


⑤ 就学援助
(ひとり親のみ)

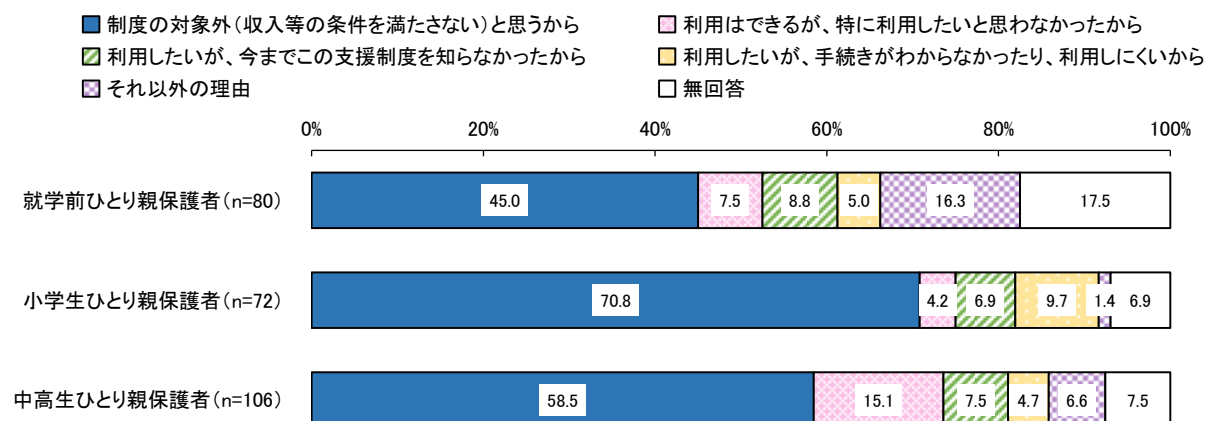
- ・「現在利用している」の割合は、小学生ひとり親保護者で高い。
- ・生活困難度別にみると、「現在利用している」の割合は、困窮層、周辺層で高い。
- ・「利用したことがない」理由として、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」の割合が困窮層で高い。



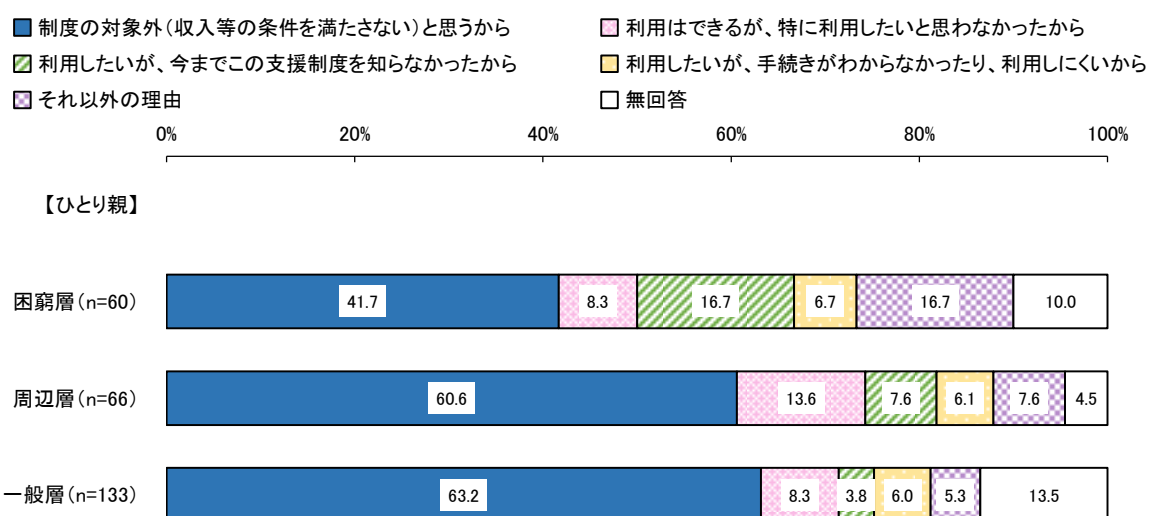
<生活困難度別>



「利用したことがない」理由



<生活困難度別>



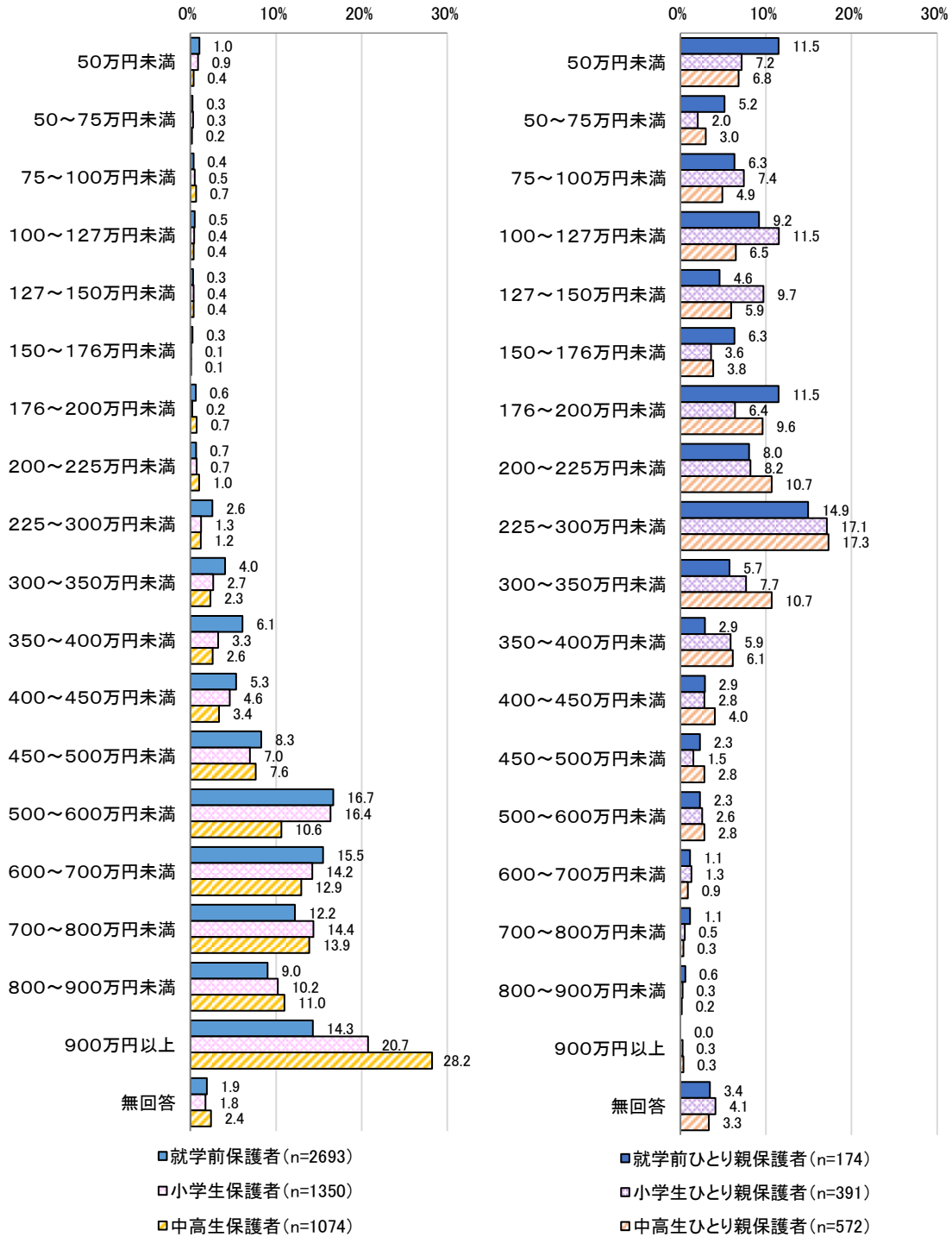
- ・ひとり親世帯の困窮層では、生活保護の利用率が一般世帯の困窮層と比較して高くなっている。
- ・困窮しているにもかかわらず手当を利用していない家庭が一定程度見受けられる。

(4) 世帯の収入

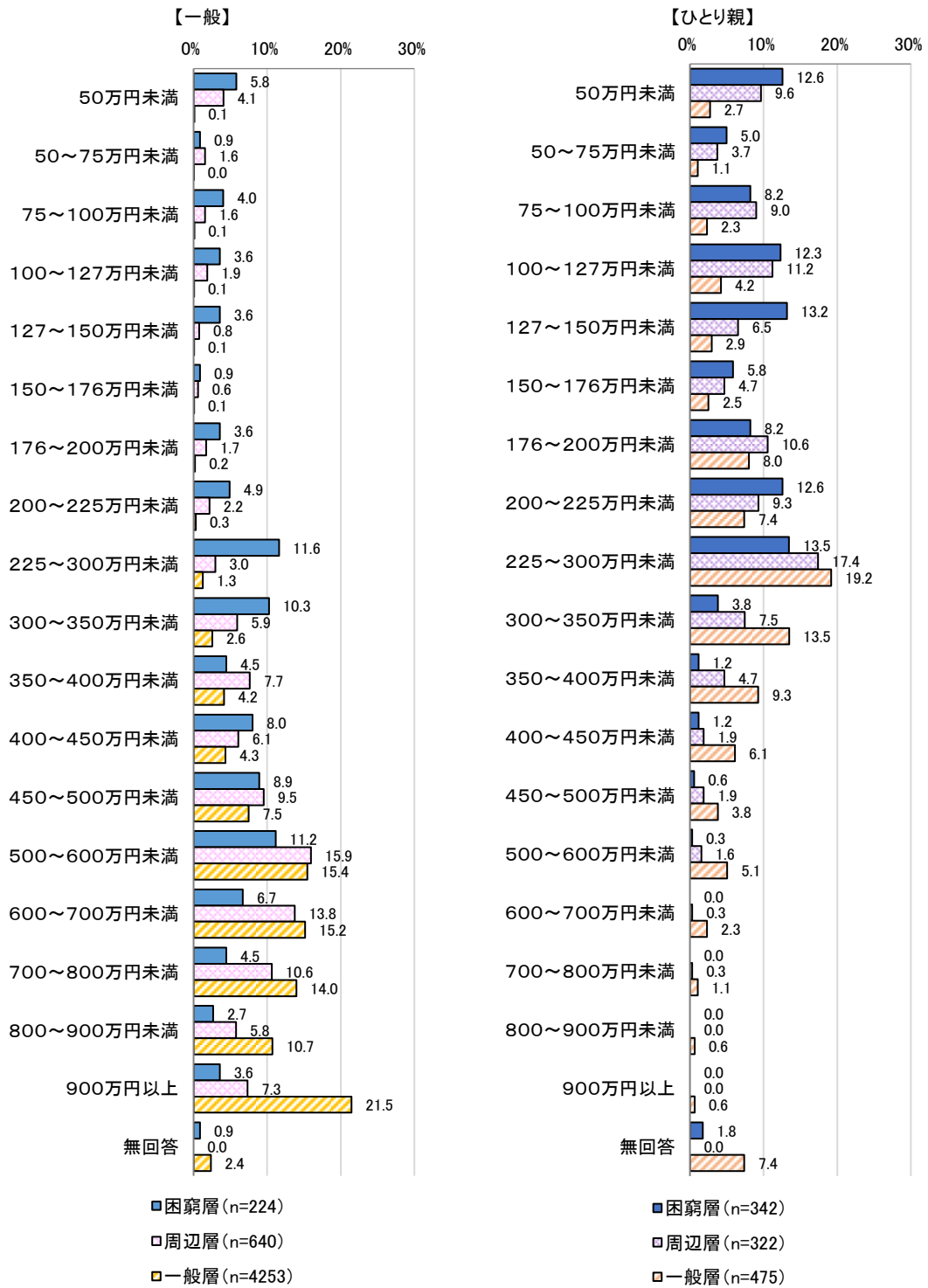
問 あなたの世帯の昨年1年間の手取り収入の額を教えてください。(1つに○)

就問26、小問30、中高問30、ひ問42、ひ就問32、ひ小問35、ひ中高問35

・世帯の収入の状況は以下のとおりとなっている。



<生活困難度別>



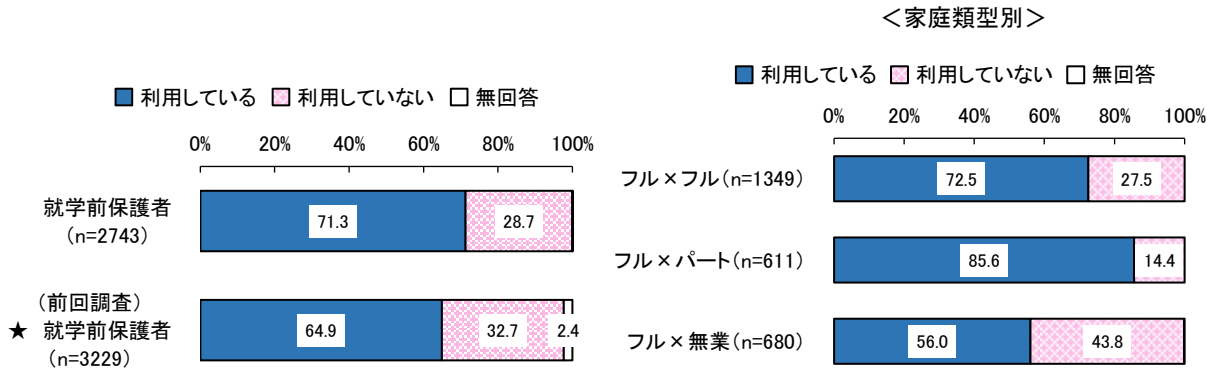
1-8. 平日の日常的な施設等の利用について

(1) 日常的な施設等の利用状況

問 あて名のお子さんは現在、表※にある施設等を日常的に利用していますか。(1つに○)

就問27、ひ就問39

・「利用している」の割合は、前回調査と比べて増加した。



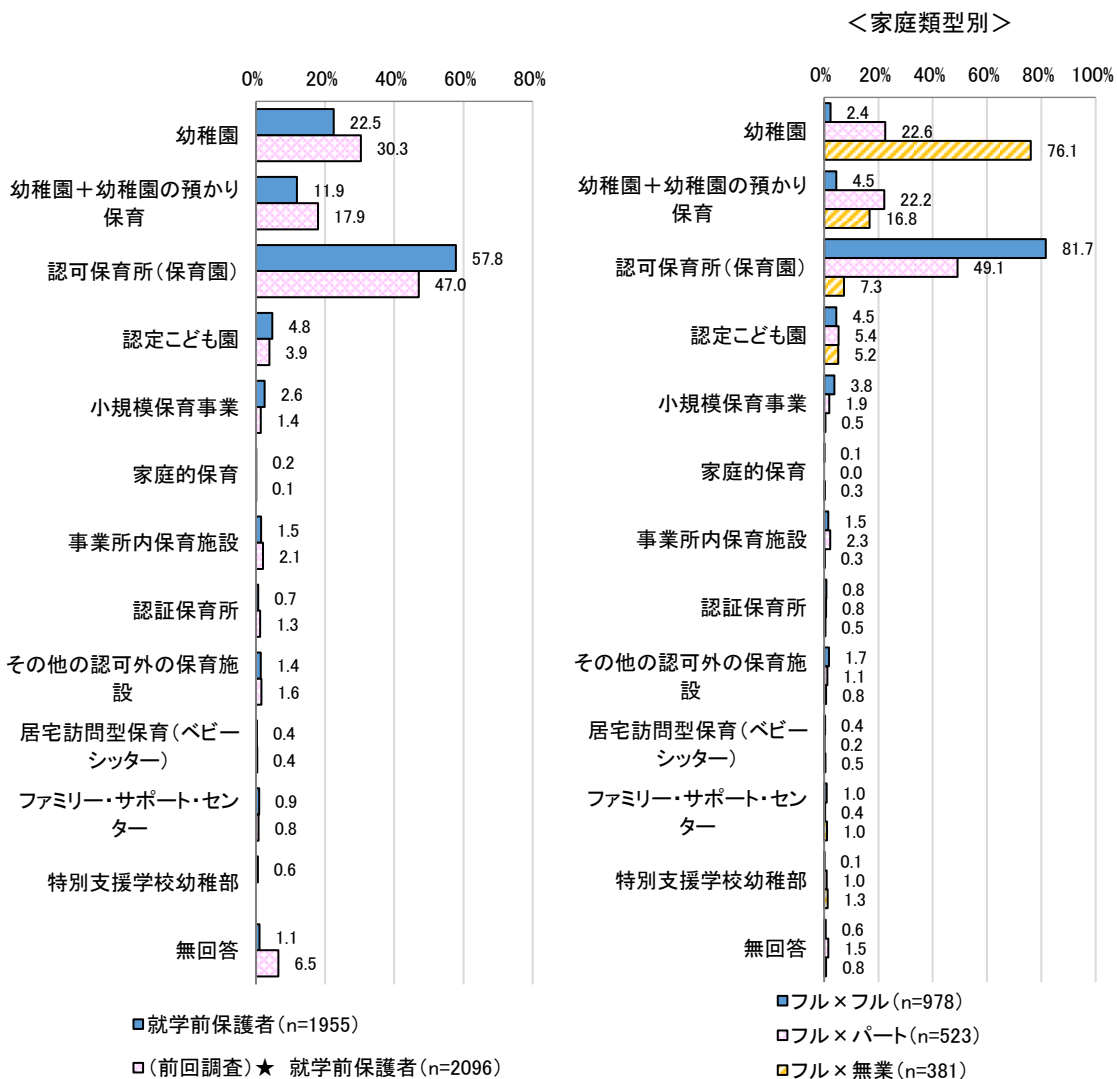
※施設一覧

施設等の種類
1. 幼稚園（通常の就園時間のみ利用）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間＋在園児を対象とした延長保育の利用）
3. 認可保育所（保育園）（法令による認可を受けたもので定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業 （0～2歳児を預かる施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭などで、5人以下の0～2歳児の保育を行うもの）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証保育所（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）（保育者がその子どもの家庭で保育を行うもの）
11. ファミリー・サポート・センター（地域の住民が子どもを預かるもの）
12. 特別支援学校幼稚部（障がいのある未就学児が教育を受ける幼児教育施設）

問 「利用している」方にうかがいます。あて名のお子さんが、日常的に利用している施設等はどれですか。
 (表の中のあてはまる番号をすべて記入)

就問27-1、ひ就問39-1

- ・「認可保育所（保育園）」の割合が最も高く、次いで幼稚園が高い。
- ・家庭類型別にみると、フル×無業で「幼稚園」、フル×フルで「認可保育所（保育園）」の割合が高い。

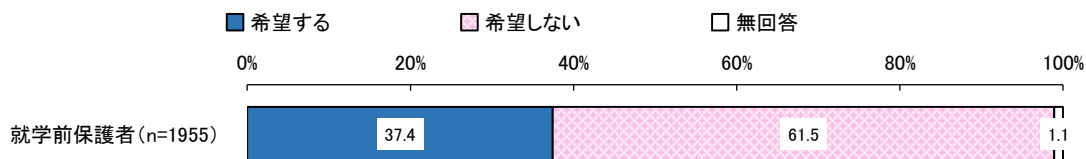


- ・「認可保育所（保育園）」の利用割合が非常に高く、前回と比較しても伸びていることから、当該施設に対する需要が大きいことが分かる。
- ・「幼稚園+幼稚園の預かり保育」の利用も一定数みられる。

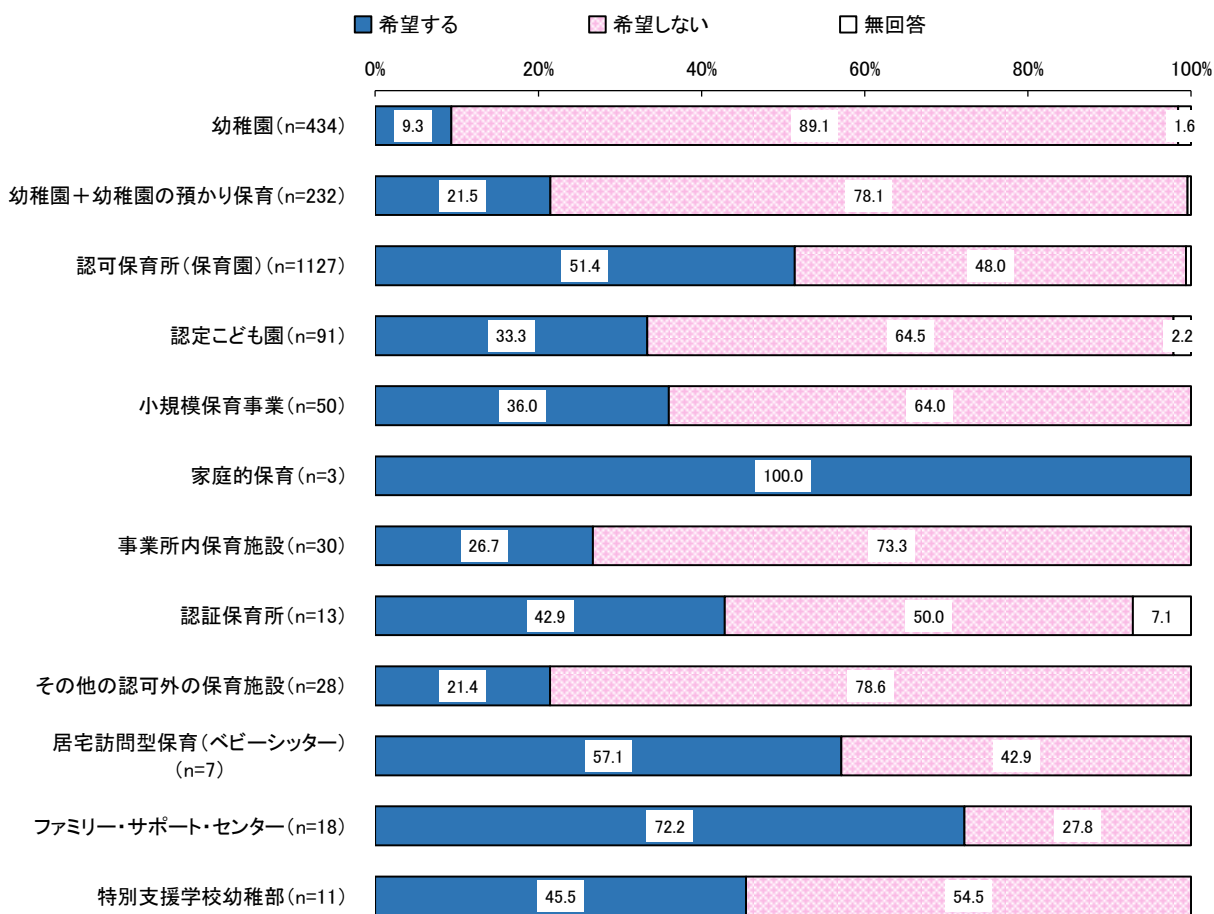
問 前問で選んだ施設等について、18時以降の利用希望はありますか。(1つに○)

就問27-2、ひ就問39-2

・18時以降の利用希望は、4割弱である。



<施設別>

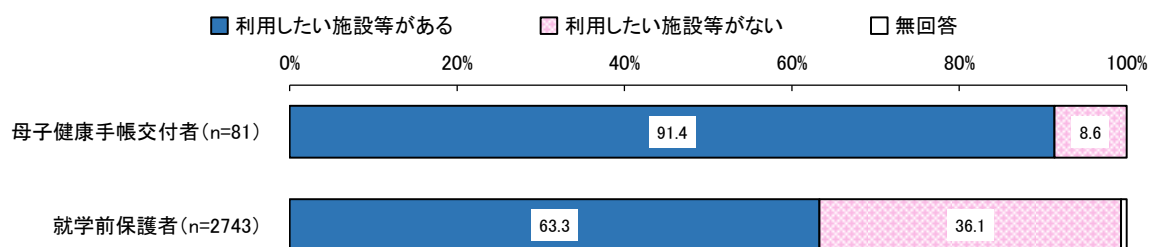


(2) 日常的な施設等の利用希望

問 現在、利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、表の中にある施設等で、日常的に利用したいものはありますか。(1つに○)

母問9、就問28、ひ就問40

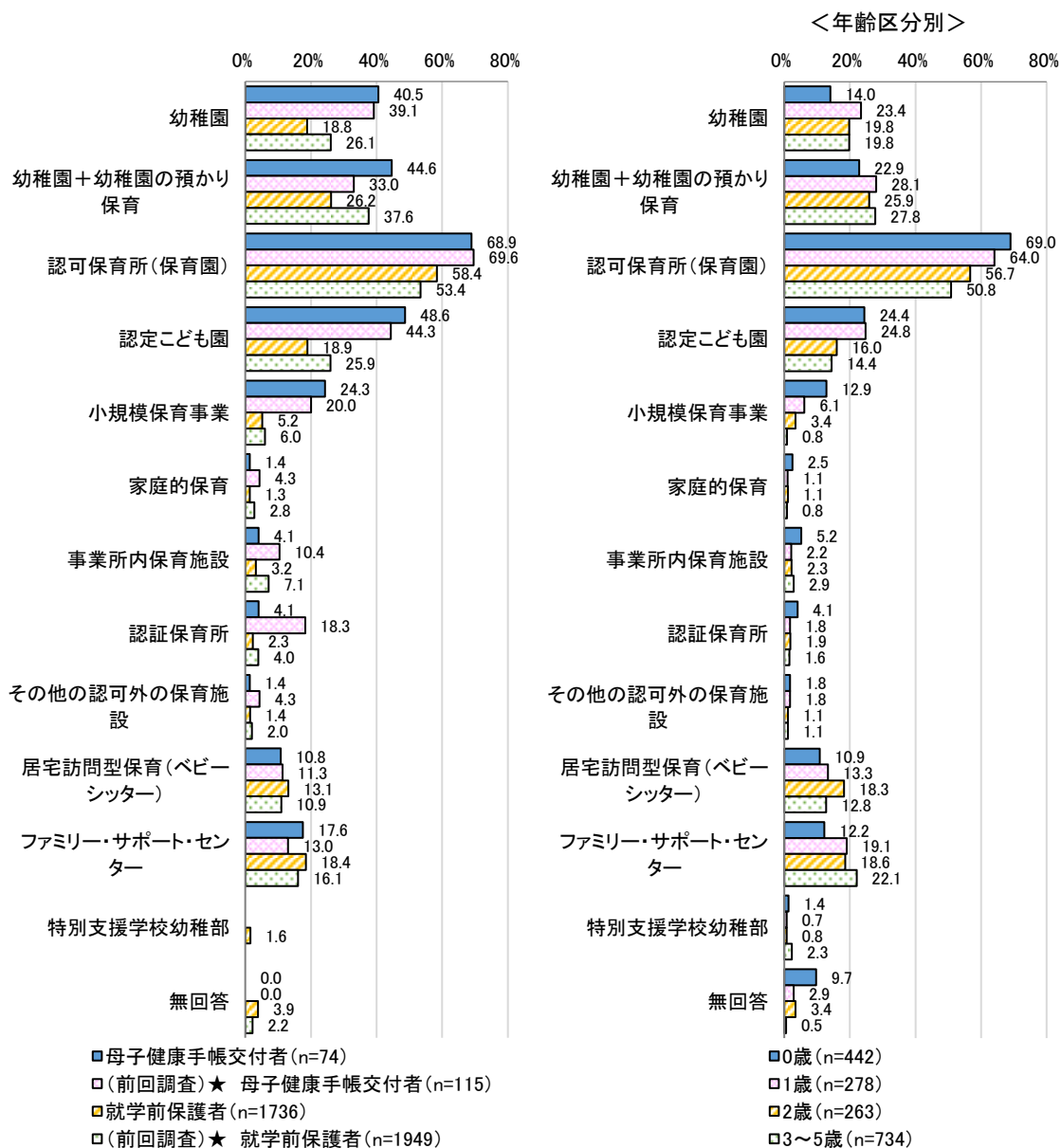
・「利用したい施設等がある」の割合は、母子健康手帳交付者で高い。



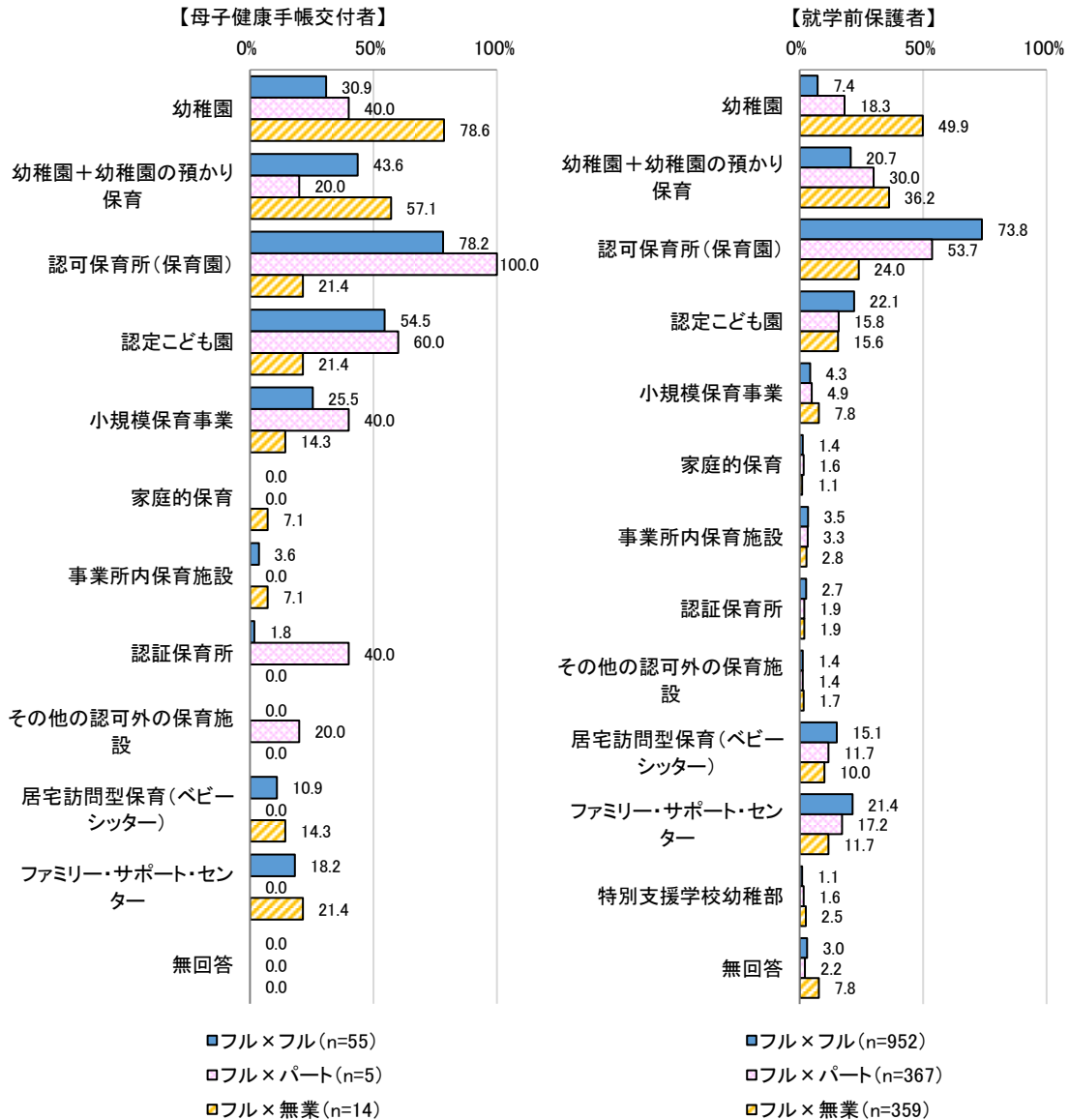
問 「利用したい施設等がある」方にうかがいます。利用したいと考える施設等はどれですか。(表の中のあてはまる番号をすべて記入)

母問9-1、就問28-1、ひ就40-1

- ・「認可保育所（保育園）」の割合が最も高い。
- ・「幼稚園」や「認定こども園」も一定程度、利用希望がみられる。



<家庭類型別>

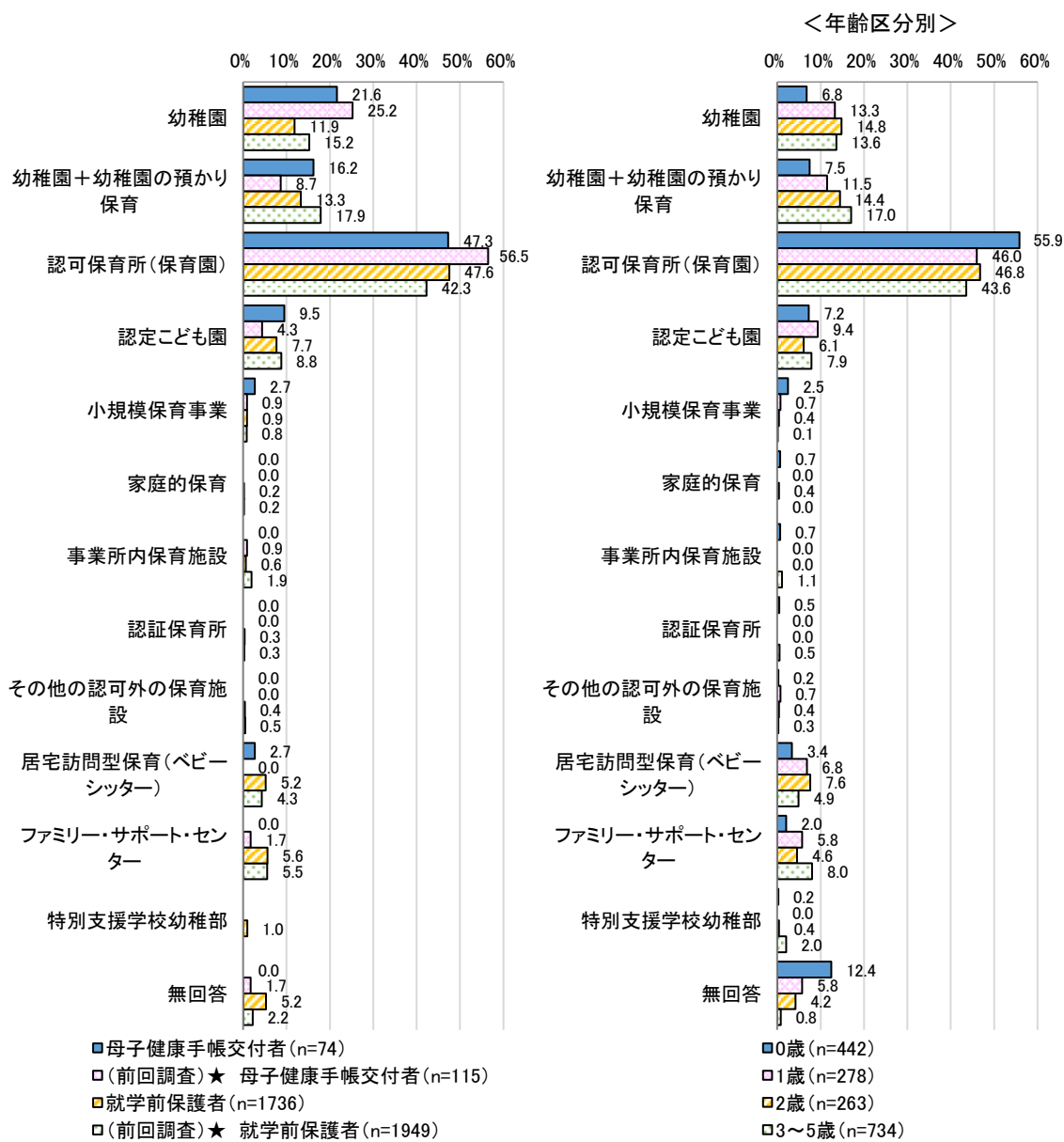


- ・「認可保育所（保育園）」の割合が高いことから、当該施設への需要が非常に高いことがわかる。
- ・「幼稚園」、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」の希望も一定数あり、それぞれのニーズへの対応が課題となっている。

問 前問で選んだ施設等で、もっとも利用したいものはどれですか。(1つ選んで番号を記入)

母問9-2、就問28-2、ひ就40-2

・「認可保育所(保育園)」の割合が最も高い。

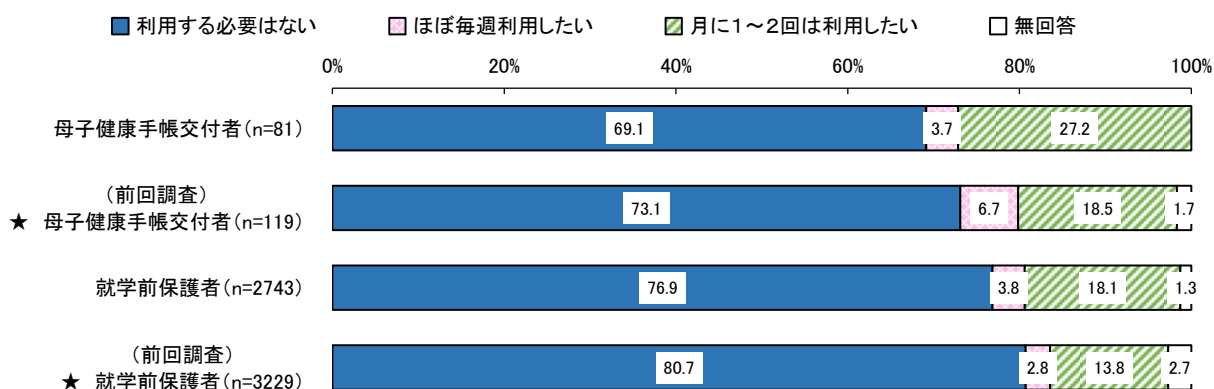


(3) お子さんを預かる施設等の利用希望

問 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、幼稚園や保育園のようなお子さんを預かる施設等の定期的な利用希望はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯も記入してください。なお、一時的な利用は除きます。(1つに○)

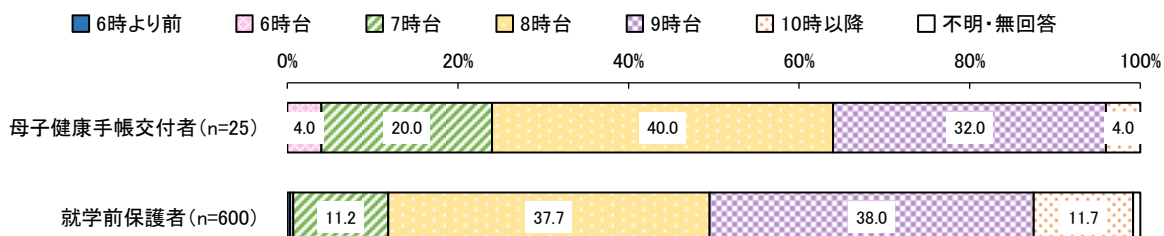
母問10、就問29、ひ就問41

- ・就学前保護者よりも母子健康手帳交付者で利用希望が多い。
- ・利用希望は、前回調査と比べるといずれも増加している。
- ・母子健康手帳交付者では8時台から19時以降まで、就学前保護者では9時台から17時台までの利用希望が多い。

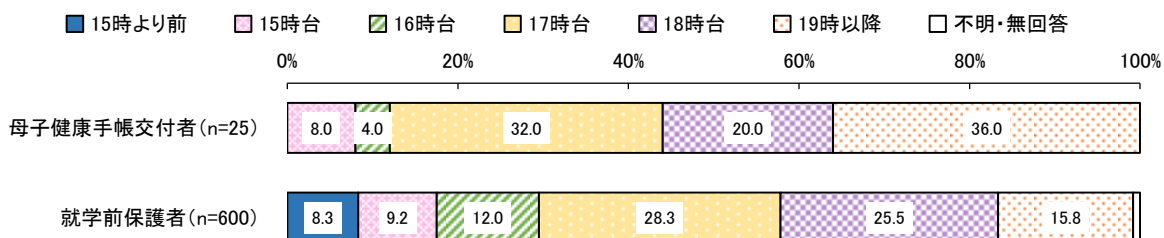


利用したい時間帯

「時から」



「時まで」



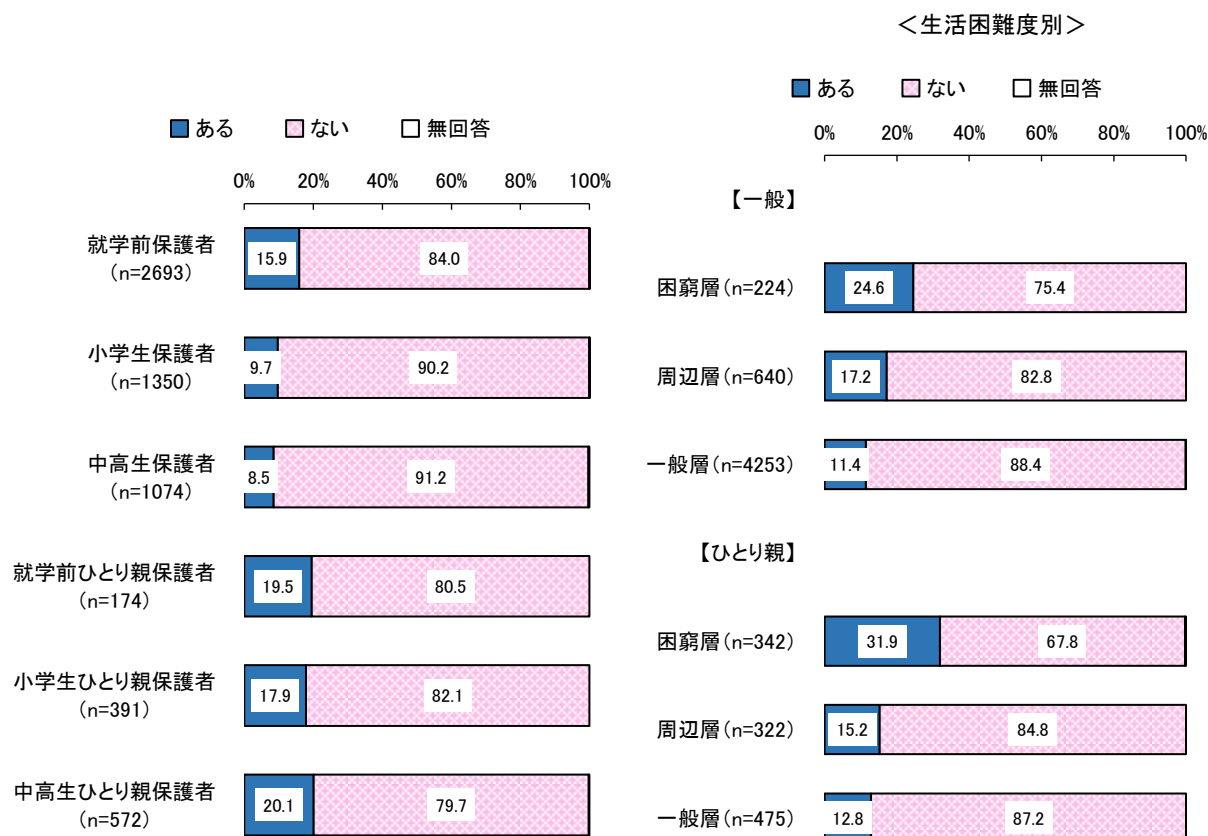
1-9. 病気やケガの際の対応について

(1) 病院や診療所の受診状況

問 過去1年の間にお子さんについて病気やケガの治療のために病院や診療所を受診したほうがよいと思ったのに、実際には受診しなかったことがありますか。(1つに○)

就問30、小問31、中高問31、ひ問4、ひ就問42、ひ小問42、ひ中高問42

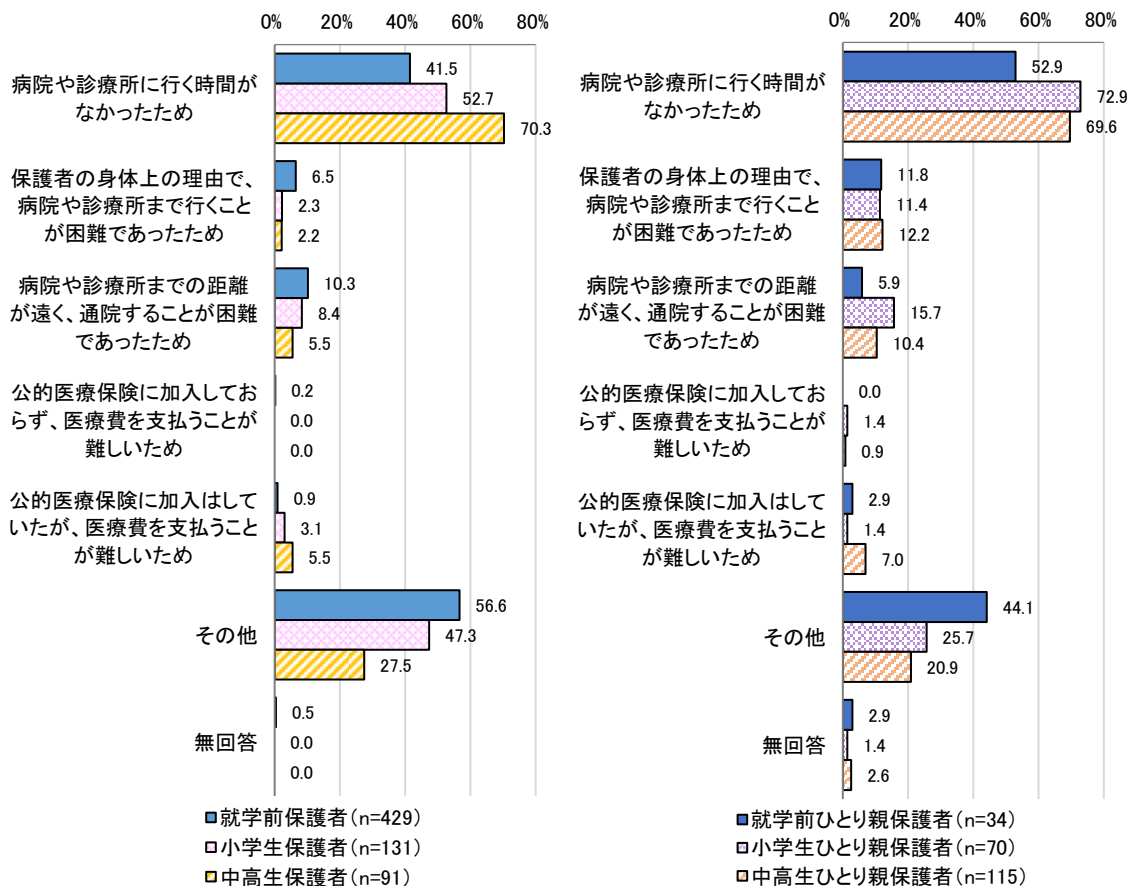
- ・「ある」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「ある」の割合は困窮層で高い。



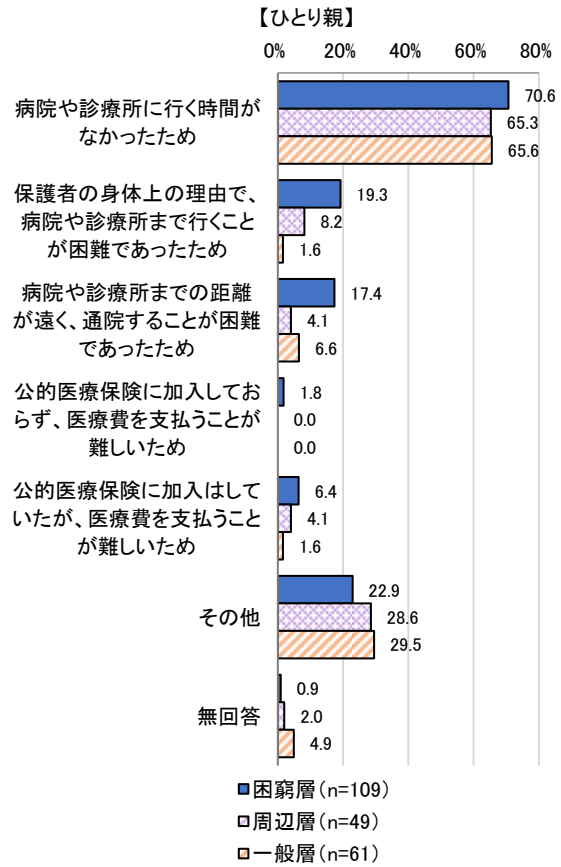
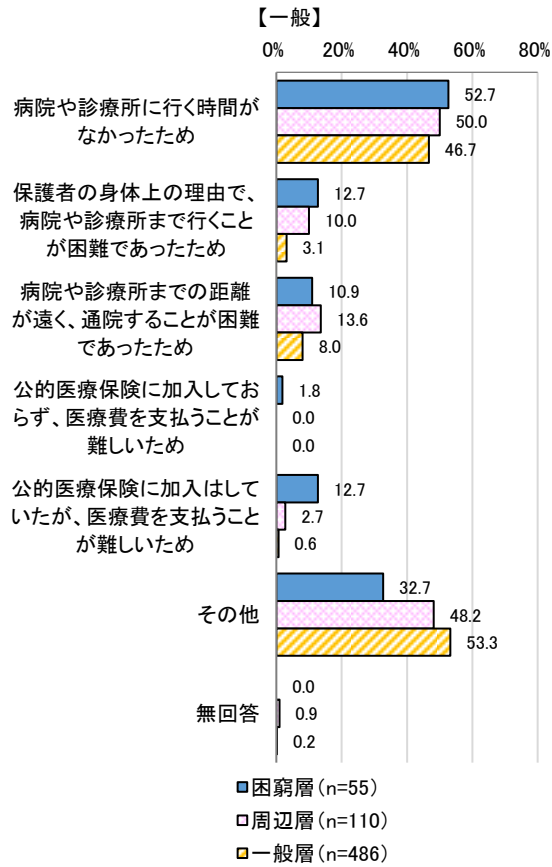
問 受診しなかったことが「ある」方にうかがいます。受診しなかった理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

就問30-1、小問31-1、中高問31-1、ひ問4-1、ひ就問42-1、ひ小問42-1、ひ中高問42-1

・「病院や診療所に行く時間がなかったため」の割合が最も高い。



<生活困難度別>

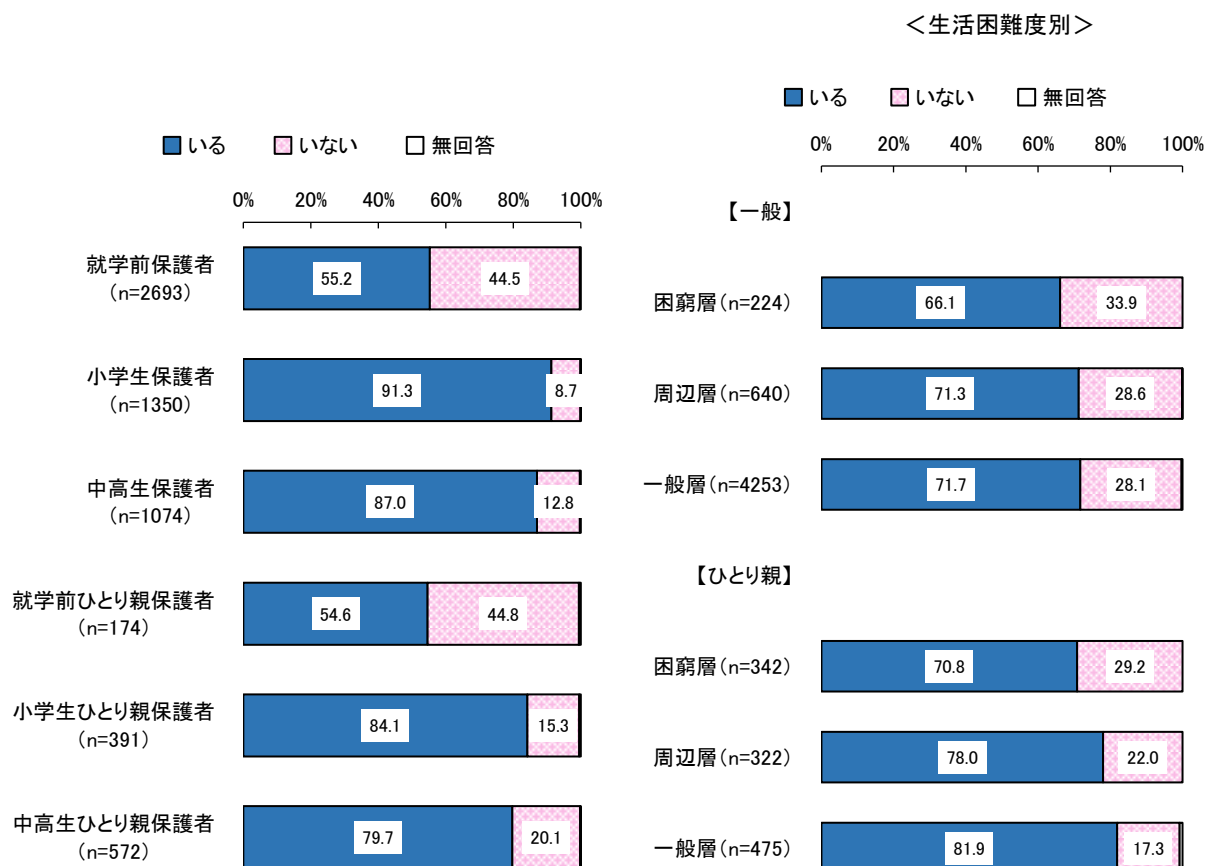


(2) かかりつけの歯科医の有無

問 お子さんにはかかりつけの歯科医はいますか。(1つに○)

就問3 1、小問3 2、中高問3 2、ひ問5、ひ就問4 3、ひ小問4 3、ひ中高問4 3

・「いる」の割合は、就学前よりも就学後で高い。

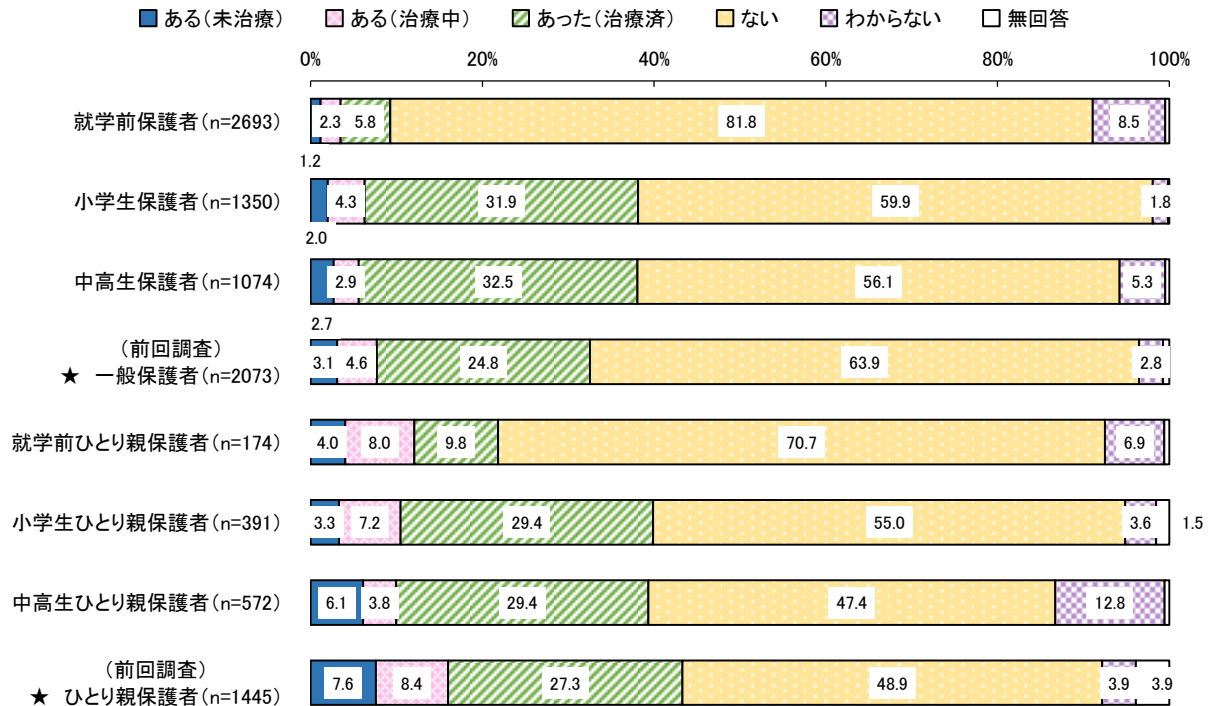


(3) むし歯の有無

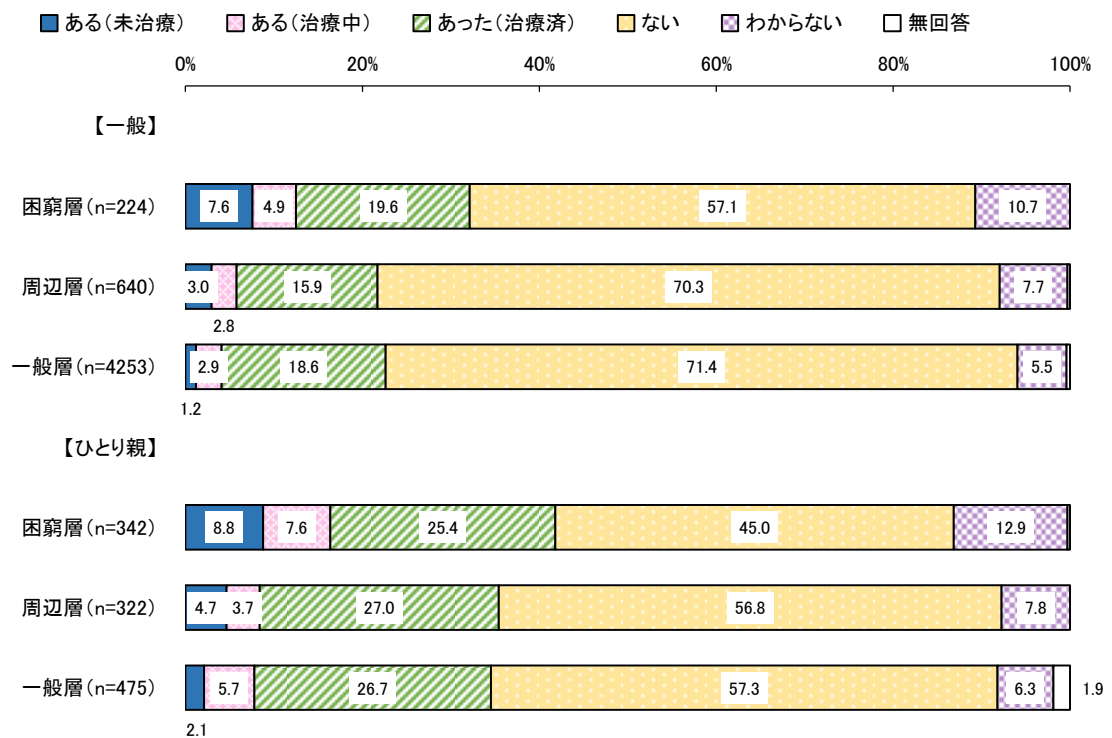
問 お子さんにはむし歯がありますか。(1つに○)

就問32、小問33、中高問33、ひ問5-1、ひ就問44、ひ小問44、ひ中高問44

- ・「ある(未治療)」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「ある(未治療)」の割合は困窮層で高い。



<生活困難度別>

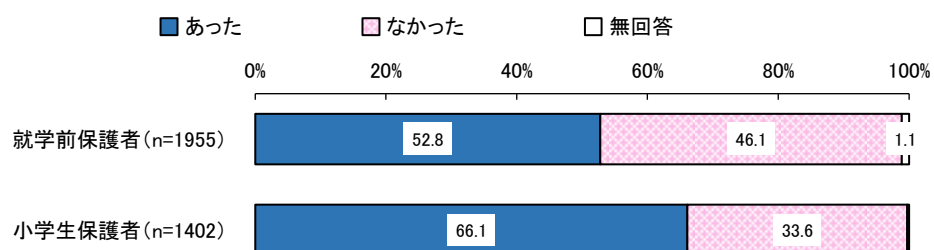


(4) お子さんを預かる施設等の利用状況

問 幼稚園や保育園のようなお子さんを預かる施設など（以下、施設等）を、平日に日常的に利用していると答えた方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設等が利用できなかったことはありますか。（1つに○）

就問33、小問34、ひ就問45、ひ小問45

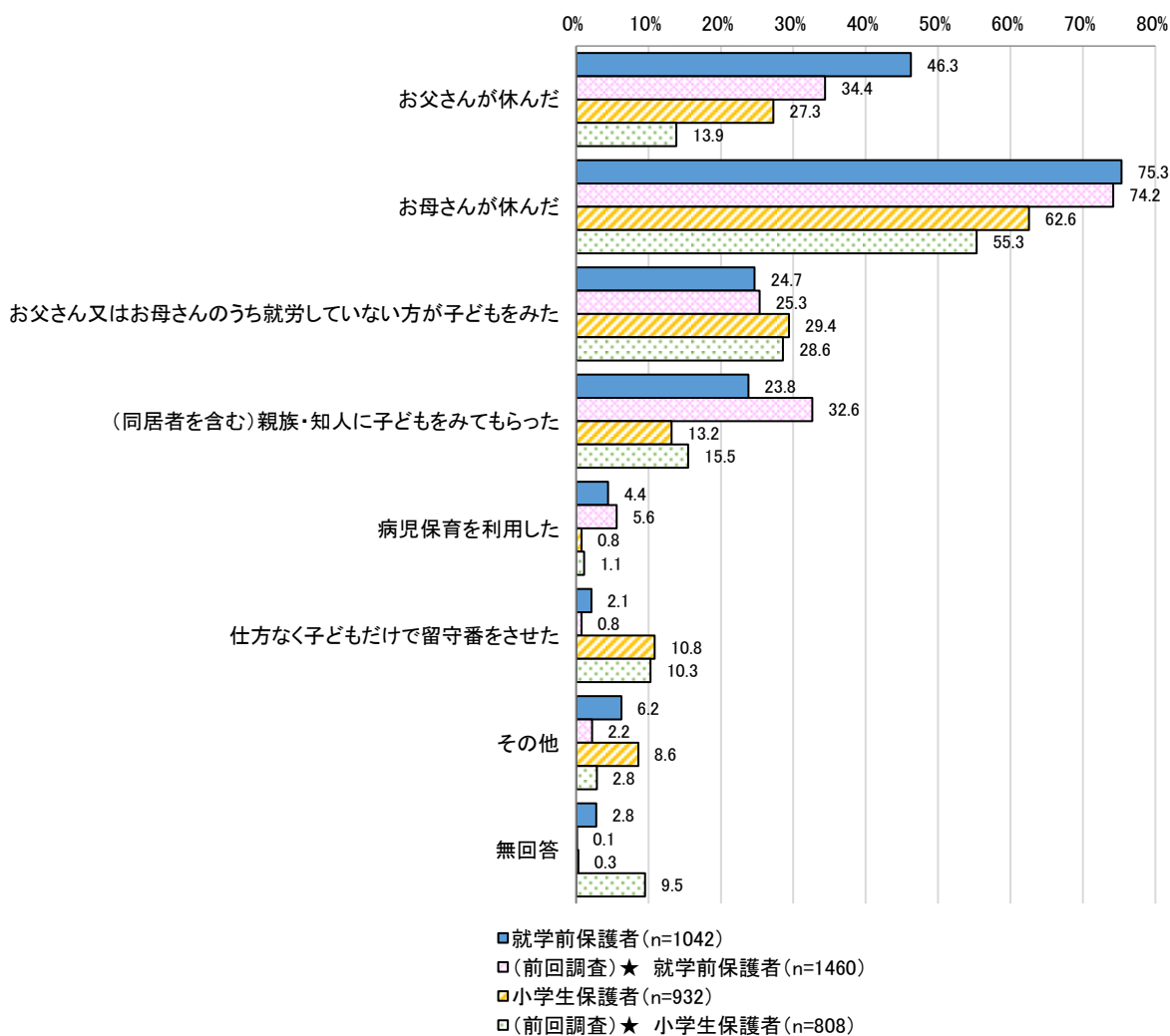
- ・「あった」の割合は、小学生保護者で高い。
- ・「あった」の割合は、就学前保護者で5割超、小学生保護者で7割近くへのぼる。



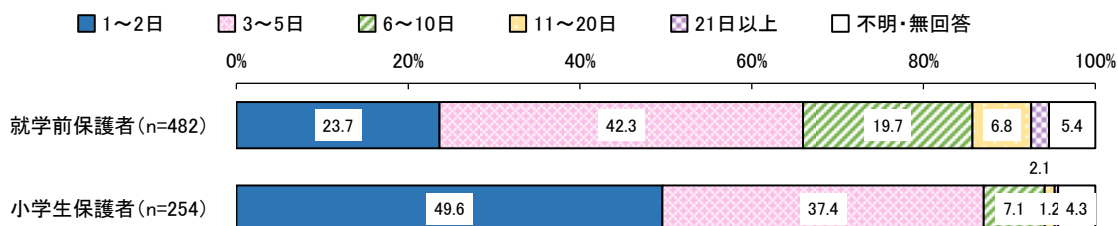
問 施設等が利用できなかったことが「あった」方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設等が利用できなかった場合に、この1年間にどのように対処しましたか。また、それぞれの日数も記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウント）。（あてはまる番号すべてに○）

就問33-1、小問34-1、ひ就問45-1、ひ小問45-1

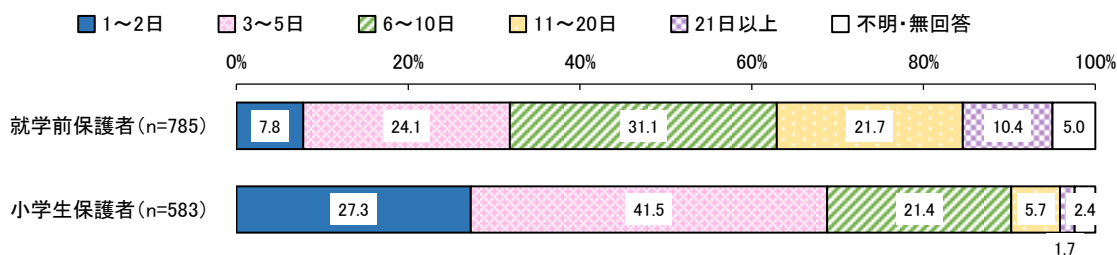
- ・「お母さんが休んだ」の割合が最も高い。
- ・「お母さんが休んだ」日数は、就学前保護者で「6～10日」、小学生保護者で「3～5日」の割合が高い。



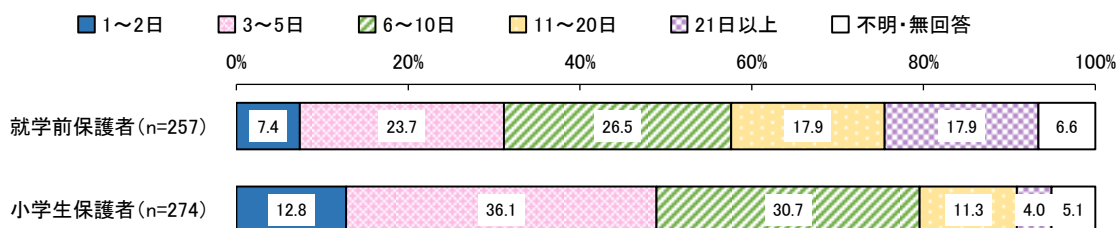
「お父さんが休んだ」日数



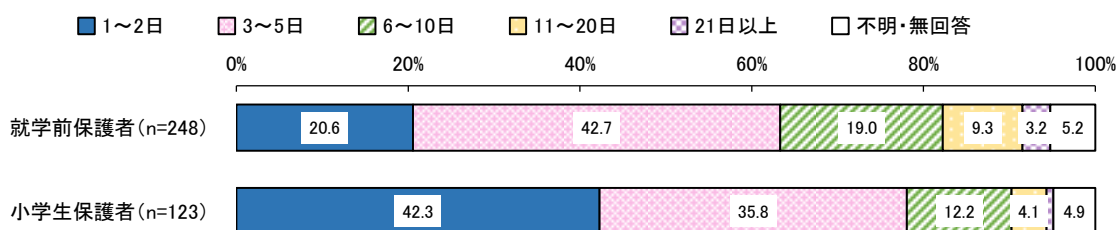
「お母さんが休んだ」日数



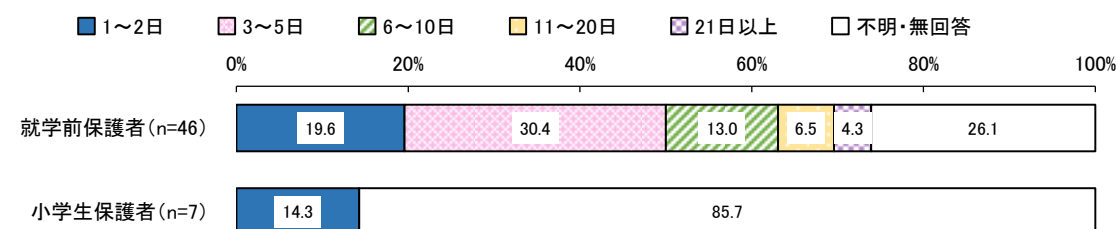
「お父さん又はお母さんのうち就労していない方が子どもをみた」日数



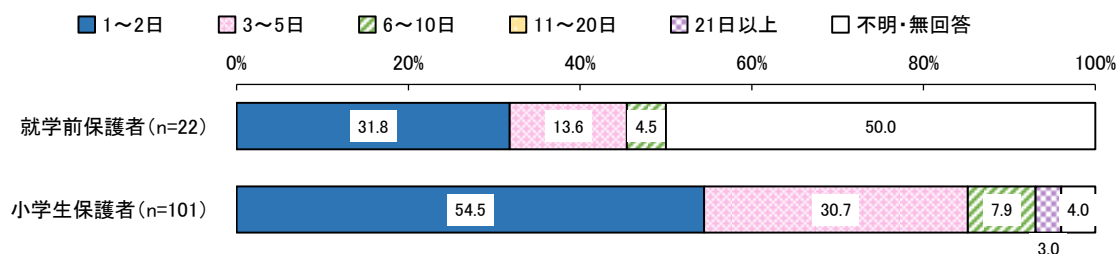
「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」日数



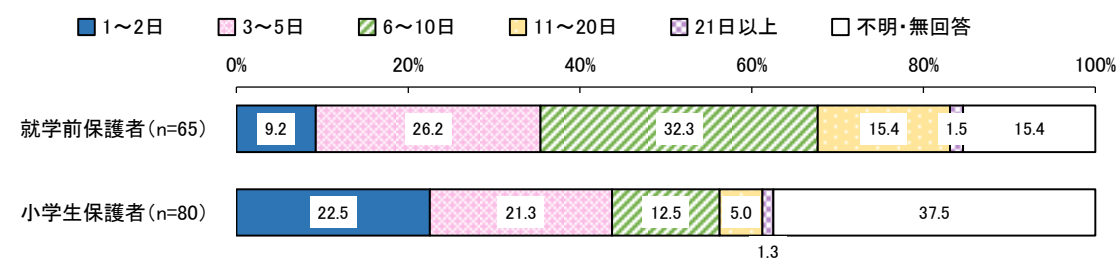
「病児保育を利用した」日数



「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」日数



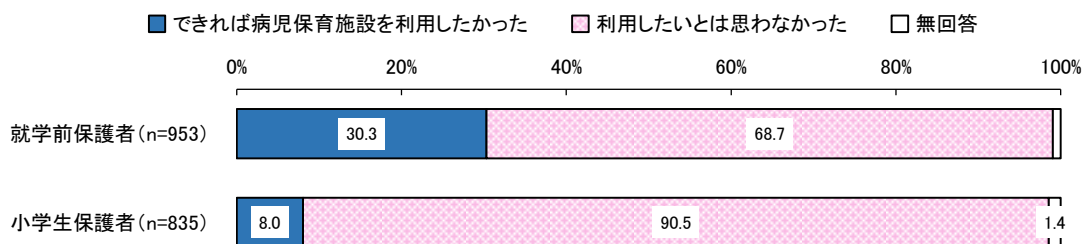
「その他」日数



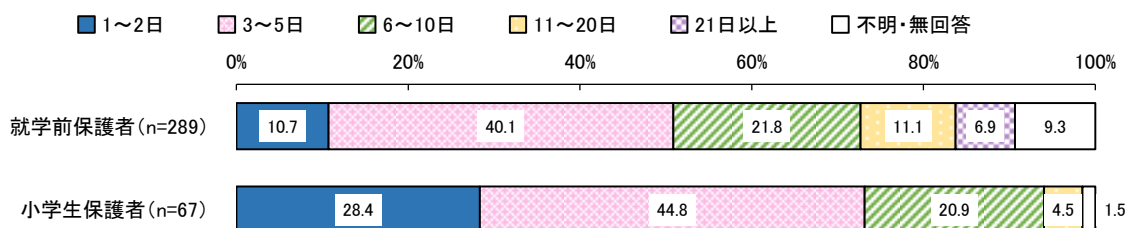
問 「お父さんが休んだ」「お母さんが休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」と答えた方にうかがいます。その際、できれば病児保育施設を利用したかったですか。また、利用したかった場合、日数についても記入してください。(1つに○)

就問 3 3-2、小問 3 4-2、ひ就問 4 5-2、ひ小問 4 5-2

- ・「できれば病児保育施設を利用したかった」の割合は、小学生保護者よりも就学前保護者で高い。
- ・「利用したかった」日数は、「3～5日」の割合が高い。



「利用したかった」日数

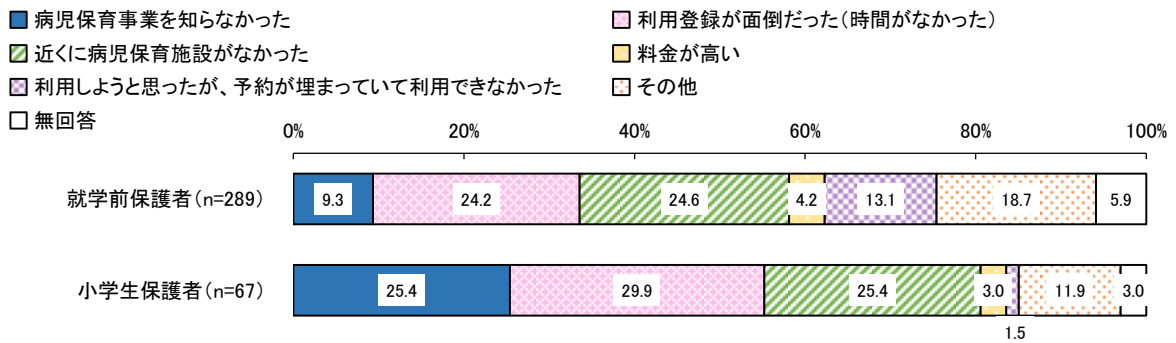


- ・就学前保護者において病児保育施設へのニーズが比較的高いことから、この年齢層の子どもを持つ家庭に対する支援の強化が重要と考えられる。

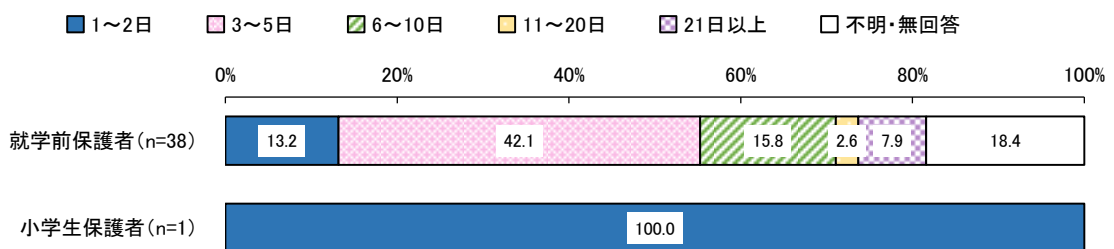
問 「できれば病児保育施設を利用したかった」方にかがいます。病児保育施設を利用したかったが、利用しなかった（できなかった）理由は何ですか。「利用しようと思ったが、予約が埋まっていた利用できなかった」場合は、その日数を記入してください。（1つに○）

就問 3 3-3、小問 3 4-3、ひ就問 4 5-3、ひ小問 4 5-3

- ・「利用しようと思ったが、予約が埋まっていた利用できなかった」の割合は、就学前保護者が高い。
- ・「利用しようと思ったが、予約が埋まっていた利用できなかった」日数は、「3～5日」の割合が高い。



「利用しようと思ったが、予約が埋まっていた利用できなかった」日数



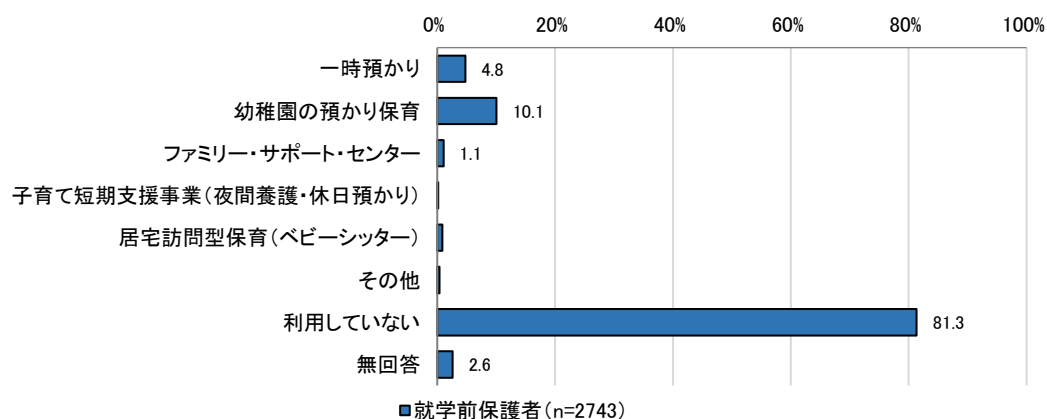
1-10. 一時預かりなどの利用について

(1) 一時預かりなどの利用状況

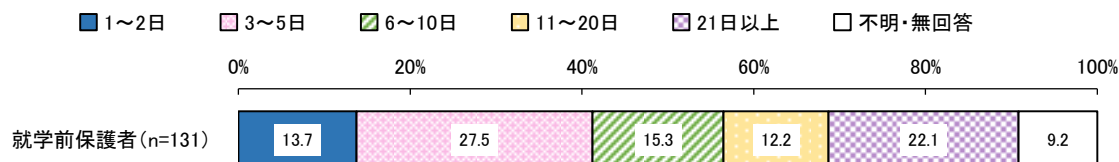
問 あて名のお子さんについて、私用、保護者・家族の病気やケガ、就労などの目的で一時預かりなどを利用していますか。また、1年間の利用日数（おおよそ）も記入してください。（あてはまる番号すべてに○）

就問34、ひ就問46

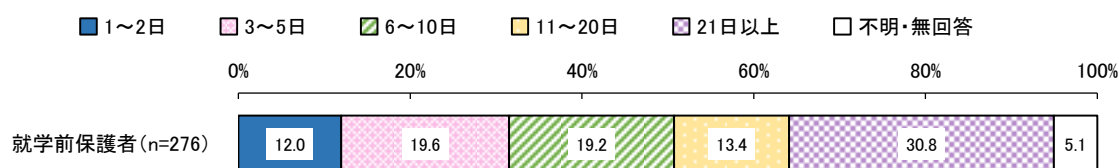
- ・ 8割以上が「利用していない」と回答している。
- ・ 利用している人の中では「幼稚園の預かり保育」の割合が高い。
- ・ 「幼稚園の預かり保育」の1年間の利用日数は、「21日以上」の割合が高い。



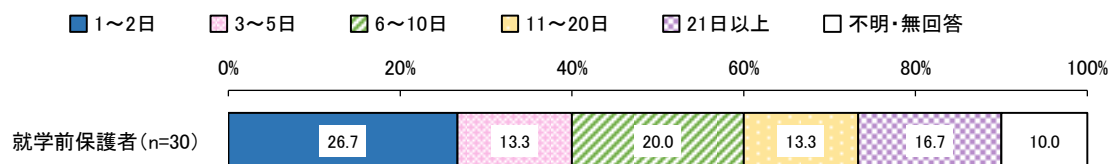
「一時預かり」利用日数



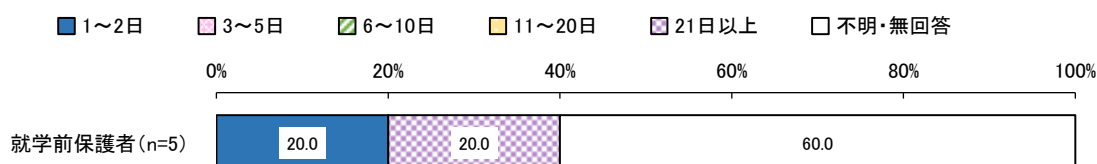
「幼稚園の預かり保育」利用日数



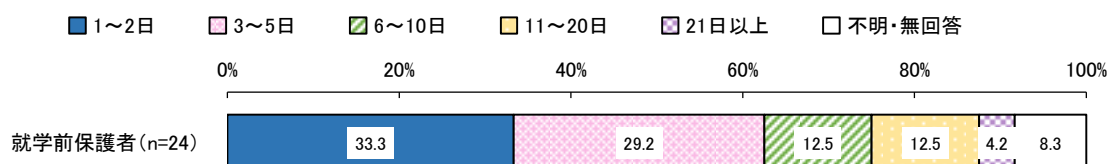
「ファミリー・サポート・センター」利用日数



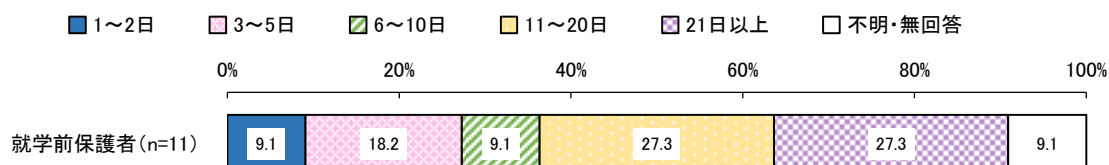
「子育て短期支援事業(夜間養護・休日預かり)」利用日数



「居宅訪問型保育（ベビーシッター）」利用日数



「その他」利用日数

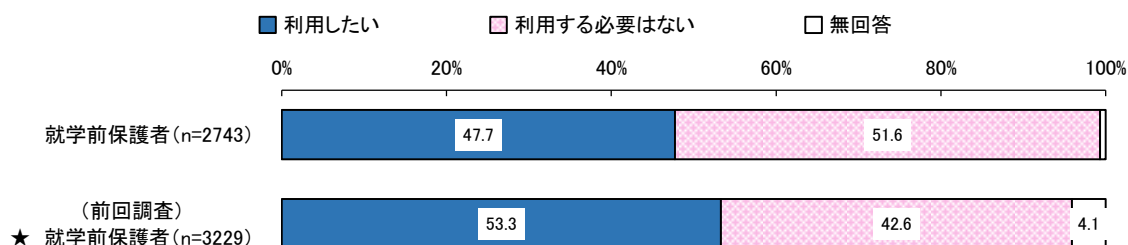


(2) 一時預かりなどの利用希望

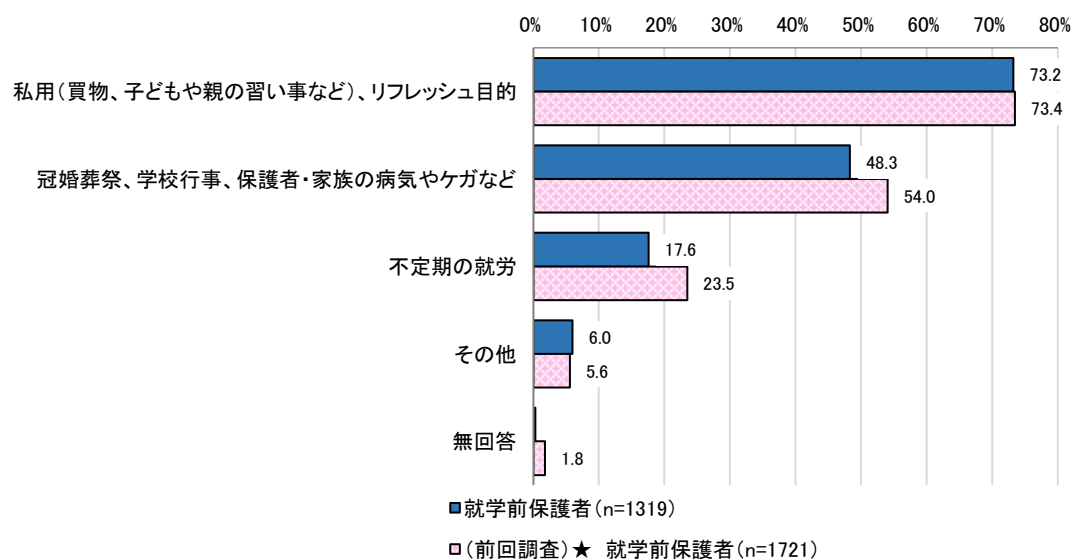
問 あて名のお子さんについて、私用、保護者・家族の病気やケガ、就労などの目的で一時預かりなどを利用したいですか。利用したいと思う場合は、利用目的と、目的別の希望日数を記入してください。(あてはまる番号・記号に○)

就問35、ひ就問47

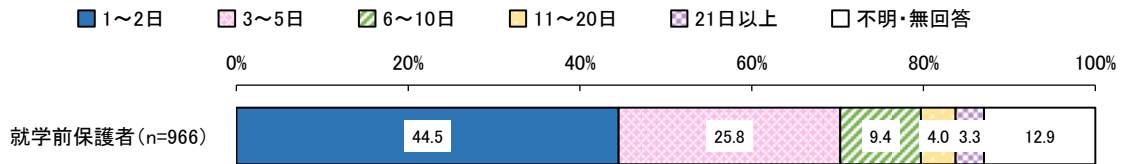
- ・5割弱が「利用したい」と回答している。
- ・利用目的は、「私用（買物、子どもや親の習い事など）、リフレッシュ目的」の割合が最も高い。



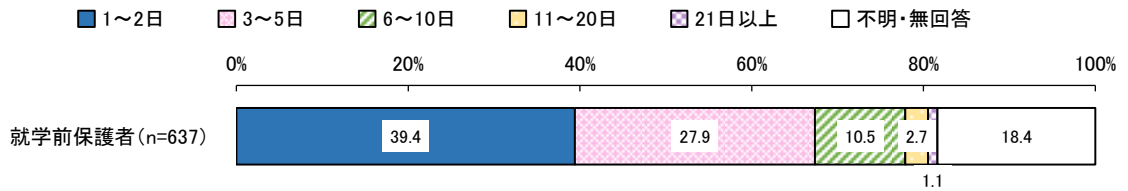
●利用目的



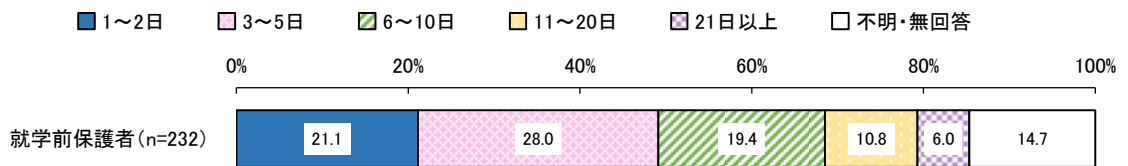
「私用（買物、子どもや親の習い事など）、リフレッシュ目的」希望日数



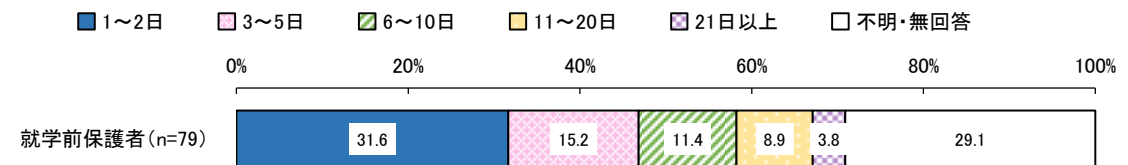
「冠婚葬祭、学校行事、保護者・家族の病気やケガなど」希望日数



「不定期の就労」希望日数



「その他」希望日数

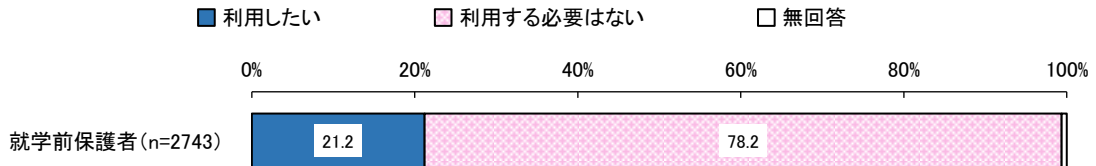


(3) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

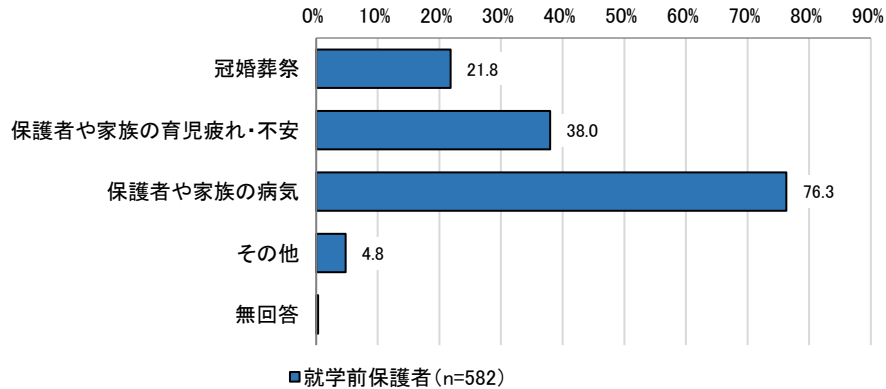
問 あなたは、一時的に養育が困難になったとき、泊りがけでお子さんを預けることができる短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいと思いますか。利用したいと思う場合は、利用目的と目的別の希望日数を記入してください。（あてはまる番号・記号に○）

就問36、ひ就問48

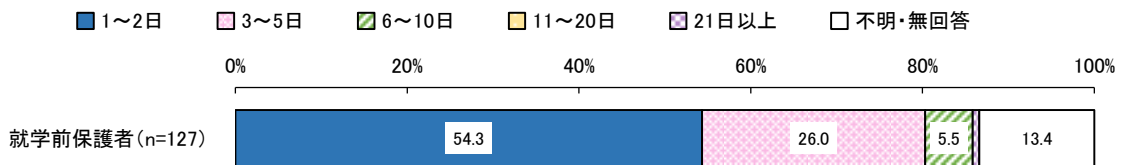
- ・「利用したい」の割合は、約2割となっている。
- ・利用目的は、「保護者や家族の病気」の割合が最も高い。



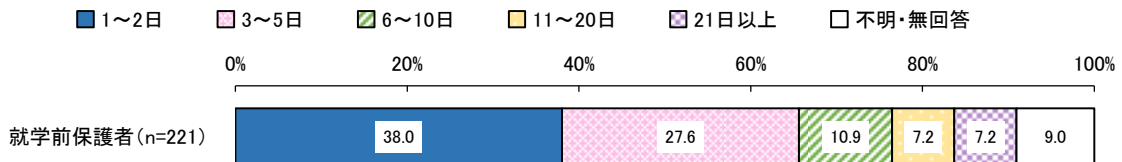
●利用目的



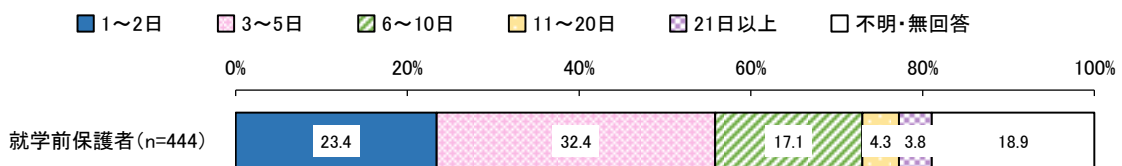
「冠婚葬祭」希望日数



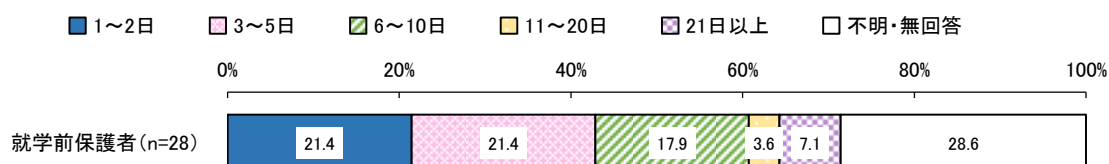
「保護者や家族の育児疲れ・不安」希望日数



「保護者や家族の病気」希望日数



「その他」希望日数

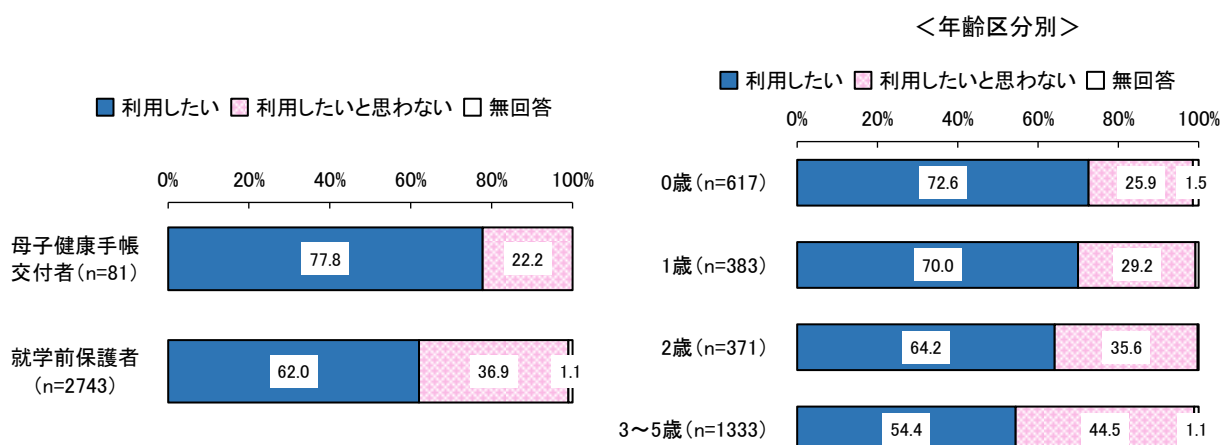


(3) 保育所等の利用希望

問 現在、保育所等は市で認定された方だけが使えますが、そうした条件がなく、誰でも、決まった曜日に、週に1~2回程度保育所等を利用できるようになった場合、利用したいと思いますか。利用希望と、その理由をお答えください。なお、利用料金については考慮せずお答えください。(あてはまる番号・記号に○)

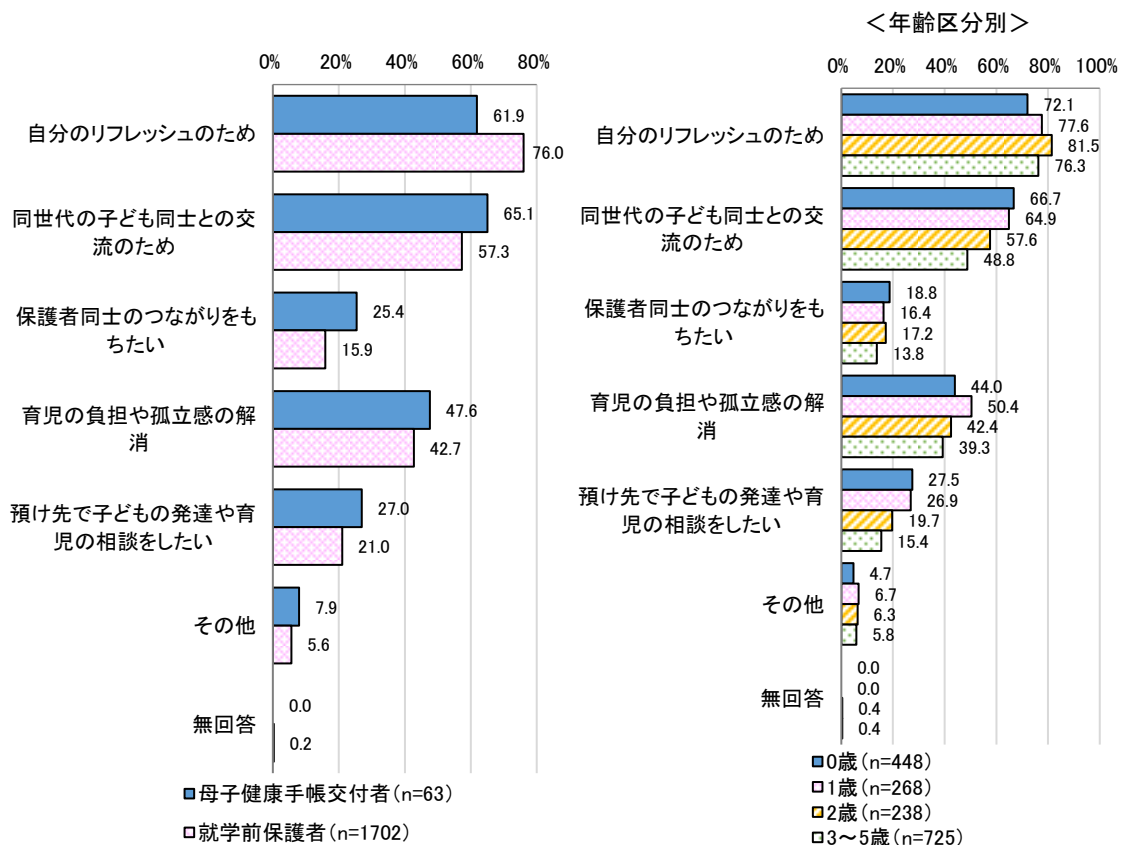
母問11、就問37、ひ就問49

- ・「利用したい」の割合は、年齢が低いほど高い。
- ・「利用したい」の割合は、母子健康手帳交付者で高く、8割弱となっている。
- ・「利用したい」理由は、「自分のリフレッシュのため」「同世代の子ども同士との交流のため」の割合が高い。
- ・「利用したいと思わない」理由は、「友人や祖父母など、気軽に相談できる相手や一時的な預け先がある」の割合が高い。

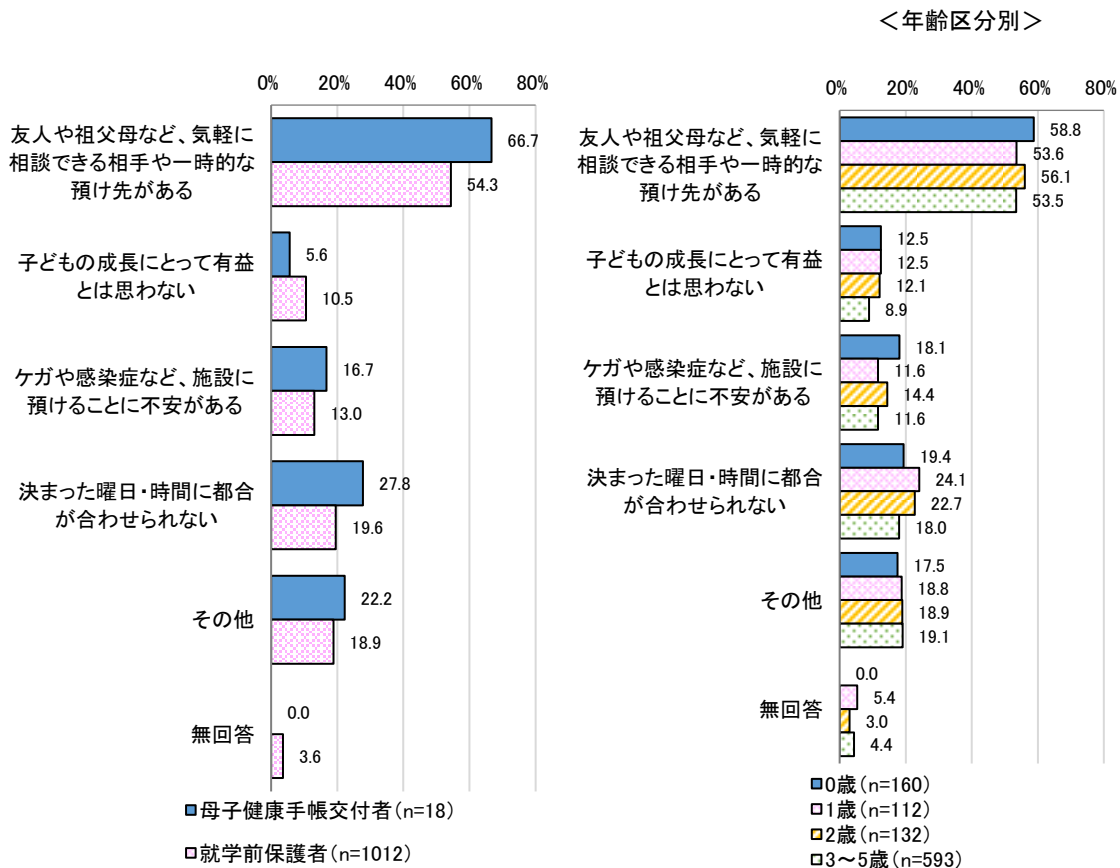


- ・これまでにない新たな利用方法について、一定のニーズがあることがわかった。
- ・この利用方法は、「こども誰でも通園制度（仮称）」として実施されることが国で検討されており、ニーズに対応する施設・事業所の調整が今後の課題である。

「利用したい」理由



「利用したいと思わない」理由



1-1 1. 地域の子育て支援事業の利用について

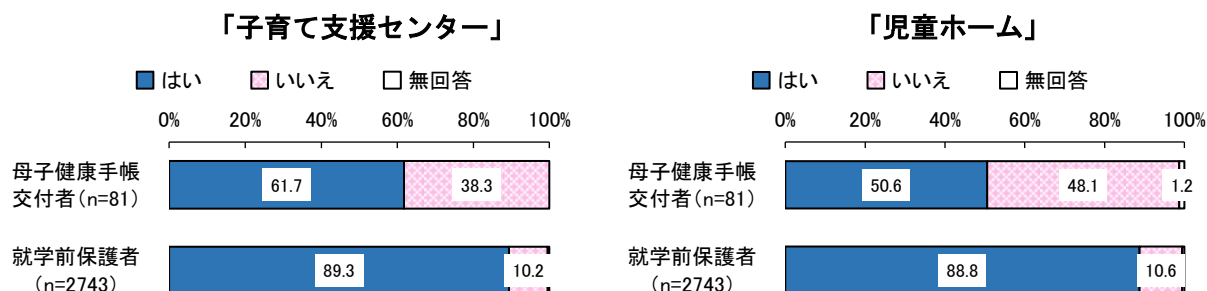
(1) 子育て支援事業の利用状況・希望

問 あなたは、子育て支援センターや児童ホームを知っていたり、利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

母問12、就問38、ひ就問50

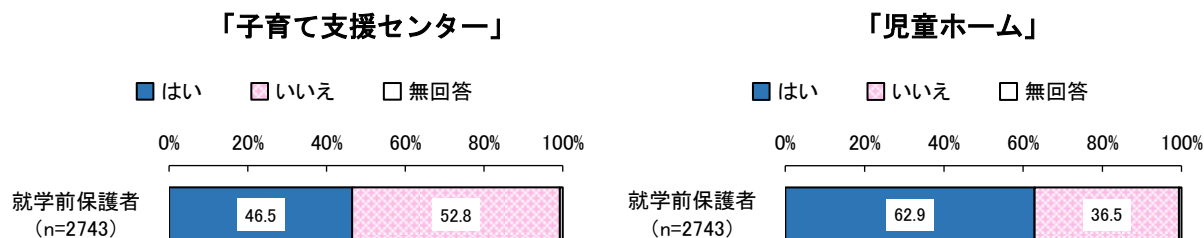
① 知っていますか。

- ・「知っている」割合は、子育て支援センター、児童ホームともに就学前保護者で高い。
- ・児童ホームについて、母子健康手帳交付者の認知度が低い傾向がみられる。



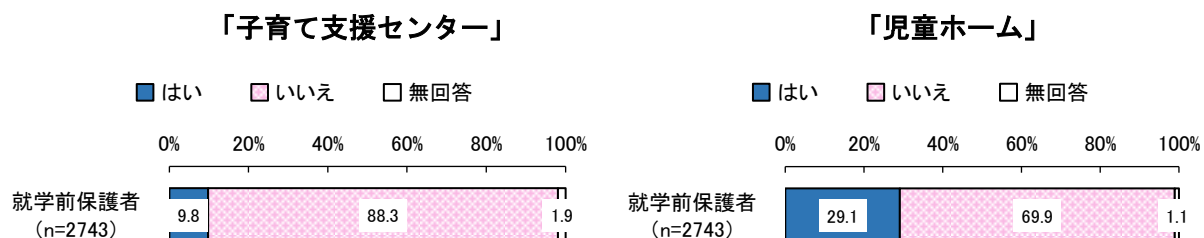
② これまでに利用したことがありますか。

- ・利用したことはある割合は、子育て支援センターが5割弱、児童ホームが6割強となっている。



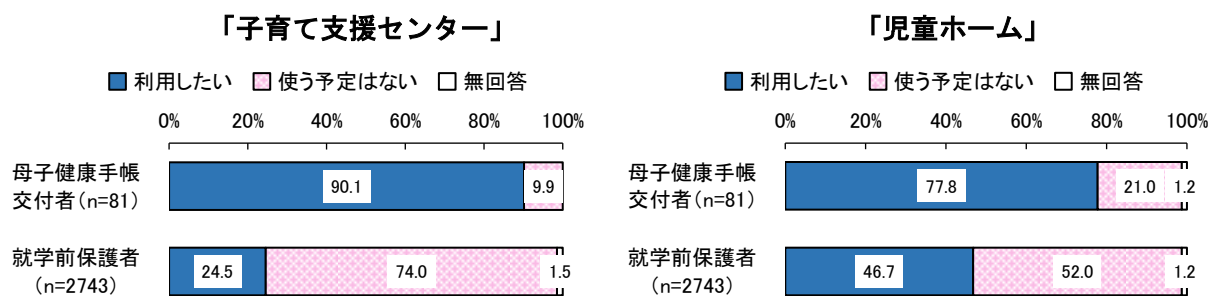
③ 現在、利用していますか。

- ・現在利用している割合は、子育て支援センターが約1割、児童ホームが約3割となっている。



④ 今後の利用希望を教えてください。

- ・今後の利用希望割合は母子健康手帳交付者で高く、子育て支援センターが約9割、児童ホームが8割弱となっている。



1-1 2. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（5歳以上）

(1) 放課後の過ごし方の希望（就学前保護者）

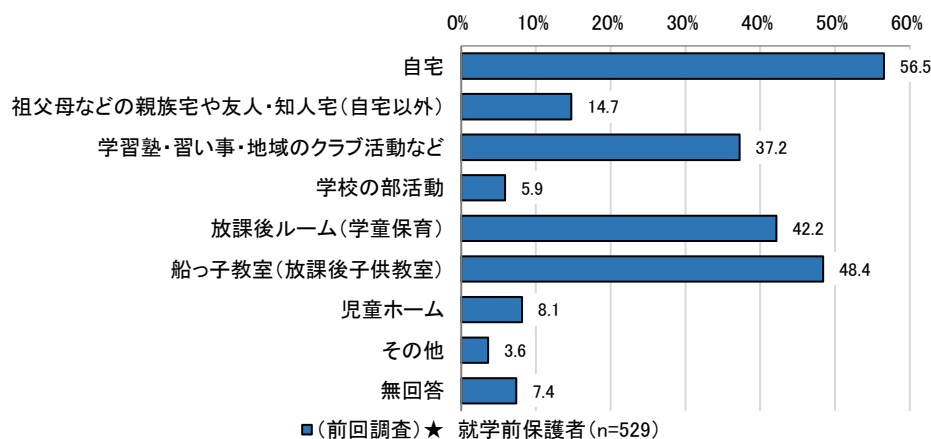
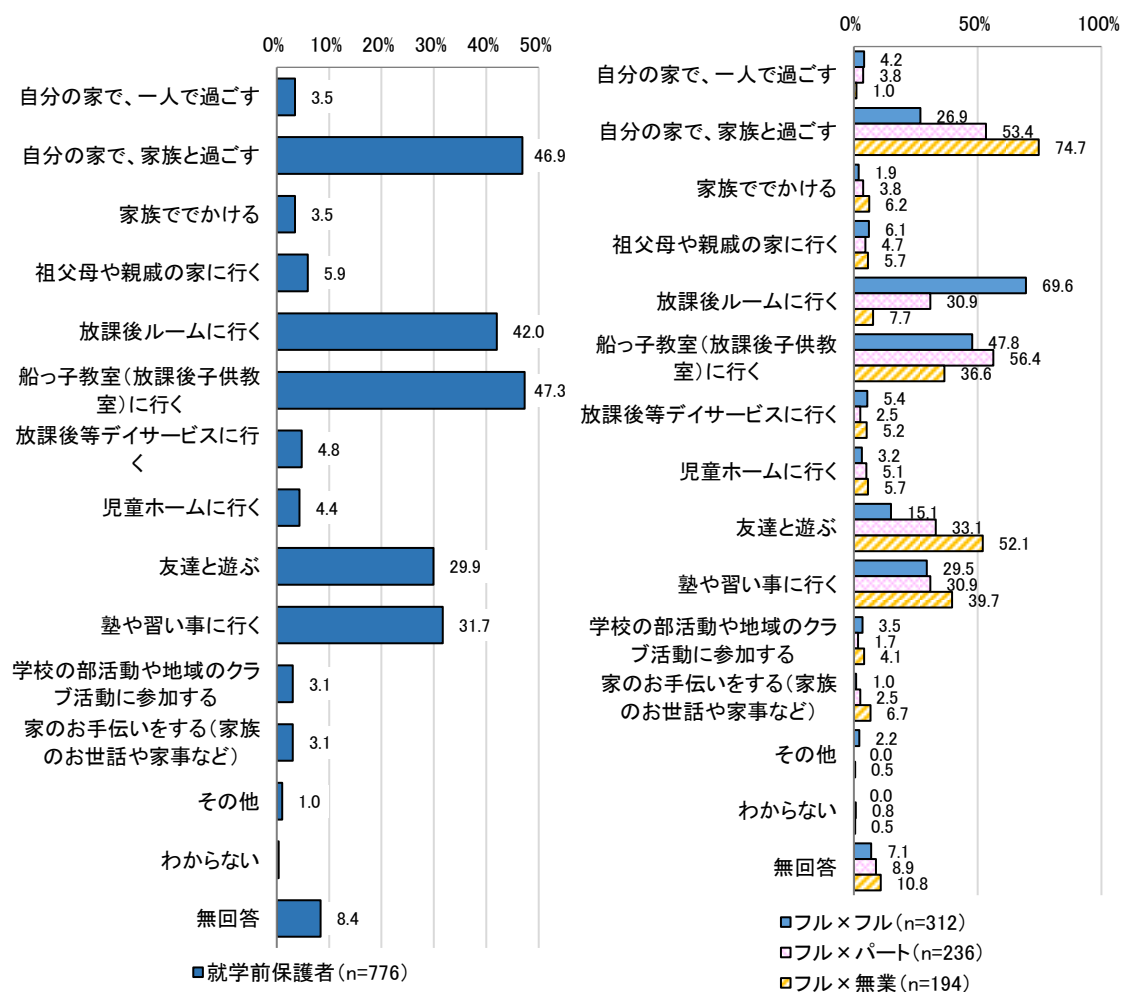
問 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、主にどのように過ごさせたいと思いますか。（それぞれあてはまる番号3つまで記入）

就問39、ひ就問51

① 小学校低学年（1～3年生）のうちの過ごし方の希望

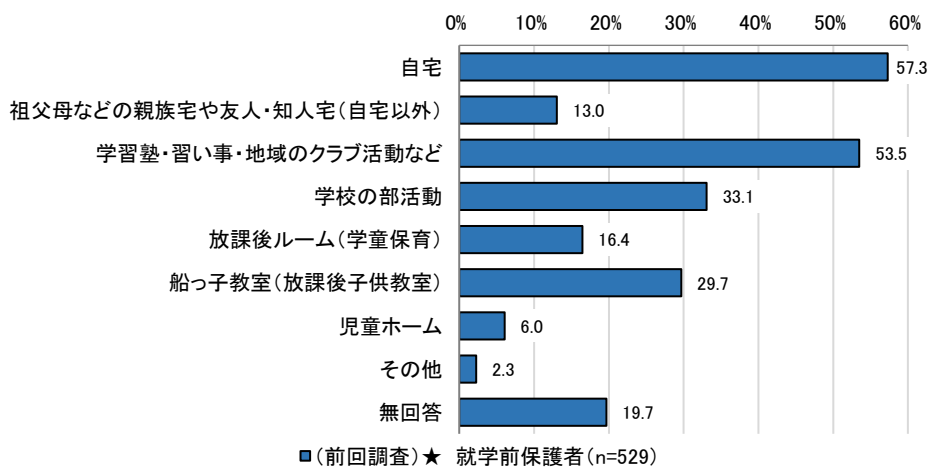
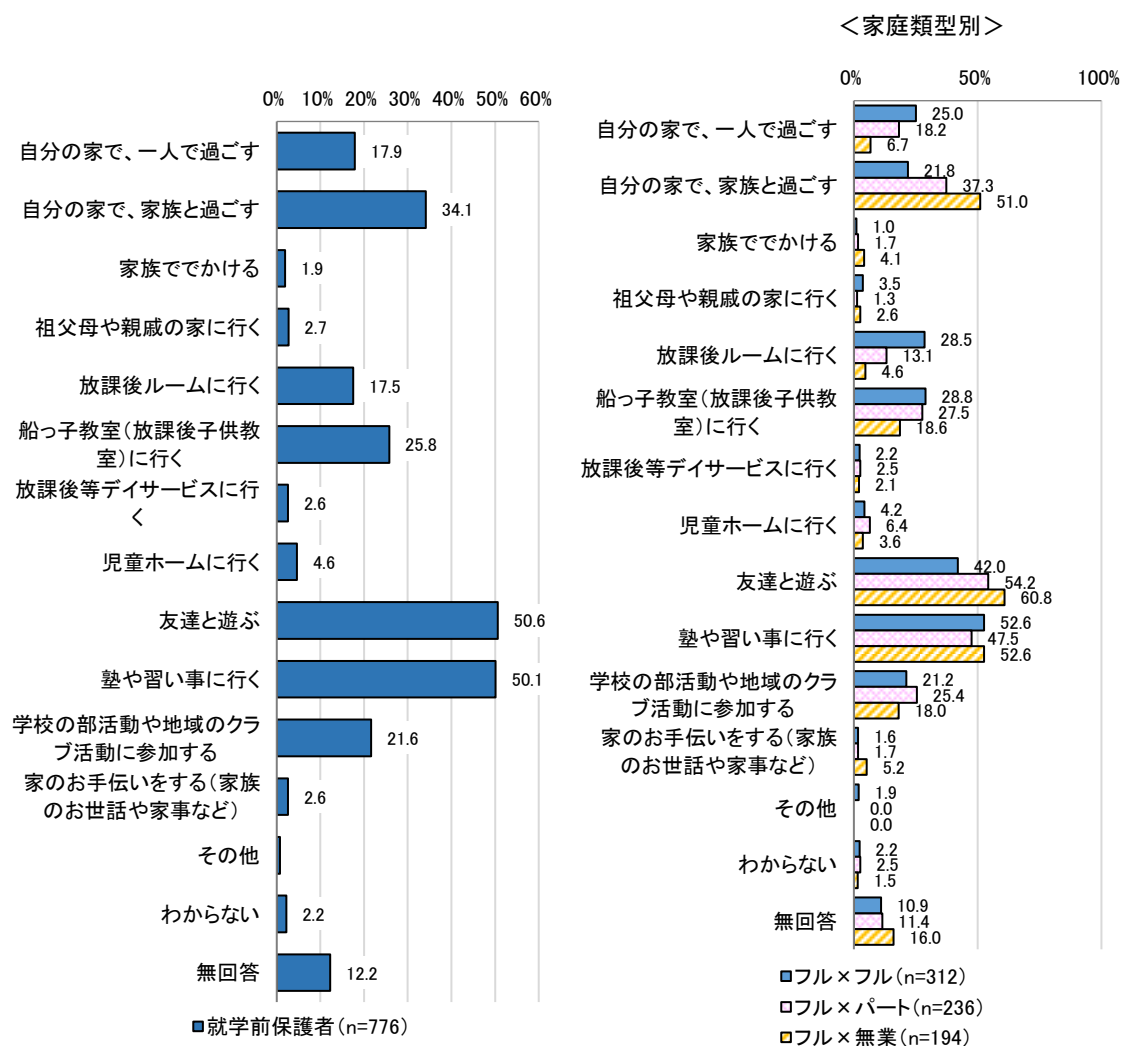
- ・「自分の家で、家族と過ごす」「船っ子教室（放課後子供教室）に行く」の割合が高い。
- ・家庭類型別でみると、フル×フルで「放課後ルームに行く」の割合が高い。

<家庭類型別>



② 小学校高学年（4～6年生）のうちの過ごし方の希望

・「友達と遊ぶ」「塾や習い事に行く」の割合が高い。



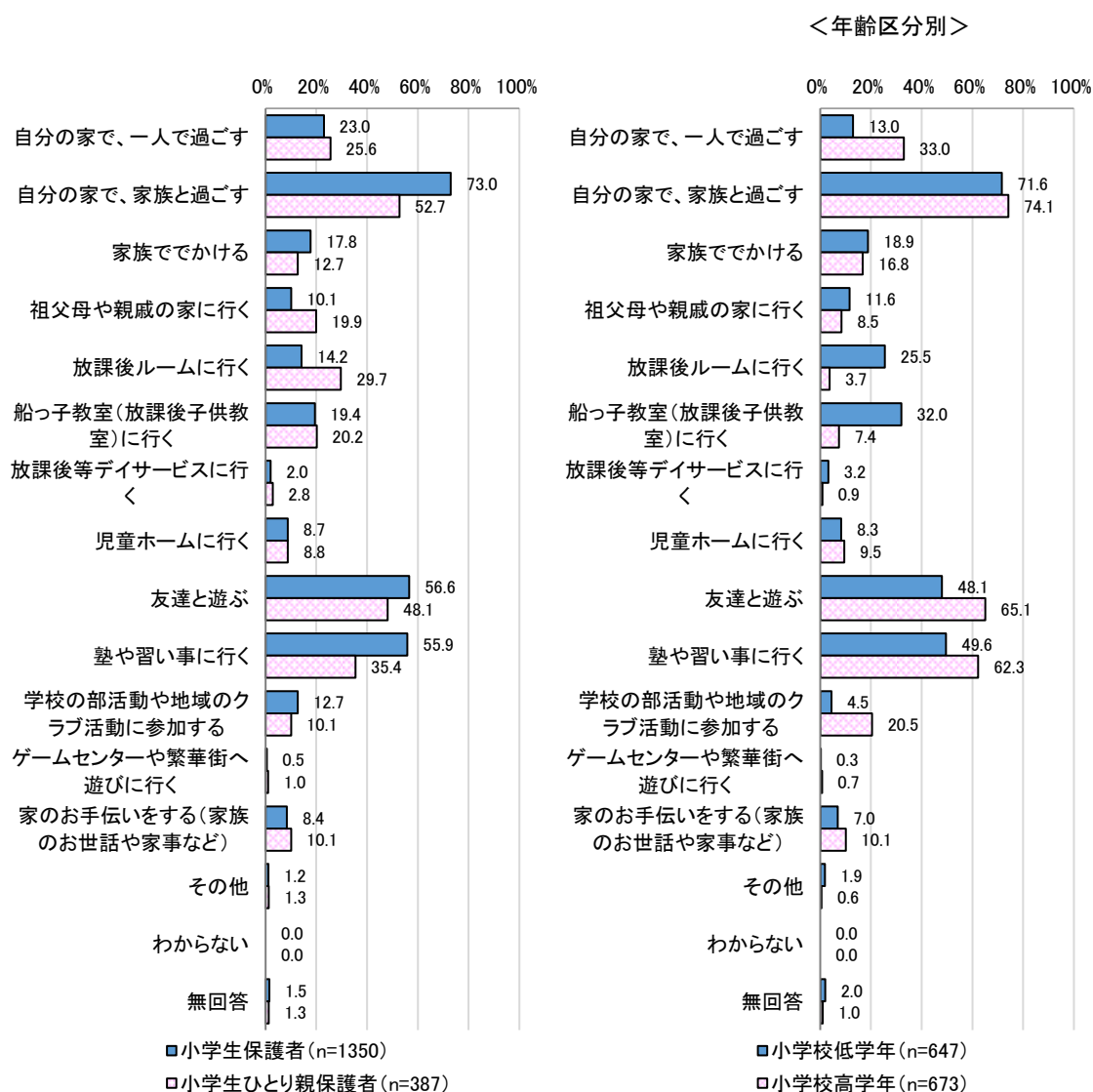
(2) 放課後や長期休業中の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、放課後や土曜・日曜・祝日、夏休みなど長期休業中に過ごす場所の中で、多いものについて、表の中から選んでください。(それぞれあてはまる番号全てを記入)

小問35、ひ問9、ひ小問46

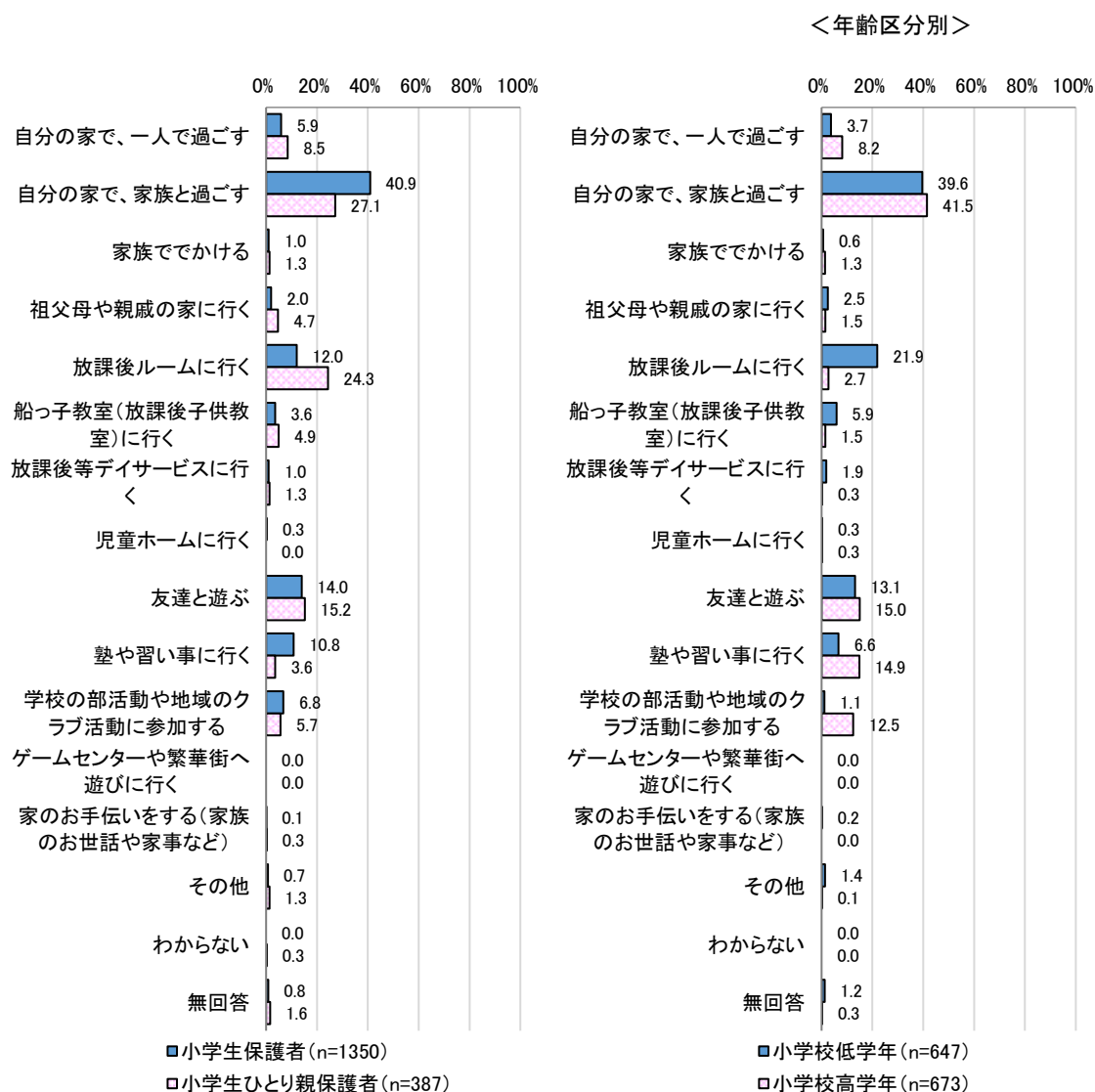
① 放課後

・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。



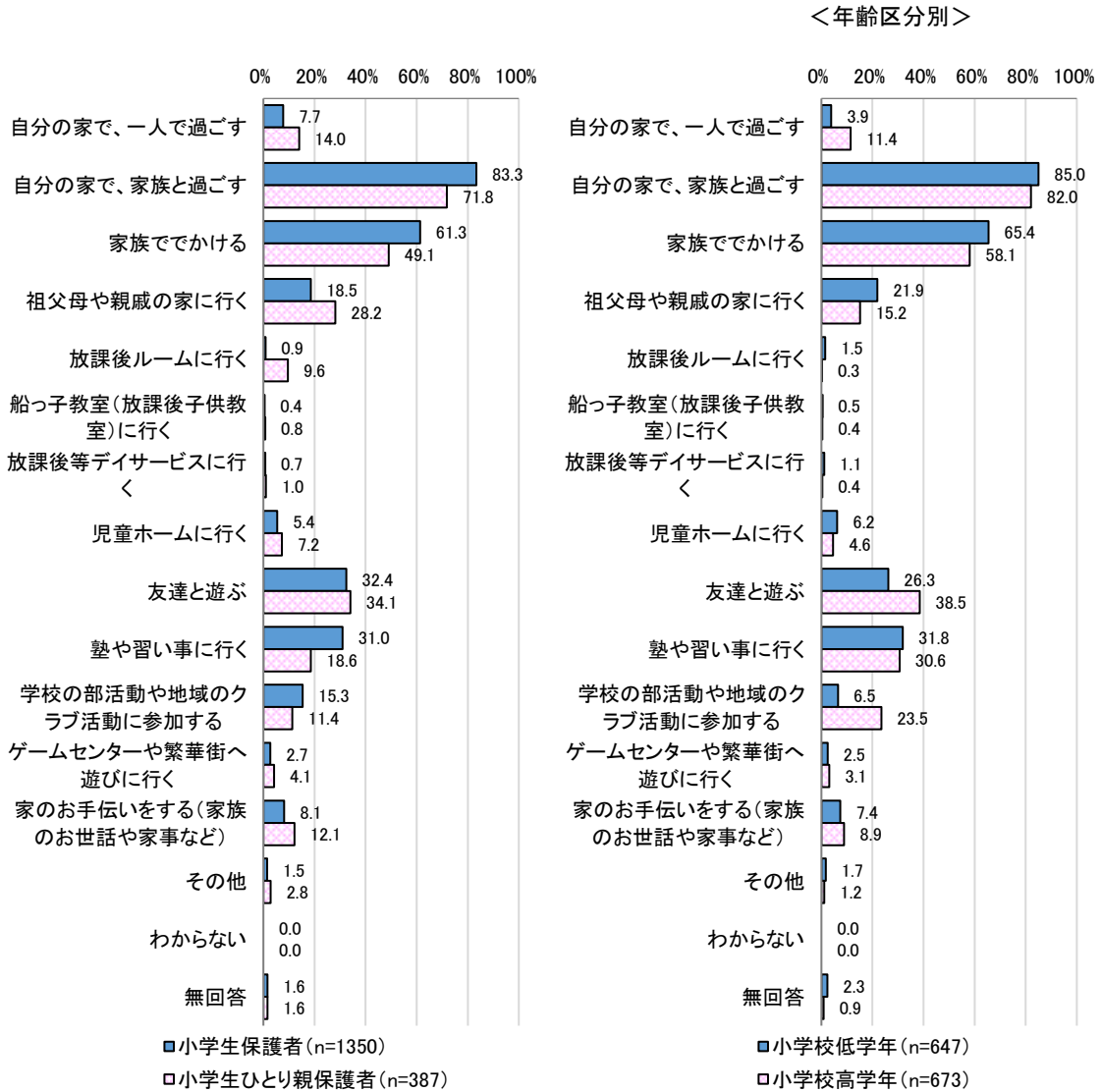
① 放課後 一番多いもの

- ・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。
- ・「放課後ルームに行く」の割合は、小学校高学年よりも小学校低学年で高い。



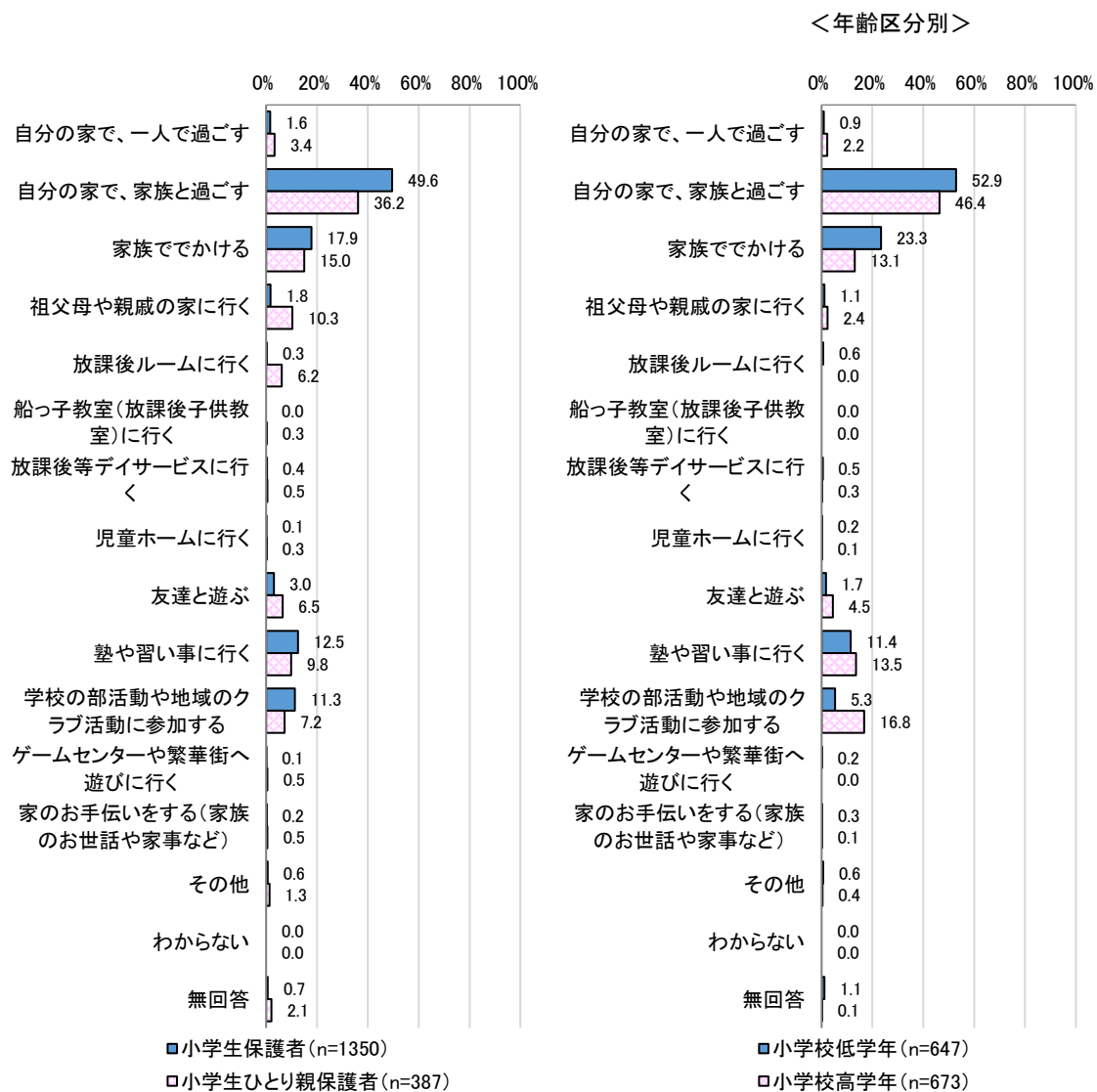
② 土曜日

・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。



② 土曜日 一番多いもの

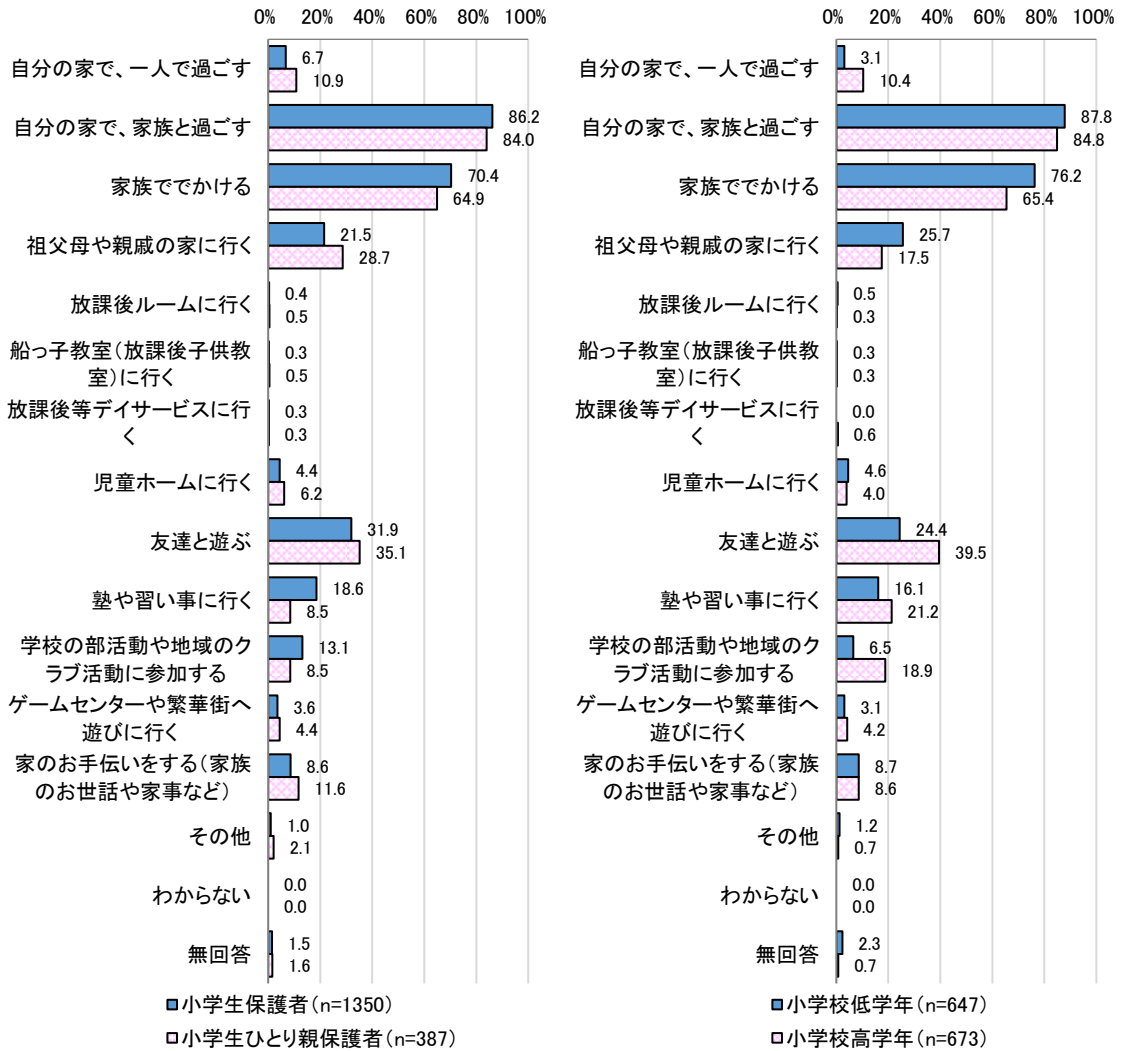
・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。



③ 日曜日や祝日

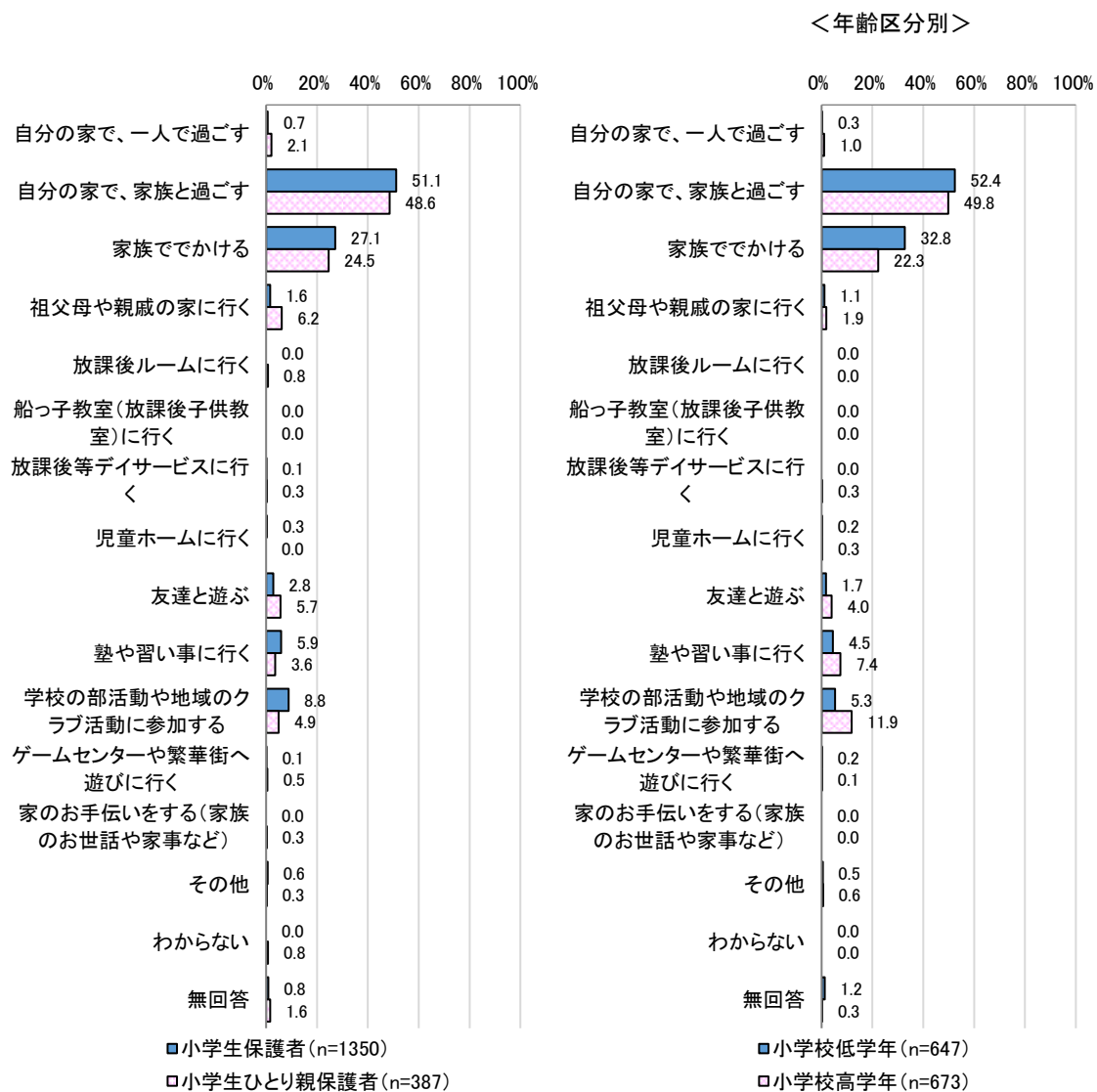
・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」の割合が高い。

<年齢区分別>



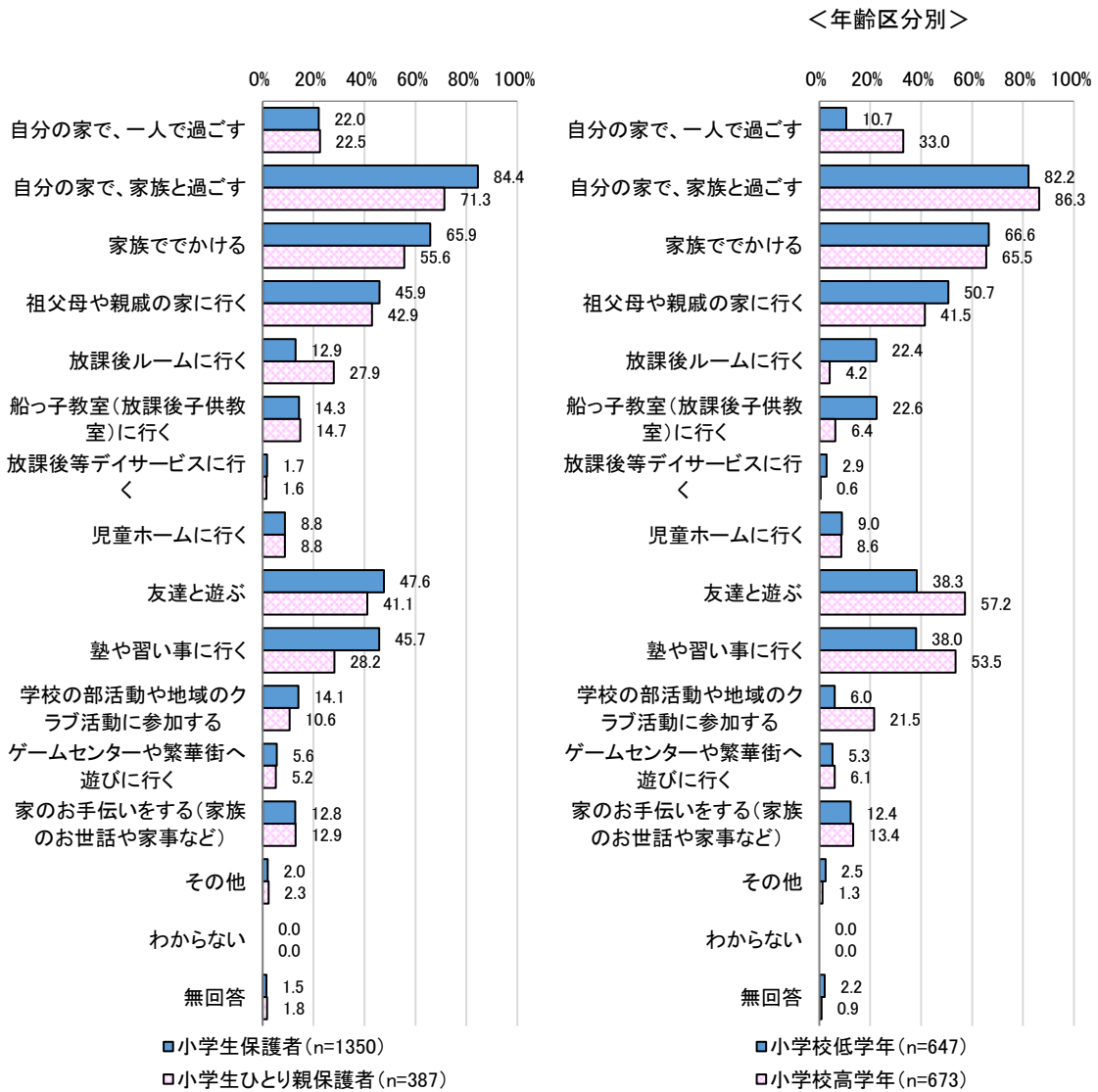
③ 日曜日や祝日 一番多いもの

・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。



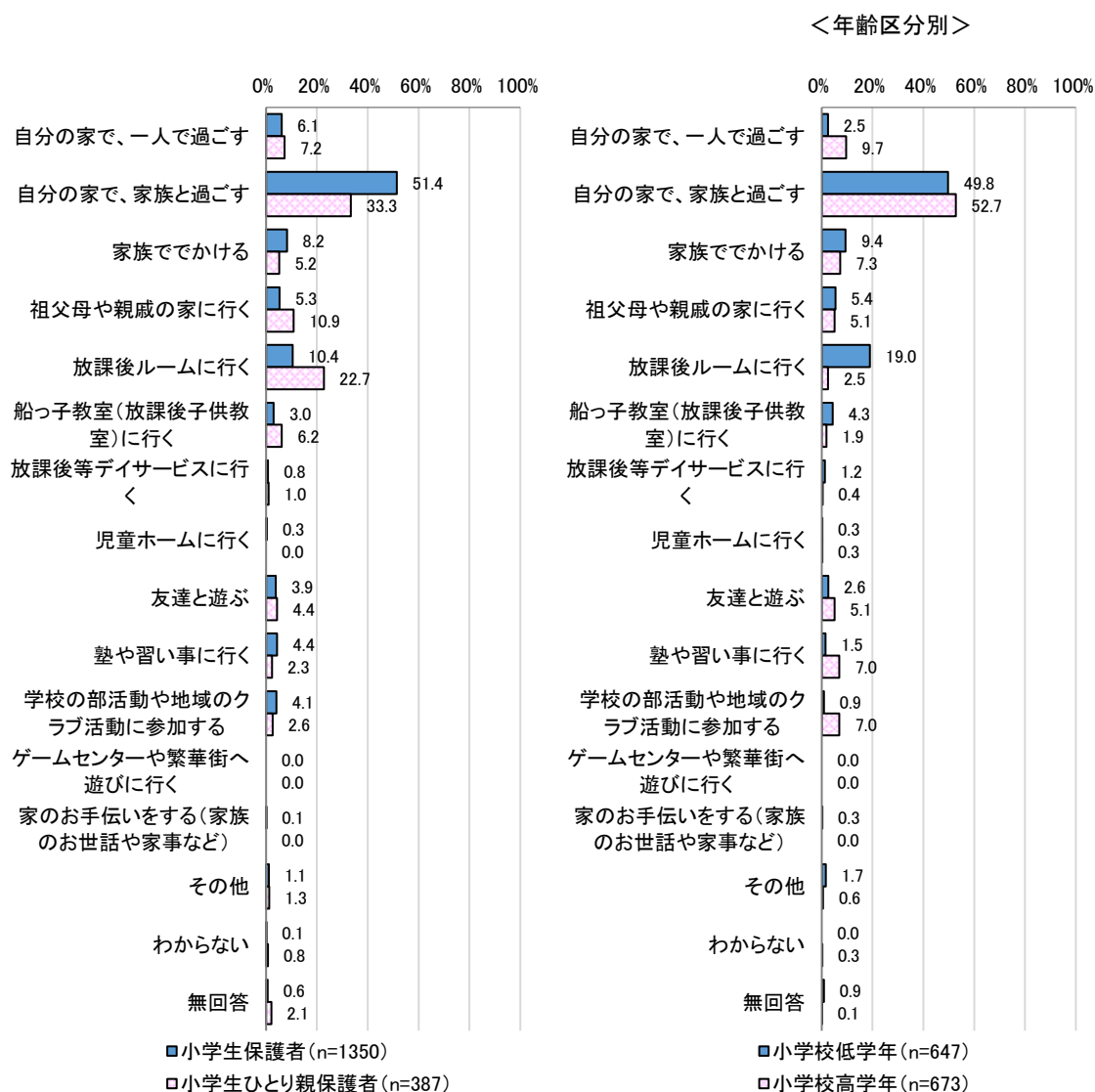
④ 夏休みなど長期休業中

・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。



④ 夏休みなど長期休業中 一番多いもの

- ・「自分の家で、家族と過ごす」の割合が最も高い。
- ・「放課後ルームに行く」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。



(3) 放課後や長期休業中の過ごし方の希望

問 あて名のお子さんについて、放課後や土曜・日曜・祝日、夏休みなど長期休業中に、主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。表「放課後の過ごし方」の中から、選んでください。(それぞれあてはまる番号を3つまで選んで記入)

小問3 6、ひ小問4 7

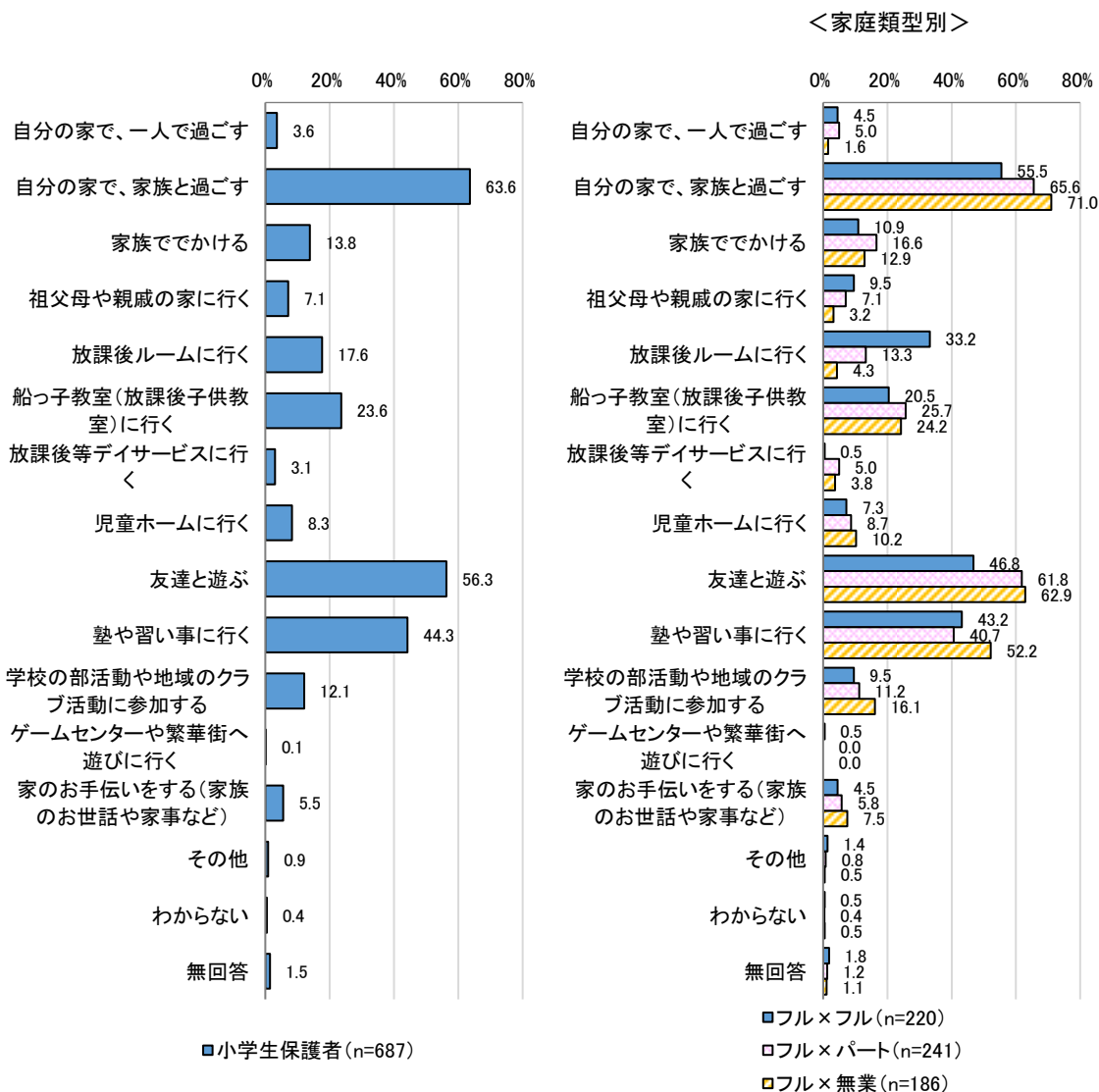
表【放課後の過ごし方】

1. 自分の家で、一人で過ごす	9. 友達と遊ぶ
2. 自分の家で、家族と過ごす	10. 塾や習い事に行く
3. 家族ででかける	11. 学校の部活動や地域のクラブ活動に参加する
4. 祖父母や親戚の家に行く	12. ゲームセンターや繁華街へ遊びに行く
5. 放課後ルームに行く	13. 家のお手伝いをする(家族のお世話や家事など)
6. 船っ子教室(放課後子供教室)に行く	14. その他
7. 放課後等デイサービスに行く	15. わからない
8. 児童ホームに行く	

●小学校低学年(1~3年生)の時の過ごし方の希望

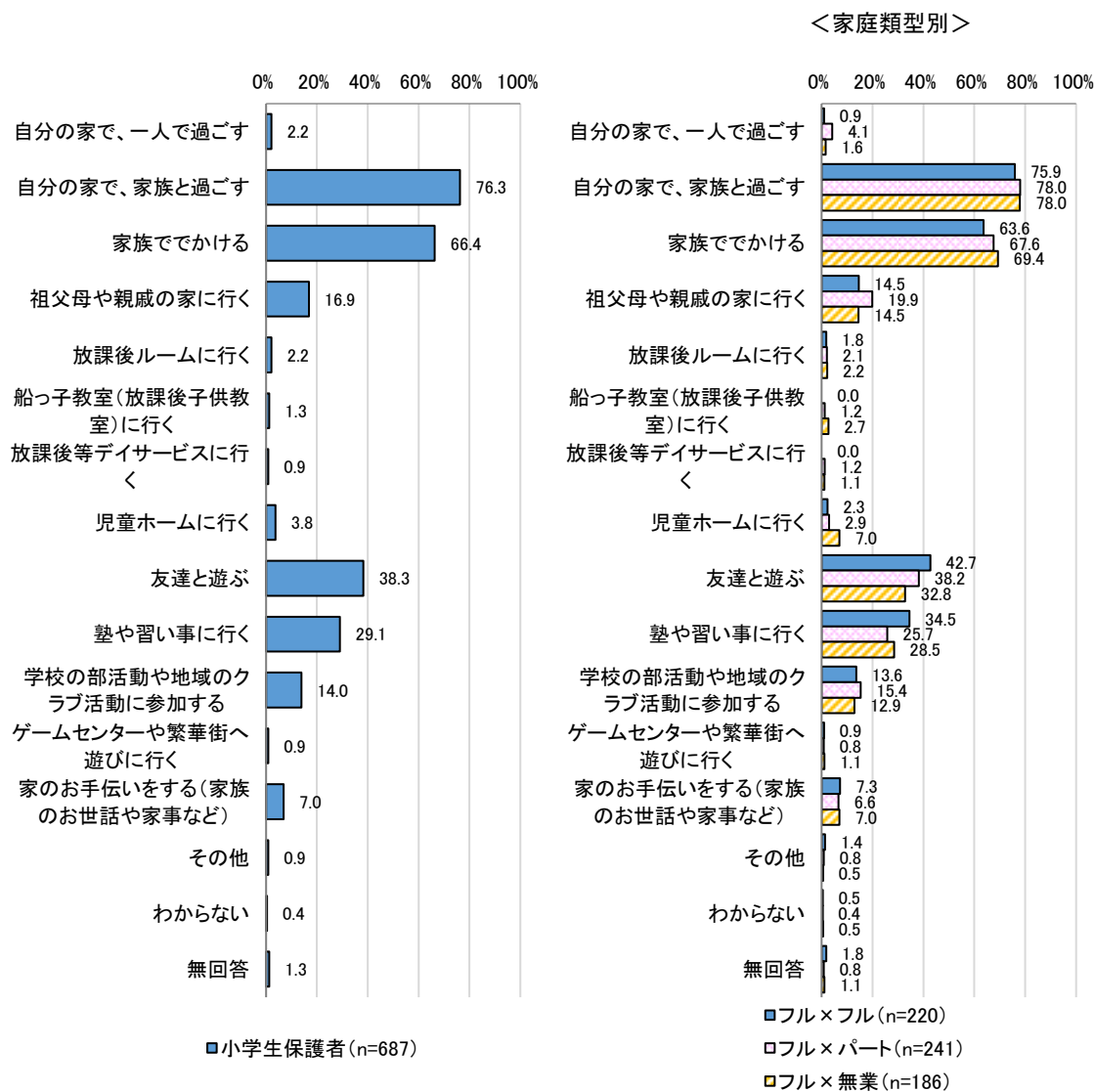
① 放課後

- ・「自分の家で、家族と過ごす」「友達と遊ぶ」「塾や習い事に行く」の割合が高い。
- ・家庭類型別でみると、フル×フルで「放課後ルームに行く」の割合が高い。



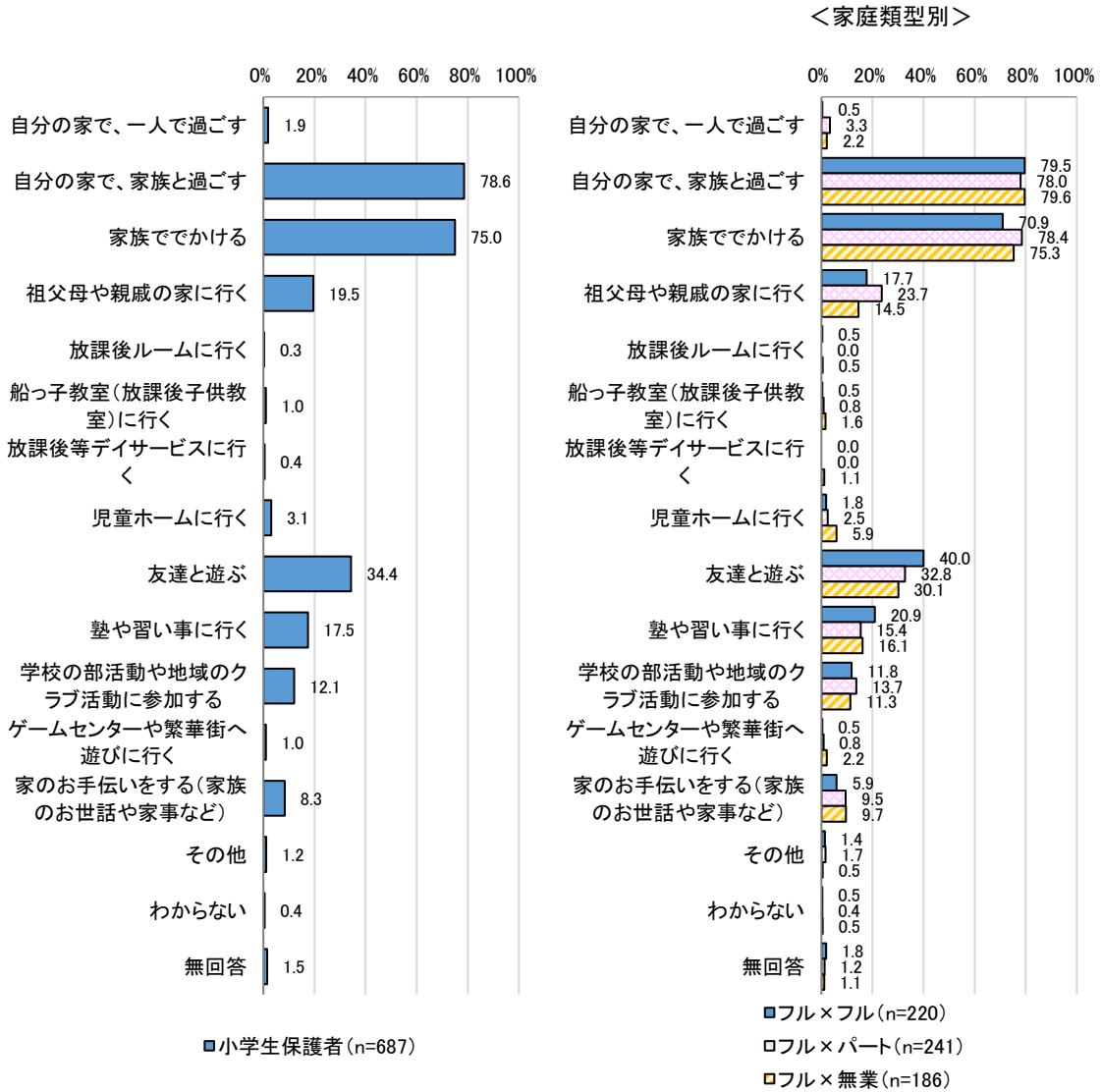
② 土曜日

・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」の割合が高い。



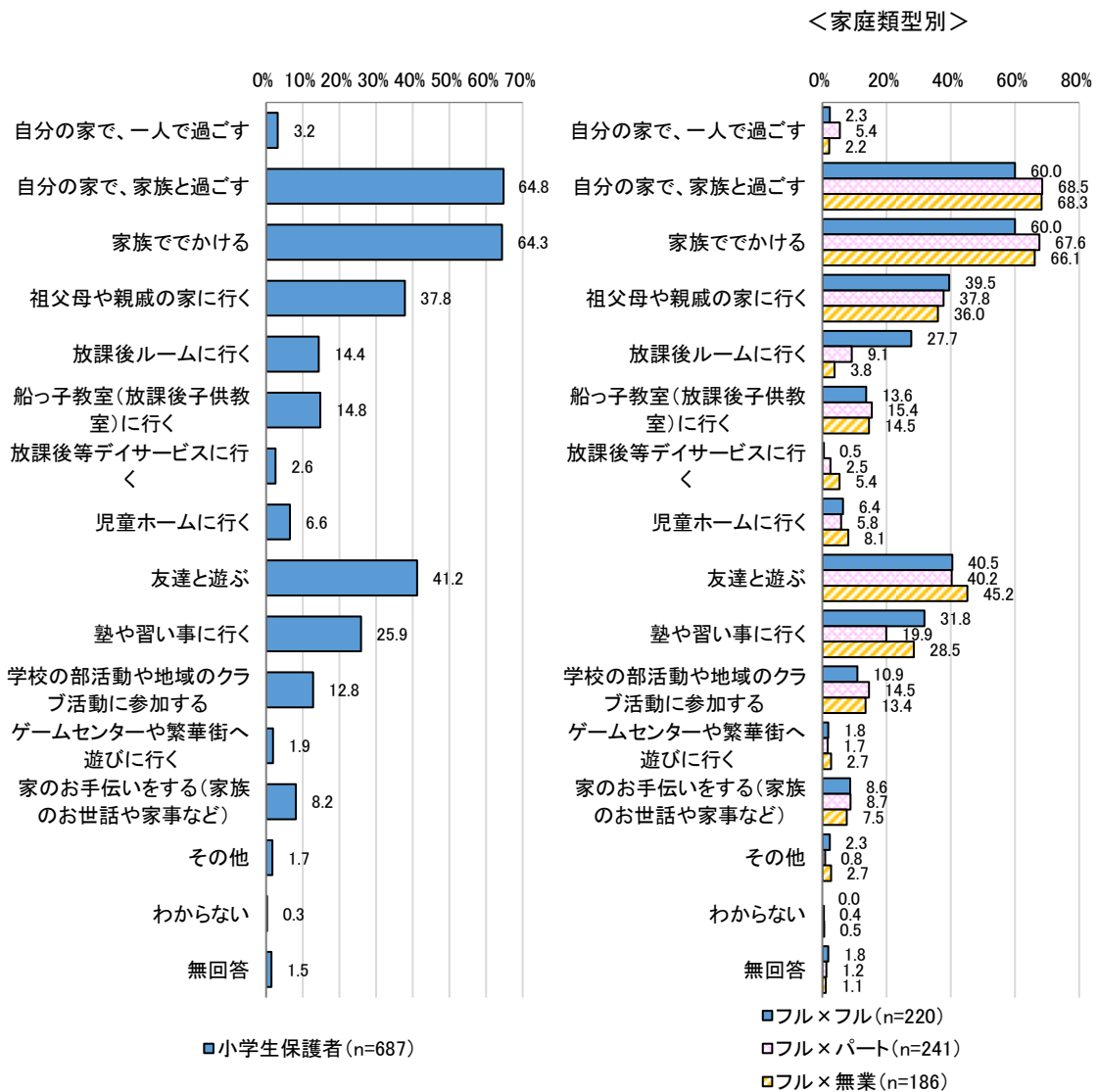
③ 日曜日や祝日

・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」の割合が高い。



④ 夏休みなど長期休業中

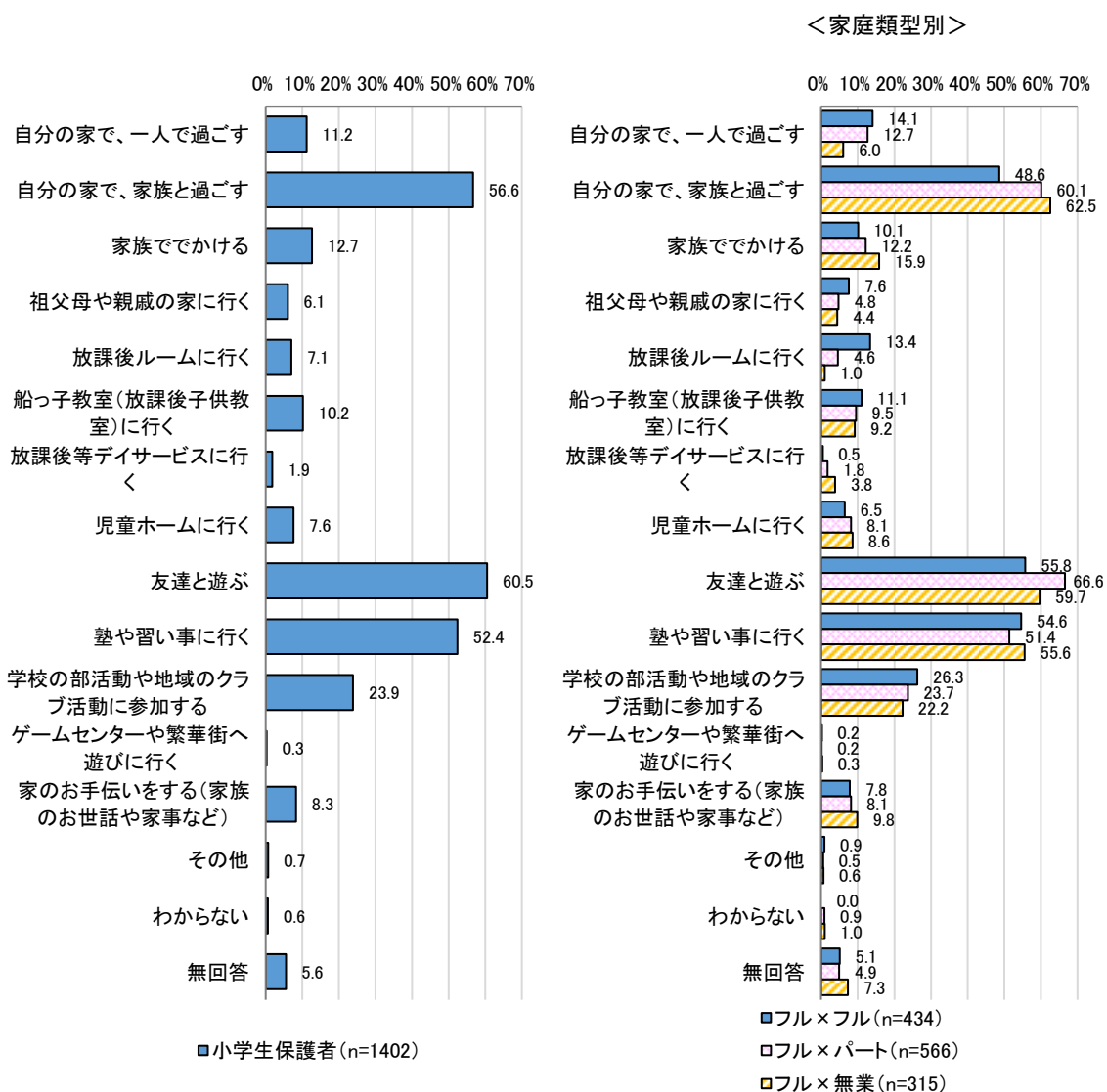
- ・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」の割合が高い。
- ・家庭類型別でみると、フル×フルで「放課後ルームに行く」の割合が高い。



●小学校高学年（4～6年生）の時の過ごし方の希望

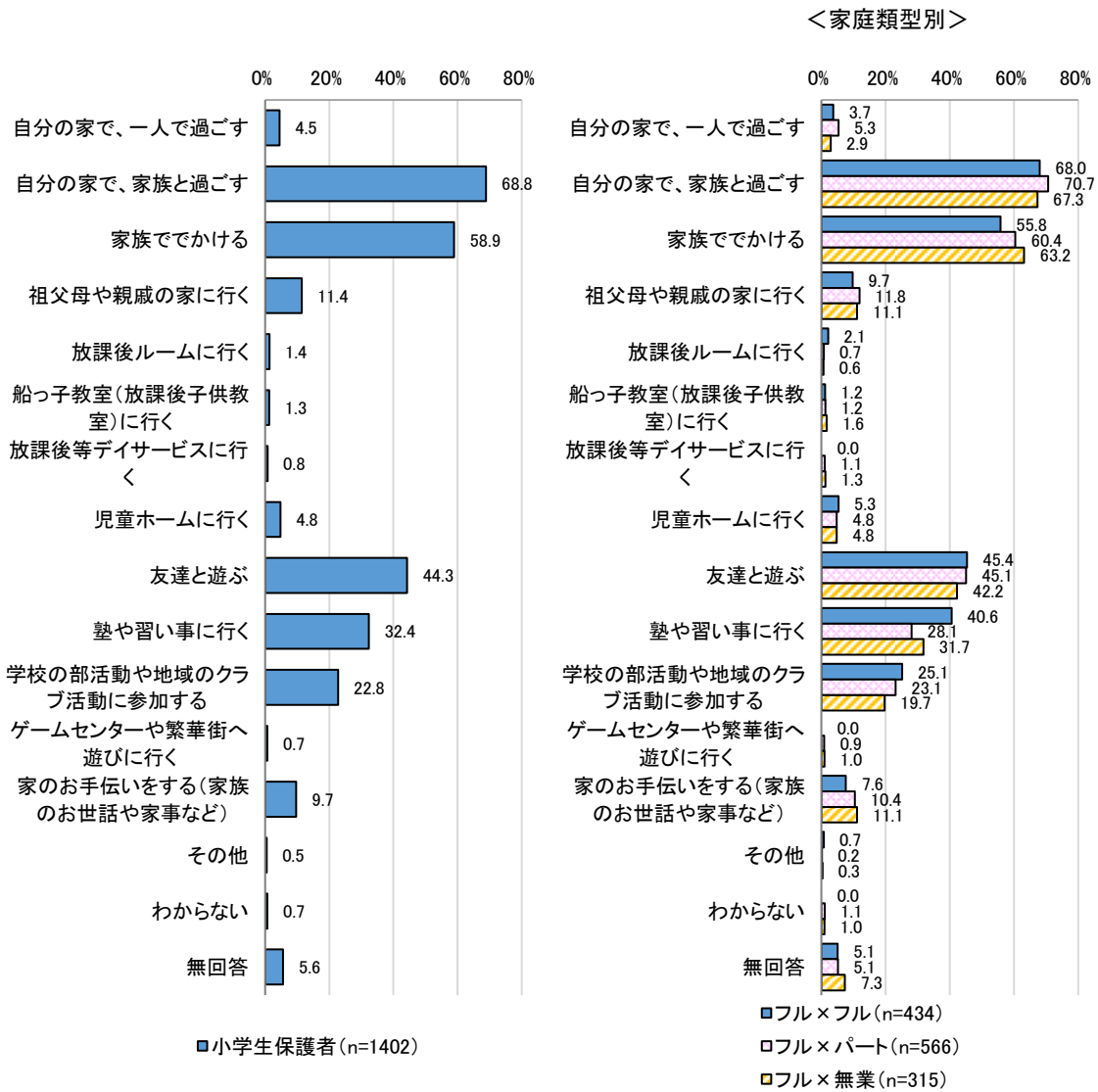
① 放課後

・「自分の家で、家族と過ごす」「友達と遊ぶ」「塾や習い事に行く」の割合が高い。



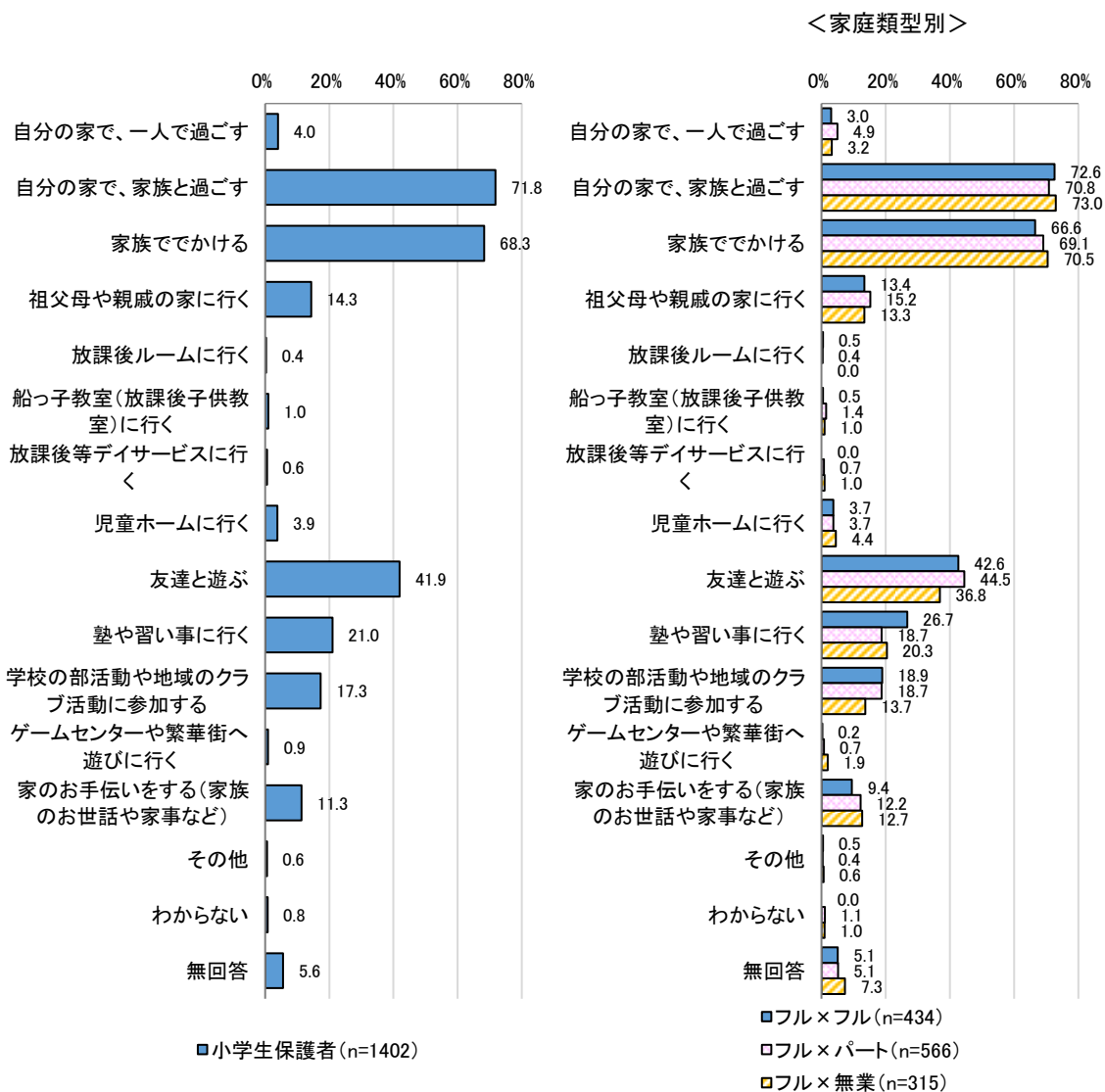
② 土曜日

・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」の割合が高い。



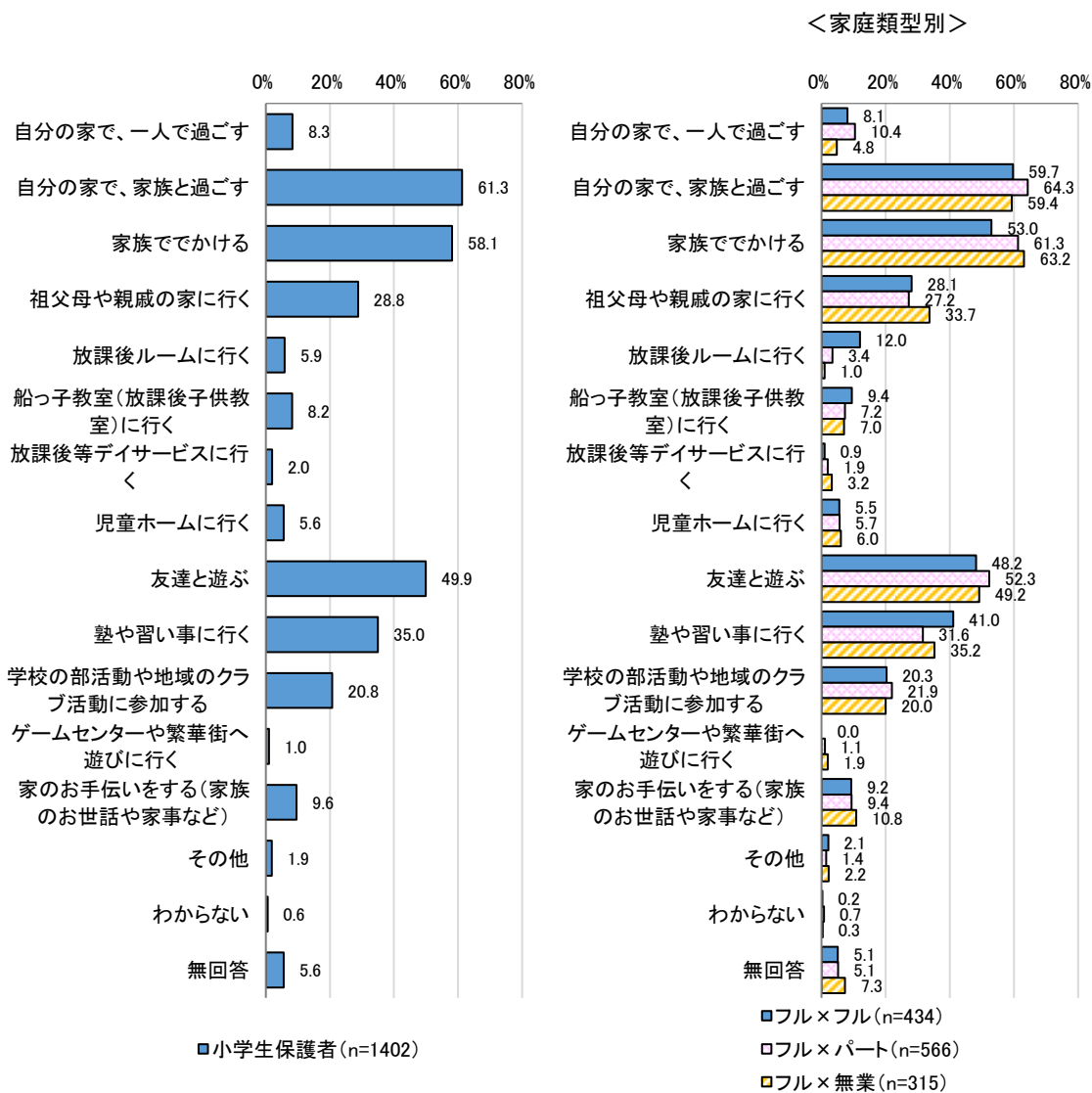
③ 日曜日や祝日

・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」の割合が高い。



④ 夏休みなど長期休業中

・「自分の家で、家族と過ごす」「家族ででかける」「友達と遊ぶ」の割合が高い。



1-13. 育児休業など、職場の支援制度について

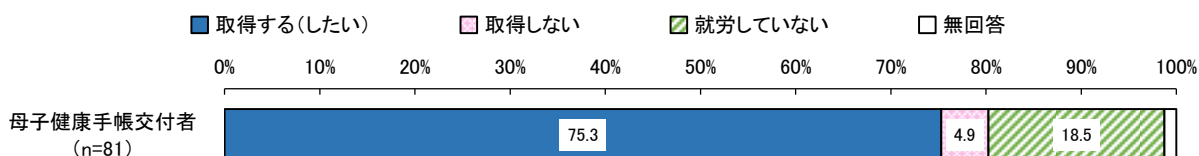
(1) 育児休業について

問 出産後、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しますか。(それぞれ1つに○)

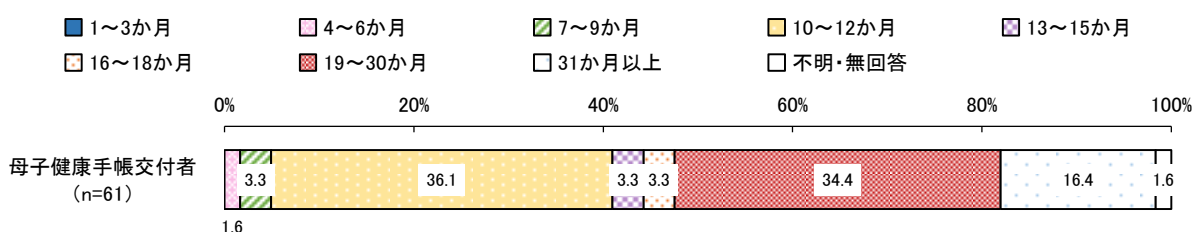
母問13

- ・「取得する(したい)」の割合は、お母さんで7割強、お父さんで約6割となっている。
- ・お母さん、お父さんともに「10～12か月」になるまで取得したい割合が最も高い。

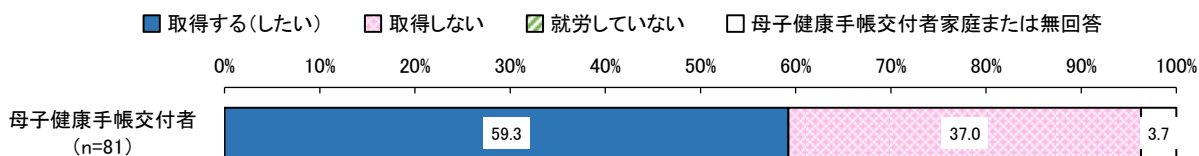
① お母さん



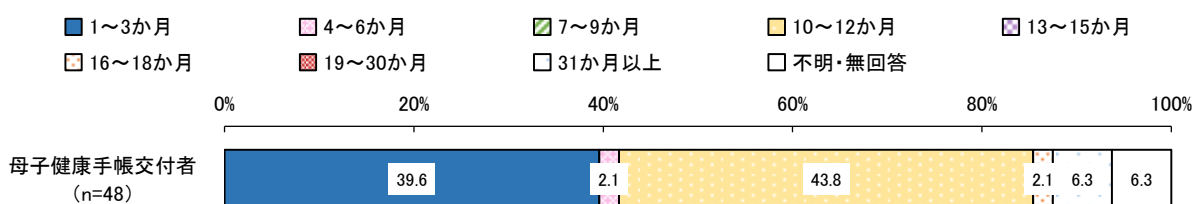
「お子さんが何歳になるまで取得したいか」



② お父さん



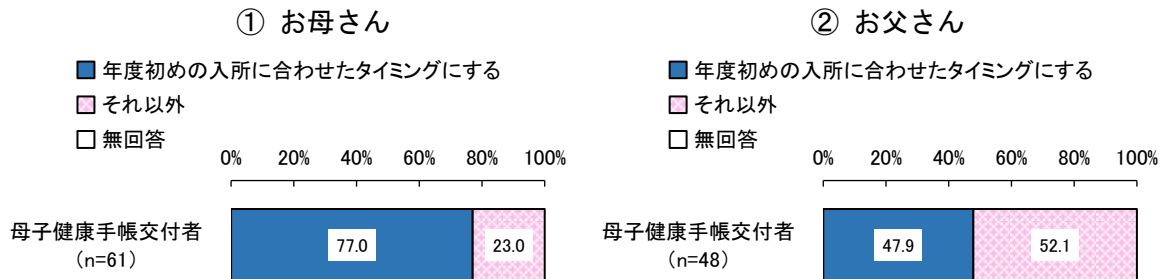
「お子さんが何歳になるまで取得したいか」



問 育児休業を「取得する（したい）」方にうかがいます。育児休業から仕事に復帰するのは、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングにする予定ですか。（それぞれ1つに○）

母問13-1

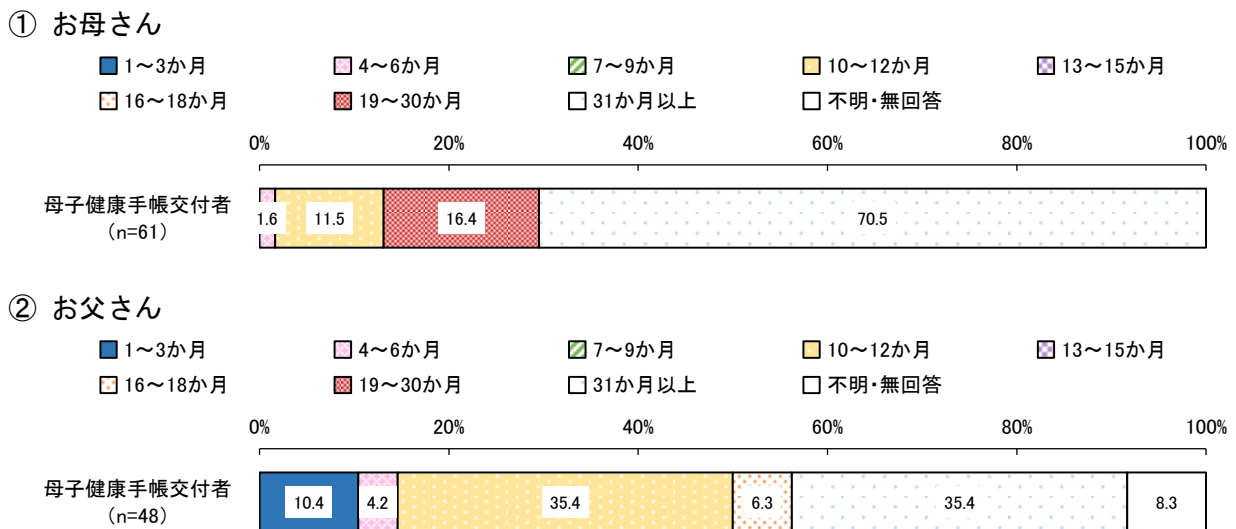
・「年度初めの入所に合わせたタイミングにする」の割合は、お母さんで8割弱、お父さんで5割弱となっている。



問 育児休業を「取得する（したい）」方にうかがいます。勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があるとしたら、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。

母問13-2

・お母さんでは「31か月以上」、お父さんでは、「10～12か月」と「31か月以上」が最も多い。

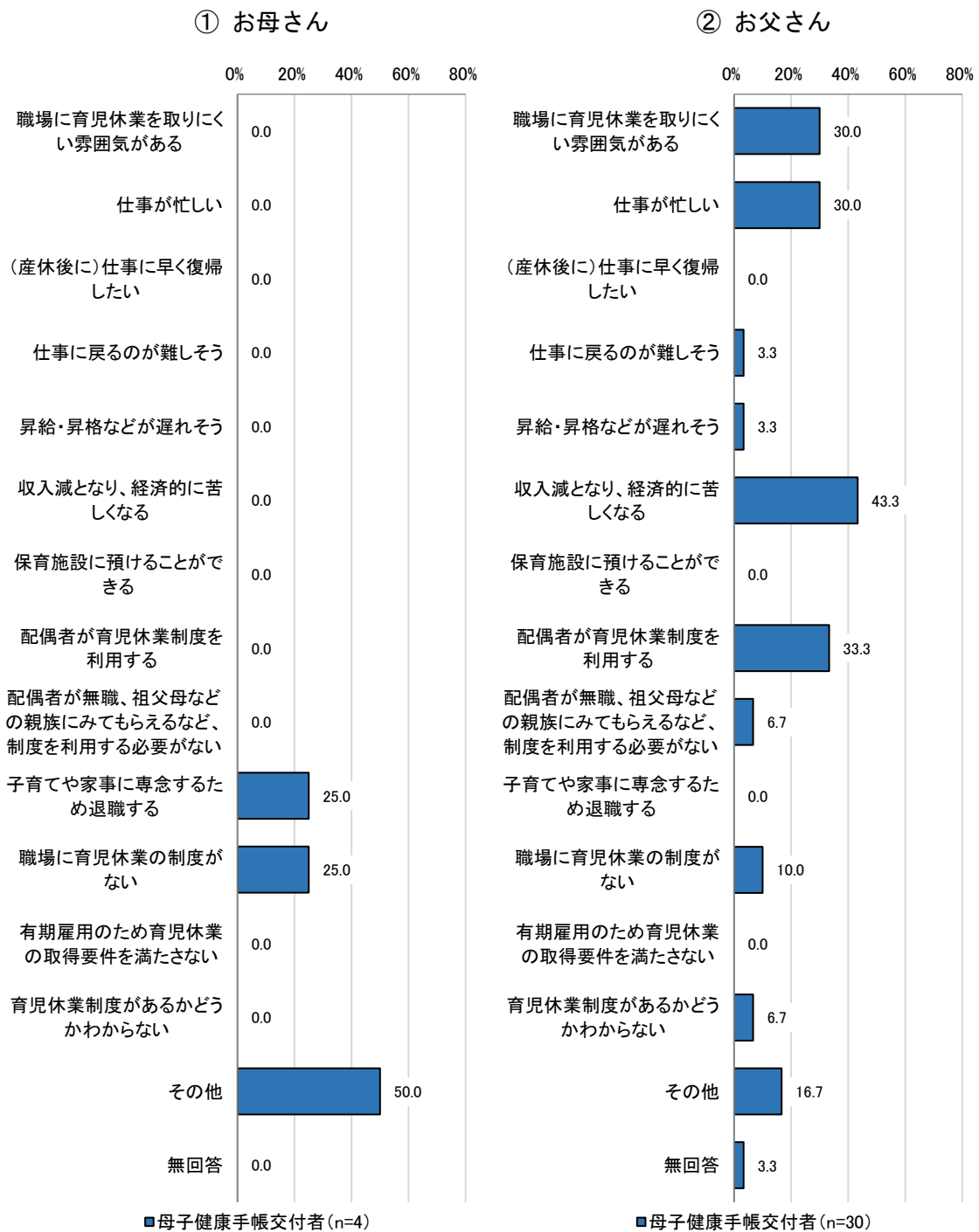


問 育児休業を「取得しない」方にかがいます。育児休業を取得しない理由をお答えください。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

母問13-3

- ・お父さんの育児休業を取得しない理由は、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が最も高い。

※お母さんは該当者が少ないためグラフのみの掲載とする。



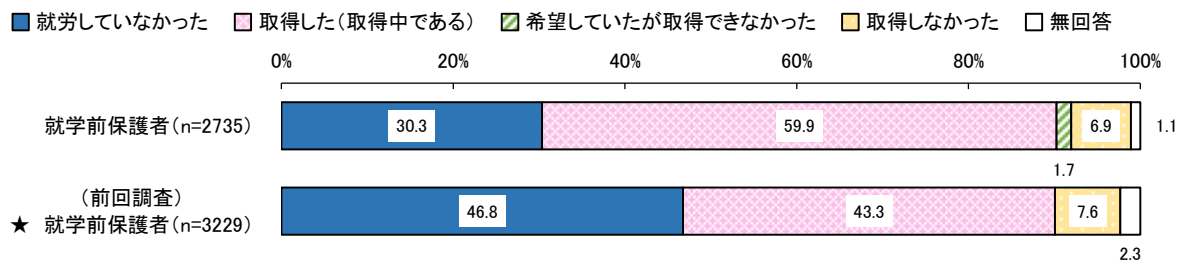
(2) 育児休業の取得状況

問 あて名のおおさんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ1つに○)

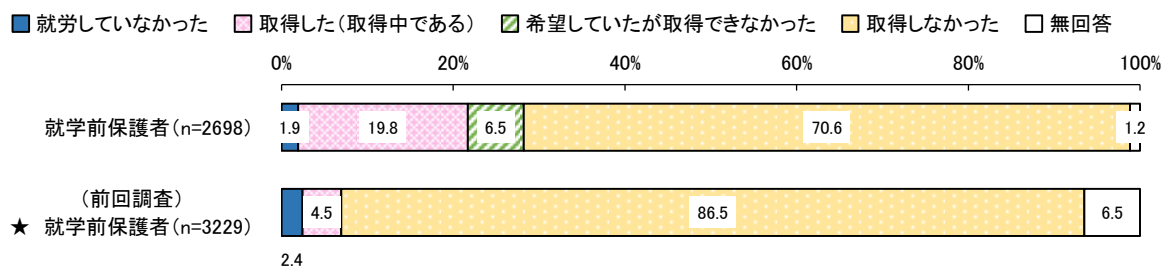
就問40、ひ就問52

- ・「取得した(取得中である)」の割合は、お母さんで約6割、お父さんで約2割となっている。
- ・前回調査と比べると、「取得した(取得中である)」の割合は、お母さん、お父さんともに伸び、特にお父さんで4倍以上に増えている。

(1) お母さん



(2) お父さん

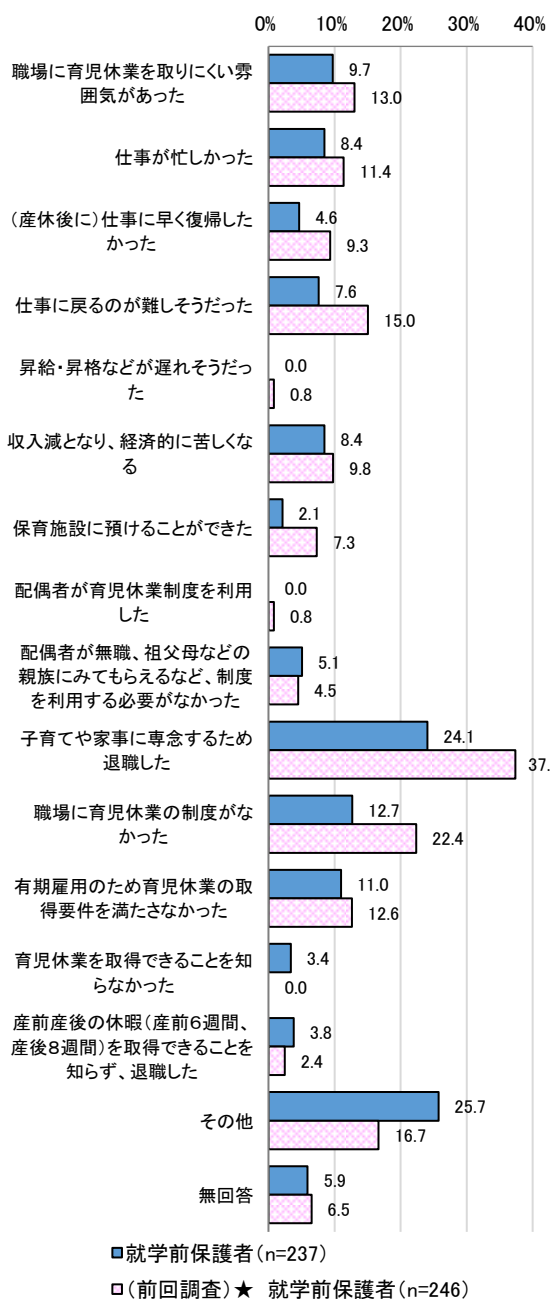


問 「希望していたが取得できなかった」、「取得しなかった」方にうかがいます。育児休業を取得していない理由をお答えください。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

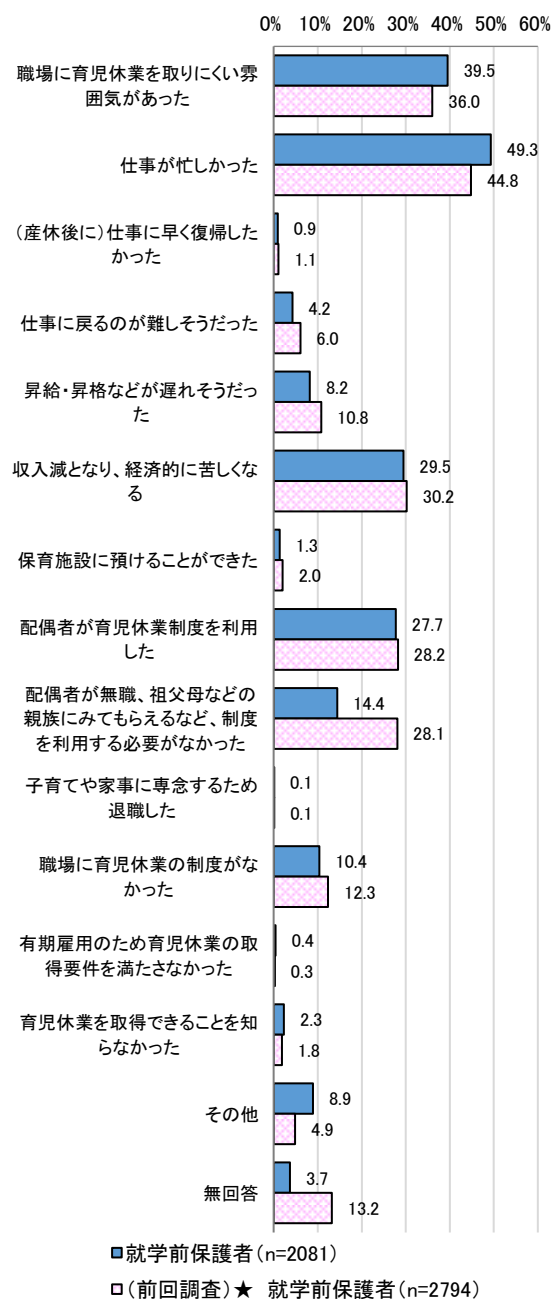
就問40-1、ひ就問52-1

- ・お母さんでは、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が高い。
- ・お父さんでは、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が高い。

(1) お母さん



(2) お父さん

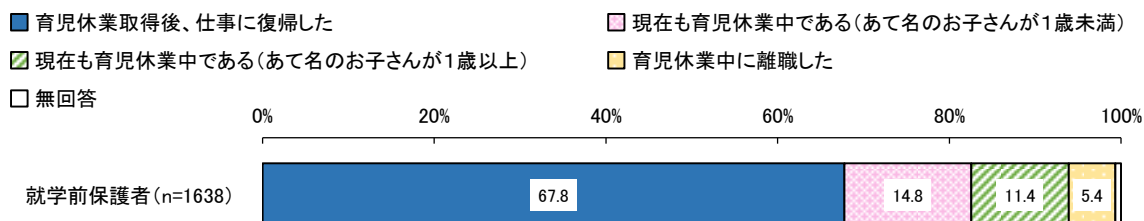


問 「取得した（取得中である）」方うかがいます。あて名のお子さんの育児休業取得後、仕事に復帰しましたか。（それぞれ1つに○）

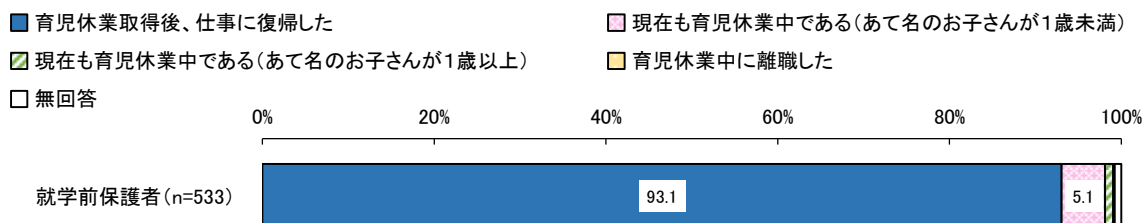
就問40-2、ひ就問52-2

- ・お母さんでは、「育児休業後、仕事に復帰した」方が約7割ではあるものの、「育児休業中に離職した」方が約5%存在する。

(1) お母さん



(2) お父さん

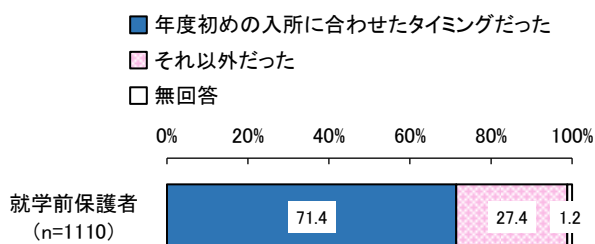


問 「育児休業取得後、仕事に復帰した」方うかがいます。あて名のお子さんの育児休業から仕事に復帰したのは、年度初めの保育施設への入所に合わせたタイミングでしたか。（それぞれ1つに○）

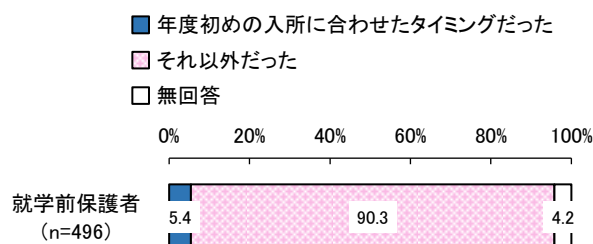
就問40-3、ひ就問52-3

- ・お母さんでは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が約7割となっている。
- ・お父さんでは、「それ以外だった」の割合が約9割となっている。

(1) お母さん



(2) お父さん



問 「育児休業取得後、仕事に復帰した」方にかがいます。あて名のお子さんの育児休業について、①～③をお答えください。

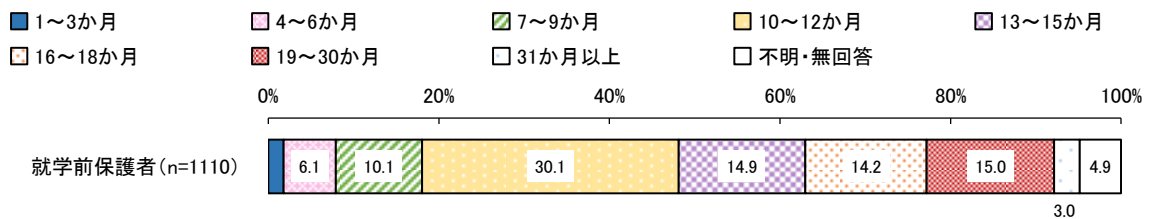
- ①お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得しましたか。
- ②希望としては、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
- ③勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があったとしたら、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

就問40-4、ひ就問52-4

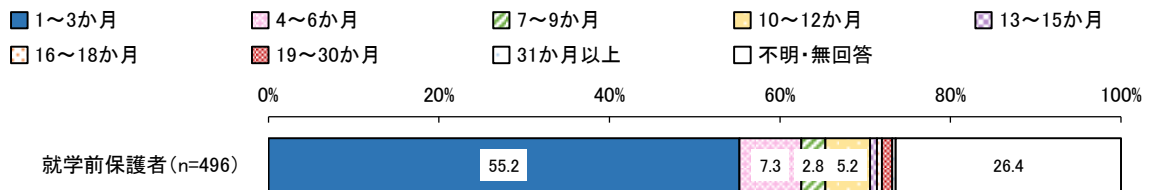
① 実際の取得期間

・お母さんでは「10～12か月」、お父さんでは、「1～3か月」が最も多い。

(1) お母さん



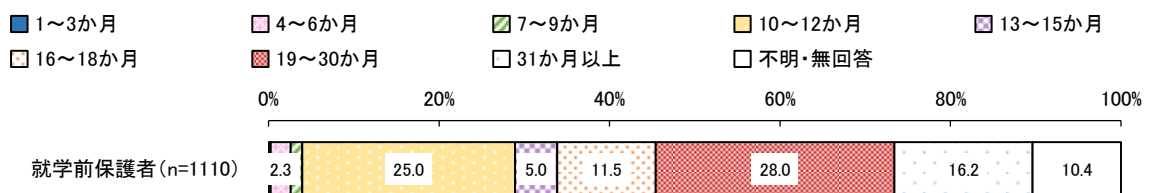
(2) お父さん



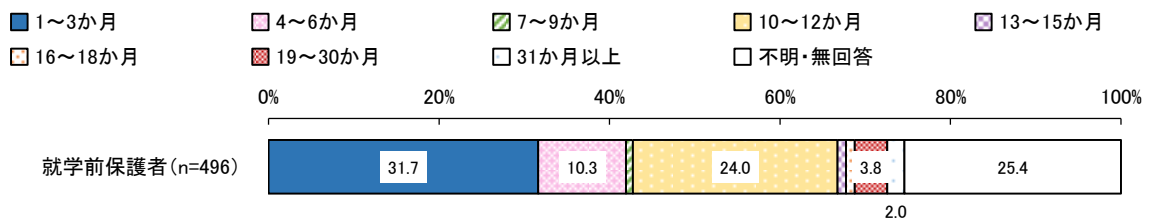
② 取りたかった期間 (希望)

・お母さんでは「19～30か月」、お父さんでは、「1～3か月」が最も多い。

(1) お母さん



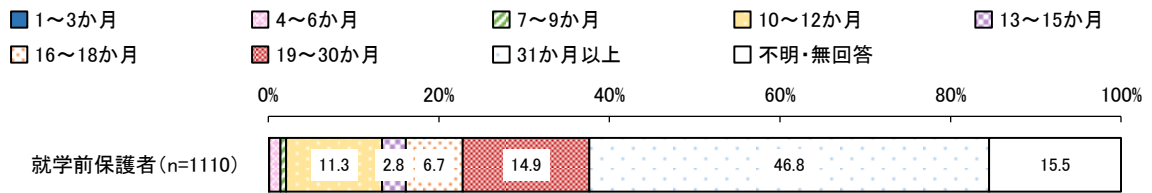
(2) お父さん



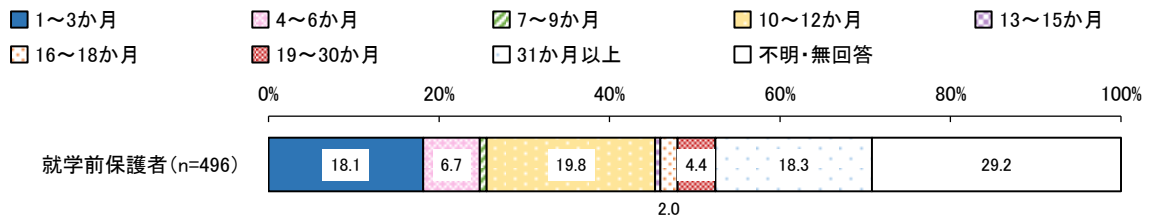
③ 3歳まで取得できたとしたら、取りたかった期間

・お母さんでは「31か月以上」、お父さんでは、「10～12か月」が最も多い。

(1) お母さん



(2) お父さん

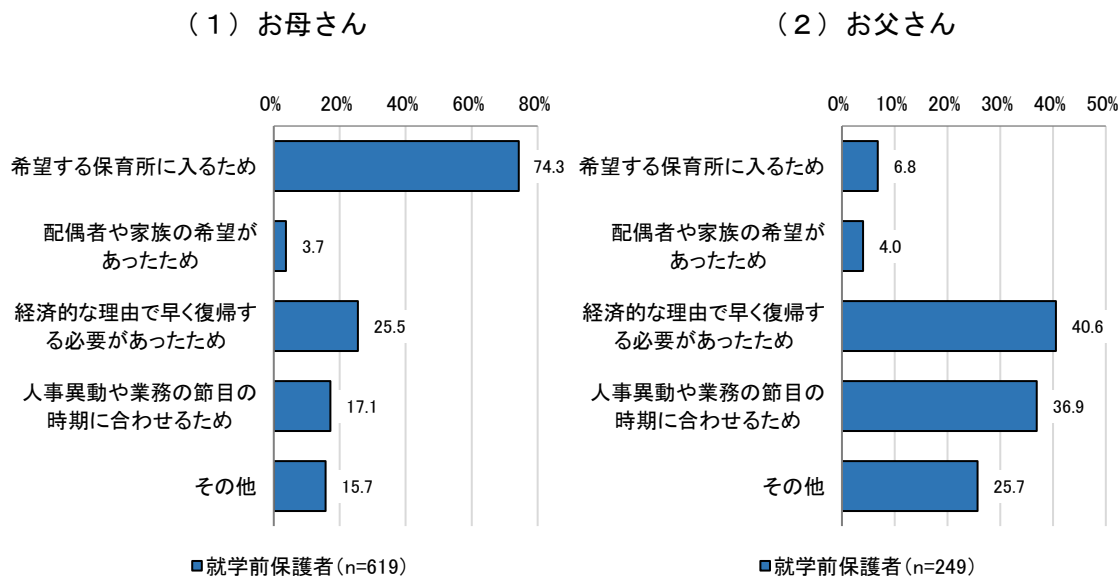


問 前問で、①の実際の取得期間と②の希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に仕事に復帰しなかった（できなかった）理由についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号すべてに○）

就問40-5、ひ就問52-5

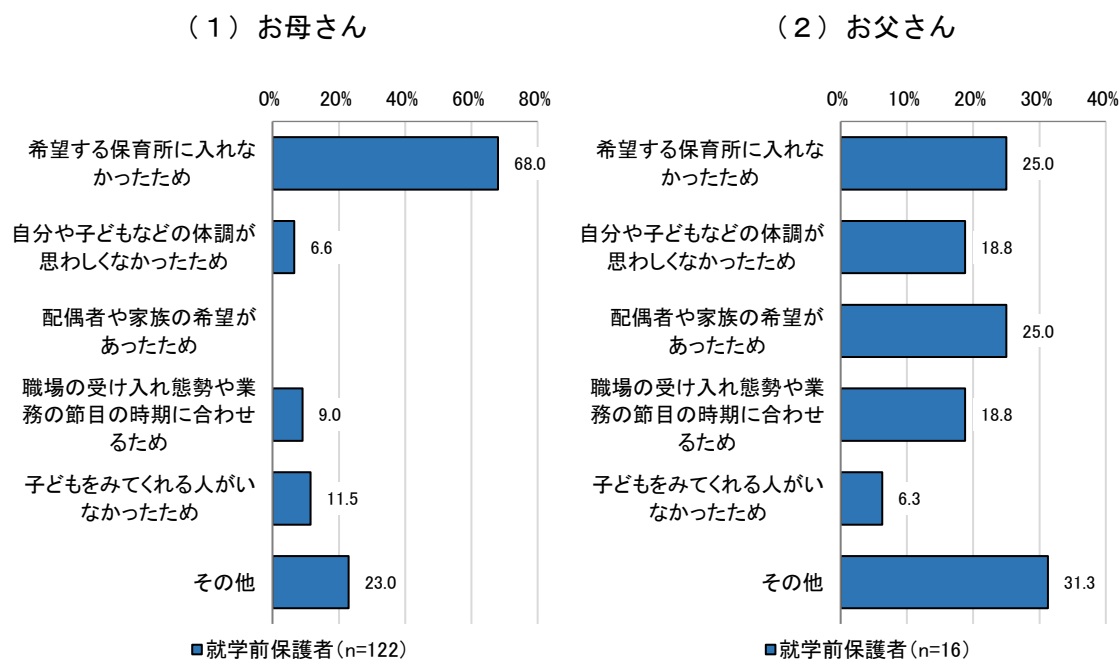
① 「希望」より早く復帰した方

- ・お母さんでは、「希望する保育所に入るため」の割合が最も高い。
- ・お父さんでは、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が高い。



② 「希望」より遅く復帰した方

- ・お母さんでは、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が最も高い。

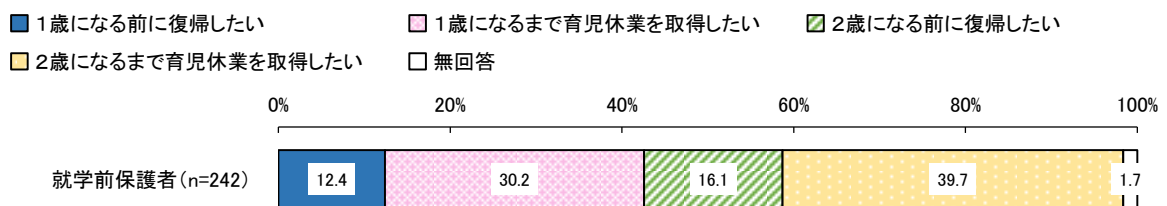


問 「現在も育児休業中である（あて名のお子さんが1歳未満）」方にうかがいます。もし、あて名のお子さんが1歳（または2歳）になったときに必ず利用できる保育施設があるとしたら、1歳（または2歳）になるまで育児休業を取得しますか。それとも、預けられても1歳（または2歳）になる前に仕事に復帰しますか。（それぞれ1つに○）

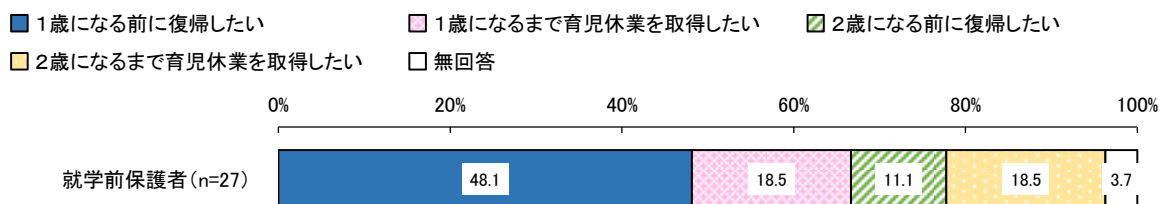
就問40-6、ひ就問52-6

- ・お母さんでは、「2歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が最も高い。
- ・お父さんでは、「1歳になる前に復帰したい」の割合が最も高い。

(1) お母さん



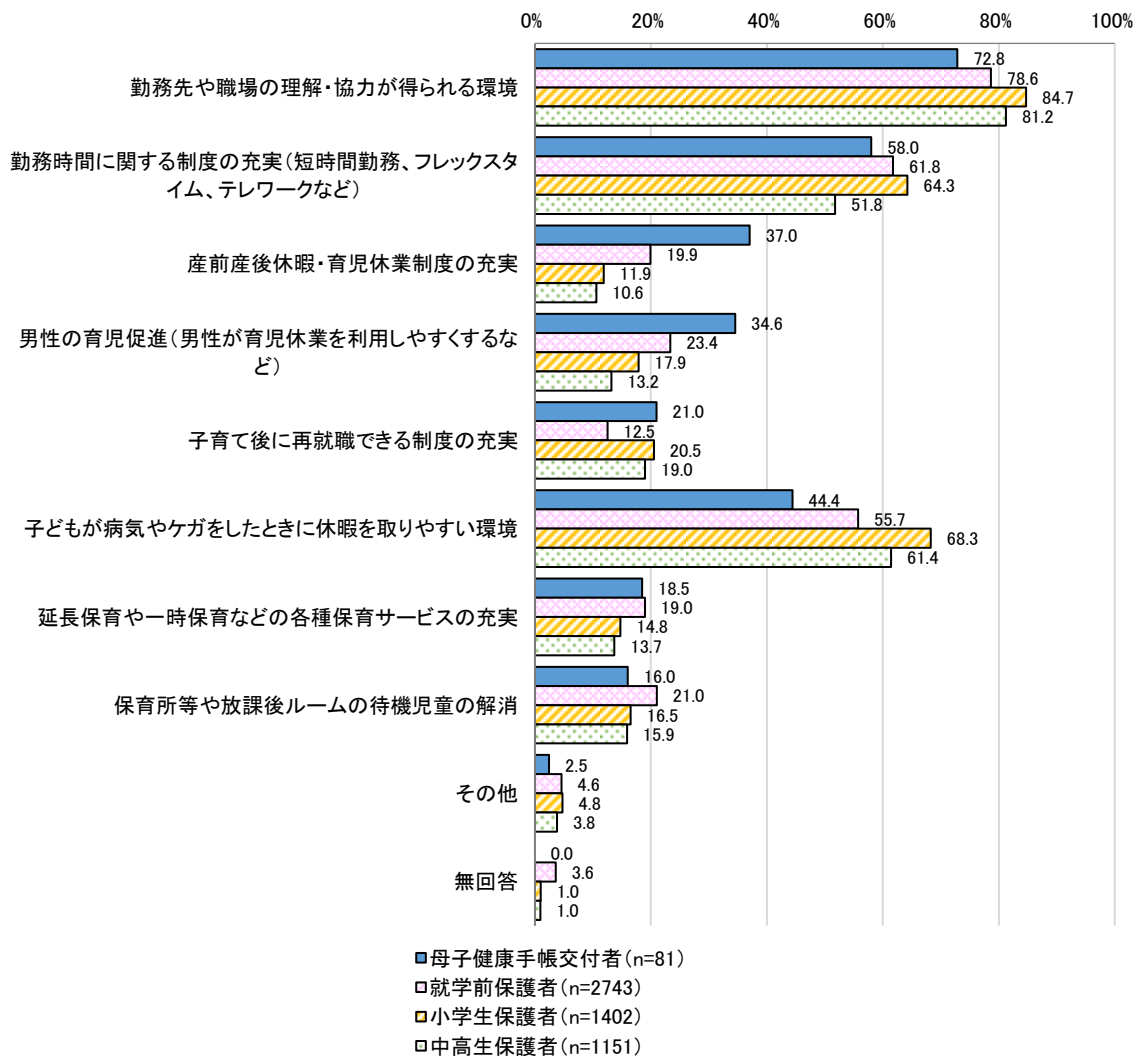
(2) お父さん



問 仕事と子育ての両立をするために何が必要だと思いますか。(あてはまる番号に3つまで○)

母問14、就問41、小問37、中高問34、ひ就問53、ひ小問48、ひ中高問45

・すべての保護者で「勤務先や職場の理解・協力が得られる環境」の割合が最も高い。



1-14. 子育て環境や支援について

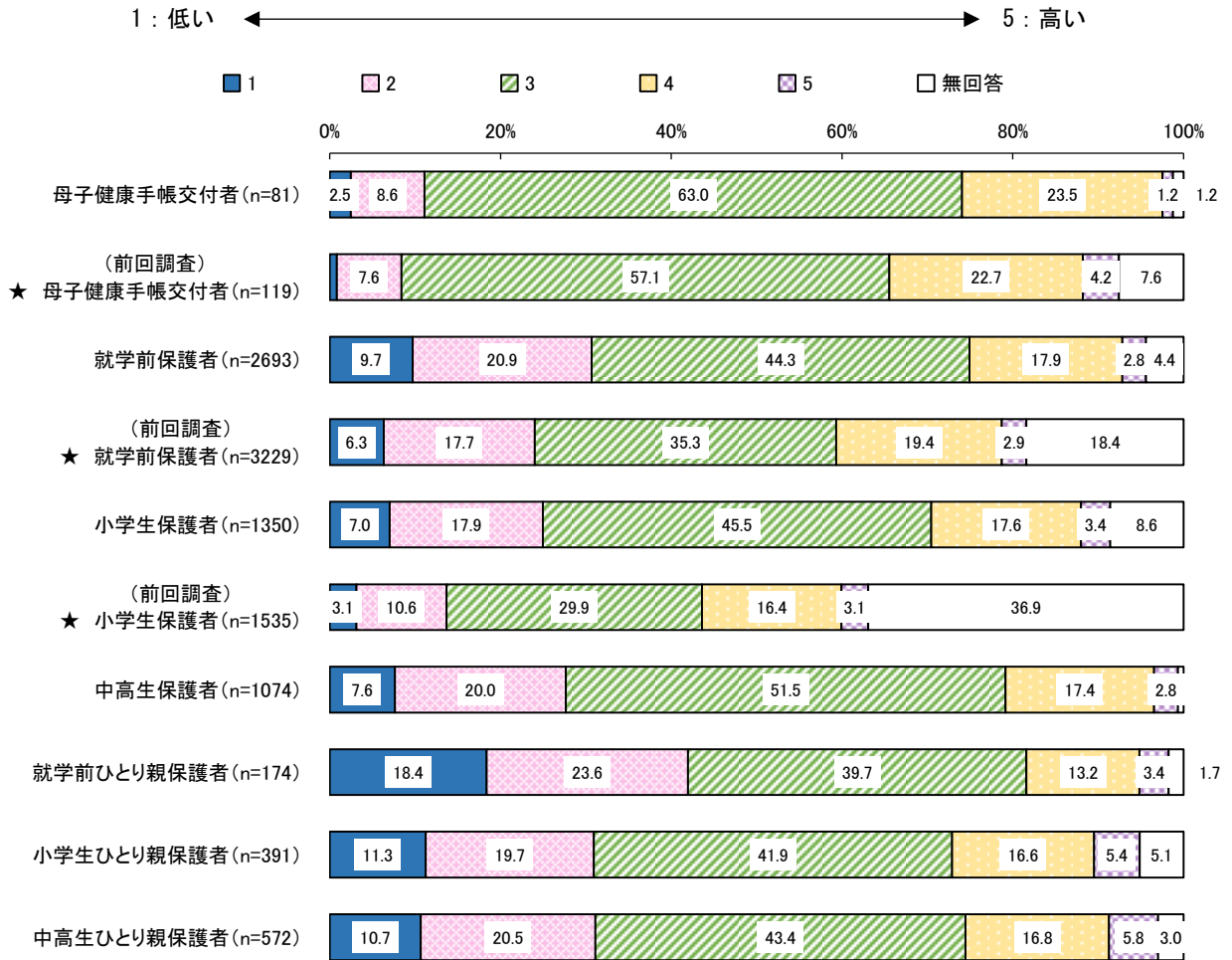
(1) 子育ての環境や支援への満足度（子育てのしやすさ）

問 船橋市における子育ての環境や支援への満足度についてうかがいます。

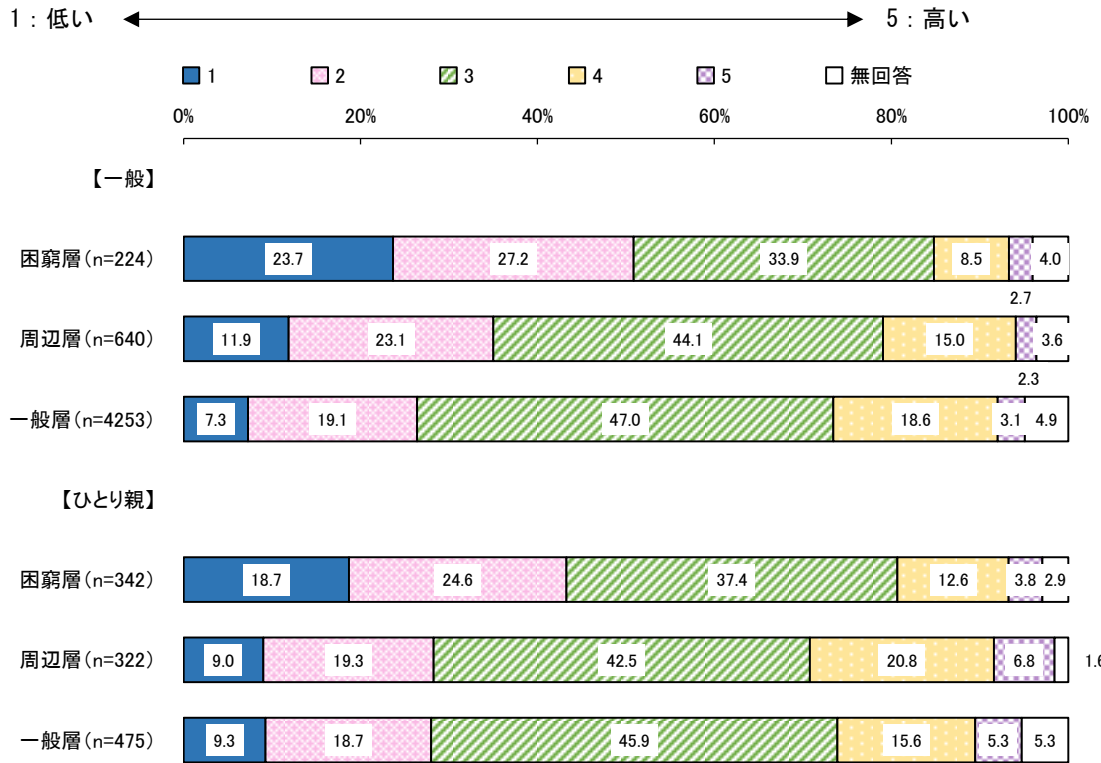
(母子健康手帳交付者：船橋市は子育てしやすいまちだと思いますか。)(1つに○)

母問15、就問42、小問38、中高問35、ひ問43、ひ就問54、ひ小問49、ひ中高問46

- ・ 就学前ひとり親保護者の満足度が比較的低い傾向にある。
- ・ 生活困難度別にみると、困窮層ほど満足度が低くなる傾向にある。



<生活困難度別>



- ・ 前回調査と比べると、満足度の平均値はやや下がった。
- ・ 満足度の平均値が下がった要因を分析し、具体的なニーズに対応した支援策の検討が求められる。

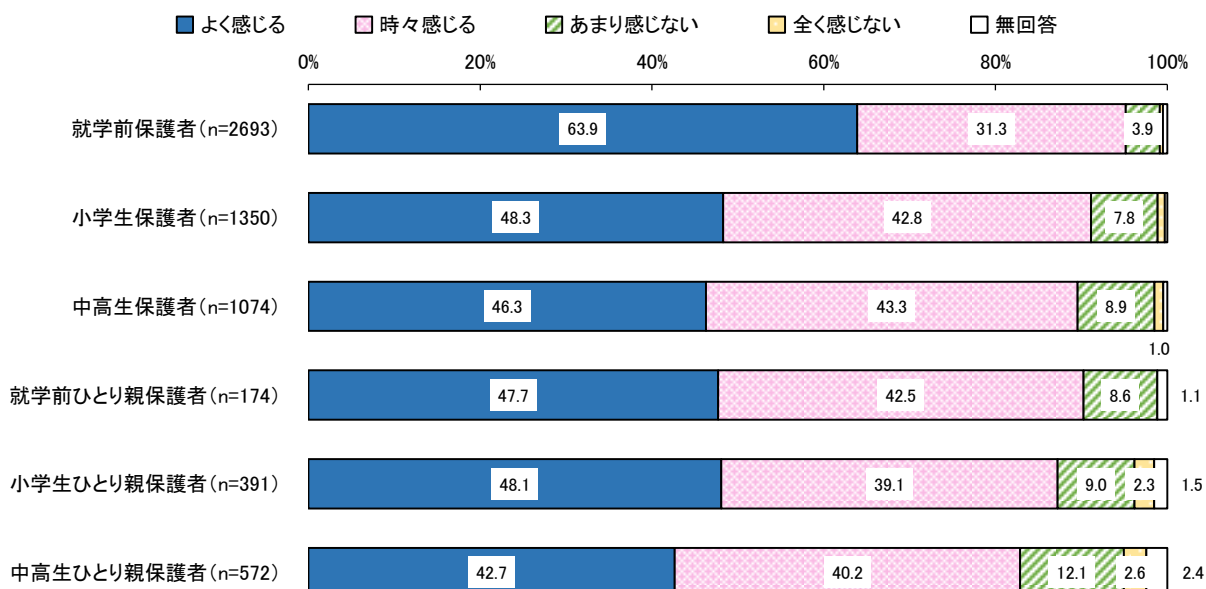
(2) 子育てをする上で感じること

問 現在、子育てをする上で次のようなことを感じることはありますか。(それぞれ1つに○)

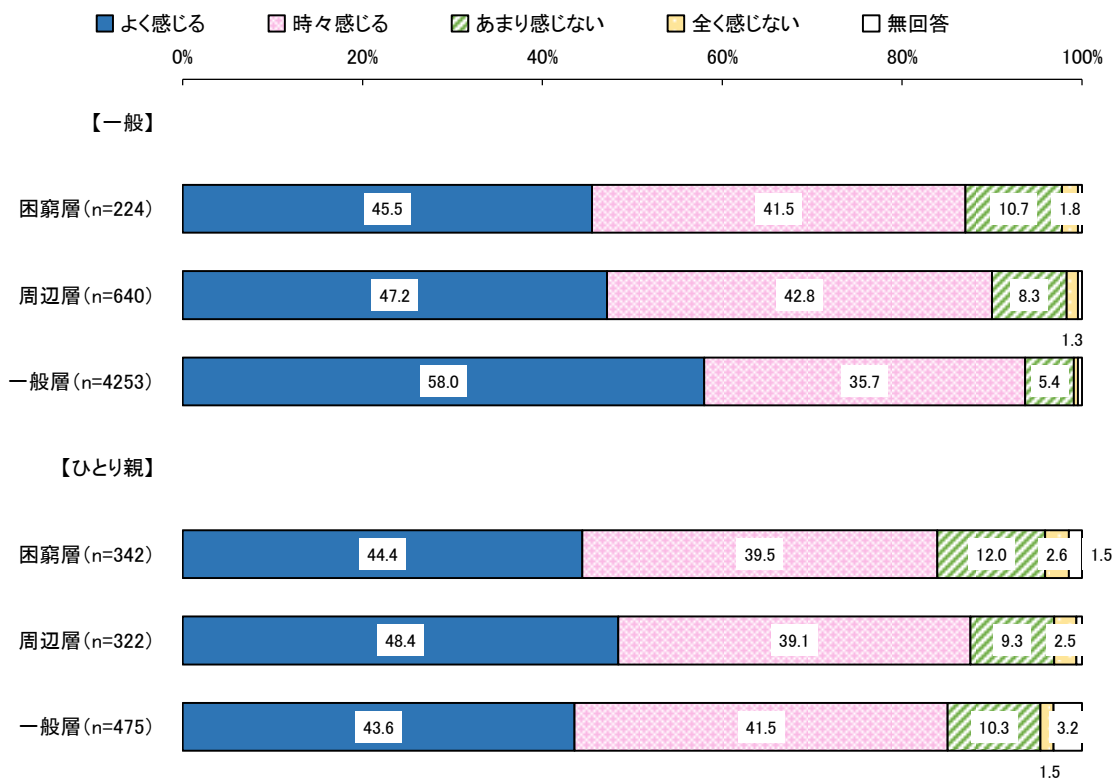
就問43、小問39、中高問36、ひ問44、ひ就問55、ひ小問50、ひ中高問47

① 子育てに喜びや生きがいを感じる

・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で低い。

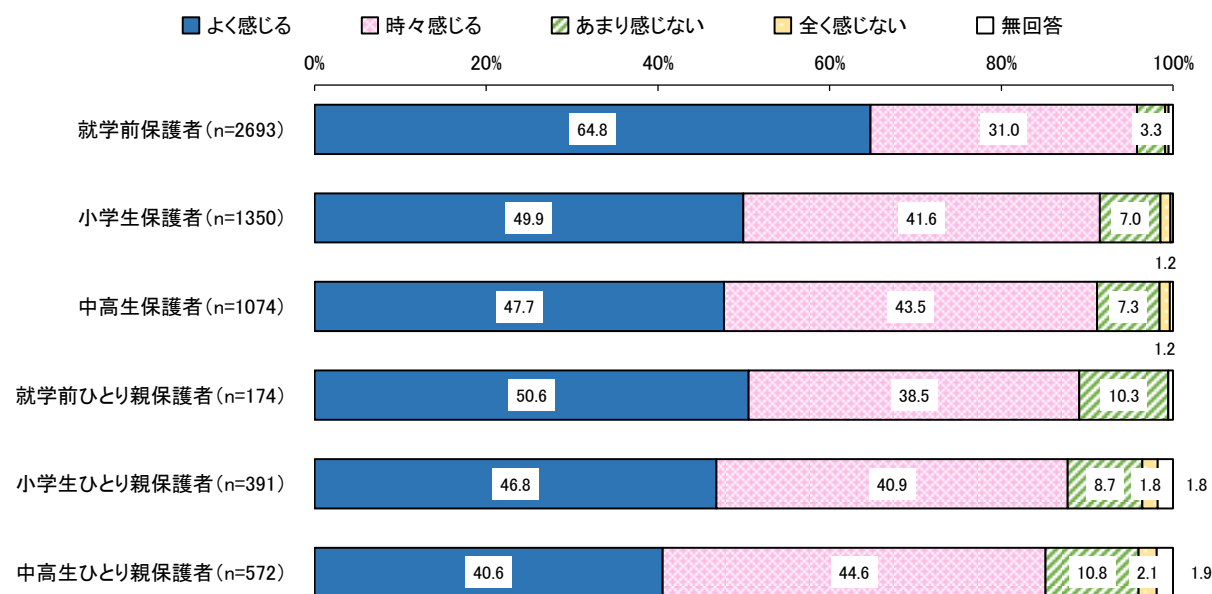


<生活困難度別>

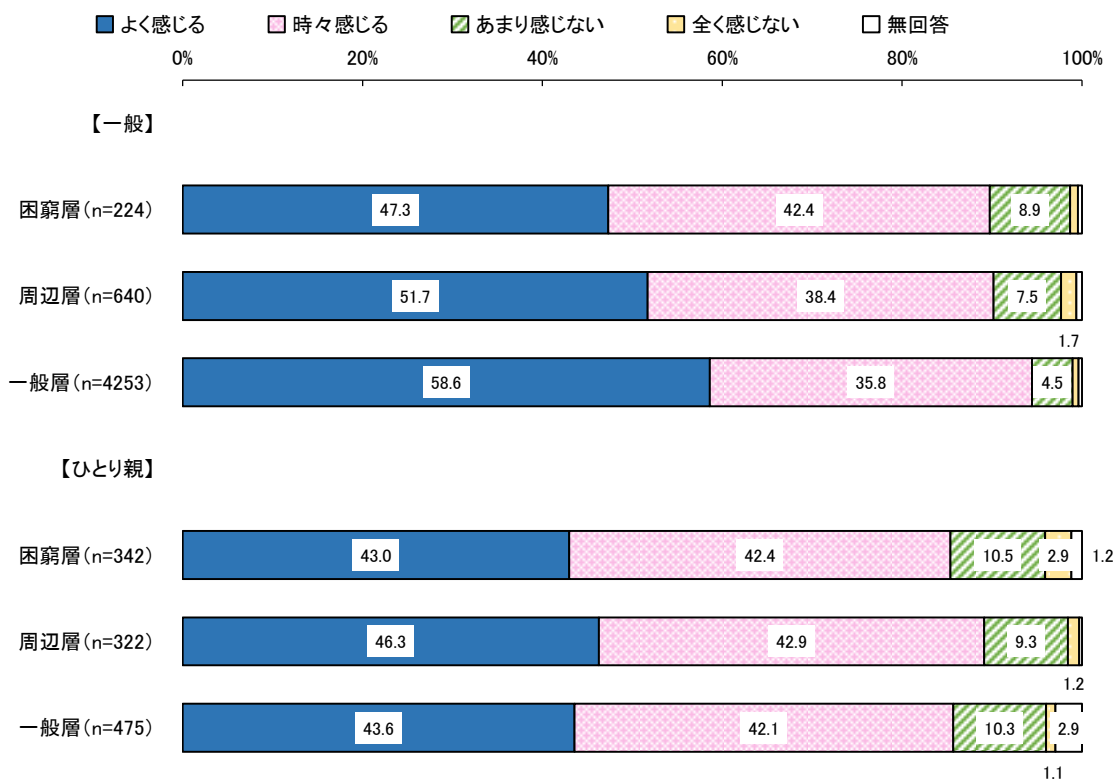


② 子どもを育てるのは楽しい

・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で低い。

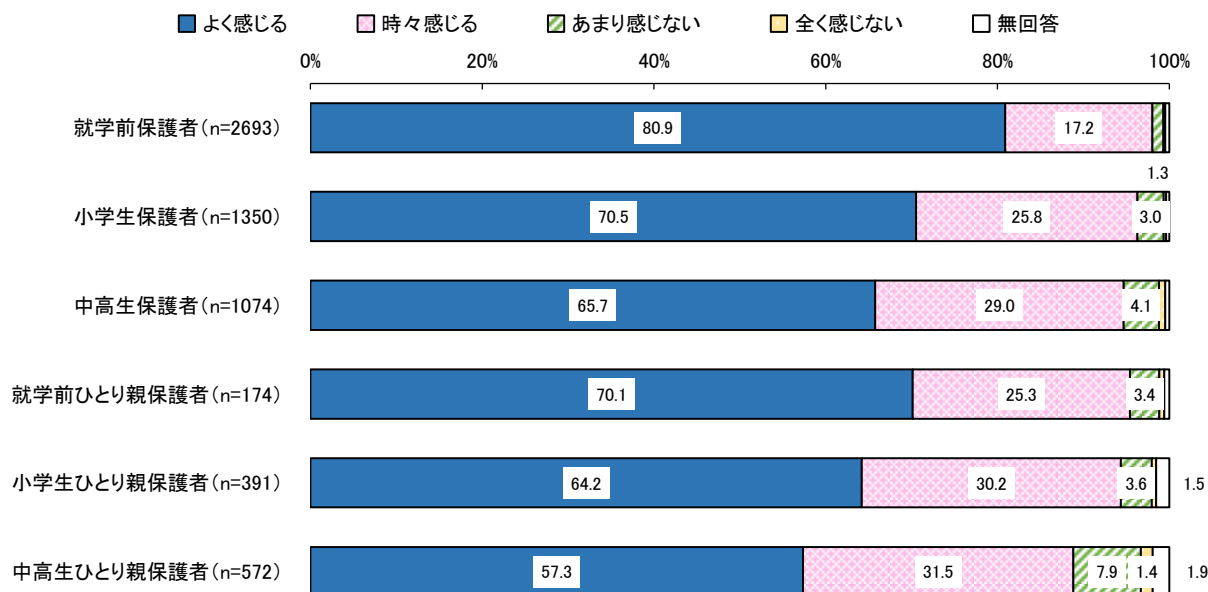


<生活困難度別>

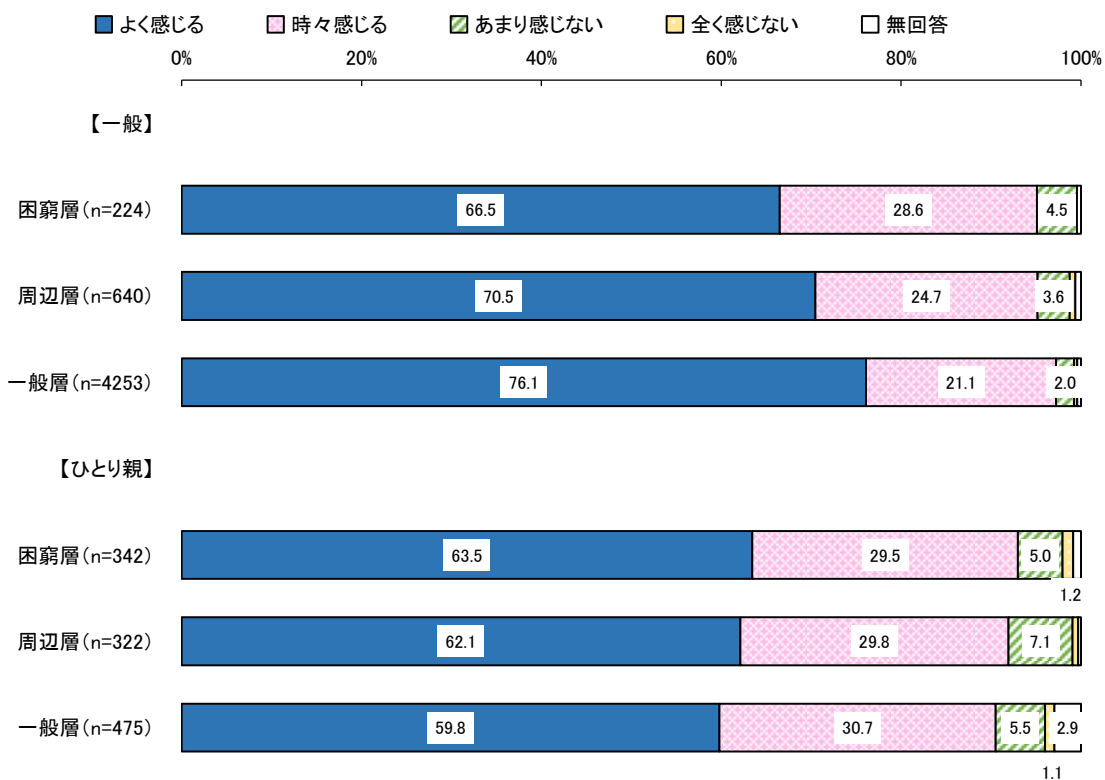


③ 子どもの顔を見ると気持ちが安らぐ

・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。

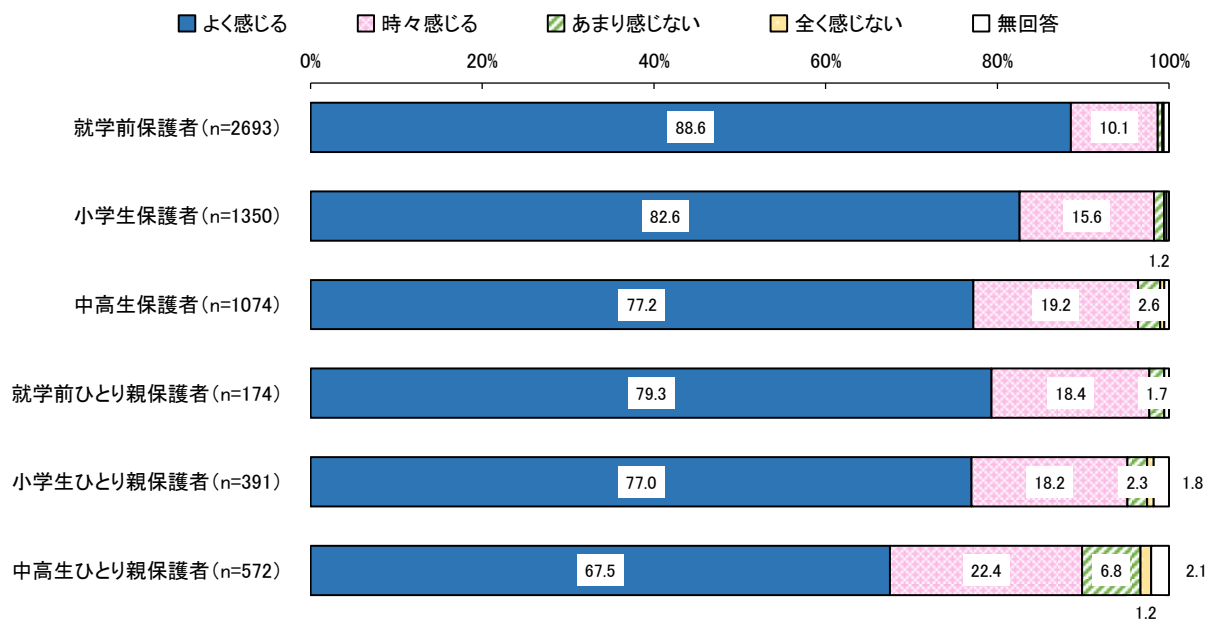


<生活困難度別>

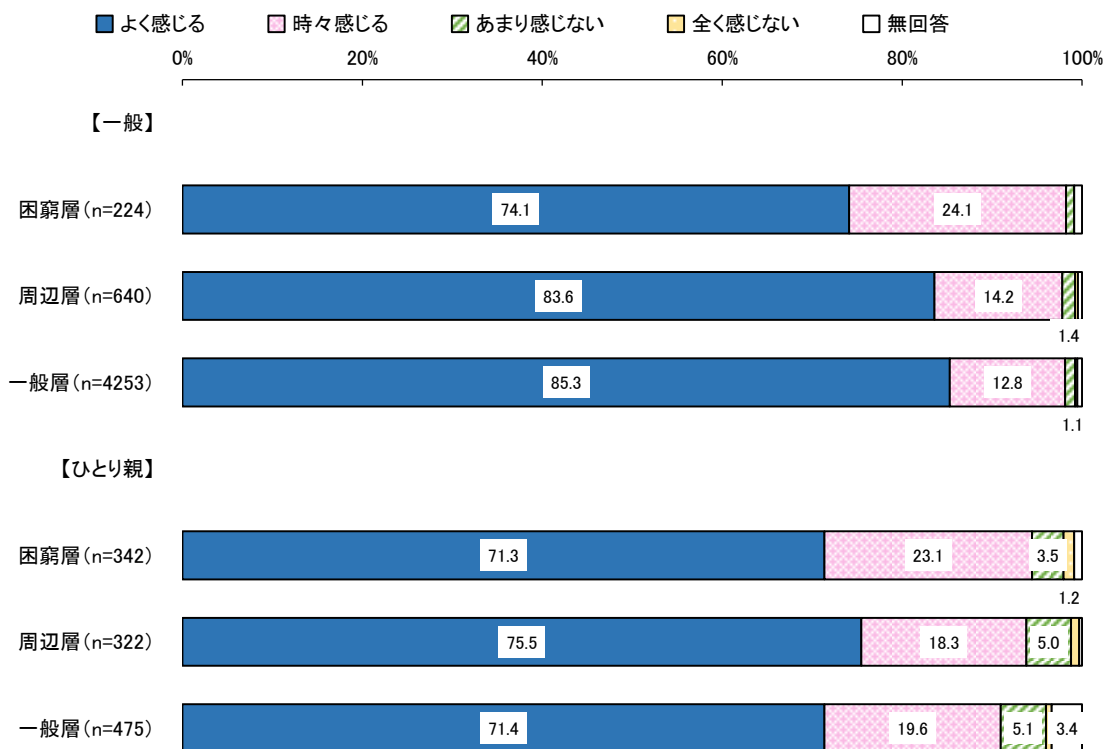


④ 子どもがいると家庭が明るくなる

・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。

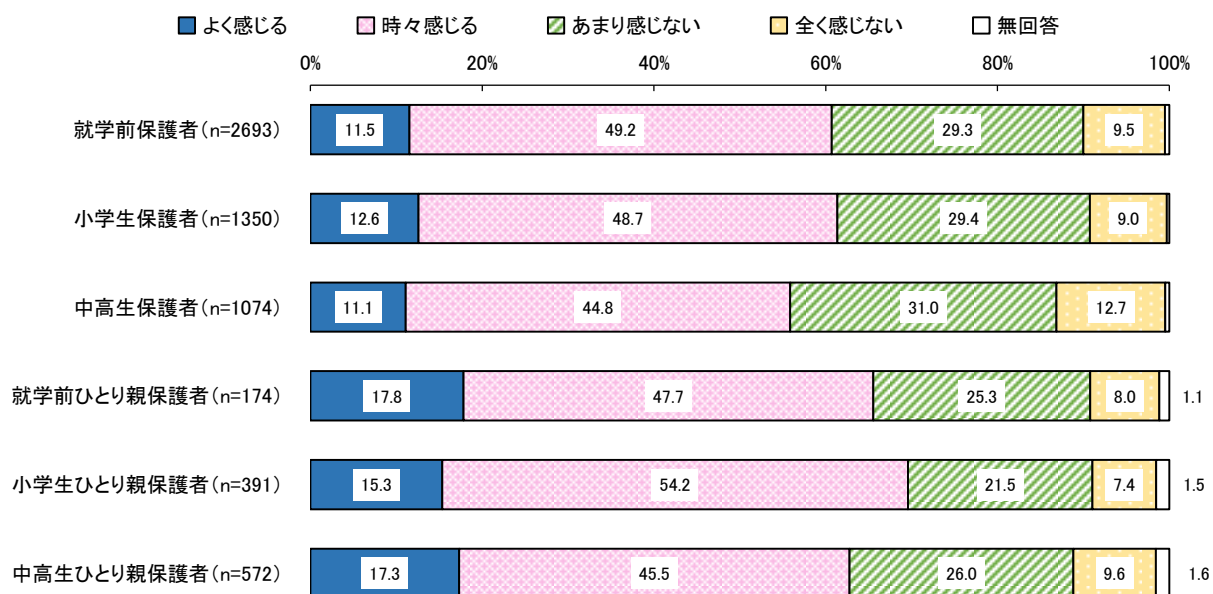


<生活困難度別>

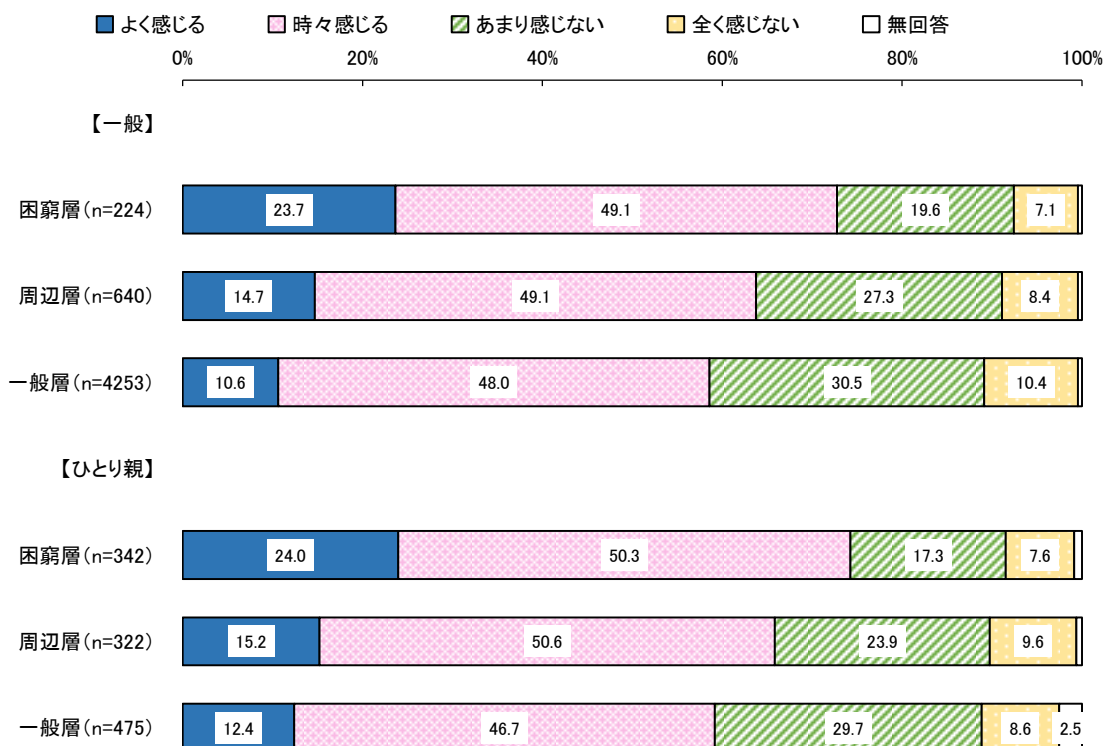


⑤ 子どものことで、どうしたらよいかわからなくなる

・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、全ての区分で5割を超えている。

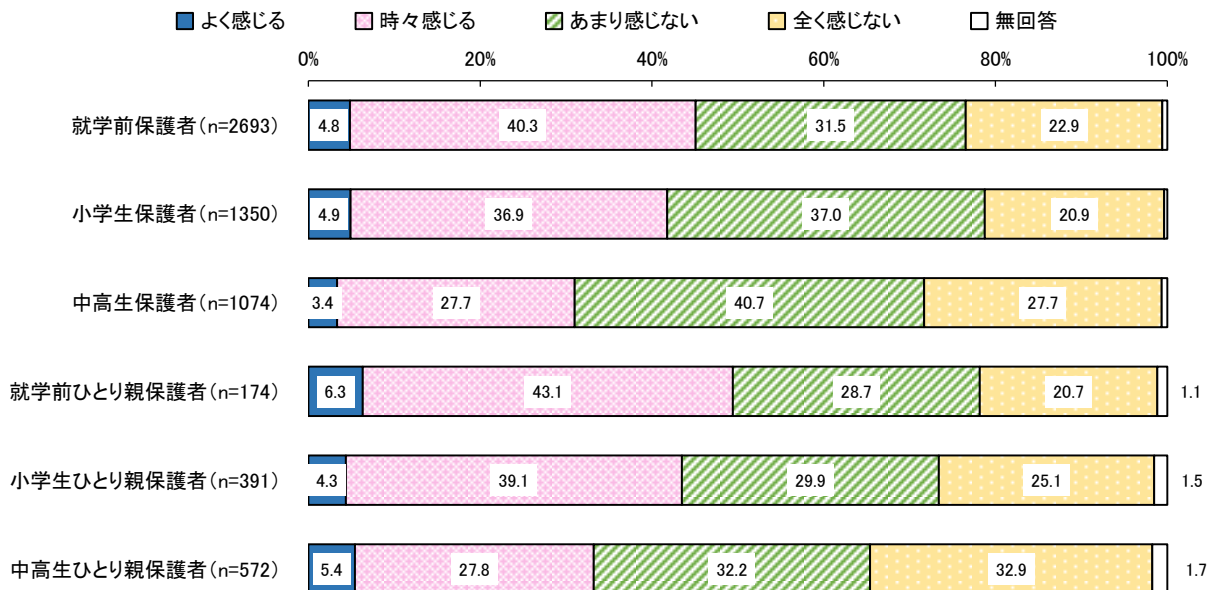


<生活困難度別>

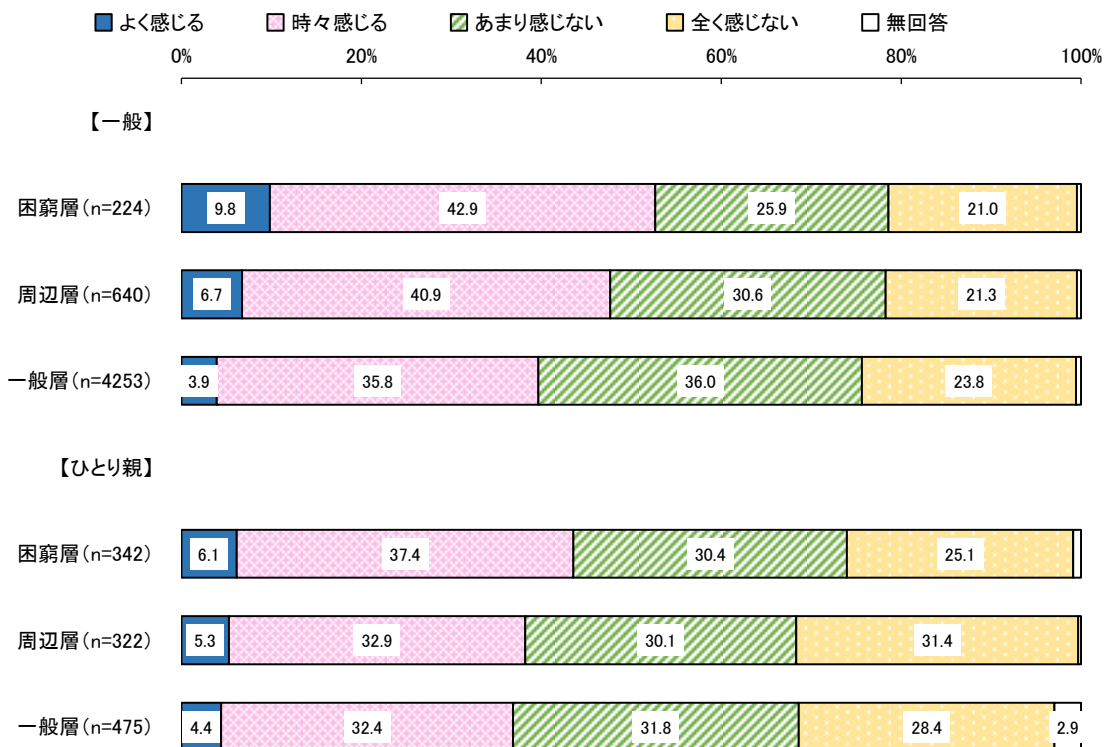


⑥ 子どもの世話が嫌になる

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、困窮層で高い。

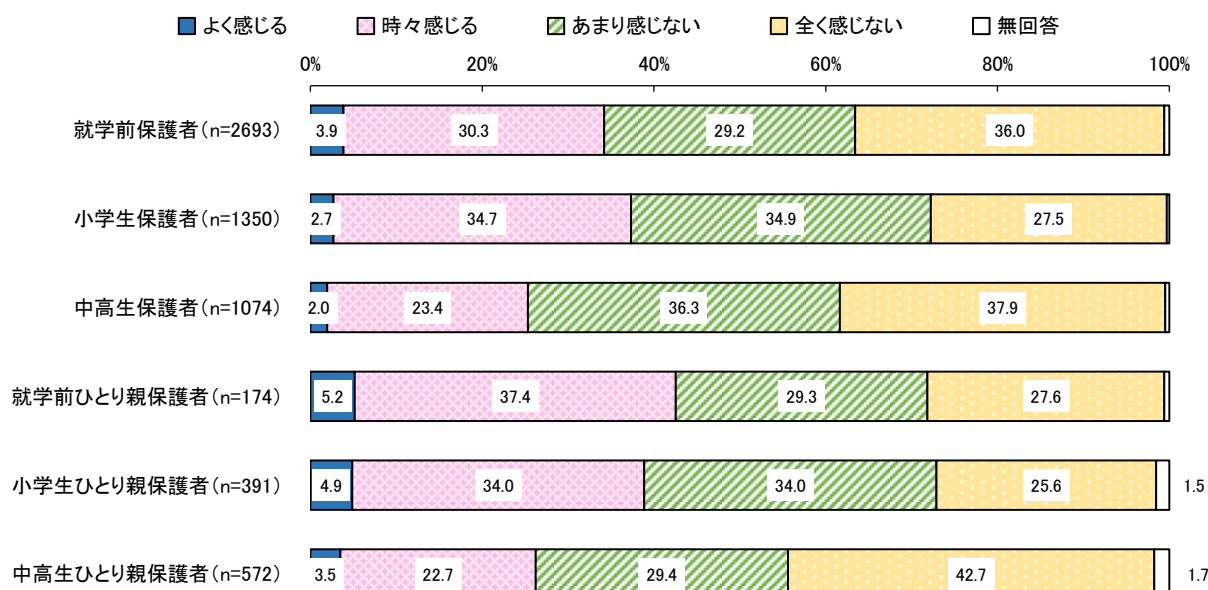


<生活困難度別>

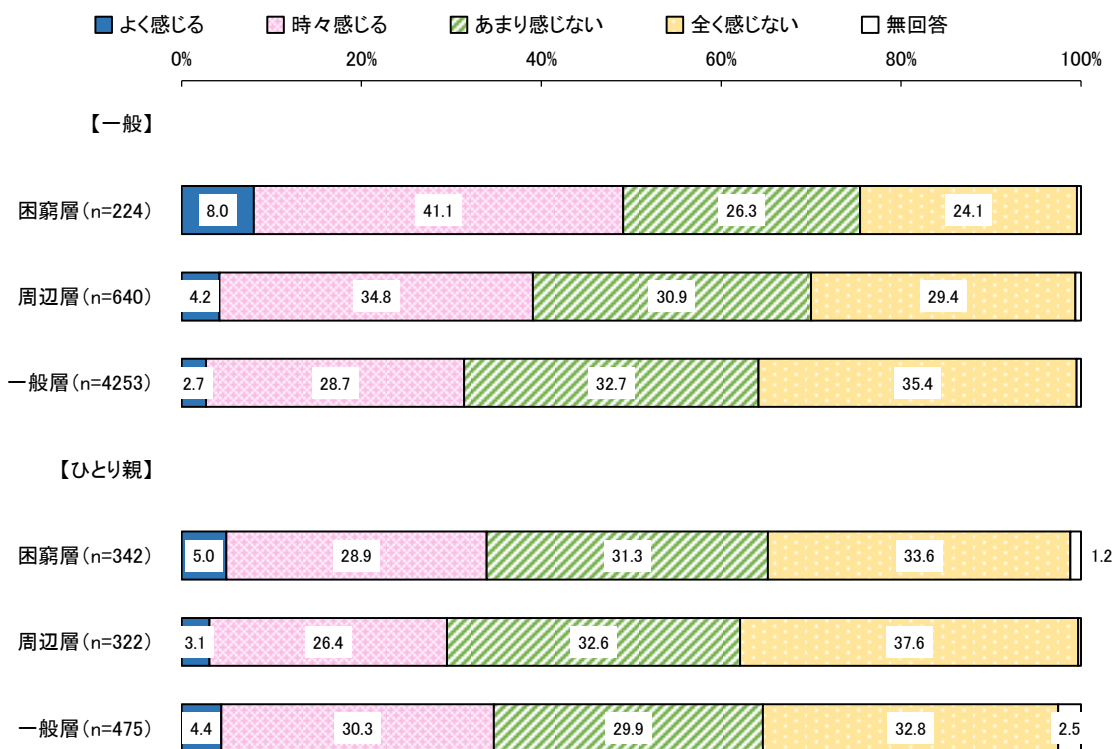


⑦ 子どもをたたきたくなることや、あたりたくなることがある

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯、ひとり親世帯ともに中高生保護者で低い。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯の困窮層で高い。

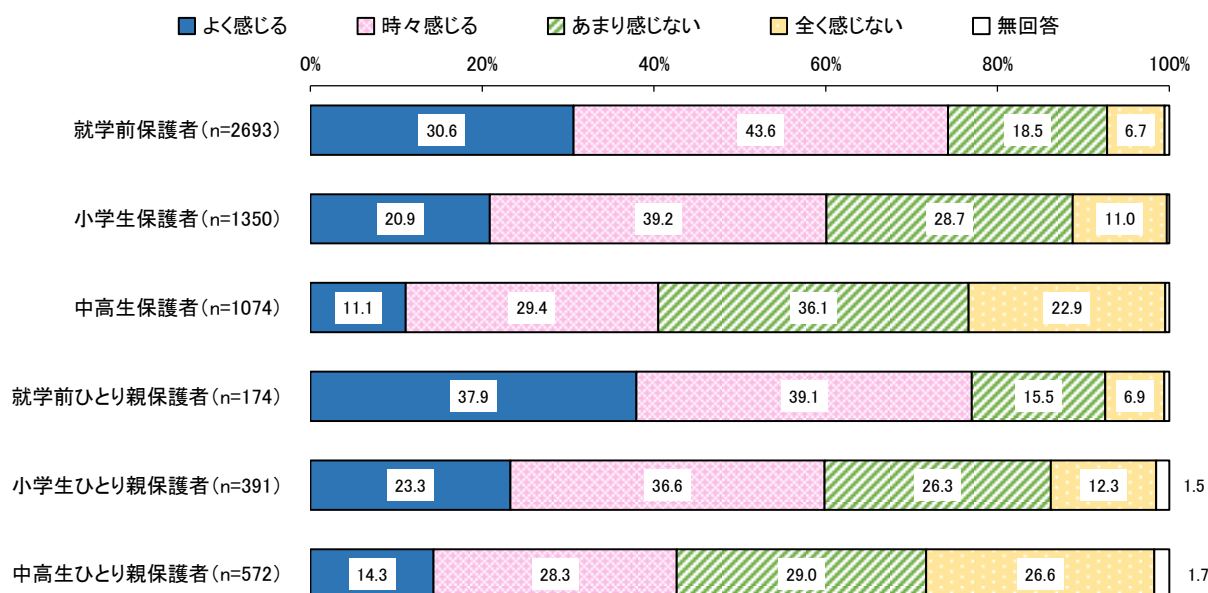


<生活困難度別>

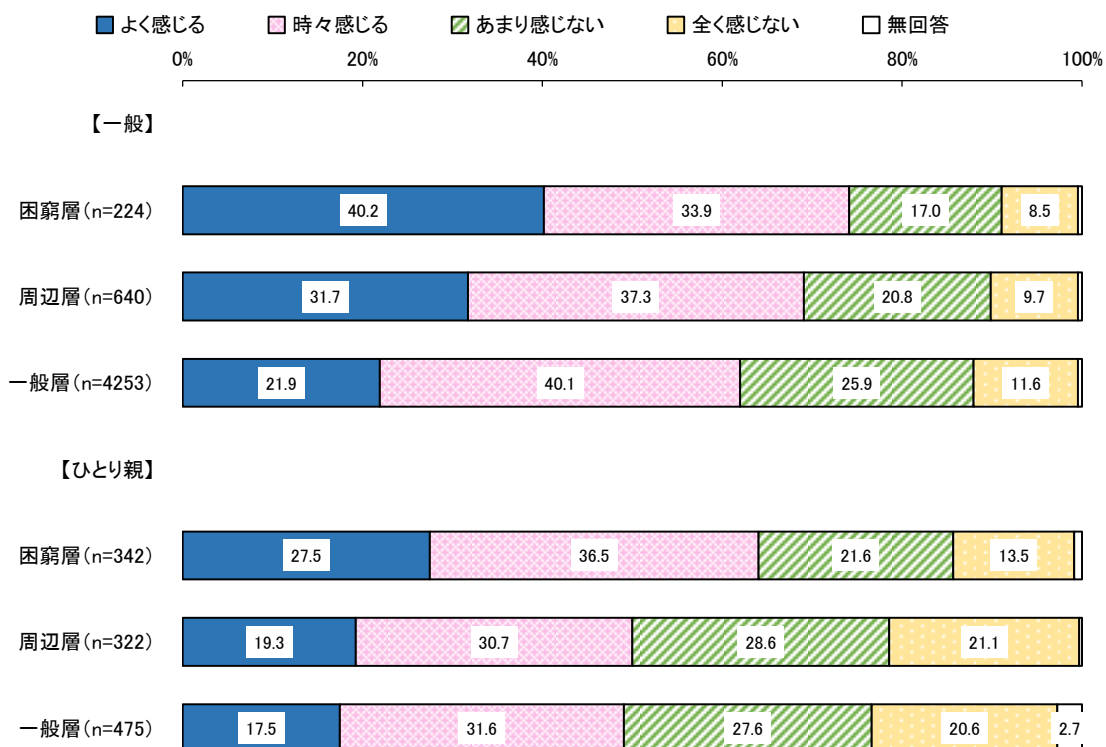


⑧ 自分の時間がとれず、自由がない

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、困窮層で高い。

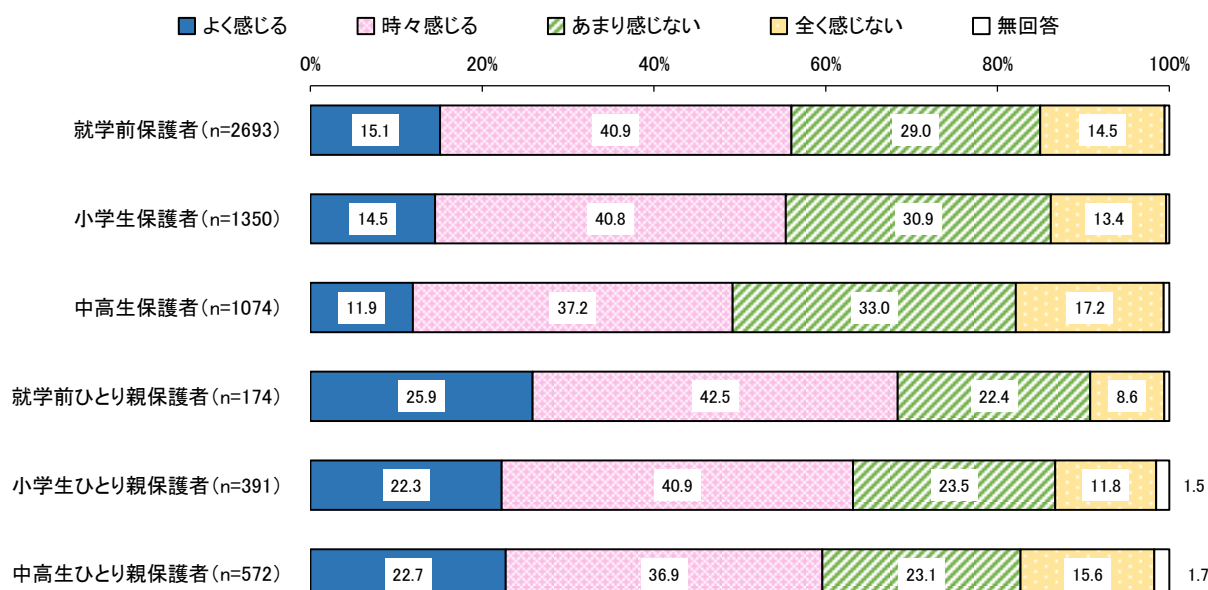


<生活困難度別>

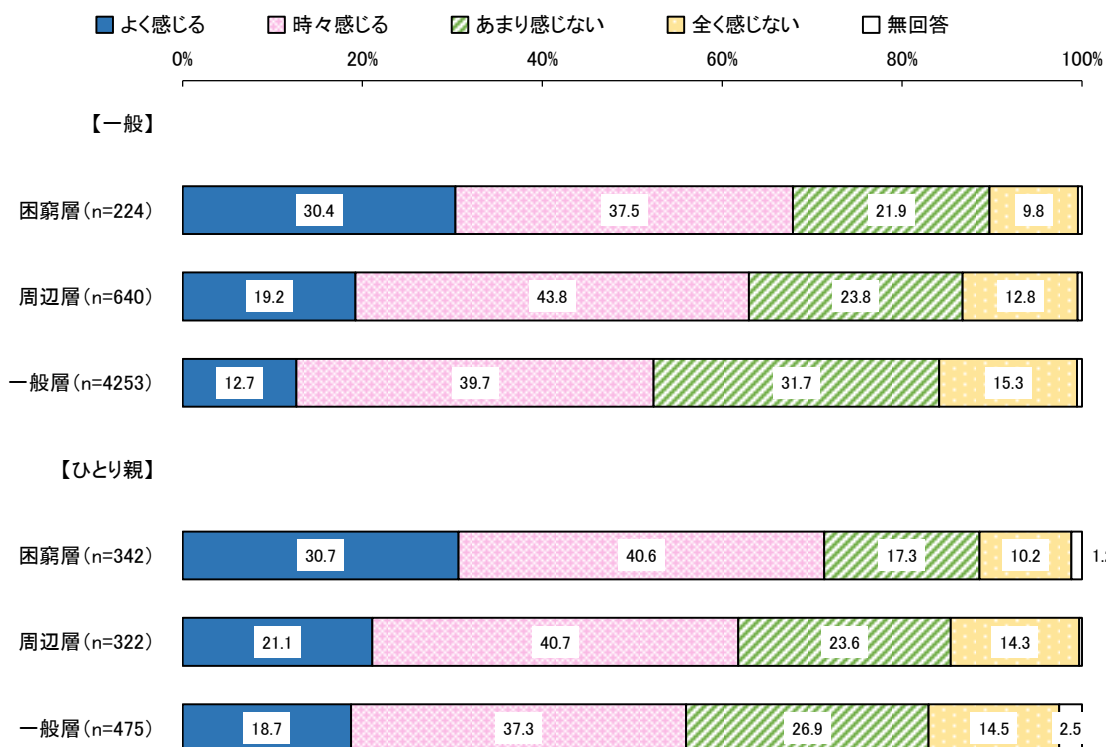


⑨ 親の責任として、子育てに不安や負担を感じる

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、困窮層で高い。

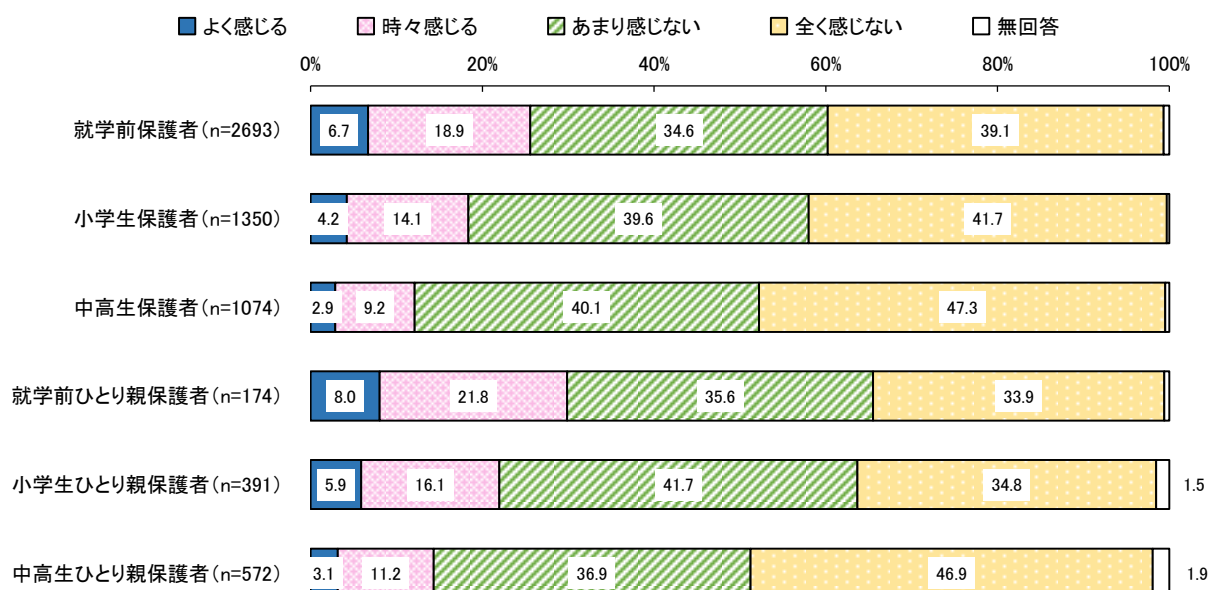


<生活困難度別>

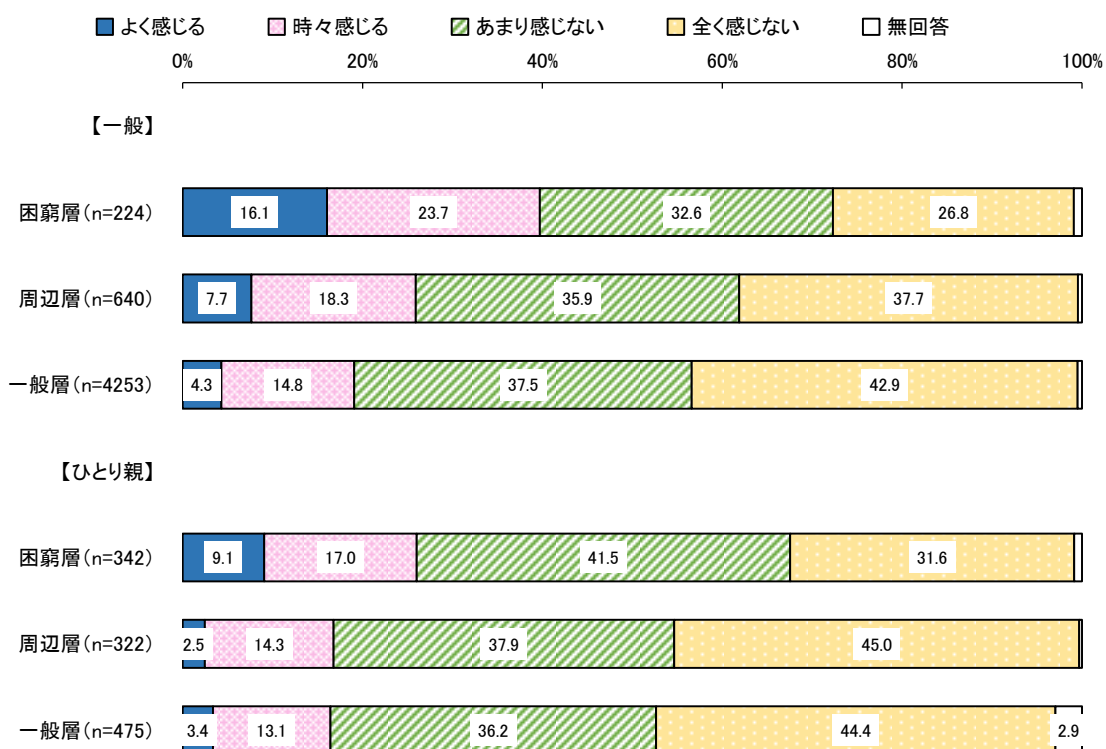


⑩ 子育てに追われ、社会から孤立するようになる

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯の困窮層で高い。

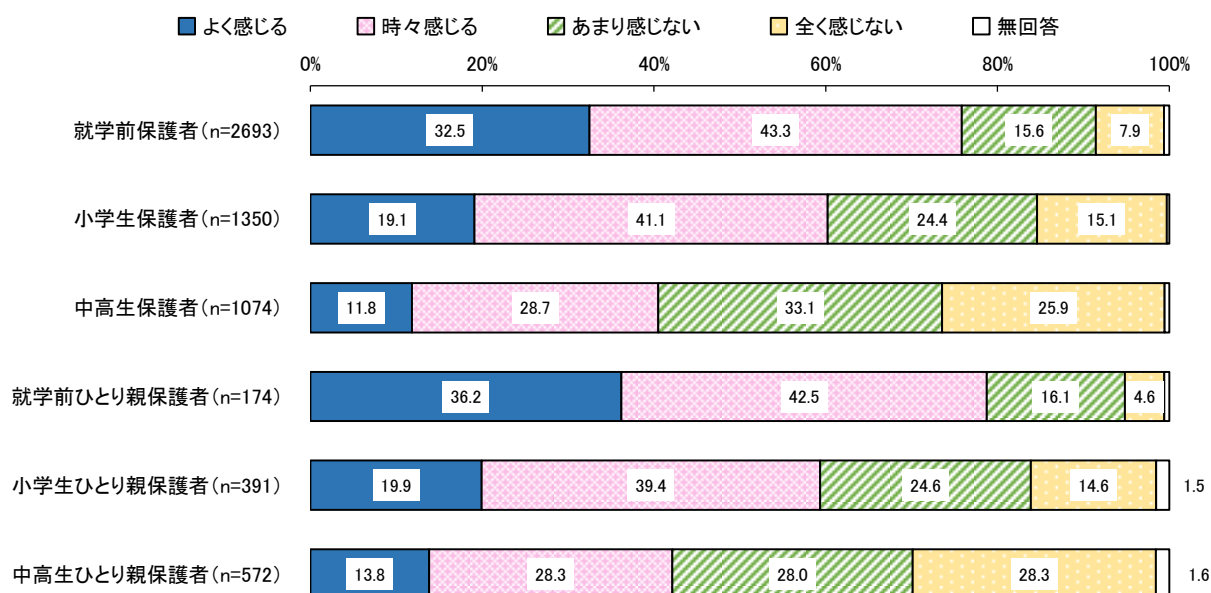


<生活困難度別>

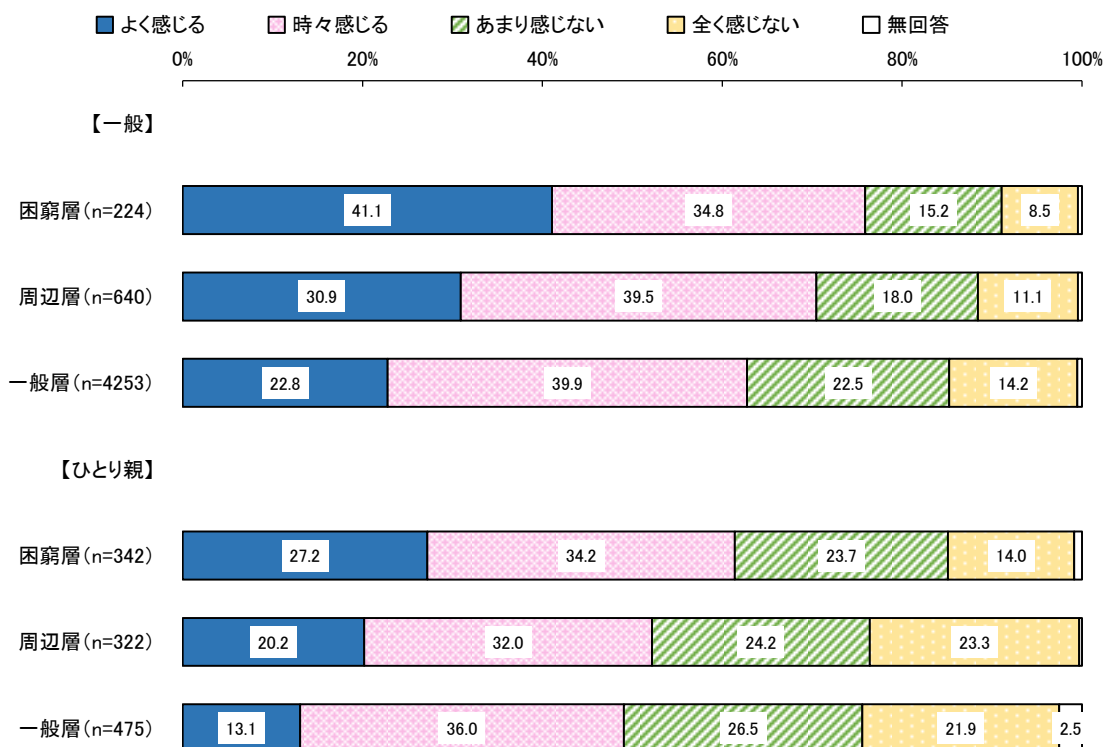


⑪ 子育てによる身体の疲れを感じる

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が上がるにつれて低くなっている。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯の困窮層で高い。

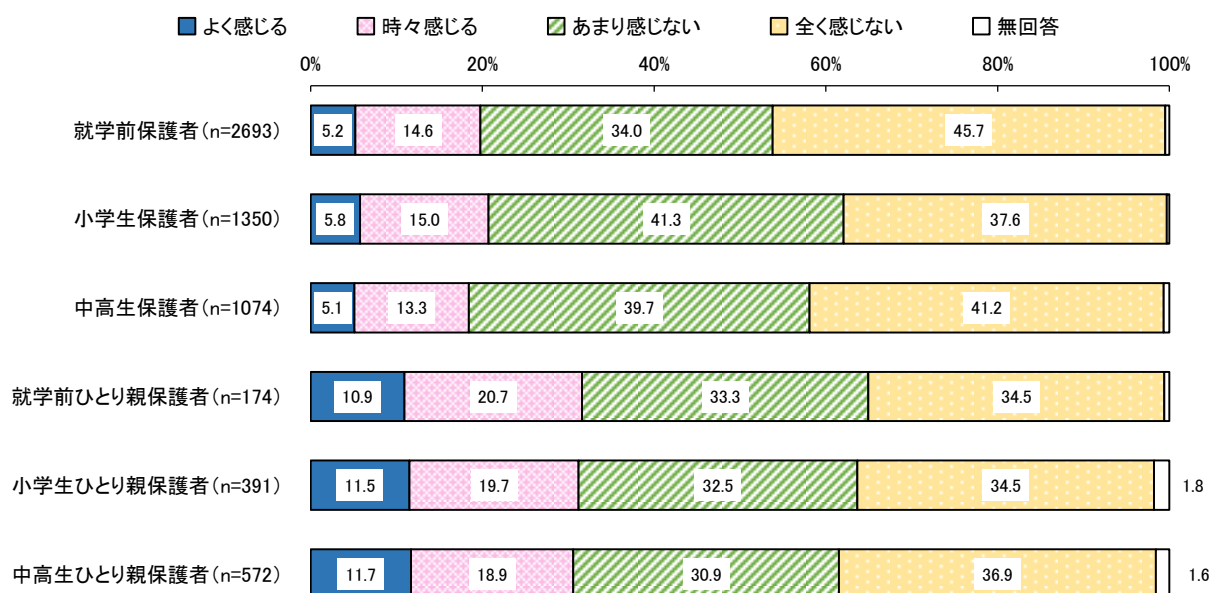


<生活困難度別>

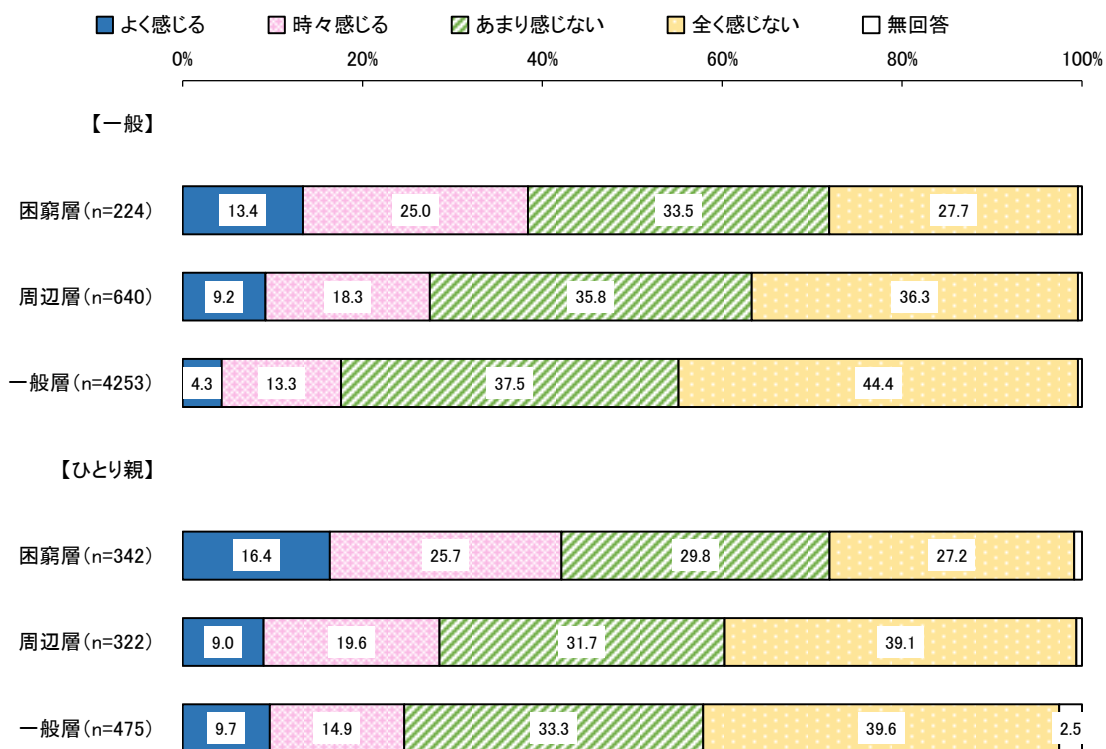


⑫ 子育てに関する不安や悩みを気軽に相談できる相手が身近にいない

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、一般世帯よりもひとり親世帯で高い。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、困窮層で高い。

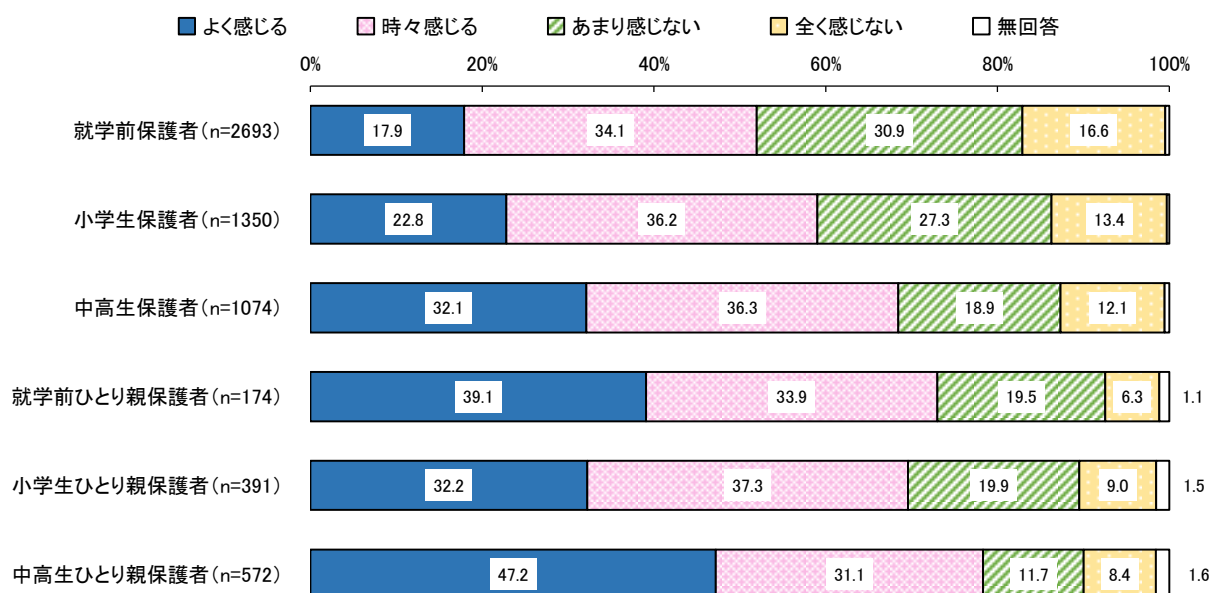


<生活困難度別>

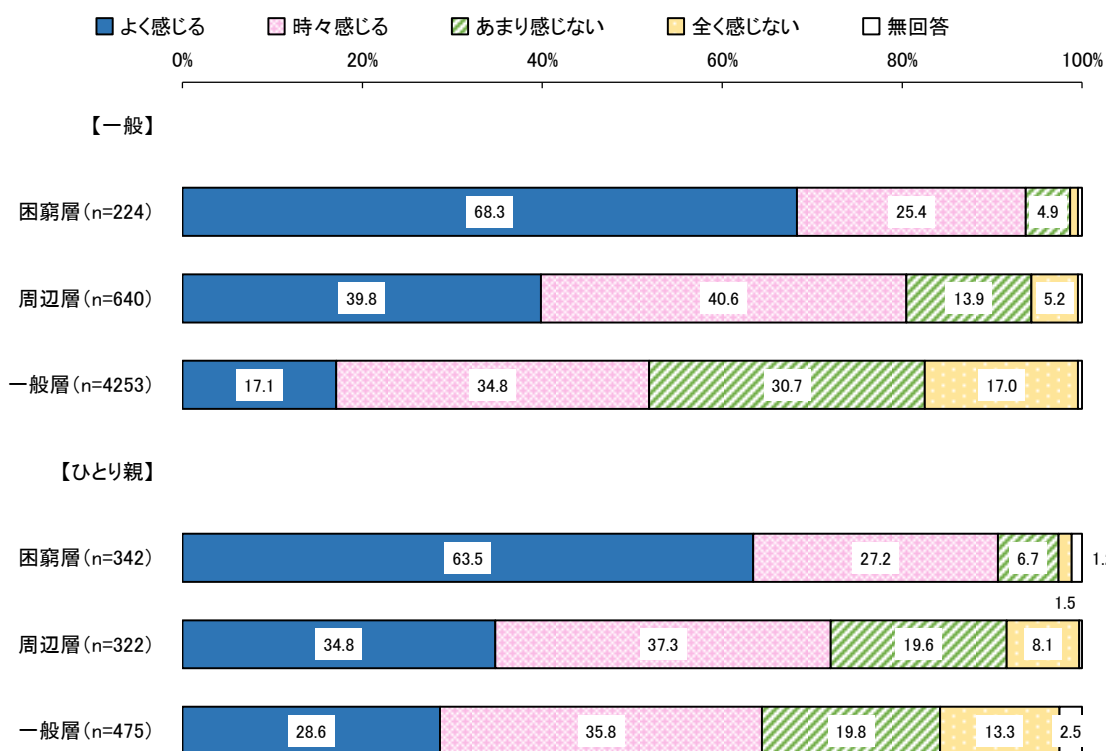


⑬ 子育てや教育にかかる出費がかさみ、費用面で厳しい

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、全ての区分で5割を超えている。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、困窮層で高い。

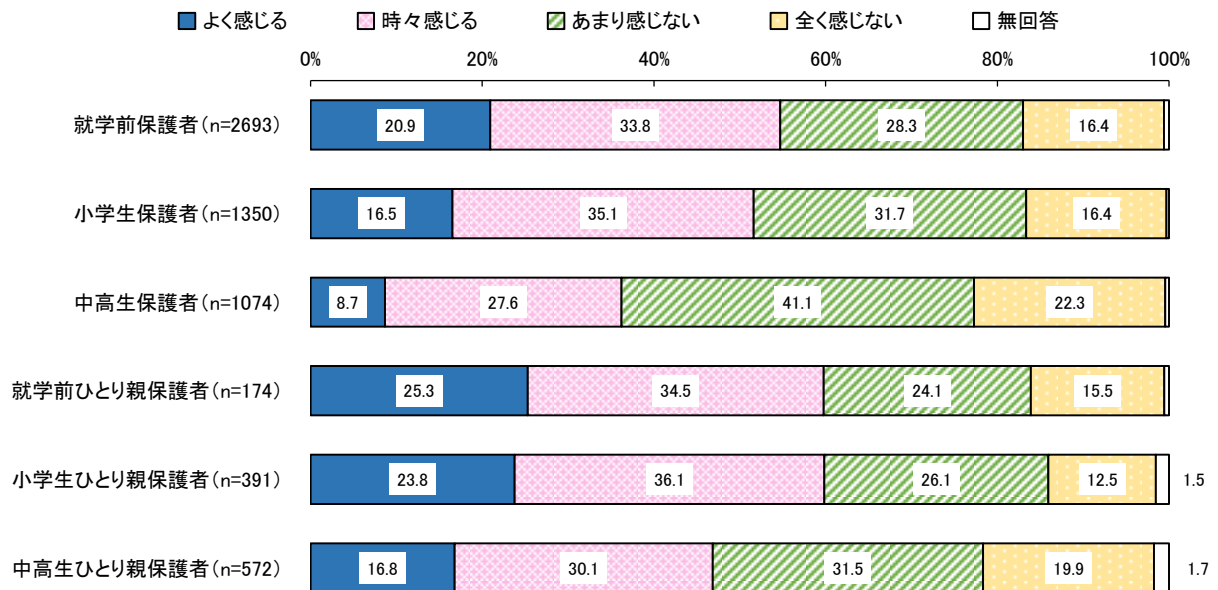


<生活困難度別>

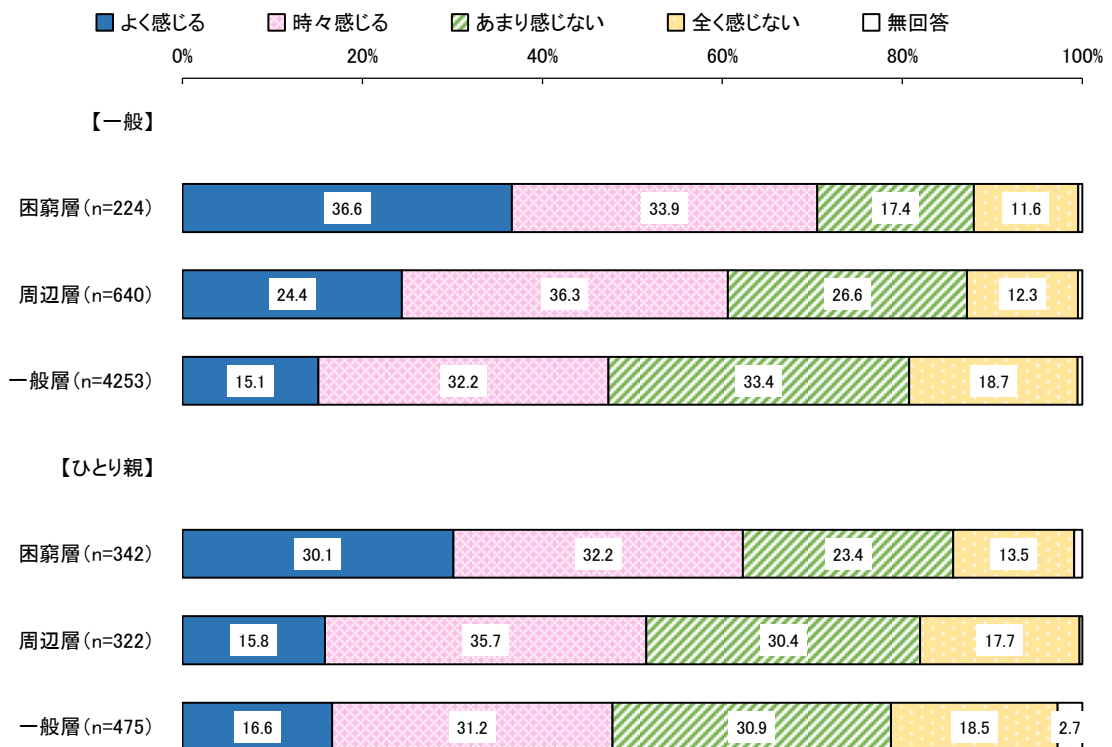


⑭ 仕事や地域活動などの社会活動と子育ての両立が難しい

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、子どもの年齢が低いほど高い傾向がある。
- ・生活困難度別にみると、「よく感じる」「時々感じる」の割合は、困窮層で高い。

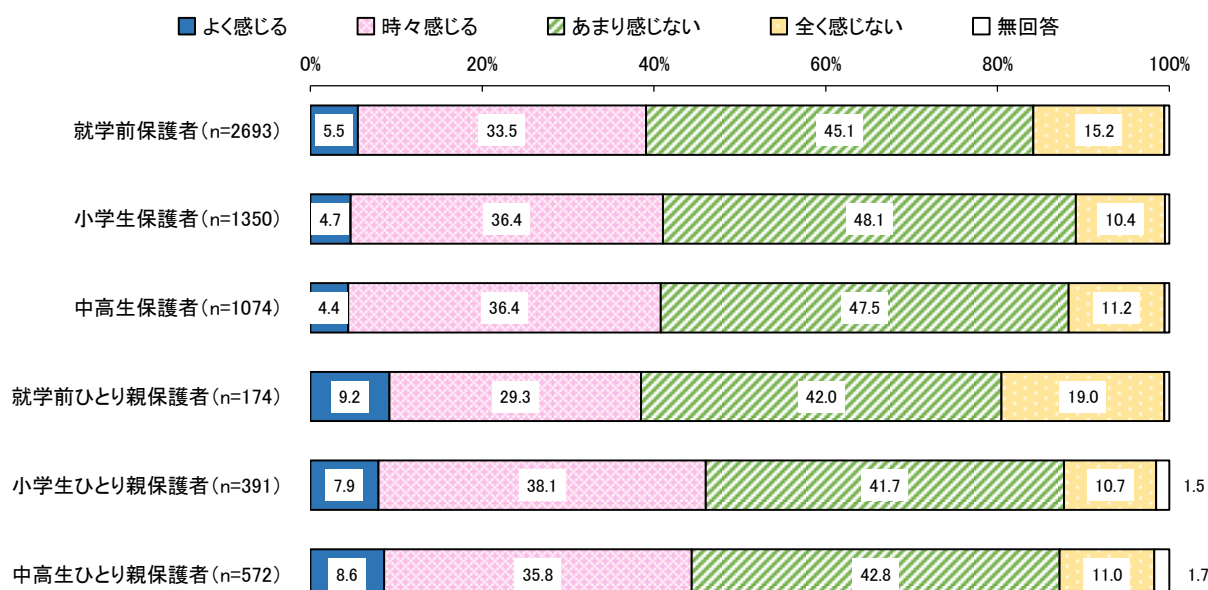


<生活困難度別>

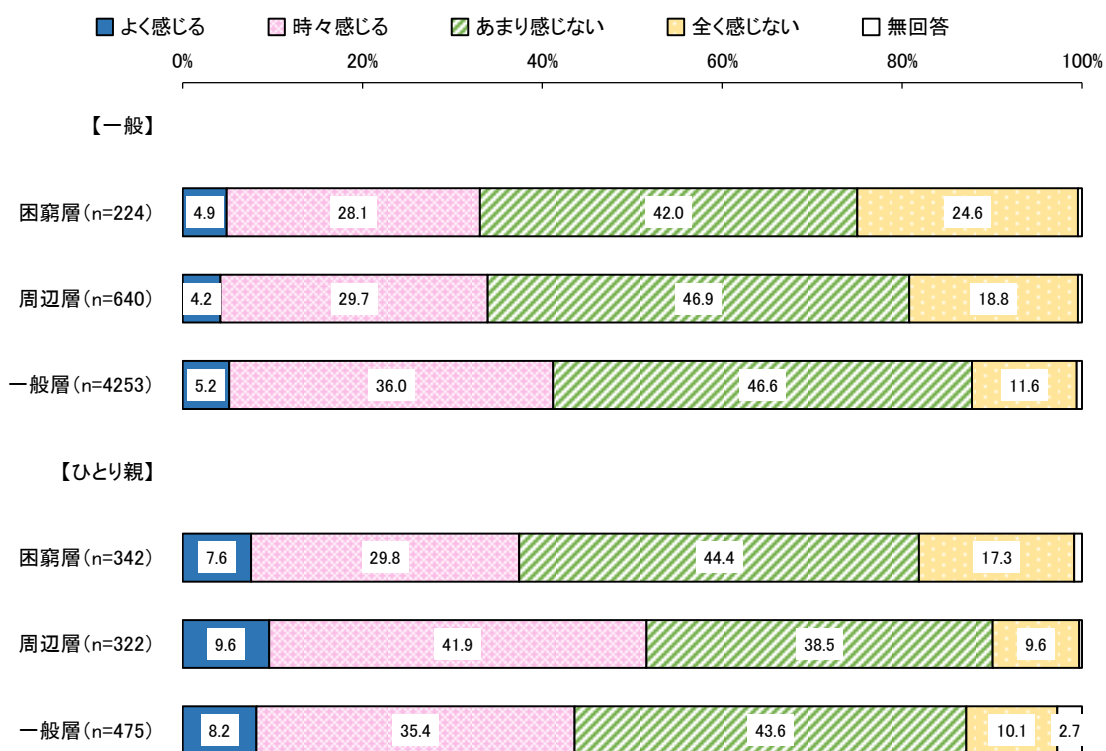


⑮ 船橋市は「子育てにやさしいまちである」と感じる

- ・「よく感じる」「時々感じる」の割合は、概ね4割程度である。
- ・生活困難度別にみると、「全く感じない」の割合は、一般世帯の困窮層で高い。



<生活困難度別>



- ・肯定的な子育てに関する感情（例えば、「子どもがいると家庭が明るくなる」）に関しては、すべての区分で高い実感率を示している。
- ・子育てに喜びを感じる方が多い中、一方で、不安や難しさを抱える方も存在することがわかった。

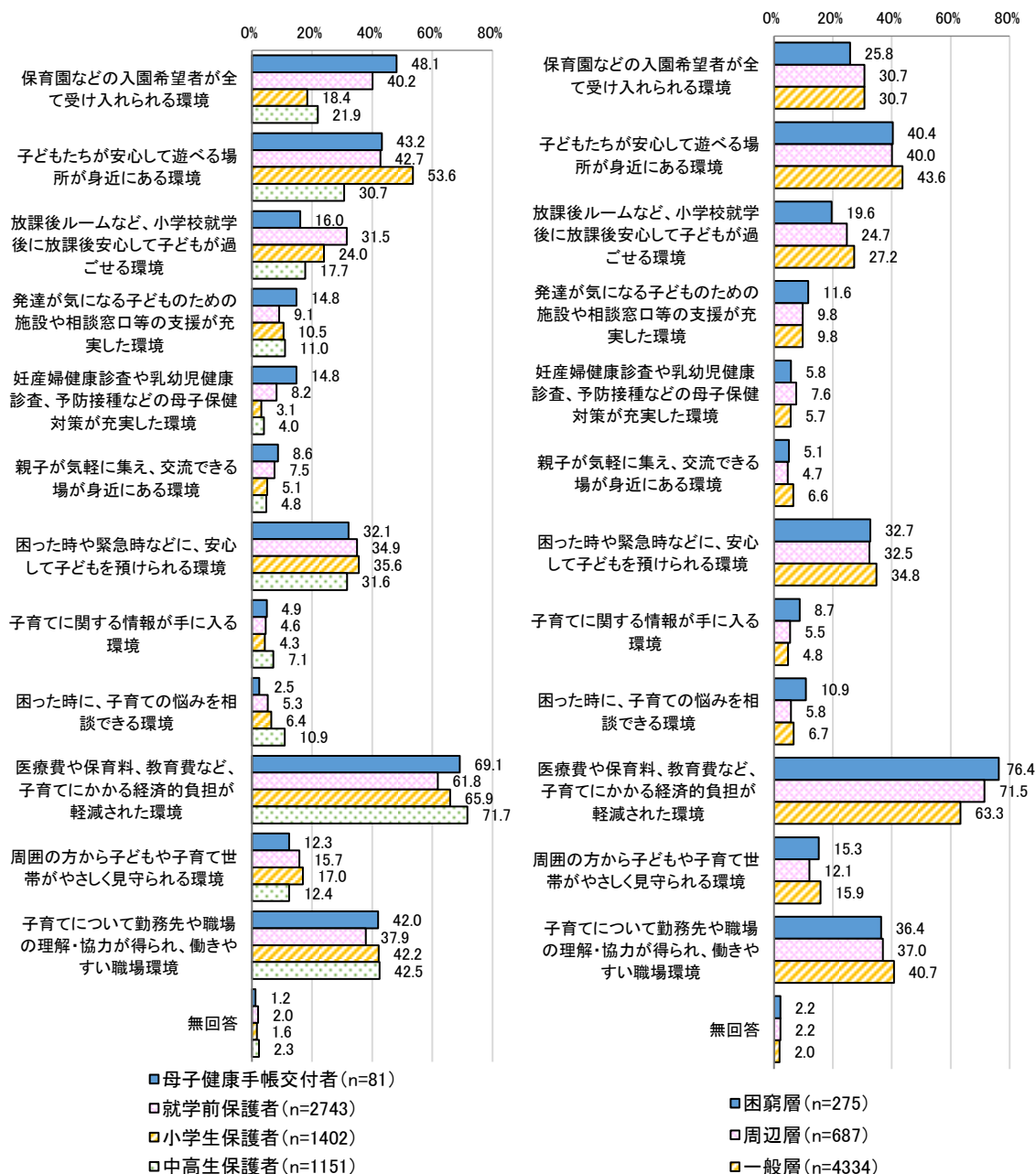
(3) 子育てがしやすくなると思う環境

問 これまでの経験や、これからのことを考えて、どのような環境を整えば、もっと子育てがしやすくなると思いますか。(あてはまる番号に3つまで○)

母問16、就問44、小問40、中高問37、ひ就問56、ひ小問51、ひ中高問48

- すべての区分で「医療費や保育料、教育費など、子育てにかかる経済的負担が軽減された環境」の割合が最も高い。

<生活困難度別>



- 子育てにかかる経済的負担の軽減について、すべての区分で最も要望されている。
- 仕事と育児の両立を支援するための職場環境や、緊急時の子どもの預け先の確保の要望も多い。

1-15. ひとり親家庭について（就労、資格、養育費、親子交流について）

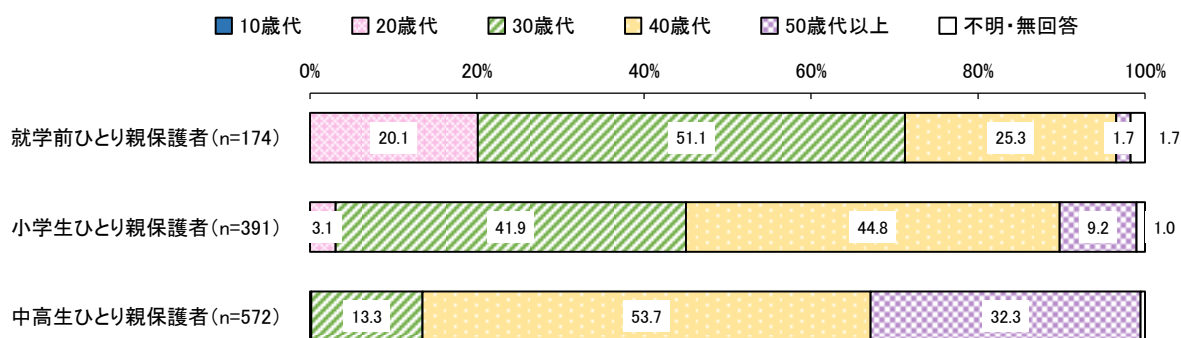
（1）年齢

問 あなたの現在の年齢と、ひとり親もしくは養育者になったときの年齢を、それぞれ□の中にご記入ください。

ひ問20、ひ就問6、ひ小問6、ひ中高問6

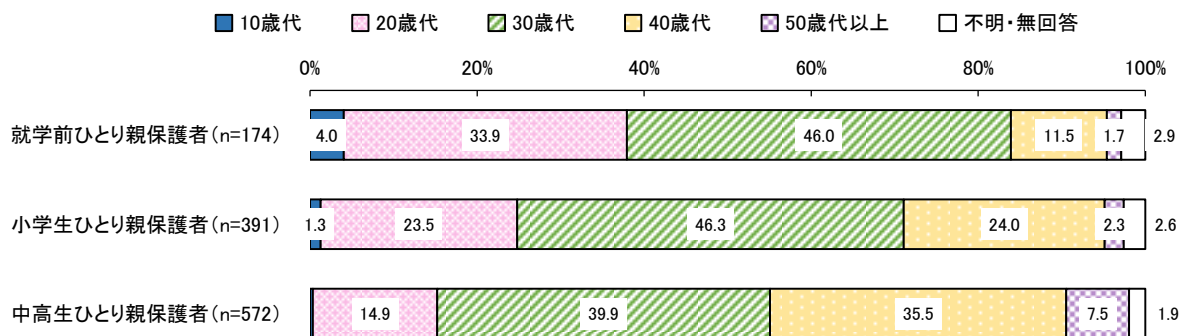
① 現在の年齢

・各調査対象の現在の年齢は以下のとおりとなっている。



② ひとり親もしくは養育者になったときの年齢

・各調査対象のひとり親もしくは養育者になったときの年齢は以下のとおりとなっている。

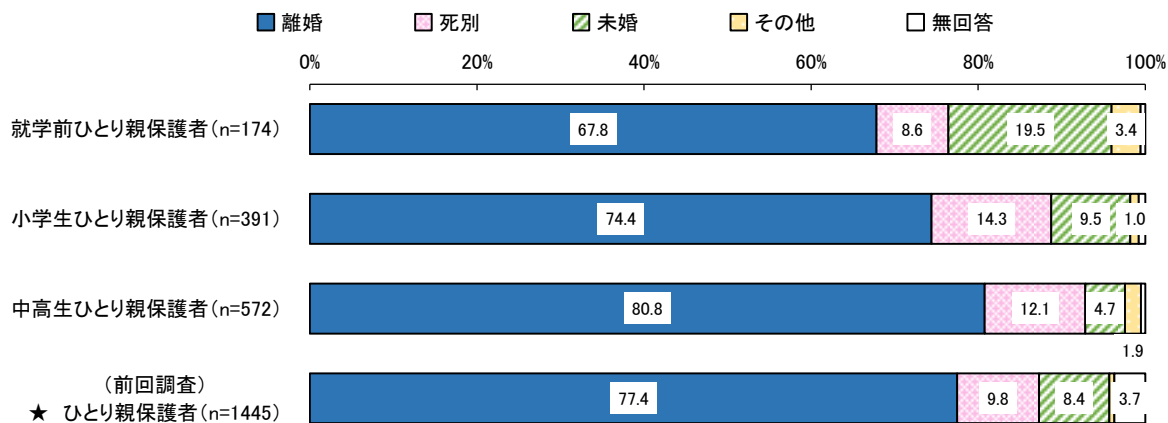


(2) ひとり親になった事情

問 ひとり親もしくは養育者になったご事情はなんですか。(1つに○)

ひ問2 1、ひ就問7、ひ小問7、ひ中高問7

・各調査対象のひとり親もしくは養育者になった事情は以下のとおりとなっている。



(3) 就労状況

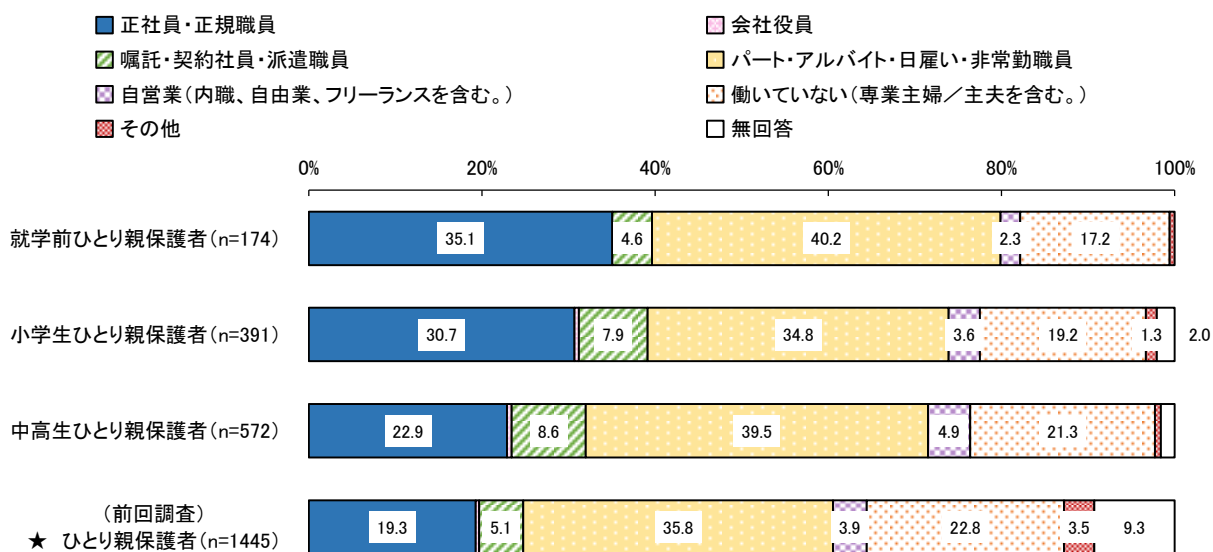
問 あなたの雇用形態・職種に関して、「ひとり親もしくは養育者になる以前」と「現在」の状況を教えてください。(それぞれ選択肢からあてはまる番号を記入)

ひ問28、ひ就問24、ひ小問27、ひ中高問27

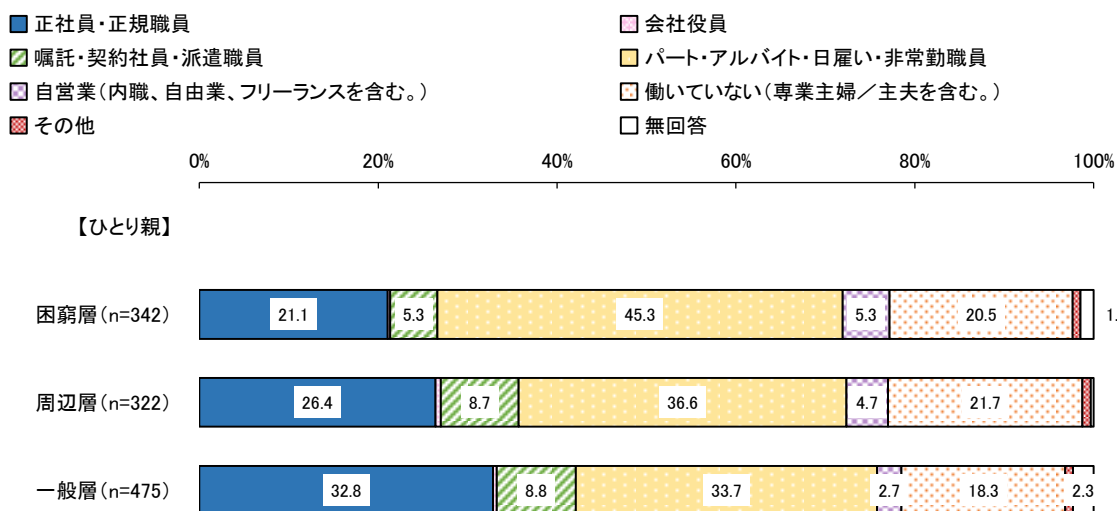
【雇用形態】

・「ひとり親もしくは養育者になる以前」より「現在」のほうが「正社員・正規職員」の割合が高くなっている。

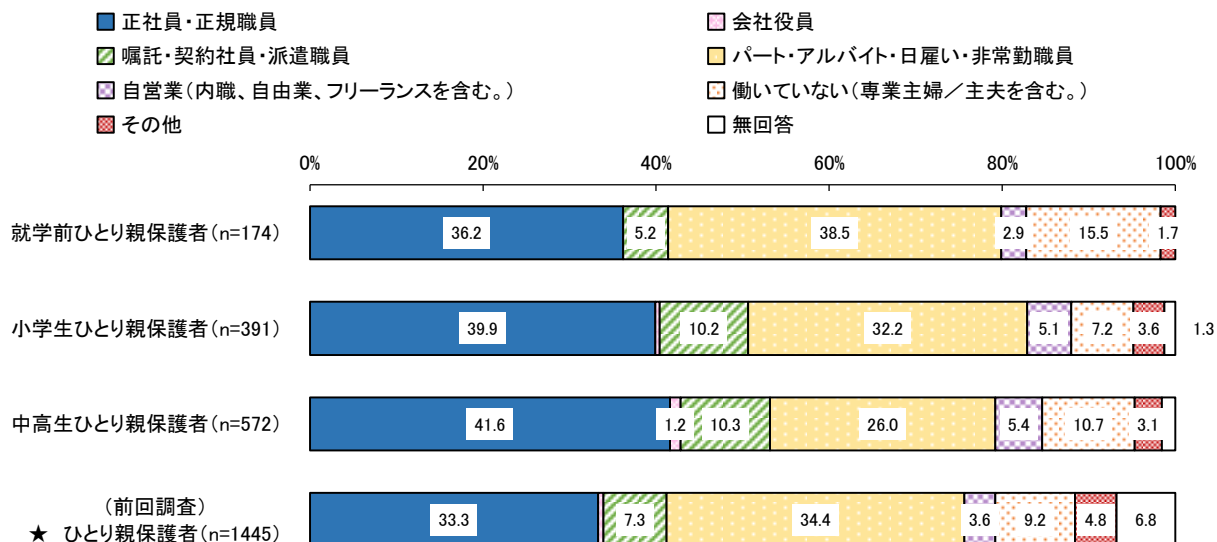
① ひとり親もしくは養育者になる以前



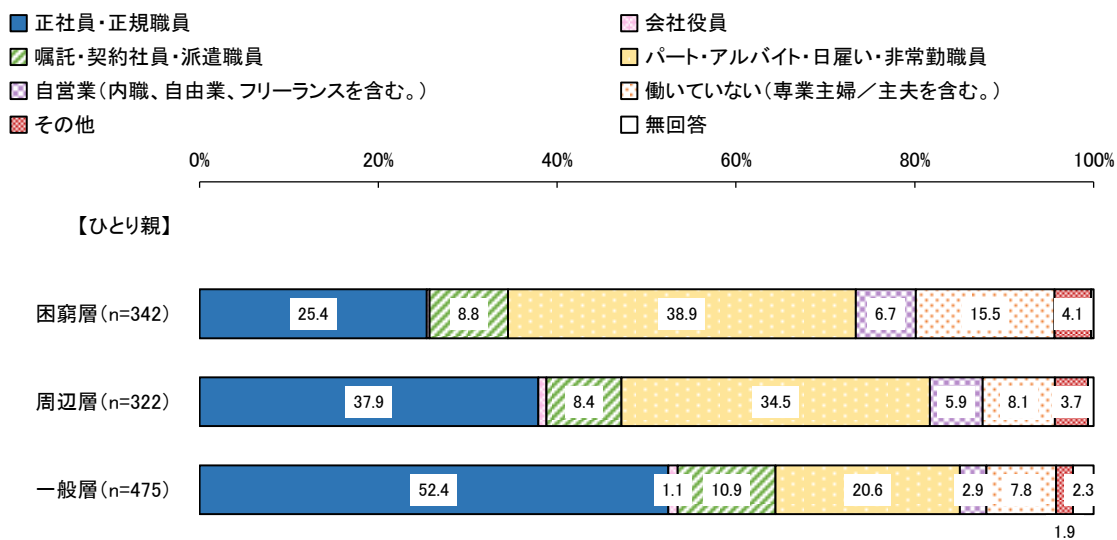
<生活困難度別>



② 現在



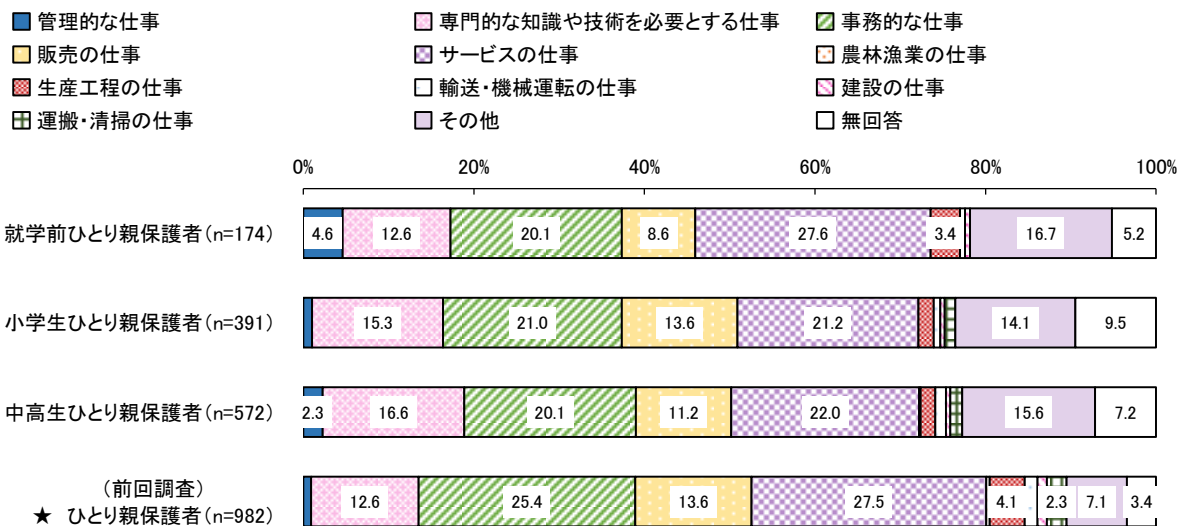
<生活困難度別>



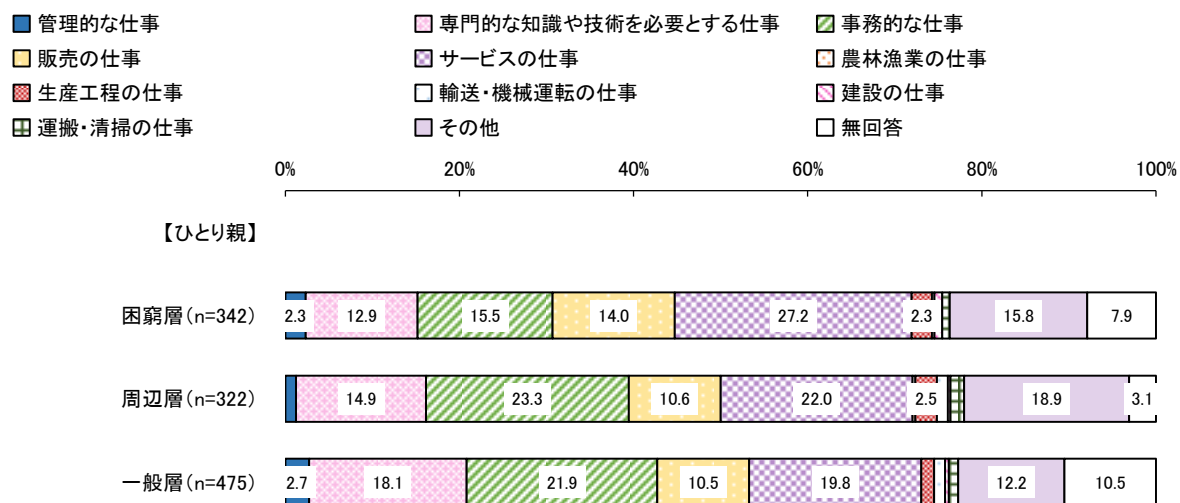
【職種】

・「ひとり親もしくは養育者になる以前」より「現在」のほうが「専門的な知識や技術を必要とする仕事」に就く割合が高くなっている。

① ひとり親もしくは養育者になる以前



<生活困難度別>



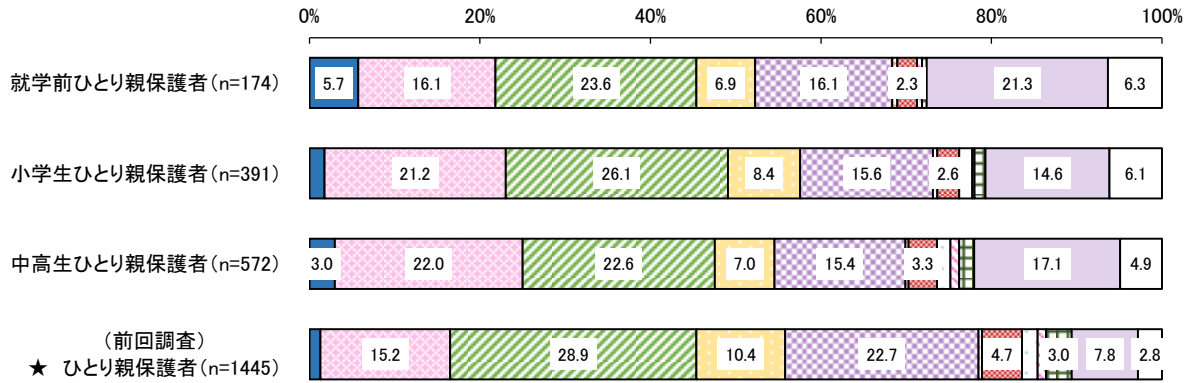
※2.0%未満はラベル非表示

② 現在

- 管理的な仕事
- 販売の仕事
- 生産工程の仕事
- 運搬・清掃の仕事

- 専門的な知識や技術を必要とする仕事
- サービスの仕事
- 輸送・機械運転の仕事
- その他

- 事務的な仕事
- 農林漁業の仕事
- 建設の仕事
- 無回答

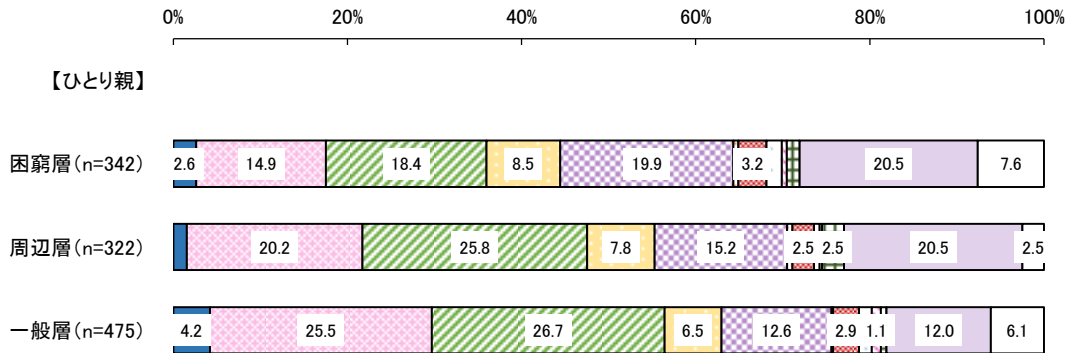


<生活困難度別>

- 管理的な仕事
- 販売の仕事
- 生産工程の仕事
- 運搬・清掃の仕事

- 専門的な知識や技術を必要とする仕事
- サービスの仕事
- 輸送・機械運転の仕事
- その他

- 事務的な仕事
- 農林漁業の仕事
- 建設の仕事
- 無回答



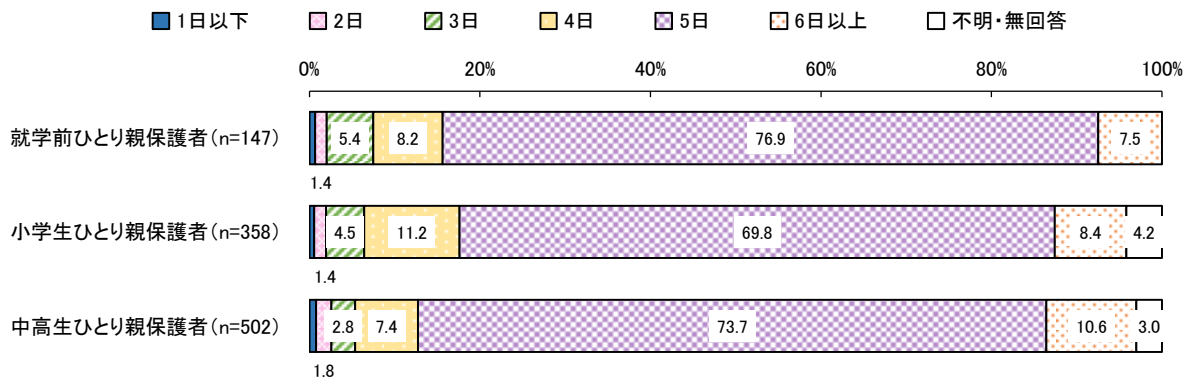
※2.0%未満はラベル非表示

問 就労日数や就労時間、また家を出る時刻、家に帰る時刻をお答えください。

ひ問 2 8-1、ひ就問 2 4-1、ひ小問 2 7-1、ひ中高問 2 7-1

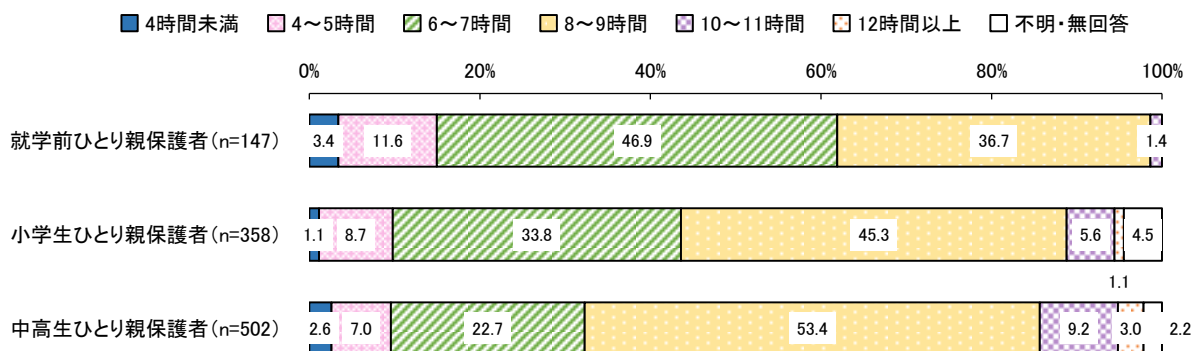
① 1週あたりの就労日数

・「5日」の割合が最も高い。



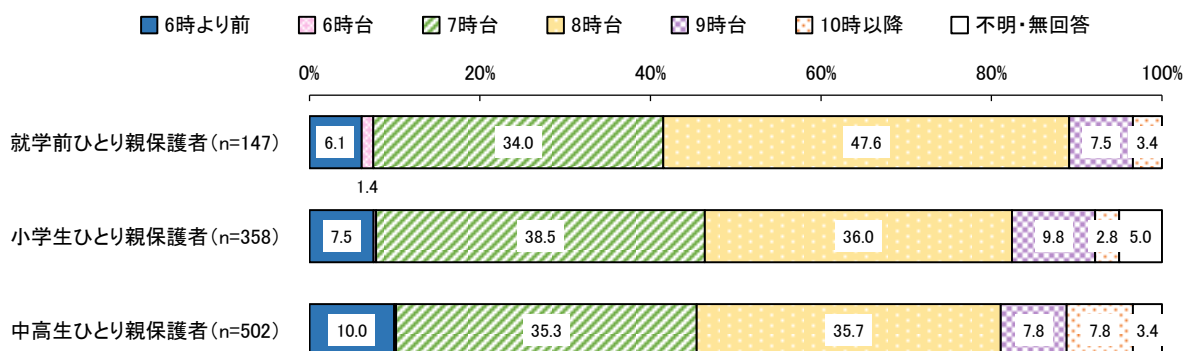
② 1日あたりの就労時間

・就労時間は、子どもの学年が上がるほど長い。



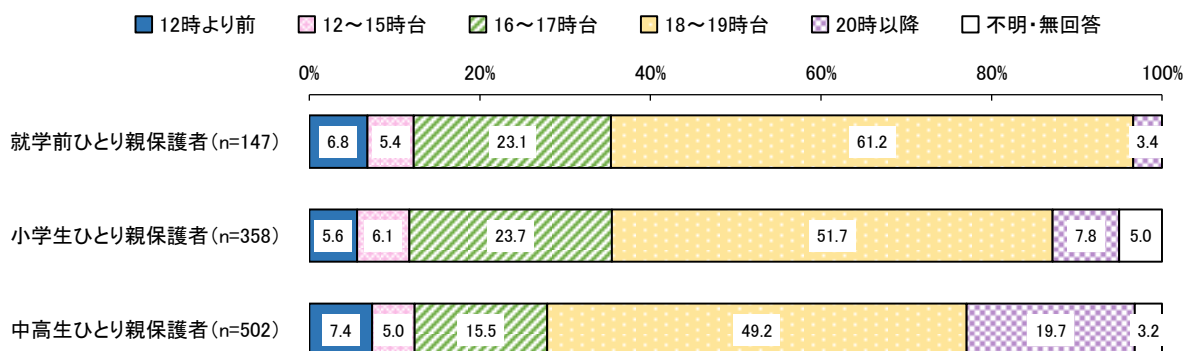
③ 家を出る時刻

・家を出る時刻は、「7時台」「8時台」が多い。



④ 家に帰る時刻

・家に帰る時刻は、子どもの学年が上がるほど遅い傾向がみられる。

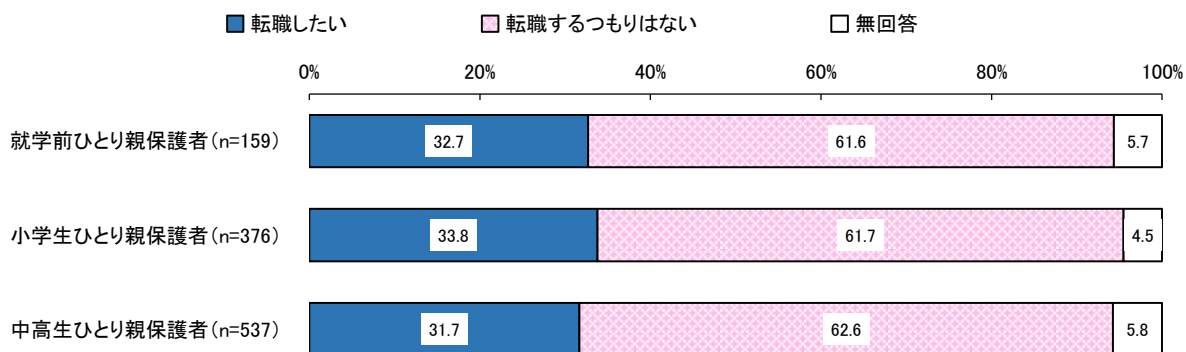


(4) 転職希望

問 あなたは現在、おもな仕事について転職する希望がありますか。(1つに○)

ひ問29、ひ就問25、ひ小問28、ひ中高問28

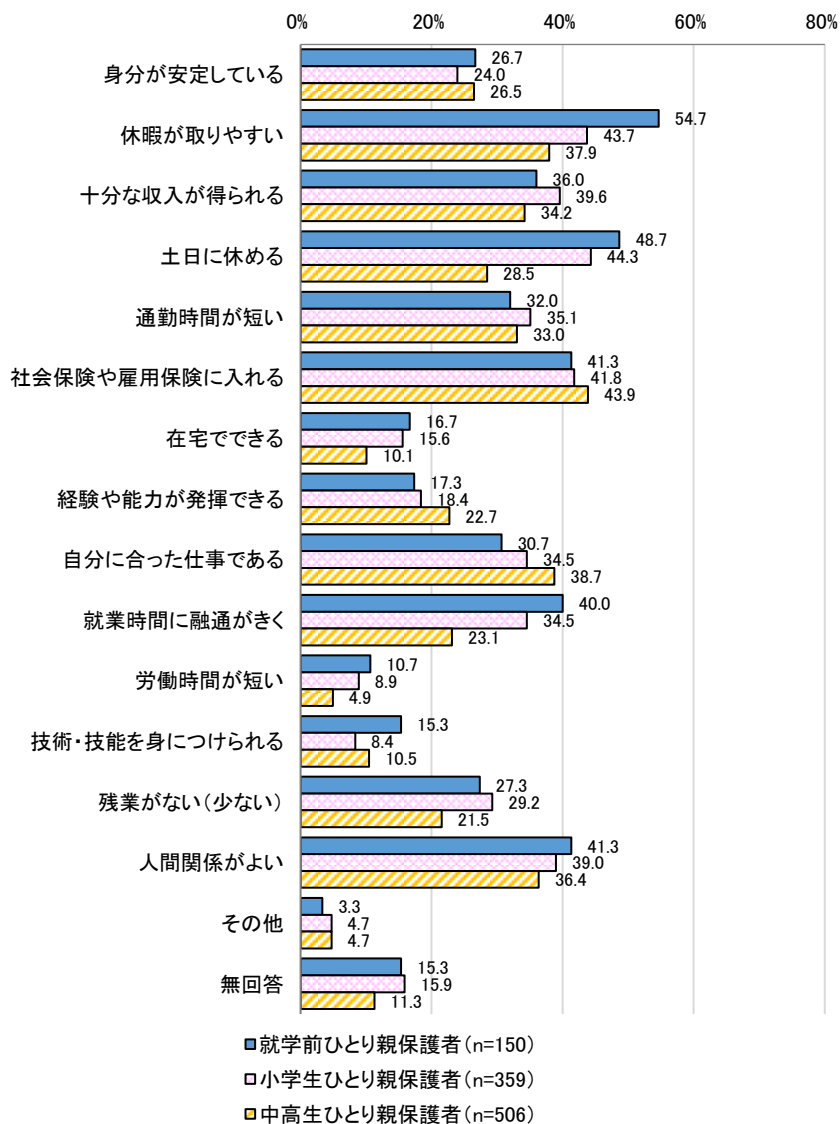
・「転職したい」割合は、すべての世帯で3割台となっている。



問 「転職したい」とお考えの方は、どのような点を重視して新しい仕事・職場を選びますか。また、「転職するつもりはない」とお考えの方は、現在の仕事・職場のどの点に満足していますか。(あてはまる番号すべてに○)

ひ問29-1、ひ就問25-1、ひ小問28-1、ひ中高問28-1

- ・ 就学前ひとり親保護者や小学生ひとり親保護者では「休暇が取りやすい」「土日に休める」の割合が高い。
- ・ 中高生ひとり親保護者では「社会保険や雇用保険に入れる」「自分に合った仕事である」の割合が高い。

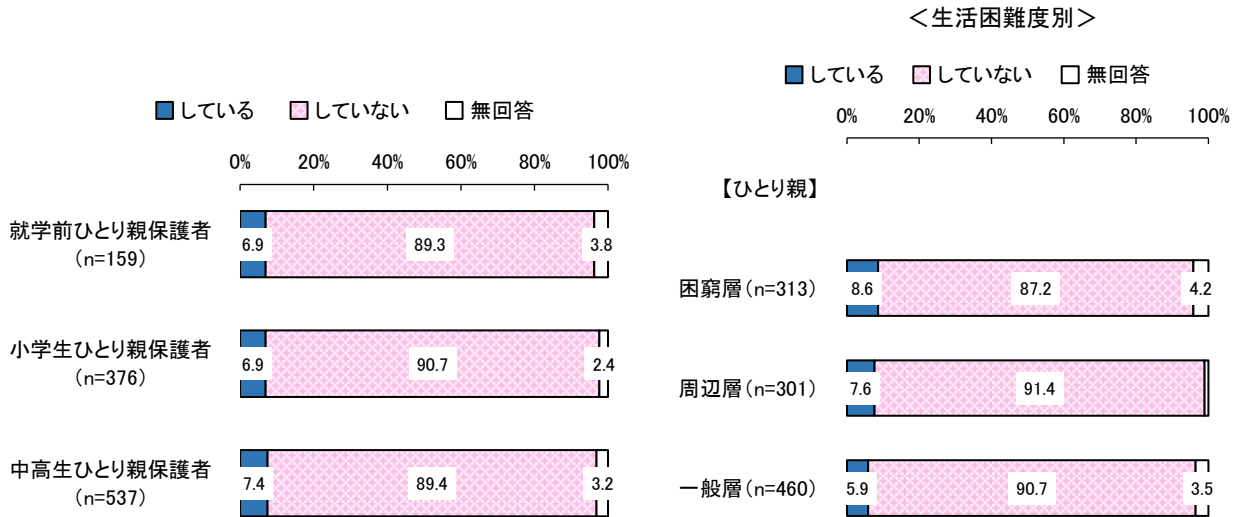


(5) 副業について

問 あなたは現在、おもな仕事以外に別の仕事（副業）をしていますか。（1つに○）

ひ問30、ひ就問26、ひ小問29、ひ中高問29

・「している」の割合は、困窮層でやや高い。

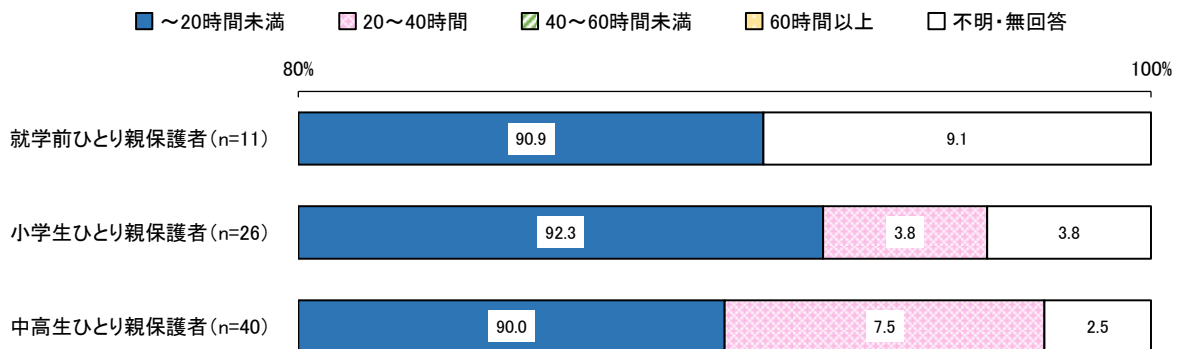


問 別の仕事（副業）は1週間あたり、平均して何時間くらい働いていますか。また、勤務時間帯について、次の選択肢の番号を□の中にご記入ください。

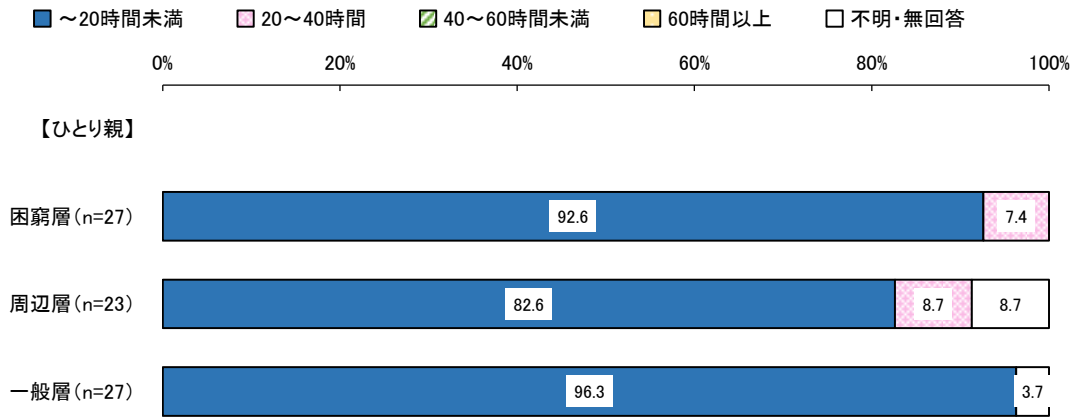
ひ問30-1、ひ就問26-1、ひ小問29-1、ひ中高問29-1

※該当者が少ないため、副業に関してはグラフのみの掲載とする。

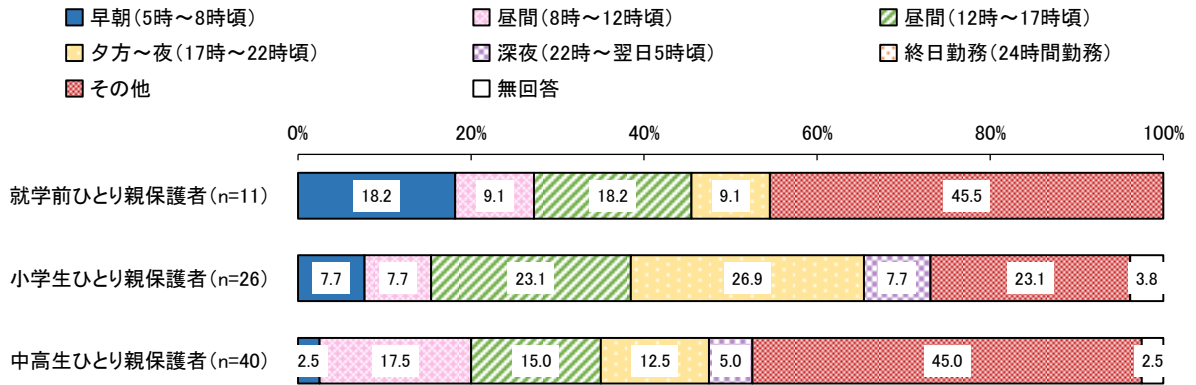
① 勤務時間



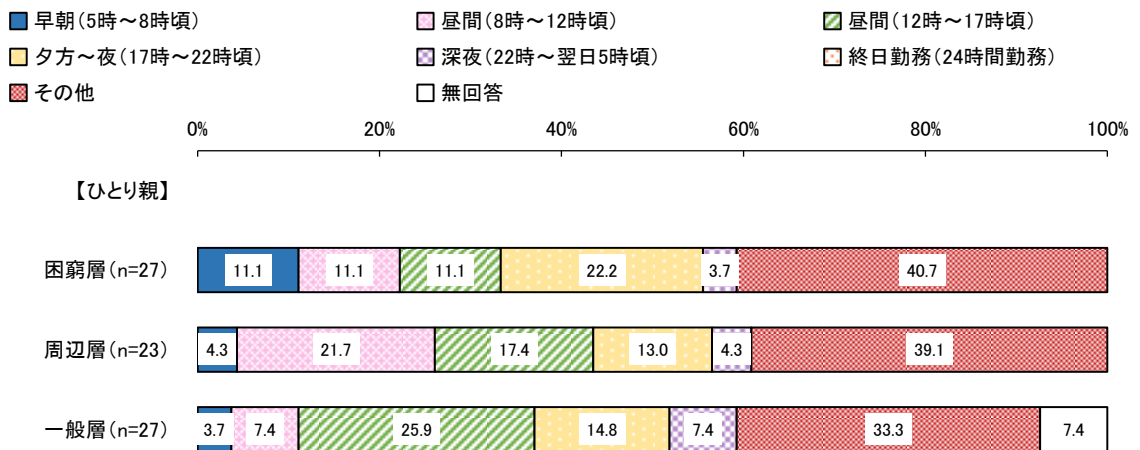
<生活困難度別>



② 勤務時間帯

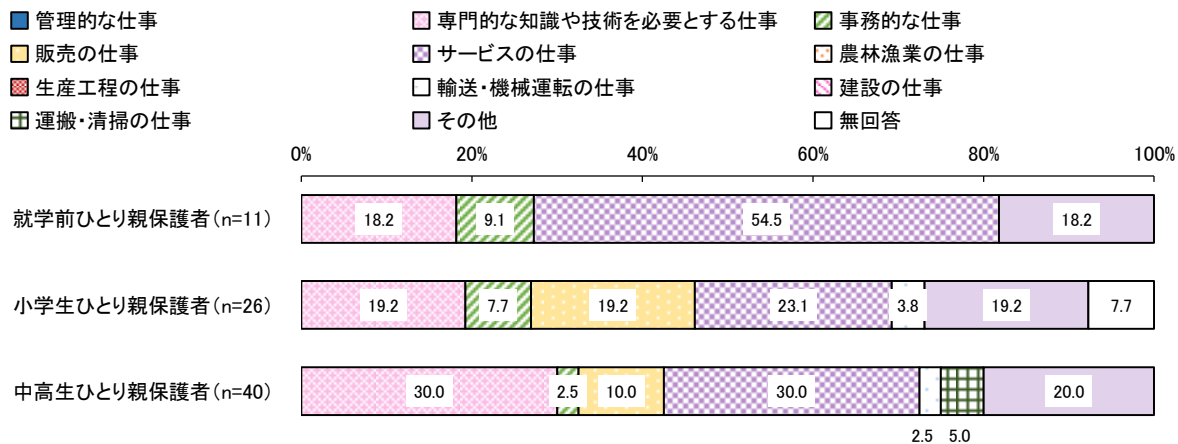


<生活困難度別>

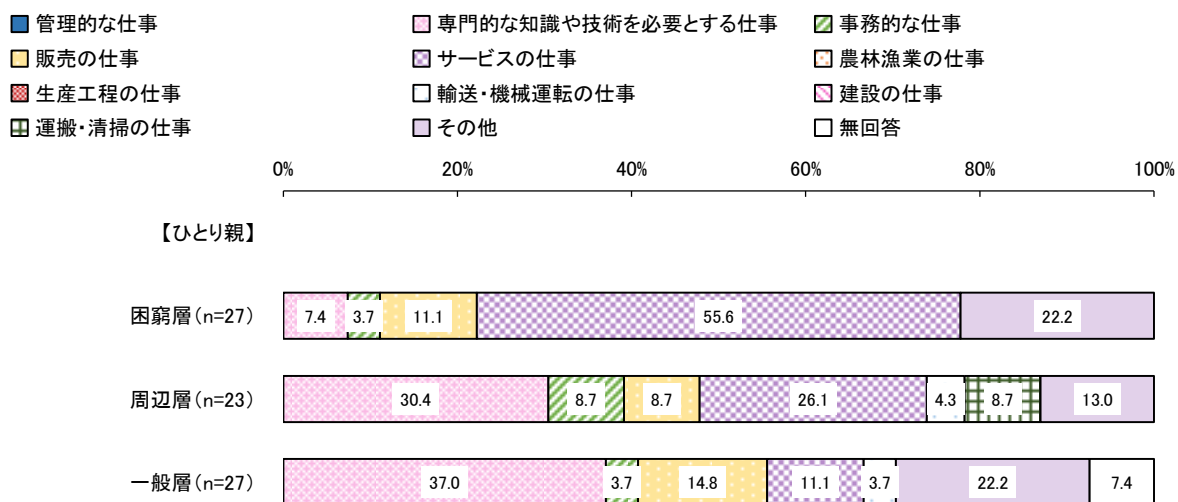


問 どのような副業をしていますか。(選択肢からあてはまる番号を記入)

ひ問30-2、ひ就問26-2、ひ小問29-2、ひ中高問29-2

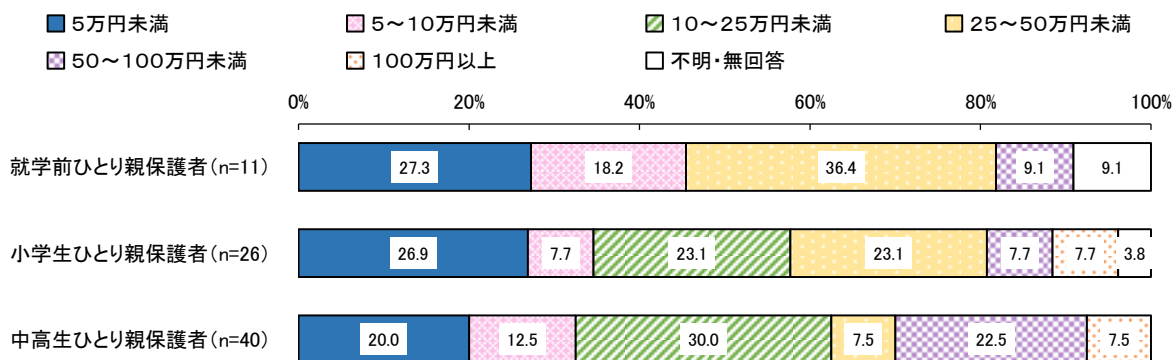


<生活困難度別>

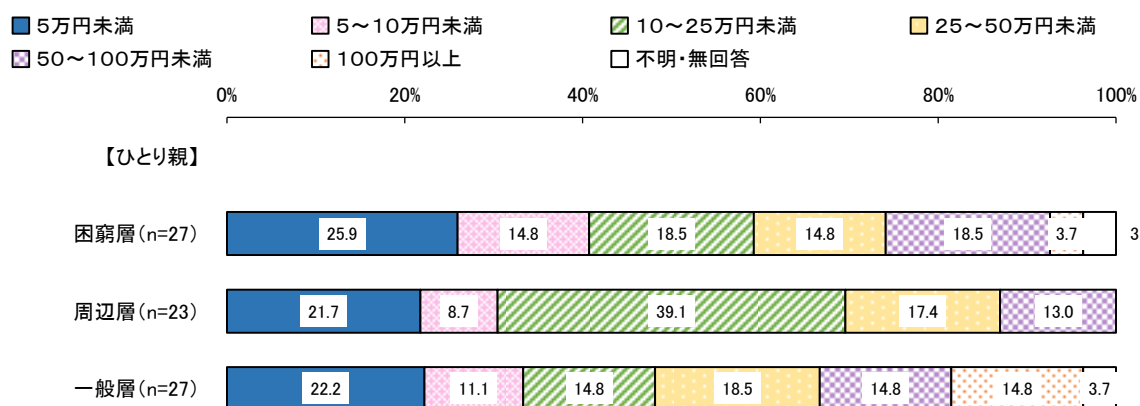


問 副業から得る年収はどのくらいですか。

ひ問30-3、ひ就問26-3、ひ小問29-3、ひ中高問29-3



<生活困難度別>

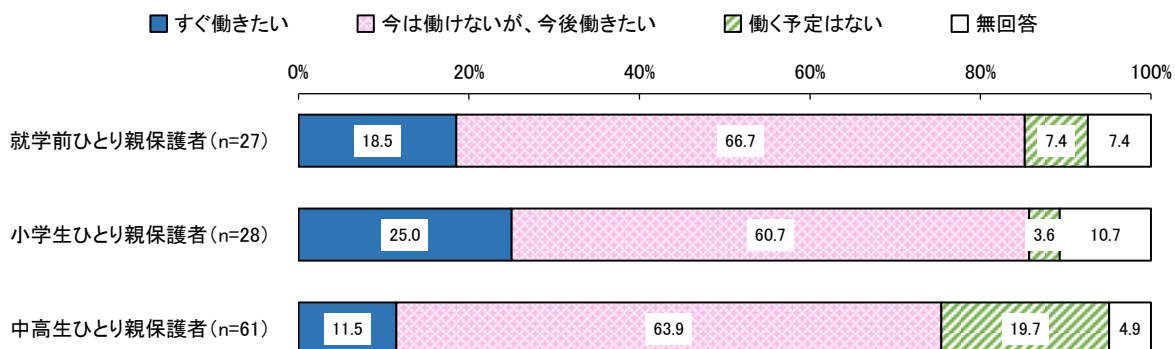


(6) 就労意向

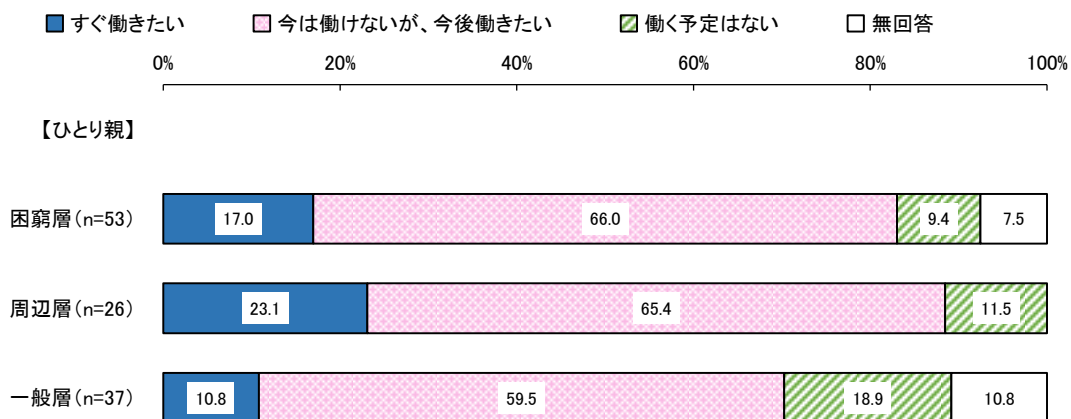
問 現在「働いていない」方にうかがいます。あなたは現在働きたいと思っていますか。(1つに○)

ひ問31、ひ就問27、ひ小問30、ひ中高問30

- ・小学生ひとり親世帯で「すぐ働きたい」割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、周辺層で「すぐ働きたい」割合が高い。



<生活困難度別>



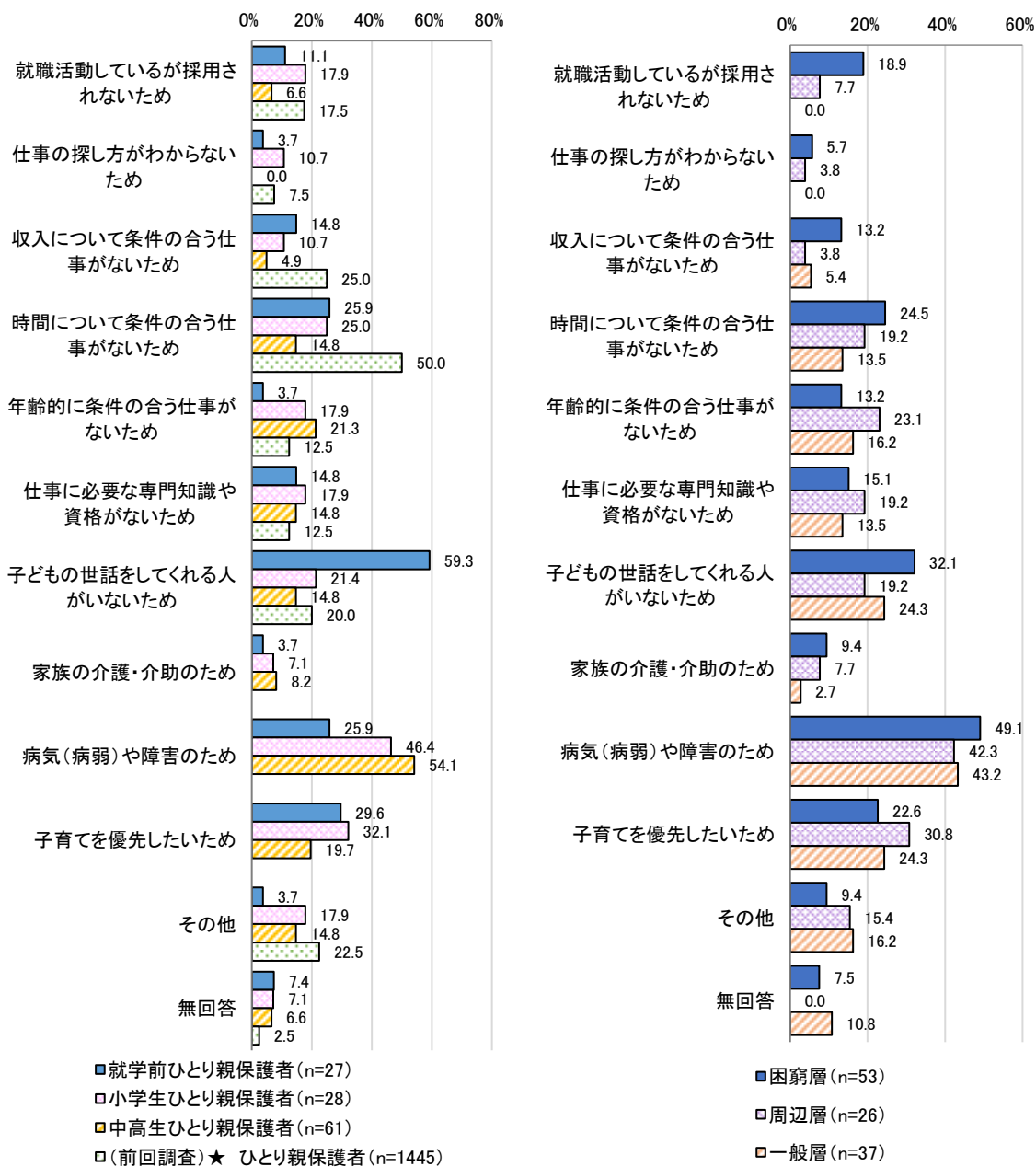
問 働いていない（働けない）理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

ひ問3 1-1、ひ就問2 7-1、ひ小問3 0-1、ひ中高問3 0-1

・就学前ひとり親世帯では「子どもの世話をしてくれる人がいないため」の割合が高い。

<生活困難度別>

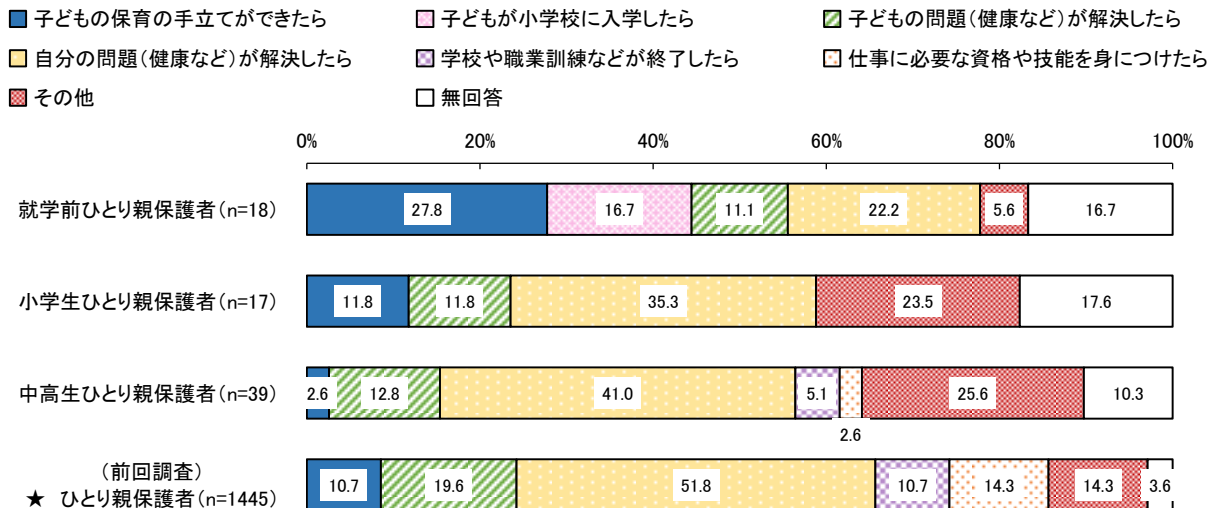
【ひとり親】



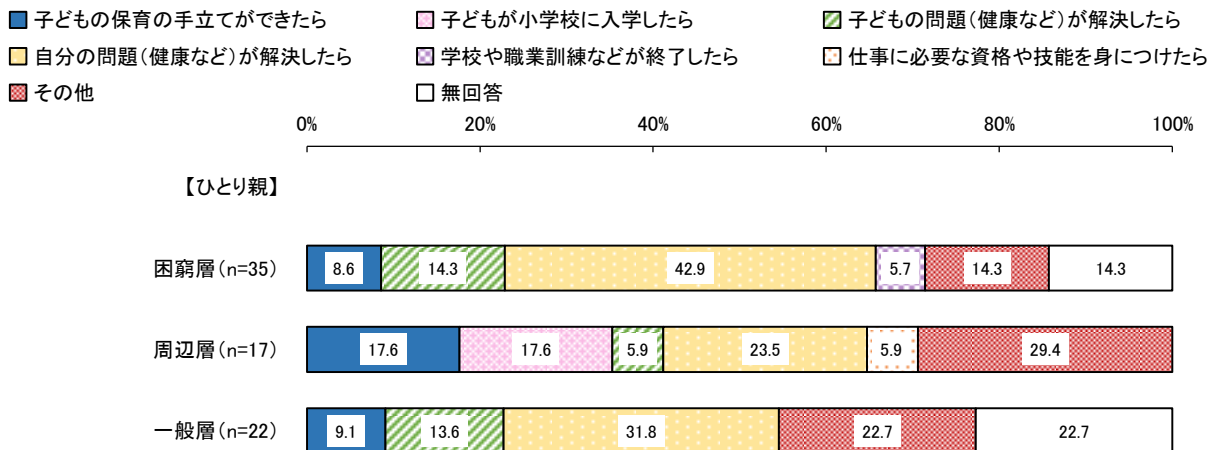
問 どのような状況になれば働きたいと思いますか。(1つに○)

ひ問3 1-2、ひ就問2 7-2、ひ小問3 0-2、ひ中高問3 0-2

- ・ 就学前ひとり親世帯では「子どもの保育の手立てができれば」の割合が高い。
- ・ 小学生、中学生ひとり親世帯では「自分の問題（健康など）が解決したら」の割合が高い。



<生活困難度別>



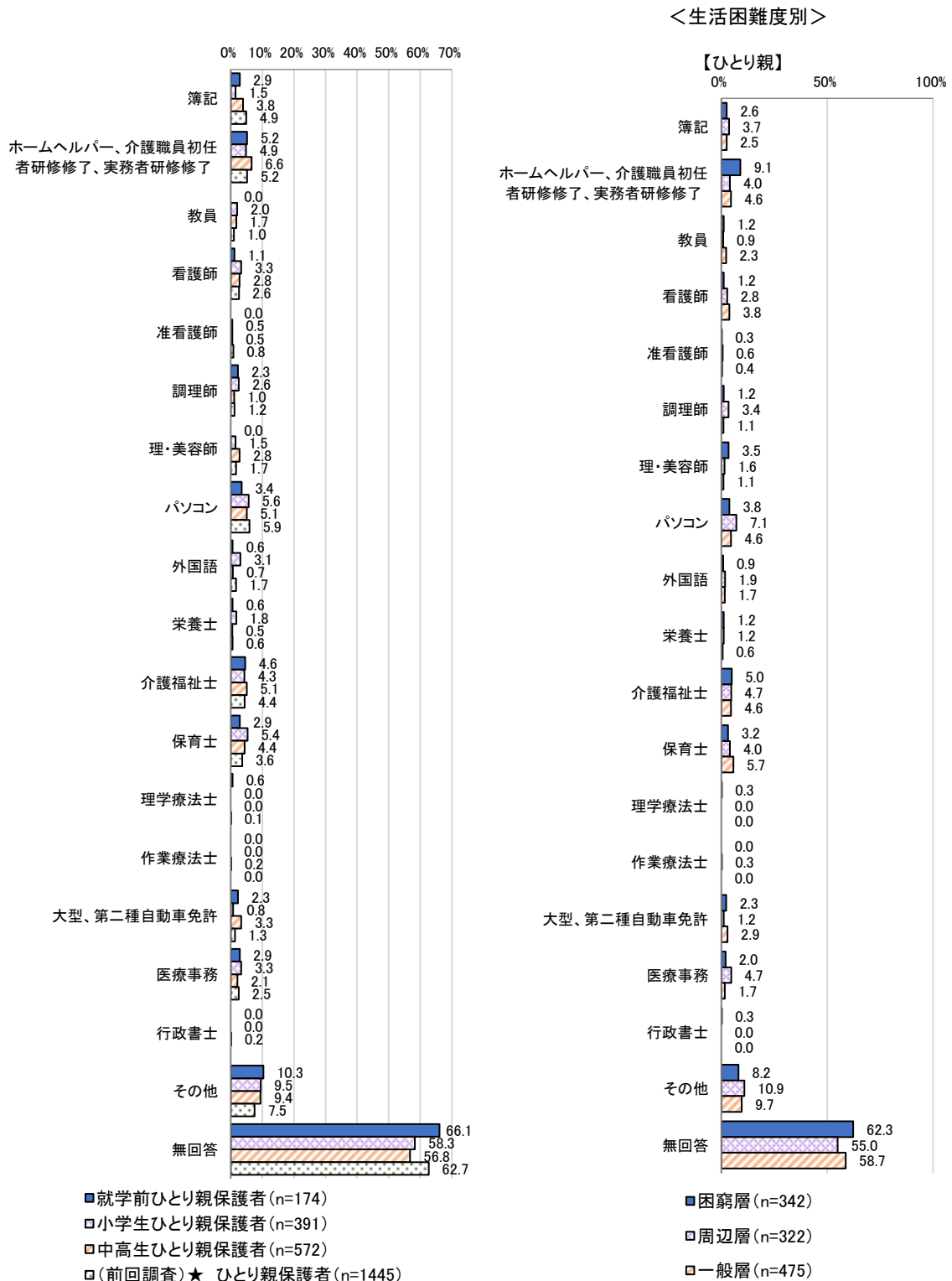
(7) 資格

問 実際の仕事で役立っている資格はありますか。また、今後取得したい資格や免許はありますか。(選択肢からあてはまる番号を記入)

ひ問32、ひ就問28、ひ小問31、ひ中高問31

① 実際の仕事で役立っている資格

- ・「ホームヘルパー、介護職員初任者研修修了、実務者研修修了」「パソコン」「介護福祉士」「保育士」の割合が比較的高い。

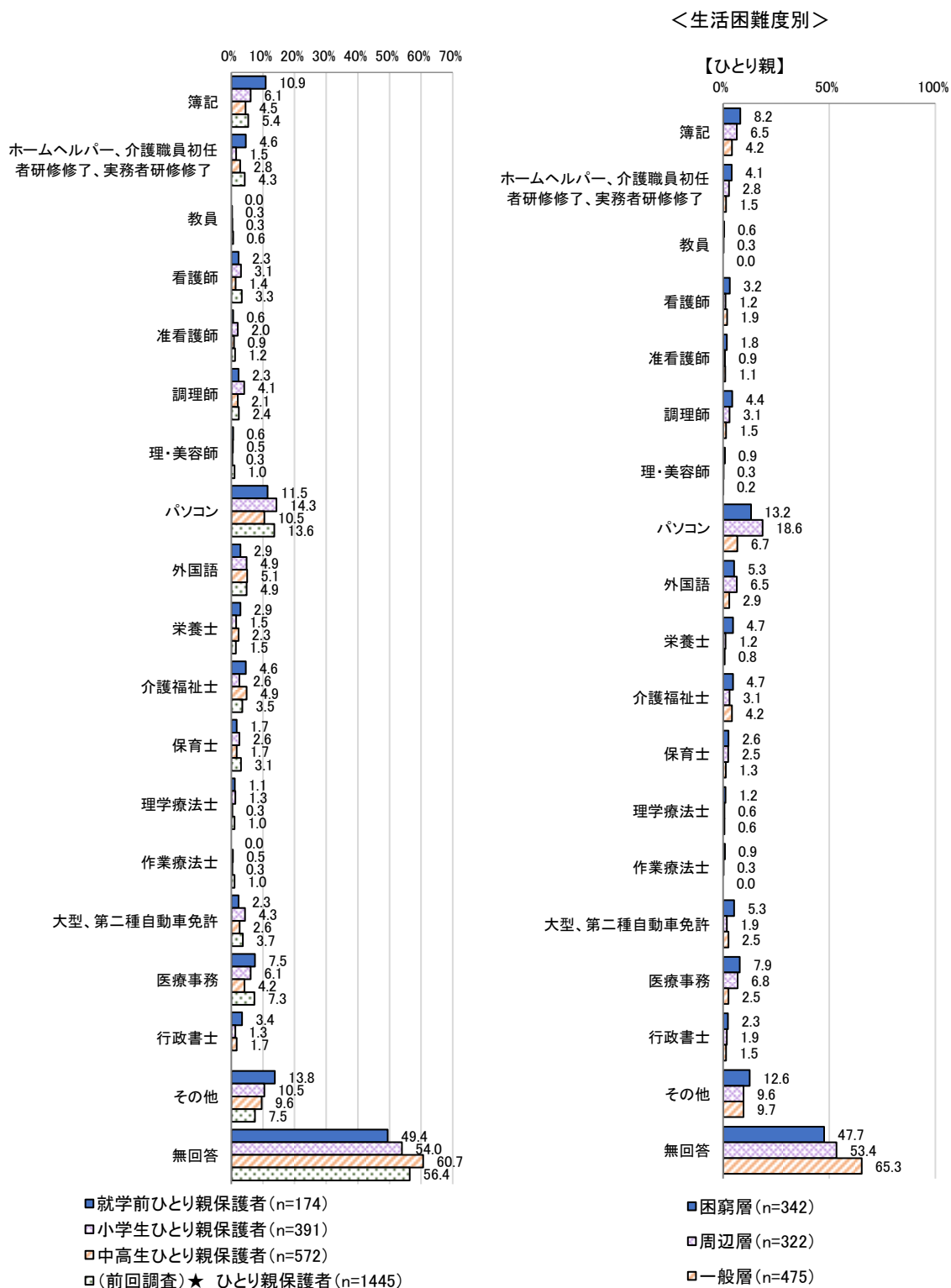


<実際の仕事で役立っている資格×「現在」の雇用形態・職種のクロス>

割合（％）	簿記	ホームヘルパー、介護職員初任者研修修了、実務者研修修了	教員	看護師	准看護師	調理師	理・美容師	パソコン	外国語	栄養士	介護福祉士	保育士	理学療法士	作業療法士	大型、第二種自動車免許	医療事務	行政書士	その他	無回答
	現在の雇用形態																		
正社員・正規職員 (n=458)	3.9	6.1	1.7	5.2	0.9	1.5	1.1	6.1	2.2	1.1	8.5	7.2	0.2	0.2	3.7	3.7	0.0	11.8	45.6
会社役員 (n=9)	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	33.3
嘱託・契約社員・派遣職員 (n=109)	3.7	5.5	0.9	0.0	0.0	1.8	1.8	11.9	1.8	0.9	3.7	1.8	0.0	0.0	0.9	1.8	0.0	6.4	61.5
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 (n=342)	1.5	6.1	1.5	1.2	0.0	1.8	1.8	2.3	0.3	0.9	1.8	4.1	0.0	0.0	0.9	1.8	0.0	7.9	70.5
自営業（内職、自由業、フリーランスを含む。） (n=56)	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	12.5	7.1	3.6	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	3.6	0.0	1.8	14.3	53.6
働いていない（専業主婦／主夫を含む。） (n=116)	2.6	6.0	2.6	0.9	0.0	3.4	0.9	2.6	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	1.7	0.0	4.3	79.3
その他 (n=35)	5.7	8.6	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	2.9	8.6	0.0	0.0	0.0	2.9	8.6	0.0	14.3	48.6
現在の職種																			
管理的な仕事 (n=34)	5.9	11.8	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9	8.8	2.9	0.0	11.8	5.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	14.7	47.1
専門的な知識や技術を必要とする仕事 (n=237)	0.8	11.4	5.9	11.4	0.8	0.0	5.9	4.2	1.3	1.7	9.3	14.8	0.0	0.4	1.7	1.7	0.4	13.1	24.9
事務的な仕事 (n=273)	8.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	12.1	2.2	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	1.1	6.6	0.0	5.9	65.6
販売の仕事 (n=85)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	15.3	78.8
サービスの仕事 (n=177)	0.0	8.5	0.0	0.6	0.6	4.0	2.3	3.4	2.3	1.1	9.0	0.6	0.0	0.0	1.7	0.6	0.0	7.9	67.2
農林漁業の仕事 (n=5)	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0
生産工程の仕事 (n=33)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.2	78.8
輸送・機械運転の仕事 (n=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0
建設の仕事 (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	50.0
運搬・清掃の仕事 (n=16)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	87.5
その他 (n=193)	2.6	7.8	2.1	0.5	0.5	4.1	1.6	2.6	1.0	2.1	5.2	4.7	0.0	0.0	2.6	3.6	0.0	8.3	61.7

② 今後取得したい資格

・「パソコン」「簿記」「医療事務」の割合が比較的高い。



<今後取得したい資格×「現在」の雇用形態・職種のクロス>

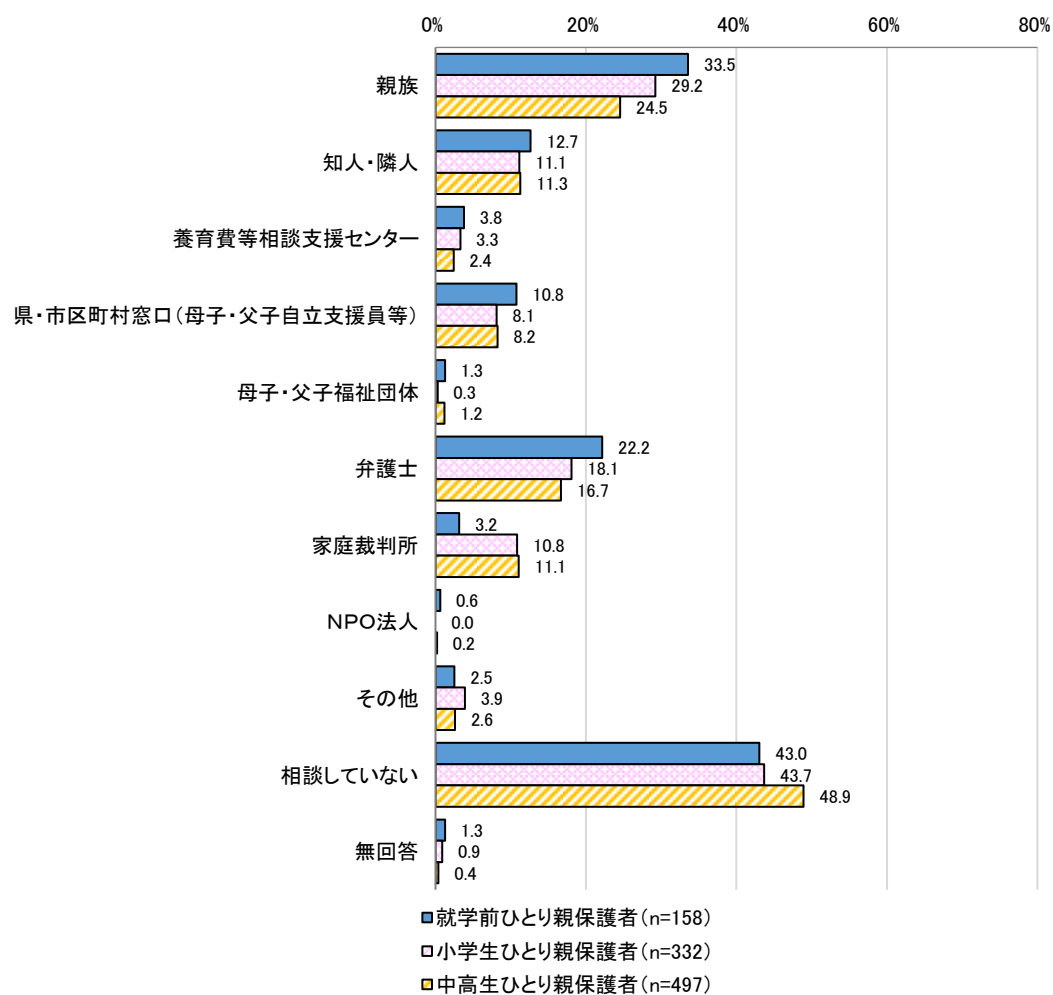
割合（％）	簿記	ホームヘルパー、介護職員初任者研修修了、実務者研修修了	教員	看護師	准看護師	調理師	理・美容師	パソコン	外国語	栄養士	介護福祉士	保育士	理学療法士	作業療法士	大型、第二種自動車免許	医療事務	行政書士	その他	無回答
	現在の雇用形態																		
正社員・正規職員 (n=458)	7.2	2.4	0.0	2.8	1.3	2.4	0.0	11.8	5.9	2.2	4.4	1.3	1.1	0.2	2.8	4.4	2.6	13.3	53.3
会社役員 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	55.6
嘱託・契約社員・派遣職員 (n=109)	11.0	1.8	0.9	0.9	1.8	1.8	0.0	19.3	2.8	0.9	2.8	3.7	0.9	0.9	1.8	4.6	0.0	10.1	47.7
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 (n=342)	5.3	3.2	0.3	1.2	1.2	3.5	0.6	12.6	2.6	2.0	4.7	1.5	0.0	0.3	3.8	7.0	1.8	8.2	61.1
自営業（内職、自由業、フリーランスを含む。） (n=56)	1.8	3.6	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8	7.1	0.0	1.8	1.8	3.6	0.0	3.6	7.1	3.6	10.7	66.1
働いていない（専業主婦／主夫を含む。） (n=116)	2.6	2.6	0.9	0.9	0.9	3.4	0.9	10.3	5.2	4.3	3.4	2.6	0.9	0.9	3.4	5.2	0.9	6.9	62.1
その他 (n=35)	5.7	2.9	0.0	14.3	2.9	5.7	2.9	8.6	5.7	2.9	2.9	8.6	0.0	0.0	5.7	5.7	0.0	11.4	45.7
現在の職種																			
管理的な仕事 (n=34)	2.9	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	14.7	64.7
専門的な知識や技術が必要とする仕事 (n=237)	3.4	2.5	0.0	2.5	2.1	3.4	0.4	8.9	8.4	1.3	6.8	3.0	1.3	0.4	2.5	4.6	3.0	11.0	55.7
事務的な仕事 (n=273)	14.7	3.3	0.0	2.2	0.4	1.5	0.4	12.8	4.8	2.2	3.3	0.0	0.7	0.0	1.5	6.6	1.8	11.0	52.4
販売の仕事 (n=85)	7.1	1.2	0.0	0.0	2.4	3.5	0.0	20.0	4.7	2.4	0.0	1.2	0.0	0.0	5.9	5.9	1.2	7.1	56.5
サービスの仕事 (n=177)	4.0	2.8	0.0	1.1	1.1	2.8	0.6	14.7	3.4	2.3	5.6	2.8	0.6	0.6	3.4	7.3	2.3	10.7	54.8
農林漁業の仕事 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0
生産工程の仕事 (n=33)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	12.1	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	3.0	3.0	6.1	9.1	63.6
輸送・機械運転の仕事 (n=15)	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	0.0	0.0	6.7	46.7
建設の仕事 (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	62.5
運搬・清掃の仕事 (n=16)	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5
その他 (n=193)	3.6	3.6	1.0	2.6	0.5	3.6	1.0	13.5	4.1	3.1	3.1	2.6	1.6	1.0	3.1	5.2	0.5	13.5	54.9

(8) 養育費についての相談

問 あなたは、お子さんの養育費のことで、だれか（どこか）に相談しましたか。（あてはまる番号すべてに○）

ひ問35、ひ就問33、ひ小問36、ひ中高問36

・「親族」「弁護士」の割合が高い。

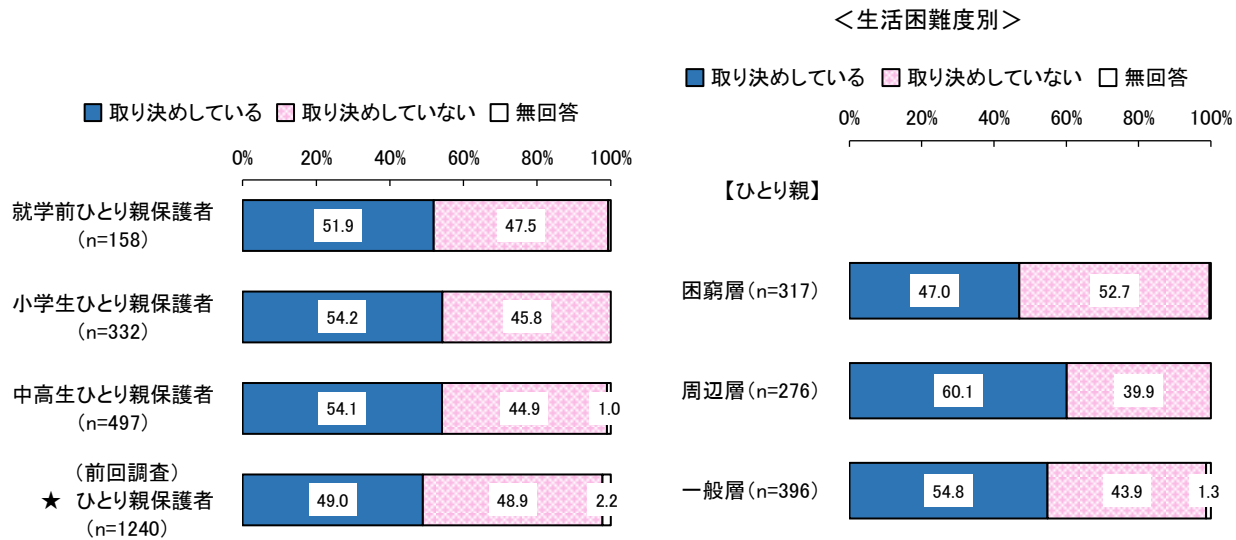


(9) 養育費についての取り決め

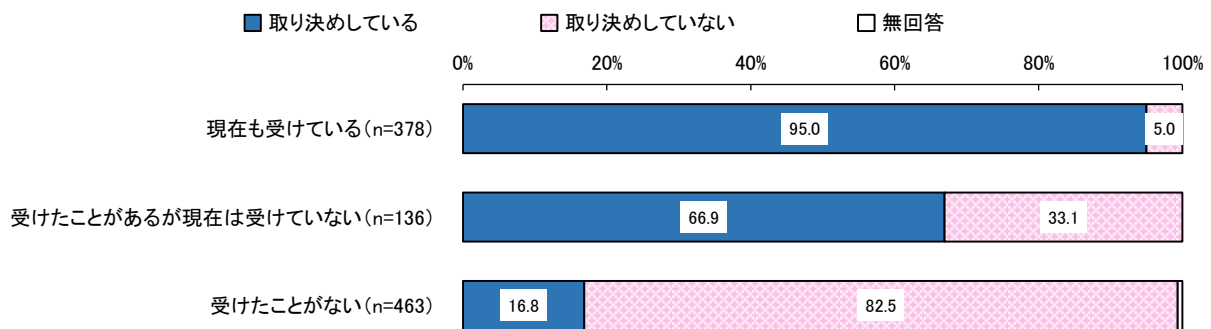
問 子どもの養育費について取り決めをしていますか。(1つに○)

ひ問36、ひ就問34、ひ小問37、ひ中高問37

- ・「取り決めしている」割合は、約半数となっている。
- ・「取り決めしている」割合は、養育費の受給を受けている人で高い。



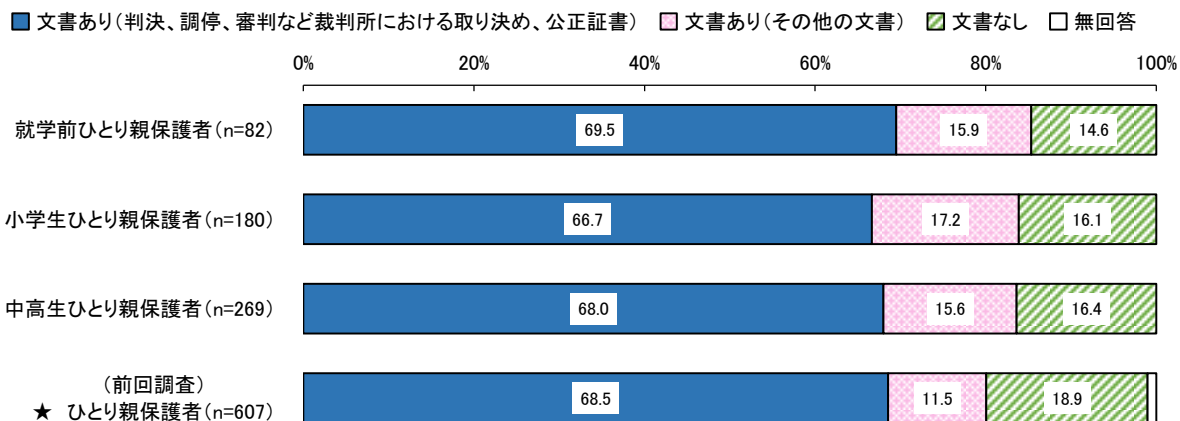
＜養育費の取り決め状況×受給状況のクロス＞



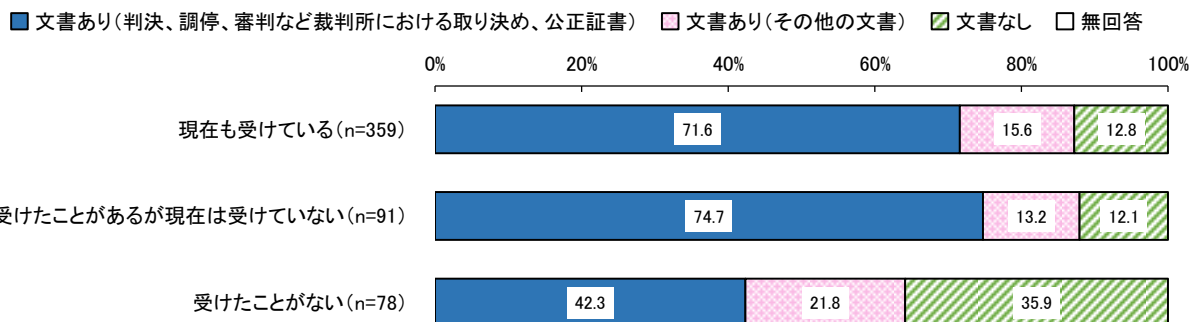
問 「取り決めしている」方にかがいます。養育費の取り決め方法を教えてください。(1つに○)

ひ問3 6-1、ひ就問3 4-1、ひ小問3 7-1、ひ中高問3 7-1

- ・「文書あり(判決、調停、審判など裁判所における取り決め、公正証書)」の割合が高い。
- ・養育費の受給状況別に見ると、「文書なし」の割合は、受けたことがない人で高い。



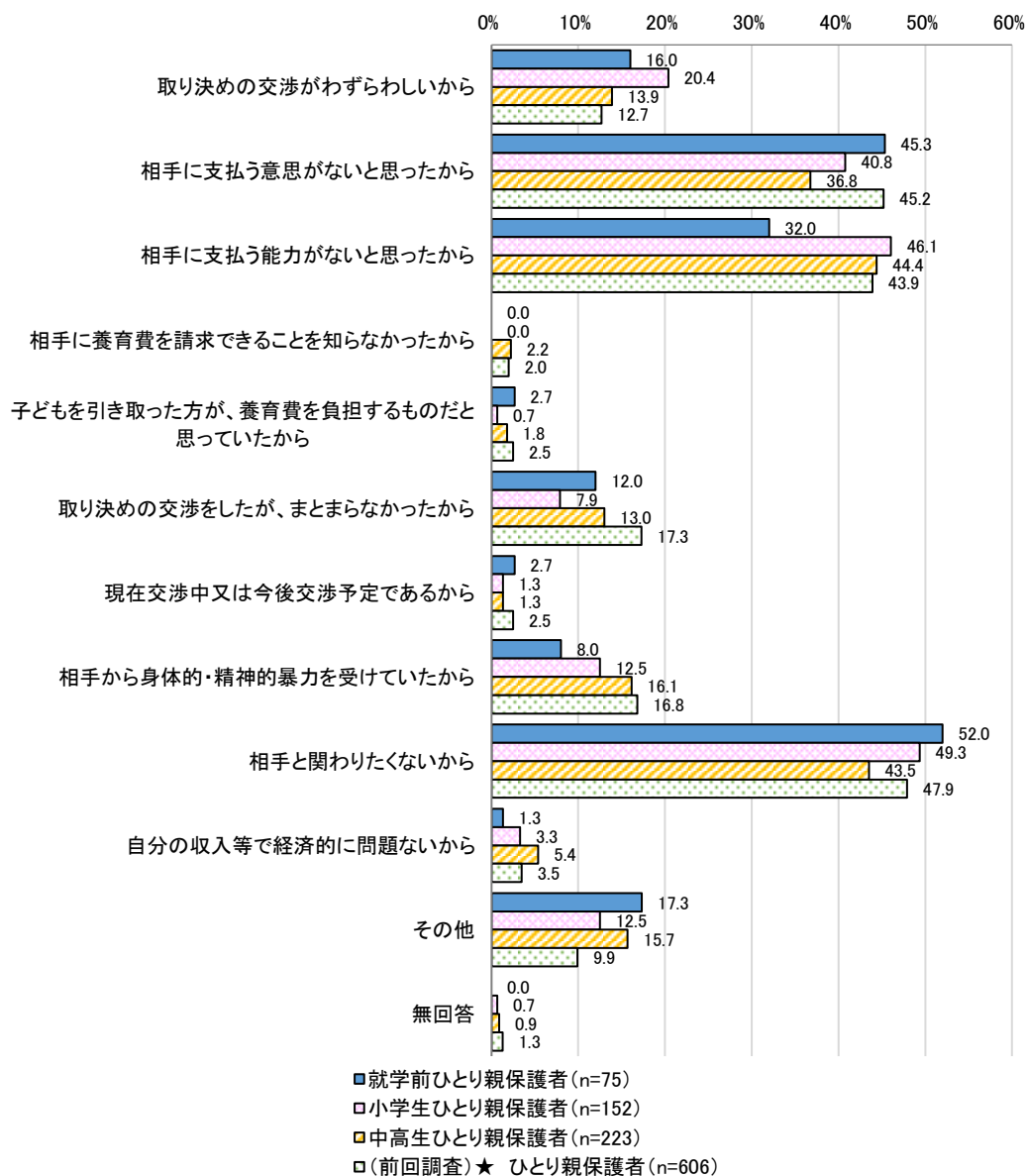
<養育費の取り決め方法×受給状況のクロス>



問 「取り決めていない」方にうかがいます。養育費の取り決めをしていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

ひ問36-2、ひ就問34-2、ひ小問37-2、ひ中高問37-2

・「相手に支払う意思がないと思ったから」「相手に支払う能力がないと思ったから」「相手と関わりたくないから」の割合が高い。

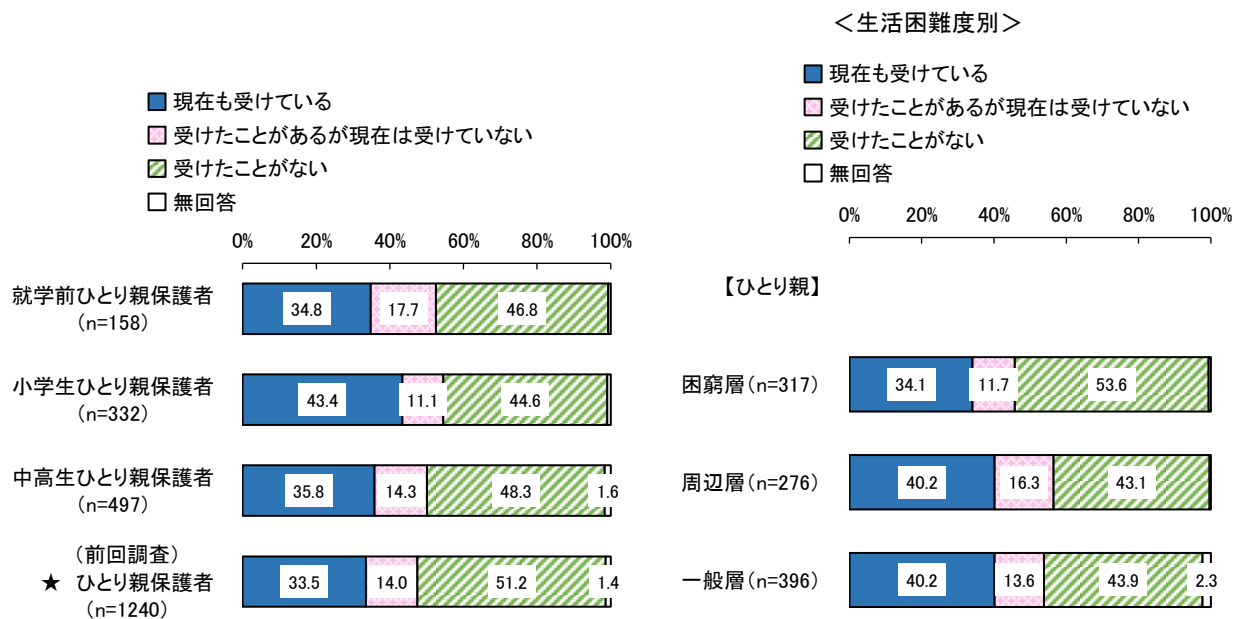


(10) 養育費の受給状況

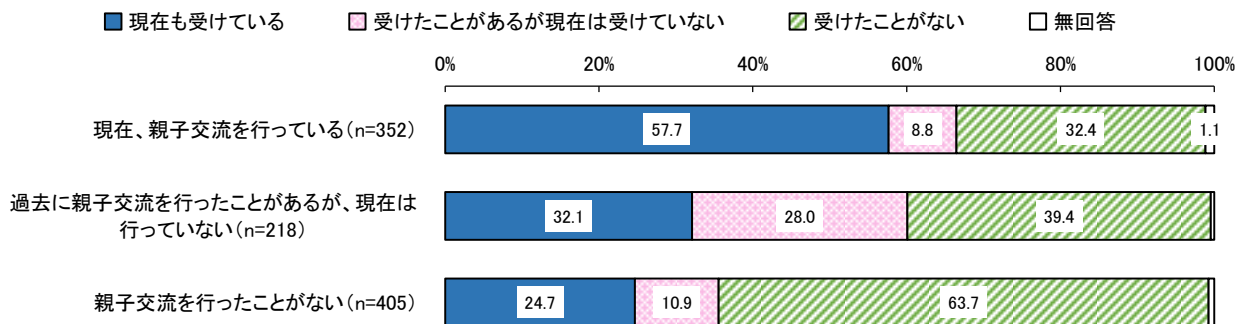
問 子どものもう一方の親からの養育費の受給状況を教えてください。(1つに〇)

ひ問37、ひ就問35、ひ小問38、ひ中高問38

- ・「受けたことがあるが現在は受けていない」「受けたことがない」割合は、全ての区分で5割以上となっている。
- ・生活困難度別にみると、「現在も受けている」割合は、困窮層で低い。
- ・「現在も受けている」割合は、親子交流を行っている人で高い。



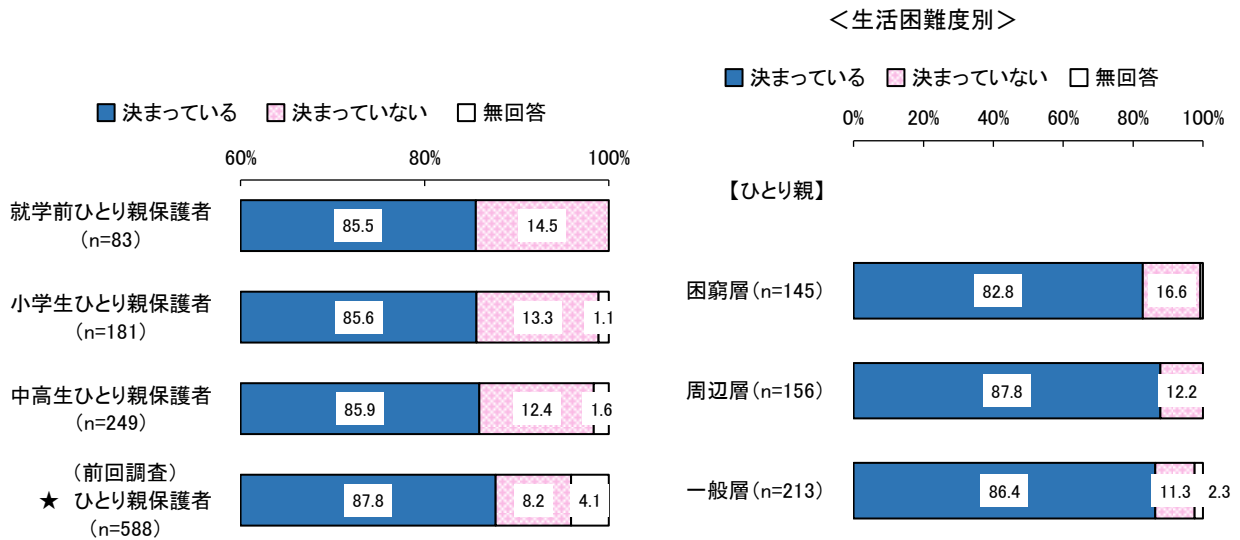
＜養育費の受給状況×親子交流の実施状況のクロス＞



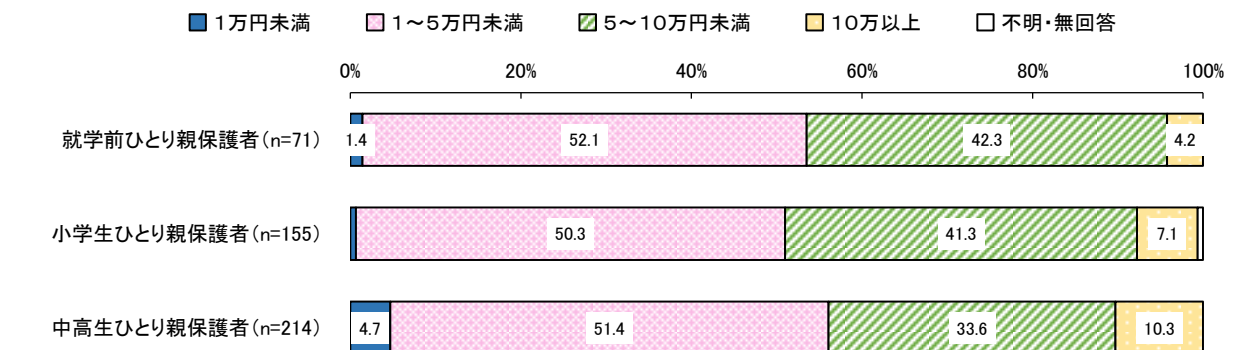
問 「現在も受けている」「受けたことがあるが現在は受けていない」方にうかがいます。1か月あたりの養育費の総額は大体いくらぐらいですか。決まっていない場合は、「決まっていない」に○をつけてください。(1つに○)

ひ問37-1、ひ就問35-1、ひ小問38-1、ひ中高問38-1

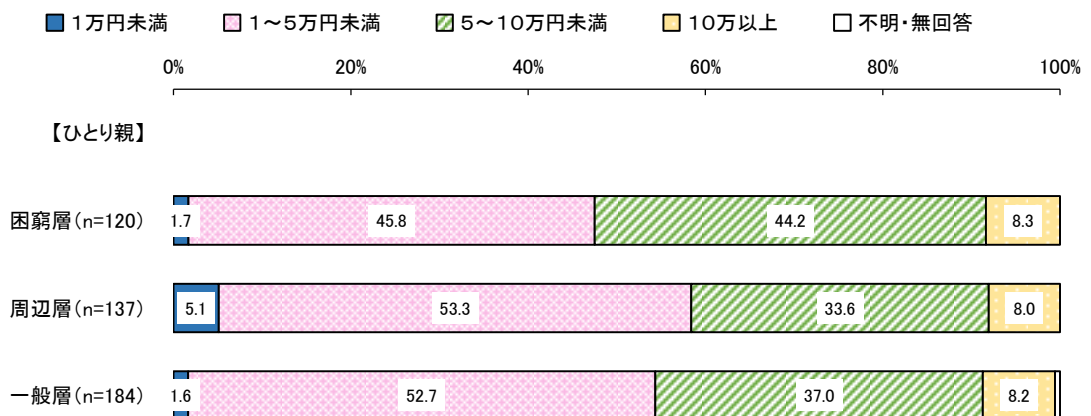
・8割以上が、1か月あたりの養育費の総額が決まっている。



●月額



＜生活困難度別＞



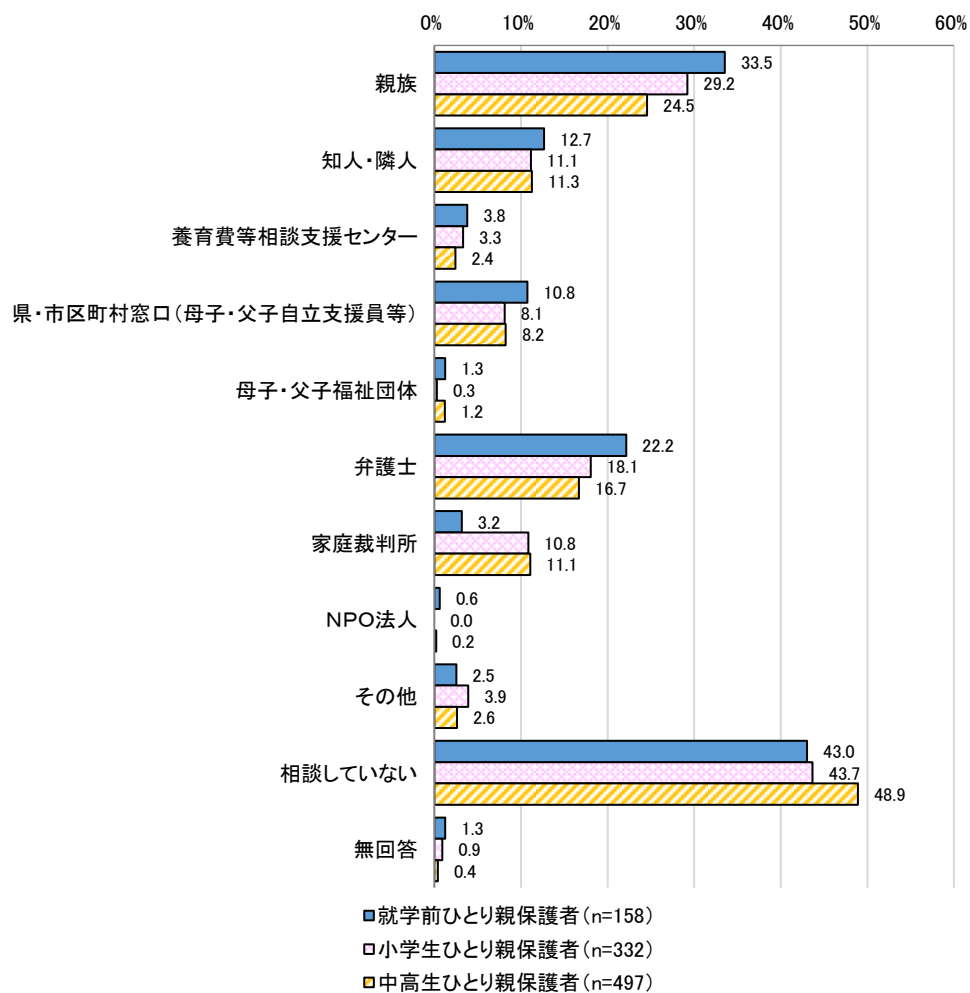
- ・養育費の取り決めについては、ひとり親保護者の約半数以上が取り決めをしている。前回調査と比較すると、取り決めをしている割合がわずかに増加している。
- ・取り決め方法に関しては、6割以上が「文書あり（判決、調停、審判など裁判所における取り決め、公正証書）」であることがわかる。また、受給状況によって取り決め方法に違いが見られ、「受けたことがない」層では「文書なし」の割合が高くなっている。
- ・養育費の取り決めをしていない理由としては、「相手に支払う意思がないと思ったから」や「相手と関わりたくないから」「相手に支払う能力がないと思ったから」といった理由が多く挙げられている。
- ・養育費の受給状況については、「受けたことがない」が4割以上で、特に「親子交流を行ったことがない」層では受給状況が低くなっている。

(11) 親子交流についての相談

問 あなたは、お子さんの親子交流のことで、だれか（どこか）に相談しましたか。（あてはまる番号すべてに○）

ひ問38、ひ就問36、ひ小問39、ひ中高問39

・「親族」「弁護士」の割合が高い。

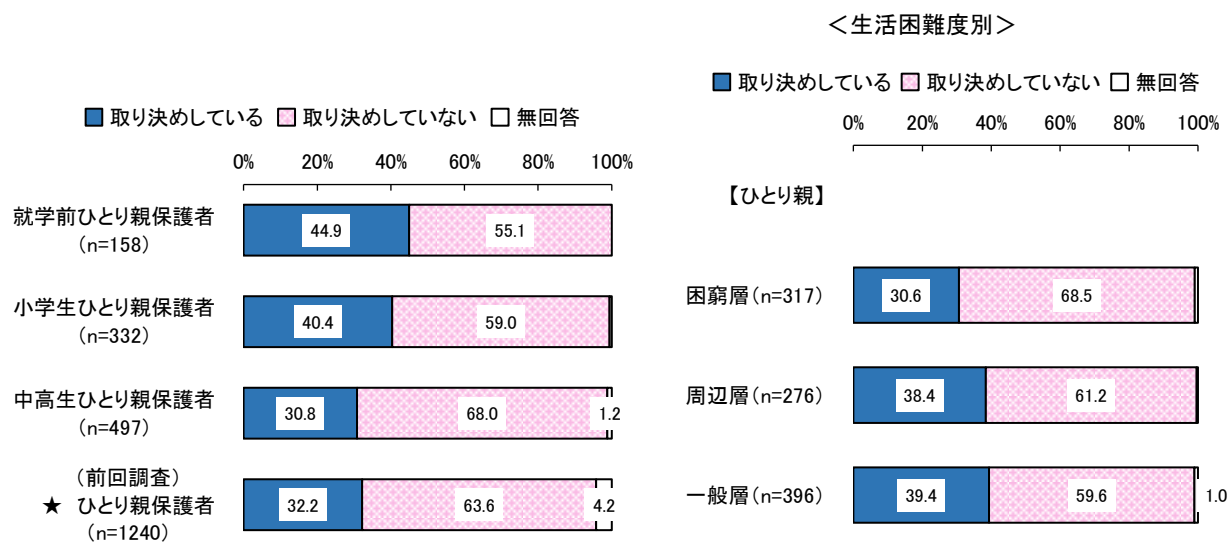


(12) 親子交流についての取り決め

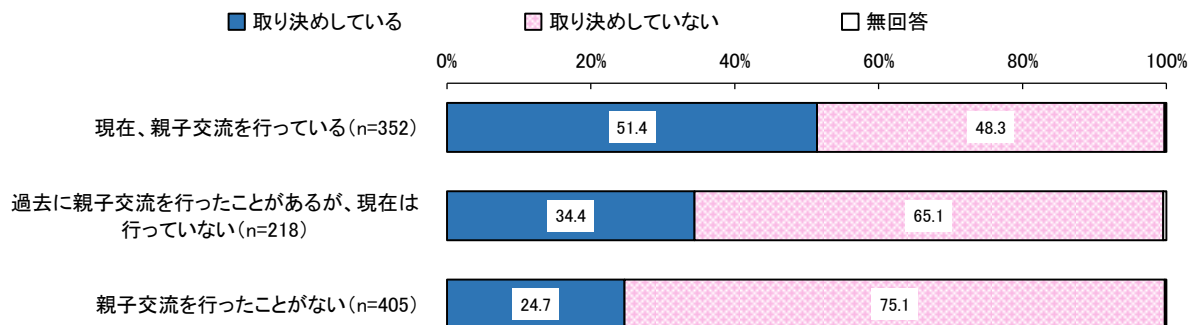
問 親子交流について、取り決めをしていますか。(1つに○)

ひ問39、ひ就問37、ひ小問40、ひ中高問40

- ・「取り決めしている」割合は、学年が上がるほど低い。
- ・生活困難度別にみると、「取り決めしている」割合は困窮層で低い。
- ・「取り決めしている」割合は、親子交流を行っている人で高い。



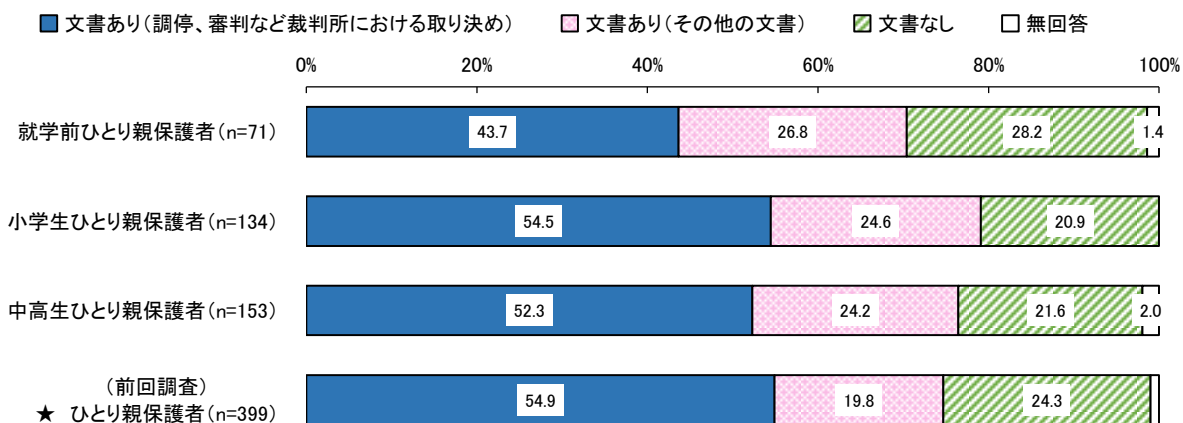
＜親子交流の取り決め状況×親子交流の実施状況のクロス＞



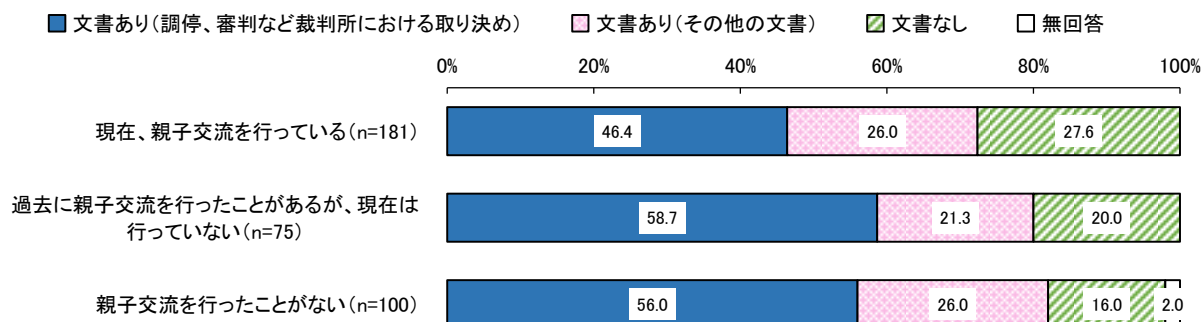
問 「取り決めしている」方にうかがいます。親子交流の取り決め方法を教えてください。(1つに○)

ひ問3 9-1、ひ就問3 7-1、ひ小問4 0-1、ひ中高問4 0-1

・「文書あり(調停、審判など裁判所における取り決め)」の割合が半数程度となっている。



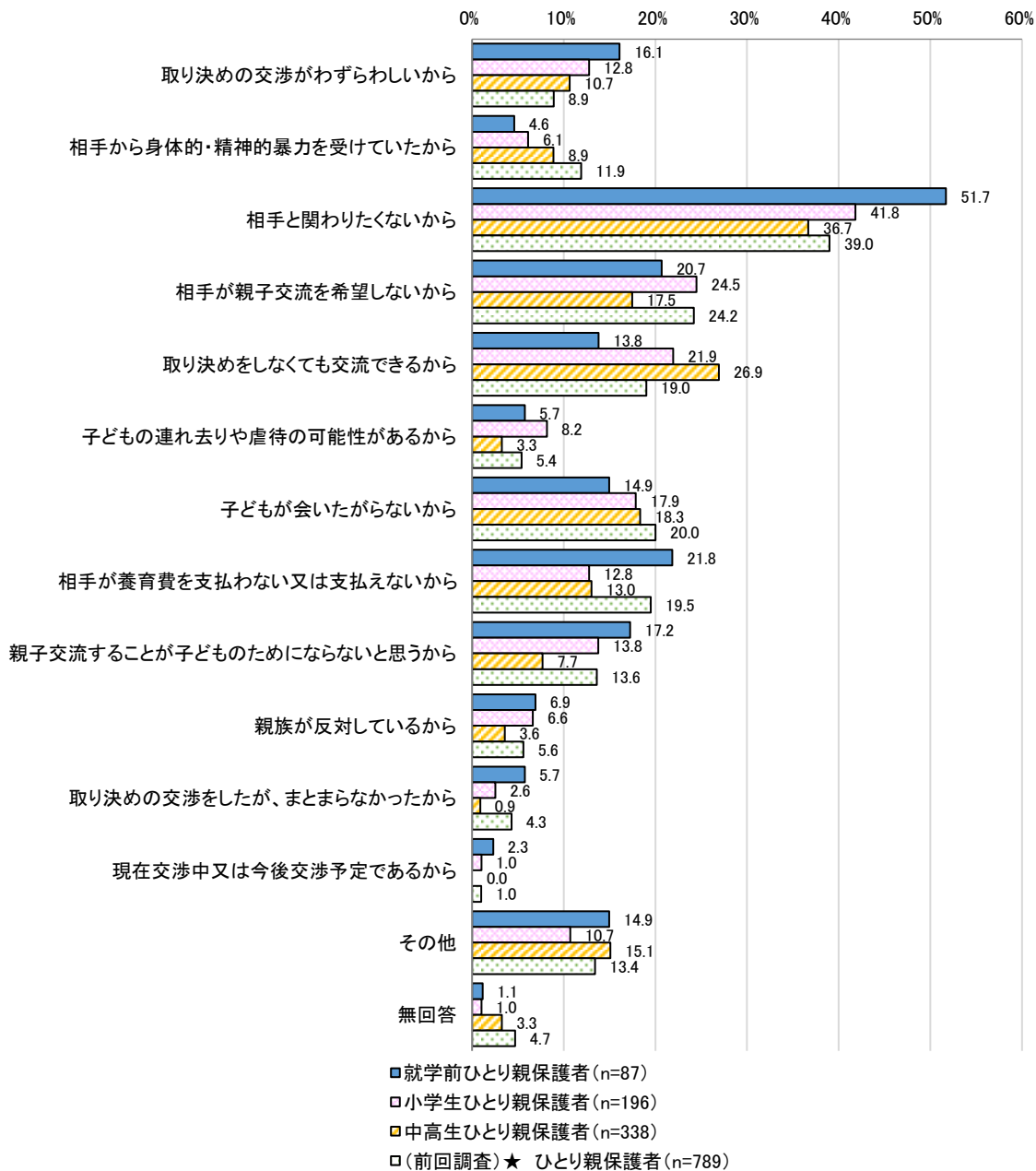
<親子交流の取り決め方法×親子交流の実施状況のクロス>



問 「取り決めていない」方にうかがいます。親子交流の取り決めをしていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

ひ問39-2、ひ就問37-2、ひ小問40-2、ひ中高問40-2

・「相手と関わりたくないから」の割合が高い。

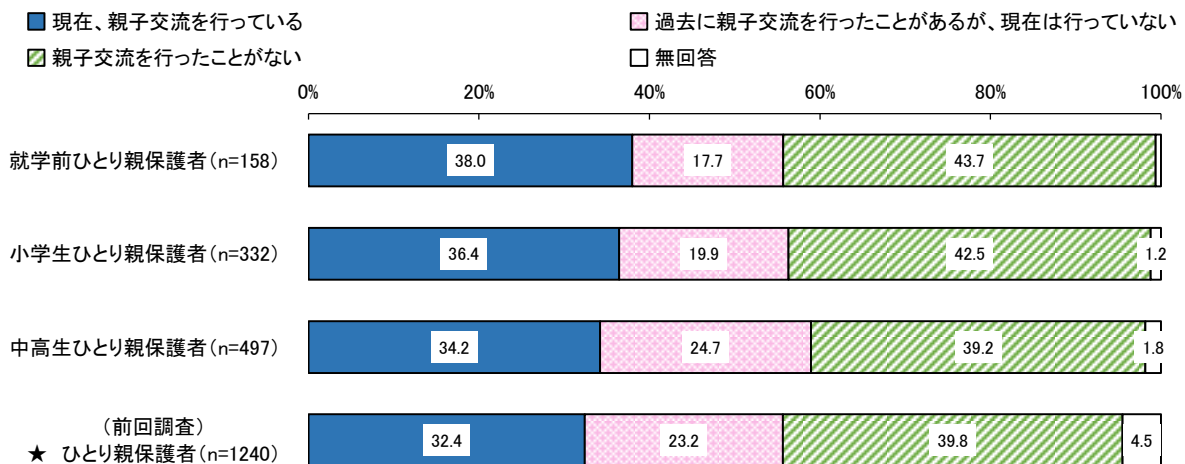


(13) 親子交流の実施状況

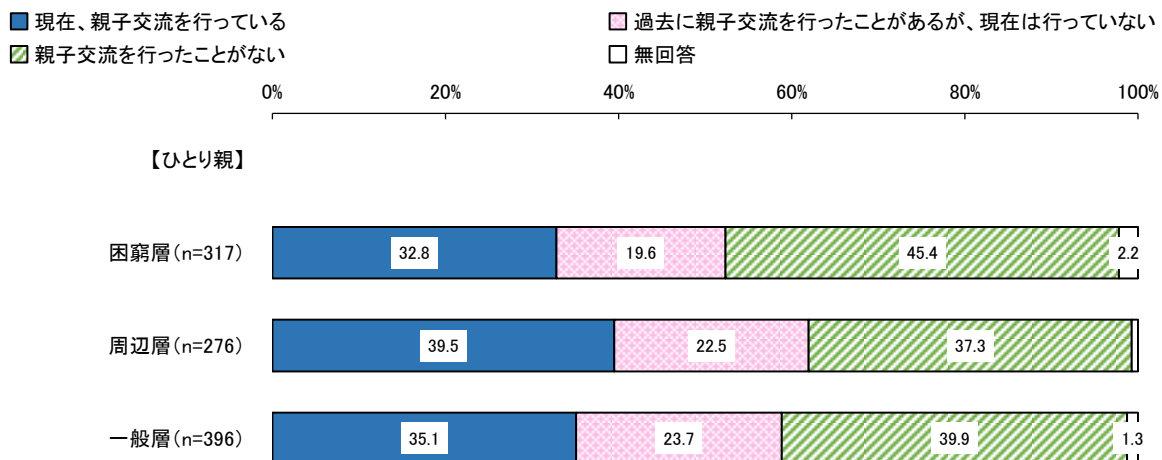
問 子どものもう一方の親との親子交流の実施状況を教えてください。(1つに○)

ひ問40、ひ就問38、ひ小問41、ひ中高問41

- ・「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」「親子交流を行ったことがない」割合は6割を超えている。
- ・生活困難度別にみると、「現在、親子交流を行っている」割合は、困窮層で低い。



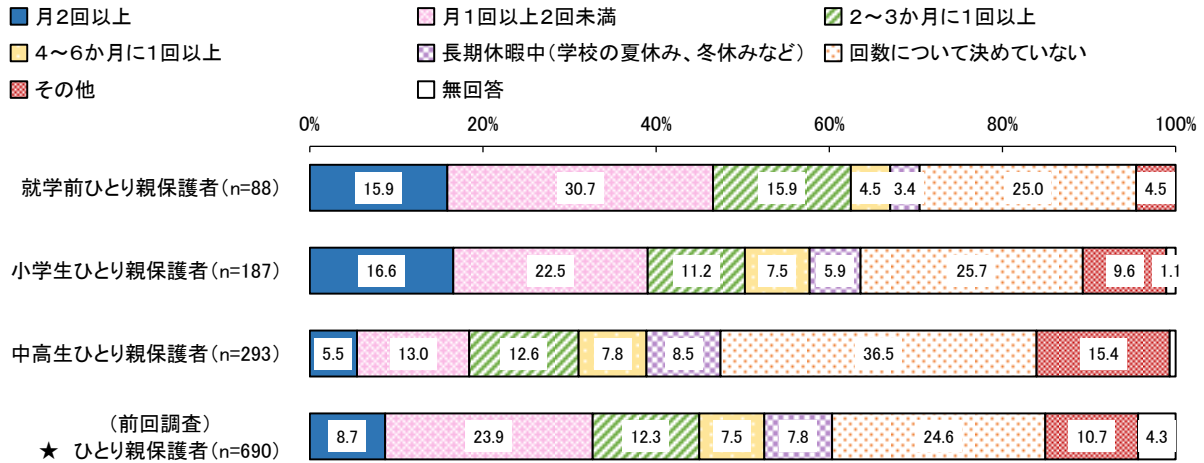
<生活困難度別>



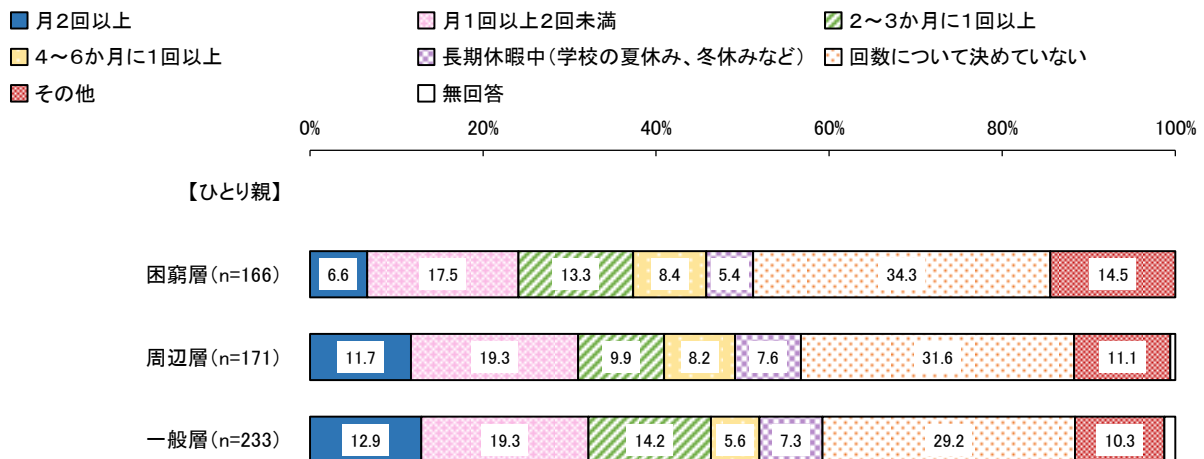
問 「現在、親子交流を行っている」「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」方にうかがいます。子どもがもう一方の親と会う頻度はどのくらいですか（でしたか）。（1つに○）

ひ問40-1、ひ就問38-1、ひ小問41-1、ひ中高問41-1

- ・親子交流の頻度は、就学前ひとり親保護者で最も高く、年齢が上がるにつれ低くなっていく。
- ・生活困難度別にみると、親子交流の頻度は困窮層で低い。



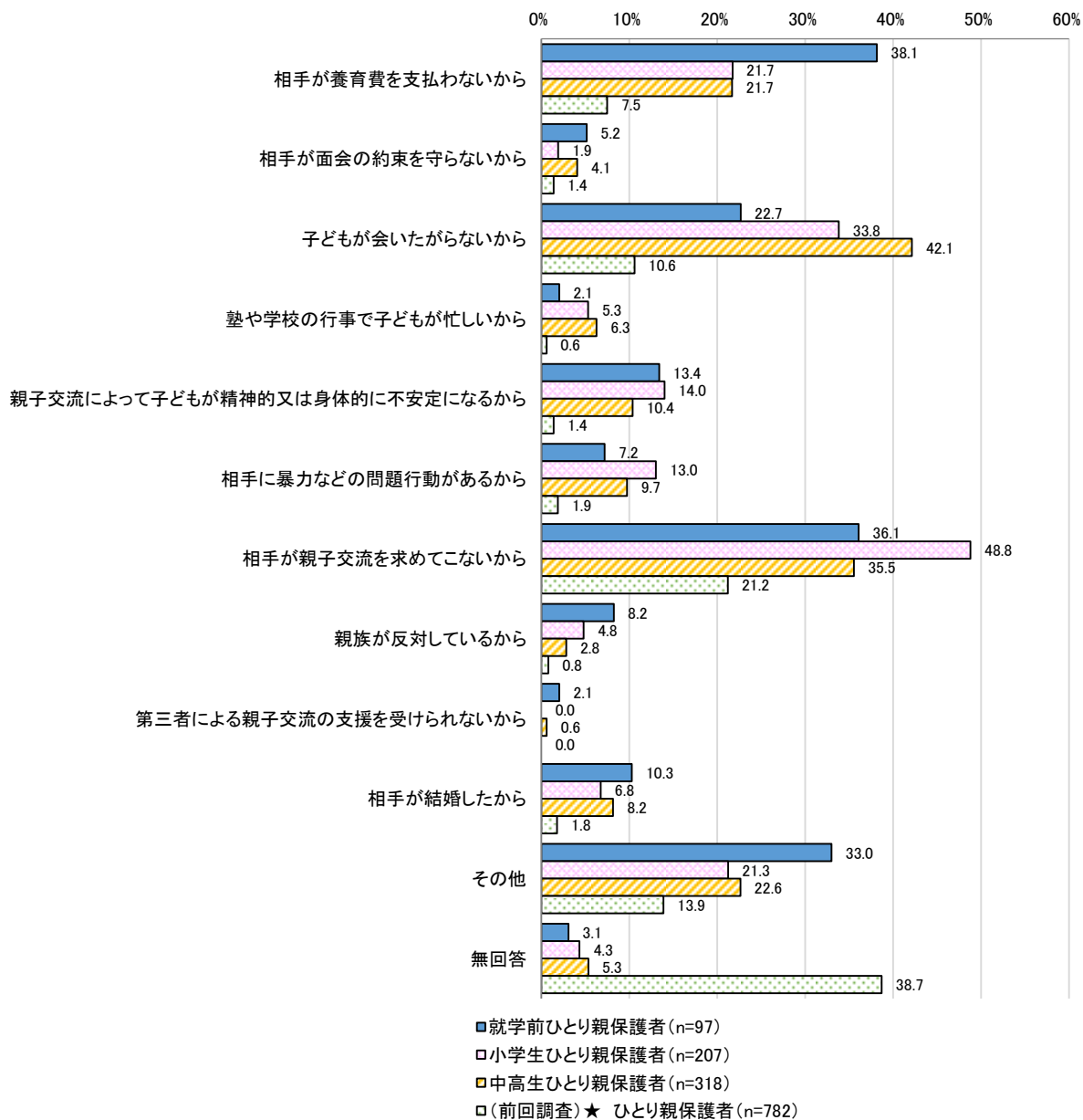
<生活困難度別>



問 「過去に親子交流を行ったことがあるが、現在は行っていない」「親子交流を行ったことがない」方にうかがいます。現在、親子交流を実施していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

ひ問40-2、ひ就問38-2、ひ小問41-2、ひ中高問41-2

- ・就学前ひとり親保護者では、「相手が養育費を支払わないから」の割合が最も高い。
- ・小学生ひとり親保護者では、「相手が親子交流を求めてこないから」の割合が最も高い。
- ・中高生ひとり親保護者では、「子どもが会いたがらないから」の割合が最も高い。



- ・親子交流について相談している割合は低い。
- ・親子交流の取り決めについては、ひとり親保護者の約3割から4割が取り決めをしているが、取り決めしていない割合が過半数を占めている。
- ・取り決め方法に関しては、文書による取り決めが多いものの、取り決めをしていない理由として「相手と関わりたくないから」といった理由が多く挙げられている。
- ・親子交流の実施状況については、約3割から4割のひとり親保護者が現在も行っていると回答しているが、「親子交流を行ったことがない」と回答している割合も高くなっている。
- ・親子交流を実施していない理由としては、「相手が親子交流を求めてこないから」や「子どもが会いたがらないから」「相手が養育費を支払わないから」といった理由が多く挙げられている。
- ・親子交流の取り決めをしている割合は、子どもの年齢が低いほど高く、中高生ひとり親保護者では最も低いことがわかる。
- ・取り決めをしていない理由としては、相手との関係性や子どもの意向が要因となっていることが示されている。

1-16. 子育てに関するご意見

問 最後に、教育・保育環境・体験機会の充実や子育て支援、また、ご自身の子育てに関する考え方などご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

母問17、就問45、小問41、中高問38、ひ問45、ひ就問57、ひ小問52、ひ中高問49

保護者の自由記述内容分類結果（全2,092人からの回答を分類）

No.	分類名	件数
1	経済的支援の強化	806件
2	子育て支援の充実	506件
3	子どもの健康と安全	304件
4	保護者の育児ストレス軽減	284件
5	保育環境の改善	272件
6	教育機会の平等	223件
7	体験機会の拡大	155件
8	教育内容の充実	144件
9	学校と家庭の連携	136件
10	地域との連携強化	125件
11	親の教育参加の促進	119件
12	子どもの心のケア	118件
13	子どもの多様性への配慮	108件
14	子どもの才能開発	106件
15	教育・保育の質の向上	84件
16	教育環境の改善	82件
17	育児知識の普及	74件
18	デジタル教育の活用	30件
19	子どもの自己表現の促進	14件
20	その他	152件
21	分類不能	50件

※回答内容により複数分類先があるため、件数合計は回答者数を超える。

2. 子どもアンケート結果

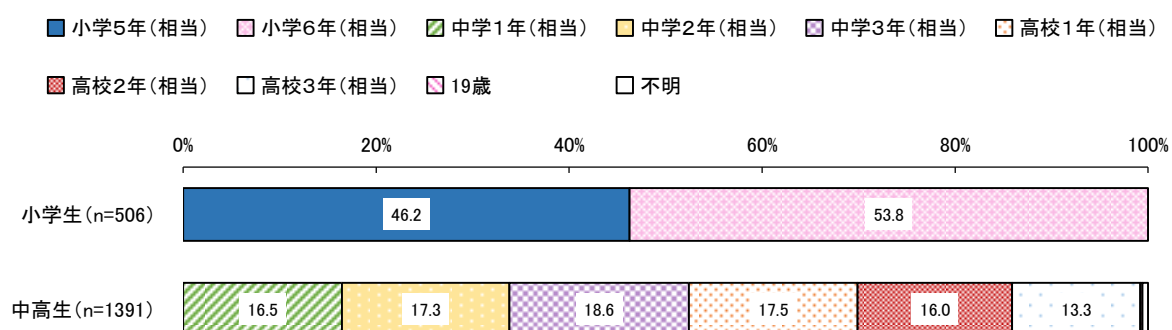
2-1. あなたのことについて

(1) 学年

問 あなたの年齢・学年を教えてください。(小学校に通っていない場合は、通っていたとしたら何年生になるかを書いてください。)

子小問1、子中高問1

・学年の分布は以下のとおりとなっている。

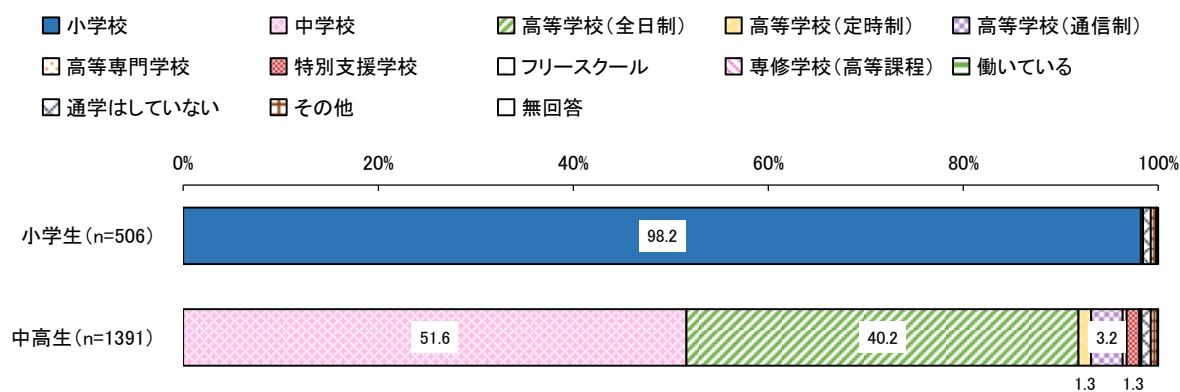


(2) 通っている学校

問 今通っている学校について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

子小問2、子中高問2

・今通っている学校は以下のとおりとなっている。



2-2. ふだんの生活について

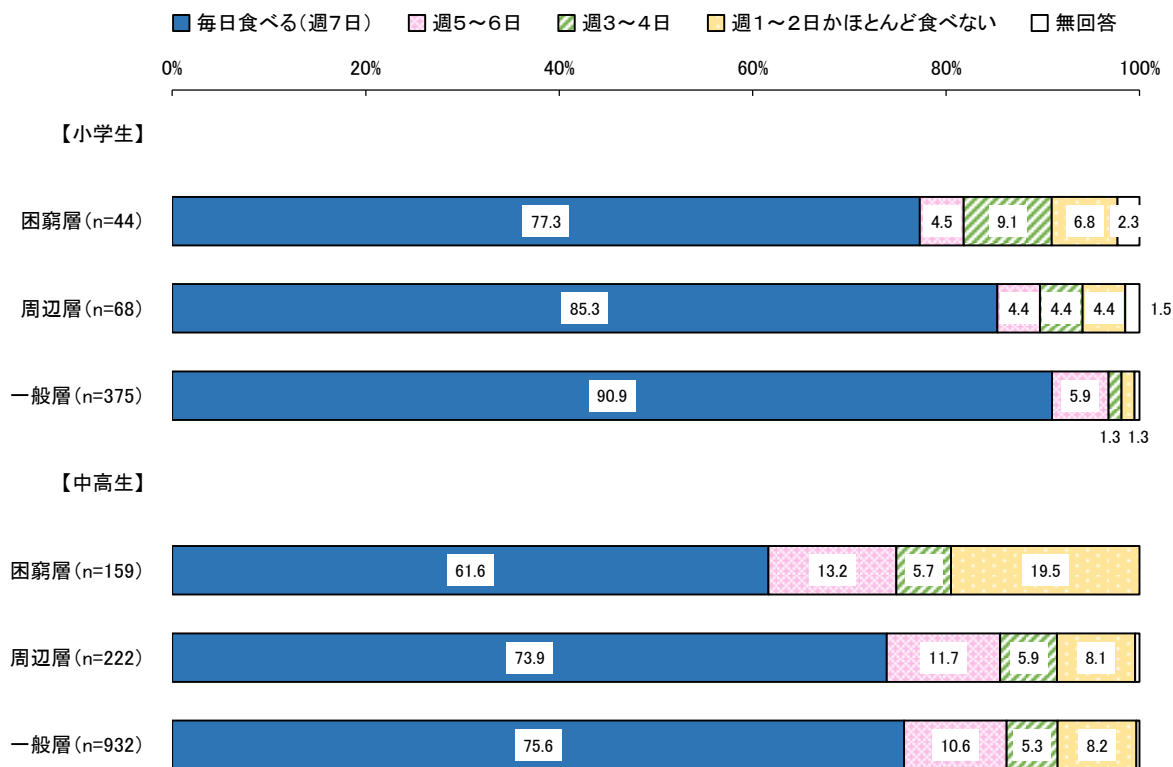
(1) 食事の頻度

問 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問3、子中高問3

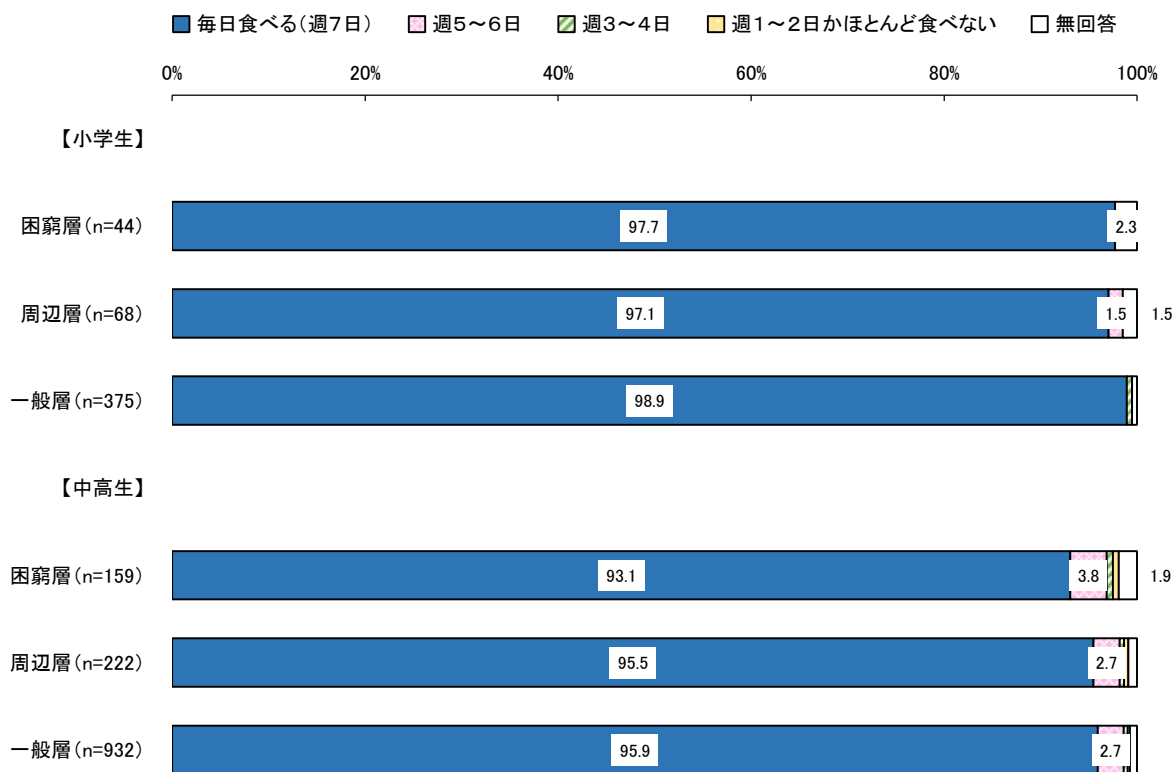
●朝食

・「毎日食べる(週7日)」割合は中高生の困窮層で最も低く、「週1~2日かほとんど食べない」と回答した割合も、その他の層と比較して高い傾向がある。



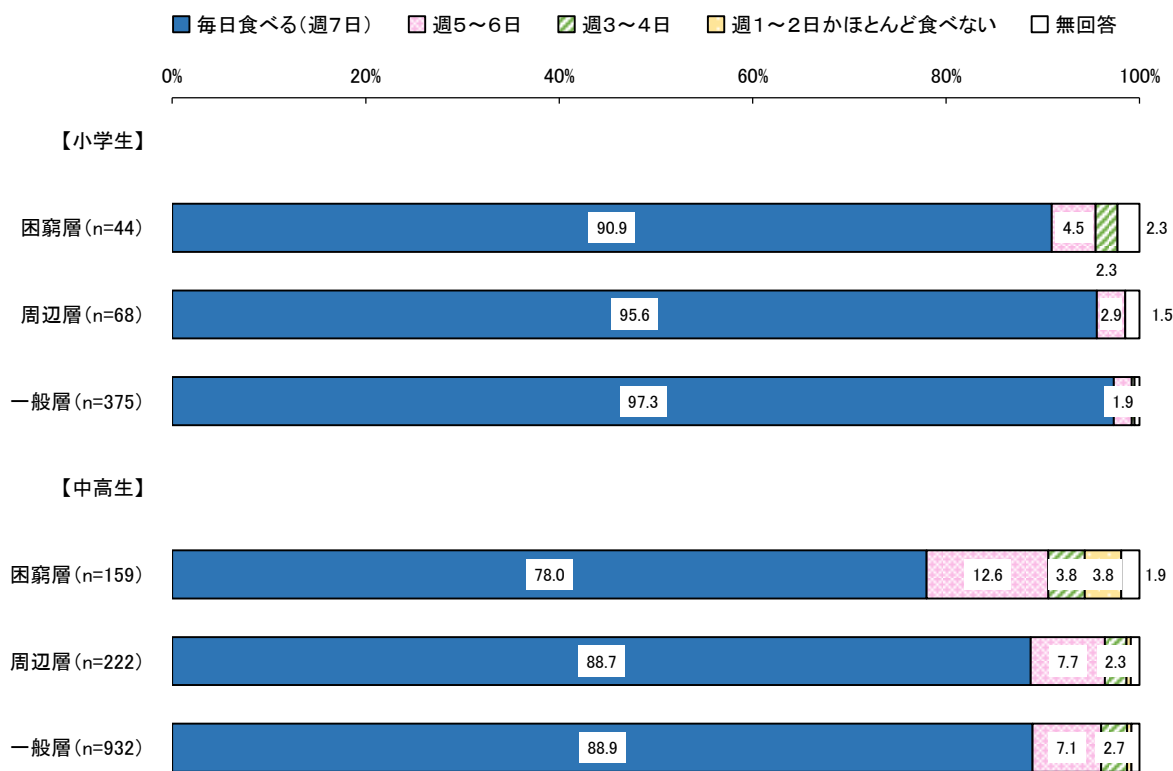
●夕食

・生活困難度別による大きな差はみられない。



●昼食(夏休みや冬休みなどの期間)

・「毎日食べる(週7日)」割合は中高生の困窮層で最も低い。



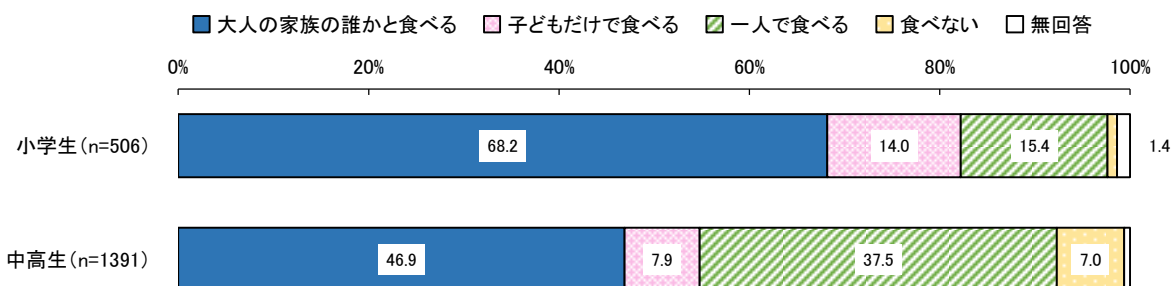
(2) 孤食等の状況

問 あなたは朝食または夕食を誰と食べることが多いですか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問4、子中高問4

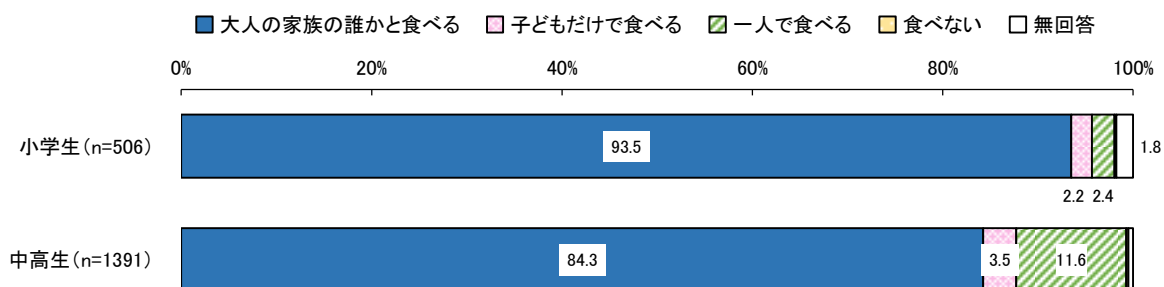
●朝食

・「一人で食べる」割合は、小学生よりも中高生で高い。



●夕食

・「一人で食べる」割合は、小学生よりも中高生で高い。

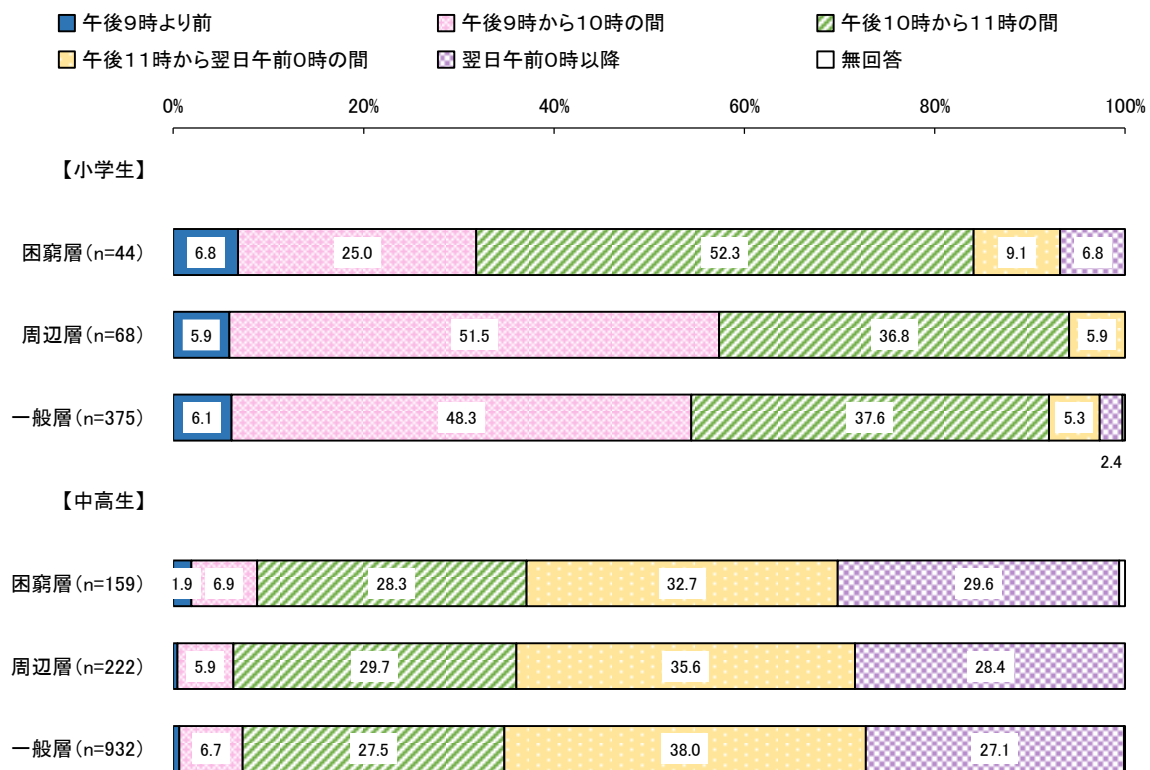


(3) 就寝時間

問 あなたは、ふだん、何時ごろに寝ていますか。(一番近いもの1つに○)

子小問5、子中高問5

- ・小学生では困窮層で就寝時間が遅い傾向がある。

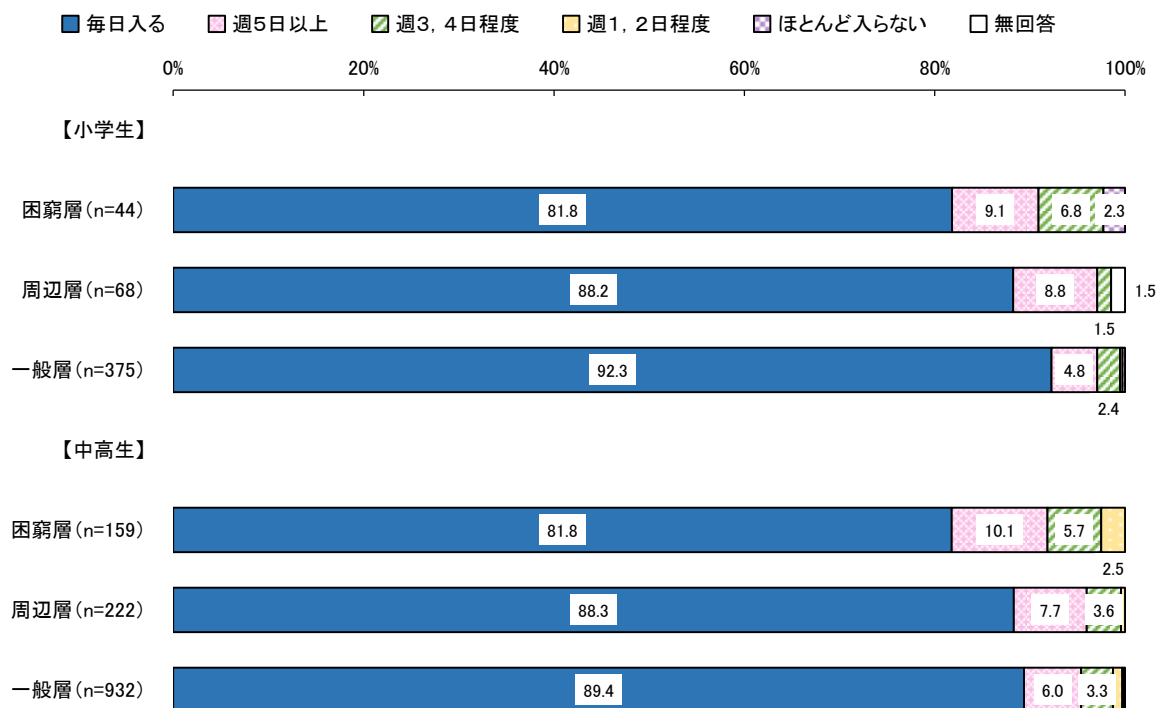


(4) お風呂の頻度

問 あなたは、1週間にお風呂（シャワーのみの場合も含む）にどれくらい入っていますか。（あてはまるもの1つに○）

子小問6、子中高問6

・「毎日入る」割合は困窮層で低い傾向がある。

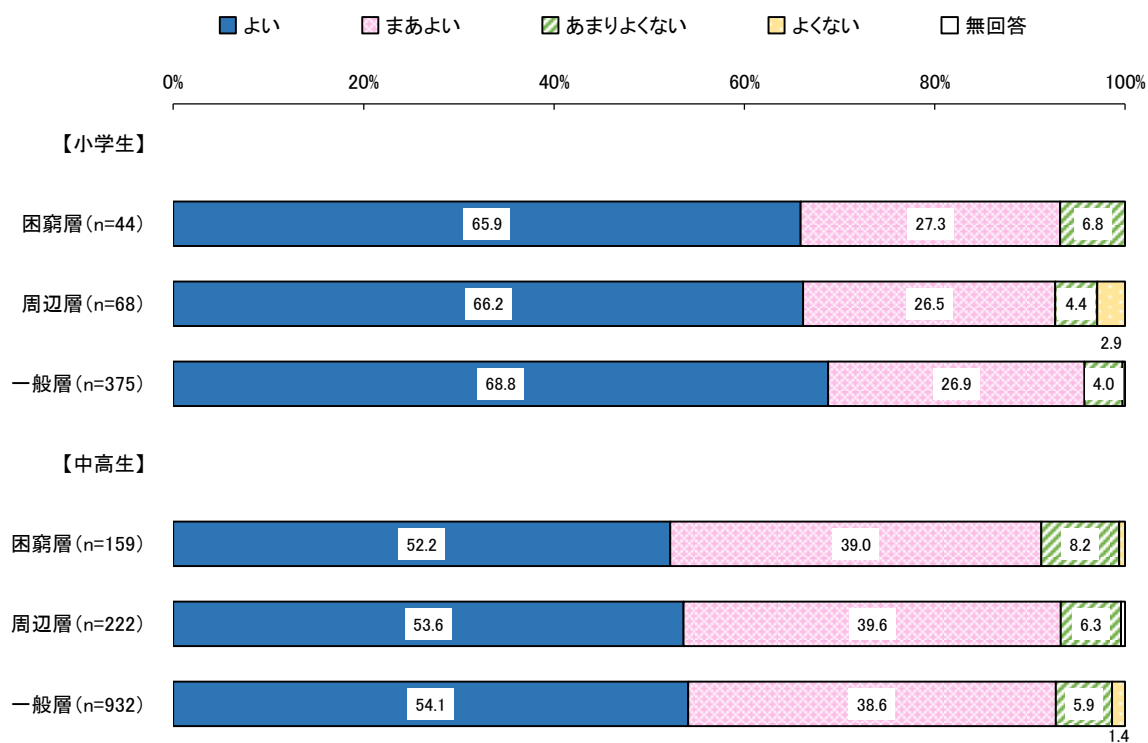


(5) 今の体の調子（健康状態）

問 あなたは、今の体の調子（健康状態）についてどう感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

子小問7、子中高問7

- ・年齢別、生活困難度別ともに大きな差はみられず、9割以上が体の調子（健康状態）について「よい」「まあよい」と回答している。

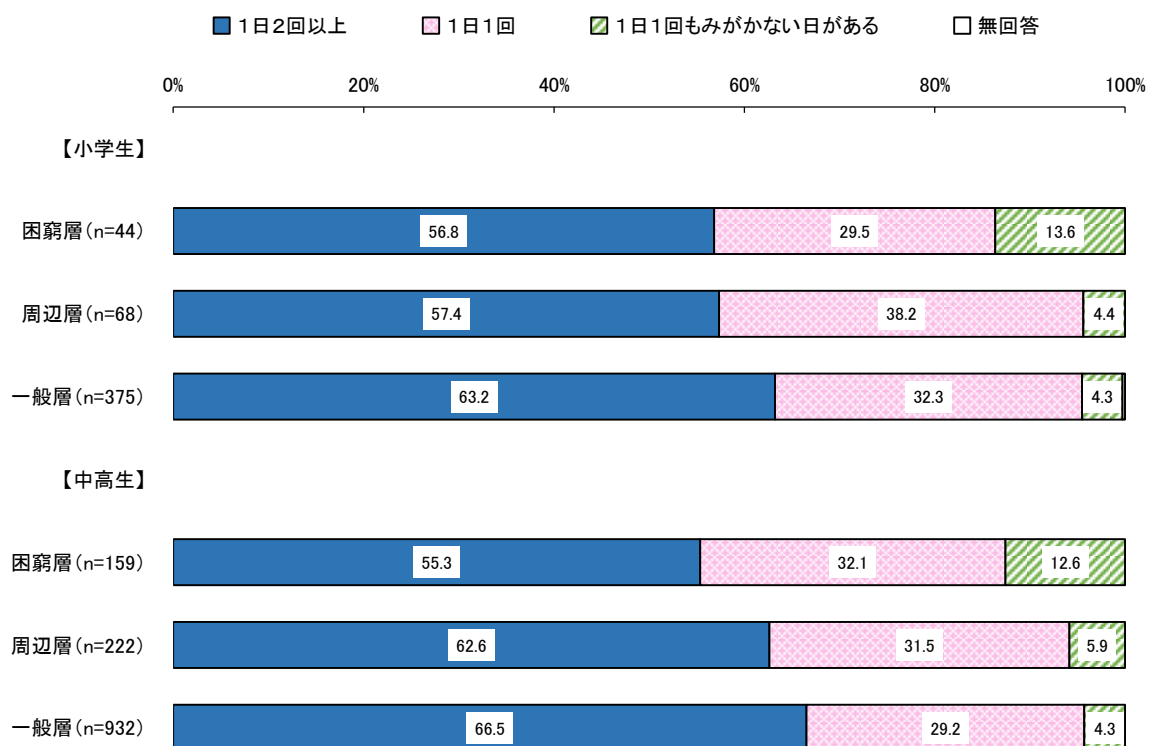


(6) 歯みがきの頻度

問 あなたは、歯みがきをどれくらいしていますか。(あてはまるもの1つに○)

子小問8、子中高問8

- ・歯みがきの頻度は困窮層で少ない傾向がみられる。



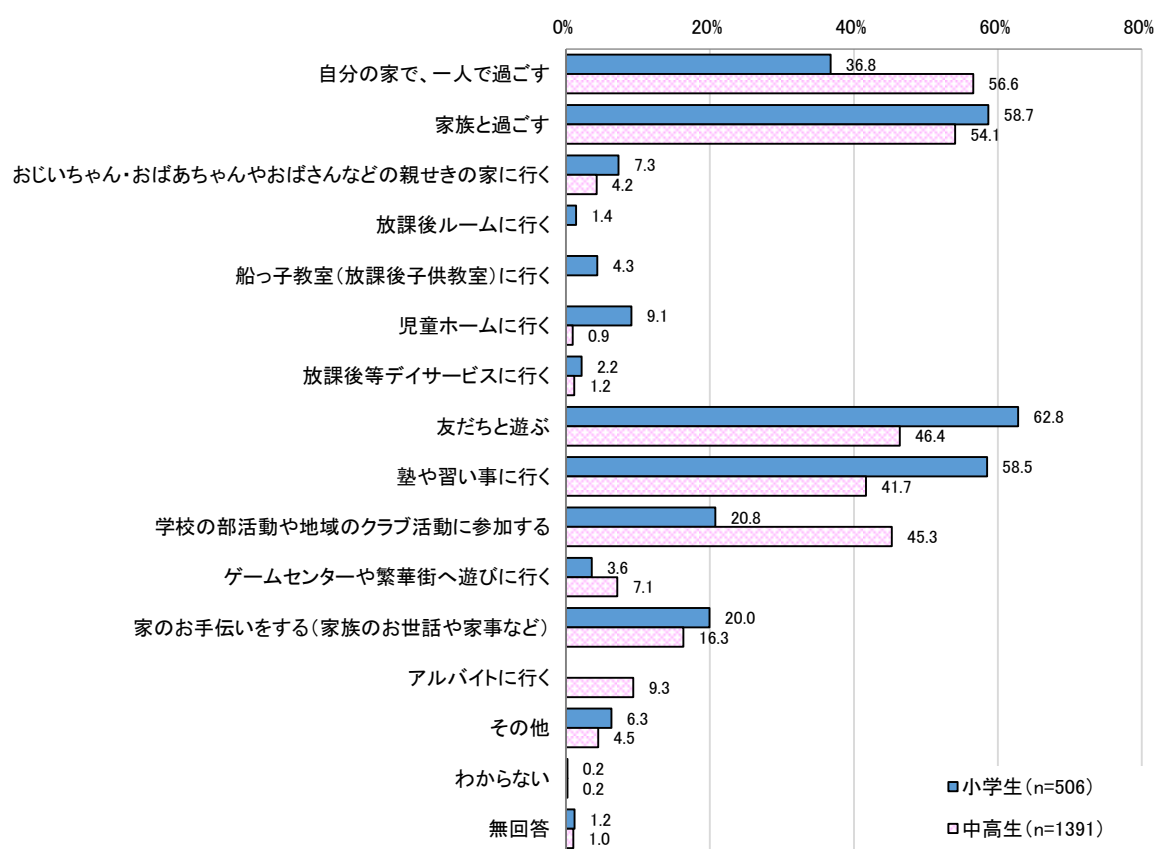
(7) 放課後や休日の過ごし方

問 あなたは、ふだん、放課後や休日（夏休みや冬休みなどをふくみます）に、どのように過ごすことが多いですか。（学校に通っていない方はふだんどのように過ごしているかお答えください。）また、あなたがしたい過ごし方をおしえてください。（それぞれ次のページの表を見てあてはまる番号を記入）

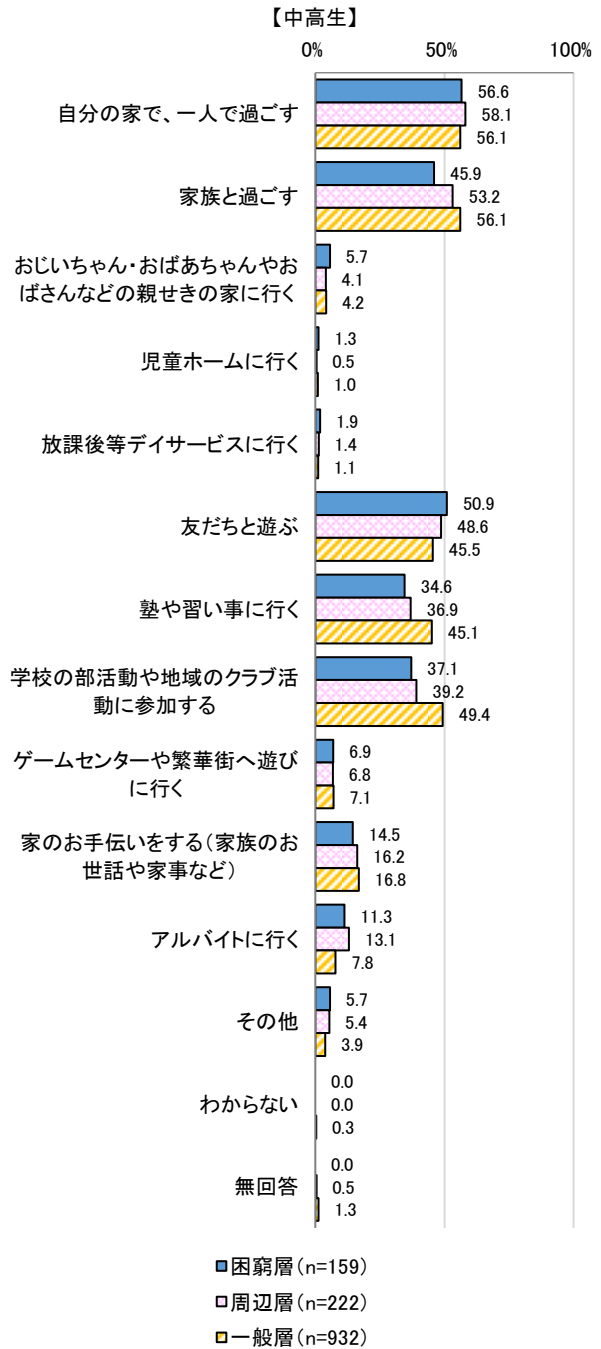
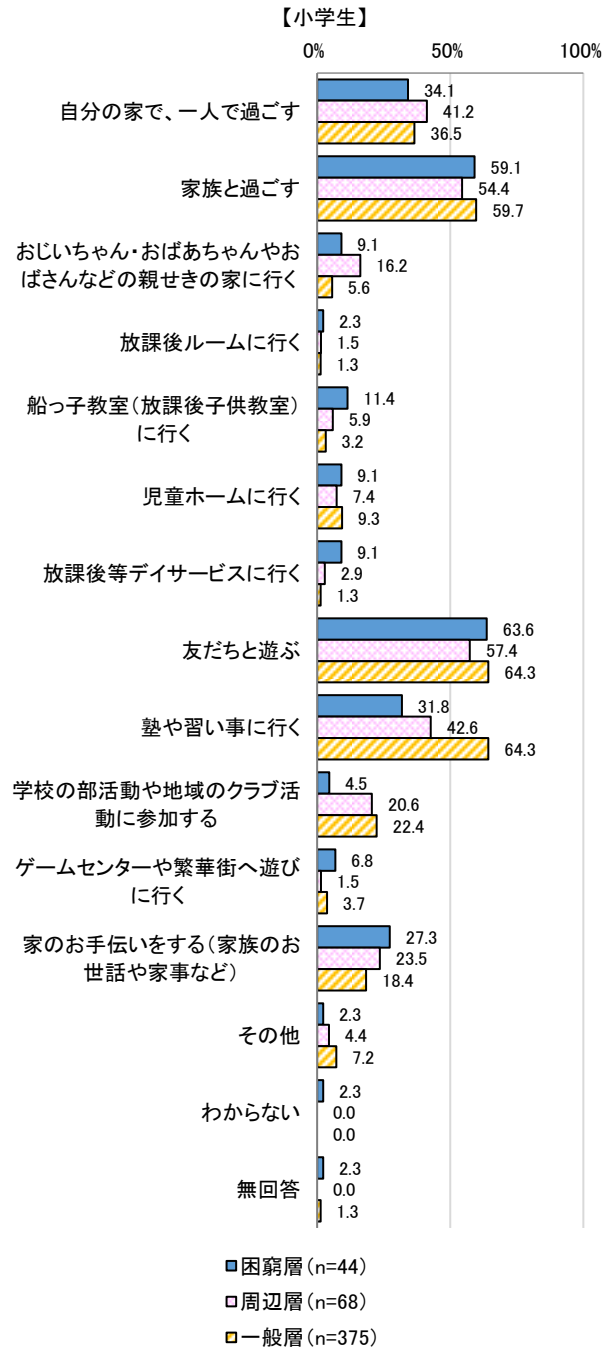
子小問9、子中高問11

●放課後（ふだん）

- ・小学生では、「友だちと遊ぶ」「家族と過ごす」「塾や習い事に行く」の割合が高い。
- ・中高生では、「自分の家で、一人で過ごす」「家族と過ごす」「友だちと遊ぶ」「学校の部活動や地域のクラブ活動に参加する」「塾や習い事に行く」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、小学生、中高生ともに困窮層になるにつれて、「塾や習い事に行く」「学校の部活動や地域のクラブ活動に参加する」の割合が低くなる傾向がある。

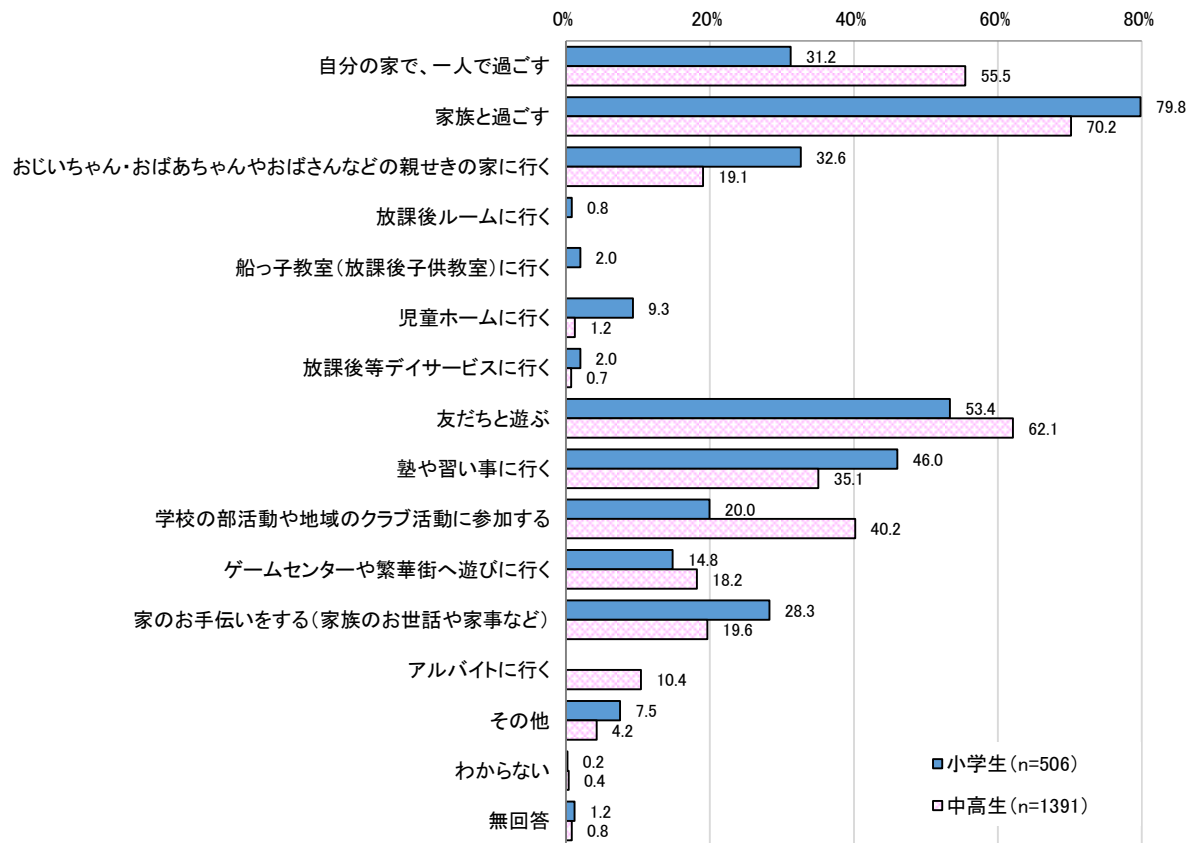


<生活困難度別>

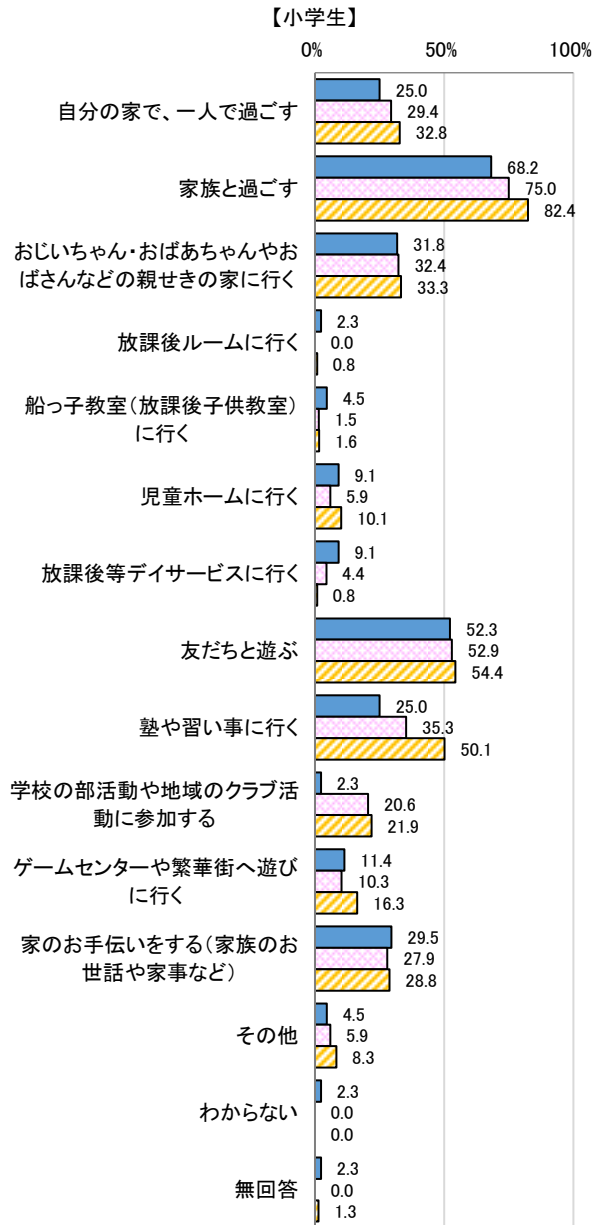


●休日（ふだん）

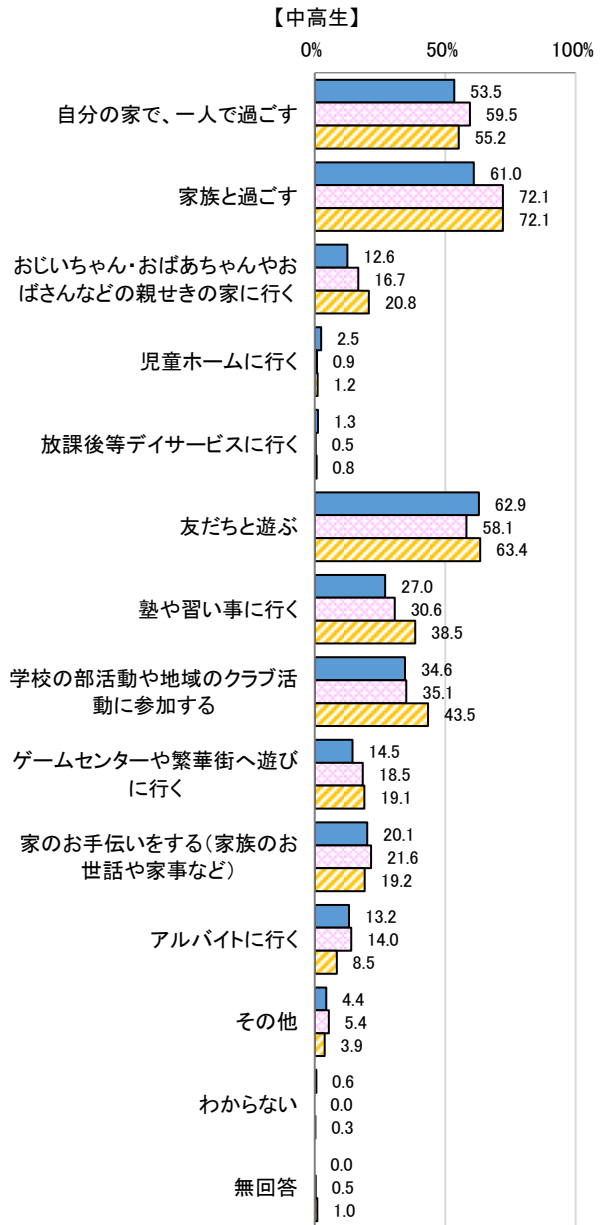
- ・小学生では、「家族と過ごす」「友だちと遊ぶ」「塾や習い事に行く」の割合が高い。
- ・中高生では、「家族と過ごす」「友だちと遊ぶ」「自分の家で、一人で過ごす」の割合が高い。
- ・生活困難度別にみると、小学生、中高生ともに困窮層になるにつれて、「塾や習い事に行く」の割合が低くなる傾向がある。



<生活困難度別>



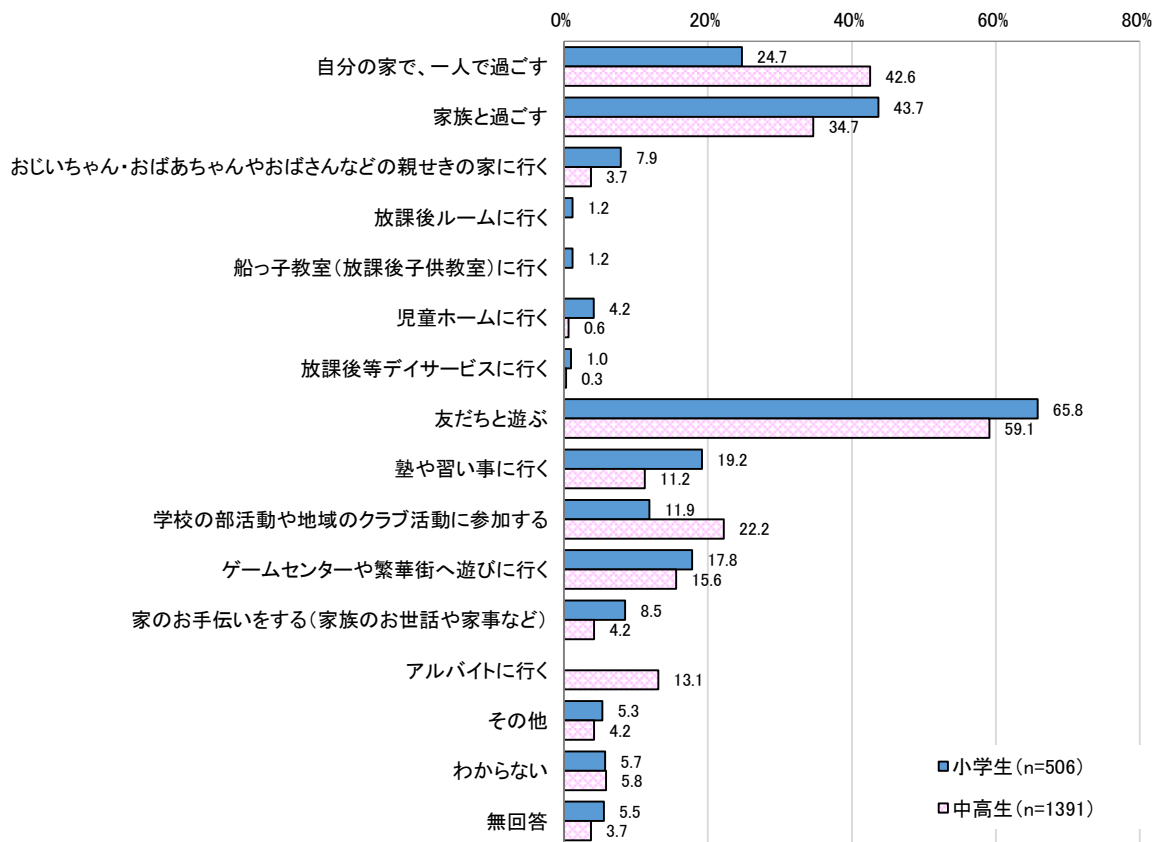
■ 困窮層 (n=44)
□ 周辺層 (n=68)
▨ 一般層 (n=375)



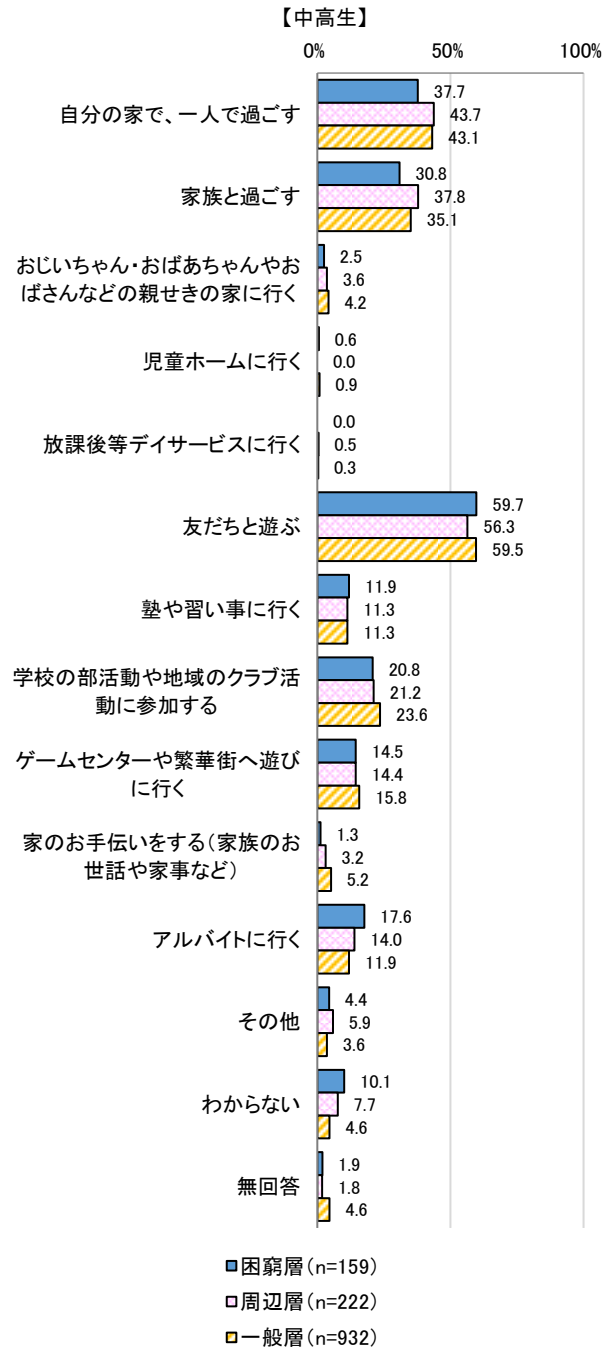
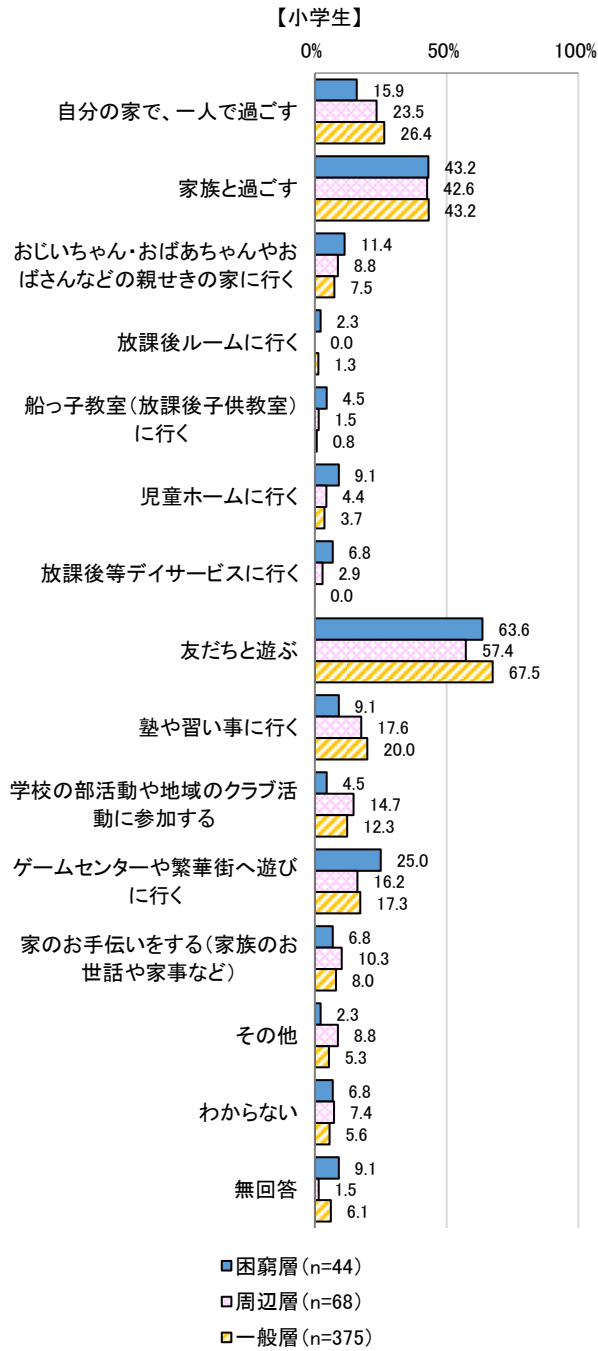
■ 困窮層 (n=159)
□ 周辺層 (n=222)
▨ 一般層 (n=932)

●放課後（きぼう）

- ・小学生、中高生ともに「友だちと遊ぶ」の割合が高い。

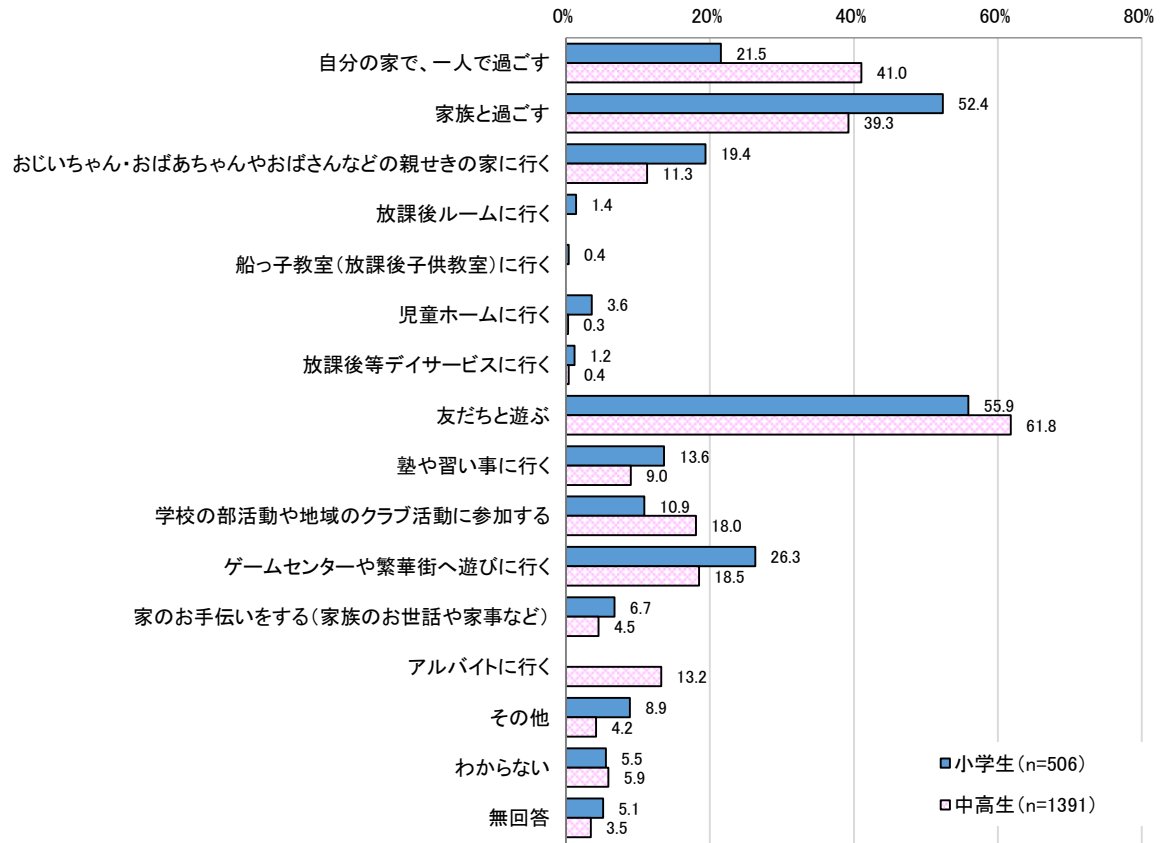


<生活困難度別>

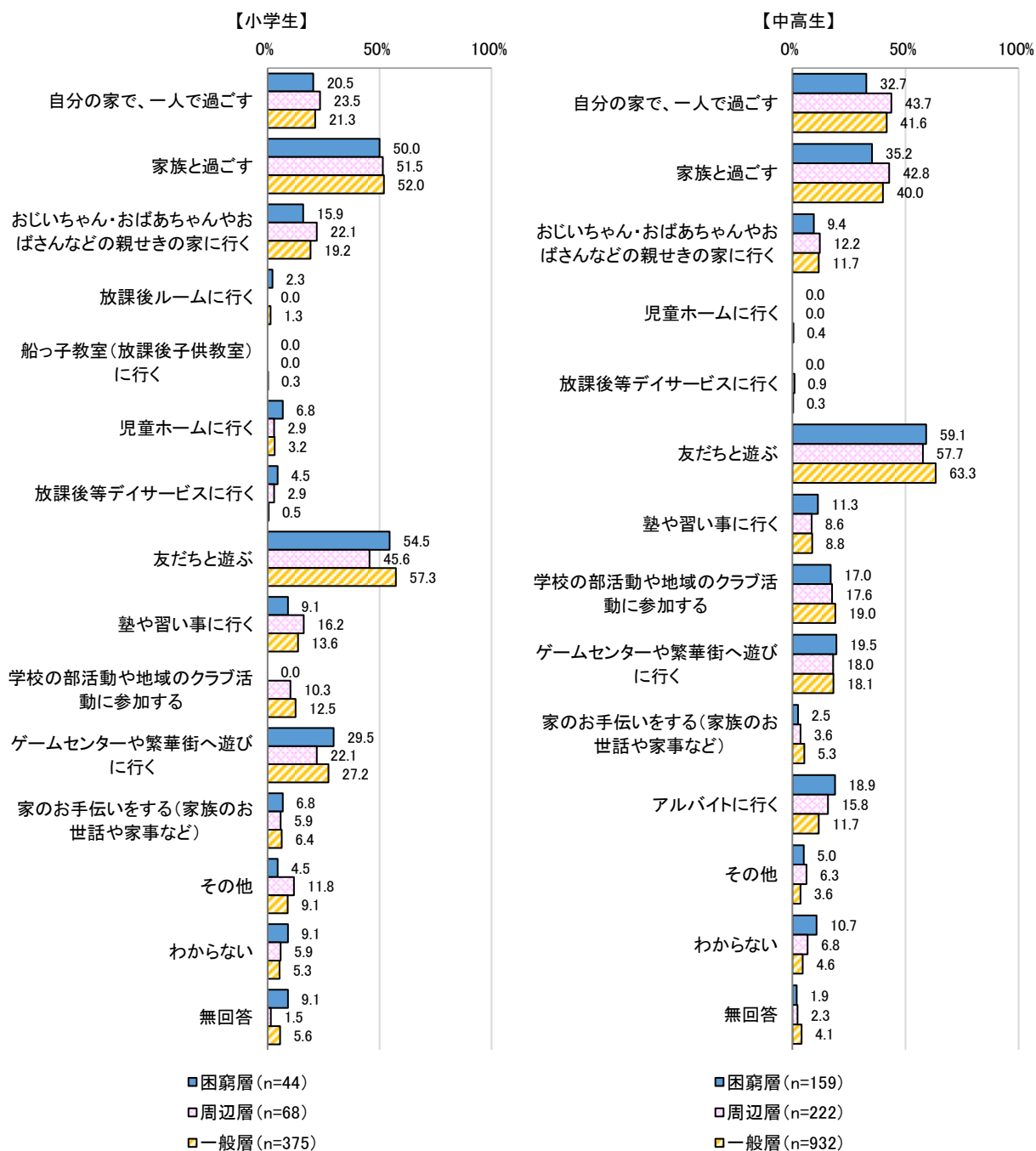


●休日（きぼう）

- ・小学生では、「友だちと遊ぶ」「家族と過ごす」の割合が高い。
- ・中高生では、「友だちと遊ぶ」の割合が高い。



<生活困難度別>



- ・ 放課後の過ごし方に関して、小学生は現状と希望が一致しており、「友だちと遊ぶ」ことを好む傾向がある。
- ・ 中高生は、希望としては「友達と遊ぶ」ことを望んでいるが、現実にはそれが叶いづらい傾向がある。
- ・ 休日の過ごし方に関して、小学生と中高生は家族との時間を大切にしつつも、友達との交流や自己の時間を求めていることがわかる。

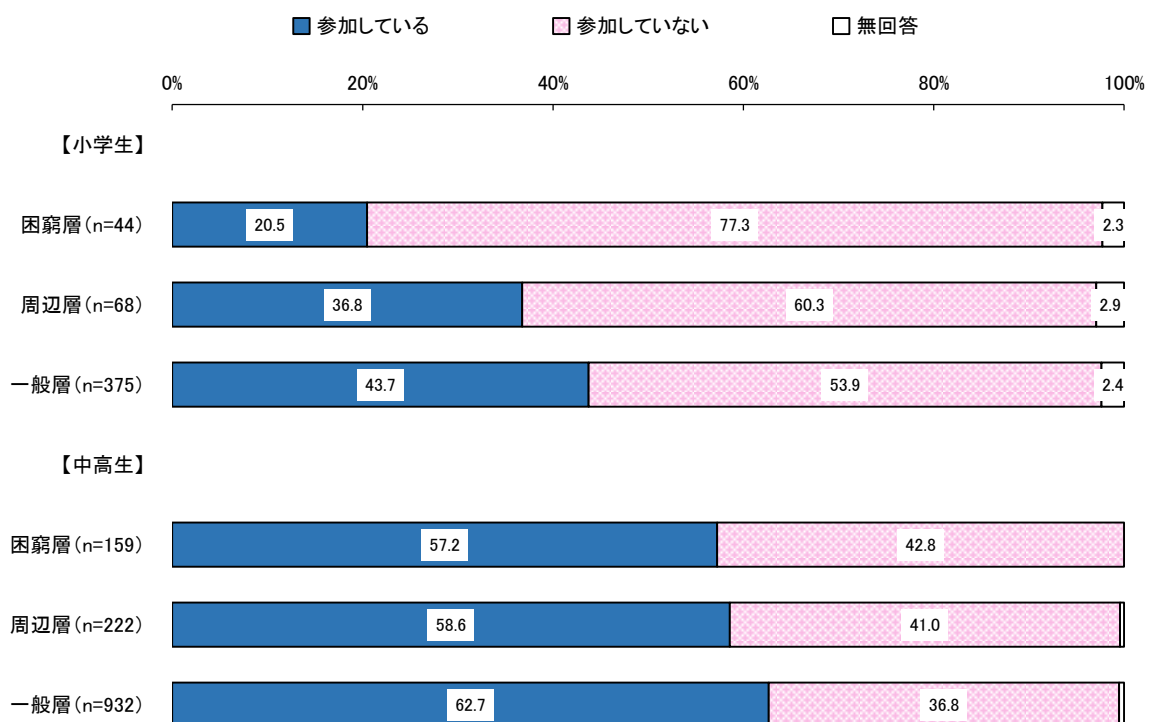
2-3. 学校や勉強について

(1) 部活動等への参加

問 あなたは、現在、学校の部活動や地域のクラブ活動（学校外で行っているサッカークラブチームなど）に参加していますか。（あてはまるもの1つに○）

子小問10、子中高問12

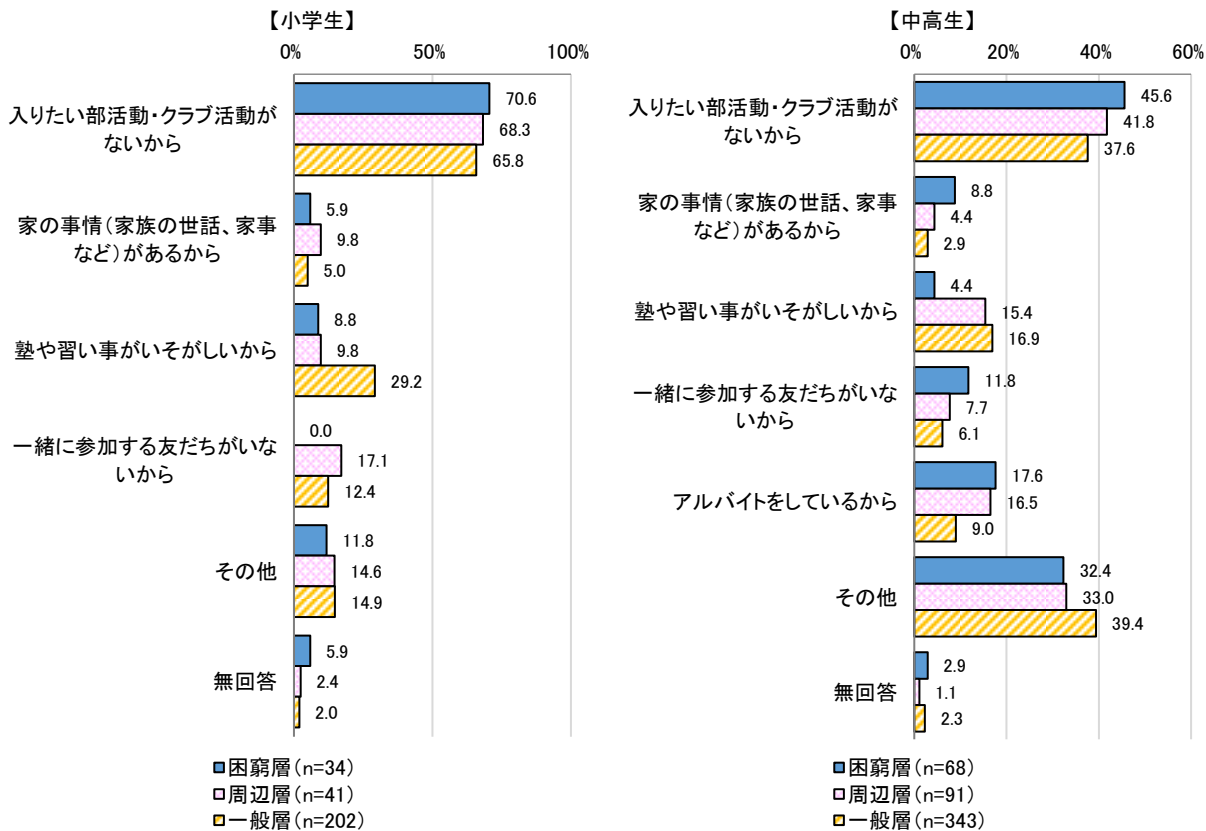
- ・「参加している」割合は、小学生よりも中高生で高い傾向がある。
- ・「参加している」割合は困窮層になるほど低い傾向がある。



問 「参加していない」を選んだ方にかがいます。その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

子小問10-1、子中高問12-1

- ・「入りたい部活動・クラブ活動がないから」の割合が高い。
- ・中高生では困窮層と周辺層で「アルバイトをしているから」の割合が一定程度確認できる。



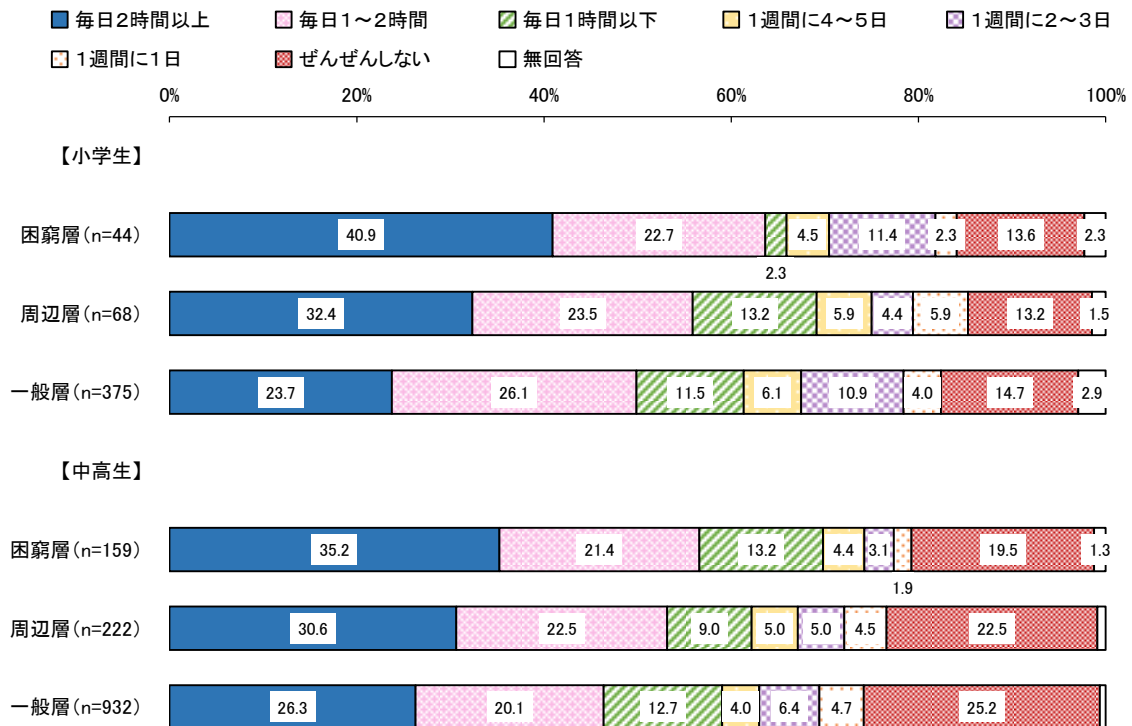
(2) 活動状況

問 あなたは、以下の活動を、ふだんどれくらいしますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問1 1、子中高問1 4

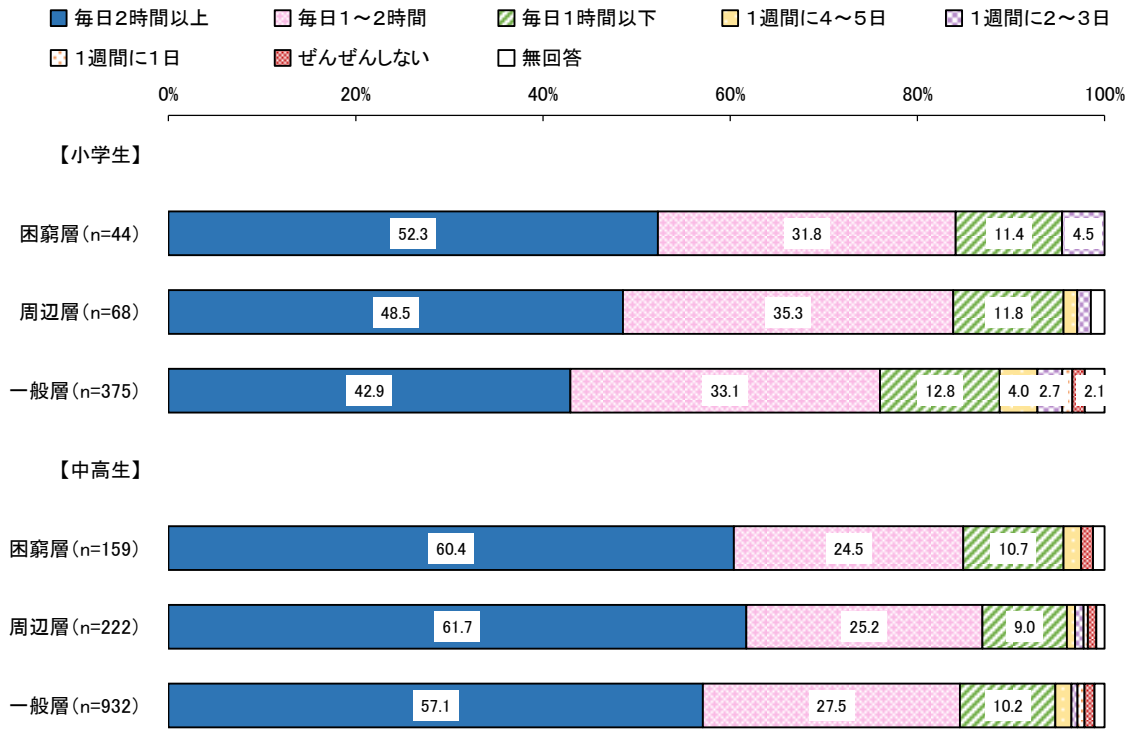
●ゲームで遊ぶ

- ・「ぜんぜんしない」の割合は、小学生よりも中高生で高い。
- ・「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」の割合は、約半数程度いる。
- ・困窮層になるほど、ゲームで遊ぶ時間が長くなる傾向がある。



●テレビやインターネットをみる

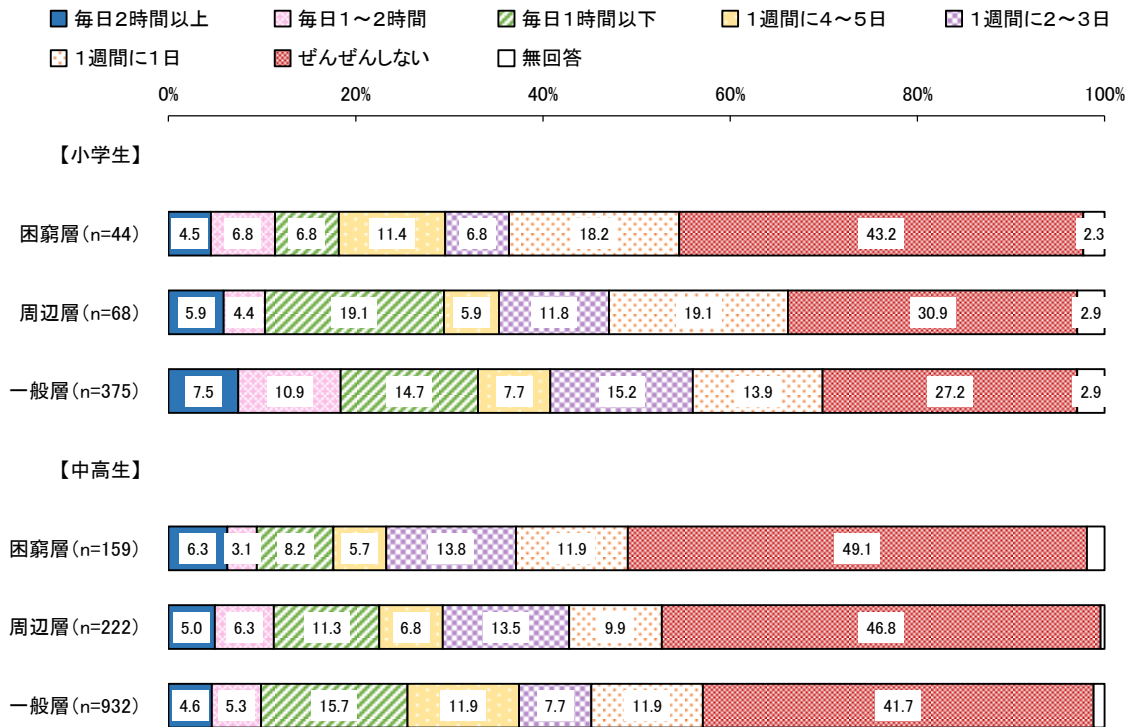
・「毎日2時間以上」の割合が最も高く、特に中高生は6割程度みられる。



※2.0%未満はラベル非表示

●読書（電子書籍をふくむ。雑誌やマンガはふくまない。）

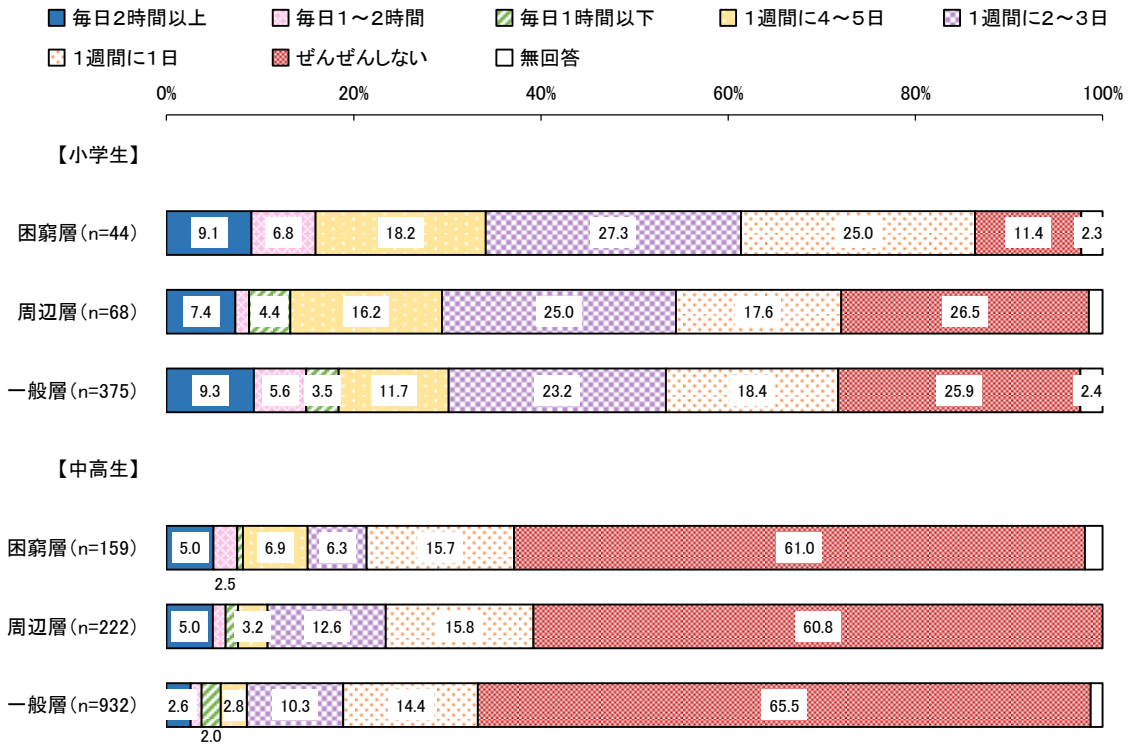
・「ぜんぜんしない」の割合が最も高く、特に中高生では4割以上にのぼる。
 ・「ぜんぜんしない」の割合は困窮層になるにつれて高くなる傾向がある。



※2.0%未満はラベル非表示

●公園などの外で遊ぶ

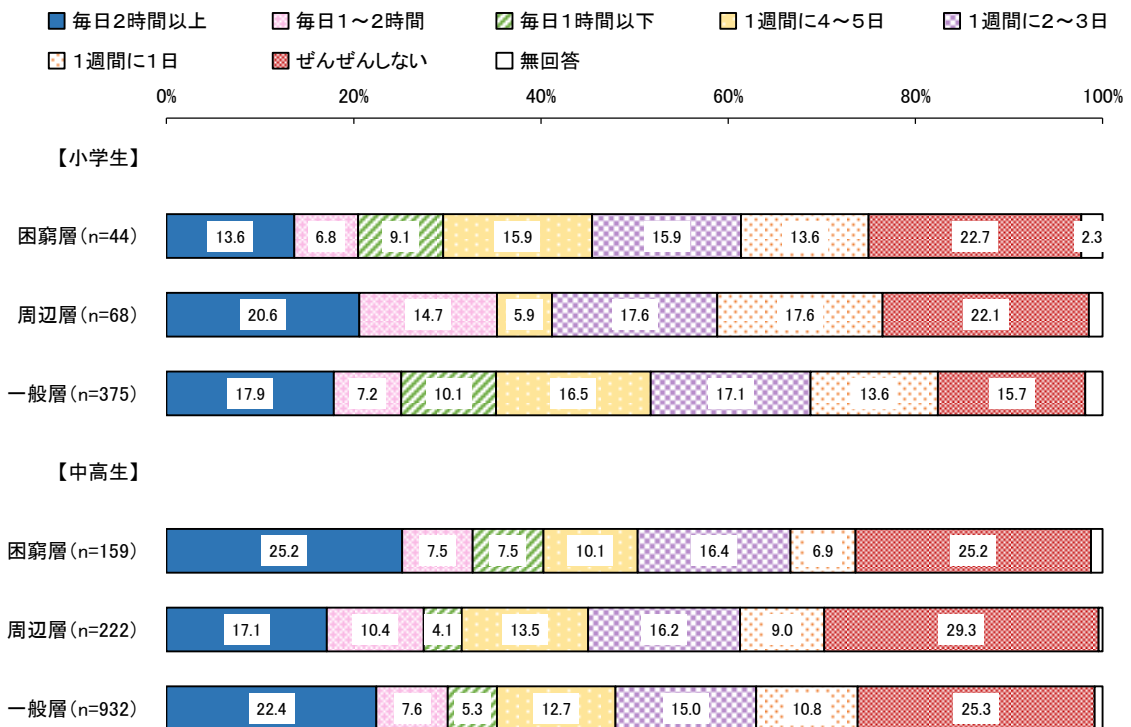
- ・「ぜんぜんしない」の割合が最も高く、特に中高生では6割を超える。
- ・「ぜんぜんしない」の割合は小学生の困窮層で低い。



※2.0%未満はラベル非表示

●30分以上体を動かす運動（部活動などをふくむ）

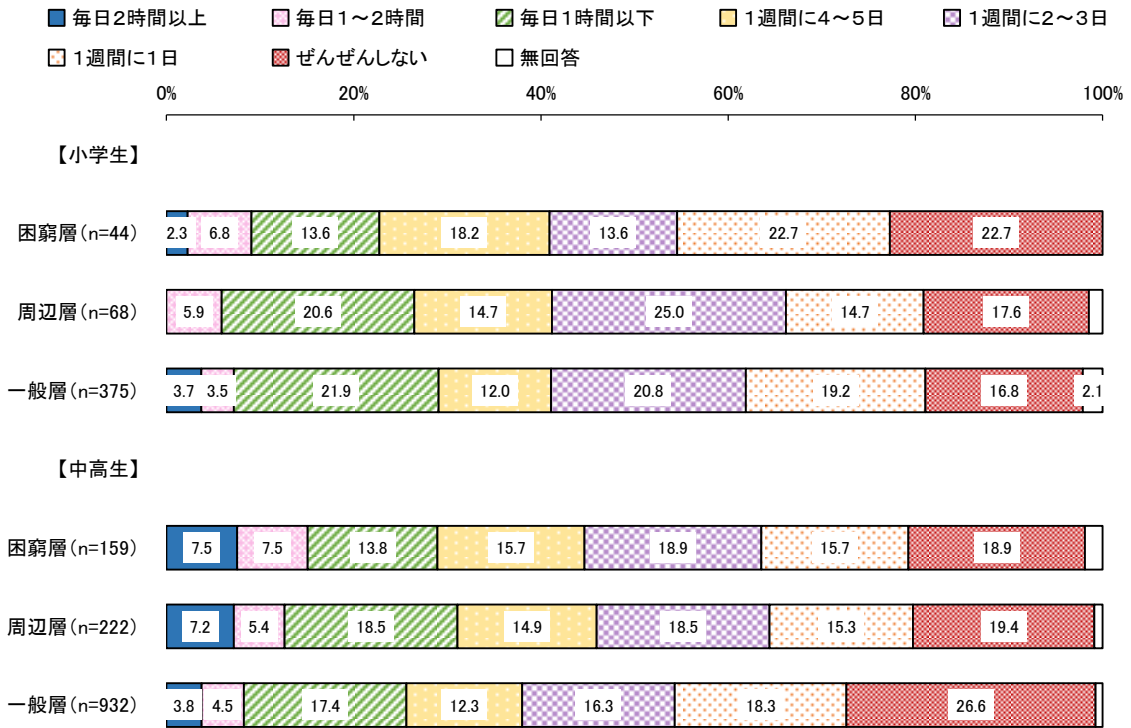
- ・「毎日2時間以上」が一定数いる一方、「ぜんぜんしない」の割合も高く、特に中高生の周辺層では3割近くにのぼる。



※2.0%未満はラベル非表示

●家のおてつだい（洗濯、掃除、料理、片付けなど）

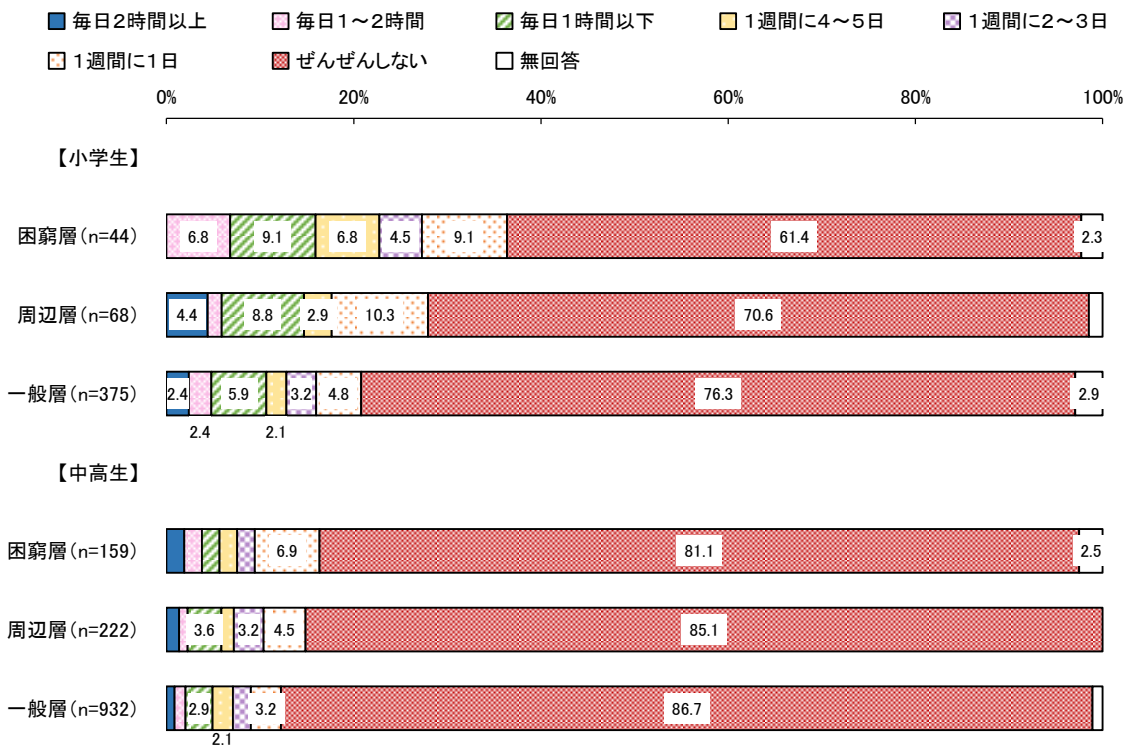
- ・大半はある程度家のお手伝いをしているが、「ぜんぜんしない」の割合も一定数ある。
- ・特に中高生では、困窮層になるにつれ「毎日2時間以上」の割合が増加する傾向にある。



※2.0%未満はラベル非表示

●兄弟姉妹やおじいちゃん、おばあちゃんの世話（食事や着替えの手伝い、見守りなど）

- ・「ぜんぜんしない」が大半である一方、日常にお世話する割合も一定数みられる。
- ・困窮層になるにつれ、お世話をする割合が増える傾向にある。



※2.0%未満はラベル非表示

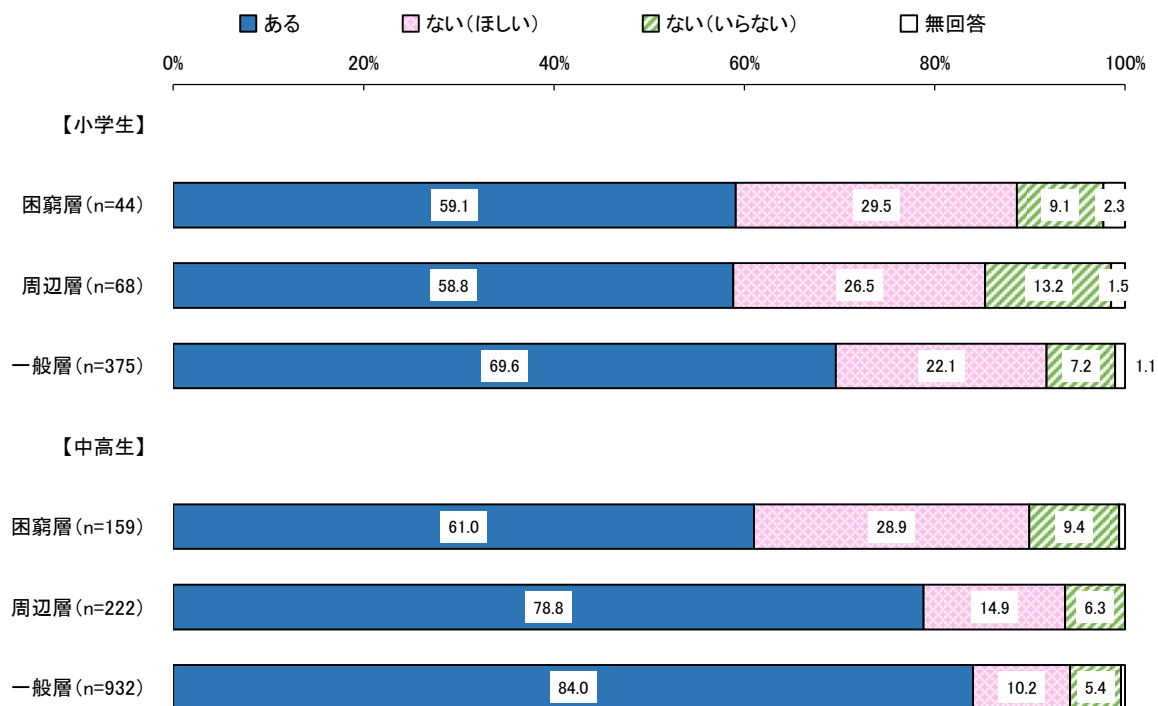
(3) 専用のものの有無

問 あなたの家には、次のようなあなた専用のものがありますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問1 2、子中高問1 5

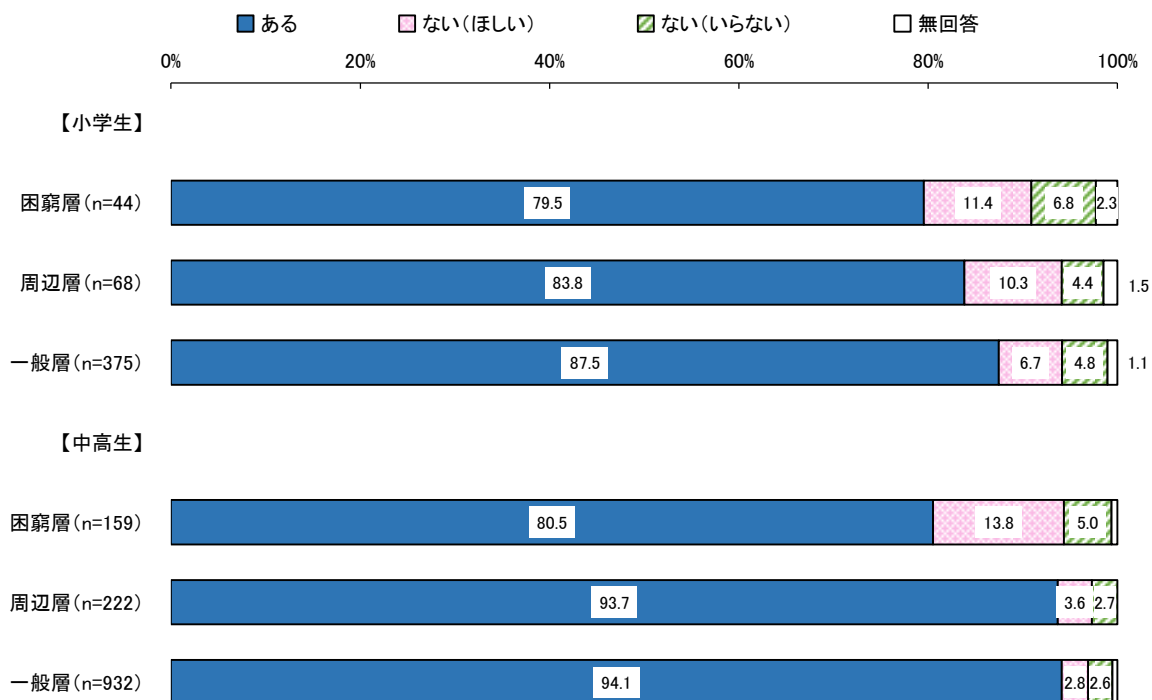
●子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）

- ・「ある」の割合が大半であり、小学生よりも中高生で高い。
- ・困窮層ほど「ない」の割合が増える傾向にある。



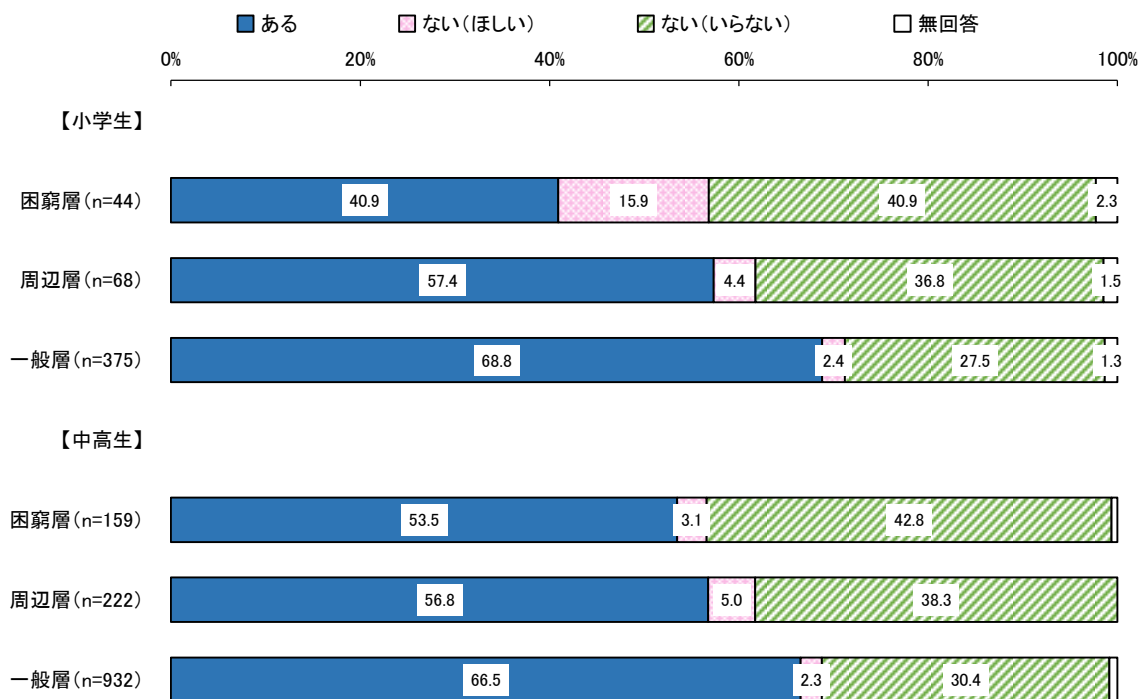
●自宅での宿題をすることができる場所

- ・「ある」の割合が大半である。
- ・困窮層ほど「ない」の割合が増える傾向にある。



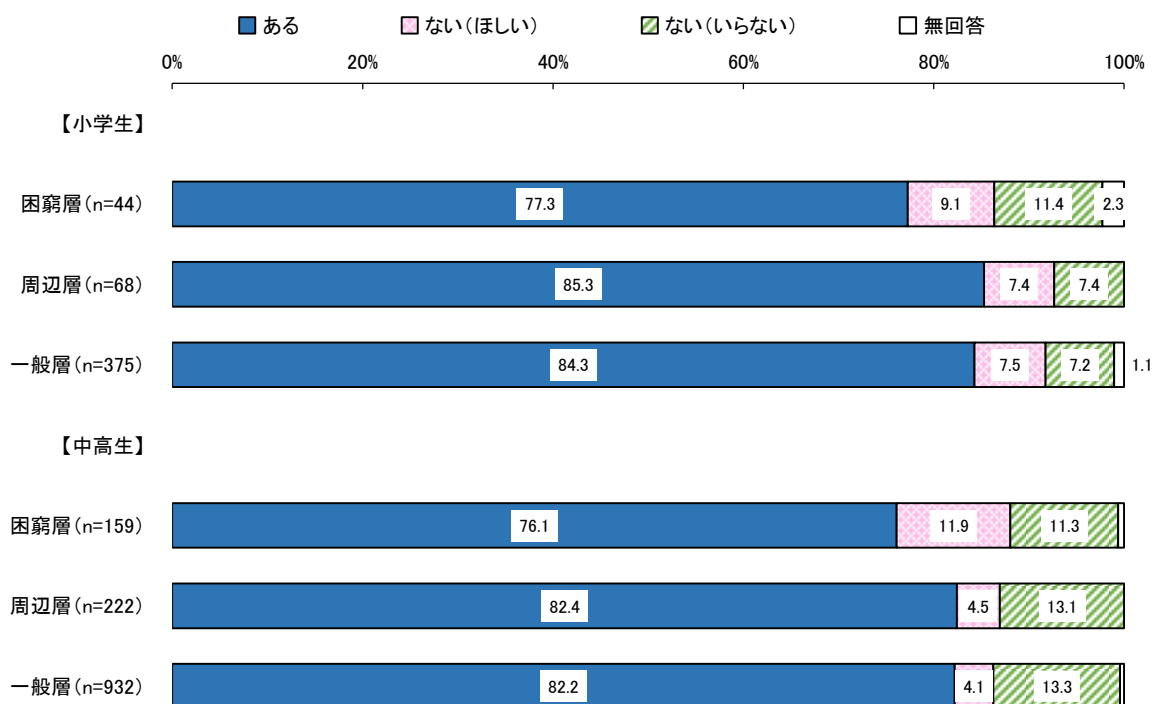
●スポーツ用品（野球のグローブ、サッカーボール、テニスのラケットなど）

- ・「ない（いらぬ）」の割合は、小学生よりも中学生で高い。
- ・「ある」の割合は困窮層で低い。
- ・「ない（ほしい）」の割合は、小学生の困窮層で高い。



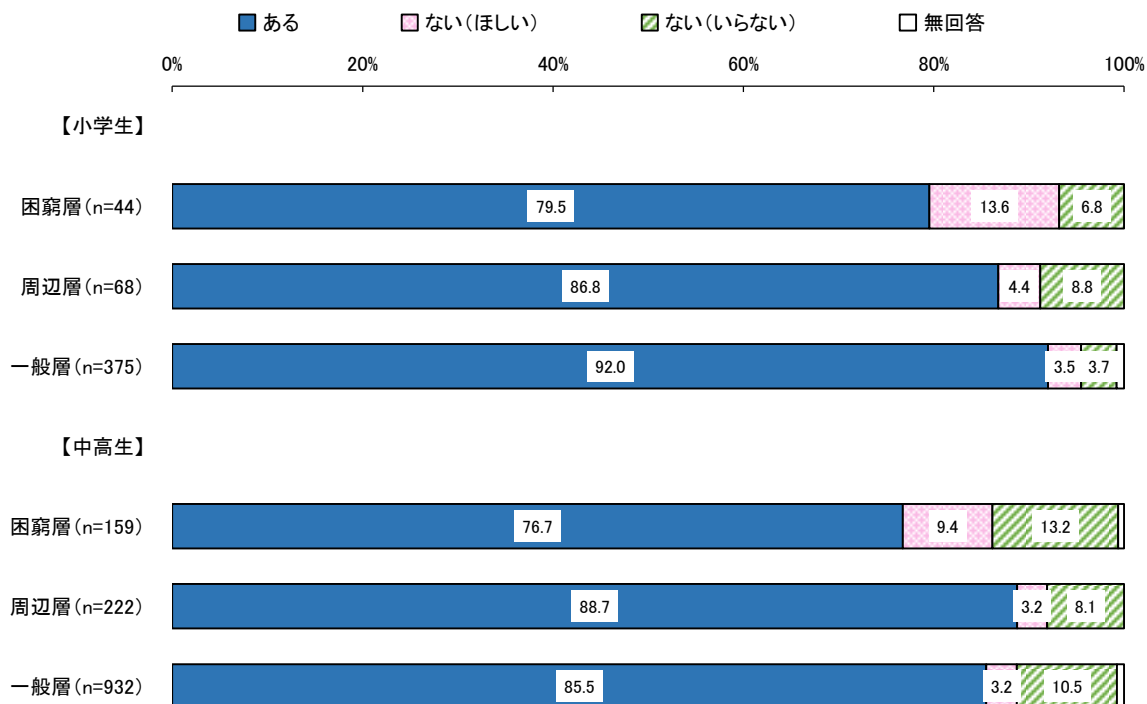
●ゲーム機

- ・小学生、中学生ともに8割程度がゲーム機を持っている。
- ・中学生の困窮層では「ない(ほしい)」が多い。



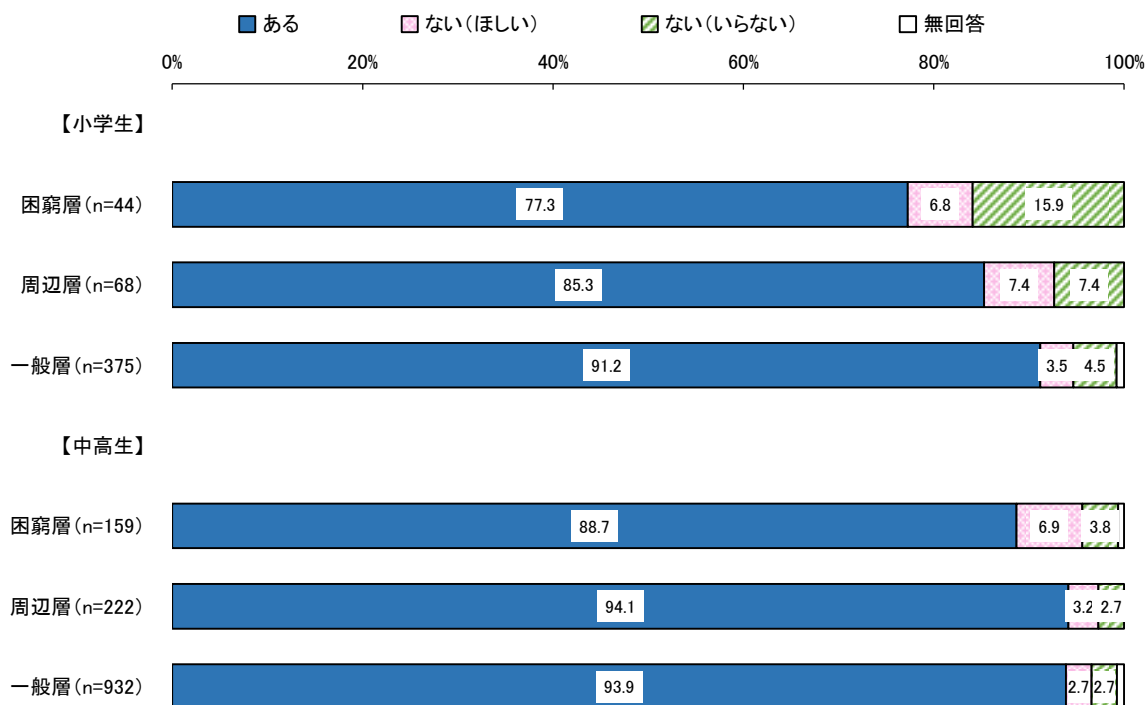
●自転車

- ・「ある」の割合は、小学生、中学生ともに困窮層で低い傾向にある。



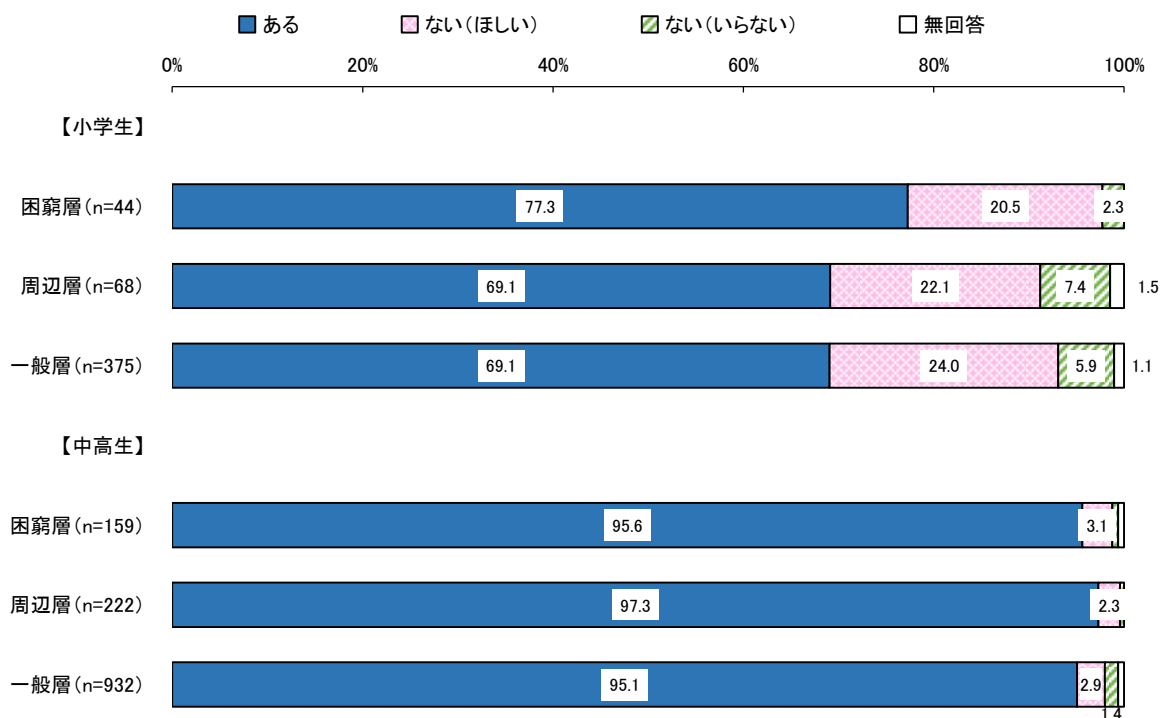
● 2足以上のサイズの合った靴

・「ある」の割合は、小学生、中高生ともに困窮層で低い傾向にある。



● けいたい電話、スマートフォン

・生活困難度別の差異は特段みられず、「ある」の割合は、小学生で7割程度、中高生で9割以上となっている。



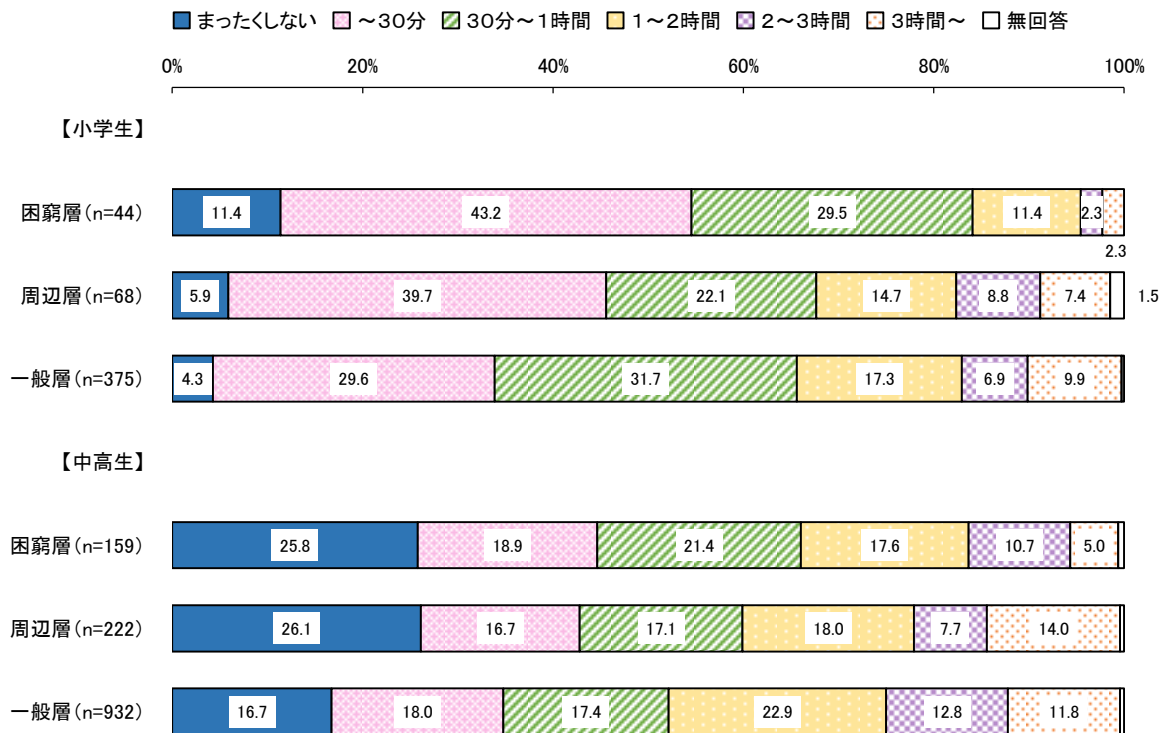
(4) 勉強時間

問 あなたは、ふだん学校の授業以外に1日あたりどれくらいの時間勉強しますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問13、子中高問16

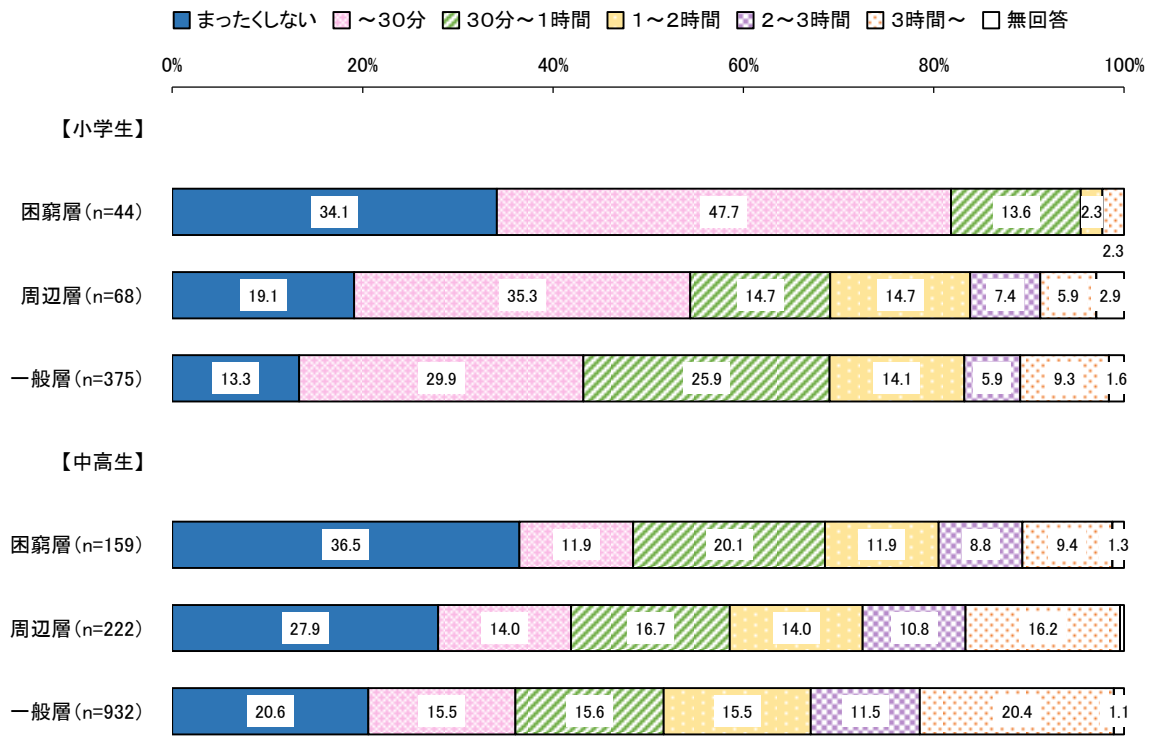
●学校がある日(月～金曜日)

- ・小学生の約9割で一定の学習習慣がみられる。
- ・「まったくしない」の割合は、中高生で高く、約2割となっている。
- ・困窮層ほど「まったくしない」の割合が増える傾向がある。



●学校がない日（土・日曜日、祝日）

・「まったくしない」の割合は、小学生よりも中高生で高い傾向にあり、困窮層ほど「まったくしない」の割合が高い。

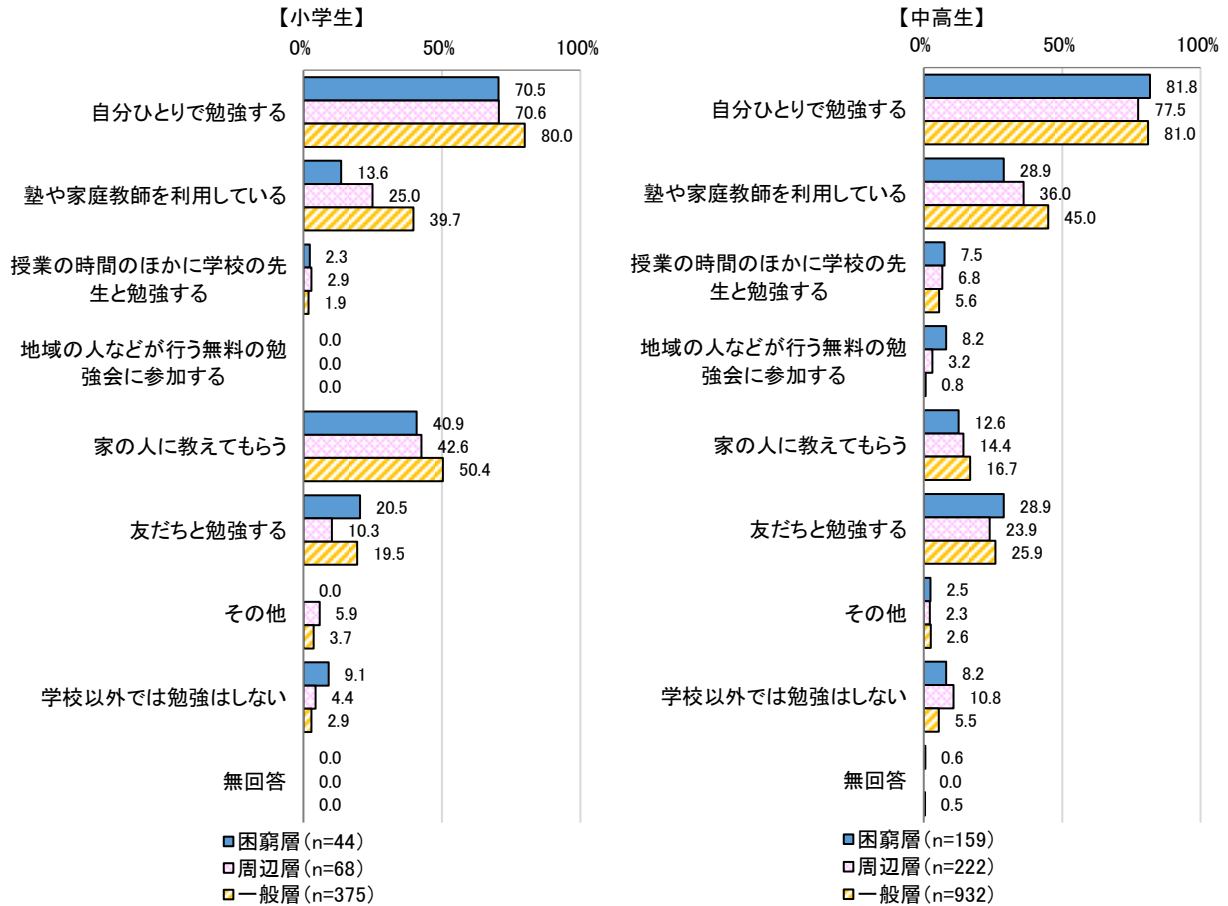


(5) 勉強方法

問 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強していますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。
(あてはまる番号すべてに○)

子小問14、子中高問17

- ・「自分ひとりで勉強する」の割合が高い。
- ・「塾や家庭教師を利用している」の割合は困窮層ほど低い傾向にある。

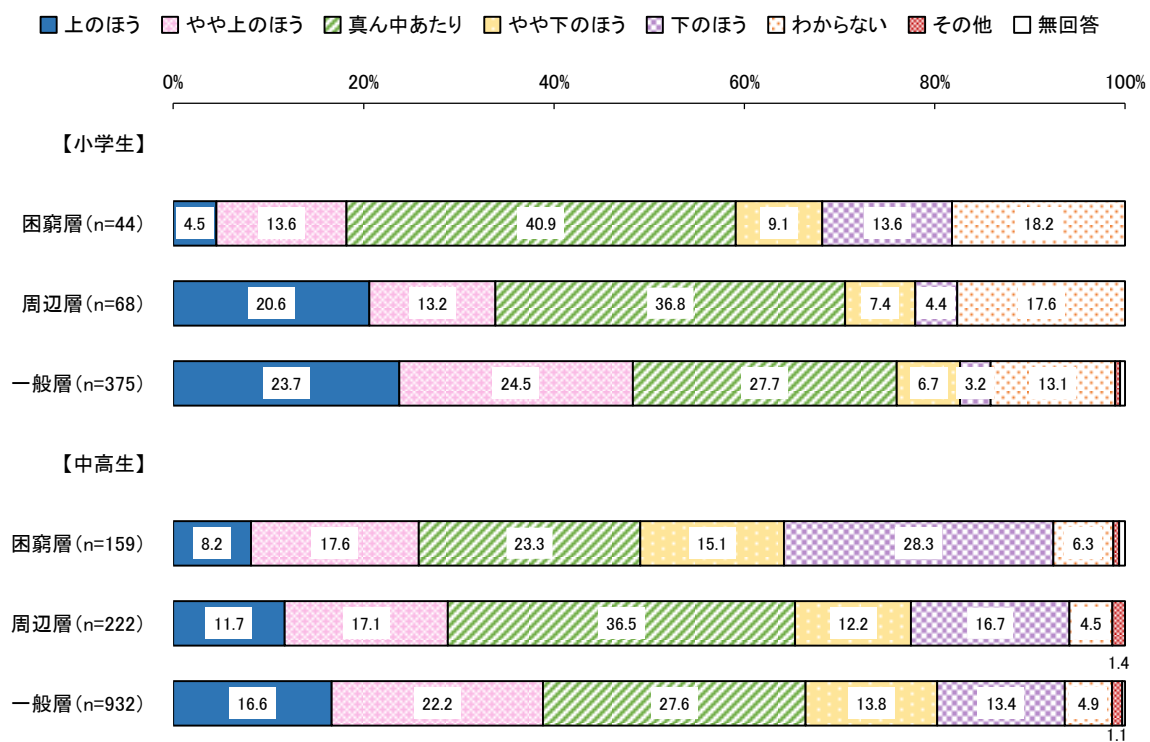


(6) 学校での成績

問 あなたの、今の学校での成績はどのくらいですか。(あてはまるもの1つに○)

子小問15、子中高問18

- ・ 困窮層ほど「やや下のほう」「下のほう」の割合が高い。

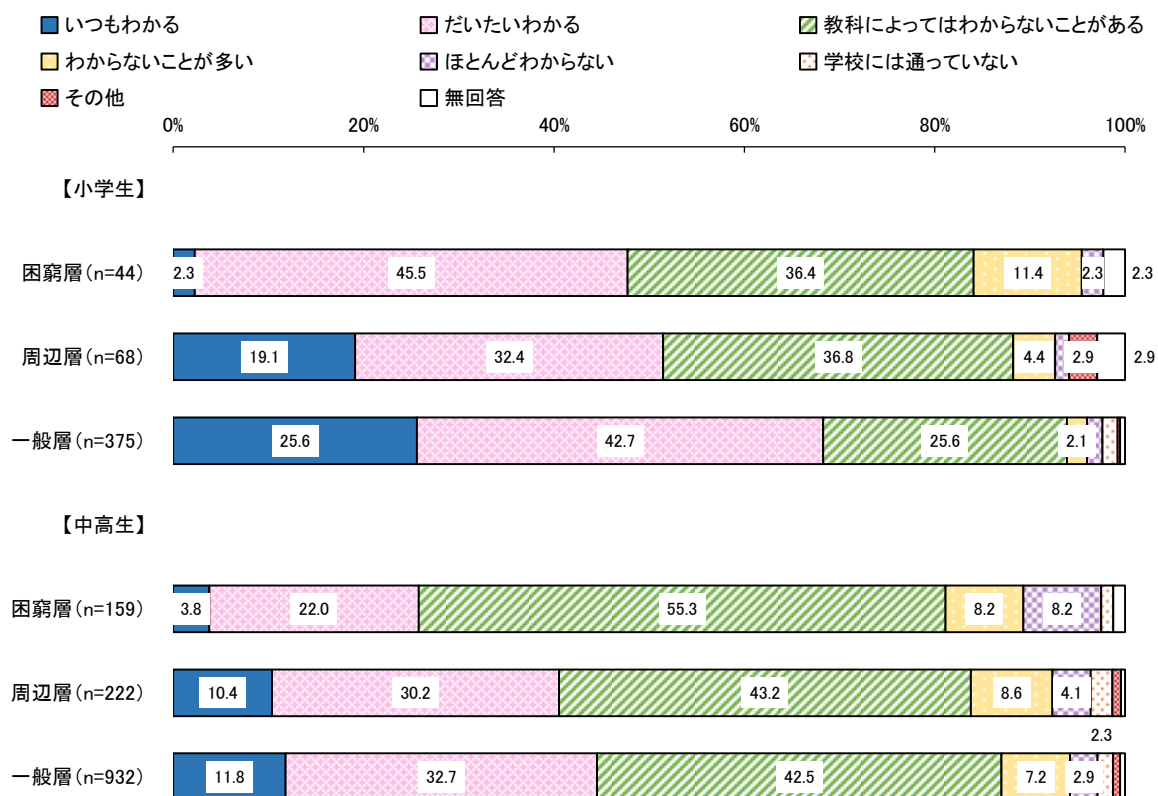


(7) 授業の理解度

問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

子小問16、子中高問19

- ・「いつもわかる」「だいたいわかる」の割合は、小学生よりも中高生で低い。
- ・困窮層ほど授業の理解度が低い傾向にある。

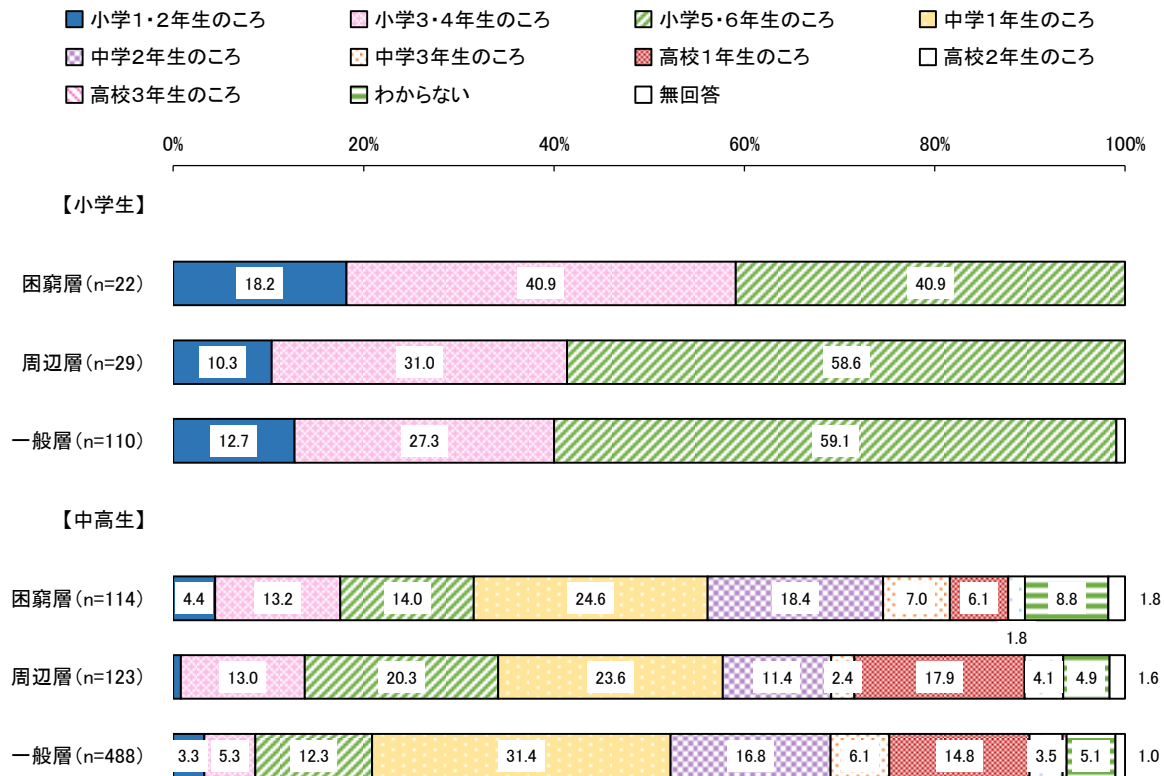


※2.0%未満はラベル非表示

問 「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」方にかがいます。いつごろから授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

子小問16-1、子中高問19-1

- ・ 困窮層ほどわからないことがあるようになった時期が早い傾向にある。
- ・ 中高生では「中学1年生のころ」の割合が最も高いが、周辺層、困窮層では3割以上が小学生のころにわからないことがあるようになったと回答している。

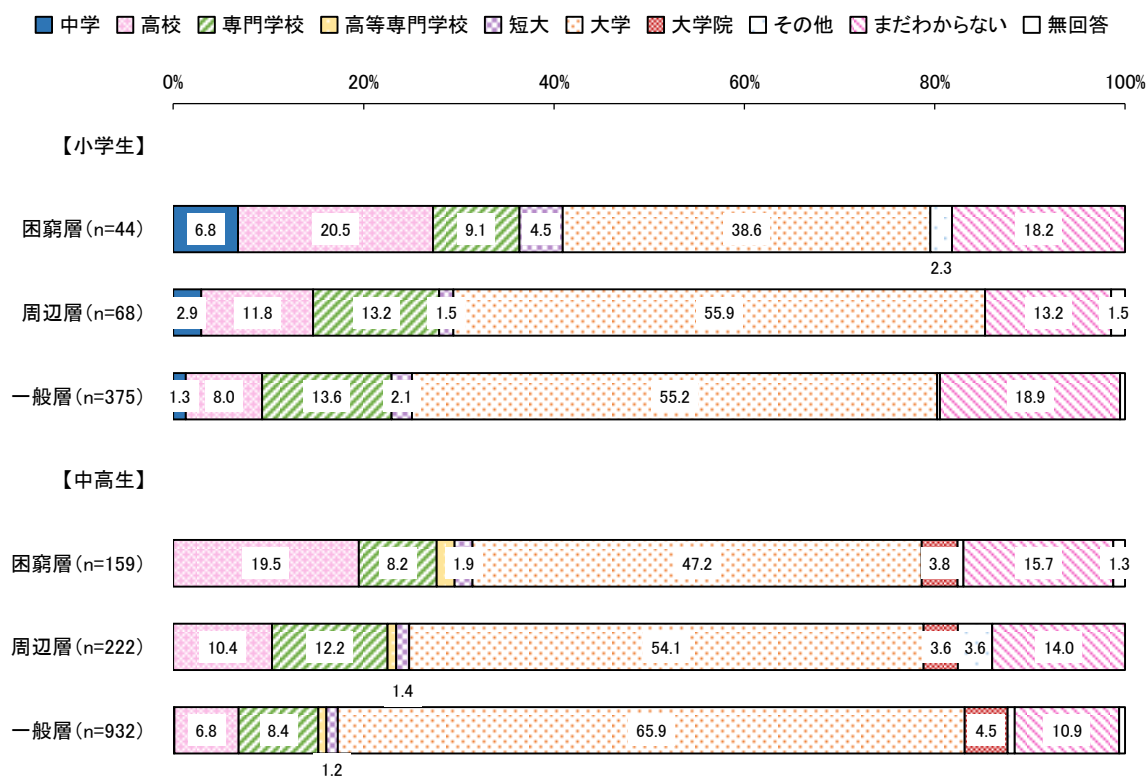


(8) 進学希望

問 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

子小問17、子中高問20

- ・困窮層ほど「高校」の割合が高く、「大学」の割合が低い傾向にある。

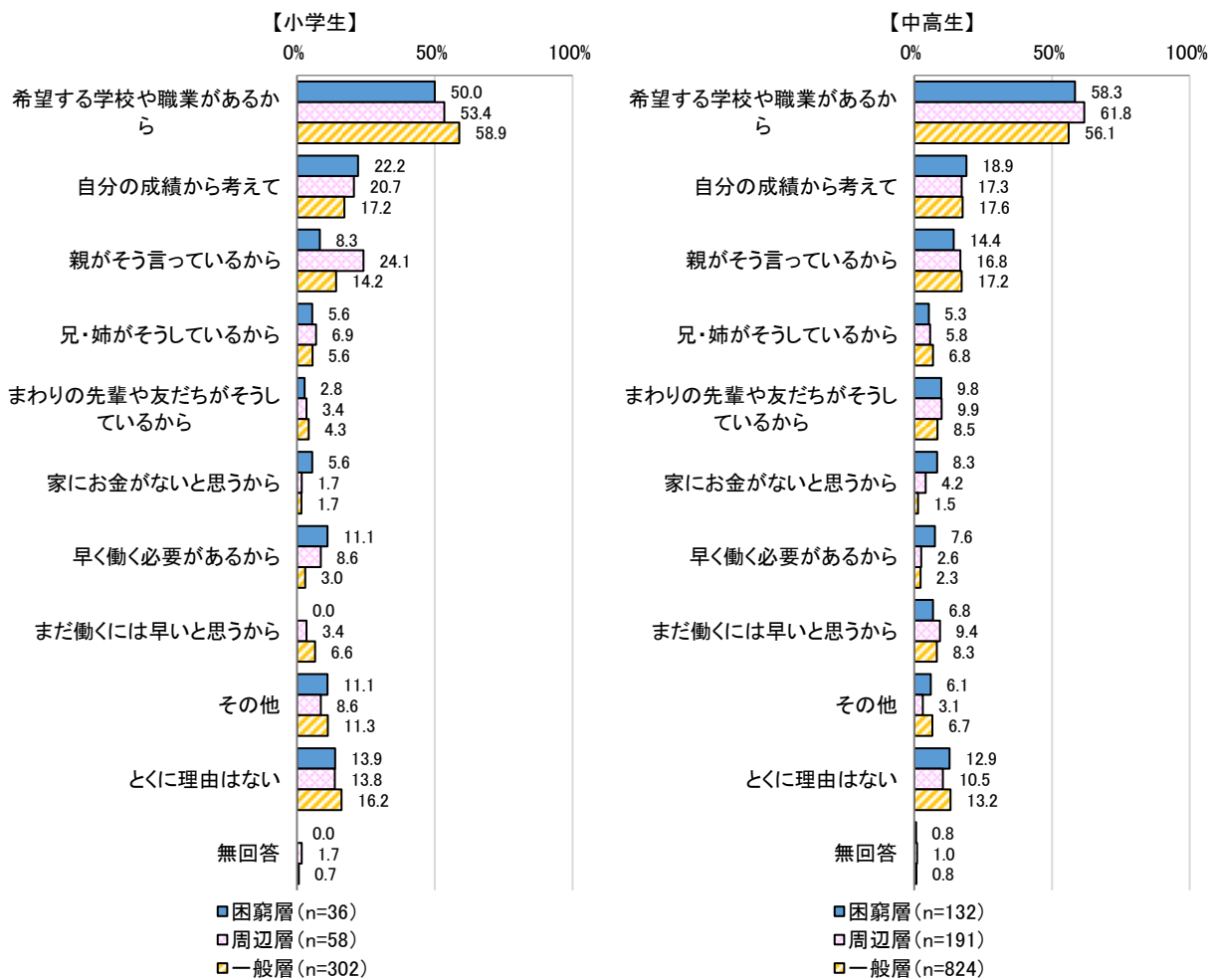


- ・家庭の状況が子どもの進学希望に影響を与えているとみられる。
- ・経済的支援や相談体制を整える取り組みの検討が必要である。

問 「中学」「高校」「専門学校」「短大」「大学」「その他」を選んだ方にうかがいます。その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

子小問1 7-1、子中高問2 0-1

・年齢別、生活困難度別に大きな差は見られず、「希望する学校や職業があるから」の割合が最も高い。



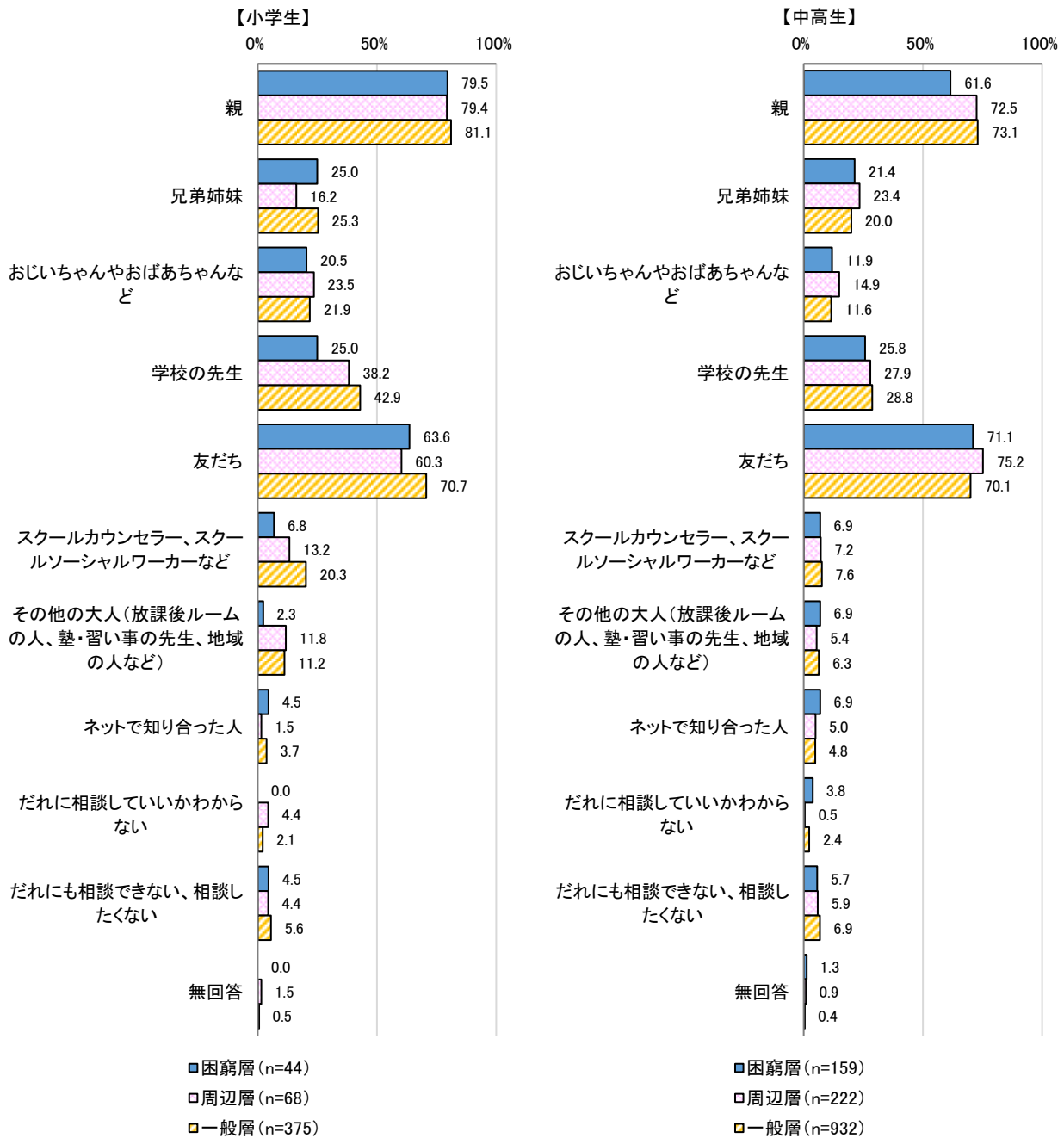
2-4. 友だちや家族、あなたの考えについて

(1) 相談相手

問 あなたや友だちが困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談したり助けを求めたりすることができると思う人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○)

子小問18、子中高問21

- ・どの層でも「親」「友だち」の割合が高い一方、小学生の困窮層で「学校の先生」の割合が低い傾向がある。

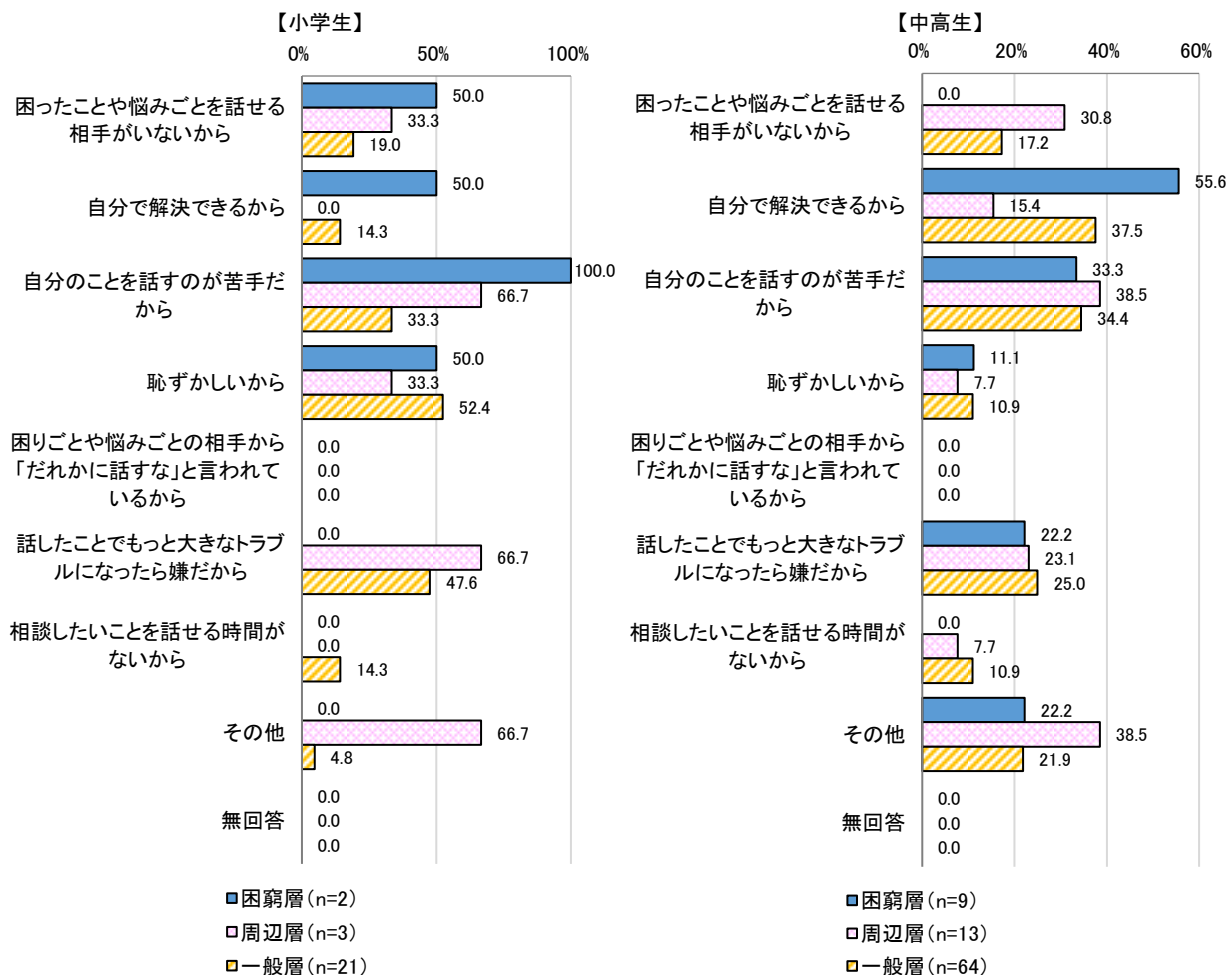


- ・小学生では家族への相談が多い一方で、中学生層では友だちへの相談が多くなっている。
- ・特に中学生の困窮層において、親への相談割合が相対的にやや低くなっている。
- ・利用しやすい相談サービス等の検討が必要と考えられる。

問 「だれにも相談できない、相談したくない」方どうかがあります。その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○)

子小問1 8-1、子中高問2 1-1

- ・小学生では「自分のことを話すのが苦手だから」「恥ずかしいから」の割合が高い傾向にある。
- ・中高生では、小学生と同様に「自分のことを話すのが苦手だから」「恥ずかしいから」との回答が多いほか、「自分で解決できるから」の割合も高くなっている。

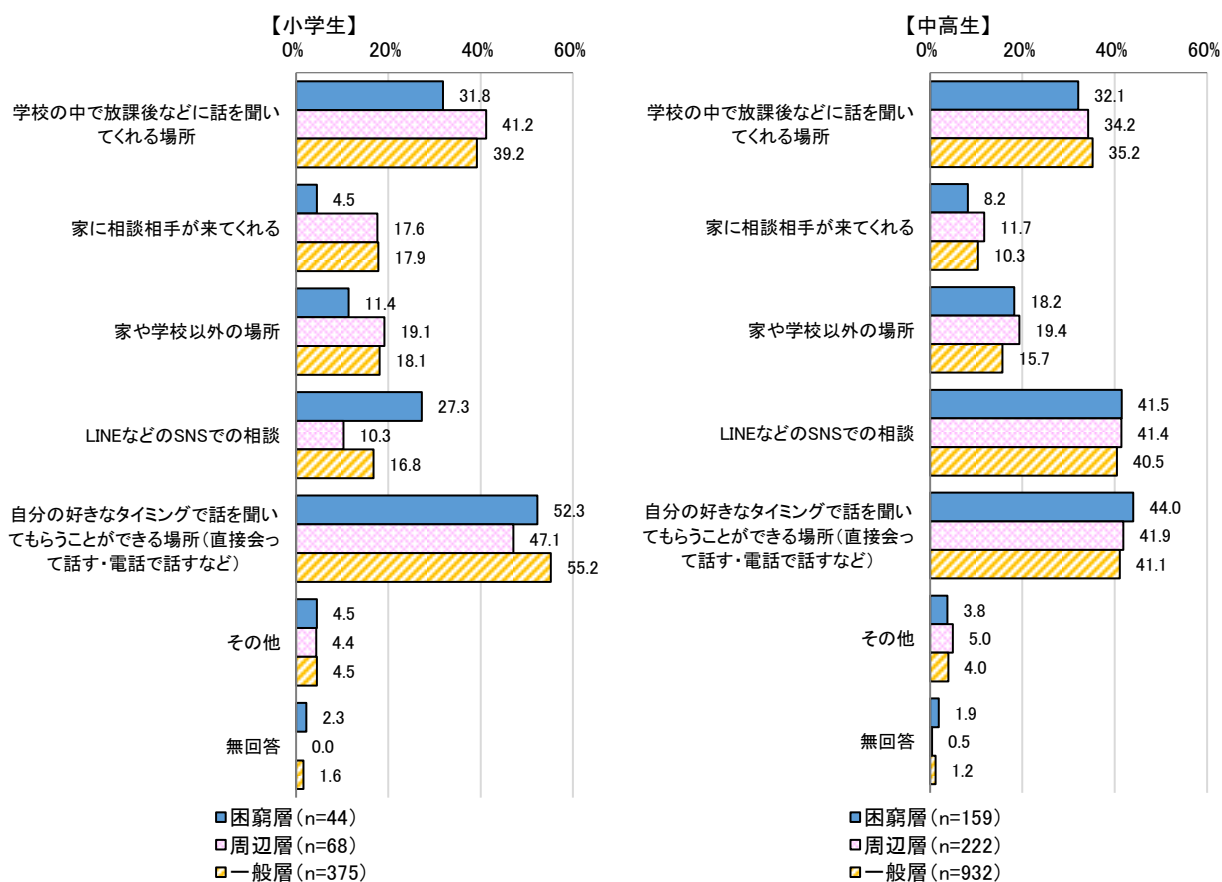


(2) 相談方法

問 あなたが困ったり悩んだりしたとき、なんでも相談できるとしたら、どんな場所や方法だったら話がしやすいですか。(あてはまる番号すべてに○)

子小問19、子中高問22

- ・生活困難度別による大きな差はみられないものの、小学生では困窮層にて「家に相談相手が来てくれる」の割合が低く、「LINEなどのSNSでの相談」の割合が他の層に比べて高い。
- ・小学生では「自分の好きなタイミングで話を聞いてもらうことができる場所（直接会って話す・電話で話すなど）」の割合が最も高い。
- ・中高生では「LINEなどのSNSでの相談」「自分の好きなタイミングで話を聞いてもらうことができる場所（直接会って話す・電話で話すなど）」の割合が高い。

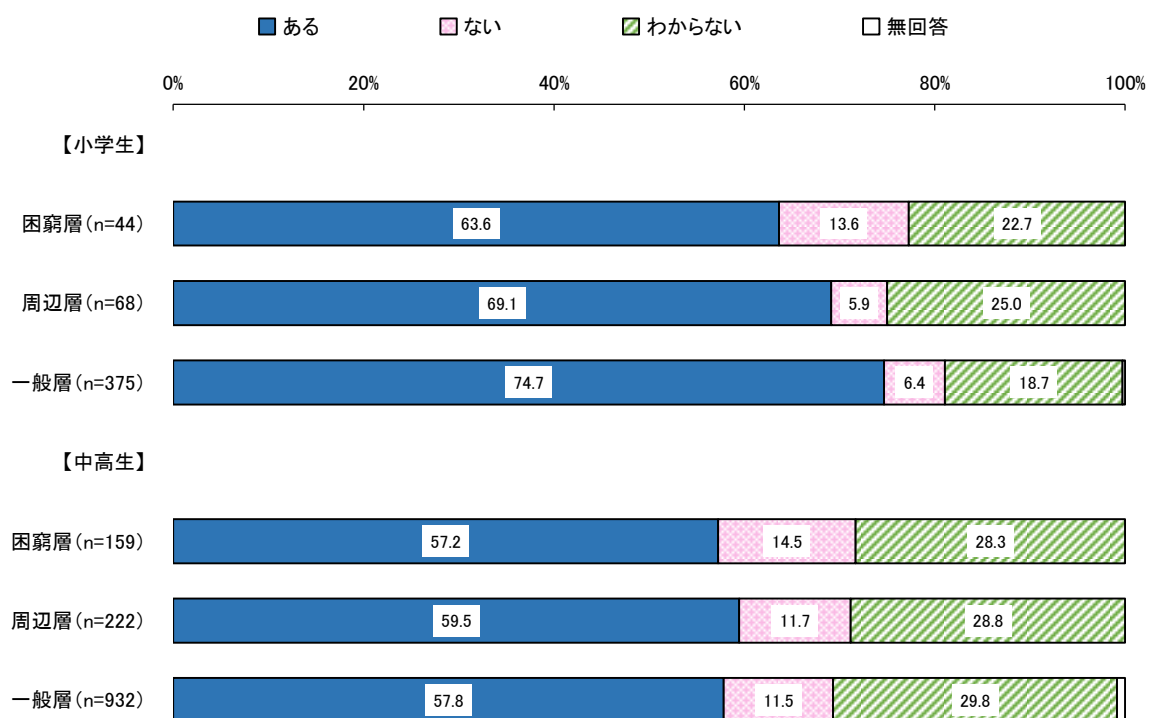


(3) 将来の夢の有無

問 あなたには、将来の夢や、やりたいこと、なりたいものがありますか。(あてはまるもの1つに○)

子小問20、子中高問23

- ・「ある」の割合は、小学生では7割前後であるが、中高生になるとやや下がり、6割程度である。
- ・小学生の困窮層で「ある」の割合が低い傾向にある。



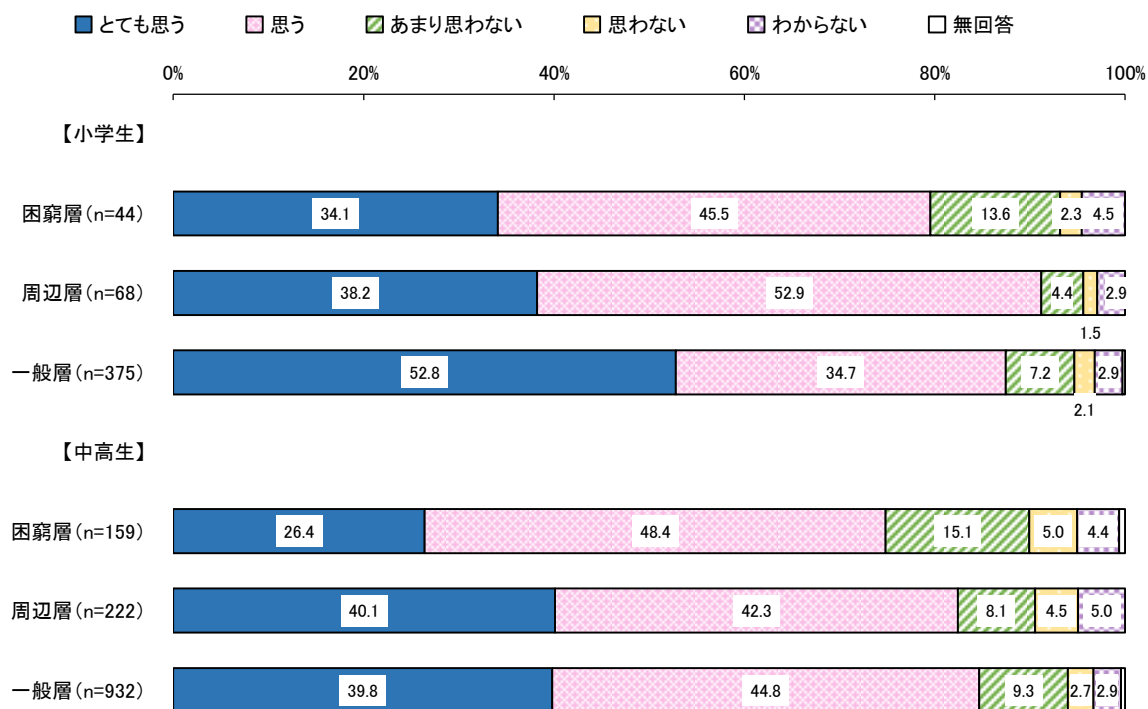
(4) 子どもの気持ち

問 あなたの思いや気持ちについて、それぞれもっとも近いものはどれですか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問21、子中高問24

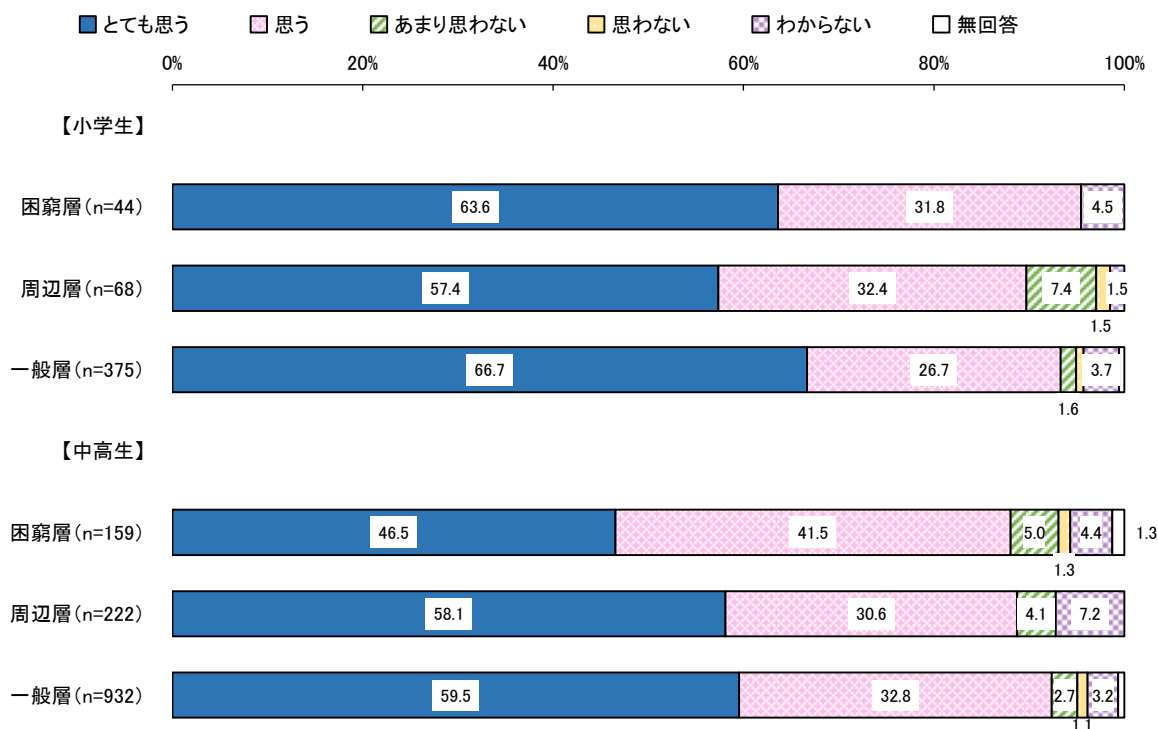
●がんばれば、良い結果がでると思う

- ・「とても思う」「思う」の割合は7割を超えており、中高生よりも小学生で高い傾向にある。
- ・「とても思う」「思う」の割合は困窮層で低い。



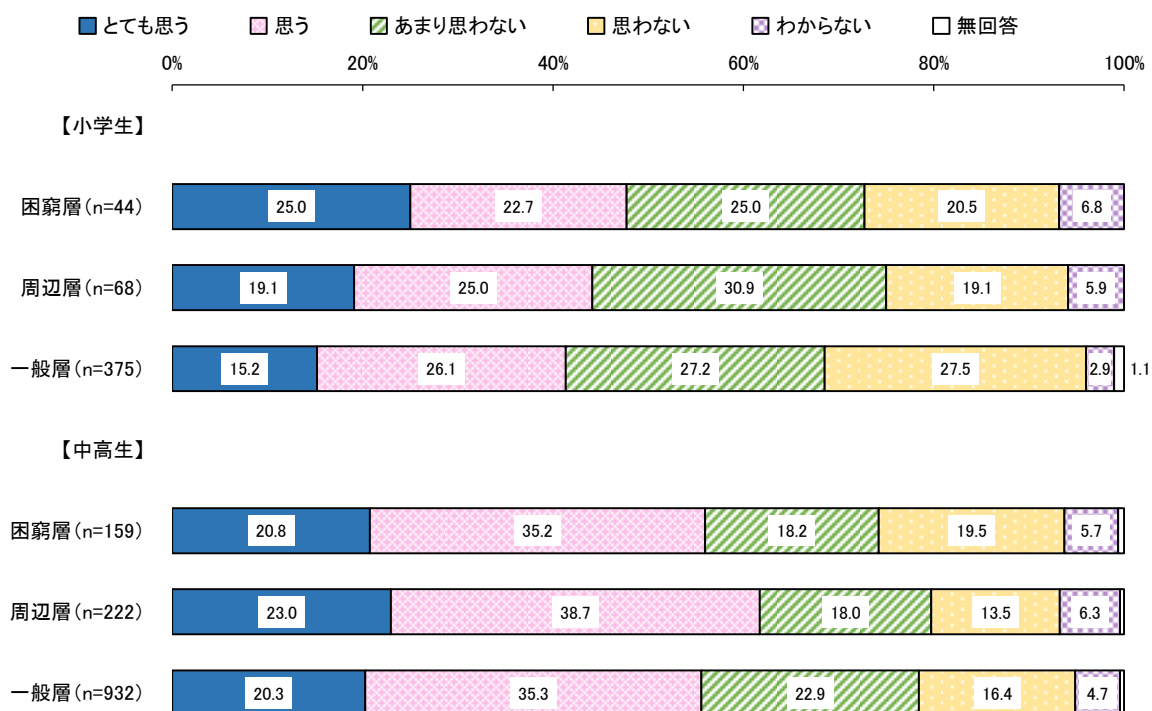
●自分家族に大事にされていると思う

- ・「とても思う」「思う」の割合は8割を超えている。
- ・「とても思う」「思う」の割合は中高生の困窮層で低い。



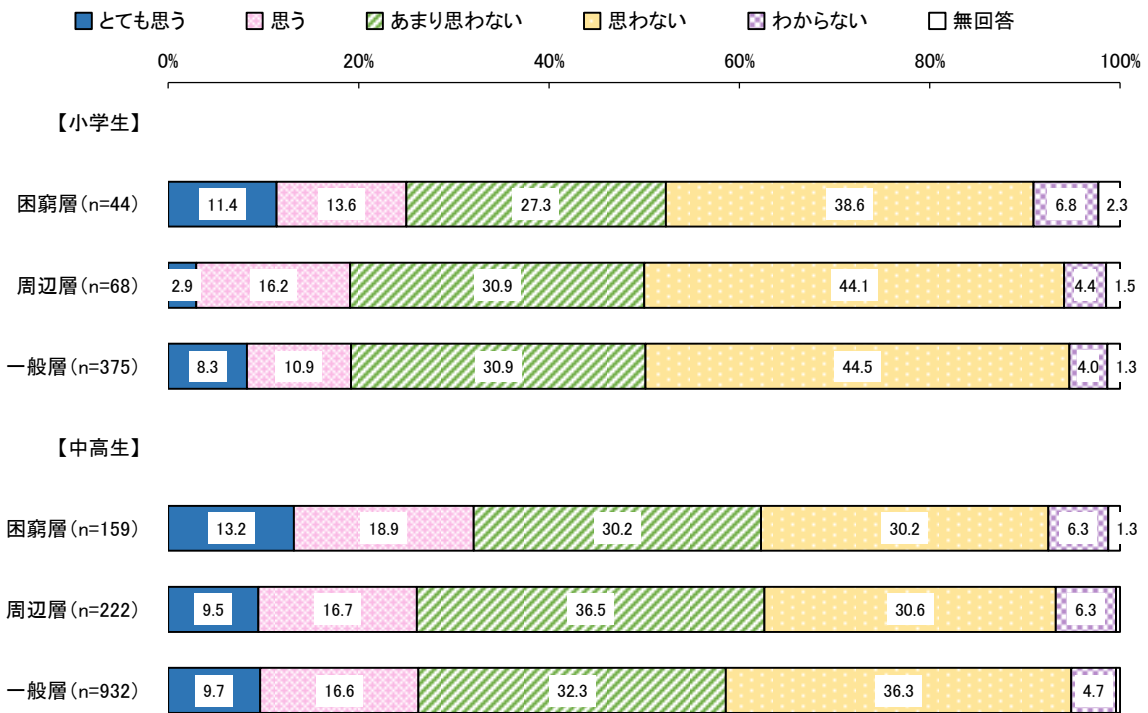
●不安に感じることがある

- ・「とても思う」「思う」の割合は、小学生よりも中高生で高い。
- ・「とても思う」「思う」の割合は小学生では困窮層で高い傾向にある。



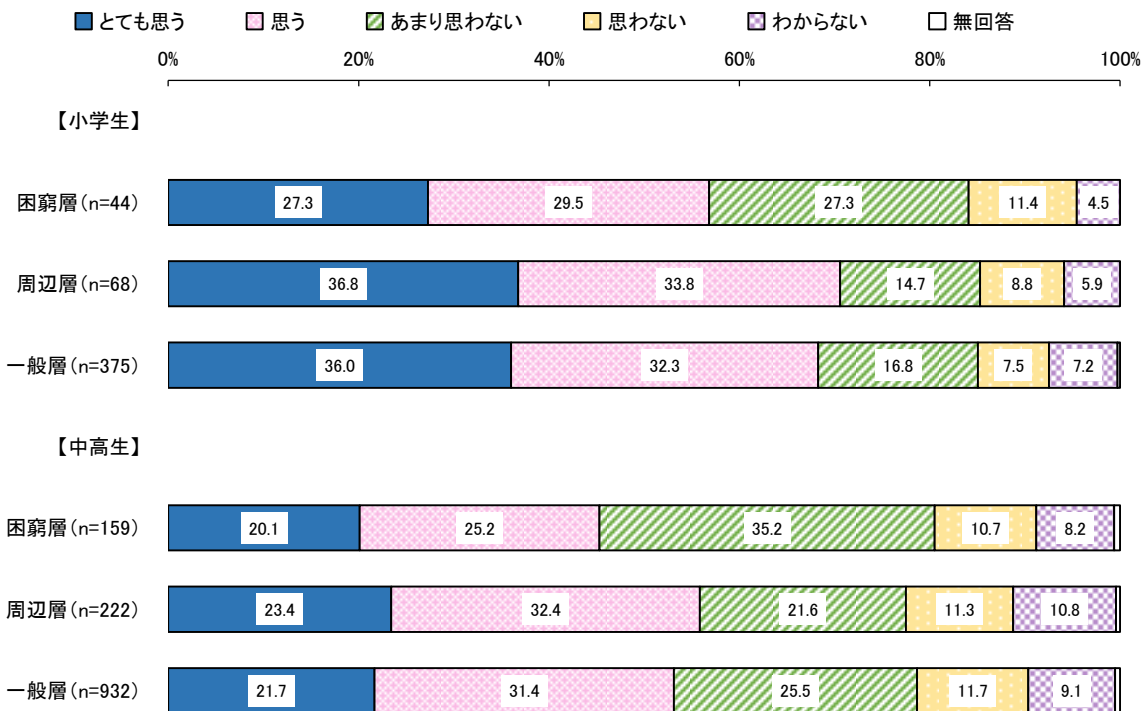
●一人ぼっちだと感じることもある

- ・「とても思う」「思う」の割合は、小学生よりも中高生で高い。
- ・「とても思う」「思う」の割合は困窮層で高い傾向にある。



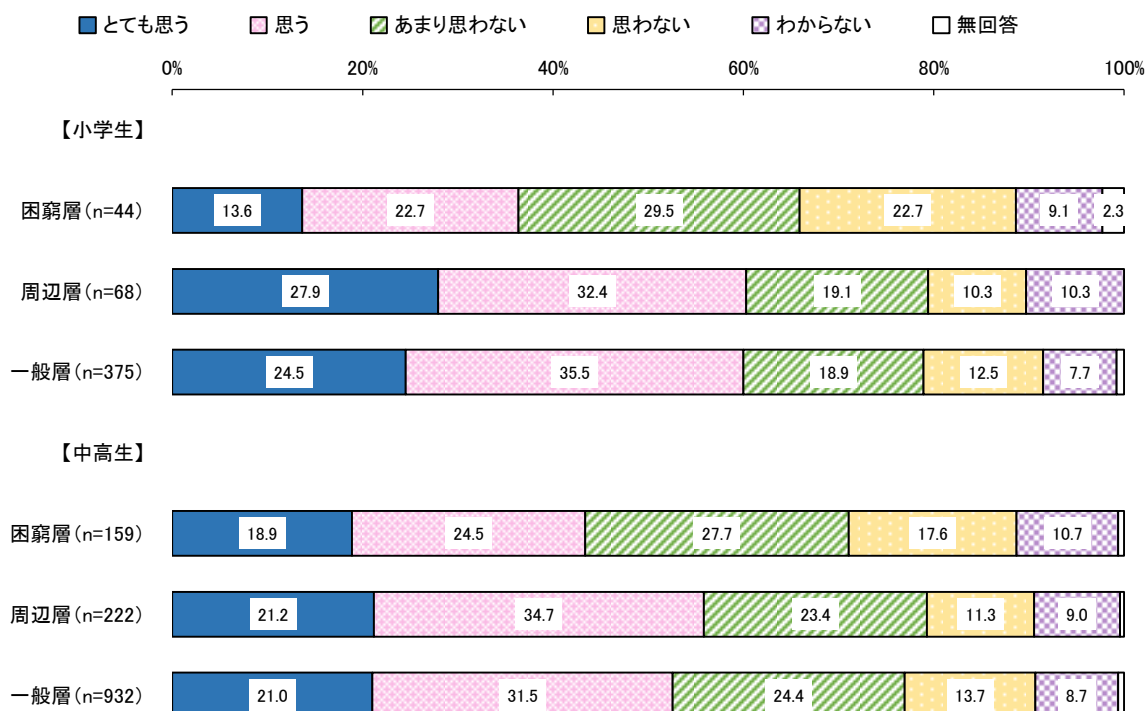
●自分の将来が楽しみだと思っている

- ・「とても思う」「思う」の割合は、中高生よりも小学生で高い。
- ・「とても思う」「思う」の割合は困窮層で低い傾向にある。



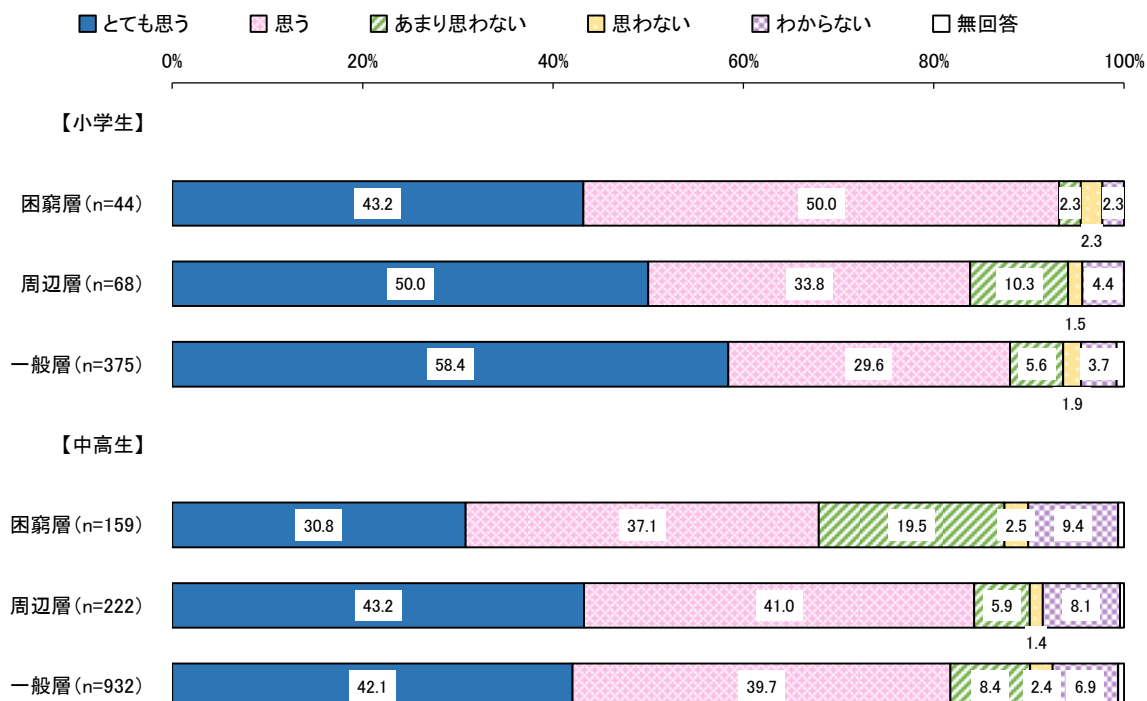
●自分のことが好きだ

・「とても思う」「思う」の割合は困窮層で低い傾向にある。



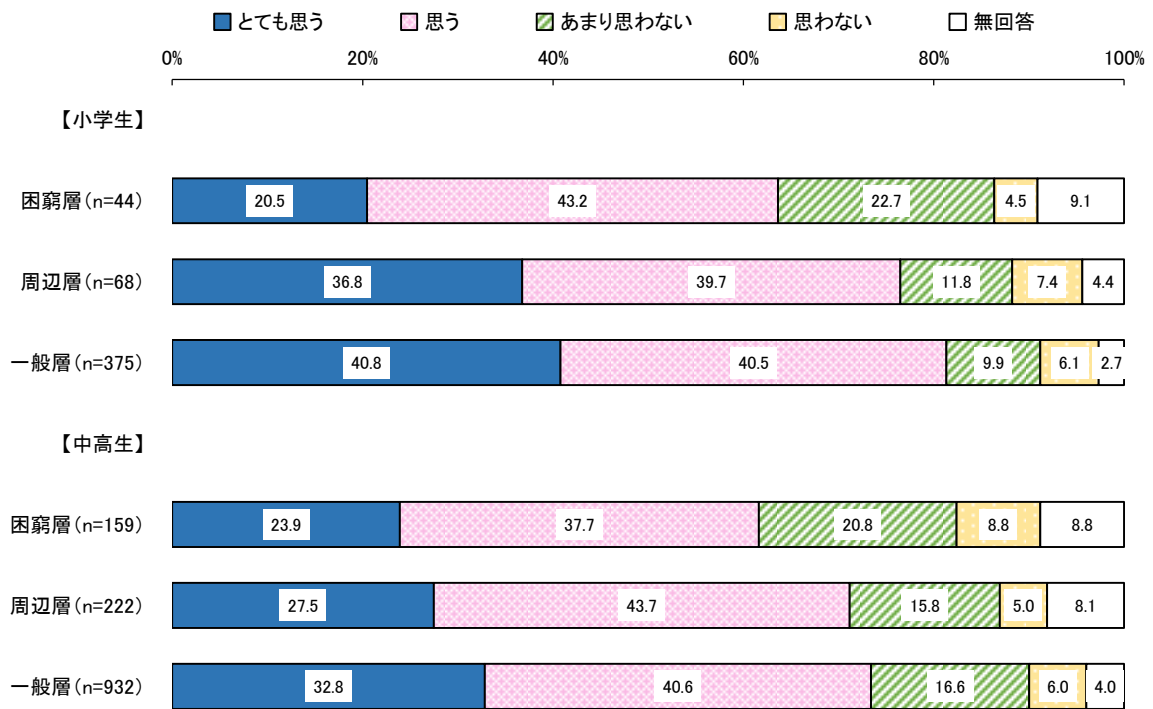
●今、幸せだと思う

・「とても思う」「思う」の割合は、中学生よりも小学生で高い。
 ・「とても思う」の割合は困窮層で低い傾向にある。



●自分にはよいところがあると思う

- ・「とても思う」「思う」の割合は、中高生よりも小学生で高い。
- ・「とても思う」「思う」の割合は困窮層で低い傾向にある。



・特に中高生の困窮層において、中高生の他の層よりネガティブな感じ方が多い傾向がみられる。

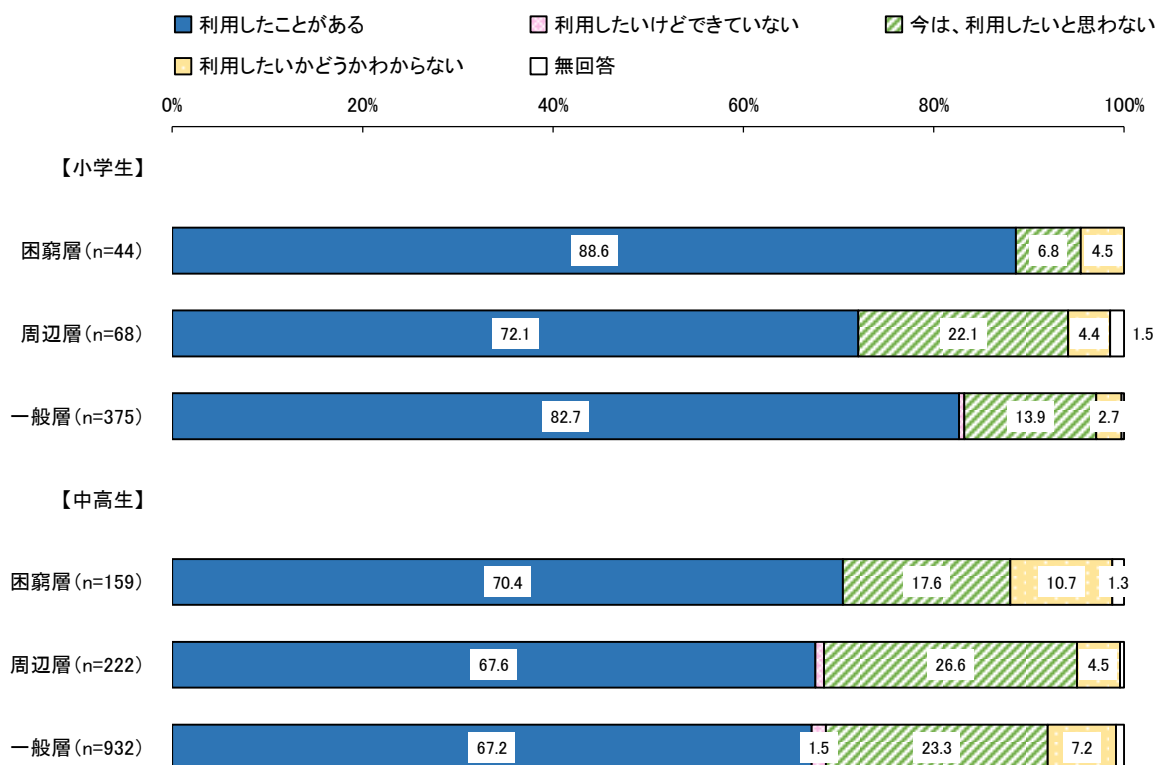
(5) 居場所等の利用状況

問 あなたは、次のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

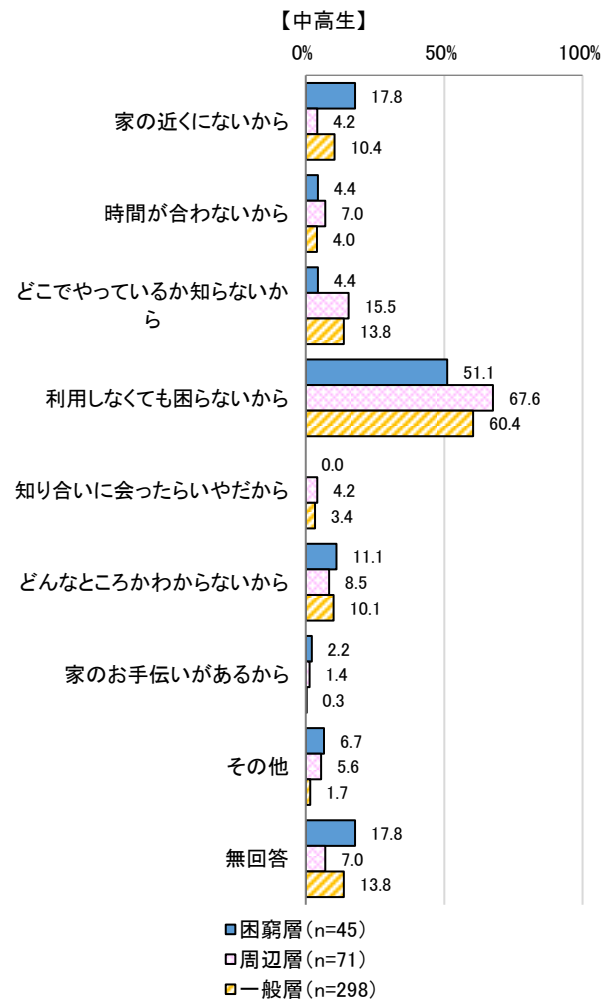
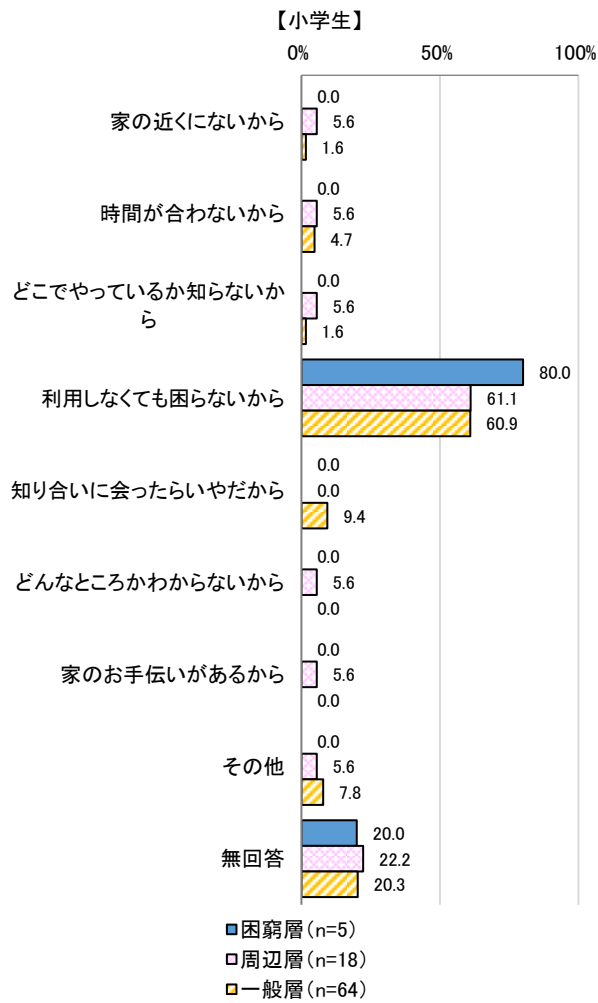
子小問2 2、子中高問2 5

① (自分や友人の家以外で) 放課後や休日を過ごすことができる場所 (放課後ルーム、船っ子教室や児童ホームなど)

- ・「利用したことがある」の割合は、中高生よりも小学生で高い。
- ・「利用したことがある」の割合は困窮層で高い。
- ・「利用したことがない」理由は、「利用しなくても困らないから」の割合が最も高い。

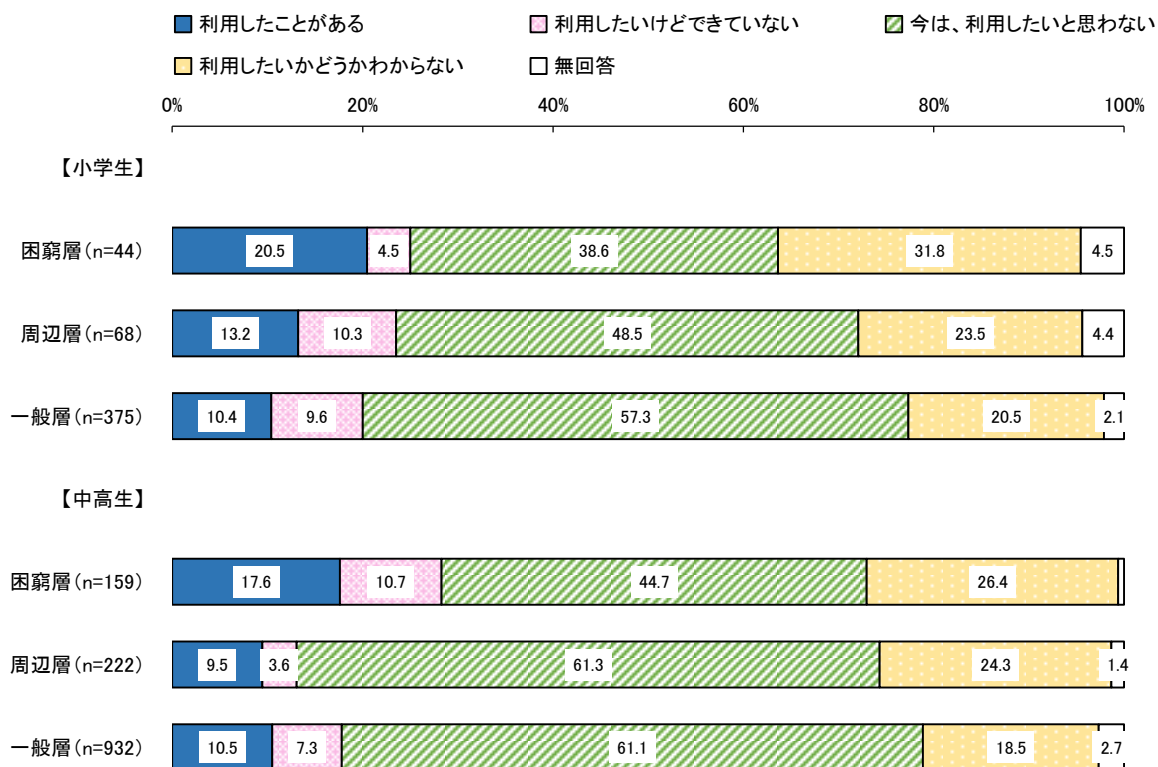


「利用したことがない」理由

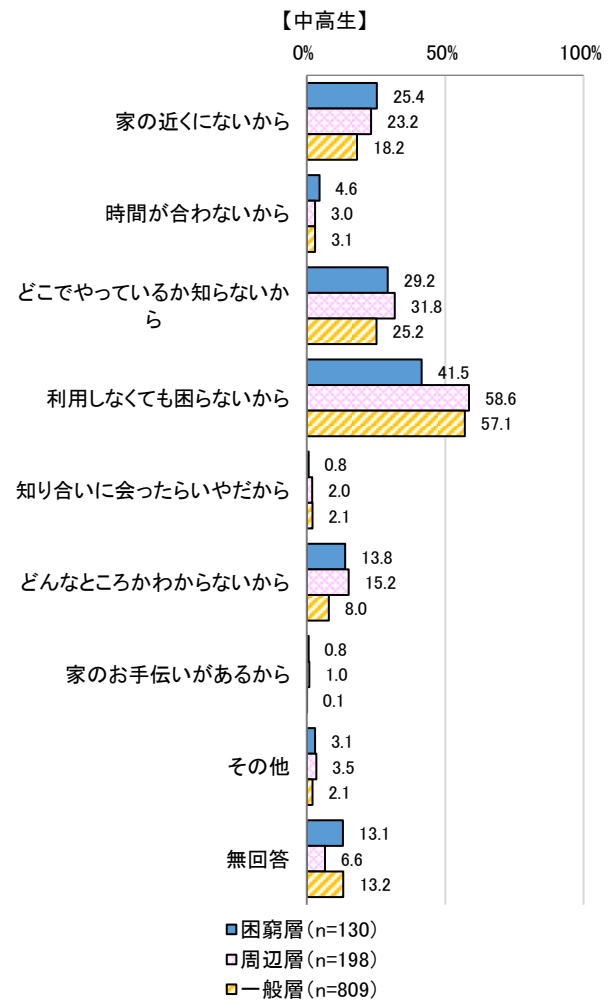
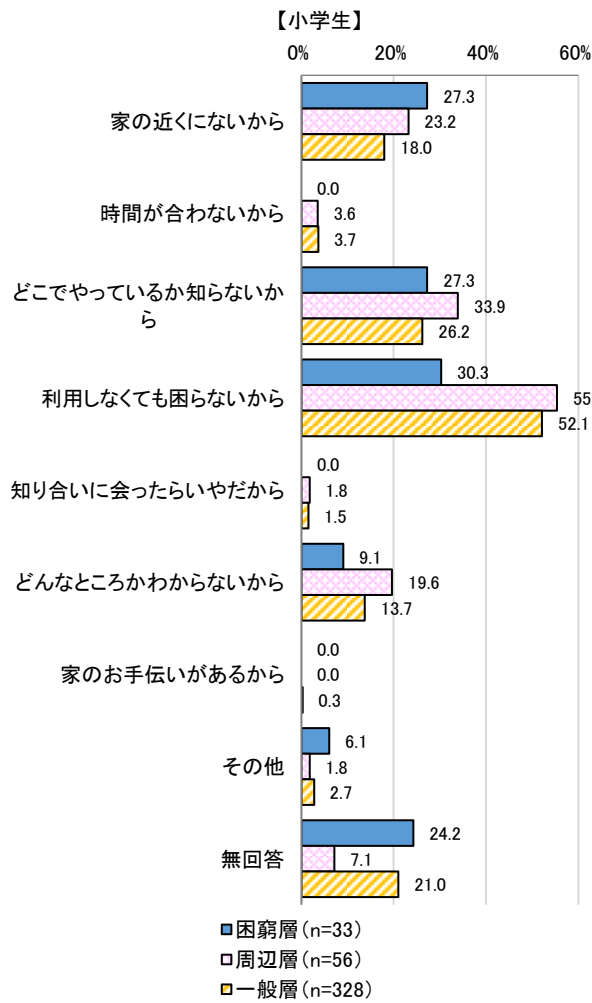


②（自分や友人の家以外で）食事を無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）

- ・「利用したことがある」の割合は困窮層で高い。
- ・「利用したことがない」理由は、「利用しなくても困らないから」の割合が最も高い。
- ・困窮層では「利用しなくても困らないから」の割合は比較的 low、 「家の近くにないから」の割合が高くなっている。

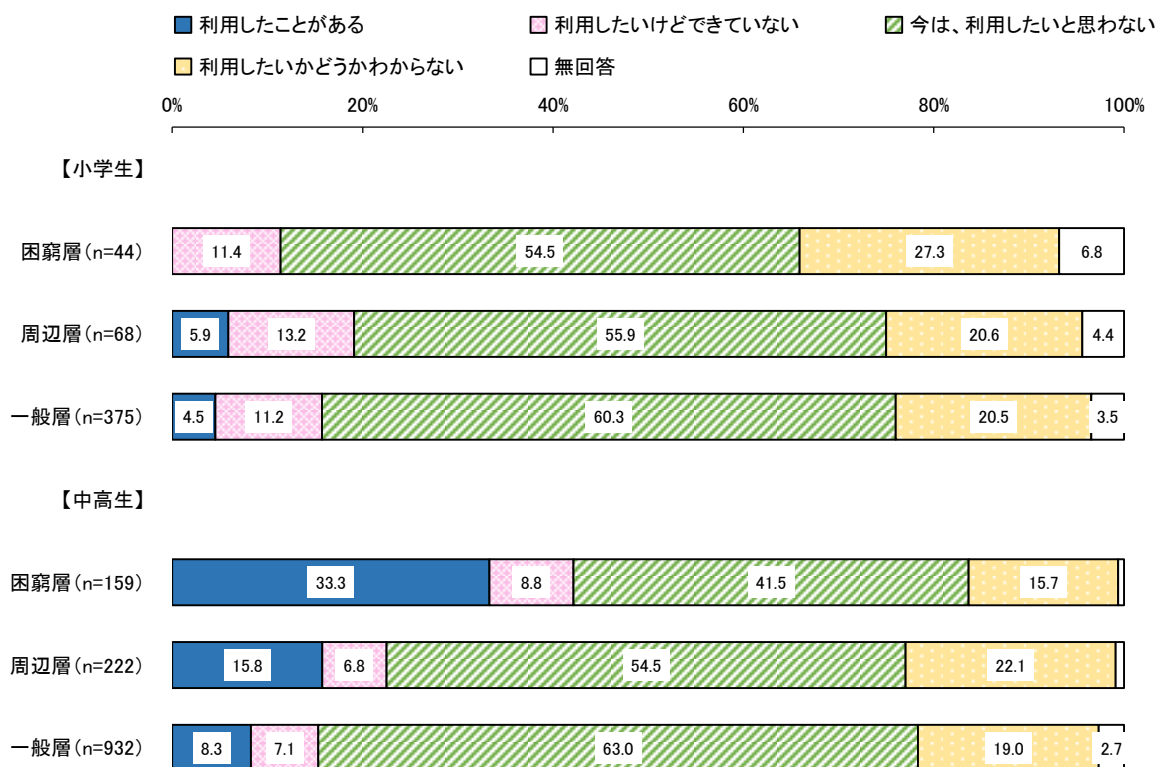


「利用したことがない」理由

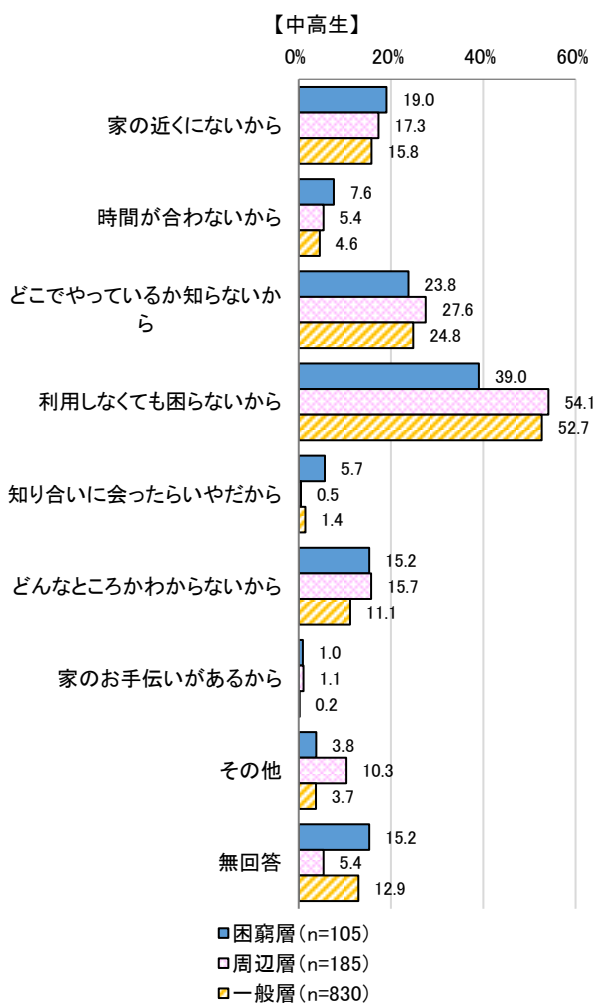
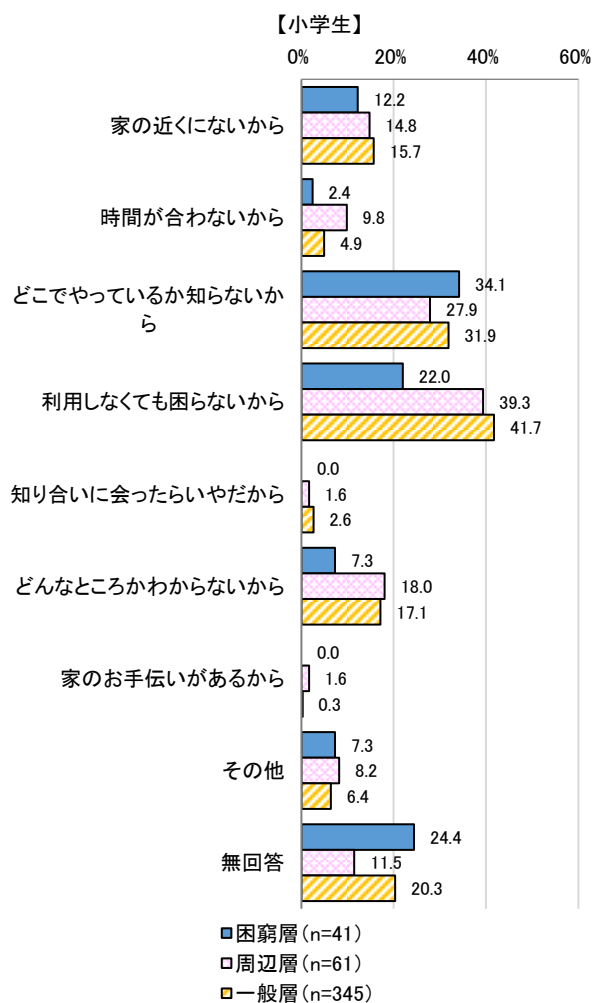


③無料で勉強をみてる場所

- ・「利用したことがある」の割合は、小学生よりも中高生で高い。
- ・「利用したことがある」の割合は中高生の困窮層で高い。
- ・「利用したことがない」理由は、「利用しなくても困らないから」「どこでやっているか知らないから」の割合が高い。
- ・困窮層では「利用しなくても困らないから」の割合は比較的低い。



「利用したことがない」理由



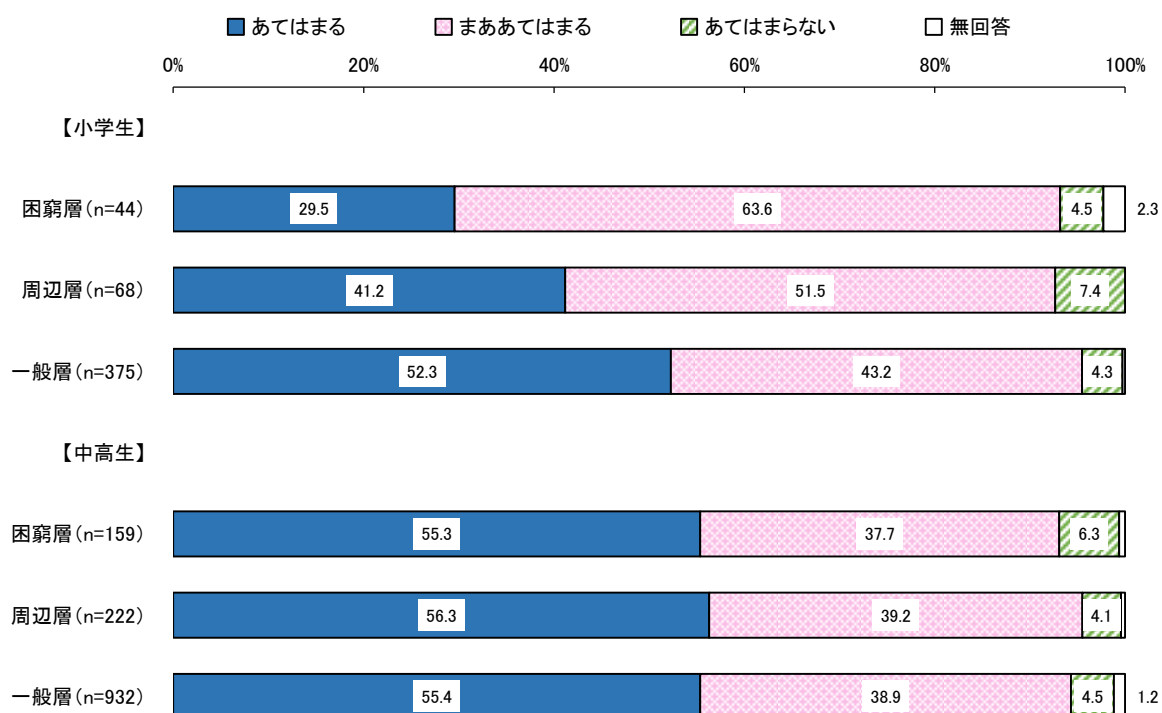
(6) あなたの考え

問 次の質問について、あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問23、子中高問26

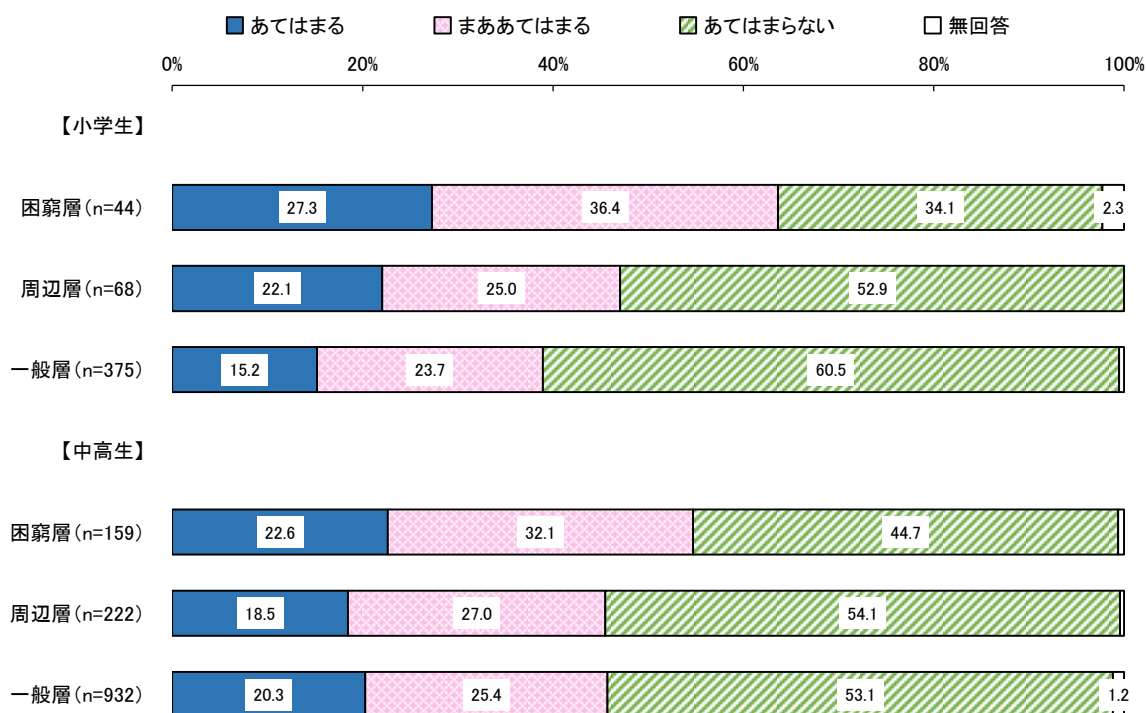
●私は、他人に対して親切にするようにしていたり、他人の気持ちをよく考えたりする。

- ・小学生、中学生とも「あてはまる」「まああてはまる」の割合は9割を超える。
- ・特に「あてはまる」に限定するとその割合は小学生の困窮層で低い。



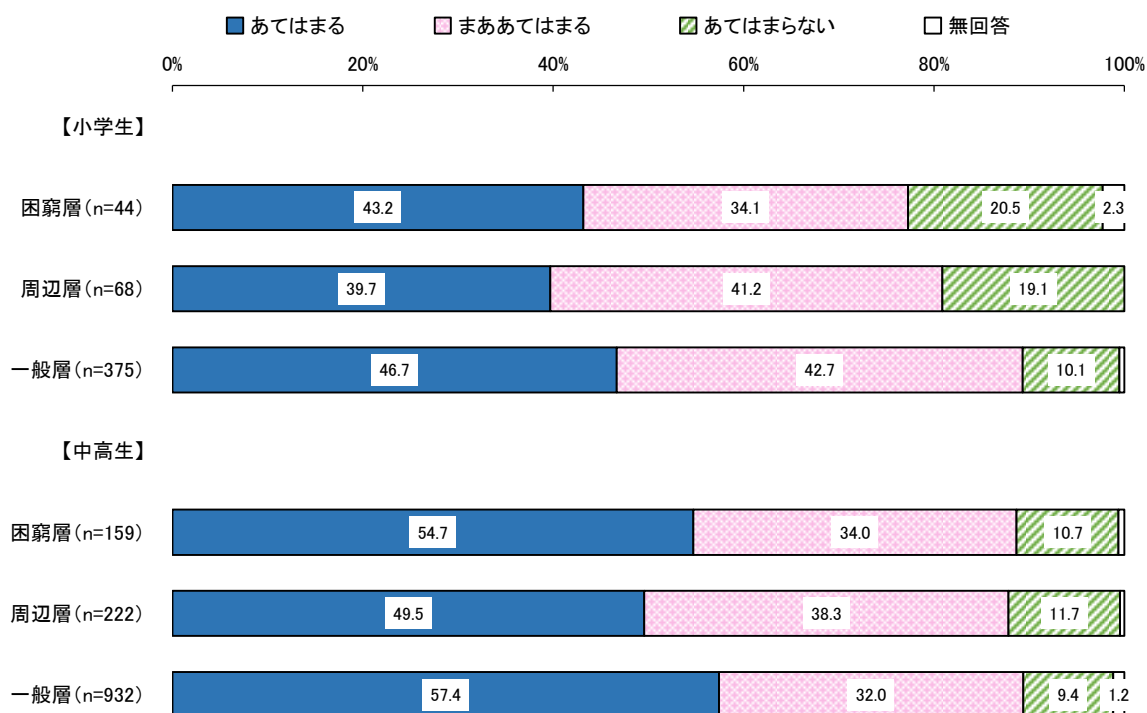
●私は、よく頭やお腹が痛くなったり、気持ちが悪くなったりする。

・困窮層ほど「あてはまる」の割合は高い傾向にある。



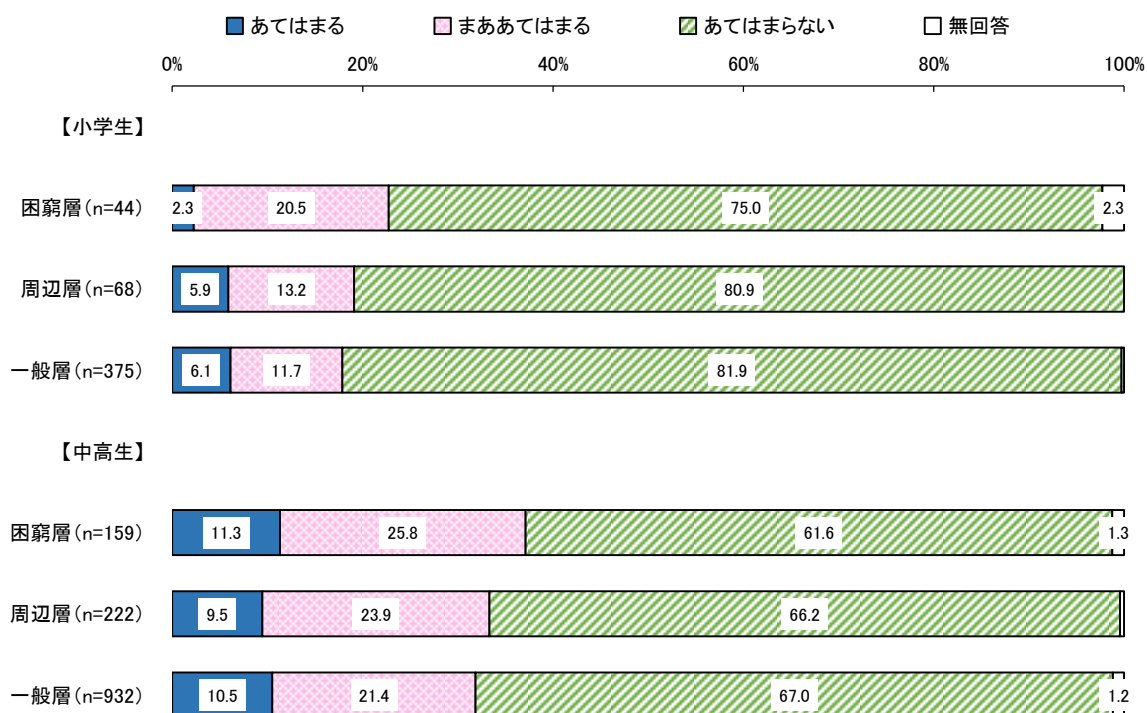
●私は、他の子どもたち（兄弟姉妹や友だち）とゆずり合って使える（ゲーム・文房具など）

・「あてはまる」「まああてはまる」の割合は、小学生、中高生とも 8 割弱から 9 割近くにのぼる。



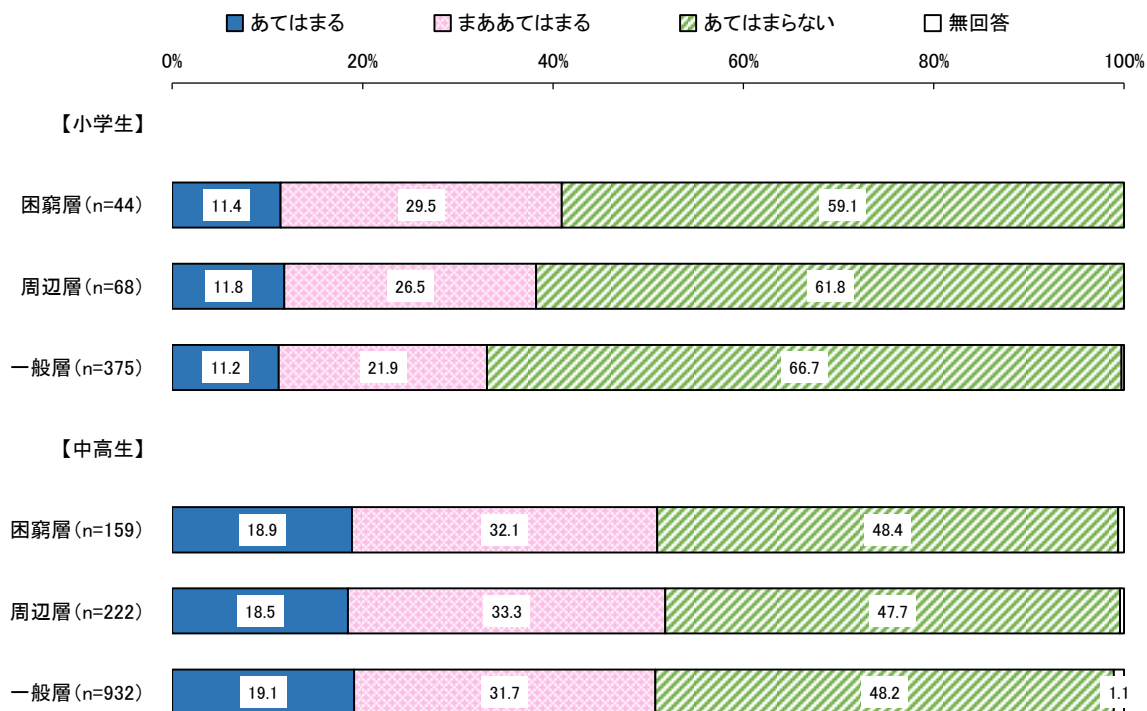
●私は、たいてい一人でいる。 だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。

- ・「あてはまる」の割合は、小学生よりも中高生で高い。
- ・「あてはまる」の割合は小学生の困窮層で低い傾向にある。



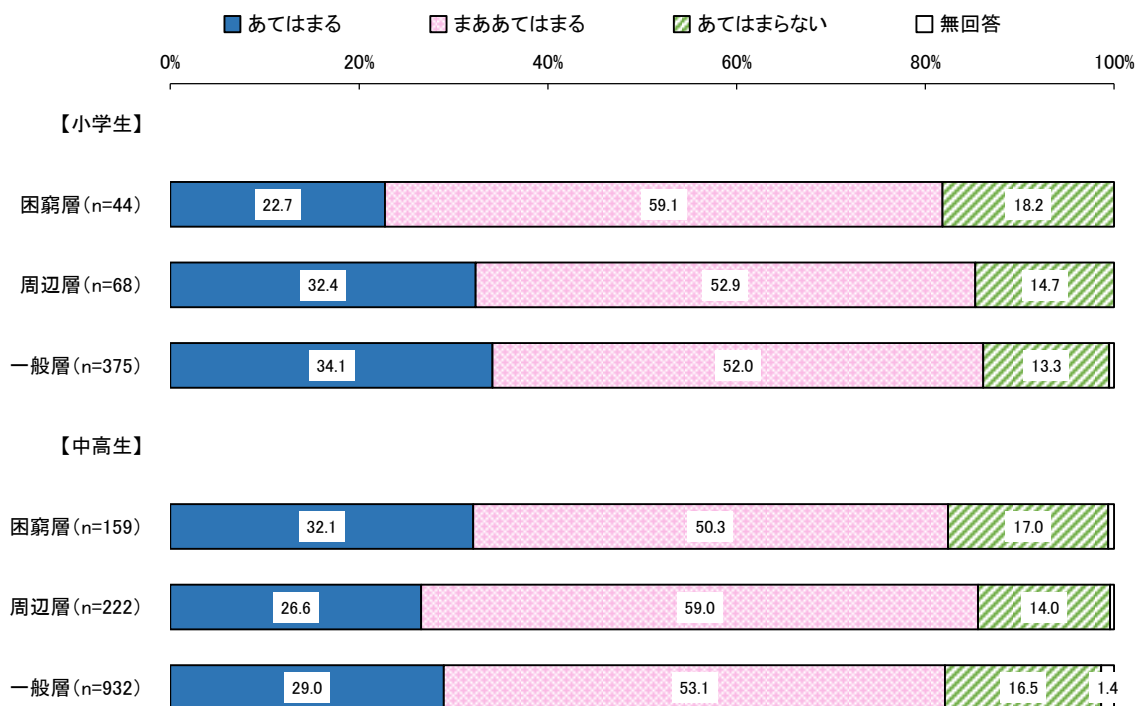
●私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。

- ・「あてはまる」の割合は、小学生よりも中高生で高い傾向にある。



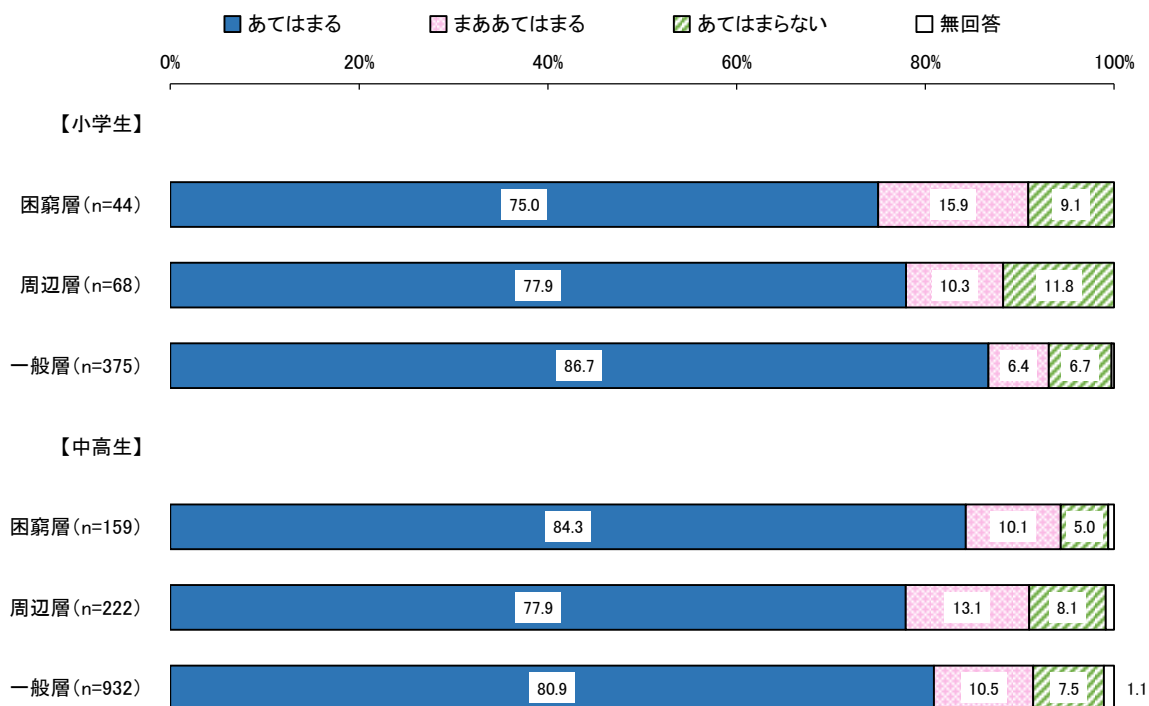
●私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。

・「あてはまる」の割合は小学生の困窮層で低い。



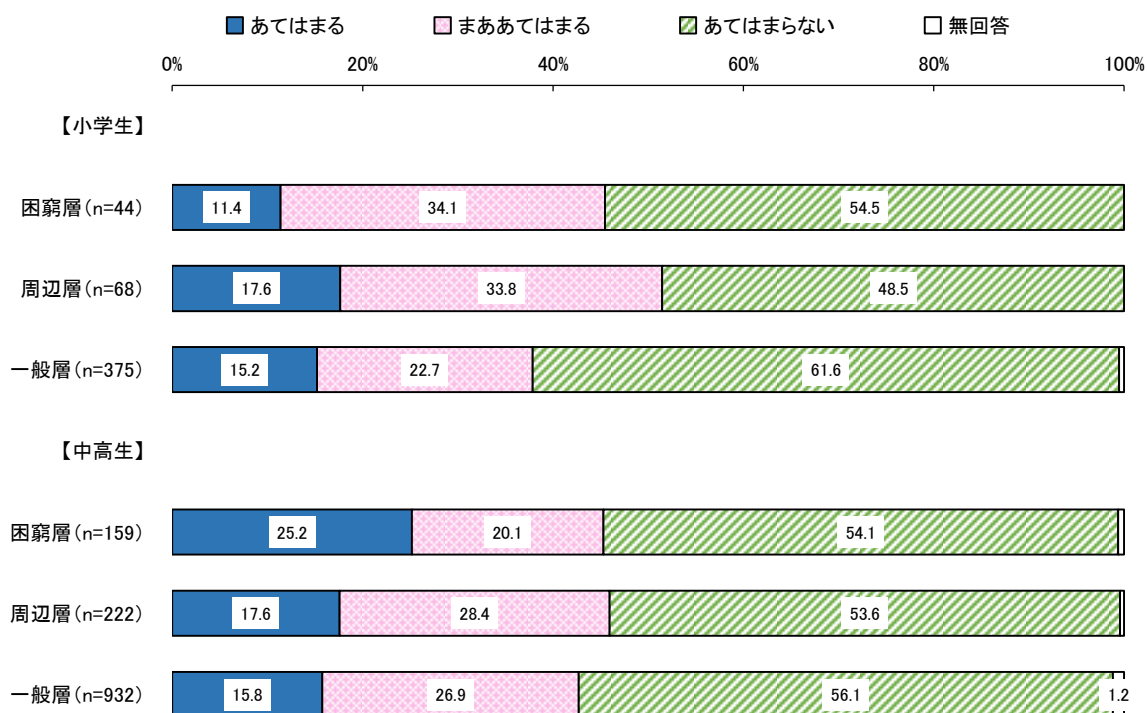
●私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。

・「あてはまる」の割合は小学生の困窮層で低い傾向にある。



●私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。

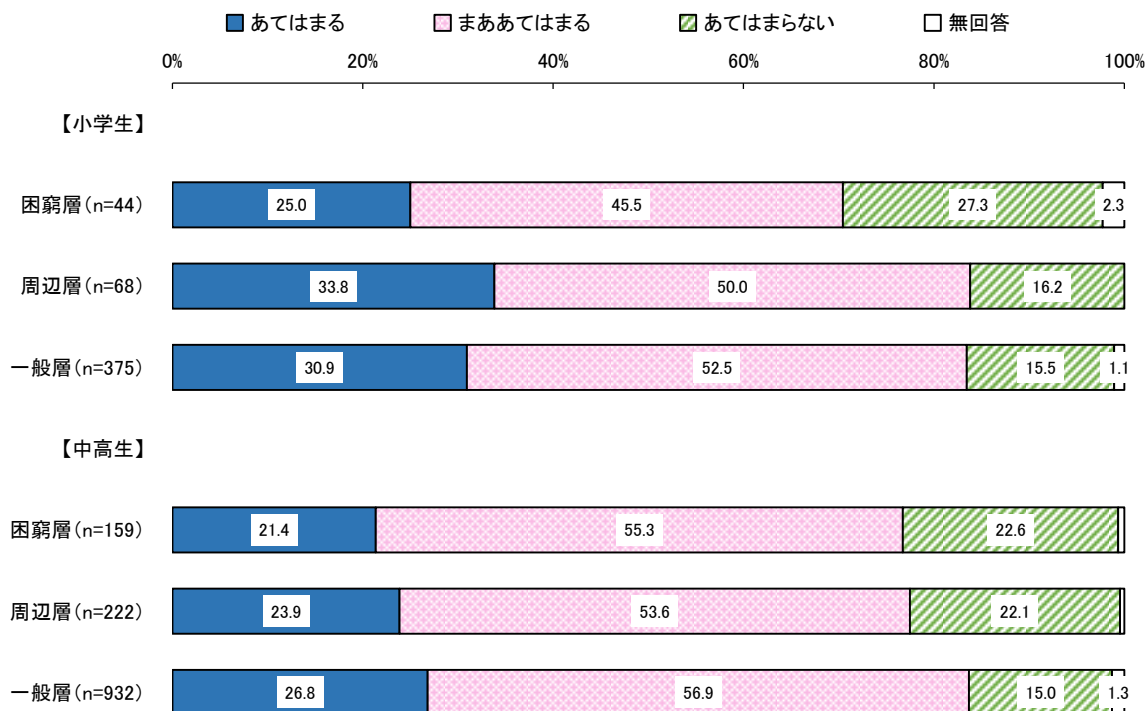
・「あてはまる」の割合は中高生の困窮層で高い。



●私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。

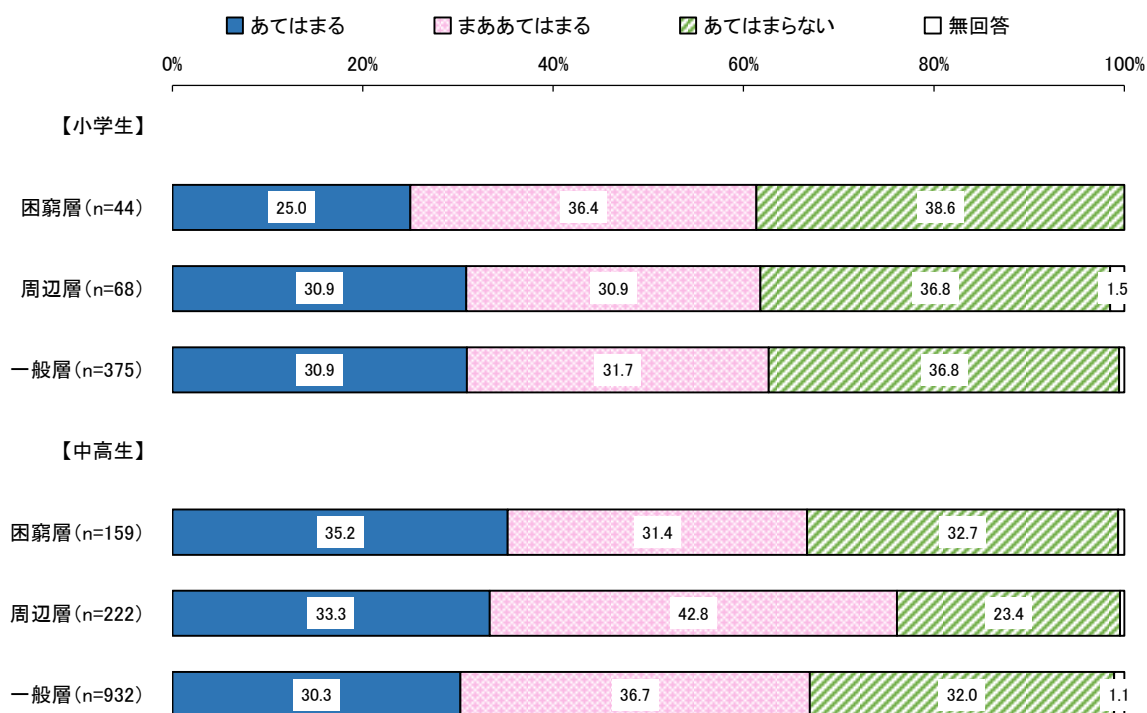
・「あてはまる」の割合は、中高生よりも小学生で高い。

・「あてはまる」の割合は困窮層で低い傾向にある。



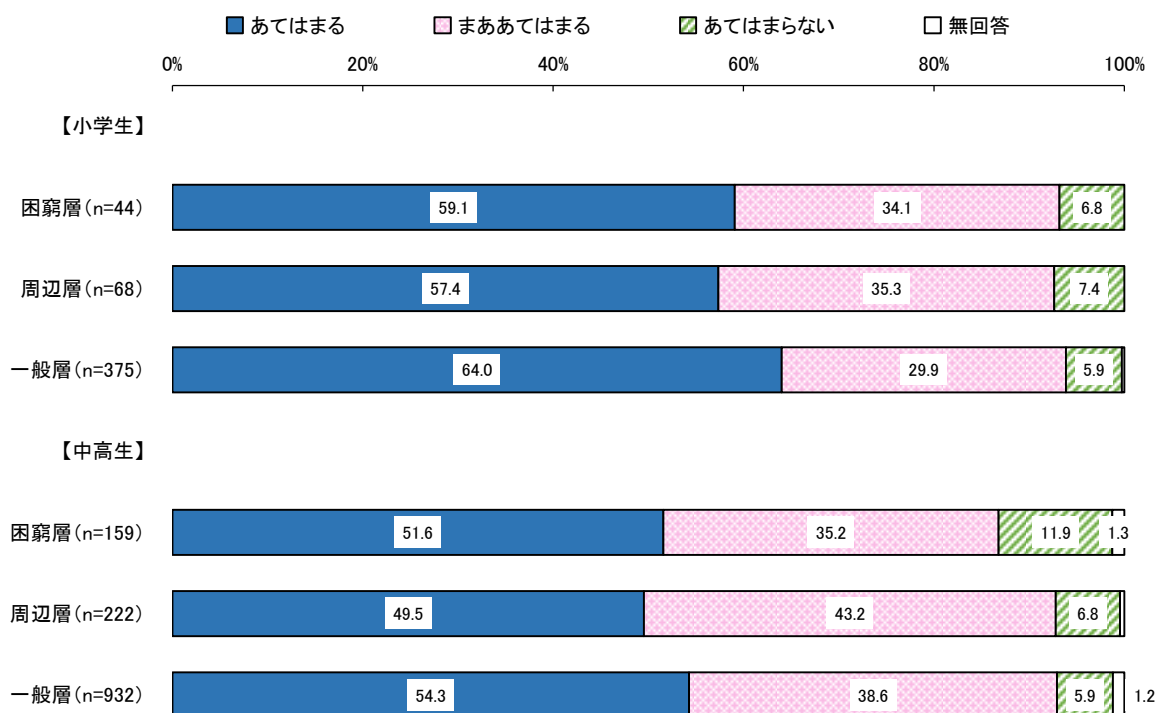
●私は、初めてのことや場所になると不安になり、自信をなくしやすい。

・「あてはまる」の割合は中高生の困窮層が高い。



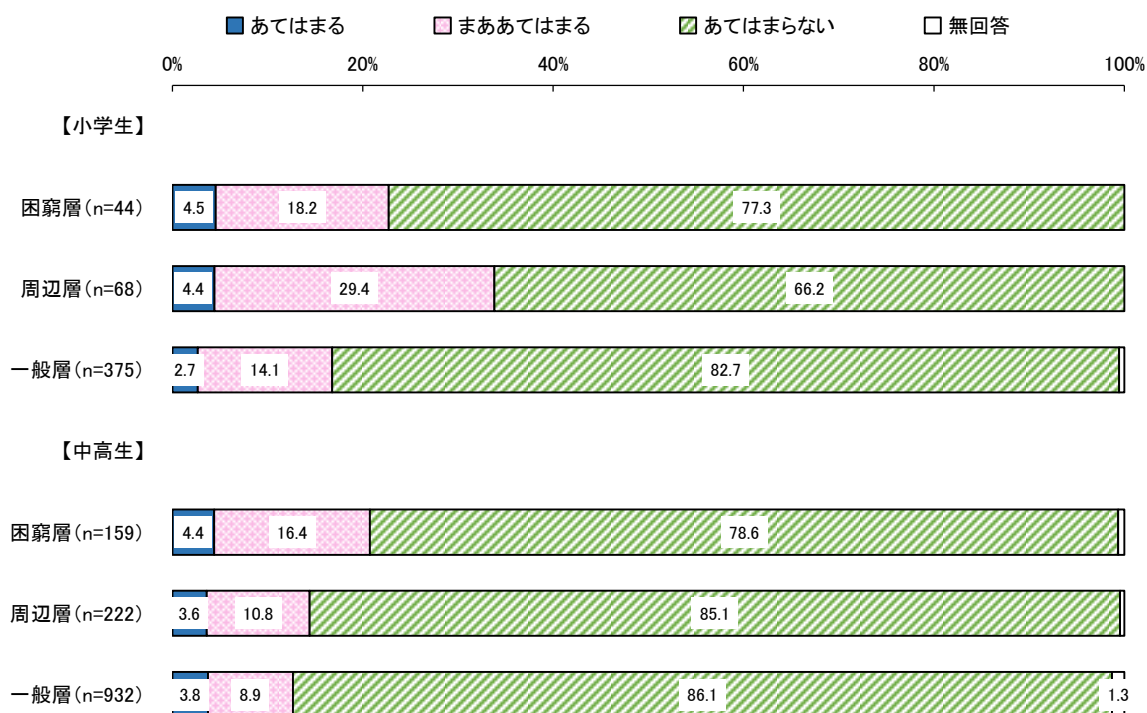
●私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。

・「あてはまる」の割合は、中高生よりも小学生で高い。



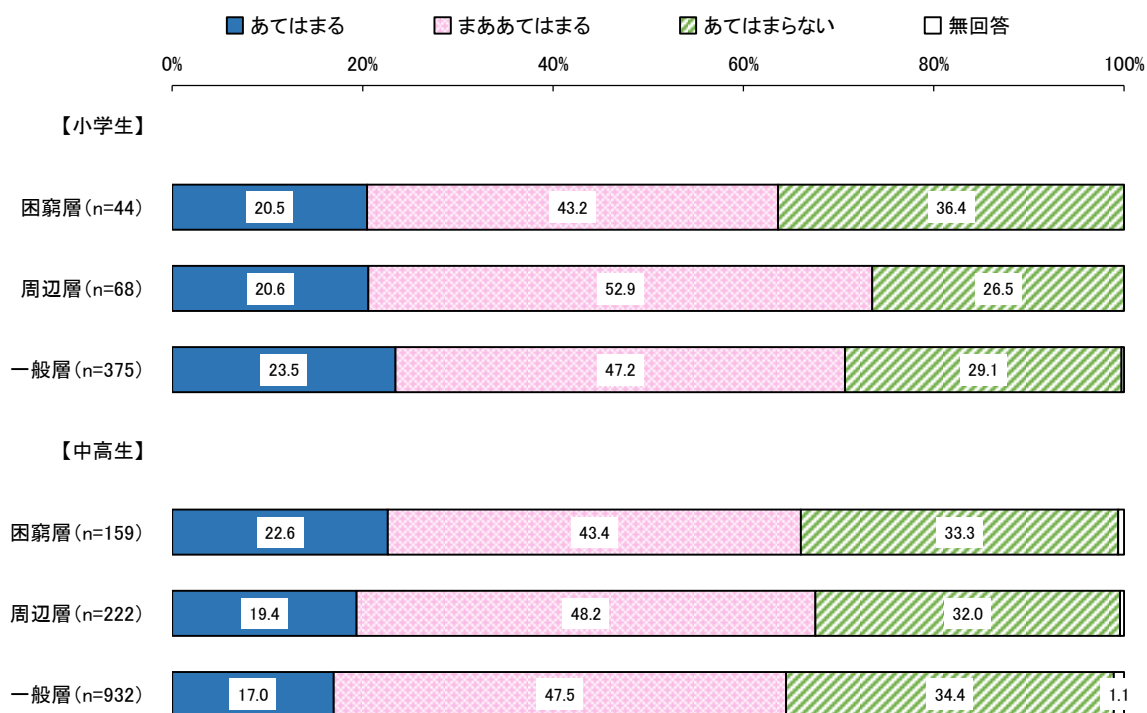
●私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。

・「まああてはまる」の割合は小学生の周辺層で高い。



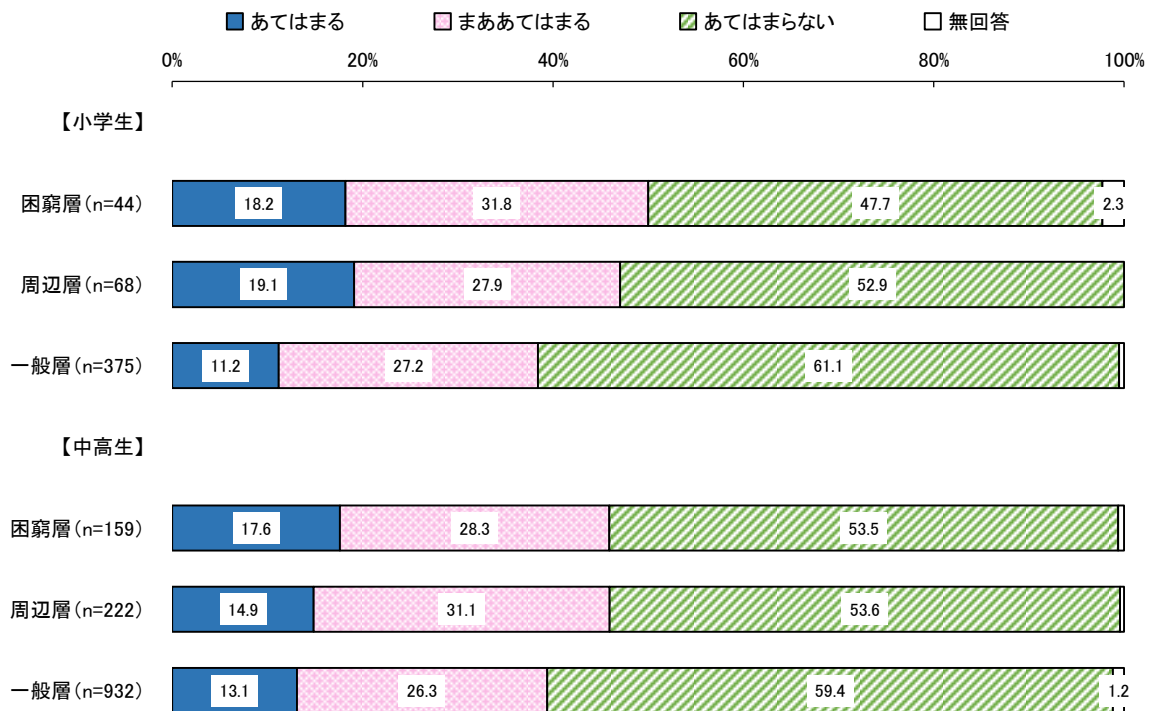
●私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子どもたちなど）

・中高生の「あてはまる」の割合は困窮層で高い。



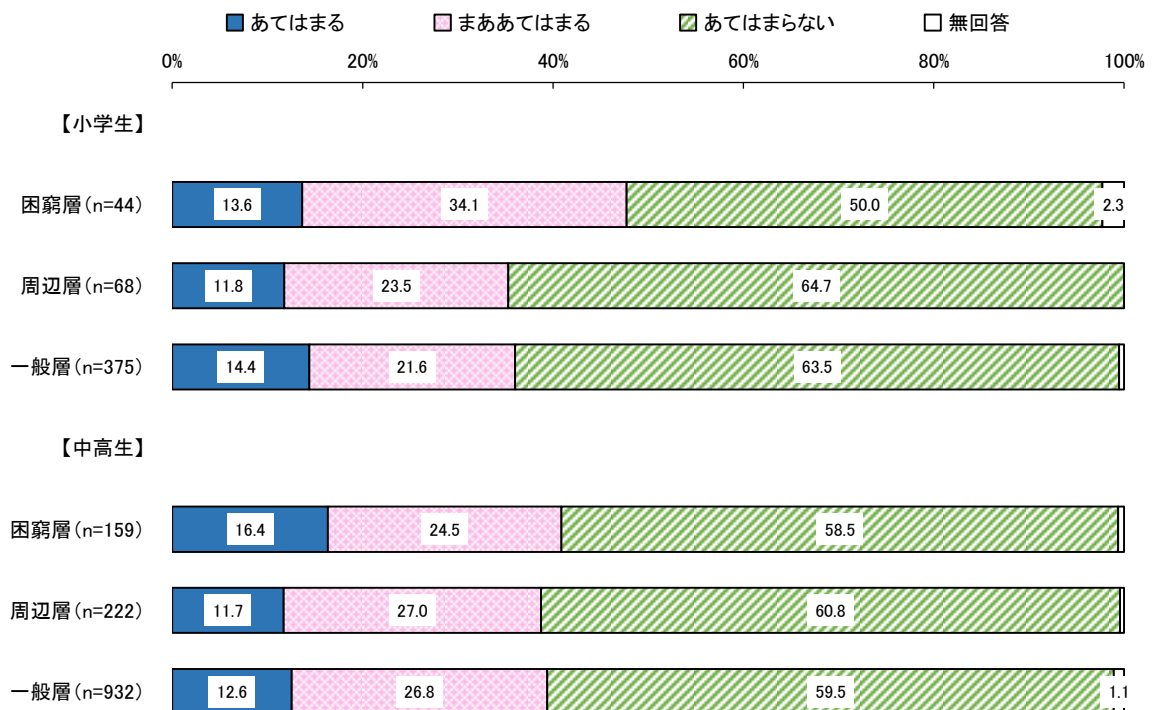
●私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。

・「あてはまる」の割合は困窮層や周辺層で高い。



●私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

・「あてはまる」の割合は中高生の困窮層で高い。

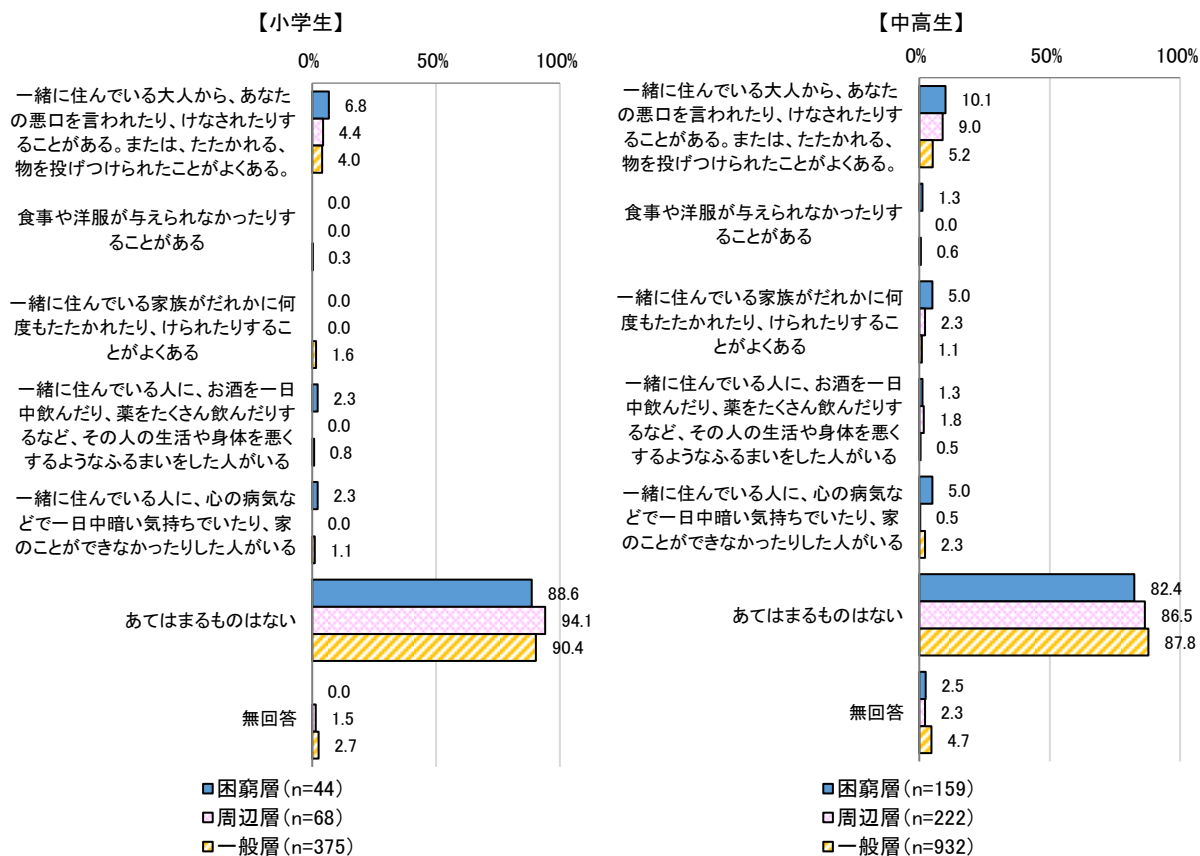


(7) 逆境体験の有無

問 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

子小問24、子中高問27

・8割超が「あてはまるものはない」と回答している。



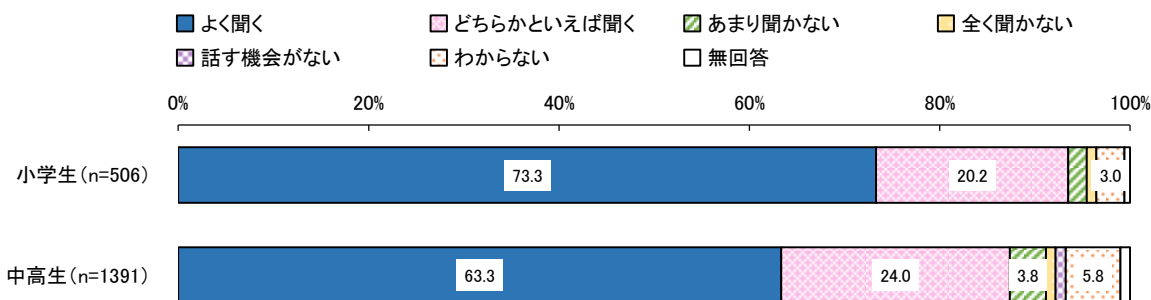
(8) 意見が聞いてもらえているか

問 周りの大人、学校、船橋市は、あなたの思ったことや考えたことをちゃんと聞いていると思いますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

子小問25、子中高問28

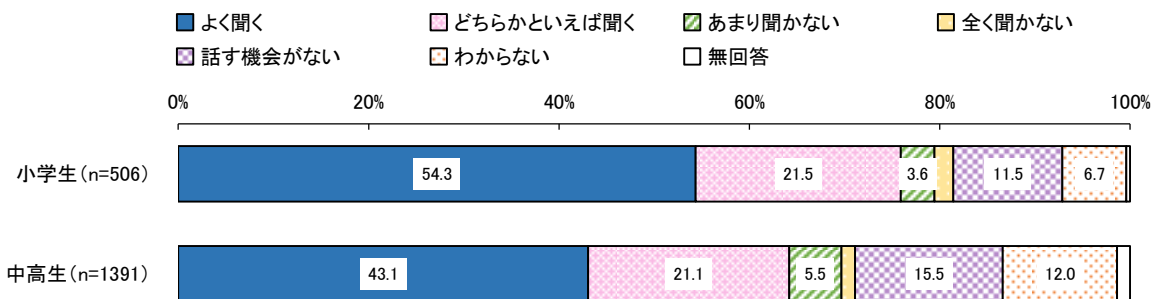
●親・保護者

・「よく聞く」「どちらかといえばよく聞く」の割合は9割程度であり、中高生よりも小学生で高い傾向にある。



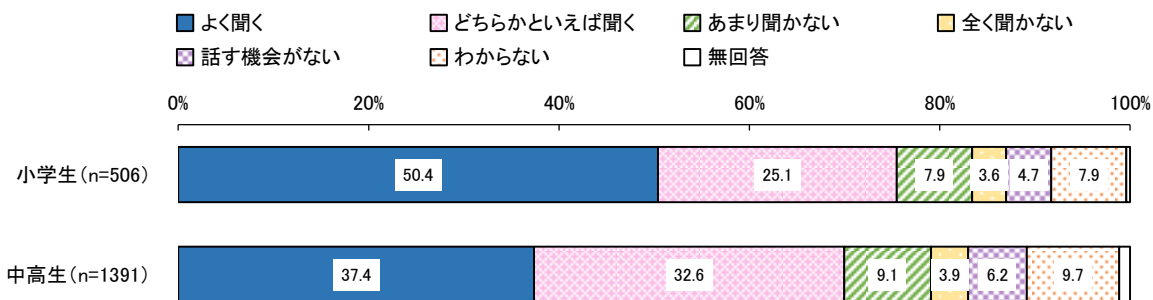
●おじいちゃん、おばあちゃんや親せき

・「よく聞く」「どちらかといえばよく聞く」の割合は、小学生で7割超、中高生で6割超となっている。



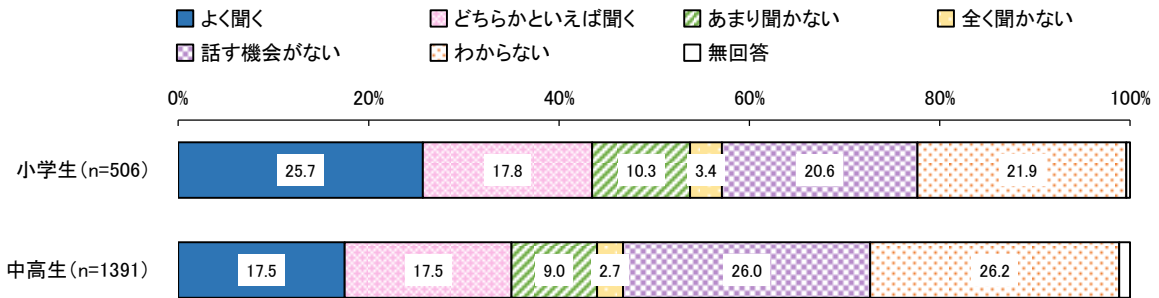
●学校の先生

・「よく聞く」「どちらかといえばよく聞く」の割合は、小学生、中高生ともに約7割となっている一方、「あまり聞かない」が1割弱いる。



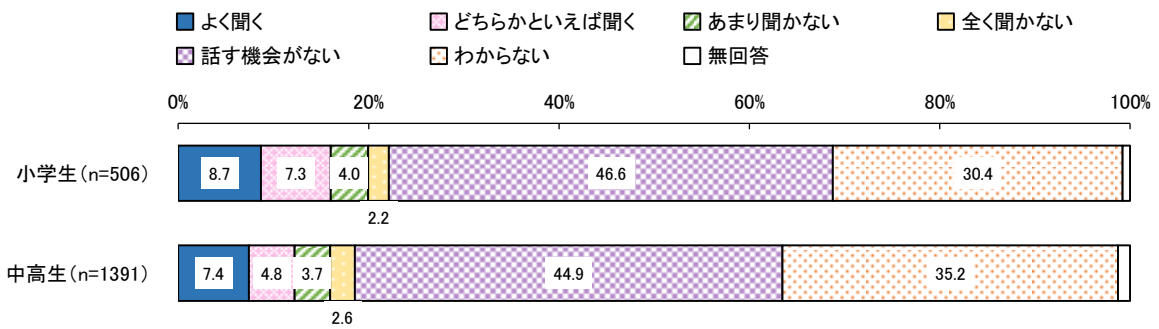
●学校の先生以外の大人

- ・「よく聞く」「どちらかといえばよく聞く」の割合は小学生で4割、中高生で3割を超える一方で「話す機会がない」も2割程度がみられる。



●市役所の大人

- ・小学生、中高生ともに「話す機会がない」の割合が最も高い。



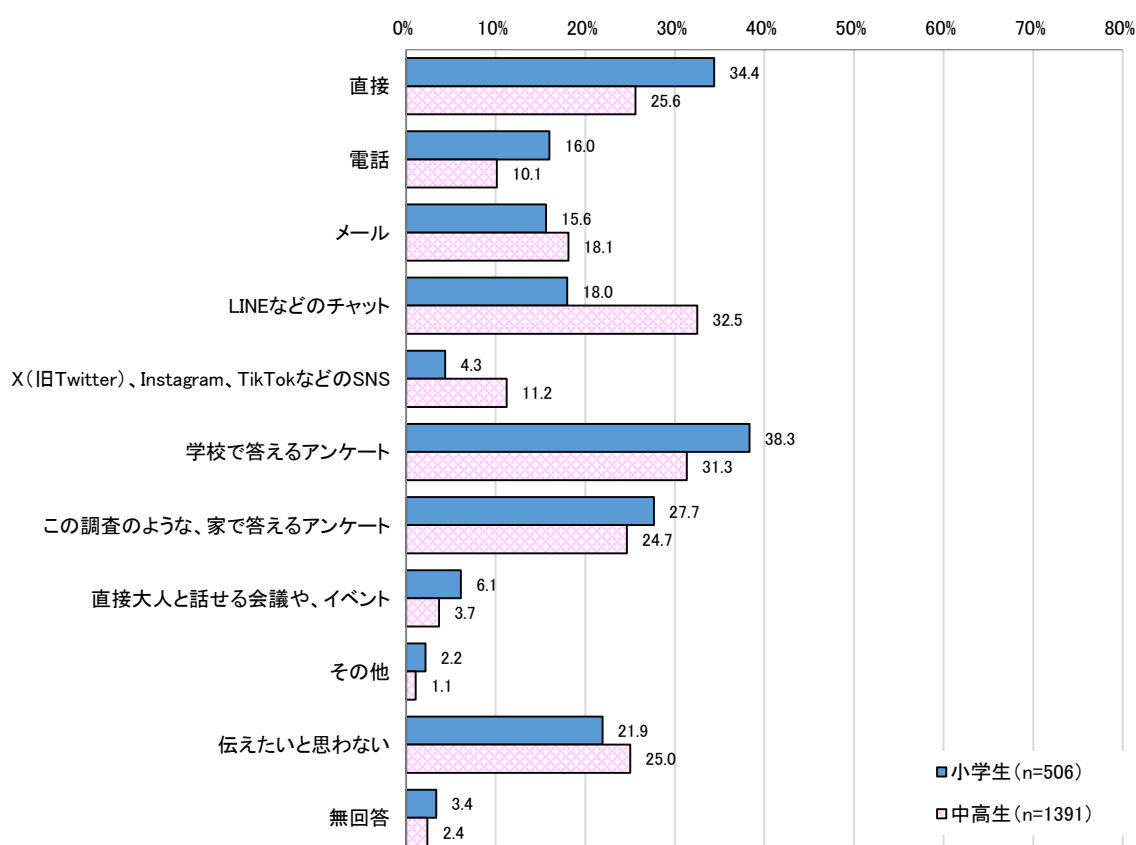
・学校の先生以外の大人や市役所の大人と話す機会は少なく、親や保護者、祖父母や親せき、学校の先生が子どもたちの意見を聞く主な対象であることが分かった。

(9) 意見を伝える方法

問 あなたはどのような方法や手段で、周りの大人、学校、船橋市に対して意見を伝えたいですか。(あてはまる番号すべてに○)

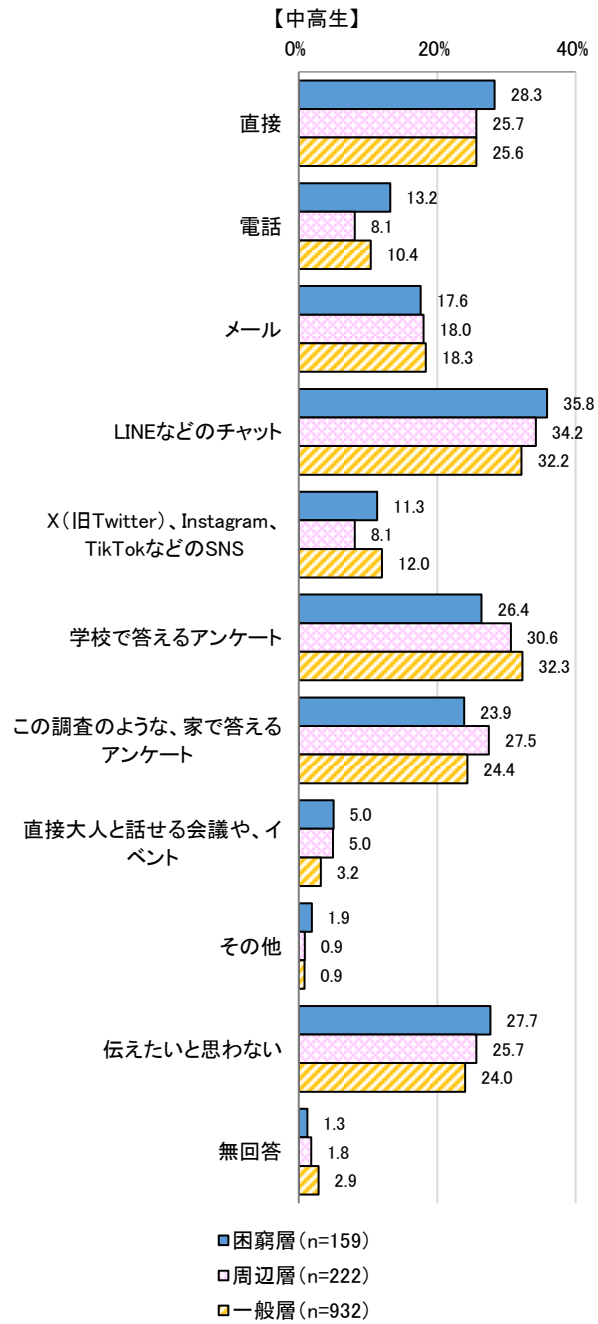
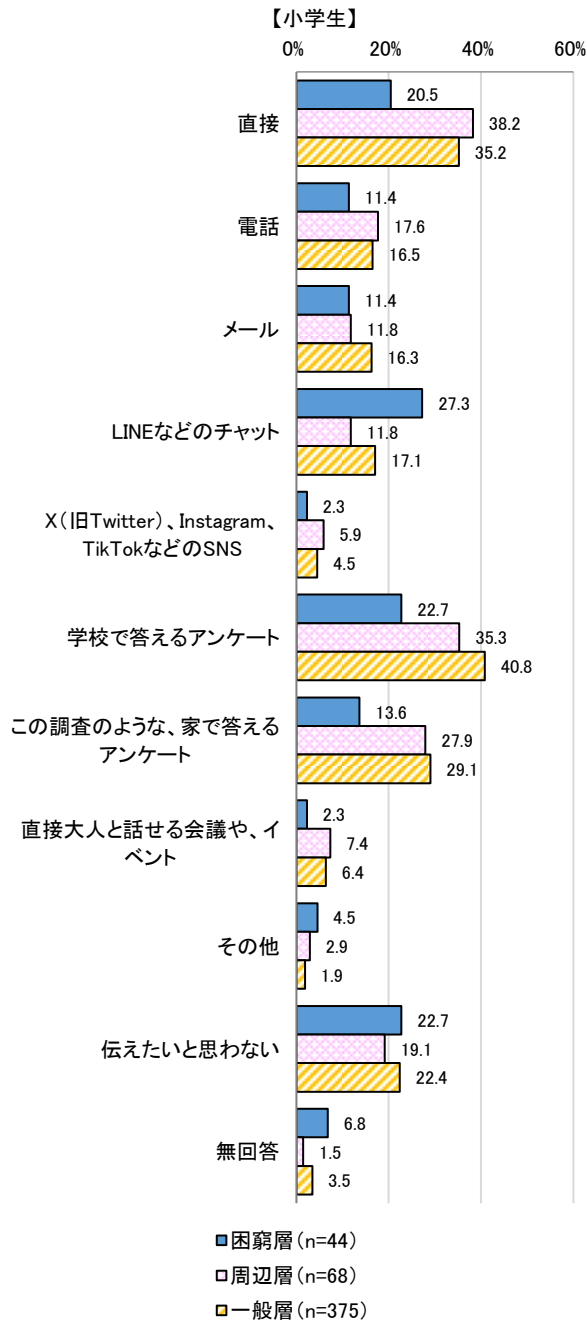
子小問26、子中高問29

- ・小学生では、「直接」やアンケートでの割合が高い。
- ・中高生では、「LINEなどのチャット」「学校で答えるアンケート」の割合が高い。
- ・生活困難度によると、小学生の困窮層では、「直接」やアンケートではなく、「LINEなどのチャット」の割合が高い。
- ・「伝えたいと思わない」も一定程度みられる。



- ・小学生はオンラインよりも学校でのアンケートや直接の意見伝達を好む傾向がみられる。
- ・中高生はオンラインでの意見伝達を望む傾向が顕著で、特に「LINEなどのチャット」が最も高い割合を占めている。
- ・年齢が上がるにつれて、直接のコミュニケーションよりもオンラインでの意見伝達を望む傾向がある。
- ・これらの結果から、小学生と中高生の意見伝達の方法には明確な違いがあり、年齢に応じた意見伝達の手段を整えることが重要と考えられる。

<生活困難度別>



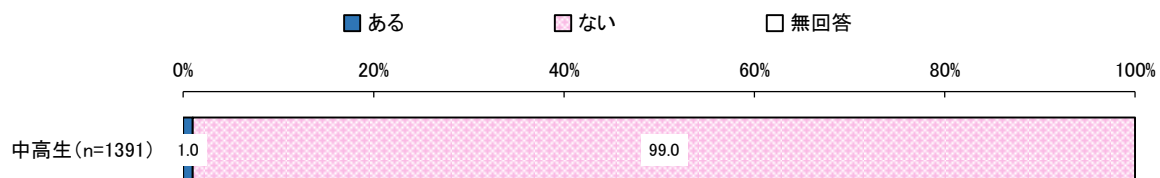
2-5. 中高生のみ設問（喫煙や飲酒、アルバイト経験の有無について）

（1）喫煙の有無

問 あなたは、今までにたばこを1回でも吸ったことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

子中高問9

- ・回答者のほとんどが「ない」と回答している。

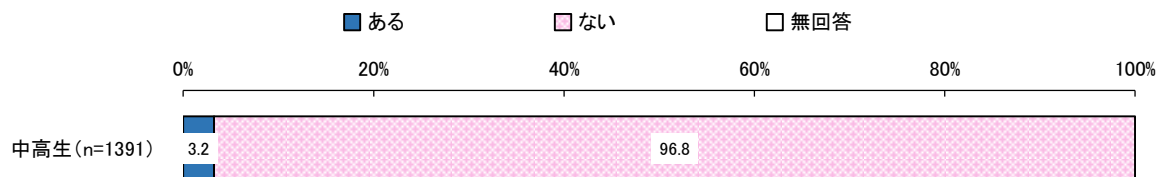


（2）飲酒の有無

問 あなたは、お酒を飲んだことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

子中高問10

- ・回答者のほとんどが「ない」と回答している。

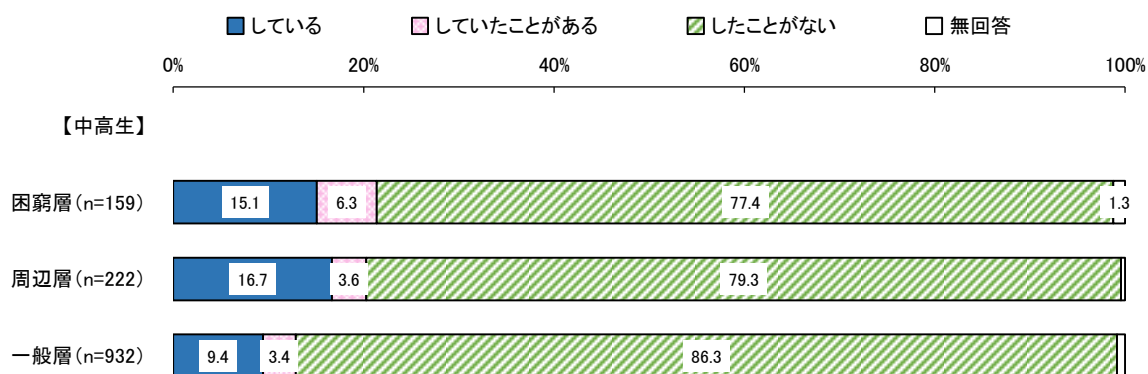


(3) アルバイトについて

問 あなたは、アルバイトをしていますか。または、していましたか。(あてはまるもの1つに○)

子中高問13

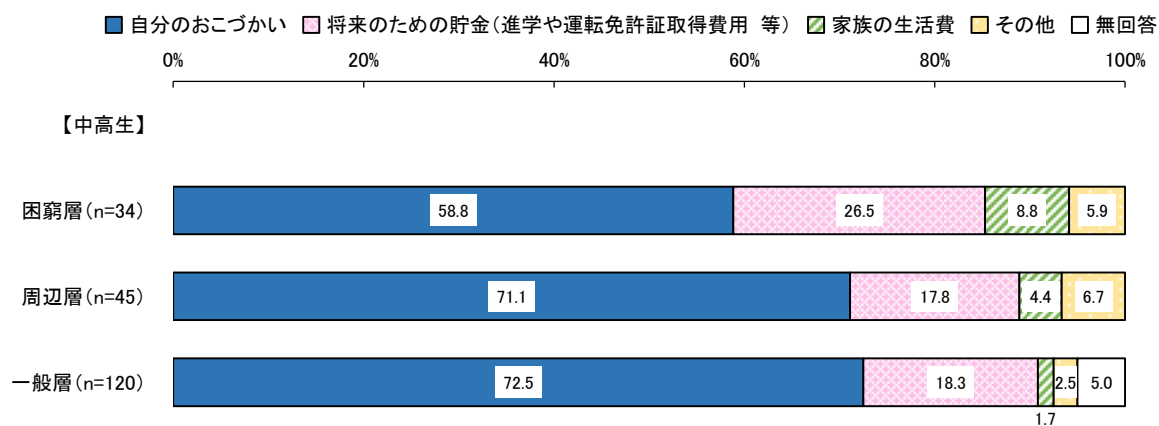
- ・困窮層、周辺層で「している」割合が高い傾向にある。



問 アルバイト代の主な使い道はなんですか。(あてはまるもの1つに○)

子中高問13-1

- ・「自分のおこづかい」の割合が最も高く、困窮層で「将来のための貯金」や「家族の生活費」の割合が高い。



2-6. 船橋市への意見

問 船橋市にやってほしいこと、こんなもの・ことがあったらいいなと思うこと、もっとこうしてほしいなど、あなたの考えや意見を聞かせてください。

子小問27、子中高問30

こどもの自由記述内容分類結果（全482人からの回答を分類）

No.	分類名	件数
1	学校・教育環境	156件
2	公園・遊び場の整備	89件
3	安全・交通対策	86件
4	文化・イベント	57件
5	意見・相談窓口	56件
6	スポーツ・レクリエーション	54件
7	環境・まちづくり	51件
8	商業・施設	46件
9	健康・福祉	30件
10	子育て・家庭支援	25件
11	その他	21件
12	分類不能	19件

※回答内容により複数分類先があるため、件数合計は回答者数を超える。

本報告書及びアンケート調査票については、市ホームページに掲載しております。
以下よりご覧ください。

船橋市ホームページ

トップページ → 子ども・教育 → 子育て・教育の計画・施策 → 子ども・子育てに関する計画・施策 → 「船橋市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（令和5年12月実施）」の結果を公表します

URL : <https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/keikaku/007/p125364.html>

船橋市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書
令和6年（2024年）3月

発行：船橋市 健康福祉局 こども家庭部 こども政策課
〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号
TEL：047-436-2796 FAX：047-436-2797